



PUBLIC (公開)

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
ドキュメントバージョン: 4.3 Support Package 4 – 2023-12-07

Web Intelligence および BI セマンティックレイヤ向け SAP BusinessObjects RESTful Web サービス SDK ユーザガイド

目次

1	Document Version History.	10
2	REST API のクイックリファレンス.	13
2.1	設定 API.	13
2.2	ユニバース API.	14
2.3	接続 API.	14
2.4	スプレッドシート API.	15
2.5	クエリ API.	15
	クエリ最新表示 API.	16
	クエリ結果 API.	16
2.6	ドキュメント API.	17
	アラータ API.	19
	カスタムパレット API.	20
	入力コントロール API.	20
	結合ディメンション API.	21
	スタイル API.	22
	トラッカ API.	23
	変数 API.	23
	ZIP ファイル API.	24
2.7	ドキュメントライフサイクル API.	24
2.8	ドキュメント最新表示 API.	25
2.9	ドキュメントスケジュール API.	26
2.10	レポート API.	27
	レポートデータフィルタ API.	28
	レポート入力コントロール API.	28
	レポートドリル API.	29
	レポートドリルフィルタ API.	30
2.11	レポート要素 API.	31
	レポート要素軸 API.	32
	レポート要素カスタムプロパティ API.	34
	レポート要素データフィルタ API.	34
	レポート要素の計算 API.	35
	レポート要素順位 API.	36
	レポート要素並べ替え API.	36
2.12	データプロバイダ API.	37
	データプロバイダ変更ソース API.	38
	データプロバイダリフレッシュ API.	39

2.13	パブリケーション API	39
2.14	バリエーション API	40
2.15	SAP BW 接続および BEx クエリ API	40
2.16	リソース検索 API	41
2.17	コメント API	41
2.18	セッションセキュリティ API	42
2.19	Web Intelligence OData API	43
3	RESTful Web サービス SDK ユーザガイドの紹介	45
3.1	対象読者	45
3.2	このガイドの表記規則	45
3.3	主要タスク	46
3.4	使用事例	46
4	RESTful Web サービス SDK の紹介	48
4.1	デフォルトのベース URL	50
4.2	BI プラットフォームにログオンする	51
4.3	ドキュメントのステータス	51
4.4	Web Intelligence RESTful Web サービス SDK の情報の取得	52
4.5	ユーザ詳細へのログイン	54
4.6	複数言語のサポート	55
4.7	要求本文中の不要な情報	55
4.8	HTTP 要求ステータス	57
4.9	成功メッセージおよびエラーメッセージ	58
5	RESTful Web サービスのサンプルの使用	61
5.1	BI セマンティックレイヤの REST API サンプルについて	61
	Eclipse を使用してサンプルをデプロイする	62
5.2	Web Intelligence REST API サンプルについて	63
	LCMBIAR ファイルをデプロイする	65
	Eclipse を使用してサンプルをデプロイする	65
6	RESTful Web サービス SDK のコンセプトとスキーマ	67
6.1	レポート構造	67
6.2	チャート	69
	チャートタイプ	69
	チャート応答のボディスキーマ	70
6.3	日付と時刻の書式	104
6.4	クエリ	105
	クエリ仕様の本文スキーマ	106
	クエリオブジェクト	107
	結果オブジェクト	108
	並べ替えオブジェクト	109

	クエリフィルタ	110
	複合クエリ	127
	OData クエリサービス	129
6.5	パラメータ	132
	パラメータ応答の本文スキーマ	132
	値の一覧	135
	デフォルト値	138
	前の値	139
	非互換コンテキスト	140
	応答要求本文スキーマ	140
6.6	ソースの変更	143
	要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング	145
	ストラテジー	147
	互換性ルール	148
6.7	スケジュール	150
6.8	ユニバース	156
6.9	オブジェクトの完全パス	160
6.10	ユーザアクセス権	161
6.11	現在のユーザの Web Intelligence セキュリティ権限の取得	162
7	BI セマンティックレイヤ REST API リファレンス	165
7.1	BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK を使用したユニバースの管理	165
	ユニバースの一覧の取得 (セマンティックレイヤ)	166
	ユニバースの詳細の取得 (セマンティックレイヤ)	167
	ユニバースのビジネスビューの取得	170
	ユニバースのクエリ機能の取得 (セマンティックレイヤ)	173
	ユニバースのリンクグループの取得	175
	ユニバースのオブジェクトパラメータの取得	177
7.2	クエリの管理	179
	クエリの作成	179
	クエリの一覧の取得	180
	クエリの詳細の取得	181
	クエリの削除	182
7.3	パラメータの管理	183
	パラメータの一覧の取得	183
	パラメータへの応答	186
	パラメータの詳細の取得	198
7.4	クエリ結果の管理	204
	OData サービスへのアクセス	204
	OData フローメタデータの取得	206
	OData フローコンテンツの取得	208
	OData コンテンツ - すべてのデータの取得	210

	OData コンテンツ - 行数の取得	214
	OData コンテンツ - 最初の行の取得	214
	OData コンテンツ - プロパティコンテンツの取得	215
	OData コンテンツ - プロパティの生コンテンツの取得	215
	OData コンテンツ - オフセット後のコンテンツの取得	216
	OData コンテンツ - 最初の N 行の取得	218
	OData コンテンツ - オフセット後の最初の N 行の取得	220
8	Web Intelligence REST API リファレンス	222
8.1	ドキュメントの管理	223
	ドキュメントの作成	224
	ドキュメントの一覧の取得	225
	ドキュメントの詳細の取得	227
	現在のユーザのドキュメントのセキュリティ権限の取得	230
	ドキュメントの保存	232
	ドキュメントのコピー	235
	ドキュメントの消去	236
	ZIP ファイルの使用	237
	ドキュメントのエクスポート	241
	ドキュメントの状態の更新	246
	ドキュメントの削除	249
	プロパティの使用	250
	スタイル、形式、フォント、スキン、および文字セットの管理	253
	カラーパレットの使用	275
	関数、演算子、および変数の管理	283
	リンクの管理	294
	アラータおよびトラッカ設定の管理	300
	添付ファイルの管理	317
	スナップショットの使用	320
	オカレンスの使用	324
	参照セルの使用	330
	ドキュメントへのキャッシュエントリの追加	336
8.2	レポートの管理	338
	レポートの作成	338
	レポートの一覧の取得	340
	レポートの詳細の取得	341
	レポートの移動	343
	レポートのコピー	344
	レポートのプロパティの更新	345
	レポートの削除	346
	レポートのマップの取得	347
	レポートのエクスポート	348

共有要素 API	358
レポートの構造の更新	359
レポートのデータフィルタの管理	364
レポートの構造の取得	370
レポートコメントの管理	371
8.3 レポートデータのドリル操作	375
ドリルモードの取得	376
ドリルモードの更新	377
クエリドリルの有効化	378
クエリドリルの無効化	379
ドリル階層での情報の取得	380
空きドリル要素の取得	381
ドリルフィルタの作成	382
レポートのドリルフィルタの取得	383
ドリルフィルタの詳細の取得	384
ドリルフィルタの更新	386
ドリルフィルタの削除	387
ドリルの実行	388
ドリルモードでのレポートのスナップショットの作成	389
8.4 レポート要素の管理	390
レポート要素の作成	391
レポート要素の一覧の取得	395
レポート要素の詳細の取得	399
レポート要素の背景の取得	410
レポート要素のデータパスの取得	411
レポート要素のデータセットの取得	416
階層メンバーの詳細の取得	421
レポート要素の更新	422
テーブルへの行または列の挿入	429
テーブルセルの結合または分割	430
セクションとしてのテーブルのセルの設定	431
レポート要素のエクスポート	432
レポート要素の削除	437
レポート要素の順序付け	439
軸の使い方	440
順位の操作	464
計算の使用	468
カスタムプロパティの使用	473
レポート要素のデータフィルタの管理	478
並べ替えの使用	484
レポート要素コメントの管理	493

8.5	入力コントロールの使用	500
	ドキュメント入力コントロールの使用	500
	レポート入力コントロールの使用	526
8.6	データプロバイダの管理	555
	データプロバイダの一覧の取得	556
	データプロバイダの詳細の取得	558
	データプロバイダの追加	561
	データプロバイダの更新	564
	ドキュメント内のデータプロバイダの移動	572
	データプロバイダの削除	573
	データプロバイダの変更	574
	データプロバイダのフロー件数の取得	584
	フローの詳細の取得	585
	フローのサンプルの取得	587
	クエリプランの取得	589
	クエリプランの更新	591
	クエリ仕様の取得	593
	クエリ仕様の更新	595
	オブジェクトの定義の取得	596
	データオブジェクトの値の一覧の取得	597
	特定のデータオブジェクト値の範囲内における値の一覧の取得	599
8.7	個人用データプロバイダの管理	601
	CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルのアップロード	601
	Microsoft Excel ファイルの一覧の取得	603
	Microsoft Excel ファイルの詳細の取得	605
	CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルの更新	606
	Microsoft Excel ファイルの削除	608
8.8	SAP BW 接続および BEx クエリの管理	608
	SAP BW 接続の一覧の取得	609
	SAP BW 接続の詳細の取得	610
	SAP BW 接続の詳細の参照	611
	BEx クエリのアウトラインの取得	614
	BEx クエリの機能の取得	615
8.9	直接入力の SQL データプロバイダ接続の管理	617
	接続の一覧の取得	617
	接続の詳細の取得	619
8.10	ドキュメントの最新表示	620
	ドキュメントの最新表示パラメータの取得	620
	ドキュメントの最新表示	627
	ドキュメントの最新表示のキャンセル	648
	パラメータの詳細の取得	649

	バリエーションの使用	654
8.11	データプロバイダの最新表示	665
	データプロバイダの最新表示パラメータの取得	665
	データプロバイダの最新表示	666
8.12	ドキュメントのスケジュール	668
	スケジュールの一覧の取得	668
	スケジュールの詳細の取得	669
	スケジュールの追加	671
	スケジュールの削除	677
8.13	パブリケーションの管理	678
	パブリケーションの詳細の取得	678
8.14	共有要素の管理	679
	共有要素の一覧の取得	680
	共有要素の詳細の取得	682
	共有要素の編集	683
	共有要素の削除	684
	ドキュメントの共有要素の使用	685
	リンクされたレポート要素の使用	688
8.15	リソースの検索	691
	リソースの取得	691
8.16	Web Intelligence RESTful Web サービス SDK を使用したユニバースの管理	695
	ユニバースの一覧の取得 (Web Intelligence)	696
	ユニバースの詳細の取得 (Web Intelligence)	697
	ユニバースのクエリ機能の取得 (Web Intelligence)	701
8.17	OData によるドキュメントの内容の取得	703
	ドキュメントのキューブおよびレポート要素の取得	703
	ドキュメントのメタデータの取得	703
	ドキュメントのキューブデータセットの取得	704
	ドキュメントのレポート要素データセットの取得	705
	スケジュールの最終インスタンスのキューブとレポート要素の取得	705
	スケジュールの最終インスタンスメタデータの取得	706
	スケジュールの最終インスタンスのキューブデータセットの取得	706
	スケジュールの最終インスタンスのレポート要素データセットの取得	707
	レポート要素のデータフロー名の取得 (非推奨)	708
	レポート要素メタデータの取得 (非推奨)	708
	レポート要素データの取得 (非推奨)	709
	要求の指定	709
9	REST API ワークフロー	712
9.1	クエリの実行	712
9.2	Web Intelligence ドキュメントの作成	715
9.3	ドキュメントの一覧表示	716

9.4	パラメータの設定および PDF へのエクスポート.....	717
9.5	パラメータの設定と今すぐスケジュール.....	717
9.6	レポートのドリル.....	718

1 Document Version History

The following tables provide an overview of the document changes.

SAP BusinessObjects RESTful Web Service SDK for Web Intelligence and the BI Semantic Layer 4.3 SP4 (December 2023)

Changes in the Web Intelligence OData API:

- New parameter to refresh the document, see [要求の指定 \[page 709\]](#).
 - New parameter to answer document's prompts, see [要求の指定 \[page 709\]](#).
-

SAP BusinessObjects RESTful Web Service SDK for Web Intelligence and the BI Semantic Layer 4.3 SP3 (December 2022)

Changes in the Web Intelligence OData API:

- New base root URL for document
 - New base root URL schedule's last instance
 - New path to get cube's dataset
 - New path to get report element dataset
 - New supported operators
-

SAP BusinessObjects RESTful Web Service SDK for Web Intelligence and the BI Semantic Layer 4.3 SP2 (December 2021)

Changes in the BI Semantic Layer REST API output format:

- URLs in XML headers and schemes reference doc-oasis declarations (<http://docs.oasis-open.org> instead of <http://schemas.microsoft.com>)
- XML tags previously not prefixed are prefixed with "a : "

New OData support in the Web Intelligence REST APIs

New features supported in SAP BusinessObjects Web Intelligence RESTful Web Service SDK:

- Report element calculations:
 - Get all calculations associated to a report element, see XML tags previously not prefixed are prefixed with "レポート要素の計算の取得 [page 468].
 - Get details of a calculation, see 計算の詳細の取得 [page 470].
 - Create calculations, see 計算の作成 [page 471].
 - Delete calculations, see 計算の削除 [page 473].
- Publications
 - Get the details of a publication, see パブリケーションの詳細の取得 [page 678].
- Referenced cells
 - XML tags previously not prGet the list of referenced cells in a document, see ドキュメントの参照セルの一覧の取得 [page 330].
 - Get the definition of a referenced cell, see 参照セルの定義の取得 [page 332].
 - Create a referenced cell, see 新しい参照セルの追加 [page 333].
 - Edit a referenced cell, see 参照セルの定義の編集 [page 335].
 - Delete a referenced cell, see 参照セルの削除 [page 336].

Enhancements to existing APIs:

- Documents
 - Purge a document, see ドキュメントの消去 [page 236].
- Search
 - Use new `limit` and `offset` parameters when searching for resources on the server, see リソースの取得 [page 691].
- Path
 - In any call that returns a path located in a user's folder in the BI Platform repository, the root of the path is **My Folders**, and no more **My Favorites**. For more information, see ドキュメントの詳細の取得 [page 227].
- Input controls
 - Reorder report input controls, see レポート内の入力コントロールの並べ替え [page 550].
 - Reorder document input controls, see ドキュメント内の入力コントロールの並べ替え [page 524].
- Report elements
 - Create custom number or datetime formats, see カスタムの数値または日時書式の作成 [page 256].
 - Set a table cell as a section, see セクションとしてのテーブルのセルの設定 [page 431].
 - Order a report element, see レポート要素の順序付け [page 439].
 - Delete all breaks in a report element, see レポート要素のすべてのブレイクの削除 [page 452].
 - Get the list of alerters of a report element, see レポート要素のアラータの一覧の取得 [page 303].
 - Edit all alerters of a report element, see レポート要素のすべてのアラータの編集 [page 309].
 - Delete all alerter of a report element, see レポート要素のすべてのアラータの削除 [page 311].
 - Get the details of a hierarchy member, see 階層メンバーの詳細の取得 [page 421].
- Report element axes
 - Update all the breaks on a table axis, see テーブル軸のすべてのブレイクの更新 [page 452].
 - Delete all the breaks on a table axis, see テーブル軸のすべてのブレイクの削除 [page 455].
- Configuration

- Get all the marker palettes, see [すべてのマーカーパーレットの取得 \[page 277\]](#).
 - Get all the gradient orientations, see [グラデーションの方向の取得 \[page 272\]](#).
 - Get all the locales, see [ロケールの取得 \[page 258\]](#).
 - Aggregate configuration calls, see [設定呼び出しの集計 \[page 273\]](#).
-

2 REST API のクイックリファレンス

Web Intelligence REST API および BI セマンティックレイヤ REST API の概要。

REST API は、機能領域ごとに説明および詳細へのリンクとともにグループ化されています。

2.1 設定 API

デフォルトの書式設定やカラーパレットなど、WACS サーバで宣言されたデフォルト設定詳細についての情報を取得するには、これらの REST API を使用します (/configuration)。

次の表は、API のサポートが導入されたリリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ: なし

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
文字セットの取得 [269 ページ]	GET	/configuration/charsets	4.0 SP6 または 4.1
チャートタイプの取得 [270 ページ]	GET	/configuration/visualizations	4.1 SP1
デフォルトのカラーパレットの取得 [275 ページ]	GET	/configuration/palettes	4.1 SP1
設定書式の取得 [253 ページ]	GET	/configuration/formats	4.0 SP6 または 4.1
フォントマッピングの取得 [257 ページ]	GET	/configuration/fontmappings	4.0 SP6 または 4.1
式エンジン関数の取得 [283 ページ]	GET	/configuration/functions	4.0 SP6 または 4.1
式エンジン演算子の取得 [284 ページ]	GET	/configuration/operators	4.0 SP6 または 4.1
レポートスキンの取得 [259 ページ]	GET	/configuration/skins	4.0 SP6 または 4.1
ロケールの取得 [258 ページ]	GET	/configuration/locales	4.3
グラデーションの方向の取得 [272 ページ]	GET	/configuration/gradientorientations	4.3
設定呼び出しの集計 [273 ページ]	POST	/configuration	4.3

2.2 ユニバース API

Web Intelligence 側または BI セマンティクレイヤ側でユニバースを使用するには、これらの API を使用します (/universes)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1`

パスパラメータ: `<universeID>` は、ユニバースの一覧から取得されるユニバース ID です。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ユニバースの一覧の取得 (セマンティクレイヤ) [166 ページ]	GET	<code>/universes</code>	4.1 SP2
ユニバースの詳細の取得 (セマンティクレイヤ) [167 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.1 SP2
ユニバースのビジネスビューの取得 [170 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.1 SP2
ユニバースのクエリ機能の取得 (セマンティクレイヤ) [173 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.1 SP2
ユニバースのリンクグループの取得 [175 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.1 SP2
ユニバースのオブジェクトパラメータの取得 [177 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.1 SP6

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ `<universeID>` は、ユニバースの一覧から取得されるユニバース ID です。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ユニバースの一覧の取得 (Web Intelligence) [696 ページ]	GET	<code>/universes</code>	4.0 SP5 または 4.1
ユニバースの詳細の取得 (Web Intelligence) [697 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.0 SP5 または 4.1
ユニバースのクエリ機能の取得 (Web Intelligence) [701 ページ]	GET	<code>/universes/<universeID></code>	4.0 SP6 または 4.1

2.3 接続 API

CMS リポジトリに格納された接続を使用するための REST API (/connections)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<connectionID>`: 接続の一覧から取得される接続 ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
接続の一覧の取得 [617 ページ]	GET	/connections	4.1 SP5
接続の詳細の取得 [619 ページ]	GET	/connections/ <code><connectionID></code>	4.1 SP5

2.4 スプレッドシート API

Microsoft Excel スプレッドシートを使用するための REST API (/spreadsheets)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<spreadsheetID>`: ファイルの一覧から取得される Microsoft Excel ファイルの ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルのアップロード [601 ページ]	POST	/spreadsheets	4.1 SP5
Microsoft Excel ファイルの一覧の取得 [603 ページ]	GET	/spreadsheets	4.1 SP5
Microsoft Excel ファイルの詳細の取得 [605 ページ]	GET	/spreadsheets/ <code><spreadsheetID></code>	4.1 SP5
CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルの更新 [606 ページ]	PUT	/spreadsheets/ <code><spreadsheetID></code>	4.2
Microsoft Excel ファイルの削除 [608 ページ]	DELETE	/spreadsheets/ <code><spreadsheetID></code>	4.1 SP6

2.5 クエリ API

これらの API を使用して、BI セマンティックレイヤのユニバースをクエリできます (/queries)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1

パスパラメータ

- [<queryID>](#): クエリの一覧から取得されるクエリステートメント ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
クエリの作成 [179 ページ]	POST	/queries	4.1 SP2
クエリの削除 [182 ページ]	DELETE	/queries/<queryID>	4.1 SP2
クエリの詳細の取得 [181 ページ]	GET	/queries/<queryID>	4.1 SP2
クエリの一覧の取得 [180 ページ]	GET	/queries	4.1 SP2

2.5.1 クエリ最新表示 API

これらの REST API は、コンテキスト、@Prompts、オブジェクトパラメータといったユニバースで定義されたパラメータの取得および最新表示を可能にします ([/queries/.../parameters/](#))。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1

パスパラメータ:

- [<queryID>](#): クエリの一覧から取得されるクエリステートメント ID
- [<parameterID>](#): パラメータ ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
パラメータの一覧の取得 [183 ページ]	GET	/queries/<queryID>/parameters	4.1 SP3
パラメータへの応答 [186 ページ]	PUT	/queries/<queryID>/parameters	4.1 SP3
パラメータの詳細の取得 [198 ページ]	GET PUT	/queries/<queryID>/parameters/<parameterID>	4.2

2.5.2 クエリ結果 API

これらの API を使用して、ユニバースのクエリ結果を管理できます ([/queries/.../data.svc/](#))。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1

パスパラメータ:

- **<queryID>**: クエリの一覧から取得されるクエリステートメント ID
- **<flowName>**: クエリフロー名
- **<rowIndex>**: クエリフローの行インデックス
- **<fieldName>**: フローのオブジェクトの名前

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
OData サービスへのアクセス [204 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/	4.1 SP2
OData フローメタデータの取得 [206 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/\$metadata	4.1 SP2
OData フローコンテンツの取得 [208 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>	4.1 SP2
OData コンテンツ - 行数の取得 [214 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>/\$count	4.1 SP2
OData コンテンツ - 最初の行の取得 [214 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>(<rowIndex>)	4.1 SP2
OData コンテンツ - プロパティコンテンツの取得 [215 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>(<rowIndex>)/<fieldName>	4.1 SP2
OData コンテンツ - プロパティの生コンテンツの取得 [215 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>(<rowIndex>)/<fieldName>/\$value	4.1 SP2
OData コンテンツ - オフセット後のコンテンツの取得 [216 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>?\$skip=<offset>	4.1 SP2
OData コンテンツ - 最初の N 行の取得 [218 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>?\$top=<limit>	4.1 SP2
OData コンテンツ - オフセット後の最初の N 行の取得 [220 ページ]	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>?\$skip=<offset>&\$top=<limit>	4.1 SP2

2.6 ドキュメント API

Web Intelligence ドキュメント (/documents) を管理する REST API です。

次の表は、API のサポートが導入されたリリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<dataObjectID>**: データオブジェクトが割り当てられている入力コントロールの定義から取得されるデータオブジェクト識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントの作成 [224 ページ]	POST	/documents	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントのコピー [235 ページ]			
ドキュメントの一覧の取得 [225 ページ]	GET	/documents	4.0 SP5 または 4.1
現在のユーザのドキュメントのセキュリティ権限の取得 [230 ページ]	GET	/documents/<documentID>/rights	4.2 SP4
ドキュメントの詳細の取得 [227 ページ]	GET	/documents/<documentID>	4.0 SP5 または 4.1
一覧モードでのドキュメントのエクスポート [242 ページ]			
一連のページとしてのドキュメントのエクスポート [244 ページ]	GET	/documents/<documentID>/pages	4.0 SP5 または 4.1
ドキュメントの保存 [232 ページ]	POST	/documents/<documentID>	4.1 SP4
ドキュメントの削除 [249 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントの消去 [236 ページ]	PUT	/documents/<documentID>	4.3
添付ファイルの追加 [317 ページ]	POST	/documents/<documentID>/attachments	4.0 SP6 または 4.1
添付ファイルの一覧の取得 [319 ページ]	GET	/documents/<documentID>/attachments	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントへのキャッシュエントリの追加 [336 ページ]	POST	/documents/<documentID>/cache	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントの CSS の取得 [267 ページ]	GET	/documents/<documentID>/css	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントの CSS の更新 [268 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/css	4.0 SP6 または 4.1
データオブジェクトの値の一覧の取得 [597 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataobjects/<dataObjectID>/lov	4.1 SP3
特定のデータオブジェクト値の範囲内における値の一覧の取得 [599 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataobjects/<dataObjectID>/lov	4.1 SP3
オブジェクトの定義の取得 [596 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataobjects/<dataobjectID>	4.3
数値のカスタム書式の取得 [255 ページ]	GET	/documents/<documentID>/formats	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントのプロパティの取得 [250 ページ]	GET	/documents/<documentID>/properties	4.0 SP6 または 4.1

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントのプロパティの更新 [252 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/properties	4.0 SP6 または 4.1

2.6.1 アラータ API

ドキュメントに添付されるアラータを作成、編集、または削除するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../alerters)。

次の表は、API のサポートが導入されたリリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <alerterID>: アラータの一覧から取得されるアラータ識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
アラータの追加 [305 ページ]	POST	/documents/<documentID>/alerters	4.0 SP6 または 4.1
アラータの一覧の取得 [301 ページ]	GET	/documents/<documentID>/alerters	4.0 SP6 または 4.1
アラータの詳細の取得 [302 ページ]	GET	/documents/<documentID>/alerters/<alerterID>	4.0 SP6 または 4.1
レポート要素のアラータの一覧の取得 [303 ページ]	GET	/documents/<documentID>/report/<reportID>/elements/<elementID>/alerters/	4.3
アラータの編集 [307 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/alerters/<alerterID>	4.0 SP6 または 4.1
レポート要素のすべてのアラータの編集 [309 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/report/<reportID>/elements/<elementID>/alerters	4.3
アラータの削除 [310 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/alerters/<alerterID>	4.0 SP6 または 4.1
レポート要素のすべてのアラータの削除 [311 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/report/<reportID>/elements/<elementID>/alerters	4.3

2.6.2 カスタムパレット API

ドキュメントに添付されたカスタムカラーパレットを作成、編集、または削除するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../palettes)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<paletteID>`: パレットの一覧から取得されるカスタムパレット識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
カスタムパレットの作成 [280 ページ]	POST	<code>/documents/<documentID>/palettes</code>	4.1 SP5
カスタムパレットの一覧の取得 [278 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/palettes</code>	4.1 SP5
カスタムパレットの詳細の取得 [279 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/palettes/<paletteID></code>	4.1 SP5
カスタムパレットの詳細の更新 [282 ページ]	PUT	<code>/documents/<documentID>/palettes/<paletteID></code>	4.1 SP5
カスタムパレットの削除 [282 ページ]	DELETE	<code>/documents/<documentID>/palettes/<paletteID></code>	4.1 SP5

2.6.3 入力コントロール API

ドキュメント入力コントロールを使用するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../inputcontrols)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<inputControlID>`: 入力コントロールの一覧から取得される入力コントロール識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントの入力コントロールの取得 [501 ページ]	GET	/documents/<documentID>/inputcontrols	4.1 SP6
レポートからドキュメントへの入力コントロールの移動 [525 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/inputcontrols?fromId=<fromID>	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの定義の取得 [508 ページ]	GET	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの定義の更新 [511 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>	4.1 SP6
ドキュメントへの入力コントロールの追加 [515 ページ]	POST	/documents/<documentID>/inputcontrols	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの削除 [523 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの選択の取得 [518 ページ]	GET	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの選択の設定 [519 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの選択の削除 [521 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection	4.1 SP6
ドキュメント入力コントロールの値の一覧の取得 [517 ページ]	GET	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/lov	4.2 SP04
ドキュメント入力コントロールの値の一覧の取得 [517 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/lov	4.2 SP04

2.6.4 結合ディメンション API

Web Intelligence で結合ディメンションを使用するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../links)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<linkID>`: リンクの一覧から取得されるリンク識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
リンクの追加 [297 ページ]	POST	/documents/<documentID>/links	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントのリンクの取得 [295 ページ]	GET	/documents/<documentID>/links	4.0 SP6 または 4.1
リンクの詳細の取得 [296 ページ]	GET	/documents/<documentID>/links/<linkID>	4.0 SP6 または 4.1
リンクの編集 [298 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/links/<linkID>	4.0 SP6 または 4.1
リンクの削除 [299 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/links/<linkID>	4.0 SP6 または 4.1

2.6.5 スタイル API

ドキュメントのスタイルを定義、編集、および削除するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../styles)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<styleID>**: ドキュメントのスタイルの一覧から取得されるスタイル識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントのスタイルの取得 [261 ページ]	GET	/documents/<documentID>/styles	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントへのスタイルの追加 [263 ページ]	POST	/documents/<documentID>/styles	4.0 SP6 または 4.1
スタイルの詳細の取得 [262 ページ]	GET	/documents/<documentID>/styles/<styleID>	4.0 SP6 または 4.1
スタイルの更新 [265 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/styles/<styleID>	4.0 SP6 または 4.1
スタイルの削除 [266 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/styles/<styleID>	4.0 SP6 または 4.1

2.6.6 トラッカ API

ドキュメントのトラッカ設定を使用するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../tracker)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
トラッカ設定の取得 [312 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/tracker</code>	4.0 SP6 または 4.1
トラッカ設定の作成 [313 ページ]	POST	<code>/documents/<documentID>/tracker</code>	4.0 SP6 または 4.1
トラッカ設定の編集 [315 ページ]	PUT	<code>/documents/<documentID>/tracker</code>	4.0 SP6 または 4.1
トラッカ設定の削除 [316 ページ]	DELETE	<code>/documents/<documentID>/tracker</code>	4.0 SP6 または 4.1

2.6.7 変数 API

これらの REST API を使用して、ドキュメントの変数を定義、編集、および削除します (/documents/.../variables)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<variableID>`: ドキュメントの変数の一覧から取得される変数識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントの変数の取得 [285 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/variables</code>	4.0 SP6 または 4.1
変数の追加 [288 ページ]	POST	<code>/documents/<documentID>/variables</code>	4.0 SP6 または 4.1

アクション	メソッド	URL	サポート開始
変数の定義の取得 [287 ページ]	GET	/documents/<documentID>/variables/<variableID>	4.0 SP6 または 4.1
変数の編集 [291 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/variables/<variableID>	4.0 SP6 または 4.1
変数の削除 [293 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/variables/<variableID>	4.0 SP6 または 4.1

2.6.8 ZIP ファイル API

ドキュメントから ZIP ファイルを作成および取得するには、これらの REST API を使用します (/documents/.../zips)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <zipID>: ZIP ファイルを作成することによって取得される ZIP ファイル識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントからの ZIP ファイルの作成 [238 ページ]	POST	/documents/<documentID>/zips?reportIds=<reportID>[,...]	4.1 SP3
ZIP ファイルとしてのドキュメントの取得 [239 ページ]	GET	/documents/<documentID>/zips/<zipID>	4.1 SP3
ZIP ファイルの削除 [240 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/zips/<zipID>	4.1 SP3

2.7 ドキュメントライフサイクル API

Web Intelligence ドキュメントのオカレンスおよびスナップショットを管理する REST API (/documents/.../occurrences/、/documents/.../snapshots/)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>` はドキュメントの一覧から取得されるドキュメント識別子です。
- `<occurrenceID>` はオカレンスの一覧から取得されるオカレンス識別子です。
- `<snapshotID>` はスナップショットの一覧から取得されるスナップショット識別子です。

クエリパラメータ: `<snapshotID>` はスナップショットの一覧から取得されるスナップショット識別子です。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントの状態の更新 [246 ページ]	PUT	<code>/documents/<documentID></code>	4.0 SP5 または 4.1
オカレンスの一覧の取得 [326 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/occurrences</code>	4.2 SP3
イベントの詳細の取得 [327 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/occurrences/<occurrenceID></code>	4.2 SP3
イベントの作成 [326 ページ]	POST	<code>/documents/<documentID>/occurrences</code>	4.2 SP3
オカレンスの更新 [328 ページ]	PUT	<code>/documents/<documentID>/occurrences/<occurrenceID></code>	4.2 SP3
ドキュメントスナップショットの作成 [320 ページ]	POST	<code>/documents/<documentID>/snapshots</code>	4.0 SP6 または 4.1
スナップショットの一覧の取得 [321 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/snapshots</code>	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントのスナップショットへの復元 [322 ページ]	PUT	<code>/documents/<documentID>/?snapshotId=<snapshotID></code>	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメントスナップショットの削除 [323 ページ]	DELETE	<code>/documents/<documentID>/snapshots/<snapshotID></code>	4.2 SP3
すべてのスナップショットの削除 [324 ページ]	DELETE	<code>/documents/<documentID>/snapshots</code>	4.2 SP3

2.8 ドキュメント最新表示 API

Web Intelligence ドキュメントのパラメータ値を最新表示するには、これらの REST API を使用します (`/documents/.../parameters/`)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<parameterID>`: 最新表示パラメータの一覧から取得されるパラメータ識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	要求	サポート開始
ドキュメントの最新表示パラメータの取得 [620 ページ]	GET	/documents/<documentID>/parameters	4.0 SP5 または 4.1
ドキュメントの最新表示 [627 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/parameters	4.0 SP5 または 4.1
パラメータの詳細の取得 [649 ページ]	GET PUT	/documents/<documentID>/parameters/ <parameterID>	4.2
ドキュメントの最新表示のキャンセル [648 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/parameters/ execution?cancel=<mode>	4.0 SP6 または 4.1

2.9 ドキュメントスケジュール API

特定の出力先および書式の Web Intelligence ドキュメントをスケジュールするための REST API (/documents/.../schedules/)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0、4.1、または 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <scheduleID>: スケジュールの一覧から取得されるスケジュール識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
スケジュールの追加 [671 ページ]	POST	/documents/<documentID>/schedules	4.0 SP5 または 4.1
スケジュールの一覧の取得 [668 ページ]	GET	/documents/<documentID>/schedules	4.0 SP5 または 4.1
スケジュールの詳細の取得 [669 ページ]	GET	/documents/<documentID>/schedules/ <scheduleID>	4.0 SP5 または 4.1
スケジュールの削除 [677 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/schedules/ <scheduleID>	4.0 SP5 または 4.1

2.10 レポート API

Web Intelligence ドキュメントのレポートを使用するための REST API (/documents/.../reports/)。レポートの作成とエクスポート、およびレポート構造の更新には、これらの REST API を使用します。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<reportID>`: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- `<pageIndex>`: エクスポートするページの番号

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポートの作成 [338 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports	4.0 SP6 または 4.1
レポートのコピー [344 ページ]			
レポートの一覧の取得 [340 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports	4.0 SP5 または 4.1
レポートの表示可能なコメントの取得 [372 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/comments	4.2 SP4
レポートのページ範囲の表示可能なコメントの取得 [373 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/<pageRange>/comments	4.2 SP4
レポート要素のすべてのコメントまたは表示可能なコメントのみの取得 [494 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/comments	4.2 SP4
レポート要素の特定のコメントの取得 [495 ページ]	GET	GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/comments/<commentID>	4.2 SP4
レポートの詳細の取得 [341 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>	4.0 SP5 または 4.1
一覧モードでのレポートのエクスポート [349 ページ]			
一連のページとしてのレポートのエクスポート [352 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages	4.0 SP6 または 4.1
レポートの 1 ページまたはページ範囲のエクスポート [354 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/<pageIndex>	4.0 SP6 または 4.1
レポートの移動 [343 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports?fromId=<fromID>&toId=<toID>	4.0 SP6 または 4.1
レポートのプロパティの更新 [345 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>	4.0 SP6 または 4.1

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポートの削除 [346 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>	4.0 SP6 または 4.1
レポートのマップの取得 [347 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/map	4.0 SP6 または 4.1
レポートの構造の取得 [370 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/specification	4.0 SP6 または 4.1
レポートの構造の更新 [359 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/specification	4.0 SP6 または 4.1

2.10.1 レポートデータフィルタ API

これらの API は、レポートのデータフィルタの管理を可能にします (/documents/.../reports/.../datafilter/)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: レポートの一覧から取得されるレポート識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
データフィルタの作成 [365 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter	4.1 SP2
データフィルタの詳細の取得 [366 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter	4.1 SP2
データフィルタの更新 [367 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter	4.1 SP2
データフィルタの削除 [369 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter	4.1 SP2

2.10.2 レポート入力コントロール API

レポートで入力コントロールとその選択値を作成および編集するには、これらの API を使用します (/documents/.../reports/.../inputcontrols/)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ:

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<reportID>**: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- **<inputControlID>**: 入力コントロールの一覧から取得される入力コントロール識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポートの入力コントロールの取得 [530 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols	4.1 SP3
ドキュメントからレポートへの入力コントロールの移動 [551 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols?fromId=<fromID>	4.1 SP6
入力コントロールの定義の取得 [534 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>	4.1 SP3
入力コントロールの定義の更新 [540 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>	4.1 SP3
入力コントロールの追加 [544 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols	4.1 SP3
入力コントロールの削除 [546 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>	4.1 SP3
入力コントロールの選択の取得 [547 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection	4.1 SP3
入力コントロールの選択の設定 [548 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection	4.1 SP3
入力コントロールの選択の削除 [549 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection	4.1 SP3
入力コントロールおよび値の一覧 [527 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/lov	4.2 SP04
入力コントロールおよび値の一覧 [527 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/lov	4.2 SP04

2.10.3 レポートドリル API

Web Intelligence ドキュメント ([/documents/.../reports/.../driller/](#)) でレポートをドリルスルーするための REST API です。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<reportID>**: レポートの一覧から取得されるレポート識別子

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドリルモードの取得 [376 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller	4.0 SP6 または 4.1
クエリドリルの有効化 [378 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller	4.0 SP6 または 4.1
ドリルモードの更新 [377 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller	4.0 SP6 または 4.1
クエリドリルの無効化 [379 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller	4.0 SP6 または 4.1
空きドリル要素の取得 [381 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/drillelements	4.0 SP6 または 4.1
ドリル階層での情報の取得 [380 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/hierarchies	4.0 SP6 または 4.1
ドリルの実行 [388 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/instructions	4.0 SP6 または 4.1
ドリルモードでのレポートのスナップショットの作成 [389 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/snapshot	4.0 SP6 または 4.1

2.10.4 レポートドリルフィルタ API

Web Intelligence ドキュメント (/documents/.../reports/.../driller/filters) でレポートをドリスルーするフィルタを管理するための REST API です。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<reportID>**: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- **<filterID>**: ドリルフィルタの一覧から取得されるドリルフィルタ識別子

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドリルフィルタの作成 [382 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters	4.0 SP6 または 4.1
レポートのドリルフィルタの取得 [383 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters	4.0 SP6 または 4.1

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドリルフィルタの詳細の取得 [384 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>	4.0 SP6 または 4.1
ドリルフィルタの更新 [386 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>	4.0 SP6 または 4.1
ドリルフィルタの削除 [387 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>	4.0 SP6 または 4.1

2.11 レポート要素 API

レポートの要素を使用するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/)。レポート要素の作成、エクスポート、またはレポート要素データセットの取得には、これらの REST API を使用します。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<reportID>`: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- `<elementID>`: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素の作成 [391 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements	4.1 SP2
レポート要素の一覧の取得 [395 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements	4.0 SP6 または 4.1
レポート要素の詳細の取得 [399 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>	4.0 SP6 または 4.1
レポート要素のエクスポート [432 ページ]			
テーブルへの行または列の挿入 [429 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?strip=<strip>&position=<position>	4.1 SP6
テーブルセルの結合または分割 [430 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?operation=<operation>&targetCellIds=<CellID[,...]>	4.1 SP6

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素の背景の取得 [410 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/background	4.1 SP5
レポート要素のデータベースの取得 [411 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datapaths	4.1 SP3
レポート要素のデータセットの取得 [416 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/dataset	4.1 SP3
レポート要素の更新 [422 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>	4.1 SP2
レポート要素の削除 [437 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>	4.1 SP2
レポート要素での順位の取得 [467 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/ranking	

2.11.1 レポート要素軸 API

タイプがセクション、テーブル、またはチャートであるレポート要素の軸を管理するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/.../axes/)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- <elementID>: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子
- <axisID>: レポート要素がセクション、テーブル、またはチャートの場合の軸識別子
- <breakID>: レポート要素の詳細から取得されるブレイク識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

レポート要素軸の管理

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素の軸の詳細の取得 [441 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>	4.2 SP4
レポート要素の軸の更新 [443 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>	4.2 SP4

レポート要素軸の式

アクション	メソッド	URL	サポート開始
軸の式の更新 [445 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions	4.1 SP3
軸からの式の削除 [447 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions	4.1 SP3
レポート要素の軸式の取得 [444 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions	4.2 SP4

テーブル軸およびブレイク

アクション	メソッド	URL	サポート開始
軸の並べ替えの更新現在は使用しません。 レポート要素の1つの並べ替えの更新 [490 ページ] を参照してください。	-	4.2 SP04 以降では使用しません。	4.1 SP3
軸からの並べ替えの削除現在は使用しません。 レポート要素の特定の並べ替えの削除 [492 ページ]	-	4.2 SP04 以降では使用しません。	4.1 SP3
レポート要素での軸の並べ替えの取得 [460 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/sorts	4.1 SP4
テーブルのブレイクの作成 [448 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks	4.1 SP3
テーブルのブレイクの更新 [450 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks/<breakID>	4.1 SP3
テーブルのブレイクの削除 [451 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks/<breakID>	4.1 SP3
テーブル軸のすべてのブレイクの一覧表示 [454 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks	4.2 SP4
テーブル軸のブレイクの詳細の取得 [462 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks/<breakID>	4.2 SP4

2.11.2 レポート要素カスタムプロパティ API

レポート要素のカスタムプロパティを使用するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/.../properties)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<reportID>`: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- `<elementID>`: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子
- `<propertyKey>`: レポート要素のカスタムプロパティのキー

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
カスタムプロパティの一覧の取得 [474 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties</code>	4.1 SP3
カスタムプロパティ値の取得 [475 ページ]	GET	<code>/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties/<propertyKey></code>	4.1 SP3
レポート要素へのカスタムプロパティの追加 [475 ページ]	POST	<code>/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties</code>	4.1 SP3
カスタムプロパティの更新 [477 ページ]	PUT	<code>/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties</code>	4.1 SP3
カスタムプロパティの削除 [478 ページ]	DELETE	<code>/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties/<propertyKey></code>	4.1 SP3

2.11.3 レポート要素データフィルタ API

レポート要素に適用されるデータフィルタを使用するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/.../datafilter)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<reportID>`: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- `<elementID>`: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素のデータフィルタの作成 [479 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter	4.1 SP2
レポート要素のデータフィルタの詳細を取得する [480 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter	4.1 SP2
レポート要素のデータフィルタの更新 [482 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter	4.1 SP2
レポート要素からのデータフィルタを削除する [483 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter	4.1 SP2

2.11.4 レポート要素の計算 API

レポート要素の計算を管理するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/.../calculations/).

次の表は、API のサポートが導入されたリリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- <elementID>: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子
- <calculationID>: レポートの計算の一覧から取得される計算識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素の計算の取得 [468 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/calculations	4.3
計算の詳細の取得 [470 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/calculations/<calculationID>	4.3
計算の作成 [471 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/calculations	4.3

アクション	メソッド	URL	サポート開始
計算の削除 [473 ページ]	DELETE	/documents/ <documentId>/ reports/<reportId>/ elements/ <elementId>/ calculations/ <calculationId>	4.3

2.11.5 レポート要素順位 API

タイプがテーブル、セクション、チャート、またはカスタム要素であるレポート要素の順位を使用するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/.../ranking)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentId>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<reportId>`: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- `<elementId>`: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素での順位の作成 [464 ページ]	POST	/documents/<documentId>/reports/<reportId>/ elements/<elementId>/ranking	4.1 SP3
レポート要素の順位の更新 [465 ページ]	PUT	/documents/<documentId>/reports/<reportId>/ elements/<elementId>/ranking	4.1 SP3
レポート要素の順位の削除 [466 ページ]	DELETE	/documents/<documentId>/reports/<reportId>/ elements/<elementId>/ranking	4.1 SP3
レポート要素での順位の取得 [467 ページ]	GET	/documents/<documentId>/reports/<reportId>/ elements/<elementId>/ranking	

2.11.6 レポート要素並べ替え API

タイプがセクション、テーブル、またはチャートであるレポート要素の並べ替えを管理するための REST API (/documents/.../reports/.../elements/.../sortID)。

以下の表は、4.2 SP04 リリースに用意されている並べ替え API の概要を示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<reportID>**: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- **<elementID>**: レポートの要素の一覧から取得されるテーブル識別子
- **<sortID>**: 並べ替え識別子

レポート要素の並べ替えの管理

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素の並べ替えの取得 [485 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts	4.2 SP4
レポート要素の並べ替えの更新 [488 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts	4.2 SP4
レポート要素の並べ替えの削除 [491 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/	4.2 SP4
並べ替えの詳細の取得 [487 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/<sortID>	4.2 SP4
レポート要素の 1 つの並べ替えの更新 [490 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/<sortID>	4.2 SP4
レポート要素の特定の並べ替えの削除 [492 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/<sortID>	4.2 SP4

2.12 データプロバイダ API

ドキュメントのデータソースへのクエリを使用するための REST API (/documents/.../dataproviders/)。データベースプロバイダは、ユニバース、BEx クエリ、Excel スプレッドシート、および SQL 文の直接入力スクリプトです。

次の表は、API のサポートが導入されたリリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<dataProviderID>**: ドキュメントで利用可能なデータプロバイダの ID
- **<flowID>**: フロー件数からわかるフロー ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
データプロバイダの一覧の取得 [556 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders	4.0 SP5 または 4.1

アクション	メソッド	URL	サポート開始
データプロバイダの詳細の取得 [558 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>	4.0 SP5 または 4.1
データプロバイダの追加 [561 ページ]	POST	/documents/<documentID>/dataproviders	4.0 SP6 または 4.1
ドキュメント内のデータプロバイダの移動 [572 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataproviders?fromId=<DPn>&toId=<DPx>	4.0 SP6 または 4.1
データプロバイダの更新 [564 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>	4.0 SP5 または 4.1
データプロバイダの削除 [573 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>	4.0 SP6 または 4.1
データプロバイダのフロー件数の取得 [584 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/flows/count	4.0 SP5 または 4.1
フローの詳細の取得 [585 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/flows/<flowID>	4.0 SP5 または 4.1
フローのサンプルの取得 [587 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/flows/<flowID>/samples	4.1 SP5
クエリプランの取得 [589 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/queryplan	4.1 SP4
クエリプランの更新 [591 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/queryplan	4.1 SP4
クエリ仕様の取得 [593 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/specification	4.0 SP6 または 4.1
クエリ仕様の更新 [595 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/specification	4.0 SP6 または 4.1

2.12.1 データプロバイダ変更ソース API

データプロバイダをドキュメントの別のデータプロバイダに置き換えるには、これらの API を使用します (/documents/.../dataproviders/.../mappings/)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<dataProviderID>`: ドキュメントで利用可能なデータプロバイダの ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
デフォルトのストラテジーを使用した可能オブジェクトマッピングの取得 [574 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/mappings?originDataproviderIds=<DP1ID>,<DP2ID>&targetDataSourceId=<DataSourceID>	4.0 SP6 または 4.1
選択したストラテジーを使用した使用可能なオブジェクトマッピングの取得 [577 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/mappings?originDataproviderIds=<DP1ID>,<DP2ID>&targetDataSourceId=<DataSourceID>	4.1 SP6
データプロバイダのデータオブジェクトの変更 [580 ページ]	POST	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/mappings?originDataproviderIds=<DP1ID>,<DP2ID>&targetDataSourceId=<DataSourceID>	4.0 SP6 または 4.1

2.12.2 データプロバイダリフレッシュ API

これらの API は、データプロバイダ (/documents/.../dataproviders/.../parameters) からのパラメータのリフレッシュに使用します。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<dataProviderID>**: ドキュメントで利用可能なデータプロバイダの ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
データプロバイダの最新表示パラメータの取得 [665 ページ]	GET	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/parameters	4.1 SP5
データプロバイダの最新表示 [666 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/parameters	4.1 SP5

2.13 パブリケーション API

パブリケーションを使用するための REST API です。

次の表は、API のサポートが導入されたリリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- **<publicationID>**: パブリケーションの一覧から取得されるパブリケーション識別子

アクション	メソッド	URL	サポート開始
パブリケーションの詳細の取得 [678 ページ]	GET	/publications/ <publicationID>	4.3

2.14 バリエント API

Web Intelligence ドキュメント (/documents/.../variants/) でのバリエントを管理する REST API です。

次の表は、API のサポートが導入された 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ

- **<documentID>**: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- **<variantID>**: ドキュメントのバリエントの一覧から取得されるバリエント ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

バリエント

アクション	メソッド	URL	サポート開始
バリエントの一覧の取得 [654 ページ]	GET	/documents/<documentID>/variants	4.2 SP3
バリエントの詳細の取得 [656 ページ]	GET	/documents/<documentID>/variants/ <variantID>	4.2 SP3
バリエントの作成 [660 ページ]	POST	/documents/<documentID>/variants	4.2 SP3
バリエントの編集 [663 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/variants/ <variantID>	4.2 SP3
バリエントの削除 [664 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/variants/ <variantID>	4.2 SP3

2.15 SAP BW 接続および BEx クエリ API

SAP BW 接続および BEx クエリ (/bwconnections) を管理するための REST API です。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ **<bwConnectionID>** は SAP BW 接続の一覧から取得される接続識別子です。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
SAP BW 接続の一覧の取得 [609 ページ]	GET	/bwconnections	4.0 SP6 または 4.1
SAP BW 接続の詳細の取得 [610 ページ]	GET	/bwconnections/<bwConnectionID>	4.0 SP6 または 4.1
SAP BW 接続の詳細の参照 [611 ページ]	PUT	/bwconnections/<bwConnectionID>	4.0 SP6 または 4.1
BEx クエリのアウトラインの取得 [614 ページ]	PUT	/bwconnections/<bwConnectionID>/outline	4.0 SP6 または 4.1
BEx クエリの機能の取得 [615 ページ]	PUT	/bwconnections/<bwConnectionID>/capabilities	4.0 SP6 または 4.1

2.16 リソース検索 API

CMS リポジトリ内のユニバース、接続、フォルダといったリソースを検索するための REST API (/searches)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.0 または 4.1 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

アクション	メソッド	URL	サポート開始
リソースの取得 [691 ページ]	POST	/searches	4.1 SP6

2.17 コメント API

コメントを取得するための REST API (/comments)。

次の表は、API のサポートが導入された 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- `<reportID>`: レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- `<pageRange>`: レポートのページ番号
- `<elementId>`: レポートの要素の識別子
- `<commentId>`: コメントの ID

クエリパラメータ: 関連 API の詳細な説明を参照してください。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポートの表示可能なコメントの取得 [372 ページ]	GET	/documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/pages/comments	4.2 SP04
レポートのページ範囲の表示可能なコメントの取得 [373 ページ]	GET	/documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/pages/<{pageRange}>/comments	4.2 SP04
レポート要素のすべてのコメントまたは表示可能なコメントのみの取得 [494 ページ]	GET	/documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/elements/<{elementId}>/comments	4.2 SP04
レポート要素の特定のコメントの取得 [495 ページ]	GET	/documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/elements/<{elementId}>/comments/<{commentId}>	4.2 SP04
レポート要素への新規コメントの追加 [497 ページ]	POST	/documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/elements/<{elementId}>/comments	4.2 SP05
コメントスレッドでの特定メッセージの変更 [498 ページ]	PUT	documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/elements/<{elementId}>/comments/<{commentId}>	4.2 SP05
コメントスレッドでのメッセージの削除 [499 ページ]	DELETE	/documents/<{docId}>/reports/<{repId}>/elements/<{elId}>/comments/<{commentId}>	4.2 SP05

2.18 セッションセキュリティ API

この API を使用して、現在のセッションのセキュリティ権限を返します。

Web Intelligence アプリケーションに接続しているユーザに許可されたセキュリティ権限を取得します。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
現在のユーザの Web Intelligence セキュリティ権限の取得 [162 ページ]	GET	/session/rights	4.2 SP4

関連情報

[現在のユーザのドキュメントのセキュリティ権限の取得 \[230 ページ\]](#)

2.19 Web Intelligence OData API

OData プロトコルを使用して Web Intelligence ドキュメントのコンテンツを取得するための REST API。

次の表は、API のサポートが導入された 4.3 リリースを示しています。

ベース URL: `http://<server_name>:<port>/biprws/raylight/v1`

パスパラメータ:

- `<documentCUID>`: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID (CUID)。
- `<reportID>`: 取得するレポート要素を含むレポート ID。
- `<elementID>`: ターゲットのレポート要素の ID。
- `<dataProviderID>`: ドキュメントのデータプロバイダ ID。
- `<flowID>`: クエリ内のフローの ID。
- `<scheduleCUID>`: ドキュメント `<documentCUID>` の反復インスタンス ID (CUID)。

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントのキューブおよびレポート要素の取得 [703 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc</code>	4.3 SP3
ドキュメントのメタデータの取得 [703 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc/\$metadata</code>	4.3 SP3
ドキュメントのキューブデータセットの取得 [704 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc/cube_<dataProviderID>-<flowID></code>	4.3 SP3
ドキュメントのレポート要素データセットの取得 [705 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc/re_<reportID>-<elementID></code>	4.3 SP3
スケジュールの最終インスタンスのキューブとレポート要素の取得 [705 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc</code>	4.3 SP3
スケジュールの最終インスタンスメタデータの取得 [706 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc/\$metadata</code>	4.3 SP3
スケジュールの最終インスタンスのキューブデータセットの取得 [706 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc/cube_<dataProviderID>-<flowID></code>	4.3 SP3
スケジュールの最終インスタンスのレポート要素データセットの取得 [707 ページ]	GET	<code>documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc/re_<reportID>-<elementID></code>	4.3 SP3
レポート要素のデータフロー名の取得 (非推奨) [708 ページ]	GET	<code>documents/<documentCUID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/data.svc/</code>	4.3 SP2
レポート要素メタデータの取得 (非推奨) [708 ページ]	GET	<code>documents/<documentCUID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/data.svc/\$metadata</code>	4.3 SP2

アクション	メソッド	URL	サポート開始
レポート要素データの取得 (非推奨) [709 ページ]	GET	documents/<documentCUID>/reports/ <reportID>/elements/<elementID>/ data.svc/Flows0	4.3 SP2

3 RESTful Web サービス SDK ユーザガイドの紹介

このガイドは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.2 サポートパッケージ 3 リリースに関連しています。

このガイドについて

Web Intelligence および BI セマンティックレイヤ向け SAP BusinessObjects RESTful Web サービス SDK ユーザガイドには、BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK および Web Intelligence RESTful Web サービス SDK に関する概念情報と参照情報が提供されています。

- 目的とコンセプト
- SDK 付属のサンプルの使用方法
- REST API の HTTP メソッドと URL
- REST API の要求と応答の例

[対象読者 \[45 ページ\]](#)

[このガイドの表記規則 \[45 ページ\]](#)

[主要タスク \[46 ページ\]](#)

[使用事例 \[46 ページ\]](#)

3.1 対象読者

Web Intelligence および BI セマンティックレイヤ向け SAP BusinessObjects RESTful Web サービス SDK ユーザガイドは、BI プラットフォーム Web サービスにアクセスし、BI プラットフォーム Web サービスを利用するプログラムの作成を担当する開発者を対象としています。これらのプログラムは、BI プラットフォームの Business Intelligence ソリューションに埋め込むことができます。

3.2 このガイドの表記規則

このガイドの整合性と読みやすさのため、以下を適用します。

- 要求本文および応答本文のスキーマは、閉じタグのない XML 形式で記述されます。一方、REST API 呼び出しの例では、要求および応答は、XML または JSON 形式ですべて記述されます。
- REST API リファレンスでは、デフォルトのベース URL を指定しません。デフォルトのベース URL については、「デフォルトのベース URL」の節で説明されています。

3.3 主要タスク

このガイドでは、RESTful Web サービス SDK の使用に関する重要な情報について説明しています。次の各タスクについては、適切な節を参照してください。

タスク	説明
ユニバースの説明の取得	ユニバースの詳細の取得 (セマンティックレイヤ) [167 ページ]
クエリのデザイン	クエリ [105 ページ]
ユニバースのクエリ	クエリの作成 [179 ページ]
クエリ結果の取得	クエリ結果の管理 [204 ページ]
空の Web Intelligence ドキュメントの作成	ドキュメントの作成 [224 ページ]
ドキュメントへのデータソースの追加	データプロバイダの追加 [561 ページ]
ドキュメントへのクエリ仕様の追加	クエリ仕様の更新 [595 ページ]
ドキュメントデータの取得	ドキュメントの最新表示 [627 ページ]
空のレポートの作成	レポートの作成 [338 ページ]
レポートでの要素の作成	レポート要素の作成 [391 ページ]
レポートの書式設定	レポート要素の更新 [422 ページ]
ドキュメントの最新表示	ドキュメントの最新表示 [620 ページ]
ドキュメントのスケジュール	スケジュールの追加 [671 ページ]

3.4 使用事例

SAP BusinessObjects RESTful Web サービス SDK では、HTTP プロトコルを使用し、CMS リポジトリに保存されている SAP BusinessObjects BI プラットフォームのリソース (ユニバース、Web Intelligence ドキュメント、およびレポート) にアクセスすることができます。提供された Web サービスが HTTP 経由で要求を送信し、XML または JSON 形式の応答を受け取るように、CRUD (作成、読み取り、更新、削除) 操作を実装します。

たとえば、これらの SDK を使用してデータプロバイダからデータを取得し、レポート要素を使用して作成したレポートを通じてそのデータを公開することができます。レポートのスケジュールを実行し、レポートをドリルスルーして、ビジネスデータを調査/分析することができます。また、ユニバースメタデータを参照し、クエリを送信/実行することもできます。

SDK で、以下のようなビジネス要件に対応することができます。

- カスタムアプリケーション内でのユニバースメタデータの公開
- カスタムクエリパネルの作成とあらゆる場所への埋め込み
- 分析中におけるオンザフライでのクエリの作成
- カスタムスクリプトや Java アプリケーションなどに対する直接のクエリの実行
- クライアントツールにビジネスデータをフィードするためのクエリの実行

- SAP 以外のクライアントツールまたは Web アプリケーションへのドキュメントとレポートの埋め込み
- カスタムアプリケーション内でのドキュメントとレポートの使用

4 RESTful Web サービス SDK の紹介

REST の動作手法

SDK の動作手法は REST に準拠します。HTTP 要求の実行をサポートする任意のプログラミング言語を使用してこの SDK にアクセスできます。Microsoft Windows、UNIX、またはモバイルプラットフォームなどの任意のオペレーティングシステムから HTTP 要求を送信することができます。HTTP 要求の作成ツールを使用すれば、コードを記述することなく HTTP 要求を作成することもできます。

開始する前に

1. WebApplicationContainerServer (WACS) サーバが実行されていることを確認します。このサーバは RESTful Web サービスをホストします。
2. サーバの利用状況をトレースすることを決定します。
3. ベース URL を取得します。[デフォルトのベース URL \[50 ページ\]](#)を参照してください。
4. BI プラットフォームにログインして、ログオントークンを取得します。[BI プラットフォームにログインする \[51 ページ\]](#)を参照してください。

以下については、*Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドを参照してください。

- WACS サーバの起動
- トレース ログの有効化
- トレースの表示

以下については、*BI プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイド*を参照してください。

- 開発環境の設定
- カスタムインストールでの RESTful Web サービスのインストール
- CMC からの、またはプログラムによるベース URL の取得
- BI プラットフォーム RESTful Web サービス SDK へのログイン
- BI プラットフォーム RESTful Web サービス SDK からのログオフ

RESTful Web サービス SDK は、セッション管理とリポジトリへのアクセスに、BI プラットフォーム RESTful Web サービス API も使用します。

形式

XML と JavaScript Object Notation (JSON) のどちらの要求および応答形式もサポートされます。JSON 形式の詳細については、www.json.org および [RFC4627](https://tools.ietf.org/html/rfc4627) を参照してください。XML 形式の詳細については、www.w3.org/XML を参照してください。

SDK の要求本体には、次の JSON 構文が必要です。

- 属性の at 記号 (@)
- 要素値のドル記号 (\$)

例:

XML	JSON
<pre><schedule> <id>9439</id> <name>now-schedule</name> <format type="webi"/> <status id="1">Completed</status> <destination> <ftp> <host>vs0202</host> <port>21</port> <username>admin</username> <account/> <directory>./</directory> </ftp> </destination> </schedule></pre>	<pre>{ "schedule": { "id": "9439", "name": "now-schedule", "format": { "@type": "webi" }, "status": { "@id": 1, "\$": "Completed" }, "destination": { "ftp": { "host": "vs0202", "port": "21", "username": "admin", "directory": "./" } } } }</pre>

4.2 SP3 リリースでは、応答本文でサポートされる JSON 形式が変更されました。SAP ノート番号 2312733 "Web Intelligence RESTful Web Service does not return valid empty arrays and singletons in JSON" を参照してください。

	4.2 SP3 より前	4.2 SP3 以降
JSON 配列に子がない場合	<pre>{ "reports": { "report": "" } }</pre>	<pre>{ "reports": { "report": [] } }</pre>
JSON 配列に子が 1 つある場合	<pre>{ "reports": { "report": { { ... } } }</pre>	<pre>{ "reports": { "report": [{ ... }] }</pre>
JSON 配列に子が複数ある場合 - 変更なし	<pre>{ "reports": { "report": [{ ... }, { ... }, { ... }] } }</pre>	<pre>{ "reports": { "report": [{ ... }, { ... }, { ... }] } }</pre>

[デフォルトのベース URL \[50 ページ\]](#)

[BI プラットフォームにログオンする \[51 ページ\]](#)

[ドキュメントのステータス \[51 ページ\]](#)

Web Intelligence が REST Web サービスの原則に準拠するとしても、パフォーマンス上の理由からドキュメント管理は完全にステートレスではありません。

[Web Intelligence RESTful Web サービス SDK の情報の取得 \[52 ページ\]](#)

[ユーザ詳細へのログイン \[54 ページ\]](#)

[複数言語のサポート \[55 ページ\]](#)

[要求本文中の不要な情報 \[55 ページ\]](#)

[HTTP 要求ステータス \[57 ページ\]](#)

[成功メッセージおよびエラーメッセージ \[58 ページ\]](#)

4.1 デフォルトのベース URL

Web Intelligence および BI セマンティックレイヤの RESTful Web サービスを使用するには、HTTP 要求を受信するサービスのプロトコル、サーバ名、ポート番号、およびパスを把握する必要があります。▶ [アプリケーション](#) ▶ [REST Web サービス](#) ▶ [プロパティ](#) ▶ [アクセス URL](#) から CMC でのデフォルトのベース URL を設定します。詳細については、*Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドの 12 章を参照してください。

BI プラットフォームが単一のサーバーにインストールされる基本インストールでは、デフォルトのベース URL として以下が使用されます。

Web サービス SDK	URL
BI プラットフォーム	<code>http://<server_name>:6405/biprws</code>
BI セマンティックレイヤ	<code>http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1</code>
Web Intelligence	<code>http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1</code>

① 注記

6405 は RESTful Web サービスによって使用されるデフォルトの HTTP ポート番号です。

このガイドの表記規則

このガイドで説明されている REST API には、以下の規則が適用されます。

- `<base_bip_REST_URL>` は、`http://<server_name>:6405/biprws` を表します。
- `<base_webi_REST_URL>` は `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1` を表します。
- `<base_sl_REST_URL>` は、`http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1` を表します。

① 注記

API リファレンスでは、読みやすさのためにデフォルトのベース URL を表示していません。

4.2 BI プラットフォームにログインする

BI プラットフォームへの認証には、ログオントークンが必要です。以下の手順は、このトークンを取得するための一般的な方法を説明しています。

1. 認証情報を取得します。

要求:

```
GET http://<server_name>:6405/biprws/logon/long
```

応答:

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="userName" type="string"/></attr>
  <attr name="password" type="string"></attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD,secSAPR3">secEnterprise</attr>
</attrs>
```

2. ステップ1の応答を BI プラットフォーム認証情報を含む要求本文として使用して、ログオントークンを取得します。

要求:

```
POST http://<server_name>:6405/biprws/logon/long
```

BI プラットフォーム認証情報を含む要求本文:

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="userName" type="string"><myUserName></attr>
  <attr name="password" type="string"><myPassword></attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD,secSAPR3">secEnterprise</attr>
</attrs>
```

応答:

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="LogonToken" type="string">COMMANDCOM-
LCM:6400@{3&2=5595,U3&p=40674.9596541551,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60
,03&68=

secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=SFY6agrLPxpfQBK1ZKYCwoBZKCbfsQm7Vg
WZFiH.RhM,UP</attr>
</attrs>
```

二重引用符で囲まれたログオントークン値を追加要求の要求ヘッダ X-SAP-LogonToken に追加します。

4.3 ドキュメントのステータス

Web Intelligence が REST Web サービスの原則に準拠するとしても、パフォーマンス上の理由からドキュメント管理は完全にステートレスではありません。

ドキュメントは、その作成時または編集時に、BI プラットフォームリポジトリに即座には保存されません。

変更内容は、PUT 要求を使用してドキュメントを保存するまでメモリに保持されます。ステータスは、ドキュメントにおいて変更が進行中であるかどうかを示すように更新されます。

実際の変更内容を保存するには、POST /documents/<documentId> または PUT /documents/<documentId> の呼出を使用します。

関連情報

[ドキュメントの保存 \[232 ページ\]](#)

[ドキュメントの状態の更新 \[246 ページ\]](#)

4.4 Web Intelligence RESTful Web サービス SDK の情報の取得

使用法

SAP BusinessObjects Web Intelligence RESTful Web サービス SDK の実行バージョンについて以下の情報を返します。

- 製品名
- バージョン番号
- バージョン名
- メジャーリリース、マイナーリリース、サポートパッケージ、パッチ、およびビルド番号
- タイムスタンプ
- 著作権

① 注記

- 結果は、実行時ではなく構築時に計算され、接続済みかどうかに依存します。
- どの Web ブラウザでも認証なしにこの URL にアクセスできます。

要求

GET/about

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

XML

```
<about>
  <title>Web Intelligence - Raylight</title>
  <version>1.0</version>
  <vendor>SAP SE. All rights reserved.</vendor>
  <build major="14" minor="1" sp="5" patch="8" number="1754">14.1.5.1754</
build>
  <timestamp>20150805.031625</timestamp>
  <copyright>?©2010 - 2017 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights
reserved.</copyright>
</about>
```

JSON

```
{ "about":
  { "title": "Web Intelligence - Raylight",
    "version": 1,
    "vendor": "SAP SE",
    "build": {
      "@major": "14",
      "@minor": "1",
      "@sp": "5",
      "@patch": "8",
      "@number": "1754",
      "$": "14.1.5.1754"
    },
    "timestamp": "20150805.031625",
    "copyright": "?©2010 - 2017 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights
reserved."
  }
}
```

例: 認証を使用する

認証を使用すると、結果は実行時に計算され、その大部分が BOE サーバから生成されます。セッションが確立されているため、ローカリゼーションも可能です。

GET/about

受け入れ: application/xml

XML

```
<about>
  <title>Web Intelligence</title>
  <version>1.0</version>
  <vendor>© 2010-2017 SAP SE. All rights reserved.</vendor>
  <build major="14" minor="2" sp="4" patch="0" number="912">14.2.4.912</
build>
  <timestamp>20170314.000118</timestamp>
  <copyright>© 2010-2017 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights
reserved. SAP and other SAP products and services mentioned herein as well as
their respective logos are trademarks or registered trademarks of SAP SE in
Germany and other countries. Please see http://www.sap.com/corporate-en/legal/
copyright/index.epx#trademark for additional trademark information and notices.</
copyright>
```

```
</about>
```

4.5 ユーザ詳細へのログイン

用途

ログインしたユーザについて以下の情報が返されます。

- 識別子
- ユーザ名
- CUID 番号
- タイムゾーン
- 優先表示ロケール
- 製品ロケール

要求

GET /session

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

XML

応答:

```
<session>
  <user>
    <id>6357</id>
    <name>user</name>
    <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
    <timeZone>Japanische Normalzeit</timeZone>
    <preferredViewingLocale>ja-JP</preferredViewingLocale>
    <productLocale>de</productLocale>
  </user>
</session>
```

JSON

応答:

```
{
  "session": {
    "user": {
      "id": 6357,
      "name": "user",
      "cuid": "AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk",
      "timeZone": "Japanische Normalzeit",
      "preferredViewingLocale": "ja-JP",
      "productLocale": "de"
    }
  }
}
```

4.6 複数言語のサポート

RESTful Web サービス SDK では、多言語環境での作業が可能です。Web Intelligence ドキュメントとシステムメッセージを優先言語で返すように要求できます。要求ヘッダに以下の宣言を含めます。

ヘッダ	値
Accept-Language	システムメッセージとエラーメッセージの取得に使用される優先言語。これは、BI プラットフォームの製品ロケール (PL) に対応します。システムメッセージをフランス語で取得するには、Accept-Language を fr-FR に設定します。
X-SAP-PVL	Web Intelligence ドキュメントなどの BI リソースコンテンツの取得に使用される優先言語。これは、優先表示言語 (PVL) に対応します。すべてのドキュメントをドイツ語で要求するには、X-SAP-PVL を de-DE に設定します。

RESTful Web サービスは、クライアントが要求する優先表示ロケールごとにクライアントマシンのメモリ内で Web Intelligence ドキュメントのインスタンスを 1 つ開きます。

4.7 要求本文中の不要な情報

POST または PUT HTTP 要求と本文を送信して、Web Intelligence リソースを作成または更新することができます。要求されたアクションを実行する必要があるという情報を入力した場合、そのメソッドは単に無視され、成功のメッセージが返されます。

例

次の要求を送信して、ウォーターフォールチャートの <dataLabels> プロパティを更新します。

```
PUT <base_webi_REST_URL>/documents/8084/reports/12/elements/27
```

SAP BusinessObjects Web Intelligence では、ウォーターフォールチャートに凡例は含まれていません。ただし、送信する要求本文には、以下の凡例が含まれています。

```
<element type="Visualization">
  <parentId>2</parentId>
  <content>
    <chart type="Waterfall">
      <layout showDimensionsWithEmptyMeasureValues="true"
showDimensionsWithMeasuresEqualToZero="true"
      showDimensionsWithSumOfMeasuresEqualToZero="true"
showMeasuresWithEmptyDimensionValues="false"
      showTotal="true" parentAsTotal="false"
duplicateRowAggregation="true" horizontal="false"/>
      <title visible="true">
        ...
      </title>
      <legend visible="true">
        <style>
          <border thickness="None">
            <color rgb="#000000" alpha="0"/>
          </border>
          <background>
            <color rgb="#000000" alpha="0"/>
          </background>
          <font size="12" face="Helvetica" italic="true" bold="true"
strikethrough="false"
            underline="false" rgb="#00c7ff"/>
          <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Wrap"/>
        </style>
        ...
      </legend>
      <dataLabels type="Value" visible="false">
        <style>
          <border thickness="None">
            <color alpha="255" rgb="#000000"/>
          </border>
          <background>
            <color alpha="0" rgb="#000000"/>
          </background>
          <font size="10" face="Colibri" italic="false" bold="true"
strikethrough="false"
            underline="false" rgb="#ffffff"/>
        </style>
      </dataLabels>
    </chart>
  </content>
</element>
```

REST Web Service SDK では、<legend> パーツを無視して要求に応じてチャートが更新されます。

応答は以下のメッセージです。

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "27" has been
successfully updated.</message>
  <id>27</id>
</success>
```

4.8 HTTP 要求ステータス

HTTP 要求の応答は、要求呼び出しの成功またはエラーに関する情報を提供する `Status Code` 属性を含みます。HTTP 要求のステータスを提供するコードに関しては、下の表を参照してください。

コード	ステータス	説明
200	成功	正常な要求
400	不正な要求	要求されたリソースは存在しますが、要求にエラーがあります。
401	ログオンの失敗または無効なセッション	Logon failed. (ログオンに失敗しました。) ユーザ名、パスワード、およびサーバ名が正しいことを確認してください。現在のセッションが期限切れになっている可能性があります。ログオンして新しいセッションを取得してください。
403	アクセス拒否	要求されたリソースを操作する権限がありません。
404	サービス利用不可	要求されたサービスは、RESTful Web サービス SDK から提供されていません。
405	無効な要求メソッド	リソースがサポートしていないメソッドを使用して要求が行われました。例として、読み取り専用リソースに対して PUT 要求を行いました。
406	受け入れ不可	要求されたリソースは、要求ヘッダーの <code>Accept</code> 属性で指定されているコンテンツタイプを生成できません。
408	BI platform サーバタイムアウト	要求の待機中にサーバがタイムアウトになりました。
415	サポートされていないメディアタイプ	サーバまたはリソースがサポートしていないメディアタイプが要求に含まれています。
500	RESTful Web サービス内部エラー	未分類のエラーが発生しました。詳細については、応答本文を参照してください。
503	RESTful Web サービスプラグインが見つからない	Web サービスが使用できません。サービスが正しく設定されていることを確認します。

例: 応答ヘッダのコンテンツ

この例では、正常な応答コードを示します。

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: Apache-Coyote/1.1
Date: Fri, 15 Jun 2012 10:14:15 GMT
Content-Type: application/xml
Content-Length: 204
```

4.9 成功メッセージおよびエラーメッセージ

成功メッセージ

要求が成功すると、REST API の HTTP 呼び出しから XML 形式または JSON 形式のメッセージが次のように返されます。

```
{ "success":
  { "message": "a success message",
    "id": "an identifier"
  }
}
```

ここで id は、クエリ、ドキュメント、変数、スタイルなどの対象オブジェクトの識別子を示しています。まれに id がない場合があります。

例: JSON 成功メッセージ

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: Apache-Coyote/1.1
Date: Tue, 13 Jan 2015 10:14:15 GMT
Content-Type: application/json
Content-Length: 204
{ "success":
  { "message": "The resource of type ¥"Document¥" with identifier ¥"16706¥" has
    been successfully updated.",
    "id": "16706"
  }
}
```

エラーメッセージ

要求が失敗すると、呼び出しで以下のような XML または JSON 形式のメッセージが返されます。

```
<error>
```

```
<error_code>An error code</error_code>
<message>An error message</message>
</error>
```

次の表は、発生する可能性がある RESTful Web サービス SDK のエラーコードを示します。これらのコードは、それぞれエラーメッセージのカテゴリに対応しています。

エラーコード	説明
WSR 00001	ユーザがセッショントークンを指定していません。セッションが見つかりません。
WSR 00002	セッショントークンが無効です。
WSR 00100	ルールに従っていません。
WSR 00101	引数が正しくありません。
WSR 00102	要求本文の形式が正しくありません。
WSR 00103	要求は無効です。
WSR 00400	存在しないリソースを取得しようとしています。
WSR 00401	すでに存在するリソースを作成しようとしています。
WSR 00402	リソースへのアクセスに失敗しました。
WSR 00501	サポートされていないアクションを実行しようとしています。
WSR 00999	これは内部エラーです。

BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK のエラーコードはより具体的です。これらのエラーコードは、それぞれ特定のエラーメッセージおよび特定のエラーに対応しています。エラーメッセージの詳細な説明については、エラーメッセージの説明ガイドを参照してください。

CMC で WACS サーバの [\[エラースタックの表示\]](#) プロパティをチェックすることによって、デバッグ目的で完全なエラースタックトレースを表示することができます。完全な手順については、*Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドを参照してください。

① 注記

API の参照チャプターはエラーが発生した場合の呼び出しの応答の説明にはなりません。

例: 400 エラーコード

```
Content-Type: application/xml
HTTP Response Code: 404
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<error>
  <error_code>WSR 00400</error_code>
  <message>The expression "[DUMMY]" cannot be found in the document
dictionary.</message>
</error>
```

例: 401 エラーコード

```
Content-Type: application/xml
HTTP Response Code: 400
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<error>
  <error_code>WSR 00401</error_code>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "154769" already has
an inner resource of type "Data filter".</message>
</error>
```


5 RESTful Web サービスのサンプルの使用

Web Intelligence RESTful Web サービス SDK と BI Semantic Layer RESTful Web サービス SDK の用途を示すコードサンプルが提供されています。

以下のサンプルは Java コードスニペットです。これらのサンプルで、Java アプリケーションを実装して REST API への HTTP 呼び出しを実行する方法を理解することができます。これらのサンプルを基礎として使用することで、独自の Java プログラミングを容易にし、促進することができます。

BI セマンティックレイヤ REST API のサンプルは、C:\Program Files (x86)\SAP Business Objects\SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0\SL SDK\SDK\Samples\SLRESTWebService.zip のアーカイブに提供されています。

Web Intelligence REST API のサンプルは、C:\Program Files\SAP BusinessObjects\SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0\Samples\webi\RaylightRESTWS_Samples.zip のアーカイブに提供されています。

[BI セマンティックレイヤの REST API サンプルについて \[61 ページ\]](#)

[Web Intelligence REST API サンプルについて \[63 ページ\]](#)

5.1 BI セマンティックレイヤの REST API サンプルについて

以下の表に説明されている SDK のサンプルは、SPL_Warehouse.unx サンプルユニバースとともに動作します。サーバインストールセットアップから **開発者ツール** > **ウェアハウスデータベースおよびユニバースサンプル** を選択して、このユニバースをシステムにインストールできます。このユニバースは、SAP Community Network (<http://scn.sap.com/docs/DOC-22145>) にあります。

クラス	説明
GetUniverseMetadataTest	GET /universes/<universeID> を使用して、ユニバースの詳細を返します。
GetUniversesTest	GET /universes?offset&limit を使用して、CMS リポジトリ内のユニバースの一覧を返します。
GetUniverseViews	GET /universes/<universeID>/businessviews を使用して、ユニバースの詳細を返します。
QueryExecutionTest	ユニバース上にクエリを作成します。 <ul style="list-style-type: none">POST /queriesPOST /queries を使用して、クエリを作成します。GET /queries/<queryID>/data.svc を使用して、クエリを返します。GET /queries/<queryID>/data.svc/<flowName> を使用して、クエリの結果を返します。DELETE /queries/<queryID> を使用して、クエリを削除します。

クラス	説明
QueryParametersTest	<p>ユニバース上にクエリを作成して、このクエリに必要なパラメータを返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • POST /queries を使用して、パラメータを含むクエリを作成します。 • GET /queries/<queryID>/parameters を使用して、クエリの結果を返します。 • GET /queries/<queryID>/data.svc を使用して、クエリを返します。 • GET /queries/<queryID>/data.svc/<flowName> を使用して、クエリの結果を返します。 • DELETE /queries/<queryID> を使用して、クエリを削除します。

リソースとユーティリティパッケージ

com.sap.sl.sdk.consumption.samples.resources パッケージにはクエリ仕様など、サンプルの要求で使用される XML 記述が含まれています。com.sap.sl.sdk.consumption.samples.util パッケージでは、サンプルでのユーティリティのアクション (ログイン、CMS パラメータの入力、要求の送信など) の実行に役立つクラスを提供しています。

[Eclipse を使用してサンプルをデプロイする \[62 ページ\]](#)

5.1.1 Eclipse を使用してサンプルをデプロイする

Java サンプルを Eclipse プロジェクトで実行できます。

1. eclipse.exe ファイルをダブルクリックして Eclipse を起動し、ワークスペースを選択します。
Eclipse 3.6 以上を使用してください。
2. プロジェクトを作成します。
3. **ファイル > インポート** を選択します。
インポートダイアログボックスが表示されます。
4. **[General]** を展開し、**[Existing Projects into Workspace]** を選択して、**[Next]** をクリックします。
5. **[Select archive file]** オプションを選択し、**[Browse]** をクリックします。
6. サンプルディレクトリを参照し、SLRESTWebService.zip を選択します。
7. **[Projects]** 領域で **[com.sap.sl.sdk.consumption.samples]** を選択し、**[Finish]** をクリックします。
[Package Explorer] ビューに、com.sap.sl.sdk.consumption.samples プロジェクトフォルダが表示されます。
8. **[com.sap.sl.sdk.consumption.samples.util]** の下の BaseTest.java ファイルを編集用に開きます。
9. インストールに対応する値を使用して、次のパラメータを入力します。
 - CMS_SERVER_URL: RESTful Web サービスをホストするサーバによって公開される URL
 - CMS_USER: サンプルで CMS リポジトリ接続用に使用されるユーザ名
 - CMS_PASSWORD: サンプルで CMS リポジトリ接続用に使用されるパスワード
10. **[com.sap.sl.sdk.consumption.samples]** の下のサンプルクラスを右クリックし、**Run As > 2 JUnit Test** を選択します。

サンプルが実行され、BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK の機能を確認することができます。

5.2 Web Intelligence REST API サンプルについて

下表に示されている SDK サンプルは、次に挙げるユニバースとドキュメントのセットに使用されます。

- Warehouse.unx、eFashion.unx、および eFashion.unv ユニバース
- [Raylight Sample Template] Change Source、[Raylight Sample Template] Empty、[Raylight Sample Template] Refresh、および [Raylight Sample Template] Schedule ドキュメント

ZIP ファイルに含まれている LCMBIAR ファイルを CMS リポジトリにデプロイして、これらのサンプルを実行できるようにする必要があります。アーカイブファイルは lcmbiar/RaylightSamples.lcmbiar です。これらのサンプルを実行すると、Web Intelligence ドキュメントが CMS リポジトリに生成され、Documents/Folders/Web Intelligence Samples に置かれます。

クラス	説明
CreateAndSaveSample	<p>空の Web Intelligence ドキュメントを作成して保存します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 空の新規ドキュメントの作成• データプロバイダの追加• クエリ仕様の追加• レポートの追加• ドキュメントの保存 <p>データプロバイダとクエリ仕様はドキュメントに添付され、後で利用可能になります。</p> <p>トレースをコンソールに表示するには、<code>deleteDocument(newDocID)</code> が含まれる行のコメントを解除します。</p>
ChartSample	<p>既存のドキュメントに 4 つのチャートを追加します。</p> <ul style="list-style-type: none">• ドキュメントの最新表示 (データプロバイダ/クエリ仕様)• タイトルの表示に使用するセルの追加• レポートへの縦棒チャートの追加• レポートへのドーナツ型チャートの追加• 横棒チャートと専用データフィルタの追加• 等高線チャートと専用データフィルタの追加
TableSample	<p>7 つの列を含むテーブルをドキュメントに追加します。</p> <ul style="list-style-type: none">• プロンプト値を含むドキュメントの最新表示• タイトルの表示に使用するセルの追加• レポートへの垂直テーブルの追加• 製品の列幅サイズの自動変更• アラータと変数の追加• テーブルへの空列の追加および変数の入力

クラス	説明
RefreshSample	<p>異なる方法でドキュメントを最新表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更なしによる最新表示 変更による最新表示: カスタムコンテキストおよびプロンプト 最新表示の取消
ScheduleSample	<p>異なる方法でドキュメントをスケジュールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> データからのドキュメントの消去および保存 ドキュメントのスケジュール - BI ラウンチパッド受信ボックス ドキュメントのスケジュール - 電子メールアドレス ドキュメントのスケジュール - FTP サーバ ドキュメントのスケジュール - ファイルシステム <p>BI ラウンチパッドに対するスケジュールの場合にのみ CMS サーバ設定が不要になります。</p>
FreeHandSQLSample	<p>直接入力 SQL データプロバイダを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空のドキュメントの作成 レポート名の変更 接続がリレーショナルであるかどうかのチェック実行 カスタムクエリを使用した直接入力 SQL データプロバイダの追加 セルタイトルの追加 変更なしによるデータの最新表示 直接入力 SQL データプロバイダのデータを使用したチャートの追加 入力コントロールの追加 <p>カスタムクエリを使用する前に、データベーススキーマを知る必要があります。</p>
ChangeSourceSample	<p>既存ドキュメントのデータソースを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソースの変更に提案マッピングの取得 変更なしによる提案マッピングの適用 <p>マッピングを編集して独自のデータオブジェクトを設定するには、<code>editMapping()</code> が含まれる行のコメントを解除します。</p>

リソースとユーティリティパッケージ

`com.sap.webi.raylight.samples.resources` パッケージにはクエリ仕様など、サンプルの要求で使用される XML 記述が含まれています。 `com.sap.webi.raylight.utils` パッケージには、サンプルでのユーティリティのアクション (ログイン、CMS パラメータの入力、要求の送信など) の実行に役立つクラスが提供されています。 `com.sap.webi.raylight.param` には、サンプルの実行に必要なパラメータが含まれています。

[LCMBIAR ファイルをデプロイする \[65 ページ\]](#)

[Eclipse を使用してサンプルをデプロイする \[65 ページ\]](#)

5.2.1 LCMBIAR ファイルをデプロイする

サンプルをデプロイして実行する前に、LCMBIAR アーカイブファイルをデプロイする必要があります。



1. CMC にログインします。
2. [管理] メニューの [プロモーションマネジメント] を選択します。
3. ▶ **インポート** ▶ **ファイルのインポート** ▶ を選択します。
4. [ファイルシステム] をチェックして [ファイルの選択] をクリックし、RaylightSamples.lcmbiar ファイルを ZIP からアップロードします。
5. [OK] をクリックします。
[新しいジョブ] ダイアログボックスが表示されます。RSamples という名前の新しいジョブがすでに入力されています。
6. [ソース] として [ファイルから] を選択し、[出力先] として [新しい CMS へのログイン] を選択します。
[システムにログイン] ダイアログボックスが表示されます。
7. CMS リポジトリの認証情報を入力して [OK] をクリックします。
8. [新しいジョブ] ダイアログボックスの [作成] をクリックします。
LCMBIAR ファイルコンテンツが表示されます。
9. [依存関係の管理] をクリックし、ユニバースとドキュメントとの間の依存関係をチェックします。問題がなければ、[適用して閉じる] をクリックします。
10. [昇格] をクリックし、[昇格ジョブ] フォルダにジョブを追加します。
RSamples ジョブが [昇格ジョブ] フォルダに表示されます。
11. このジョブを選択して [昇格] をクリックします。
昇格対象のすべてのジョブが一覧表示されます。
12. [スケジュール] をクリックし、デプロイメントを終了します。

5.2.2 Eclipse を使用してサンプルをデプロイする

Java サンプルを Eclipse プロジェクトで実行できます。

1. eclipse.exe ファイルをダブルクリックして Eclipse を起動し、ワークスペースを選択します。
Eclipse 3.6 以上を使用してください。
2. プロジェクトを作成します。
3. ▶ **ファイル** ▶ **インポート** ▶ を選択します。
インポートダイアログボックスが表示されます。
4. [全般] を展開し、[既存のプロジェクトをワークスペースにインポート] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [アーカイブファイルの選択] オプションを選択し、[参照] をクリックします。
6. サンプルディレクトリを参照し、RaylightRESTWS_Samples.zip を選択します。
7. [プロジェクト] 領域で *com.sap.webi.raylight.samples* を選択し、[完了] をクリックします。
[パッケージエクスプローラ] ビューに *com.sap.webi.raylight.samples* プロジェクトフォルダが表示されます。
8. *com.sap.sl.webi.raylight.param* の下の Config.java ファイルを編集用を開きます。
9. インストールに対応する値を使用して、次のパラメータを入力します。

- CMS_SERVER_URL: RESTful Web サービスをホストするサーバによって公開される URL
- CMS_USER: サンプルで CMS リポジトリ接続用に使用されるユーザ名
- CMS_PASSWORD: サンプルで CMS リポジトリ接続用に使用されるパスワード

10. [[com.sap.webi.raylight.samples](#)] の下のサンプルクラスを右クリックし、 [Run As](#)  を選択します。

サンプルが実行され、生成された Web Intelligence ドキュメントの検索が CMS リポジトリの Documents/Folders/Web Intelligence Samples で可能になります。

6 RESTful Web サービス SDK のコンセプトとスキーマ

以降の節では、ユニバース、クエリ、パラメータ、チャート、スケジュール、およびデータソースのマッピングに関する XML 要求と応答のスキーマを詳細に説明します。

このリリースでは、以下の BI セマンティックレイヤのコンセプトをサポートします。

- ディメンション、属性、およびメジャー
- 定義済みフィルタ
- 単純なカスタムクエリフィルタおよびサブクエリフィルタ
- 複合クエリー
- 値の一覧
- パラメータ

[レポート構造 \[67 ページ\]](#)

[チャート \[69 ページ\]](#)

[日付と時刻の書式 \[104 ページ\]](#)

[クエリ \[105 ページ\]](#)

[パラメータ \[132 ページ\]](#)

[ソースの変更 \[143 ページ\]](#)

[スケジュール \[150 ページ\]](#)

[ユニバース \[156 ページ\]](#)

[オブジェクトの完全パス \[160 ページ\]](#)

[ユーザアクセス権 \[161 ページ\]](#)

[現在のユーザの Web Intelligence セキュリティ権限の取得 \[162 ページ\]](#)

6.1 レポート構造

Web Intelligence ドキュメントでは、以下の項目がレポートおよびレポート要素の識別に役立ちます。

- ID
ドキュメント内のレポートまたはレポート要素の一意の ID。整数です。
- 参照
レポート要素が属するレポートに関連したレポート要素の ID。"X.Y.A.[...]" という書式の base64 文字列です。X はレポート ID、Y はレポート要素 ID、および A はレポート要素のインスタンスの ID です。インスタンス ID を使用して、レポートのセクションやテーブルのセルなど、レポートで複数回使用されている同じレポート要素が識別されます。

参照を使用する場合

レポート要素の参照を使用して、以下を取得します。

- 対応するマップおよび関連データのノード参照。 [レポートのマップの取得 \[347 ページ\]](#)を参照してください。
- そのデータパス。 [レポート要素のデータパスの取得 \[411 ページ\]](#)を参照してください。
- そのデータセット。 [レポート要素のデータセットの取得 \[416 ページ\]](#)を参照してください。

① 注記

レポート要素の特定のインスタンスに関連付けられているデータを取得するために、参照またはデータパスを使用することができます。

例

```
<report>
  <id>1</id>
  <name>Chart Demo</name>
  <reference>1.RS</reference>
  <showDataChanges>false</showDataChanges>
  ...
```

現在のドキュメントでは、レポート ID は "1" で、文字列 "1.RS" がドキュメント内のレポートの参照です。

```
<elements>
  <element type="Cell">
    <id>3</id>
    <reference>1.K.3</reference>
    ...
```

レポート要素 ID は "3" です。文字列 "1.K.3" は、レポート内の要素の参照を表します。

また、レポート構造はツリーとして表示することができます。つまり、レポートとレポート要素には親/子関係があります。このメカニズムによって、レポート構造で要素を正確に追加することができます。

例

```
<elements>
  <element type="Cell">
    <id>14</id>
    <reference>1.E</reference>
    <name>Block 2</name>
    <parentId>1</parentId>
    ...
```

タイプが "Cell" のレポート要素が、ID が "1" のレポートに属しています。

6.2 チャート

SAP BusinessObjects Web Intelligence では、レポート内でデータをグラフィカルに表示するさまざまな可能性をエンドユーザに提供します。これらの表示はチャートと呼ばれます。

Web Intelligence セマンティックでは、チャートは `visualization` タイプのレポート要素として表示されます。レポート要素では、REST Web サービス SDK によって以下の REST メソッドが提供されます。

- チャートの作成
- チャートの詳細の取得
- チャートの設定および式の更新
- チャートの削除

この節では、本リリースでサポートされているすべてのタイプのチャートに対する XML の文法について説明します。

[チャートタイプ \[69 ページ\]](#)

[チャート応答のボディスキーマ \[70 ページ\]](#)

6.2.1 チャートタイプ

以下のリストは、GET `<base_webi_REST_URL>/configuration/visualizations` を呼び出すと返される可能性のあるチャートのタイプを示しています。各チャートタイプの定義については、*SAP BusinessObjects Web Intelligence ユーザーズガイド* を参照してください。

- 棒系列 (HorizontalBar、HorizontalStackedBar、HorizontalStackedPercentBar、VerticalBar、VerticalStackedBar、VerticalStackedPercentBar、Bar3D)
- ボックスプロット
- デュアルおよび結合チャート (DualBar、DualLine、CombinedBarLine、DualCombinedBarLine)
- ファンネル
- メーターの系列 (AngularMeter、LinearMeter、SpeedMeter)
- 折れ線
- マップ系列 (TreeMap、HeatMap)
- 円系列 (Pie、PieWithDepth、Doughnut)
- 点系列 (Scatter、Bubble、PolarScatter、PolarBubble)
- ピラミッド
- レーダー
- 等高線
- タグクラウド
- タイルの系列 (Tile、TileDeviation)
- ウォーターフォール

関連情報

[チャートタイプの取得 \[270 ページ\]](#)

6.2.2 チャート応答のボディスキーマ

応答の本文スキーマ (XML)

(GET.../documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>)

```
<element type="Visualization">
  ...
  <content>
    <chart type="string">
      <layout>
      <title>
      <legend>
      <dataLabels>
      <plotArea>
      <graphics>
      <axes>
```

チャートの type 属性値は、[チャートのタイプ \[69 ページ\]](#)を指定する文字列です。

[色 \[70 ページ\]](#)

[レイアウト \[71 ページ\]](#)

[タイトル \[72 ページ\]](#)

[凡例 \[73 ページ\]](#)

[データラベル \[75 ページ\]](#)

[プロット領域 \[78 ページ\]](#)

[グラフィック \[86 ページ\]](#)

[軸 \[98 ページ\]](#)

6.2.2.1 色

タイトル、凡例、ラベル、軸など、チャートのさまざまな領域に色を付けることができます。色は、RGB 値かグラデーションを使用して定義します。

固定色

色は、RGB カラーモデルおよび不透明度を使用して表示されます。

属性	説明	値
rgb	RGB カラー	# 記号の後に 16 進数値が続きます。
alpha	色の不透明度	不透明から不可視まで 0 ～ 255 の範囲です。

例

```
<color rgb="#9d9d9d" alpha="187"/>
```

グラデーション

色のグラデーションは、開始色と終了色で定義します。各色に、RGB 値と不透明度を設定します。グラデーションは、orientation 属性値 (Horizontal、HorizontalInverse、Vertical、VerticalInverse、DiagonalUp、DiagonalUpInverse、DiagonalDown、DiagonalDownInverse のいずれか) に従って配置されます。

例

```
<gradient orientation="DiagonalDown">
  <start rgb="#ffffff" alpha="95"/>
  <end rgb="#000000" alpha="95"/>
</gradient>
```

6.2.2.2 レイアウト

次の表は、<layout> 属性について説明しています。すべての属性は論理値 (true または false) です。

属性	説明
showDimensionsWithEmptyMeasureValues	ディメンションに対応するメジャーの一部に値がないときに、チャートにディメンションを表示するかどうかを指定します。
showDimensionsWithMeasuresEqualToZero	ディメンションに対応するメジャーの一部がゼロ値であるときに、チャートにディメンションを表示するかどうかを指定します。
showDimensionsWithSumOfMeasuresEqualToZero	ディメンションに対応するメジャー値の合計がゼロであるときに、チャートにディメンションを表示するかどうかを指定します。
showMeasuresWithEmptyDimensionValues	メジャーに対応するディメンションの一部に値がないときに、チャートにメジャーを表示するかどうかを指定します。

属性	説明
showParentNodes	チャートに各ディメンションの親を表示するかどうかを指定します。
showMissingParent	見つからない親の値をディメンションのノードとしてチャートに表示するかどうかを指定します。
showTotal	チャートにメジャーの合計を表示するかどうかを指定します。
parentAsTotal	チャートにメジャー合計のディメンションの親を表示するかどうかを指定します。
duplicateRowAggregation	チャートに重複するデータを表示するかどうかを指定します。メジャー値は集計されません。
horizontal	チャートの方向 (水平または垂直) を指定します。

6.2.2.3 タイトル

```
<title visible="Boolean">
  <style>
  <label>
  <layout>
```

visible 論理値属性は、チャートにタイトルを表示するかどうかを指定します。

要素	説明
<style>	<p>タイトルのスタイルで、次のプロパティを定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <border>: 線の太さとカラー <background>: 背景色 : タイトルのフォントプロパティ (サイズ、フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー) を定義します。 <alignment>: テキストの配置 (水平、垂直、テキストポリシー) を定義します。テキストポリシーには、Wrap、NoWrap、または Truncate を設定できます。
<label>	タイトル自体。テキストまたは式を設定できます。
<layout>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> location (Top Bottom Left Right) orientation (Auto VerticalLettering) spacing: 値の範囲は 0 ~ 8 です。 adjust (論理値) <p>adjust を true にすると、水平および垂直比例を定義できます。次のタイプを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto: 値を設定する必要はありません。 Fixed: 単位 [391 ページ] で値を定義します。 Proportional: 比率を定義します。範囲は 0.0 ~ 1.0 です (0.01 ずつ増減)。

例

```
<title visible="true">
  <style>
    <border thickness="None">
      <color rgb="#000000" alpha="255"/>
    </border>
    <background>
      <color rgb="#000000" alpha="0"/>
    </background>
    <font size="9" face="Arial" italic="true" bold="true"
    strikethrough="false" underline="true|false" rgb="#000000"/>
    <alignment horizontal="Left" vertical="Center" textPolicy="Truncate"/>
  </style>
  <label dataType="String">"My Title"</label>
  <layout location="Top" orientation="Auto" spacing="2" adjust="true">
    <horizontalProportionality type="Fixed">3.25</horizontalProportionality>
    <verticalProportionality type="Proportional">0.33</
verticalProportionality>
  </layout>
</title>
```

関連情報

[色 \[70 ページ\]](#)

6.2.2.4 凡例

① 注記

ウォーターフォールチャートに凡例はありません。

```
<legend visible="Boolean" mode="string">
  <style>
    <title>
    <layout>
    <extraInfo>
```

属性	値のデータ型	説明
visible	<i>Boolean</i>	チャートに凡例を表示するかどうかを指定します。
mode	Color Size ColorAndSize	バブルチャートでのみ使用します。

要素	説明
<style>	<p>凡例のスタイルには、次のプロパティがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <border>: 線の太さとカラーを定義します。 • <background>: 背景色を定義します。 • : 凡例のフォントプロパティ (サイズ、フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー) を定義します。 • <alignment>: テキストの配置 (水平、垂直、テキストポリシー) を定義します。テキストポリシーには、Wrap、NoWrap、またはTruncateを設定できます。
<title>	<p>チャートタイトルと同じプロパティを定義します。 タイトル [72 ページ] を参照してください。</p>
<layout>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> • groupByDimension (論理値) • symbolSize: 値の範囲は 4 ~ 32 です。 • location (Top Bottom Left Right) • orientation (Auto Horizontal Vertical) • spacing: 値の範囲は 0 ~ 8 です。 • adjust (論理値) <p>adjust を true にすると、水平および垂直比例を定義できます。次のタイプを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto: 値を設定する必要はありません。 • Fixed: 単位 [391 ページ] で値を定義します。 • Proportional: 比率を定義します。範囲は 0.0 ~ 1.0 です (0.01 ずつ増減)。
<extraInfo>	<div> <p>① 注記</p> <p>ボックスプロット、ツリーマップ、深さを持つ円、バブル、極線バブル、およびタグクラウドチャートの場合のみ。</p> </div> <p>visible 論理値属性は、凡例に追加情報を表示するかどうかを指定します。</p> <p> 子要素は、追加情報のフォントプロパティ (サイズ、フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー) を定義します。</p>

例

```
<legend visible="true">
  <style>
    <border thickness="None">
      <color rgb="#000000" alpha="0"/>
    </border>
    <background>
      <color rgb="#000000" alpha="0"/>
    </background>
    <font size="12" face="Helvetica" italic="true" bold="true"
      strikethrough="false" underline="false" rgb="#00c7ff"/>
  </style>
</legend>
```

```

        <alignment horizontal="Left" vertical="Center" textPolicy="Wrap"/>
    </style>
    <title visible="true">
        <style>
            <border thickness="None">
                <color rgb="#000000" alpha="255"/>
            </border>
            <background>
                <color rgb="#000000" alpha="0"/>
            </background>
            <font size="6" face="Tahoma" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="true" rgb="#00ff00"/>
            <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Truncate"/>
        </style>
        <label dataType="String">="Legend Title"</label>
        <layout orientation="Auto" spacing="2"/>
    </title>
    <layout groupByDimension="false" symbolSize="7" location="Right"
orientation="Auto" spacing="4" adjust="true">
        <horizontalProportionality type="Fixed">3.25</horizontalProportionality>
        <verticalProportionality type="Proportional">0.33</
verticalProportionality>
    </layout>
    <extraInfo visible="true">
        <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
    </extraInfo>
</legend>

```

関連情報

[色 \[70 ページ\]](#)

6.2.2.5 データラベル

① 注記

ボックスプロットおよびタグクラウドチャートにデータラベルはありません。

```

<dataLabels type="string" visible="Boolean">
    <style>
    <layout>
    <format>

```

属性	値のデータ型	
type	<i>string</i> (下の値を参照)	表示するデータキャプションのタイプ
visible	<i>Boolean</i>	チャートにラベルを表示するかどうかを指定します。

次の表は、type 属性の考えられる値を示しています。

属性値	説明
Auto	ラベルは自動的に追加されます。
Value	データキャプションに値を表示します。値軸に対応します。
Label	データキャプションにカテゴリを表示します。カテゴリ軸に対応します。
Percent	データキャプションに値をパーセントで表示します。
LabelAndValue	データキャプションにカテゴリに続けて値を表示します。
LabelAndPercent	データキャプションにカテゴリに続けて値をパーセントで表示します。
XValue	データキャプションに、2 つ目の値軸に対応する 2 つ目の値を表示します。
Weight	データキャプションにカテゴリに続けて値を表示します。
Scale	データキャプションにバブルの幅に対応する値を表示します。

チャートにはすべてのデータラベルタイプが表示されるわけではありません。次の表に、チャートタイプごとに考えられるタイプのデータラベルを示します。

属性値	チャートタイプ
Auto	ウォーターフォールを除くすべて
Value	すべて
Label	折れ線、二重折れ線、等高線、レーダー、ヒートマップを除くすべて
Percent	点系列、レーダー、ヒートマップ、ウォーターフォールを除くすべて
LabelAndValue	円系列のみ
LabelAndPercent	円系列のみ
XValue	点系列のみ
Weight	ツリーマップのみ
Scale	バブルおよび極線バブルチャートのみ

次の表は、<dataLabels> 子要素について説明しています。

要素	説明
<style>	<p>ラベルのスタイルで、次のプロパティを定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <border>: 線の太さとカラー <background>: 背景色 : ラベルのフォントプロパティ (サイズ、フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー) を定義します。 <alignment>: テキストの配置 (水平、垂直、テキストポリシー) を定義します。テキストポリシーには、Wrap、NoWrap、または Truncate を設定できます。

要素	説明
<layout>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> • autoHiding: 十分なスペースがない場合にラベルを自動的に非表示にするかどうかを定義します。 • resolveOverlapping: 重なり合ったラベルを解決するかどうかを定義します。 • position (InsideFirstOutsideOtherwise OutsideFirstInsideOtherwise Inside Outside) • orientation (Horizontal Vertical) • spacing: 余白を定義します。値の範囲は 0～8 です。 • mode: 円チャートの場合にのみ、表示モードを定義します (Side Circular)。 • singleLine: データラベルを 1 行にするかどうかを定義します (LabelAndValue または LabelAndPercent タイプの場合のみ) • percentMinValue: 円チャートの場合にのみ、表示する最小パーセント値を定義します。値の範囲は 0.0～100.0 です (0.01 ずつ増減)。 <p>レイアウトは、<separator> 子要素にもあり、円チャートの場合にデータラベルに使用する開始記号と終了記号を定義します。値の文字列最大長は 256 です。</p>
<format>	<p>目盛値の書式設定および表示に使用する式。</p> <div> <p>① 注記</p> <p>Percent または LabelAndPercent タイプの場合のみ。</p> </div>

例

```
<dataLabels type="LabelAndPercent" visible="false">
  <style>
    <border thickness="None">
      <color rgb="#000000" alpha="255"/>
    </border>
    <background>
      <color rgb="#000000" alpha="0"/>
    </background>
    <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
    strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
    <alignment textPolicy="NoWrap"/>
  </style>
  <layout autoHiding="true" resolveOverlapping="false" mode="Side"
  position="Outside" spacing="0" singleLine="true"
  percentMinValue="10.0">
    <separator>
      <start></start>
      <end></end>
    </separator>
    <format default="true" sample="1234,57" type="Custom">
      <template positive="0.00"/>
    </format>
  </dataLabels>
```

6.2.2.6 プロット領域

① 注記

ヒートマップチャートにプロット領域はありません。

```
<plotArea>
  <xSeries>
  <title>
  <background>
  <grids>
```

要素	説明
<xSeries>	円チャートを除くチャートごとに固有のレイアウトプロパティを定義します。
<title>	チャートタイトルと同じプロパティを定義します。 タイトル [72 ページ] を参照してください。
	<div> <div>① 注記</div> <div>立体棒、マップ系列、極線バブル、極線散布図、ボックスプロット、タグクラウド、およびウォーターフォールチャートの <plotArea> にタイトルはありません。</div> </div>
<background>	<p>背景領域には、色を1色(無地)または2色(ストライプ)指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無地 <div> <pre><background mode="Plain"> <coloring> <color rgb="#000000" alpha="0"/> </coloring> </background></pre> </div> ストライプ <div> <pre><background mode="Striped"> <coloring lightingAdjustment="0.9"> <color rgb="#00ff00" alpha="255"/> </coloring> <coloring lightingAdjustment="0.9"> <color rgb="#ff00ff" alpha="255"/> </coloring> </background></pre> </div> <p>lightingAdjustment は、ライトカラーの調整値を定義します。値の範囲は0.0～1.0です(0.01ずつ増減)。</p>

要素	説明
<grids>	グリッドの色を定義します。2次元チャートには2つのグリッド (Vertical および Horizontal) がありますが、立体棒チャートには3つのグリッド (Vertical、Horizontal、および Depth) があります。
	<pre> <grids> <grid type="Vertical"> <color rgb="#000000" alpha="0"/> </grid> <grid type="Horizontal"> <color rgb="#e7e7e7" alpha="255"/> </grid> <grid type="Depth"> <color rgb="#000000" alpha="89"/> </grid> </grids> </pre>

[棒、折れ線、および等高線系列のレイアウト \[79 ページ\]](#)

[ボックス系列のレイアウト \[80 ページ\]](#)

[マップ系列のレイアウト \[81 ページ\]](#)

[点系列のレイアウト \[82 ページ\]](#)

[レーダー系列のレイアウト \[83 ページ\]](#)

[タグクラウド系列のレイアウト \[84 ページ\]](#)

[ウォーターフォール系列のレイアウト \[85 ページ\]](#)

6.2.2.6.1 棒、折れ線、および等高線系列のレイアウト

次の表は、棒、折れ線、および等高線系列のすべてのチャート (チャート定義の <barSeries>、<lineSeries>、および <surfaceSeries> 要素) に共通の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
dashedLines	論理型	線を破線で表示するかどうかを指定します。
invertSuperimpositionOrder	Boolean	各データ系列にプロットされたレイヤのスーパーインポーズの順番を反転するかどうかを指定します。線または等高線が積み上げられている場合は、この設定は無効です。
spacingBetweenGroups	double	グループの間隔。値の範囲は -1.0 ～ 1.0 です (0.01 ずつ増減)。
spacingWithinGroups	double	グループ内の間隔。値の範囲は -1.0 ～ 1.0 です (0.01 ずつ増減)。

次の属性は、立体棒チャートに固有の属性です。

属性	値のデータ型	説明
showFloor	<i>Boolean</i>	仮想立体床面を表示するかどうかを指定します。
showFirstEdge	<i>Boolean</i>	立体壁面の最初の端を表示するかどうかを指定します。
showSecondEdge	<i>Boolean</i>	立体壁面の2つ目の端を表示するかどうかを指定します。

例: 棒系列

```

<plotArea>
  <barSeries dashedLines="false" spacingBetweenGroups="0.2"
spacingWithinGroups="0.2"/>
  <title visible="true">
    <style>
      <border thickness="None">
        <color alpha="181" rgb="#ff0000"/>
      </border>
      <background>
        <color alpha="115" rgb="#000000"/>
      </background>
      <font size="10" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#ff00ff"/>
    </style>
    <layout spacing="0"/>
  </title>
  <background mode="Plain">
    <coloring>
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </coloring>
  </background>
  <grids>
    <grid type="Vertical">
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </grid>
    <grid type="Horizontal">
      <color alpha="255" rgb="#e7e7e7"/>
    </grid>
  </grids>
</plotArea>

```

6.2.2.6.2 ボックス系列のレイアウト

次の表は、ボックスプロットチャートの定義(<boxSeries>)に固有の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
dashedLines	<i>Boolean</i>	線を破線に表示するかどうかを指定します。

属性	値のデータ型	説明
hideOutliers	<i>Boolean</i>	外れ値要素を非表示にするかどうかを指定します。
spacingBetweenGroups	<i>double</i>	グループの間隔。値の範囲は -1.0 ～ 1.0 です (0.01 ずつ増減)。

例

```
<plotArea>
  <boxSeries dashedLines="true" hideOutliers="true" spacingBetweenItems="0.2"/>
  <background mode="Plain">
    <coloring>
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </coloring>
  </background>
  <grids>
    <grid type="Vertical">
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </grid>
    <grid type="Horizontal">
      <color alpha="255" rgb="#e7e7e7"/>
    </grid>
  </grids>
</plotArea>
```

6.2.2.6.3 マップ系列のレイアウト

```
<mapSeries>
  <zoneTitle>
    <font>
    <alignment>
    <layout>
```

次の表は、ツリーマップチャートの定義に固有の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
showTreeMapRoot	<i>Boolean</i>	階層のルートノードを表示するかどうかを指定します。
depth	<i>integer</i>	チャートサイズに比例する立体表示の奥行き。値の範囲は -1 ～ 16 です。
fixParentWeight	Fix Strict	階層データの自動修正を有効化または無効化します。
hierarchicalView	<i>Boolean</i>	階層表示にゾーンを表示するかどうかを指定します。

<zoneTitle> 要素には、チャートにゾーンのタイトルを表示するかどうかを定義する `visible` 論理値属性があります。

次の表は、<zoneTitle> 子要素について説明しています。

要素	説明
	ゾーンタイトルのフォントプロパティ (サイズ、フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー)
<alignment>	テキスト配置 (水平、垂直、テキストポリシー)。テキストポリシーには、Wrap、NoWrap、または Truncate を設定できます。
<layout>	属性: <ul style="list-style-type: none">• orientation (Auto VerticalLettering)• spacing: 値は単位 [391 ページ] で指定し、メトリクスの範囲は 0 ～ 1500 です。

例

```
<plotArea>
  <mapSeries showTreeMapRoot="true" depth="-1" fixParentWeight="Fix"
hierarchicalView="true">
    <zoneTitle visible="true">
      <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikerthrough="false" underline="false" rgb="#ffffff"/>
      <alignment horizontal="Center" vertical="Center"
textPolicy="Truncate"/>
      <layout orientation="Auto" spacing="0.417"/>
    </zoneTitle>
  </mapSeries>
</plotArea>
```

6.2.2.6.4 点系列のレイアウト

次の表は、点系列 (<pointSeries>) のすべてのチャートに共通の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
dashedLines	<i>Boolean</i>	線を破線で表示するかどうかを指定します。
invertSuperimpositionOrder	<i>Boolean</i>	各データ系列にプロットされたレイヤのスーパーインポーズの順番を反転するかどうかを指定します。線または等高線が積み上げられている場合は、この設定は無効です。

次の属性は、バブルおよび極線バブルチャートに固有の属性です。

属性	値のデータ型	説明
scale	<i>integer</i>	プロットエリアサイズとバブルの最大直径の比率。値の範囲は 2 ～ 10 です。
scalingMode	Proportional Perceptual	目盛モード

例

```
<plotArea>
  <pointSeries dashedLines="false" invertSuperimpositionOrder="false"
scale="5" scalingMode="Perceptual"/>
  <background mode="Striped">
    <coloring lightingAdjustment="0.9">
      <color alpha="110" rgb="#ffffffce"/>
    </coloring>
    <coloring lightingAdjustment="0.9">
      <color alpha="115" rgb="#ceffff"/>
    </coloring>
  </background>
  <grids>
    <grid type="Vertical">
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </grid>
    <grid type="Horizontal">
      <color alpha="255" rgb="#e7e7e7"/>
    </grid>
  </grids>
</plotArea>
```

6.2.2.6.5 レーダー系列のレイアウト

次の表は、レーダーチャートの定義(<radarSeries>)に固有の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
invertSuperimpositionOrder	<i>Boolean</i>	各データ系列にプロットされたレイヤのスーパーインポーズの順番を反転するかどうかを指定します。線または等高線が積み上げられている場合は、この設定は無効です。
bringToFront	<i>Boolean</i>	グリッドをデータの手前に置くかどうかを指定します。
polygonal	<i>Boolean</i>	グリッドを円ではなく多角形の線として表示するかどうかを指定します。

例

```
<plotArea>
  <radarSeries invertSuperimpositionOrder="true" bringToFront="true"
  polygonal="true"/>
  <background mode="Plain">
    <coloring>
      <color alpha="89" rgb="#ffffce"/>
    </coloring>
  </background>
  <grids>
    <grid type="Vertical">
      <color alpha="87" rgb="#000000"/>
    </grid>
    <grid type="Horizontal">
      <color alpha="87" rgb="#007d00"/>
    </grid>
  </grids>
</plotArea>
```

6.2.2.6.6 タグクラウド系列のレイアウト

```
<tagCloudSeries>
  <tag>
    <font>
```

次の表は、タグクラウドチャートの定義(<tagCloudSeries>)に固有の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
levelColoring	<i>integer</i>	カラーリングする領域の奥行き。値の範囲は 0 ～ 64 です。
comparator	Weight Names Rating	単語の比較と場所の選択に使用するデータセット特性
mode	Row Column Wordle	タグ表示モード
alignment	Left Center Right Justify	テキスト配置
orientation	MainlyHorizontal HorizontalAndVertical MainlyVertical HorizontalOnly VerticalOnly	テキスト方向モード
fillRate	<i>double</i>	画面に表示する単語数のレート。値の範囲は 0.100 ～ 1.500 です (0.025 ずつ増減)。

属性	値のデータ型	説明
spacingBetweenTags	Auto Fixed	タグの間隔
spacingValue	<i>double</i>	spacingBetweenTags を Fixed にした場合に、 単位 [391 ページ] で指定する間隔値。

次の表は、<tag> 属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
maxFontRatio	Auto Fixed	単語の最大フォントサイズを選択する方法
maxFontSize	<i>integer</i>	maxFontRatio が Fixed である場合の、単語の最大フォントサイズ。値の範囲は 1 ～ 56 です。
minFontRatio	Auto Fixed	単語の最小フォントサイズを選択する方法
minFontSize	<i>integer</i>	minFontRatio が Fixed である場合の、単語の最小フォントサイズ。値の範囲は 1 ～ 256 です。
minVisibleFontSize	<i>integer</i>	単語を削除するフォントサイズのしきい値。値の範囲は 1 ～ 50 です。
fontScaling	Linear Exponential Logarithmic	単語の順序と比較した単語のフォントサイズカーブ

 は、タイトルのフォントプロパティ (フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー) を定義します。フォントサイズは無視されます。[タイトル \[72 ページ\]](#)を参照してください。

例

```
<plotArea>
  <tagCloudSeries levelColoring="45" comparator="Weight" mode="Wordle"
orientation="HorizontalAndVertical"
    fillRate="0.65" spacingBetweenTags="Fixed" spacingValue="0.097">
    <tag maxFontRatio="Auto" minFontRatio="Auto" minVisibleFontSize="4"
fontScaling="Logarithmic">
      <font size="6" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#555555"/>
    </tag>
  </tagCloudSeries>
</plotArea>
```

6.2.2.6.7 ウォーターフォール系列のレイアウト

```
<waterfallSeries>
  <line>
    <color>
```

次の表は、ウォーターフォールチャートの定義に固有の属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
dashedLines	<i>Boolean</i>	線を破線で表示するかどうかを指定します。
referenceLine	<i>Boolean</i>	参照行
spacingBetweenItems	<i>double</i>	グループの間隔。値の範囲は -1.000 ～ 1.000 です (0.01 ずつ増減)。

<line> の太さは、width 属性 (範囲は 1 ～ 7) と色 (<color> 子要素を使用) で定義します。

例

```
<plotArea>
  <waterfallSeries dashedLines="false" referenceLine="true"
spacingBetweenItems="0.46">
    <line width="7">
      <color alpha="255" rgb="#ff00ff"/>
    </line>
  </waterfallSeries>
  <background mode="Plain">
    <coloring>
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </coloring>
  </background>
  <grids>
    <grid type="Vertical">
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </grid>
    <grid type="Horizontal">
      <color alpha="255" rgb="#e7e7e7"/>
    </grid>
  </grids>
</plotArea>
```

6.2.2.7 グラフィック

```
<graphics>
  <coloring>
  <rendering>
  <effects>
```

要素	説明
<coloring>	<p>チャートで使用するパレットとカラーリングメソッドを指定します。 組み込み [275 ページ]パレットと カスタム [278 ページ]パレットの両方を使用できます。</p> <p>ほとんどのチャートでは、パレットを1つのみ定義できます。refId 属性の値は、有効なパレット ID です。</p> <pre><coloring> <palettes> <palette alpha="0" refId="green"/> </palettes> </coloring></pre> <p>デュアルチャートでは、パレットを2つ定義できます。</p> <pre><coloring> <palettes method="Dual"> <palette type="Primary" refId="blue"/> <palette type="Secondary" refId="5f95e34e-b5c1-49d5-ac60-eb73ee5527c2"/> </palettes> </coloring></pre> <p>点、マップ、タグクラウド、およびウォーターフォール系列には、特定のカラーリングメソッドがあります。 カラーリング [88 ページ]を参照してください。</p>
<rendering>	<p>共通レンダリングの属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> filter: 光と影のレンダリングフィルタを定義します (None、SimpleLighting、SimpleShadows、SimpleLightingAndShadows、RealLighting、ComplexShadows、RealLightingAndComplexShadows、ImageEmbossed のいずれか)。 look3D (論理値) <pre><rendering filter="SimpleLightingAndShadows" look3D="true"></pre> <p>Bar3D チャート固有の属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> shading: 立体ライトモード (Faceted または Smooth) shape: 立体棒の形状 (Box または RoundedRectangle または Cylinder) <pre><rendering filter="ImageEmbossed" shading="Smooth" shape="RoundedBox"></pre> <p>チャートタイプに応じて詳細なオプションを設定できます。 レンダリング [91 ページ]を参照してください。</p>
<effects>	<p>グラフィックのレンダリング効果。チャート系列ごとに指定します。 効果 [93 ページ]を参照してください。</p> <div> <p>④ 注記</p> <p>タグクラウドチャートには、追加の効果はありません。</p> </div>

6.2.2.7.1 カラーリング

点系列

次の表は、<pointSeries> 子要素について説明しています。

要素	説明
<colorGroup>	グループの色 属性: <ul style="list-style-type: none">type (Fixed または Deepest)depth (最小値は 1)
<shapeGroup>	グループの形 属性: <ul style="list-style-type: none">type (Fixed または Deepest)depth (最小値は 1)

例

```
<coloring>
  <palettes>
    <palette alpha="0" refId="SAP Standard 2011" />
  </palettes>
  <pointSeries>
    <colorGroup type="Fixed" depth="1" />
    <shapeGroup type="Deepest" />
  </pointSeries>
</coloring>
```

マップ系列とタグクラウド系列

ある種のカラーリングメソッドは、マップ系列およびタグクラウドチャート (<mapSeries> および <tagCloudSeries>) のためのものです。

属性	値のデータ型	説明
method	Palette GradientBased GradientBasedNeutralPolarity CustomRange	カラーリング方法
useInternalPalette	<i>Boolean</i>	組み込みパレットを使用するかどうかを指定します。

次の表は、これらに共通の子要素について説明しています。

要素	説明
<gradientPalette>	<p>method="GradientBased" である場合にグラデーションカラーパレットを定義します。</p> <p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> type: グラデーションのカラー数を定義します。設定できる値は、Colors2 (2色) と Colors3 (3色) です。 start: グラデーションカラーパレットの最初の色を定義します。 middle: グラデーションカラーパレットの中間の色を定義します。 end: グラデーションカラーパレットの最後の色を定義します。
<outOfRange>	範囲値以外の色
<nullOrEmpty>	NULL 値または空の値の色
<measurePolarityGradientPalette>	<p>method="GradientBasedNeutralPolarity" である場合にグラデーションパレットを定義します。</p> <p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> type start middle end
<data>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> distributionMode: カラーリングゾーンにデータを分散させる方法を定義します (ByValues または ByQuantiles)。 intervalSyntax: 凡例にデータを表示する間隔を定義します (Basic または US または ISO31-11)。
<ranges>	<p>ゾーンおよび関連付ける色を定義します。</p> <p>method が "CustomRange" ではない場合の属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> number (0 ~ 64) from: カラーメソッドを適用する間隔値の開始値を定義します。 to: カラーメソッドを適用する間隔値の終了値を定義します。 <p>method="CustomRange" ではない場合の属性: percentage(論理値)</p> <p>method="CustomRange" ではない場合の子要素: <range>:</p>
<range>	<p>method="CustomRange" である場合に間隔で定義されるゾーンの色の最小値と最大値を定義します。</p> <p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> from: カスタムカラーメソッドを適用する間隔値の開始値を定義します。 to: カスタムカラーメソッドを適用する間隔値の終了値を定義します。

例: マップ系列

```
<coloring>
  ...
  <mapSeries method="CustomRange" useInternalPalette="true">
    <outOfRange>
      <color rgb="#c0c0c0" alpha="117"/>
    </outOfRange>
    <nullOrEmpty>
      <color rgb="#e0e0e0" alpha="125"/>
    </nullOrEmpty>
    <data distributionMode="ByQuantiles" intervalSyntax="ISO31-11"/>
    <ranges percentage="true">
      <range from="0.0" to="33.0">
        <color rgb="#ff0000" alpha="255"/>
      </range>
      <range from="33.0" to="67.0">
        <color rgb="#000000" alpha="255"/>
      </range>
      <range from="67.0" to="100.0">
        <color rgb="#00ff00" alpha="255"/>
      </range>
    </ranges>
  </mapSeries>
</coloring>
```

例: タグクラウド系列

```
<coloring>
  ...
  <tagCloudSeries method="Palette">
    <outOfRange>
      <color rgb="#c0c0c0" alpha="117"/>
    </outOfRange>
    <nullOrEmpty>
      <color rgb="#e0e0e0" alpha="125"/>
    </nullOrEmpty>
    <data distributionMode="ByQuantiles" intervalSyntax="ISO31-11"/>
    <ranges number="5" from="-4.497" to="220000.0"/>
  </tagCloudSeries>
</coloring>
```

ウォーターフォール系列

`<waterfallSeries>` には、特定の値の色を設定するすべての設定が含まれます。次の `<waterfallSeries>` の各子要素には、`type` 属性 (Auto または Fixed) が含まれます。 `type` が Fixed である場合は、`<color>` を設定する必要があります。色のグラデーションは、開始値と合計値のみで許可されます。

要素	説明
<code><start></code>	開始値の色

要素	説明
<total>	合計値の色
<negative>	負の値の色
<positive>	正の値の色

例

```
<coloring>
...
<waterfallSeries>
  <start type="Fixed">
    <color rgb="#00ff00" alpha="130"/>
  </start>
  <total type="Fixed">
    <color rgb="#0000ff" alpha="110"/>
  </total>
  <negative type="Auto"/>
  <positive type="Auto"/>
</waterfallSeries>
</coloring>
```

6.2.2.7.2 レンダリング

境界

<edge> を使用すると、チャート要素の境界線を設定できます。次の表は、<edge> 属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
type	None Default Override Auto	境界線のタイプ
width	<i>integer</i>	立体棒チャートに設定できる線の太さ。値の範囲は1～7です。

<color> 子要素を使用して、境界線に色を設定することもできます。

回転

次の表は、グラフの回転をサポートするチャートと、対応する <rotation> 属性について説明しています。

チャート	<rotation> 属性
立体棒	立体方向の回転角度値。 <ul style="list-style-type: none"> • xAngle: X 軸上。値の範囲は -90 ～ 90 です。 • yAngle: Y 軸上。値の範囲は -180 ～ 180 です。
円系列	<ul style="list-style-type: none"> • startAngle: 円の開始角度を度で定義します。値の範囲は 0 ～ 360 です (1 ずつ増減)。 • clockwise: 円の回転を定義する論理値。
極線バブルおよび極線散布図	<ul style="list-style-type: none"> • startAngle: チャートの開始角度を度で定義します。可能な値は、0、90、180、270、および 360 です。 • clockwise: チャートの回転を定義する論理値。
レーダー	clockwise: レーダーの回転を定義する論理値。

シャドー

<shadow> を使用すると、チャート要素のシャドープロパティを設定できます。次の表は、<shadow> 属性について説明しています。

属性	値のデータ型	説明
effect	None OneSided	チャート要素の背後に影を付けます。入力される値
xOffset	<i>double</i>	各チャート要素のシャドーの水平距離またはオフセット (単位 [391 ページ] で指定)。
yOffset	<i>double</i>	各チャート要素のシャドーの垂直距離またはオフセット (単位 [391 ページ] で指定)。
filterPassCount	<i>integer</i>	効果の複雑性。視覚的な複雑性が大きくなると、パフォーマンスが低下することがあります。値の範囲は 1 ～ 9 です (1 ずつ増減)。
filterWindowSize	<i>integer</i>	シャドーの滑らかさ。値が大きいくほど、効果は滑らかになります。値の範囲は 3 ～ 9 です (2 ずつ増減)。
lightPower	<i>double</i>	ライトの強さ。値の範囲は -1.000 から +1.000 です (0.05 ずつ増減)。

<color> 子要素を使用して、シャドーにカラーを設定することもできます。

例

```
<rendering>
```



```

<edge type="Override" width="7">
  <color rgb="#ff00ff" alpha="189"/>
</edge>
<rotation startAngle="15" clockwise="true"/>
<shadow effect="OneSided" xOffset="0.0" yOffset="0.0" filterPassCount="3"
filterWindowSize="5" lightPower="0.3">
  <color rgb="#9d9d9d" alpha="187"/>
</shadow>
</rendering>

```

6.2.2.7.3 効果

<effects> を使用すると、個々のチャート系列に特別な効果を設定できます。

- [円系列 \[93 ページ\]](#)
- [棒系列、ボックスチャート、およびウォーターフォール系列 \[94 ページ\]](#)
- [折れ線系列、レーダー系列 \[95 ページ\]](#)
- [等高線系列 \[96 ページ\]](#)
- [点系列 \[97 ページ\]](#)
- [マップ系列 \[97 ページ\]](#)
- [結合チャート \[97 ページ\]](#)

円系列

<pieSeries> を使用すると、円チャートに特別な効果を設定できます。次の表は、<pieSeries> 属性について説明しています。

属性	型または値	説明
effect	None Halo Glossy Button3D ImageEmbossed Moonlight	円チャートに適用する効果のタイプ
material	None BrushedMetal1 BrushedMetal2 Water Arabesque	チャートテクスチャに適用するマテリアル
depth	<i>double</i>	3 番目の値を 単位 [391 ページ] で表す円チャートの奥行き
outerRadius	<i>integer</i>	ドーナツの穴の半径。ドーナツ型チャートのみに設定できます。値の範囲は 1 ～ 99 です。

例

```
<effects>
```

```
<pieSeries effect="Button3D" material="Water" depth="1.208"/>
</effects>
```

棒系列、ボックスチャート、およびウォーターフォール系列

次の表は、<barSeries>、<boxSeries>、および <waterfallSeries> に共通の属性について説明しています。

属性	型または値	説明
effect	None Volume Gradient Glossy Cylinder LightGlossy	チャートに適用する効果のタイプ
progressiveAlpha	<i>Boolean</i>	棒の段階的透明性を設定するかどうかを指定します。
roundedCorners	<i>Boolean</i>	棒端に丸みを付けるかどうかを指定します。
effectWidth	<i>double</i>	体積効果の幅比率値。値の範囲は 0.000 ～ 0.500 です (0.01 ずつ増減)。
colorBrighter	<i>double</i>	線の上に体積効果を表示するときに適用するライトカラーの調整値。値の範囲は 1.000 ～ 2.000 です (0.01 ずつ増減)。
colorLessBright	<i>double</i>	線の下に体積効果を表示するときに適用するライトカラーの調整値。値の範囲は 0.000 ～ 1.000 です (0.01 ずつ増減)。

例: 棒系列

```
<effects>
  <barSeries effect="None" roundedCorners="false"/>
</effects>
```

例: ボックス系列

```
<effects>
  <boxSeries effect="Cylinder"/>
</effects>
```

例: ウォーターフォール系列

```
<effects>
  <waterfallSeries effect="Gradient" progressiveAlpha="true"/>
</effects>
```

折れ線系列、レーダー系列

```
<effects>
  <lineSeries>
    <marker>
      <color>
      <edge>
        <color>
      <symbols>
        <symbol>
```

次の表は、<lineSeries> と <radarSeries> に共通の属性について説明しています。ただし、style 属性は <lineSeries> に特有です。

属性	型または値	説明
effect	None Volume	チャートに適用する効果のタイプ
width	<i>integer</i>	線の太さ。値の範囲は 0 ～ 7 です。
style	Solid Dot Dash DashDot	線が実線、点線、または破線のいずれであるかを指定します。レーダー系列では使用されません。
spline	<i>Boolean</i>	直線ではなく赤いスプライン曲線を使用してデータ要素をつなげるかどうかを指定します。
colorBrighter	<i>double</i>	線の上に体積効果を表示するときに適用するライトカラーの調整値。値の範囲は 1.000 ～ 2.000 です (0.01 ずつ増減)。
colorLessBright	<i>double</i>	線の下に体積効果を表示するときに適用するライトカラーの調整値。値の範囲は 0.000 ～ 1.000 です (0.01 ずつ増減)。
transparency	<i>integer</i>	線別に定義される領域の透明度値。レーダーチャートのみ。値の範囲は 0 ～ 55 です。

<marker> は、チャートのメジャー要素に表示するシンボルを定義します。次の表は、<marker> 属性について説明しています。

属性	型または値	説明
visible	<i>Boolean</i>	マーカを表示するかどうかを指定します。

属性	型または値	説明
size	<i>integer</i>	マーカのサイズ。値の範囲は 4 ～ 32 です。
autoResize	<i>Boolean</i>	マーカースymbolをチャートのサイズに合わせて自動的にサイズ変更するかどうかを指定します。

次の表は、<marker> 子要素について説明しています。

要素	説明
<color>	シンボルの色
<edge>	<p>マーカの境界線。色または色のグラデーションも定義できます。</p> <p>属性: type (None Default Override Auto)</p> <p>子要素:<color></p>
<symbols>	<p>マーカースymbolとして使用するシンボルセット</p> <p>子要素:<symbol> (Circle Star Diamond Square)</p>

例

```
<effects>
  <lineSeries effect="Volume" style="Dash" width="7" spline="true"
colorBrighter="1.5" colorLessBright="0.7">
    <marker visible="true" size="32">
      <edge type="Override">
        <color alpha="255" rgb="#ff00ff"/>
      </edge>
      <symbols>
        <symbol>Circle</symbol>
        <symbol>Star</symbol>
        <symbol>Diamond</symbol>
        <symbol>Square</symbol>
      </symbols>
    </marker>
  </lineSeries>
</effects>
```

等高線系列

<surfaceSeries> 属性のみが、等高線に段階的透明性を設定するかどうかを指定する progressiveAlpha です。

点系列

次の表は、<pointSeries> 属性について説明しています。

属性	型または値	説明
effect	None Halo Glossy Button3D ImageEmbossed Moonlight	チャートに適用する効果のタイプ
showCenter	<i>Boolean</i>	シンボルの中央にクロスマーカーを表示するかどうかを指定します。

<marker> は、チャートのメジャー要素に使用するシンボルを設定するようにも定義されます。詳細については、上の節を参照してください。

例

```
<effects>
  <pointSeries effect="Moonlight" showCenter="false">
    <marker visible="true" size="16">
      <color alpha="38" rgb="#ff00ff"/>
      <edge type="Override">
        <color alpha="181" rgb="#000000"/>
      </edge>
      <symbols>
        <symbol>Star</symbol>
        <symbol>Square</symbol>
        <symbol>Circle</symbol>
        <symbol>Diamond</symbol>
      </symbols>
    </marker>
  </pointSeries>
</effects>
```

マップ系列

<mapSeries> 属性のみが、エンボスゾーンを表示するかどうかを指定する zoneEmboss です。

結合チャート

結合チャートには複数の系列の効果を設定できます。たとえば、二重結合縦棒チャートや結合縦棒チャートでは、棒系列と折れ線系列両方の効果が結合されます。

例: DualCombinedBarLine

```
<effects>
  <barSeries effect="None" roundedCorners="false"/>
  <lineSeries effect="None" width="2" spline="true">
    <marker visible="true" size="8">
      <edge type="Override">
        <color alpha="125" rgb="#00ff00"/>
      </edge>
      <symbols>
        <symbol>Circle</symbol>
        <symbol>Star</symbol>
        <symbol>Diamond</symbol>
        <symbol>Square</symbol>
      </symbols>
    </marker>
  </lineSeries>
</effects>
```

6.2.2.8 軸

```
<axes>
  <axis role="string" visible="Boolean" optional="Boolean">
    <id>
    <name>
    <title>
    <layout>
    <coloring>
    <grid>
    <tick>
    <labels>
    <stacking>
    <scaling>
    <expressions>
    ...
```

属性	データ型または値	説明
role	string	軸の一意のロール。値については、 ロールと ID [101 ページ] を参照してください。
visible	Boolean	チャートに軸を表示するかどうかを指定します。
optional	Boolean	軸に式を割り当てる必要があるかどうかを指定します。

要素	説明
<id>	軸 ID。この正の整数値は、各チャート軸に固有です。 <div><div>① 注記</div><div>これを使用して、軸に式を割り当てたり、軸から式を割り当て解除することができます。軸の式の更新 [445 ページ]を参照してください。</div></div>
<name>	軸の内部名 (文字列)。変更できません。

要素	説明
<title>	軸の タイトル [72 ページ] 。また、<separator> 要素は、カスタムラベルが定義されていないときに、軸タイトルのラベル区切りとして使用する文字を定義します。最大長は 256 です。
<layout>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> reverseOrder: カテゴリ軸上でラベルの順序を反転するかどうかを定義する論理値 continuous: 連続モード時のカテゴリ軸のレイアウトを定義する論理値 adjust (論理値) <p>adjust を true にすると、水平および垂直比例を定義できます。次のタイプを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto: 値を設定する必要はありません。 Fixed: 単位 [391 ページ]で値を定義します。 Proportional: 比率を定義します。範囲は 0.0 ～ 1.0 です (0.01 ずつ増減)。
<coloring>	軸の 色 [70 ページ] 。
<grid>	<p>軸ラベル周辺のグリッドの色と背景色。 色 [70 ページ]を参照してください。</p> <div> <p>① 注記</p> <p>カテゴリ軸の場合のみ。</p> </div>
<tick>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> color length: 値の範囲は 2 ～ 8 です。 margin: 目盛とそのラベルの間の余白。範囲は 0 ～ 8 です。 densityMode: Auto または Fixed を設定できます。 density: 値の範囲は 0 ～ 4 です (densityMode を Fixed にした場合)。
<labels>	軸の ラベル [102 ページ] 。
<stacking>	<p>軸の積み上げモードの属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> mode (Unstacked、Stacked、GloballyStacked のいずれか) stacked100percent (true または false) <div> <p>① 注記</p> <p>値軸の場合のみ。</p> </div>
<scaling>	<p>軸目盛の指定に使用する軸目盛モード。 拡大/縮小 [103 ページ] を参照してください。</p> <div> <p>① 注記</p> <p>値軸の場合のみ。</p> </div>

要素	説明
<expressions>	<p>軸に割り当てる式。式の数、チャートタイプと軸のロールによって異なります。たとえば、タグクラウドチャートでは、各軸に式を1つのみ割り当てられます。</p> <p>棒、折れ線、等高線、二重、または結合チャートの属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> regionType (Default Bars Lines Surfaces) <p>値軸のメジャーのヒートマップ、ツリーマップ、またはタグクラウドチャートの式の属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> polarity (Auto Ascending Descending Neutral)

例: 値ロール軸

```
<axis role="Value" visible="true" optional="false">
  <id>2</id>
  <name>Value Axis 1</name>
  <title visible="true">
    <style>
      <border thickness="None">
        <color rgb="#000000" alpha="255"/>
      </border>
      <background>
        <color rgb="#000000" alpha="0"/>
      </background>
      <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
    </style>
    <layout spacing="0"/>
    <separator>&amp;</separator>
  </title>
  <layout adjust="false"/>
  <coloring>
    <color rgb="#707070" alpha="255"/>
  </coloring>
  <tick length="5" margin="4" densityMode="Fixed" density="2"/>
  <labels visible="true" orientation="Auto" staggered="false">
    <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
    <numberFormat default="true" sample="1,234567E3" type="Custom">
      <template positive="SCIENTIFIC"/>
    </numberFormat>
  </labels>
  <stacking mode="GloballyStacked" stacked100percent="false"/>
  <scaling mode="Linear" unitScaleFactor="0" roundMinMaxValues="false">
    <minValue type="Auto"/>
    <maxValue type="Auto"/>
  </scaling>
  <expressions>
    <formula regionType="Default" dataType="Numeric"
dataObjectId="DP0.DO7">=[Revenue]</formula>
  </expressions>
</axis>
```


例: カテゴリロール軸

```
<axis role="MainCategory" visible="true" optional="false">
  <id>0</id>
  <name>Main Category Axis</name>
  <title visible="true">
    <style>
      <border thickness="None">
        <color alpha="255" rgb="#000000"/>
      </border>
      <background>
        <color alpha="0" rgb="#000000"/>
      </background>
      <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
    </style>
    <layout spacing="0"/>
    <separator>&amp;</separator>
  </title>
  <layout reverseOrder="false" continuous="false" adjust="false"/>
  <coloring>
    <color alpha="255" rgb="#707070"/>
  </coloring>
  <grid>
    <color alpha="255" rgb="#dadada"/>
    <background>
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </background>
  </grid>
  <tick length="4" margin="0"/>
  <labels visible="true" orientation="Auto" deleteMode="Auto"
autoResize="false">
    <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
  </labels>
  <expressions>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO39">[Country]</formula>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO31">[Year]</formula>
  </expressions>
</axis>
```

6.2.2.8.1 ロールと ID

チャートには特定の数の軸があり、各軸には特定のロールがあります。次の表は、チャートまたはチャート系列ごとに、各 ID (0 ~ 5) の軸ロールを説明しています。

チャート	0	1	2	3	4	5
棒系列、折れ線、等高線、結合縦棒	Color	Category	Value			
円	PieSecto rSize	PieSecto rColor				
奥行きを持つ円、ドーナツ	PieSecto rSize	PieDepth Size	PieSecto rColor			
散布図	Value1	Value2	Color	Shape		

チャート	0	1	2	3	4	5
バブル	Value1	Value2	BubbleWidth	BubbleHeight	Color	Shape
極線散布図	AngularValue	RadialValue	Color	Shape		
極線バブル	AngularValue	RadialValue	BubbleWidth	Color	Shape	
ボックスプロット	Category	Value	Color			
レーダー	Color	Category	Shape	Value		
ヒートマップ	MainCategory	Color	SecondCategory			
ツリーマップ	RectangleTitle	RectangleWeight	Color			
タグクラウド	Category	TagsWeight	TagsFamily			
ウォーターフォール	Category	Value				
二重	Category	Value1	Value2	Color		

① 注記

レーダーチャートでは、ディメンション軸を最大2つまでしか設定できません。たとえば、データを "Color" および "Category" に表示する場合は、データを "Shape" に割り当てられません。

6.2.2.8.2 ラベル

```
<labels>
  <font>
    <numberFormat>
      <template>
```

属性	値のデータ型	説明
visible	<i>Boolean</i>	軸にラベルを表示するかどうかを定義します。

属性	値のデータ型	説明
orientation	Auto Angle30 Angle60 VerticalLettering	ラベルの方向 <div> ① 注記 Angle30 と Angle60 は、チャートが立体棒ではない場合に値軸のみで使用できます。Auto と VerticalLettering は、他のすべての場合に使用できます。 </div>
deleteMode	Auto Fixed	ラベルの削除モード
deleteFactor	<i>integer</i>	削除係数 (deleteMode が Fixed の場合)。最小値は 1 です。
autoResize	<i>Boolean</i>	すべてのラベルが表示されるようにフォントサイズを自動的に小さくするかどうかを指定します。
staggered	<i>Boolean</i>	ラベルを交互に配置するかどうかを指定します。
textPolicy	NoWrap Wrap Truncate	staggered が true の場合のラベルの文字ポリシー

要素	説明
	ラベルのフォントプロパティ (サイズ、フォント、斜体、太字、取り消し線、下線、RGB カラー)
<numberFormat>	テンプレートおよび一連のプロパティで定義する目盛値の書式。 <div> ① 注記 値軸の場合のみ。 </div>

例

```
<labels visible="true" orientation="Auto" staggered="false">
  <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#707070"/>
  <numberFormat default="true" sample="1,234567E3" type="Custom">
    <template positive="SCIENTIFIC"/>
  </numberFormat>
</labels>
```

6.2.2.8.3 拡大/縮小

```
<scaling>
```

```
<minValue>
<maxValue>
```

属性	値のデータ型	説明
mode	Linear Exponential Logarithmic	目盛モード
originInRange	Always Auto Never	拡大/縮小軸でゼロを表示する方法。
unitScaleFactor	<i>integer</i>	狭い領域で非常に小さいまたは非常に大きい目盛値を表示できるようにする、拡大/縮小軸の単位拡大/縮小指数。値の範囲は -24 ～ 24 です。
roundMinMaxValues	<i>Boolean</i>	拡大/縮小軸の制限値を最も近い目盛値に丸めるかどうかを定義します。

要素	説明
<minValue>	拡大/縮小軸の最大値を管理する方法を定義します。 属性: type (Auto または Fixed) type が Fixed の場合は、式を設定します。
<maxValue>	拡大/縮小軸の最大値を管理する方法を定義します。 属性: type (Auto または Fixed) type が Fixed の場合は、式を設定します。

例

```
<scaling mode="Linear" unitScaleFactor="0" roundMinMaxValues="false">
  <minValue type="Auto"/>
  <maxValue type="Auto"/>
```

6.3 日付と時刻の書式

RESTful Web Service SDKs は dateTime データを次の UTC 形式でサポートします。

```
yyyy-mm-ddThh:mm:ss(.s+)(zzzzzz|Z)
```

この場合、

文字列	説明
yyyy	年を表す 4 桁
-	日付の部分の一部を区切る、区切り文字
最初の mm	月を表す 2 桁の数字

文字列	説明
dd	日を表す 2 桁の数字
T	時刻が続くことを表す区切り文字
hh	時間を表す 2 桁の数字
:	時刻の部分の一部を区切る、区切り文字
2 番目の mm	分を表す 2 桁の数字
ss	整数の秒を表す 2 桁の整数
.s+	ドット区切り文字の後ろに示される秒の小数部
zzzzzz	zzzzzz は、(指定された場合) W3C 勧告に沿ったタイムゾーンを表します。zzzzzz の形式は + - hh:mm です。
Z	期間の長さがゼロのタイムゾーン (UTC 標準の表現)

例

2002-10-10T12:00:00.000-05:00 (米国中部夏時間および東部標準時の 2002 年 10 月 10 日正午) は 2002-10-10T17:00:00.000Z と同じです。

関連情報

<http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/#dateTime> 

6.4 クエリ

クエリ仕様は、BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK を使用して実行されるクエリについて詳細に説明した XML ドキュメントです。クエリ仕様は、セマンティックレイヤのコンセプトを使用する製品によるデータプロバイダからのデータ抽出を標準化するために設計されたクエリモデルに基づいています。

このクエリモデルにより、リレーショナルデータベース、OLAP データプロバイダ、XML ファイル、または Web サービスなどの任意のデータソースからデータを抽出または返すための、すべての SQL クエリのタイプを定義することができます。

クエリ仕様では、クエリの以下のコンポーネントがサポートされます。

- クエリプロンプトのオプション
- 結果オブジェクト
- 並べ替えオブジェクト
- クエリフィルタ

また、クエリモデルでは複合クエリなどの高度なクエリを定義することもできます。

[クエリ仕様の本文スキーマ \[106 ページ\]](#)

[クエリオプション \[107 ページ\]](#)

[結果オブジェクト \[108 ページ\]](#)

[並べ替えオブジェクト \[109 ページ\]](#)

[クエリフィルタ \[110 ページ\]](#)

[複合クエリ \[127 ページ\]](#)

[OData クエリサービス \[129 ページ\]](#)

6.4.1 クエリ仕様の本文スキーマ

本文スキーマ (XML)

(POST/queries および GET/queries/<queryID>)

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="string" dataSourceType="unv|
unx" dataSourceId="integer">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      <queryOption>
        <queryData>
          <resultObjects>
            <resultObject>
          <sortObjects>
            <sortObject>
          <filterPart>
            QueryFilters
```

QueryFilters はクエリに含まれるフィルタ条件を表します。クエリ仕様要素の詳細な説明については、次の節を参照してください。

クエリ

要素	説明
<code><querySpecification></code>	クエリ仕様
<code>></code>	属性:version(1.0)
<code><queryOptions></code>	クエリオプションの一覧
<code><queryData></code>	結果オブジェクト、並べ替えオブジェクト、およびフィルタオブジェクトで使用するオブジェクト。少なくとも1つの <code><queryData></code> があります。

属性	型または値	説明
id	string	クエリ ID

属性	型または値	説明
dataSourceType	unv unx	ユニバースのタイプ
dataSourceId	<i>integer</i>	ユニバース ID

関連情報

[クエリフィルタ \[110 ページ\]](#)

[クエリの作成 \[179 ページ\]](#)

6.4.2 クエリオプション

UNV ユニバースの場合はユニバースデザインツール、UNIX ユニバースの場合はインフォメーションデザインツールで設定できるオプションの一部を、クエリで指定することができます。

```
<queryOptions>
  <queryOption name="string" activated="Boolean" value="string" />
```

→ 注意

仕様に明示的に存在していないオプションは、有効ではありません。

属性	型または値	説明
name	<i>string</i> (下の表の値)	オプション名
activated	<i>Boolean</i>	activated が false の場合、オプションは適用されません。任意です。表示されない場合、オプションは有効です。
value	<i>string</i>	オプションの値

名前の属性値	説明
duplicatedRows	true の場合、クエリは重複する行があっても関連する行をすべて返します。
maxRetrievalTimeInSeconds	クエリを停止するまでの最大実行時間を定義します。
maxRowsRetrieved	true の場合、クエリで考えられるすべての行が返されますが、最初の n 行のみ表示されます。n はこのオプションに対して設定する最大行数です。 必要なデータ量を限定できる場合は、このオプションを使ってレポートに表示されるデータ行数を制限することができます。
samplingResultSetSize	クエリがサンプルとして返す最大行数を定義します。

名前の属性値	説明
samplingResultSetFixed	使用されるサンプリングのタイプを定義します。オプション値は、固定サンプリングの場合は true、ランダムの場合は false です。

→ 注意

samplingResultSetSize は samplingResultSetFixed なしで設定することができます。その場合、サンプリングのタイプはランダムになります。

例

UNIX ユニバースのクエリ仕様の次のスニペットは、クエリオプションを示しています。

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="589789982204141561"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      <queryOption name="duplicatedRows" value="true"/>
      <queryOption name="maxRetrievalTimeInSeconds" activated="false"
value="600"/>
      <queryOption name="maxRowsRetrieved" activated="true" value="5000"/>
      <queryOption name="samplingResultSetSize" activated="false"
value="200">
      <queryOption name="samplingResultSetFixed" activated="false"
value="false">
    </queryOptions>
    ...
  </querySpecification>
</query>
```

6.4.3 結果オブジェクト

結果オブジェクトでクエリを構成します。

```
<resultObjects>
  <resultObject id="string" path="string" />
```

属性	型または値	説明
id	<i>string</i>	オブジェクトの識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス。オプション。

→ 注意

<resultObjects> 内のオブジェクト順序は SQL クエリでのオブジェクト順序を反映するため、重要です。例を挙げます。

```
<queryData>
  <resultObjects>
```



```

    <resultObject id=A .../>
    <resultObject id=B .../>
  </resultObjects>
  ...

```

上記のクエリは、以下とは異なる結果が返されます。

```

<queryData>
  <resultObjects>
    <resultObject id=B .../>
    <resultObject id=A .../>
  </resultObjects>
  ...

```

例

次のクエリ仕様のスニペットは、UNIX ユニバースのクエリで使用される結果オブジェクトを示します。

```

<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      ...
    </queryOptions>
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Product|folder¥Product|dimension"
          id="_IB8eGbIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Inventory|folder¥Stock Level|measure"
          id="_IB8eFrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Product|folder¥Minimum Stock|measure"
          id="_IB8eHrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>

```

6.4.4 並べ替えオブジェクト

並べ替えオブジェクトは、クエリ結果を並べ替えるために使用します。並べ替えオブジェクトはディメンション、属性、またはメジャーです。結果オブジェクトは並べ替えオブジェクトとして使用することができます。これは主に、ユニバースのクエリ機能に応じて異なります。

```

<sortObjects>
  <sortObject id="string" path="string" sortType="Ascending|Descending"/>

```

属性	データ型または値	説明
id	<i>string</i>	データソースメタデータを取得する際に定義されたオブジェクト識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス (オプション)

属性	データ型または値	説明
sortType	Ascending Descending	並べ替えタイプ

例

次のクエリ仕様のスニペットは、UNIX ユニバースのクエリで使用する並べ替えオブジェクトを示します。このうち2つは結果オブジェクトとしても定義されています。

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="9168123992538053733"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      ...
    <queryOptions>
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Product|folder¥Category|dimension"
          id="_IB8eG7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Product|folder¥Product|dimension"
          id="_IB8eGbIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Time|folder¥Calendar|folder¥Calendar Year
Month|dimension"
          id="_IB8eG7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Inventory|folder¥Stock Level|measure"
          id="_IB8eFrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Product|folder¥Minimum Stock|measure"
          id="_IB8eHrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
      <sortObjects>
        <sortObject sortType="Ascending" path="Product|folder¥Category|
dimension"
          id="_IB8eG7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <sortObject sortType="Ascending" path="Product|folder¥Product|
dimension"
          id="_IB8eGbIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <sortObject sortType="Descending" path="Time|folder¥Calendar|
folder¥Calendar Week
|dimension" id="_IB8eHrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </sortObjects>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

6.4.5 クエリフィルタ

クエリフィルタでは、クエリの結果のフィルタ条件を定義できます。

クエリ仕様モデルでは、以下の種類のフィルタを定義します。

- 定義済みフィルタ
- カスタムフィルタ

次のカスタムフィルタがサポートされています。

- 定数の値に基づいた比較フィルタ
- オブジェクトに基づいた比較フィルタ
- 順位フィルタ
- サブクエリフィルタ
- 複数の比較フィルタから構成される複合フィルタ

[定義済みフィルタ \[111 ページ\]](#)

[カスタムフィルタ - 0、1、または 2 個の定数ペランドを持つ比較フィルタ \[112 ページ\]](#)

[カスタムフィルタ - 値の一覧オペランドに対する比較フィルタ \[115 ページ\]](#)

[カスタムフィルタ - パラメータを使用する比較フィルタ \[117 ページ\]](#)

[カスタムフィルタ - オブジェクト比較フィルタ \[119 ページ\]](#)

[カスタムフィルタ - 順位フィルタ \[120 ページ\]](#)

[カスタムサブクエリフィルタ \[124 ページ\]](#)

[複合カスタムフィルタ \[126 ページ\]](#)

6.4.5.1 定義済みフィルタ

```
<filterPart>
  <predefinedFilter id="string" path="string" />
```

属性	型または値	説明
id	文字列	データソースメタデータを取得するときに定義されたオブジェクト識別子
path	文字列	ユニバース内のオブジェクトの完全パス

例

次のクエリ仕様のスニペットはクエリ内の定義済みフィルタを示します。

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      ...
    </queryOptions>
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Product|folder¥Product|dimension"
id="_IB8eGbIhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
        <resultObject path="Inventory|folder¥Stock Level|measure"
id="_IB8eFrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
        <resultObject path="Product|folder¥Minimum Stock|measure"
id="_IB8eHrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <predefinedFilter path="Inventory|folder¥Stock Below Minimum|
filter" id="_V5_GkLR_EeCZotjuycya1A" />
      </filterPart>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

```

    </filterPart>
  </queryData>
</querySpecification>
</query>

```

6.4.5.2 カスタムフィルタ - 0、1、または 2 個の定数ペランドを持つ比較フィルタ

```

<filterPart>
  <comparisonFilter id="string" path="string" operator="string">
    <constantOperand searchPattern="Boolean">
      <value>
        <caption type="String|Numeric|Date">

```

<comparisonFilter> ごとに、最大で 2 つの <constantOperand> を追加することができます。それぞれのオペランドには、右オペランドとして使用される定数値を表す <value>/<caption> が含まれます。

① 注記

以下のフォーマットは引き続きサポートされています。

```

<filterPart>
  <comparisonFilter id="string" path="string" operator="string">
    <constantOperand searchPattern="Boolean">
      <answerValue dataType="String|Numeric|Date">

```

比較フィルタ

属性	データ型または値	説明
id	<i>string</i>	左オペランドとして使用されるオブジェクトの識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス
operator	<i>string</i> (下の表の値)	演算子

演算子	演算子の属性値	右オペランドの数
= NULL	IsNull	0
≠ NULL	IsNotNull	0
等しい (=)	EqualTo	1
等しくない (<>)	NotEqualTo	1
より小さい (<)	LessThan	1
より大きい (>)	GreaterThan	1

演算子	演算子の属性値	右オペランドの数
以下 (<=)	LessThanOrEqualTo	1
以上 (>=)	GreaterThanOrEqualTo	1
似ている値	Like	1
似ていない値	NotLike	1
以外	Except	1
範囲内	Between	2
範囲外	NotBetween	2
両方	Both	2

定数オペランド

属性	データ型または値	説明
searchPattern	<i>Boolean</i>	<p>基になるデータベースのエスケープ文字およびマスク文字が認識されずに <value>/<caption> または <answerValue> の値が解析される方法を指定します。Like 演算子のみと使用することができます。</p> <p>true に設定された場合、値は解析されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 文字は結果の SQL でデータベースの複数文字マスクと置き換えられます。 ? 文字は結果の SQL でデータベースの単一文字マスクと置き換えられます。 パターンに %? または %* が含まれていると、? または * はエスケープされます。? または * を含む文字列は、実際に演算子によって検出されます。 _ および % ワイルドカード文字はエスケープされます。 <p>false に設定された場合、値は解析されません。デフォルト値は false です。</p>

回答の値

属性	データ型または値	説明
dataType	String Numeric Date	フィルタとして使用される値のデータ型

キャプション

属性	データ型または値	説明
type	String Numeric Date	フィルタとして使用される値のデータ型

例: = NULL 演算子 (定数オペランドなし)

以下のクエリ仕様のスニペットは、クエリに定数オペランドを含まない `IsNull` 比較フィルタを示しています。

```
<query dataSourceId="5909" dataSourceType="unx" xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Customer|
folder¥Geography|folder¥Continent|dimension"/>
        <resultObject id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Customer|
folder¥Geography|folder¥Country|dimension"/>
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <comparisonFilter id="_IB8eVbIhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Sales
Orders|folder¥Number of Orders|measure"
          operator="IsNull"/>
      </filterPart>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

例: 等しい (=) 演算子 (1つの定数オペランド)

以下のクエリ仕様のスニペットは、クエリに1つの定数オペランドを含む `EqualTo` 比較フィルタを示しています。

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      ...
    </queryOptions>
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Continent|
dimension" id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="SalesOrders|folder¥Number of Orders|measure"
id="_IB8eVbIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <comparisonFilter operator="EqualTo" path="Time|folder¥Calendar|
folder¥CalendarYear|dimension"
          id="_IBo8FLIhEeCk0Ylv-tlF2Q">
```

```

        <constantOperand>
          <value>
            <caption type="String">2011</caption>
          </value>
        </constantOperand>
      </comparisonFilter>
    </filterPart>
  </queryData>
</querySpecification>
</query>

```

例: 範囲内演算子 (2 つの定数オペランド)

以下のクエリ仕様のスニペットは、クエリに 2 つの定数オペランドを含む Between 比較フィルタを示しています。

```

<query dataSourceId="5909" dataSourceType="unx" xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Customer|
folder¥Geography|folder¥Continent|dimension"/>
        <resultObject id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Customer|
folder¥Geography|folder¥Country|dimension"/>
        <resultObject id="_IB8eVbIhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Sales Orders|
folder¥Number of Orders|measure"/>
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <comparisonFilter id="_IB8eVbIhEeCk0Ylv-tlF2Q" path="Sales
Orders|folder¥Number of Orders|measure"
          operator="Between">
            <constantOperand searchPattern="false">
              <value>
                <caption type="Numeric">200</caption>
              </value>
            </constantOperand>
            <constantOperand searchPattern="false">
              <value>
                <caption type="Numeric">700</caption>
              </value>
            </constantOperand>
          </comparisonFilter>
        </filterPart>
      </queryData>
    </querySpecification>
  </query>

```

6.4.5.3 カスタムフィルタ - 値の一覧オペランドに対する比較フィルタ

```

<filterPart>
  <comparisonFilter id="string" path="string" operator="string">
    <constantOperand>
      <value>
        <caption type="String|Numeric|Date">

```

```

    <path>
      <level>
        <caption type="String|Numeric|Date">

```

このオペランドには、右オペランドとして使用される値の一覧からの定数値を表す `<caption>` が含まれます。

値の一覧が階層である場合には、このオペランドに `<path>/<level>/<caption>` が含まれます。クエリの指定でレベルは平坦化されます。

比較フィルタ

属性	データ型または値	説明
id	<i>string</i>	左オペランドとして使用されるオブジェクトの識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス
operator	<i>string</i> (以下の表の値)	演算子

演算子	演算子の属性値	右オペランドの数
In	InList	リスト
Not In	NotInList	リスト

キャプション

属性	データ型または値	説明
type	String Numeric Date	フィルタとして使用される値のデータ型

例: InList 演算子

クエリの指定の以下のスニペットは、InList 比較フィルタ、および値の一覧から選択された 2 つの都市を示しています。

```

<filterPart>
  <comparisonFilter operator="InList" id="_zPwYENK-EeSNS_-8mYpikg" path="Store
Names|folder¥Associate_LOV_City|dimension">
    <constantOperand>
      <value>
        <caption type="String">London</caption>
      </value>
      <value>
        <caption type="String">Paris</caption>
      </value>
    </constantOperand>
  </comparisonFilter>

```



```
</filterPart>
```

クエリの指定の以下のスニペットは、InList 比較フィルタ、および値の階層一覧から選択された1つの都市を示しています。

```
<filterPart>
  <comparisonFilter operator="InList" id="_zPwYENK-EeSNS_-8mYpikg" path="Store
Names|folder¥Cascading_Associate_LOV_City|dimension">
  <constantOperand>
    <value>
      <caption type="String">London</caption>
      <path>
        <level>
          <caption type="String">England</caption>
        </level>
        <level>
          <caption type="String">London</caption>
        </level>
      </path>
    </value>
  </constantOperand>
</comparisonFilter>
</filterPart>
```

6.4.5.4 カスタムフィルタ - パラメータを使用する比較フィルタ

```
<filterPart>
  <comparisonFilter id="string" path="string" operator="string">
    <parameterOperand>
      <parameter constrained="Boolean" keepLastValues="Boolean"
optional="Boolean" promptWithLov="Boolean">
        <question>
```

オペランドには、フィルタ値を取得するために回答が必要な質問、およびパラメータが含まれます。

比較フィルタ

属性	データ型または値	説明
id	<i>string</i>	左オペランドとして使用されるオブジェクトの識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス
operator	<i>string</i> (下の表の値)	演算子

演算子	演算子の属性値	右オペランドの数
= NULL	IsNull	0
≠ NULL	IsNotNull	0
等しい(=)	EqualTo	1

演算子	演算子の属性値	右オペランドの数
等しくない(<>)	NotEqualTo	1
より小さい(<)	LessThan	1
より大きい(>)	GreaterThan	1
以下(<=)	LessThanOrEqual To	1
以上(>=)	GreaterThanOrEq ualTo	1
似ている値	Like	1
似ていない値	NotLike	1
以外	Except	1
範囲内	Between	2
範囲外	NotBetween	2
両方	Both	2

パラメータ

属性	データ型または値	説明
constrained	<i>Boolean</i>	ユーザがパラメータの新しい値を入力できる (false) か、または関連付けられている値の一覧から値を選択する必要がある (true) かを指定します。
keepLastValues	<i>Boolean</i>	パラメータが前の回答の値を保持するかどうかを示します。 → 注意 BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービスを使用する場合は、以前の回答の値の保存を実装する必要があります。Web サービスではこれらが保存されません。
optional	<i>Boolean</i>	パラメータがオプションであるかどうかを指定します。
promptWithLov	<i>Boolean</i>	パラメータが値一覧と関連するかどうかを指定します。

例

以下のクエリ仕様のスニペットは、フィルタ値を取得するために回答が必要なプロンプトを含む `EqualTo` 比較フィルタを示しています。

```
<filterPart xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <comparisonFilter id="_6zk08A-8Ee01RP--CtxScg" operator="EqualTo"
    path="Custorder¥OrderId">
```

```

    <parameterOperand>
      <parameter constrained="true" keepLastValues="true" optional="false"
promptWithLov="true">
        <question>Enter Order ID</question>
      </parameter>
    </parameterOperand>
  </comparisonFilter>
</filterPart>

```

6.4.5.5 カスタムフィルタ - オブジェクト比較フィルタ

```

<filterPart>
  <comparisonFilter id="string" path="string" operator="string">
    <objectOperand id="string" path="string">

```

<objectOperand> は、右オペランドとして使用されるビジネスオブジェクトを表します。

比較フィルタ

属性	型または値	説明
id	<i>string</i>	データソースメタデータを取得するときに定義された、左オペランドとして使用されるオブジェクトの識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス
operator	<i>string</i> (下の表の値)	演算子

演算子	演算子の属性値	右オペランドの数
等しい(=)	EqualTo	1 オブジェクト
等しくない(<>)	NotEqualTo	1 オブジェクト
より小さい(<)	LessThan	1 オブジェクト
より大きい(>)	GreaterThan	1 オブジェクト
以下(<=)	LessThanOrEqualTo	1 オブジェクト
以上(>=)	GreaterThanOrEqualTo	1 オブジェクト

オブジェクトオペランド

属性	型または値	説明
id	<i>string</i>	右オペランドとして使用されるオブジェクトの識別子
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス

例

以下のクエリ仕様のスニペットは、クエリに1つのオペランドのオブジェクトを含む `EqualTo` 比較フィルタを示しています。

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      ...
    </queryOptions>
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Continent|
dimension" id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="SalesOrders|folder¥Number of Orders|measure"
id="_IB8eVbIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <comparisonFilter path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" operator="EqualTo"
          id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q">
            <objectOperand id="_IBo8JzLhEeCk0Ylv-tlF2Q"
path="Restrictions¥Restricted Country"/>
          </comparisonFilter>
        </filterPart>
      </queryData>
    </querySpecification>
  </query>
```

6.4.5.6 カスタムフィルタ - 順位フィルタ

```
<filterPart>
  <rankingFilter function="Top|Bottom|topPercent|bottomPercent" level="integer">
    <prompt>
      <dimension id="string" path="string"/>
      <basedOnMeasure id="string" path="string"/>
    <rankedByDimensions>
      <rankedByDimension id="string" path="string"/>
    </rankedByDimensions>
  </rankingFilter>
</filterPart>
```

順位フィルタは、以下によって定義されます。

- 順位 (昇順または降順)
- プロンプトによってフィルタがトリガした場合は、エンドユーザにプロンプト表示される質問
- 順位付け対象のディメンションとメジャー
- 順位付けに使用される追加のディメンション
- 含まれる可能性がある追加のカスタムフィルタ

順位フィルタ

属性	型または値	説明
function	Top Bottom topPercent bottomPercent	順位が昇順 (Bottom、bottomPercent) または降順 (Top、topPercent) のいずれであるかを指定します。
level	<i>integer</i>	順位付けする値の数。 オプション。プロンプトのあるフィルタの場合は、プロンプトのデフォルト値です。この動作は UNV ユニバースに固有です。

プロンプト

要素	型または値	説明
<prompt>	<i>string</i>	プロンプトのあるフィルタの場合は、プロンプトの質問を指定します。

ディメンション

属性	型または値	説明
id	<i>string</i>	順位付けするディメンションオブジェクトの ID
path	<i>string</i>	オプション。ディメンションオブジェクトの完全パス

メジャー

属性	型または値	説明
id	<i>string</i>	順位付けするメジャーオブジェクトの ID
path	<i>string</i>	オプション。メジャーオブジェクトの完全パス

ディメンション別の順位

<rankedByDimensions> はオプションです。少なくとも1つの <rankedByDimension> を <rankedByDimensions> に追加します。

属性	型または値	説明
id	<i>string</i>	順位付けに使用される追加のディメンションオブジェクトの ID
path	<i>string</i>	オプション。ディメンションオブジェクトの完全パス

例: プロンプトなし

```
<query dataSourceType="unx" dataSourceId="91800" xmlns="http://
www.sap.com/rws/sl/universe">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Regionname|dimension"
id="_60xHwQ-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Countryname|dimension"
id="_60xHwA-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee0lRP--CtxScg"/>
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <rankingFilter level="3" function="Top">
          <dimension path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee0lRP--CtxScg"/>
          <basedOnMeasure path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        </rankingFilter>
      </filterPart>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

例: プロンプトあり

```
<query dataSourceType="unx" dataSourceId="91800" xmlns="http://
www.sap.com/rws/sl/universe">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Regionname|dimension"
id="_60xHwQ-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Countryname|dimension"
id="_60xHwA-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee0lRP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee0lRP--CtxScg"/>
      </resultObjects>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

```

        </resultObjects>
        <filterPart>
            <rankingFilter level="3" function="Top">
                <prompt>Enter the ranking level:</prompt>
                <dimension path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee01RP--CtxScg"/>
                <basedOnMeasure path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee01RP--CtxScg"/>
            </rankingFilter>
        </filterPart>
    </queryData>
</querySpecification>
</query>

```

例: 追加のディメンションあり

```

<query dataSourceType="unx" dataSourceId="91800" xmlns="http://
www.sap.com/rws/sl/universe">
    <querySpecification version="1.0">
        <queryData>
            <resultObjects>
                <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Regionname|dimension"
id="_60xHwQ-8Ee01RP--CtxScg"/>
                <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Countryname|dimension"
id="_60xHwA-8Ee01RP--CtxScg"/>
                <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee01RP--CtxScg"/>
                <resultObject path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee01RP--CtxScg"/>
            </resultObjects>
            <filterPart>
                <rankingFilter level="3" function="Top">
                    <prompt>Enter ranking level :</prompt>
                    <dimension path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee01RP--CtxScg"/>
                    <basedOnMeasure path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee01RP--CtxScg"/>
                    <rankedByDimensions>
                        <rankedByDimension path="Dimcustomer|folder¥Regionname|
dimension" id="_60xHwQ-8Ee01RP--CtxScg"/>
                        <rankedByDimension path="Dimcustomer|folder¥Countryname|
dimension" id="_60xHwQ-8Ee01RP--CtxScg"/>
                    </rankedByDimensions>
                </rankingFilter>
            </filterPart>
        </queryData>
    </querySpecification>
</query>

```

例: 定義済みフィルタあり

```

<query dataSourceType="unx" dataSourceId="91800" xmlns="http://
www.sap.com/rws/sl/universe">
    <querySpecification version="1.0">
        <queryData>
            <resultObjects>
                <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Regionname|dimension"
id="_60xHwQ-8Ee01RP--CtxScg"/>
            </resultObjects>
        </queryData>
    </querySpecification>
</query>

```

```

        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Countryname|dimension"
id="_60xHwA-8Ee01RP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee01RP--CtxScg"/>
        <resultObject path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee01RP--CtxScg"/>
    </resultObjects>
    <filterPart>
        <rankingFilter level="3" function="Top">
            <dimension path="Dimcustomer|folder¥Customer Name|dimension"
id="_7Zkd8A-8Ee01RP--CtxScg"/>
            <basedOnMeasure path="Custorderline|folder¥Quantity|measure"
id="_60Bg4g-8Ee01RP--CtxScg"/>
            <filterPart>
                <predefinedFilter path="Filters|folder¥European
Customers|filter" id="_9onvcA-8Ee01RP--CtxScg"/>
            </filterPart>
        </rankingFilter>
    </filterPart>
</queryData>
</querySpecification>
</query>

```

6.4.5.7 カスタムサブクエリフィルタ

```

<filterPart>
    <subQueryFilter operator="string" correlationType="None|Any|All">
        <filterObjects>
            <filterObject id="string" path="string" />
        <queryData>
            <resultObjects>
                <resultObject>
            <sortObjects>
                <sortObject>
            <filterPart>

```

サブクエリの定義とメリットについては、*SAP BusinessObjects Web Intelligence ユーザガイド*を参照してください。

サブクエリフィルタ

属性	データ型または値	説明	
operator	<i>string</i>	演算子	
correctionType	None Any All	相関関係の種類	
演算子	演算子の属性値	オペランドの数	相関関係のサポート
等しい(=)	EqualTo	オブジェクト	×
等しくない(<>)	NotEqualTo	オブジェクト	○
より小さい(<)	LessThan	オブジェクト	○

演算子	演算子の属性値	オペランドの数	相関関係のサポート
より大きい(>)	GreaterThan	オブジェクト	○
以下(<=)	LessThanOrEqualTo	オブジェクト	○
以上(>=)	GreaterThanOrEqualT o	オブジェクト	○
リスト内	InList	リスト	×
リスト外	NotInList	リスト	×

フィルタオブジェクト

属性	データ型 または値	説明
id	<i>string</i>	フィルタとして使用されるオブジェクト ID
path	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトの完全パス

例

次のクエリ仕様のスニペットは、相関関係のないサブクエリフィルタを示します。

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryOptions>
      ...
    </queryOptions>
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Time|folder¥Calendar|folder¥Calendar Year|
dimension" id="_IBo8FLIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Continent|
dimension" id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Sales Revenue|folder¥Net Sales|measure"
id="_IB8eRLIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
      <filterPart>
        <subQueryFilter operator="EqualTo" correlationType="Any">
          <filterObjects>
            <filterObject path="Customer|folder¥Geography|
folder¥Continent|dimension"
              id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
            <filterObject path="Customer|folder¥Geography|
folder¥Country|dimension"
              id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
          </filterObjects>
        </subQueryFilter>
      </filterPart>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

```

        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|
folder¥Continent|dimension"
        id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|
folder¥Country|dimension"
        id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
    </resultObjects>
    <filterPart>
        <comparisonFilter operator="GreaterThan" path="Sales
Revenue|folder¥Net Sales|measure"
        id="_IB8eRLIhEeCk0Ylv-tlF2Q">
            <constantOperand>
                <value>
                    <caption type="Numeric">300000000</
caption>
                </value>
            </constantOperand>
        </comparisonFilter>
    </filterPart>
</queryData>
</subQueryFilter>
</filterPart>
</queryData>
</querySpecification>
</query>

```

6.4.5.8 複合カスタムフィルタ

クエリ仕様モデルでは、AND および OR 論理演算子を使用して、比較フィルタを組み合わせることができます。これらの演算子は、<and> および <or> XML 要素を使用して定義されます。

例

以下のクエリ仕様のスニペットは、2 つの比較フィルタを AND で組み合わせています。

```

<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
    <querySpecification version="1.0">
        <queryOptions>
            ...
        </queryOptions>
        <queryData>
            <resultObjects>
                <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
                <resultObject path="Customer|folder¥Customer|dimension"
id="_IBo8OrIhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
                <resultObject path="Customer Satisfaction|folder¥Satisfaction
Index|measure" id="_IByE7IhEeCk0Ylv-tlF2Q" />
            </resultObjects>
            <filterPart>
                <and>
                    <comparisonFilter path="Time|folder¥Calendar|folder¥Calendar
Year Month|dimension" operator="EqualTo"
                    id="_IBo8G7IhEeCk0Ylv-tlF2Q">
                        <constantOperand>
                            <value>
                                <caption type="String">CY2011-M10</caption>

```

```

        </value>
        </constantOperand>
    </comparisonFilter>
    <comparisonFilter path="Customer|folder¥Geography|
folder¥Continent|dimension" operator="EqualTo"
id="_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q">
        <constantOperand>
            <value>
                <caption type="String">Europe</caption>
            </value>
        </constantOperand>
    </comparisonFilter>
</and>
</filterPart>
</queryData>
</querySpecification>
</query>

```

6.4.6 複合クエリ

BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK では、クライアントツールにより、演算子を使用して組み合わせた複数のクエリを含む XML クエリ仕様を作成できます。クエリ結果は、1 つだけ返されます。

次の演算子がサポートされています。

演算子	XML 要素
ユニオン	union
マイナス	minus
インターセクト	intersect

これらの演算子の詳細については、*SAP BusinessObjects Web Intelligence ユーザガイド*を参照してください。

例

以下のクエリ仕様のスニペットは、マイナス演算子で組み合わせられた 2 つのクエリを示しています。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="5897899822041415615"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
    <querySpecification version="1.0">
        <queryOptions>
            ...
        </queryOptions>
        <minus>
            <queryData>
                <resultObjects>
                    <resultObject path="Customer|folder¥Customer|dimension"
id="_IBo8OrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
                    <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>

```

```

        <resultObject path="Customer Satisfaction|
folder¥Satisfaction Index|measure"
        id="_IByte7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer Satisfaction|folder¥Achievement
rate|measure"
        id="_-OwM8LOlEeCMD5vI8SKUZA"/>
    </resultObjects>
    <sortObjects>
        <sortObject path="Customer Satisfaction|folder¥Achievement
rate|measure" sortType="Ascending"
        id="_-OwM8LOlEeCMD5vI8SKUZA"/>
    </sortObjects>
    <filterPart>
        <comparisonFilter path="Customer|folder¥Geography|
folder¥Country|dimension" operator="InList"
        id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q">
            <constantOperand>
                <value>
                    <caption type="String">France</caption>
                </value>
                <value>
                    <caption type="String">Germany</caption>
                </value>
            </constantOperand>
        </comparisonFilter>
    </filterPart>
</queryData>
<queryData>
    <resultObjects>
        <resultObject path="Customer|folder¥Customer|dimension"
id="_IBo8OrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥Country|
dimension" id="_IBo8NrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer Satisfaction|
folder¥Satisfaction Index|measure"
        id="_IByte7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer Satisfaction|folder¥Achievement
rate|measure"
        id="_-OwM8LOlEeCMD5vI8SKUZA"/>
    </resultObjects>
    <filterPart>
        <comparisonFilter operator="Between" path="Customer
Satisfaction|folder¥Achievement rate|measure"
        id="_-OwM8LOlEeCMD5vI8SKUZA">
            <constantOperand>
                <value>
                    <caption type="Numeric">0.85</caption>
                </value>
            </constantOperand>
            <constantOperand>
                <value>
                    <caption type="Numeric">1</caption>
                </value>
            </constantOperand>
        </comparisonFilter>
    </filterPart>
</queryData>
</minus>
</querySpecification>
</query>

```

6.4.7 OData クエリサービス

BI Semantic Layer RESTful Web サービス SDK を使用すると、クライアントツールは Open Data (OData) プロトコルを使用して、以下のタスクを実行できます。

- クエリステートメントの実行
- クエリ結果の取得
- OData フローとしてのクエリ結果の公開

OData クエリサービスは、エンティティデータモデル (EDM) に基づくスキーマに応じてクエリ結果を公開します。スキーマは CSDL を使用して記述されます。CSDL は、XML 形式でエンティティデータモデルスキーマの構造と動作が記述されています。エンティティデータモデルを規定する概念の詳細については、[CSDL 仕様](#) を参照してください。

OData クエリサービスは、1つのフローとしてクエリの結果を公開します。以下の場合には、複数のフローを返します。

- クエリ仕様が、複合クエリを定義している場合
- クエリが、リンクされていないオブジェクトを使用する場合

スキーマでは、クエリ結果の作成に使用するメタデータを定義します。これは、EDMX 形式のファイルとして表されます。

OData サービスが呼び出されると、クエリは実行中です。OData サービスは、POST HTTP 要求をサポートしません。

[クエリデータのマッピング \[129 ページ\]](#)

[プロパティの命名 \[130 ページ\]](#)

[クエリデータ型のマッピング \[131 ページ\]](#)

6.4.7.1 クエリデータのマッピング

OData サービスによって使用される EDM スキーマは、以下の EDM 要素をマップします。

- EntityContainer は、EntitySets を含みます。
- EntitySets はクエリフローにマップされます。エンティティセットはエンティティタイプにより定義されます。
- エンティティタイプは一連のプロパティで構成されます。Property は、クエリ仕様で定義される結果オブジェクトにマップされ、クエリフローで使用されます。

以下の表は、Property に対して定義される属性について説明しています。"sap" が先頭に付いている属性は、SAP BusinessObjects ユニバースに固有の属性です。

属性	説明
名前	オブジェクトを識別するために OData サービスによって使用される名前
Type	結果のタイプ

属性	説明
sap:label	ユニバース内のオブジェクトの元の名前
sap:objectKey	ユニバース内のオブジェクト ID
sap:qualification	オブジェクトタイプ。可能な値は、Dimension、Measure、および Attribute です。
sap:projectionFunction	タイプ Measure のオブジェクトに適用される集計関数です。次のいずれかの値です。Average、Count、First、Last、Max、Min、Sum、Delegated、および None。

例

以下の <Property> 要素は、クエリ内で作成されるオブジェクトを定義します。

```
<Property Name="Year" Type="Edm.String" Nullable="true" Unicode="true"
  sap:objectKey="OBJ_49" sap:qualification="Dimension"
  sap:label="Year" />
```

不完全な結果セット

<Schema> XML 要素には、クエリの結果セットが完全かどうかを示す sap:isPartial 属性があります。

返される結果セットが "最大受信行数" オプションの値よりも大きい場合、または実行クエリ時間が "最大受信時間" オプションに定義されている最大タイムアウトよりも長い場合に、sap:isPartial は false に設定されます。その他の場合は、true に設定されます。

関連情報

[クエリオプション \[107 ページ\]](#)

[OData フローメタデータの取得 \[206 ページ\]](#)

6.4.7.2 プロパティの命名

XML フローを生成するとき、オブジェクト名は自動的にプロパティ名に変換されます。元のオブジェクト名は、プロパティの sap:label 属性に保存されます。

EDM スキーマでは、プロパティの Name 属性の値は、以下の規則に従う必要があります。

- 先頭に数字または区切り文字を使用することはできません。
- 空白文字を含めることはできません。

- コロン(:)、ピリオド(.)、および@文字を含めることはできません。
- どのような名前でも使用できます。予約語はありません。
- xml で始まることは推奨されません。

生成された名前が空の文字列である場合は、プロパティ名は col に設定されます。

生成された名前は一意である必要があります。変換後、同一になる可能性がある場合は、プロパティ名の後ろに `_<increment>` が追加されます。ここで、`<increment>` は 1 から開始されます。

例: プロパティ名と sap:label 値

これらの例は、Name の命名規則と sap:label に設定した対応する元のオブジェクト名を示しています。

```
<Property Name="Year" ... sap:label="Year"/>
<Property Name="Reservation_Year" ... sap:label="Reservation Year"/>
<Property Name="My_Name" ... sap:label="My_Name"/>
<Property Name="My_Name_1" ... sap:label="My Name"/>
<Property Name="inval_d3_name_" ... sap:label="inval!d3name$"/>
<Property Name="col" ... sap:label="$"/>
<Property Name="col_1" ... sap:label="!"/>
```

6.4.7.3 クエリデータ型のマッピング

クエリで使用されるオブジェクトの型は、次の OData 型にマップされます。

OData のデータ型	BI セマンティックレイヤのデータ型
Edm.Binary	BLOB
Edm.Boolean	BOOLEAN
Edm.DateTime	CALENDAR_DATE、DATE、DATE_TIME
Edm.Decimal	CURRENCY、FLOAT
Edm.Double	DOUBLE
Edm.Int32	INT
Edm.Null	NULL
Edm.String	STRING、UNKNOWN
Edm.Time	TIME、TIMESTAMP

6.5 パラメータ

"パラメータ" という語は、Web サービスで操作される要求本文内で定義されている要素を指しています。パラメータはコンテキスト、@Prompts、およびオブジェクトパラメータを表します。

SDK	機能
BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK	<ul style="list-style-type: none">ユニバースのコンテキストの解決ユニバースの @Prompts への回答データファンデーションとビジネスレイヤで定義され、フィルタとしてまたは @Prompts で使用されているオブジェクトパラメータへの回答
Web Intelligence RESTful Web サービス SDK	<ul style="list-style-type: none">ユニバースに基づくクエリのコンテキストの解決。ドキュメントを最新表示するためのプロンプトの値の特定および入力。プロンプトは、ユニバースの @Prompts、データファンデーションやビジネスレイヤで定義されているオブジェクトパラメータ、SAP BW パラメータであるか、クエリで定義することができます。

サポートされるパラメータおよび値の一覧は、以下のとおりです。

- インデックス認識パラメータ
- オプションおよびオプションでないパラメータ
- カスケードパラメータ
- インデックス認識値の一覧
- 複数の列が含まれる値の一覧 (UNIX ユニバースの場合のみ)
- 値の階層一覧 (UNIX ユニバースおよび BEx クエリの場合)
- オブジェクトパラメータ

コンテキスト、@Prompts、およびオブジェクトパラメータの詳細については、インフォメーションデザインツールユーザガイドを参照してください。

[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)

[値の一覧 \[135 ページ\]](#)

[デフォルト値 \[138 ページ\]](#)

[前の値 \[139 ページ\]](#)

[非互換コンテキスト \[140 ページ\]](#)

[応答要求本文スキーマ \[140 ページ\]](#)

6.5.1 パラメータ応答の本文スキーマ

応答の本文スキーマ (XML)

(GET および PUT .../parameters)

このスキーマには、パラメータとそのプロパティ (予期される回答など) が含まれます。

① 注記

[パラメータの一覧の取得 \[183 ページ\]](#) (BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK) および [最新表示パラメータの取得 \[620 ページ\]](#) (Web Intelligence RESTful Web サービス SDK) の例を参照してください。

```
<parameters>
  <parameter type="context|prompt|sapVariable" optional="Boolean" dpId="string"
dpLinks="string">
    <id>
      <technicalName>
        <name>
          <description>
            <answer type="Text|Numeric|Date|Unknown" constrained="Boolean"
keyType="Text|Numeric|Date|DateTime|Unknown">
              <info cardinality="Single|Multiple|Interval" keepLastValues="Boolean">
                LOV
                [DefaultValues|PreviousValues]
                ContextIncompatibilities
                Values
```

パラメータ

要素	データ型または値	説明
<id>	<i>integer</i>	パラメータ識別子。Web サービスによって自動的に生成されます。
<technicalName>	<i>string</i>	パラメータの技術名 (オプション)。
<name>	<i>string</i>	ユーザロケールのプロンプトの質問。
<description>	<i>string</i>	パラメータの説明 (オプション)。
<answer>	該当なし	予期される回答。

属性	データ型または値	説明
type	context prompt sapVariable	パラメータのタイプ (コンテキスト、@Prompt、オブジェクトパラメータ、または SAP 変数)。
optional	<i>Boolean</i>	パラメータがオプションかどうかを指定します (type="context" の場合は false)。
dpId	<i>string</i>	このパラメータに使用されるデータプロバイダ ID を定義する必須の属性。Web Intelligence RESTful Web サービス SDK でのみ使用されます。
dpLinks	<i>string</i>	prompt タイプのパラメータを示すオプションの属性がいくつかのクエリ (データプロバイダ) で使用されます。

応答

要素	説明	
<info>	含む: <ul style="list-style-type: none">パラメータに関連付けられた値の一覧が含まれます (<i>LOV</i>)。<i>DefaultValues</i> または <i>PreviousValues</i>非互換コンテキスト値 (<i>ContextIncompatibilities</i>) 詳細については、以降の節を参照してください。	
<i>Values</i>	パラメータに関連付けられた値。 GET .../parameters 呼び出しの結果では、 <i>DefaultValues</i> または <i>PreviousValues</i> となります。 → 注意 <i>PreviousValues</i> は Web Intelligence RESTful Web サービス SDK によってのみ返されます。	
属性	データ型または値	説明
type	Text Numeric Date DateTime Unknown	回答のタイプ。unknown タイプは返されません。
constrained	<i>Boolean</i>	ユーザがパラメータの新しい値を入力できる (false) か、または関連付けられている値の一覧から値を選択する必要がある (true) かを定義します。
keyType	Text Numeric Date DateTime Unknown	パラメータに対して予期される回答がインデックス化された回答である場合のキー列のデータ型。unknown 型は表示されません。

情報

属性	データ型または値	説明
cardinality	Single Multiple Interval	パラメータで予期される値の数 (1つの値、複数の値、2つの値)。
keepLastValues	<i>Boolean</i>	タイプ prompt のパラメータが前の応答の値を保持するかどうかを示します。 → 注意 BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービスを使用する場合は、以前の回答の値の保存を実装する必要があります。Web サービスではこれらが保存されません。Web Intelligence RESTful Web サービスを使用する場合は、値が Web Intelligence ドキュメント内に保持されます。

関連情報

[値の一覧 \[135 ページ\]](#)

[デフォルト値 \[138 ページ\]](#)

[前の値 \[139 ページ\]](#)

[非互換コンテキスト \[140 ページ\]](#)

6.5.2 値の一覧

LOV は、パラメータに関連付けられた値の一覧を表します。回答の考えられる値が記述されます。

<lov> 要素により、値の一覧自体が定義されます。

```
<lov hierarchical="Boolean"
  partial="Boolean"
  refreshable="Boolean"
  searchable="Boolean"
  mandatorySearch="Boolean"
  path="[ [0|1|2,¥ second_level,¥ index], [0|1|2,¥ third_level,¥ index], [...]]"
  nodeSelection="Any|Leaf">
```

値の一覧

属性	データ型または値	説明
hierarchical	<i>Boolean</i>	パラメータに関連付けられた値の一覧が階層かどうかを指定します。
partial	<i>Boolean</i>	値の一覧が完全に表示されるかどうかを指定します。値の一覧のサイズは、サーバ設定またはユニバースクエリの制限に応じて異なります。
refreshable	<i>Boolean</i>	値の一覧が最新表示できるかどうかを指定します。この属性は、ユーザインタフェースで使用して、値の一覧の最新表示を許可することができます。
searchable	<i>Boolean</i>	値の一覧の値を検索できるかどうかを指定します。この属性は、ユーザインタフェースで使用して、値の一覧の検索を許可することができます。
mandatorySearch	<i>Boolean</i>	値の一覧の値を、検索パターンでフィルタ処理された値に制限するかどうかを指定します。この属性は、デフォルトの値の一覧の [使用前にユーザに対して値のフィルタを強制] オプションを反映しています。 mandatorySearch="true" の場合、検索パターン <search> が <query> に提供されない限り、値または間隔は返されません。 応答要求本文スキーマ [140 ページ] を参照してください。 これは、searchable="true" の場合にのみ使用できるオプションの属性です。

属性	データ型または値	説明
path	[0 1 2,¥ level,¥ index]	<p>オプション。階層パラメータの場合、2 番目のレベルから始まり、階層のタイプ、値、およびインデックスを指定します。この属性は、PUT .../parameters 呼び出しの応答の lov 要素に表示されます。</p> <p>構文 [0 1 2,¥ level,¥ index] は、レベルのデータ型、値、およびインデックスを示します。階層が、インデックス化されたレベルである場合、インデックスが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 文字列を表します。 1 日付を表します。 2 数値を表します。 <p>例 - 階層パラメータへの応答 [195 ページ]の例を参照してください。</p>
nodeSelection	Any Leaf	<p>オプション。階層パラメータの場合は、リーフとしての値のみを選択できるのか (Leaf)、あるいはノードまたはリーフとしての値を選択できるのか (Any) を指定します。</p>

1 列

LOV は、値の一覧に 1 列が含まれている場合、以下の要素から構成されます。

```
<lov>
  <id>
  <updated>
  [ Intervals | Values ]
  Columns
```

① 注記

パラメータのタイプがコンテキストの場合、*Columns* は表示されません。

要素	データ型または値	説明
<id>	<i>string</i>	値の一覧の識別子
<updated>	<i>DateTime</i>	値の一覧の最終更新日付。
<i>Intervals</i>	該当なし	<p>値の数が大きすぎる場合に、値を間隔として記述する要素ブロック。デフォルトでは、最初の間隔が返されます。間隔の値のデフォルトの数は 50 です。</p> <p>context パラメータの値には説明を指定できます。</p> <pre><intervals> <interval id="<i>integer</i>"> <value id="<i>integer</i>" description="<i>string</i>" final="<i>Boolean</i>"></pre>

要素	データ型または値	説明
<i>Values</i>	該当なし	値の一覧の考えられる値を記述する要素ブロック。context パラメータの値には説明を指定できます。 <pre><values> <value id="<i>integer</i>" description="<i>string</i>" final="<i>Boolean</i>"></pre>
<i>Columns</i>	該当なし	値の一覧にマップされる列が記述された要素ブロック。<column> により列名が定義されます。type 属性は必須です。 <pre><columns mappingID="<i>integer</i>"> <column id="<i>integer</i>" type="String Date Numeric"></pre>

複数の列

LOV は、値の一覧に複数の列が含まれている場合、以下の要素から構成されます。

```
<lov>
  <id>
  <updated>
  [Intervals_MC | Values_MC]
  Columns
```

① 注記

パラメータのタイプがコンテキストの場合、*Columns* は表示されません。

要素	データ型または値	説明
<id>	<i>string</i>	値の一覧の識別子
<updated>	<i>DateTime</i>	値の一覧の最終更新日付。
<i>Intervals_MC</i>	該当なし	値の数が大きすぎる場合に、値を間隔として記述する要素ブロック。デフォルトでは、最初の間隔が返されます。間隔には 50 の値を含めることができます。 <pre><intervals> <interval id="<i>integer</i>"> <cvalue id="<i>integer</i>" final="<i>Boolean</i>"> <column id="<i>integer</i>"></pre>
<i>Values_MC</i>	該当なし	値の一覧の考えられる値を記述する要素ブロック。<cvalue> により、複数の列の値が定義されます。<column> により列名が定義されます。 <pre><cvalues> <cvalue id="<i>integer</i>" final="<i>Boolean</i>"> <column id="<i>integer</i>"></pre>

要素	データ型または値	説明
Columns	該当なし	値の一覧にマップされる列が記述された要素ブロック。<column>により列名が定義されます。type 属性は必須です。mappingIDにより、パラメータに回答するために参照として使用される値の、列の識別子が定義されます。 <pre><columns mappingID="<i>integer</i>"> <column id="<i>integer</i>" type="String Date Numeric"></pre>

カスケードパラメータ

カスケードパラメータの場合、パラメータに指定される値は、前のパラメータへの回答に応じて異なります。

[LOV](#) は以下の要素によって構成されます。

```
<lov>
  <id>
  <parameters>
    <id>
    <id>
    ...
```

<parameters> で、各 <id> は、現在のパラメータの値によって決まるパラメータの識別子に対応します。

6.5.3 デフォルト値

[DefaultValues](#) は、パラメータで受け入れることができるデフォルト値を表します。

① 注記

パラメータタイプがコンテキストの場合、デフォルト値はなく、[DefaultValues](#) は必須ではありません。

1 列

[DefaultValues](#) は、パラメータで1列の値のみ受け入れる場合、以下の構造になります。

```
<values>
  <value id="string" path="[[0|1|2,¥ second_level,¥ index],[0|1|2,¥
third_level,¥ index],[...]]">
  ...
```

次の表は、<value> 属性について説明しています。

属性	データ型または値	説明
id	<i>string</i>	値の ID。パラメータがコンテキストタイプであるか、または値が SAP システムあるいはインデックス認識のいずれかからインデックス化される場合に使用されます。
path	[0 1 2,¥ level,¥ index]	<p>オプション。階層パラメータの場合、2 番目のレベルから始まり、階層のタイプ、値、およびインデックスを指定します。</p> <p>構文 [0 1 2,¥ level,¥ index] は、レベルのデータ型、値、およびインデックスを示します。階層が、インデックス化されたレベルである場合、インデックスが示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 文字列を表します。 1 日付を表します。 2 数値を表します。

複数の列

DefaultValues は、パラメータで複数の列を受け入れる場合、以下の構造になります。

```
<cvalues>
  <cvalue id="string" final="Boolean">
    <column id="integer" type="String|Date|Numeric">
      ...
```

<cvalue> により、複数の列の値が定義されます。これらの属性について、次の表で説明します。

属性	データ型または値	説明
id	<i>string</i>	値の ID。値が SAP システムまたはインデックス認識のいずれかからインデックス化される場合に使用されます。
final	<i>Boolean</i>	階層でノード (final="false") またはリーフ (final="true") の値を回答するためにパラメータが使用されるかどうかを定義する階層パラメータに固有の属性。

<column> により、列にマップされる値が定義されます。これらの属性について、次の表で説明します。

属性	データ型または値	説明
id	<i>integer</i>	列の ID。Web サービスによって自動的に生成されます。
type	String Date Numeric	列タイプ。オプションです。

6.5.4 前の値

PreviousValues は、パラメータが受け入れた前の値を表します。

① 注記

それらの値は、Web Intelligence RESTful Web サービス SDK によってのみ返されます。

PreviousValues はデフォルト値として構造化されています。

```
<previous>
  <value id="string" path="[[0|1|2,¥ second_level,¥ index],[0|1|2,¥
third_level,¥ index],[...]]">
  ...
```

GET.../parameters 要求は、前の値およびデフォルト値に関連して以下のルールに従います。

- 前の値が存在する場合は、<answer>/<values> 内に返されます。
- 前の値はないが、デフォルト値はある場合は、デフォルト値が <answer>/<values> 内に返されます。
- 前の値もデフォルト値もない場合、何も返されません。

6.5.5 非互換コンテキスト

ContextIncompatibilities は、非互換のコンテキストを表します。

ContextIncompatibilities は以下のように構造化されます。

```
<incompatibility>
  <values>
    <value id="string">
    <value id="string">
  ...
```

コンテキスト値はペアごとにグループ化されます。

要素	型または値	説明
<value>	文字列	コンテキスト値

次の表は、<value> 属性について説明しています。

属性	型または値	説明
id	文字列	コンテキスト値 ID

6.5.6 応答要求本文スキーマ

要求本文スキーマ (XML)

(PUT .../parameters)

このストリームには、コンテキストまたはプロンプトに渡す実際の応答、およびまだ応答が行われていないパラメータの値の一覧のクエリが含まれます。

```
<parameters>
  <parameter>
    <id>
      <answer type="Text|Numeric|Date|Unknown" constrained="Boolean">
        <info>
          <values>
            <value path="[0|1|2,¥ level,¥ index]" id="integer">

<info>
  <lov>
    <query intervalId="integer" intervalSize="Integer|-1|Unlimited|Server"
refresh="Boolean">
    <sort order="Boolean" />
    <search>
    <path>
      <value id="integer" type="String|Date|Numeric">
```

パラメータ

要素	データ型または値	説明
<id>	<i>integer</i>	パラメータ識別子
<answer>	該当なし	実際の応答

応答

要素	説明
<info>	次のいずれかが含まれます。 <ul style="list-style-type: none">値の一覧の可能な値。値の一覧 [135 ページ] で説明を参照してください。未応答パラメータの値の一覧を取得するために使用するクエリ。このクエリでは、値が返される方法と、値の一覧の最新表示が許可される場合にそれを行うかどうかを指定することができます。 <div>→ 注意 要求本文では必須ではありません。</div>
<values>	一連の <value> 要素として表される実際の値の一覧。要求本文ではサービスにより無視されます。

値

要素	データ型または値	説明
<value>	<i>string</i>	<p>実際の値</p> <p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none">id: コンテキスト識別子または値のインデックスが定義されます。値にコンテキストへの回答が含まれているか、またはプロンプトがインデックス認識である場合は必須。path:[[0 1 2,¥ level,¥ index], [...]].オプション。階層パラメータの場合、2 番目のレベルから始まり、階層のタイプ、値、およびインデックスを指定します。応答値に到達するために、この情報が呼び出しに必要です。 構文 [0 1 2,¥ level,¥ index] は、レベルのデータ型、値、およびインデックスを示します。階層が、インデックス化されたレベルである場合、インデックスが示されます。<ul style="list-style-type: none">0 文字列を表します。1 日付を表します。2 数値を表します。 <p>また、数値の代わりに明示的に String、Date、または Numeric を使用することもできます。</p> <p>例 - 階層パラメータへの応答 [195 ページ] および 例 - 階層パラメータありでのドキュメントの最新表示 [634 ページ] の例を参照してください。</p>

クエリ

属性	データ型または値	説明
intervalId	<i>integer</i>	返される間隔のインデックス。指定していない場合、最初の間隔が返されます。(値の数によっては) このインデックスが範囲外となる場合、エラーが返されます。
intervalSize	<i>integer</i> -1 Unlimited Server	<p>返される間隔の値の数を指定します。指定していない場合は、50 が使用されます。次のいずれかの値です。</p> <ul style="list-style-type: none">必ず正の整数-1 または Unlimited は、値の一覧全体が返されることを示します。Server は、CMC の情報エンジンサービスのプロパティ 値の一覧のバッチサイズ (項目数) によって、返される値の数が定義されることを示します。
refresh	<i>Boolean</i>	値の一覧が最新表示されるかどうかを指定します。オプション。値の一覧が最新表示を許可していない場合は、エラーが返されます。

要素	データ型または値	説明
<sort>	<i>Boolean</i>	値の一覧が並べ替えて返されるかどうかを指定します。オプション。 属性: order (Ascending Descending None)
<search>	<i>string</i>	オプション。値の一覧の検索パターンを文字列として定義します。次のワイルドカード文字をパターン文字列で 사용할 수 있습니다。ゼロまたは 1 文字の場合は ?、およびゼロまたは n 文字の場合 *。たとえば、M?Gregor と指定すると、値 McGregor が取得され、M*Gregor と指定すると、値 McGregor および MacGregor が取得されます。
<path>	該当なし	オプション。階層パラメータの場合、中間の回答の値を指定します。また、値の一覧が要求されるノードも指定します。このパスは一連の <value> 要素として表されます。 例 - 階層パラメータへの応答 [195 ページ] および 例 - 階層パラメータありでのドキュメントの最新表示 [634 ページ] の例を参照してください。

クエリパス

要素	データ型または値	説明
<value>	<i>string</i>	パスのノードの値。 属性: <ul style="list-style-type: none"> id: コンテキスト識別子または値のインデックスが定義されます。値にコンテキストへの回答が含まれているか、またはプロンプトがインデックス認識である場合は必須。 type: 値の型 (String Date Numeric)。デフォルトは String です。

6.6 ソースの変更

Web Intelligence ドキュメントのクエリのデータソースを変更すると、データソースのデータオブジェクトが別のデータソースのデータオブジェクトに置換されます。この置換は、ストラテジーと呼ばれる一連のルールに従って計算されます。ストラテジーに基づき、ターゲットデータオブジェクトと置換対象のデータオブジェクトがどのように一致するが定義されます。

使用事例

"ソースの変更" 機能は、以下の 2 つの使用事例に対応します。

- ドキュメントを UNV から UNIX に変換されたユニバースにリンクする
- CMS リポジトリにアップロード済みのドキュメントを CMS リポジトリに実際に保存されているデータソースにリンクする

サポートされるデータソース

下表は、"ソースの変更" 機能でサポートされるソースデータソースとターゲットデータソースを示しています。

	ターゲット UNV	ターゲット UNX	ターゲット BEx クエリ	ターゲット SAP HANA ダイレクトアクセス
ソース UNV	✓	✓	✓	✓
ソース UNX	✗	✓	✓	✓
ソース BEx クエリ	✗	✓	✓	✓
ソース SAP HANA ダイレクトアクセス	✗	✓	✓	✓

① 注記

- "UNX" には、リレーショナル、OLAP および Bex クエリベース UNX のユニバースが含まれます。
- "SAP HANA ダイレクトアクセス" には、リレーショナルおよび OLAP SAP HANA データソースが含まれます。
- "ソースの変更" 機能では、テキストファイル、Microsoft Excel スプレッドシート、SAP HANA オンラインおよび Web サービスをデータソースとして使用することはできません。

"ソースの変更" ワークフロー

4.1 SP4 より前

1. GET: 該当するターゲットデータソースに基づいて選択されたデータプロバイダの提案データオブジェクトマッピングが取得されます。
デフォルトストラテジーが適用されます。
2. POST: 置換対象のデータオブジェクトにマッピングされたターゲットデータソースの選択済データオブジェクトを持つドキュメントが更新されます。
オブジェクトマッピングは、最初の呼び出しで提案されたものを使用することも、編集されたものを使用することもできます。

4.1 SP4 Patch 4 および 4.1 SP5 Patch 1 以降

提案マッピング (POST 呼び出し) を取得 (GET 呼び出し) せずに適用することができます。これは、マッピングの有効化が想定されていることを意味します。

POST 呼び出しで以下の処理が行われます。

- 要求本文が空白である場合、使用されるオブジェクトマッピングはデフォルトストラテジーで検出されたものになります。
- 要求本文に不完全なオブジェクトマッピングが含まれている場合、デフォルトマッピングに基づいて不足しているオブジェクトの置換が行われます。

4.1 SP6 以降

1. 提案データオブジェクトマッピングがデフォルトストラテジー (GET) または指定されたストラテジー (PUT) を使用して取得されます。
GET 呼び出しでのデフォルトストラテジーは、旧リリースで使用されたものです。PUT 呼び出しで、ストラテジーの順序を指定します。マッピングステータスが "見つかりません" の場合にのみ、一致が検出されるまで、この順序は各データオブジェクトに順次適用されます。
2. POST: 置換対象のデータオブジェクトにマッピングされたターゲットデータソースの選択済データオブジェクトを持つドキュメントが更新されます。
POST 呼び出しに使用されるオブジェクトマッピングは、GET 呼び出し (デフォルトマッピング) または PUT 呼び出し (指定されたストラテジーで検出されたマッピング) で提案されたものになります。要求本文でカスタムマッピングを指定することもできます。
POST 呼び出しで以下の処理が行われます。
 - 要求本文が空白である場合、使用されるオブジェクトマッピングはデフォルトマッピングになります。
 - 要求本文に不完全なオブジェクトマッピングが含まれている場合、デフォルトマッピングに基づいて不足しているオブジェクトの置換が行われます。
 - 要求本文に含まれているオブジェクトマッピングが空または不完全である場合、使用されるオブジェクトマッピングは該当するストラテジーで検出されたものに置き換わります。

① 注記

- カスタムマッピングの場合、変更できるのは該当するマッピングのターゲット ID だけであり、すべてのソース ID を維持する必要があります。ターゲット ID が null の場合、データソースオブジェクトは削除されます。
- 4.2 SP3 より前では、"ソースの変更" によって影響を受けたデータプロバイダの ID は、N から N+1 (たとえば DP0 から DP1) に変更されていました。これは 4.2 SP3 以降に当てはまらなくなりました。

[要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング \[145 ページ\]](#)

[ストラテジー \[147 ページ\]](#)

[互換性ルール \[148 ページ\]](#)

6.6.1 要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング

要求本文 (XML)

(POST メソッド)

```
<mappings>
  <policy qualificationTolerance="Low|Normal|High" dataTypeTolerance="Low|
Normal|High">
    <strategies mappingSourceIds="string">
      <strategy name="SameId|SameName|SameTechnicalName|SamePath|CloseName|
Selection|Removal" targetId="string" />
    <content>
      <mapping>
        <source>
          <id>
          <target>
            <id>
        <parameters>
          <parameter>
```

要素	説明
<policy>	<p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> • qualificationTolerance (Low Normal High) • dataTypeTolerance (Low Normal High) <p>これらの属性によって、ソースデータソースオブジェクトとターゲットデータソースオブジェクトの一致に考慮する許容範囲が指定されます。これらの属性によって互換性ルールが定義されます。</p>
<strategies>	<p>適用されるストラテジーの一覧。この要素は省略できます。</p> <p>属性: mappingSourceIds によって、指定されたソースデータオブジェクトにストラテジーが適用されます。ID はカンマで区切られます。属性が指定されない場合は、すべてのソースデータオブジェクトにストラテジーが適用されます (デフォルトストラテジー)。</p>
<strategy>	<p>使用可能なオブジェクトマッピングを計算するために選択されるストラテジー。</p> <p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> • name: ストラテジー名 • 選択対象のターゲットデータオブジェクトの ID を指定するために Selection ストラテジーに必要な targetId
<content>	カスタムオブジェクトマッピング。この要素は省略できます。
<parameters>	<p>データベースパラメータ (必要な場合) (SAP HANA の変数と Bex クエリの変数)。</p> <p>この要素は省略できます。 応答要求本文スキーマ [140 ページ] を参照してください。</p>

下表は、qualificationTolerance 属性の値について説明しています。

属性値	説明
Low	ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトの資格が同一であることが求められます。
Normal	ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトの資格が近いものであってもかまいません。
High	ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトの資格が異なってもかまいません。

下表は、dataTypeTolerance 属性の値について説明しています。

属性値	説明
Low	ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトのデータ型が同一であることが求められます。
Normal	ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトのデータ型が近いものであってもかまいません。

属性値	説明
High	ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトのデータ型が異なってもかまいません。

例

qualificationTolerance="Low" dataTypeTolerance="High" の意味は次のとおりです。

- ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトの資格は正確に同じであることが求められます。
- ソースデータオブジェクトとターゲットデータオブジェクトのデータ型は異なってもかまいません。

応答本文 (XML)

(GET メソッドおよび POST メソッド)

```
<mappings>
  <content>
    <mapping status="Ok|Ambiguous|Not found">
      <source>
        <id>
      <target>
        <id>
```

要素	データ型または値	説明
<mapping>	該当なし	属性: status <ul style="list-style-type: none"> • Ok: マッピングが完全に一致する場合 • Ambiguous: 不確実なマッピングの場合 • Not found (一致の可能性がない場合)
<div>① 注記</div> Not found ステータスにより、データソースの変更を行う際に該当する ID がドキュメントから削除されます。		
ソース <id>	string	ソースデータオブジェクトの ID
ターゲット <id>	string	ターゲットデータオブジェクトの ID

6.6.2 ストラテジー

ストラテジーは、現在のデータソースのオブジェクトがターゲットデータソースのオブジェクトとどのように一致するかを定義するルールです。ストラテジーを使用して、データオブジェクトマッピングを検索することができます。

下表は、適用可能なストラテジーを示しています。

ストラテジー	説明
"SameID"	同一の ID を持つ有効オブジェクトを検索します。
"SameTechnicalName"	同一の技術名称を持つ有効オブジェクトを検索します。
<div><div>① 注記</div><div>このストラテジーは、BEx クエリ、および Bex クエリベースの UNIX ユニバースに対してのみ適用されます。</div></div>	
"SamePath"	パスおよびタイプが同じ有効オブジェクトを検索します。このパスにはオブジェクト名とその上位フォルダが含まれます。
"CloseName"	レーベンシュタイン距離に基づき、固定しきい値より距離値が小さく、最も近い名称を持つ有効オブジェクトが検索されます。距離が同一であるオブジェクトが複数存在する場合、ID がアルファベット順で先にくるオブジェクトが選択されます。
"Removal"	前のストラテジーでターゲットオブジェクトが見つからなかった場合、データプロバイダからオブジェクトが削除されます。
"Selection"	特定のターゲットオブジェクトを選択します。選択対象のターゲットデータオブジェクトの ID が含まれる "targetId" 属性が必要です。
"SameName"	レーベンシュタイン距離が NULL である有効オブジェクトをマッピングします。つまり、名称が同一であるオブジェクトを検索します。

以下のデフォルトストラテジーがこの順序で適用され、デフォルトマッピングと呼ばれるマッピングを検索します。

1. "SameID"
2. "SameTechnicalName"
3. "SamePath"
4. "CloseName"

関連情報

[デフォルトのストラテジーを使用した可能オブジェクトマッピングの取得 \[574 ページ\]](#)

[選択したストラテジーを使用した使用可能なオブジェクトマッピングの取得 \[577 ページ\]](#)

6.6.3 互換性ルール

"ソースの変更" の実行時に、整合性のないマッピングを避けるために、次の互換性ルールが適用されます。

- ソースオブジェクトタイプとターゲットオブジェクトタイプの互換性 (ディメンション、メジャー、属性、階層など)
- ソースオブジェクトデータ型とターゲットオブジェクトデータ型の互換性 (メンバー、文字列、数値、日付など)

- ソースオブジェクト用途とターゲットオブジェクト用途の互換性。オブジェクトが結果オブジェクト、フィルタオブジェクト、またはソートオブジェクトとして使用可能な場合

これらの互換性ルールは、`qualificationTolerance` 属性と `dataTypeTolerance<policy>` 属性で定義されます。これらの属性によって、ソースオブジェクトとターゲットオブジェクトの一致に考慮する許容範囲が指定されます。

下表は、オブジェクトタイプに適用される `qualificationTolerance` 属性値に基づいたオブジェクト一致の可能性を示しています。

	ターゲットデ イメンション	ターゲット階 層	ターゲットレ ベル	ターゲットデ イメンション 属性	ターゲットメ ジャー属性	ターゲットメ ジャー	ターゲットそ の他
ソースディメンション	低	中	中	中	中	高	高
ソース階層	高	低	高	高	高	高	高
ソースレベル	高	高	低	高	高	高	高
ソースディメンション属性	中	高	高	低	高	高	高
ソースメジャー属性	中	高	高	高	低	高	高
ソースメジャー	高	高	高	高	高	低	高
ソースその他	高	高	高	高	高	高	低 (同一の場合)、高 (同一ではない場合)

① 注記

ほかのオブジェクトタイプは、定義済みフィルタ、名前付きセット、計算メンバー、プロンプトパラメータ、および値のユニバース一覧です。

下表は、データ型に適用される `dataTypeTolerance` 属性値に基づいたオブジェクト一致の可能性を示しています。

	ターゲット該当 なし	ターゲットメン バー	ターゲット数値	ターゲット文字 列	ターゲット時 刻/日付	ターゲットそ の他
ソース該当なし	低	高	高	高	高	高
ソースメンバー	高	低	中	中	中	中
ソース数値	高	中	低	高	高	高

	ターゲット該当 なし	ターゲットメン バー	ターゲット数値	ターゲット文字 列	ターゲット時 刻/日付	ターゲットその 他
ソース文字列	高	中	高	低	高	高
ソース時刻/日 付	高	中	高	高	低 (同一の場 合)、中 (同一で はない場合)	高
ソースその他	高	中	高	高	高	低 (同一の場 合)、高 (同一で はない場合)

① 注記

- ・「該当なし」は、タイプが Filter および NamedSet である、データ型を持たないオブジェクトを表します。
- ・時刻/日付のデータ型は、Date、DateTime、Time、および CalendarDate です。
- ・他のデータ型は、Blob、Boolean、DataUnknown、Currency、Null、Percent、Scientific、および LongText です。

6.7 スケジュール

本文スキーマ (XML)

(GET.../documents/<documentID>/schedules/<scheduleID>)

(POST.../documents/<documentID>/schedules)

```
<schedule>
  <id>
  <name>
  <format type="webi|pdf|xls|csv|txt|csvArchive|htmlArchive"/>
  <deliveryRules>
  <status id="0|1|3|8|9|13|14">
  <updated>
  <destination>
  <error>
  recurrence_expression
  <serverGroup id="integer" required="Boolean"/>
  <parameters>
```

スケジュール

要素	データ型または値	説明
<id>	<i>integer</i>	スケジュール ID ① 注記 この要素は、GET スケジュール詳細呼び出しの応答のみに表示されます。
<name>	<i>string</i>	スケジュール名
<format>	該当なし	ドキュメント形式。 属性: type (webi pdf xls csv txt csvArchive htmlArchive)。デフォルトでは、形式は webi です。csv 形式に固有のオプションについては、次の節を参照してください。
<pre><deliveryRules> <deliveryRule> <id> <status></pre>	該当なし	スケジュールの配信ルールです。このタグを追加するのは、ドキュメントが正常にリフレッシュされたか、またはデータが含まれている、あるいはその両方の場合にドキュメントを送信する場合のみです。 <ul style="list-style-type: none">• <id> は、配信ルールの名前であり、ContainsData または FullyRefreshed です。• <status> は、配信ルールを満たさない場合のインスタンスのステータスに対応しています。可能な値は Warning または Failed です。

要素	データ型または値	説明
<status>	<i>string</i>	<p>スケジュールステータス。</p> <p>属性: id</p> <p>各 id を使用して、スケジュールを言語ロケールに依存せずにテストできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code><status id="0">Running</status></code> • <code><status id="1">Completed</status></code> • <code><status id="3">Failed</status></code> • <code><status id="8">Paused</status></code> • <code><status id="9">Pending</status></code> • <code><status id="13">Expired</status></code> • <code><status id="14">Warning</status></code> <div> <p>① 注記</p> <p>この要素は、GET スケジュール詳細呼び出しの応答のみに表示されます。</p> </div>
<updated>	<i>string</i>	最終スケジュールのタイムスタンプ。

要素	データ型または値	説明
<pre><destination keepInstanceInHistory= "Boolean"> <useSpecificName fileExtension="Boolean "></pre>	該当なし	<p>ドキュメントの出力先は、以下のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> BI ラウンチパッドの受信ボックス 電子メールアドレス (SMTP) SSL を利用する電子メールアドレス (SMTPS) ローカルファイル FTP またはセキュア FTP (SFTP) を利用するファイル <p>任意です。出力先が指定されていない場合のデフォルトの出力先は、管理者が BI プラットフォームで CMC を使用して定義した出力先です サーバ > Web Intelligence サービス > Adaptive Job Server > 出力先 。</p> <p>要求本文で出力先を設定する方法についての例を参照してください。</p> <div> <p>→ 注意</p> <p>SMTPS サーバをスケジュールするには、BI プラットフォームを適切に設定しておきます。KBA n° 2263613 「SSL を使用した SMTP の設定方法」を参照してください。</p> </div> <p>属性: keepInstanceInHistory (論理値) は、true (デフォルト) の場合にスケジュールドキュメントのインスタンスを履歴に保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <useSpecificName> は送信先におけるスケジュールドキュメントの特定の名前です。要素が指定されていない場合、名前は自動的に割り当てられます。 fileExtension ファイル拡張子を指定します。デフォルト値は true です。
<pre><error> <error_code> <message></pre>	該当なし	<p>エラーの発生時に追加されるエラー情報 (<status id="3">Failed</status>).</p> <div> <p>① 注記</p> <p>この要素は、GET スケジュール詳細呼び出しの応答のみに表示されます。</p> </div>
recurrence_expression	該当なし	<p>スケジュールの繰り返し式。設定方法については、次の節を参照してください。</p>

要素	データ型または値	説明
<parameters>	該当なし	プロンプトとして使用されるパラメータ。 <parameters>の詳細情報については、 ドキュメントの最新表示 [620 ページ] を参照してください。例 - プロンプトを含む日次スケジュールの受信ボックス出力先 [675 ページ] を参照してください。
<pre><serverGroup id="integer" required="Boolean"/></pre>	該当なし	<p>スケジュールの実行に使用されるサーバグループ</p> <p>属性:</p> <ul style="list-style-type: none"> id は CMC で定義されたとおりのサーバグループ ID です (整数)。 required: ブール値。false の場合、可能であればスケジュールは指定されたサーバグループに属するサーバで実行されます。指定したサーバが使用できない場合、スケジュールは次の利用可能なサーバで実行されます。true の場合、選択されたサーバグループ内で見つかった、指定されたサーバのみが使用されます。サーバグループのすべてのサーバが使用できない場合、スケジュールは処理されません。

CSV ドキュメント形式

形式の種類が CSV の場合、以下のオプションがサポートされます。

```
<format type="csv">
  <properties>
    <property key="textQualifier">'</property> <!-- either ' or " -->
    <property key="columnDelimiter">,</property> <!-- either , or ; or tab -->
  >
    <property key="charset">UTF-8</property> <!-- a valid server charset -->
    <property key="onePerDataProvider">false</property>
  </properties>
</format>
```

繰り返し式

次の表は、考えられる繰り返し式を示しています。

繰り返し式	スケジュール時間
繰り返し式なし	今すぐ

繰り返し式

スケジュール時間

<pre><once retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate></pre>	<p>1 回限り。<startdate> に実行。</p> <ul style="list-style-type: none"> retriesAllowed: 再試行回数 (整数) retryIntervalInSeconds: 2 回の再試行間の時間 (整数) <startdate>: スケジュールを実行する日時 (日時) <enddate>: スケジュールを停止する日時 (日時)
<pre><daily retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <dayinterval></pre>	<p>毎日。</p> <p><dayinterval> はスケジュールを繰り返す日数間隔 (整数) です。</p>
<pre><hourly retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <hour> <minute></pre>	<p>毎時。</p> <p><hour> (integer, [0, 24]) および <minute> (integer, [0, 59]) は、スケジュールを繰り返す時間間隔を定義します。</p>
<pre><weekly retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <monday/> <tuesday/> <wednesday/> <thursday/> <friday/> <saturday/> <sunday/></pre>	<p>週単位。スケジュールは、指定された曜日のみに実行されます。</p> <p><monday/>、<tuesday/>、<wednesday/>、<thursday/>、<friday/>、<saturday/>、および <sunday/> は、すべてオプションです。これらは、指定された順序で指定する必要があります。</p>
<pre><monthly retriesAllowed="2"retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <month></pre>	<p>毎月。</p> <p><month> により、スケジュールを繰り返す月数間隔 (1 ～ 12 の整数) を定義します。</p>
<pre><nthDayOfMonth retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <day></pre>	<p>毎月の指定された日付のみ。</p> <p><day> により、月の日付が 1 から 31 までの数値として定義されます。</p>
<pre><firstMondayOfMonth retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate></pre>	<p>毎月第 1 月曜日</p>

繰り返し式	スケジュール時間
<pre><lastDayOfMonth retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate></pre>	毎月末日
<pre><xDayOfNthWeekOfTheMonth retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <day> <week></pre>	<p>毎月の指定された週の指定された日付</p> <p><day> により、月の日付が 1 から 31 までの数値として定義されます。</p> <p><week> により、月の週が 1 から 4 までの数値として定義されます。</p>
<pre><calendar retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60"> <startdate> <enddate> <id></pre>	<p>スケジュールは、エンドユーザが CMC で作成したカレンダーにおいて定義された繰り返しに基づいて実行されます。</p> <p><id> は、CMS のカレンダーオブジェクト ID です。</p>

関連情報

例 - 今すぐのスケジュールのファイルシステム出力先 [672 ページ]

例 - 1 回限りのスケジュールの FTP 出力先 [673 ページ]

例 - 毎時スケジュールの SFTP 出力先 [673 ページ]

例 - 毎時スケジュールのメール送信先 [674 ページ]

例 - プロンプトを含む日次スケジュールの受信ボックス出力先 [675 ページ]

例 - 特定ユーザに対する毎月のスケジュールの受信ボックス出力先 [676 ページ]

例 - サーバグループのスケジュール [676 ページ]

スケジュールの詳細の取得 [669 ページ]

6.8 ユニバース

→ 注意

RESTful Web サービス SDK は、インフォメーションデザインツールを使用して作成されたリレーショナルユニバース (UNX) とユニバースデザインツールを使用して作成されたリレーショナルユニバース (UNV) をサポートしています。

応答の本文スキーマ (XML)

(GET .../universes/<universeID>)

```
<universe>
  <id>
  <cuid>
  <name>
  <description>
  <type>
  <folderId>
  <path>
  <maxRowsRetrieved>
  <maxRetrievalTime>
  <connected>
  <outline aggregated="Boolean">
    <businessViewName>
    <item>
    <folder>
      <id>
      <name>
      <description>
      <customProperty name="string">
      <item>
    </folder>
```

ユニバース

要素	型または値	説明
<id>	<i>integer</i>	ユニバース ID
<cuid>	<i>string</i>	CMS リポジトリのユニバースの一意の CUID
<name>	<i>string</i>	要求されたロケールのユニバース名
<description>	<i>string</i>	ユニバースの説明
<type>	unv unx	ユニバースのタイプ
<folderId>	<i>integer</i>	CMS リポジトリのユニバースが含まれるフォルダの ID
<path>	<i>string</i>	CMS リポジトリ内のユニバースパス (GET 呼び出しが Web Intelligence RESTful Web サービス SDK によって実行された場合に返されます)
<maxRowsRetrieved>	<i>integer</i>	クエリに適用できるデータソースの制限を定義するオプション
<maxRetrievalTime>	<i>integer</i>	クエリに適用できるデータソースの制限を定義するオプション
<connected>	<i>Boolean</i>	RDBMS との接続が設定されている場合は true です (GET 呼び出しが Web Intelligence RESTful Web サービス SDK によって実行された場合に返されます)。

要素	型または値	説明
<outline>	該当なし	<p>ビジネスレイヤの詳細。</p> <p>属性:aggregated (<i>Boolean</i>)</p> <ul style="list-style-type: none"> aggregated が true の場合は、アウトラインが集計されます。 aggregated が false の場合は、アウトラインはマスタビューが付与されるとマスタビューに、マスタビューが拒否されるとデフォルトビューになります。

アウトライン

要素	型	説明
<businessViewName>	<i>string</i>	マスタビューが拒否された場合のデフォルトビューの名前
<item>	該当なし	ユニバースのオブジェクト
<folder>	該当なし	UNIX ユニバースフォルダまたは UNV ユニバースクラス

項目

```
<item type="string" dataType="string" hasLov="Boolean" forResult="Boolean"
forFilter="Boolean" forSort="Boolean">
  <id>
  <name>
  <description>
  <customProperty name="string">
  <item>
  <path>
  <aggregationFunction>
```

要素	型	説明
<id>	<i>string</i>	オブジェクトの識別子
<name>	<i>string</i>	オブジェクト名
<description>	<i>string</i>	オブジェクトの説明
<customProperty>	<i>string</i>	<p>UNIX ユニバースのみのオプションカスタムプロパティ</p> <p>属性:name (<i>string</i>)</p>
<item>	該当なし	子オブジェクト
<path>	<i>string</i>	オブジェクトの完全パスであり、特定のルールに従います。 オブジェクトの完全パス [160 ページ] を参照してください。

要素	型	説明
<aggregationFunction>	Average Sum Count First Last Max Min Delegated none	メジャーにのみ使用する集計関数です。デフォルト値は none です。

① 注記

これらの属性はフォルダおよび定義済みフィルタでは使用できません。

属性	型または値	説明
type	<i>string</i>	ユニバース内のオブジェクトタイプ (ディメンション、メジャー、属性など)
dataType	String Numeric DateTime	オブジェクトのデータ型
hasLov	<i>Boolean</i>	オブジェクトに値の一覧があるかどうかを指定します (ディメンション、メジャー、属性、レベル、および階層)
forResult	<i>Boolean</i>	オブジェクトを結果オブジェクトとして使用できるかどうかを指定します (デフォルト値は true)
forFilter	<i>Boolean</i>	オブジェクトをフィルタとして使用できるかどうかを指定します (デフォルト値は true)
forSort	<i>Boolean</i>	オブジェクトをデータの並べ替えに使用できるかどうかを指定します (デフォルト値は true)

フォルダ

要素	型または値	説明
<id>	<i>string</i>	フォルダ ID (UNIX ユニバースのみ)
<name>	<i>string</i>	フォルダ名
<description>	<i>string</i>	フォルダの説明
<customProperty>	<i>string</i>	UNIX ユニバースのみのオプションカスタムプロパティ 属性:name (<i>string</i>)
<item>	該当なし	フォルダのオブジェクト
<folder>	該当なし	サブフォルダ

関連情報

[ユニバースの詳細の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[167 ページ\]](#)

6.9 オブジェクトの完全パス

クエリ仕様や UNV または UNX ユニバースの説明など、XML 要求または応答の本文では、ユニバースのオブジェクトが次の属性で識別されます。

- `id`
これは、CMS リポジトリで定義されたオブジェクトの識別子です。
- `path`
これはオブジェクトの完全パスです。この属性はオプションであり、主にクライアントツールによってユニバース変更ソースを実装するために使用されます。ユニバースのデータソースを、異なるオブジェクト ID が含まれる別のデータソースに置換する必要がある場合、クエリ内のオブジェクト、および新しいユニバースのデータソース内のオブジェクトのマッピングには、このパスを使用する必要があります。

次のルールに従って完全パスを構築します。

- パスの各ノードは、オブジェクト名およびタイプによって構成され、| で区切られます ("`<name>|<type>`").
- | および ~ のエスケープ文字は ~ です。
- パスのノードは ¥ で連結します ("Age Group|folder¥Age Max|dimension")。
- ¥ および § のエスケープ文字は § です。

次の表では、提供されたそれぞれの SDK で操作する可能性があるオブジェクトの種類を示しています。

SDK	オブジェクトタイプ
BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK	<ul style="list-style-type: none">• attribute• dimension• filter• folder• measure
Web Intelligence RESTful Web サービス SDK	<ul style="list-style-type: none">• analysisDimension• attribute• aggregationAttribute• calculatedMember• dimension• filter• folder• hierarchy• level• measure• namedSet

例

次の例は命名規則を示します。

パス	オブジェクト	文字列
ルートフォルダ	"CustomerName" ディメンション	"CustomerName dimension"
"Customer" フォルダ	"Name" ディメンション	"Customer folder¥Name dimension"
"Contact" フォルダの "Customer" ディメンション	"Name" 属性	"Contact folder¥Customer dimension¥Name attribute"
"Country US" フォルダの "Customer¥Large" ディメンション	"First~Name" 属性	"Country~ US folder¥Customer\$¥Large dimension¥First~~Name attribute"

6.10 ユーザアクセス権

UNV ユニバースに適用されるユーザアクセス権

UNV ユニバースに適用されるユーザアクセス権は、次の3つのカテゴリのいずれかになります。

- セキュリティ権限
セキュリティ権限は、ユニバースデザインツール、ユニバース、およびリレーショナル接続レベルで設定することができます。
- ユニバースオーバーロード
ユニバースに定義されるアクセス権は、接続、制御、SQL、オブジェクト、行、およびテーブルマッピングです。
- オブジェクトアクセスレベル
オブジェクトアクセスレベルにより、ユーザの制限レベル (プライベート、パブリック、コンフィデンシャル ...) が定義されます。必要なアクセスレベルがないユーザは、その範囲を超えてオブジェクトを参照することができません。

これらのユーザアクセス権は、アプリケーションユーザが REST API を使用する前に適用され、したがって REST API ユーザにとって透過的です。たとえば、アクセスレベルによって拒否されたオブジェクトは、GET .../universes/<universeID> を介して取得されるときにユニバースアウトラインで返されません。接続、オブジェクト、行、およびテーブルマッピングのアクセス権は、OData サービスを介してクエリ結果を取得するとき、または GET .../queries/<queryID>/parameters を介して値のリストを取得するとき適用されます。

REST API の使用に影響がある場合があるのはいくつかのセキュリティ権限のみです。次の表にそれらを示します。

アクセス権	説明
リレーショナル接続レベルで "オブジェクトを表示する"	このアクセス権が無効化されている場合、ユーザは接続を表示できず、クエリは実行できません。

アクセス権	説明
ユニバースレベルでの"オブジェクトを表示する"	このアクセス権が無効化されている場合、ユニバースはユニバースの一覧に表示されず、ユニバース ID での呼び出しはエラーを返します。
"データアクセス"	このカスタムセキュリティ権限は、ユニバースレベルまたはリレーショナル接続レベルで定義されます。このアクセス権が無効化されている場合、OData サービスへの呼び出しはエラーを返します。

UNIX ユニバースに適用されるユーザアクセス権

同じユーザアクセス権が UNIX ユニバースに適用されます。ユニバースオーバーロードは、ビジネスおよびデータセキュリティプロファイルを介して管理されます。ビジネスセキュリティプロファイルにより、ビジネスレイヤレベルでメタデータのアクセス権が管理されます。データセキュリティプロファイルでは、データファンデーションレベルでアクセス権が管理されます。これらのプロファイルは、ユーザまたはユーザグループに添付されます。同じセキュリティ権限が REST API の使用に影響を与えることがあります。

6.11 現在のユーザの Web Intelligence セキュリティ権限の取得

用途

この URL は、現在のセッションに許可されたセキュリティ権限の一覧を返します。

要求

GET/session/rights

応答

応答タイプ: application/xml または application/json。

利用可能な権限は以下のとおりです。

- add_objects_to_folder
- allow_personal_data_providers
- app_allow_autosave

- app_create_edit_input_controls
- app_edit_document_formatting
- app_edit_my_preferences
- app_enable_context_menus
- app_hide_show_toolbox
- app_lp_document_filters
- app_lp_document_summary
- app_publish_document_content
- app_re_create_edit_alerter
- app_re_create_edit_break
- app_re_create_edit_predefined_calculation
- app_re_create_edit_report_filters
- app_re_create_edit_sort
- app_re_insert_element
- app_view_sql
- change_TDC_format
- create_documents
- delete_objects
- disable_automatic_refresh_on_open
- disable_export_to_BIOD
- disable_import_from_BIOD
- edit_documents
- edit_objects
- edit_query_sql
- enable_shared_objects
- insert_shared_objects
- merge_for_synchro
- publish_documents_real
- rc_enable_use
- rc_export
- rc_import
- rc_local_save
- rc_print
- rc_remove_document_security
- rc_save_for_all_users
- rc_send_by_mail
- read_corporate_documents
- use_TDC
- use_formula_language
- use_interactive_viewing

例: XML 形式 応答

GET/session/rights

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<rights>
  <right>
    <id>use_interactive_viewing</id>
  </right>
  <right>
    <id>edit_documents</id>
  </right>
  <right>
    <id>publish_documents_real</id>
  </right>
  ...
</rights>
```

例: JSON 形式 応答

GET/session/rights

```
{
  "rights": {
    "right": [{
      "id": "use_interactive_viewing"
    },
    {
      "id": "edit_documents"
    },
    ...
  ]
}
```


7 BI セマンティックレイヤ REST API リファレンス

BI セマンティックレイヤ REST API のファレンスです。

各 API リファレンスは、以下の情報を提供します。

- API の処理
- HTTP 要求の URL
- 要求クエリパラメータの説明
- 必要な場合は、要求本文 (XML または JSON の例を使用)
- accept ヘッダ属性の値を決定する応答タイプ
- 応答本文 (応答が成功またはエラーメッセージの場合は、説明しない)
- 応答の例

[BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK を使用したユニバースの管理 \[165 ページ\]](#)

[クエリの管理 \[179 ページ\]](#)

[パラメータの管理 \[183 ページ\]](#)

[クエリ結果の管理 \[204 ページ\]](#)

7.1 BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK を使用したユニバースの管理

BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK では、UNIX ユニバースと UNV ユニバースに実行する一連の API が提供されます。

[ユニバースの一覧の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[166 ページ\]](#)

[ユニバースの詳細の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[167 ページ\]](#)

[ユニバースのビジネスビューの取得 \[170 ページ\]](#)

[ユニバースのクエリ機能の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[173 ページ\]](#)

[ユニバースのリンクグループの取得 \[175 ページ\]](#)

[ユニバースのオブジェクトパラメータの取得 \[177 ページ\]](#)

7.1.1 ユニバースの一覧の取得 (セマンティックレイヤ)

用途

CMS リポジトリに保存されている UNX ユニバースまたは UNV ユニバースの一覧を取得します。

ユニバースの一覧は複数のページで表示することができます。

Request

GET/universes?offset=<offset>&limit=<limit>

この場合、

- <offset> は、ユニバースが返される一覧での位置を示します。これは 0 以上にする必要があります。デフォルト値は 0 です。このパラメータは省略できます。
- <limit> は、1 ページに表示できるユニバースの数を示します。範囲は 1～50 です。デフォルト値は 10 です。このパラメータは省略できます。

応答

応答タイプ: application/xml

応答本文: 以下の要素によって識別されるユニバースの一覧。

- <id>
- <cuid>
- 要求されたロケールの <name>
- <type> (unv or unx)
- <folderId>: CMS リポジトリのユニバースが含まれるフォルダの ID

例

GET/universes?offset=0&limit=50

```
<universes>
  <universe>
    <id>6773</id>
    <cuid>AXyRzvmRrJxLqUm6_Jbf7lE</cuid>
    <name>efashion.unv</name>
    <type>unv</type>
    <folderId>6771</folderId>
  </universe>
  <universe>
    <id>5808</id>
    <cuid>AUW2qRdU0IdPkyhlpZWrxvo</cuid>
```

```
<name>Warehouse.unx</name>
<type>unx</type>
<folderId>5807</folderId>
</universe>
...
</universes>
```

7.1.2 ユニバースの詳細の取得 (セマンティックレイヤ)

用途

ID によって参照される UNX ユニバースまたは UNV ユニバースの詳細を取得します。

要求

GET/universes/<universeID>?aggregated=<aggregated>

この場合、

- <aggregated> は、アウトラインの集計が必要かどうかを指定するオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。

aggregated パラメータの影響

返される UNX ユニバースの詳細は <aggregated> パラメータ値によって異なります。

- false の場合、呼び出しにより付与された場合はマスタビューが返され、マスタビューが拒否された場合はデフォルトビューが返されます。 <businessViewName> 要素を使用して、アウトラインにデフォルトビューの名前が返されます。この動作は SDK の 4.1 SP5 より前のバージョンに実装されます。
- true の場合、この呼び出しはすべてのフォルダを含んだ集計アウトライン、およびユーザに付与されたオブジェクトを返します。アウトラインには、付与されたビジネスビューからすべての付与されたオブジェクトが結合され、すべてのオブジェクトのプロパティ (ID、パス、名前など) が含まれます。

マスタビューが付与されている場合、呼び出し .../<universeID>?aggregated=false および .../<universeID>?aggregated=true によって返されるアウトラインは、aggregated アウトライン属性を除いて同一です。

UNX ユニバースで導入されたビューのコンセプトが UNV ユニバースでサポートされない場合であっても、API の整合性のために、BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービスは、ユニバースコンテンツすべてを含むマスタビューが UNV ユニバースに 1 つのみあるかのように動作することもできます。このビューを返す際には、<aggregated> パラメータは応答に何の影響も及ぼさず、aggregated アウトライン属性の値は応答内で false になります。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ユニバースの詳細。 [ユニバース \[156 ページ\]](#)を参照してください。

例: マスタビューが付与されている場合

GET/universes/5808?aggregated=false

または

GET/universes/5808

応答:

```
<universe>
  <id>5808</id>
  <cuid>AUW2qRdU0IdPkyhlpZWrxvo</cuid>
  <name>Warehouse.unx</name>
  <type>unx</type>
  <folderId>5807</folderId>
  <maxRowsRetrieved>5000</maxRowsRetrieved>
  <maxRetrievalTime>600</maxRetrievalTime>
  <outline aggregated="false">
    <folder>
      <id>_IBo8OLihEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
      <name>Customer</name>
      <item dataType="Numeric" type="Dimension" hasLov="false">
        <id>_IBo8ObIhEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
        <name>Customer Id</name>
        <path>Customer|folder¥Customer Id|dimension</path>
      </item>
      <item dataType="String" type="Dimension" hasLov="false">
        <id>_IBo8OrIhEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
        <name>Customer</name>
        <path>Customer|folder¥Customer|dimension</path>
      </item>
    </folder>
    <folder>
      <id>_IBo8LbIhEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
      <name>Geography</name>
      <item dataType="Numeric" type="Dimension" hasLov="false">
        <id>_IBo8MrIhEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
        <name>Continent Id</name>
        <path>Customer|folder¥Geography|folder¥Continent Id|
dimension</path>
      </item>
      <item dataType="String" type="Dimension" hasLov="false">
        <id>_IBo8M7IhEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
        <name>Continent</name>
        <path>Customer|folder¥Geography|folder¥Continent|dimension</
path>
      </item>
      ...
    </folder>
    ...
  </outline>
  <folder>
    <id>_IB8eE7IhEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
    <name>Inventory</name>
    <item dataType="Numeric" type="Measure" hasLov="false">
```

```

        <id>_IB8eFrThEeCk0Ylv-tlF2Q</id>
        <name>Stock Level</name>
        <path>Inventory|folder¥Stock Level|measure</path>
    </item>
    <item type="Filter">
        <id>_V5_GkLR_EeCZotjuycyalA</id>
        <name>Stock Below Minimum</name>
        <path>Inventory|folder¥Stock Below Minimum|filter</path>
    </item>
</folder>
<folder>
    <id>_H4I54LaXEeCH2d6goflMOA</id>
    <name>Quarterly KPIs</name>
    <item dataType="Numeric" type="Measure" hasLov="false">
        <id>_oGzSYLaaEeCH2d6goflMOA</id>
        <name>Reference Quarter</name>
        <path>Quarterly KPIs|folder¥Reference Quarter|measure</path>
        <aggregationFunction>Sum</aggregationFunction>
    </item>
    <item dataType="Numeric" type="Measure" hasLov="false">
        <id>_vsi7wLaaEeCH2d6goflMOA</id>
        <name>Same Quarter Last Year</name>
        <path>Quarterly KPIs|folder¥Same Quarter Last Year|measure</path>
        <aggregationFunction>Sum</aggregationFunction>
    </item>
    <item dataType="Numeric" type="Measure" hasLov="false">
        <id>_68SKoLaaEeCH2d6goflMOA</id>
        <name>YTY Change</name>
        <description>Year-to-Year Change</description>
        <path>Quarterly KPIs|folder¥YTY Change|measure</path>
        <aggregationFunction>Sum</aggregationFunction>
    </item>
    ...
</folder>
</outline>
</universe>

```

例: マスタビューが拒否されている場合

GET/universes/5808?aggregated=false

または

GET/universes/5808

応答:

```

<universe>
  <id>5808</id>
  <cuid>AUW2qRdU0IdPkyhlpZWrxvo</cuid>
  <name>Warehouse.unx</name>
  <type>unx</type>
  <folderId>5807</folderId>
  <maxRowsRetrieved>5000</maxRowsRetrieved>
  <maxRetrievalTime>600</maxRetrievalTime>
  <outline aggregated="false">
    <businessViewName>MyView</businessViewName>
    <folder>
      ...
    </outline>
  </outline>
</universe>

```

例: 呼び出しで集計アウトラインが要求される場合

GET/universes/5808?aggregated=true

応答:

```
<universe>
  <id>5808</id>
  <cuid>AUW2qRdU0IdPkyhlpZWrxvo</cuid>
  <name>Warehouse.unx</name>
  <type>unx</type>
  <folderId>5807</folderId>
  <maxRowsRetrieved>5000</maxRowsRetrieved>
  <maxRetrievalTime>600</maxRetrievalTime>
  <outline aggregated="true">
    <folder>
      ...
    </outline>
  </universe>
```

関連情報

[ユニバースの一覧の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[166 ページ\]](#)

7.1.3 ユニバースのビジネスビューの取得

用途

ユニバー ス	応答
UNV	API が UNV ユニバースのマスタビューと見なされるビューを返します。
UNX	API が UNX ユニバースのビジネスビューを返します。 このメソッドでは、セッションを開いたユーザに付与されたビューのみが返されます。セキュリティ設定により拒否されたビュー (マスタビューを含む) は返されません。

① 注記

各ビジネスビューでは、ツリーノードをナビゲートして、アウトラインに表示できるオブジェクトを取得することができます。各ツリーノードは、識別子により、ビジネスレイヤのフォルダまたはオブジェクトを参照します。

要求

GET/universes/<universeID>/businessviews

要求タイプ: application/xml

応答

応答タイプ: application/xml

応答本文:

ユニバー ス	応答本文
UNV	<p>マスタビューと見なされるビュー (masterView="true")。このビューには、以下の要素を持つユニバースのクラスとオブジェクトがすべて含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none">• <description>: 説明が有効ではない場合、<description> 要素は表示されません。• <folderRef>: ビューのクラスを参照します。• <itemRef>: ビジネスレイヤのオブジェクトを参照します。 <p>ビューは1つのみです。</p>
UNX	<p>以下で識別されるマスタビュー (masterView="true") およびユーザのカスタムビュー (masterView="false")。</p> <ul style="list-style-type: none">• <id>• <name>• <description> 説明が有効ではない場合、<description> 要素は表示されません。• <folderRef>: ビジネスビューのフォルダを参照します。• <itemRef>: ビジネスレイヤのオブジェクトを参照します。 <p>マスタビューは1つのみです。カスタムビューは複数存在することがあります。</p>

例: UNV ユニバースのビジネスビューの取得

GET/universes/11572/businessviews

```
<businessViews xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <businessView masterView="true">
    <folderRef name="Resort">
      <itemRef id="DO39"/>
      <itemRef id="DO2"/>
      <itemRef id="DO4"/>
      <itemRef id="DO5"/>
      <itemRef id="DFc"/>
      <itemRef id="DF1"/>
      <itemRef id="DF2"/>
    </folderRef>
    <folderRef name="Sales">
      <itemRef id="DO2f"/>
      <itemRef id="DO31"/>
      <itemRef id="DO32"/>
      <itemRef id="DO33"/>
      <itemRef id="DO17"/>
    </folderRef>
  </businessView>
</businessViews>
```

```

<folderRef name="Customer">
  <itemRef id="D011"/>
  <itemRef id="D012"/>
  <itemRef id="D013"/>
  <itemRef id="D0d">
    <itemRef id="D09"/>
    <itemRef id="D0e"/>
    <itemRef id="D08"/>
  </itemRef>
  <itemRef id="D019"/>
  <itemRef id="DF4"/>
  <itemRef id="DFa"/>
  <itemRef id="DFb"/>
  <folderRef name="Sponsor">
    <itemRef id="D02b">
      <itemRef id="D026"/>
      <itemRef id="D02c"/>
    </itemRef>
  </folderRef>
</folderRef>
<folderRef name="Reservations">
  <itemRef id="D01e"/>
  <itemRef id="D034"/>
  <itemRef id="D035"/>
  <itemRef id="D036"/>
</folderRef>
<folderRef name="Measures">
  <itemRef id="D03a"/>
  <itemRef id="D07"/>
  <itemRef id="D014"/>
  <itemRef id="D025"/>
</folderRef>
</businessView>
</businessViews>

```

例: UNX ユニバースのビジネスビューの取得

GET/universes/5808/businessviews

```

<businessViews xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <businessView masterView="true">
    <id>PER__6FCF0NdGEeKfwPJJ7KJ5ow</id>
    <name>UniverseName</name>
    <folderRef id="_6HHwgtDGEeKfwPJJ7KJ5ow">
      <itemRef id="_6HHwg9dGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
      <itemRef id="_6HRhgNdGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
      <itemRef id="_6HRhgddGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
      <itemRef id="_6opwQNdGEeKfwPJJ7KJ5ow">
        <itemRef id="_rhz58Oo_EeKgAukdbLejyA"/>
      </itemRef>
    </folderRef>
    <folderRef id="_6HuNcddGEeKfwPJJ7KJ5ow">
      <itemRef id="_6H3XYNdGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
      <itemRef id="_6H3XYddGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
      <itemRef id="_6IBIYNdGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
      <itemRef id="_6IBIYddGEeKfwPJJ7KJ5ow"/>
    </folderRef>
  </businessView>
  <businessView masterView="false">
    <id>_ouYoYzJyEeOx7dXQSVnuKw</id>
    <name>ViewName</name>
    <description>View description</description>
    <folderRef id="_6HHwgtDGEeKfwPJJ7KJ5ow">

```



```

        <itemRef id="_6HHwg9dGEeKfwPJJ7KJ5ow" />
        <itemRef id="_6HRhgNdGEeKfwPJJ7KJ5ow" />
    </folderRef>
    <folderRef id="_6HuNcddGEeKfwPJJ7KJ5ow">
        <itemRef id="_6H3XYNdGEeKfwPJJ7KJ5ow" />
        <itemRef id="_6H3XYddGEeKfwPJJ7KJ5ow" />
    </folderRef>
</businessView>
</businessViews>

```

関連情報

[ユニバースの一覧の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[166 ページ\]](#)

7.1.4 ユニバースのクエリ機能の取得 (セマンティックレイヤ)

用途

ユーザ権限に応じて、UNIX ユニバースまたは UNV ユニバースのクエリ機能を取得します。

これらの機能は、クエリパネルからクエリを作成する際にデータソースによってサポートされる機能の一覧を提供します。

Request

GET/universes/<universeID>/capabilities

要求タイプ: application/xml

応答

応答タイプ: application/xml

応答本文:

機能	機能	説明
一般的なクエリ機能	<combinedQueriesSupported>	データソースで複合クエリがサポートされる場合は true です。
	<maxValuesForInList>	演算子 INLIST または NOT_INLIST に基づいて、フィルタで設定できるアイテムの最大数を指定します。

機能	機能	説明
データ処理機能	<removeDuplicateRowsAvailable>	
	<samplingLevel>	
	<maxRowRetrievedAvailable>	
	<maxRetrievalTimeAvailable>	
フィルタ機能	<supportedComparisonOperators>	ディメンション、属性、またはメジャーに基づいて、フィルタでサポートされる比較演算子の一覧です。
	<supportedLogicalOperators>	フィルタの結合をサポートする論理演算子の一覧です。
	<supportedObjects>	<supportedObjects> は、クエリの構築をサポートするオブジェクトの資格 (ディメンション、属性、およびメジャー) の一覧です。
	<supportedRankings>	サポートされる順位演算子の一覧 (top、bottom、topPercent、または bottomPercent)
	<resultObjectInFilterSupported>	結果オブジェクトとして使用されるオブジェクトをフィルタで利用できる場合は true です。
	<objectComparisonSupported>	別のオブジェクトに基づくフィルタオペランドがサポートされる場合は true です。
	<constantComparisonSupported>	定数値に基づくフィルタオペランドがサポートされる場合は true です。
結果オブジェクト機能	<subQueriesSupported>	サブクエリフィルタがサポートされる場合は true です。
	<useAttributeSeparatelyAvailable>	
	<sortObjectsAvailable>	オブジェクトのクエリの並べ替えがサポートされる場合は true です。
	<sortNonResultObjectsAvailable>	結果オブジェクトとして使用されていないオブジェクトのクエリの並べ替えがサポートされる場合は true です。

例

GET/universes/5808/capabilities

```
<capabilities xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <GeneralCapabilities>
    <combinedQueriesSupported>true</combinedQueriesSupported>
    <maxValuesForInList>-1</maxValuesForInList>
  </GeneralCapabilities>
  <DataProcessingCapabilities>
    <removeDuplicateRowsAvailable>true</removeDuplicateRowsAvailable>
    <samplingLevel>None</samplingLevel>
    <maxRowRetrievedAvailable>true</maxRowRetrievedAvailable>
    <maxRetrievalTimeAvailable>true</maxRetrievalTimeAvailable>
  </DataProcessingCapabilities>
</capabilities>
```

```

</DataProcessingCapabilities>
<filterCapabilities>
  <supportedComparisonOperators>
    <value>EqualTo</value>
    <value>NotEqualTo</value>
    <value>Between</value>
    <value>NotBetween</value>
    ...
  </supportedComparisonOperators>
  <supportedRankings>
    <value>top</value>
    <value>bottom</value>
    <value>topPercent</value>
    <value>bottomPercent</value>
  </supportedRankings>
  <supportedLogicalOperators>
    <value>or</value>
    <value>and</value>
  </supportedLogicalOperators>
  <supportedObjects>
    <value>attribute</value>
    <value>dimension</value>
    <value>measure</value>
    <value>filter</value>
  </supportedObjects>
  <subQueriesSupported>true</subQueriesSupported>
  <resultObjectInFilterSupported>true</resultObjectInFilterSupported>
  <objectComparisonSupported>true</objectComparisonSupported>
  <constantComparisonSupported>true</constantComparisonSupported>
</filterCapabilities>
<ResultObjectCapabilities>
  <useAttributeSeparatelyAvailable>true</useAttributeSeparatelyAvailable>
  <sortObjectsAvailable>true</sortObjectsAvailable>
  <sortNonResultObjectsAvailable>false</sortNonResultObjectsAvailable>
</ResultObjectCapabilities>
</capabilities>

```

関連情報

[ユニバースの一覧の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[166 ページ\]](#)

7.1.5 ユニバースのリンクグループの取得

用途

CMS リポジトリに公開された UNX ユニバースのリンクグループを取得します。

① 注記

UNV ユニバースのリンクグループは、このリリースではサポートされていません。

リンクグループについて

リレーショナルユニバースにおいて、リンクグループとは、ユニバースのデータソースモデル (データファンデーション) またはユニバースのセマンティックレイヤモデル (ビジネスレイヤ) 内で表される依存関係リンクを共有する、一連のビジネスオブジェクトです。リンクグループは次のいずれかになります。

- データリンクグループ
データリンクグループはデータファンデーションを基盤とし、ディメンションと別のディメンション、またはディメンションとメジャーなどの、オブジェクト間の関係を表します。データリンクグループにはディメンションおよびメジャーのみを含めることができます。データリンクグループは、1つ以上のメジャーが含まれている場合、メジャーグループとして見なすことができます。
- セマンティックリンクグループ
セマンティックリンクグループはビジネスレイヤを基盤とし、ディメンションと属性のような、オブジェクト間の関係を表します。セマンティックリンクグループには、少なくとも1つのディメンションおよびそれに関連する属性 (存在する場合) が含まれている必要があります。

リンクグループを別のリンクグループに含めることはできません。複数のリンクグループは共通のディメンションまたはメジャーを持つことがあります。

ユニバースには少なくとも1つのリンクグループが含まれています。リンクグループが含まれていない場合は空となります。

Request

GET/universes/<universeID>/linkgroups

要求タイプ: application/xml

応答

応答タイプ: application/xml

応答本文:

```
<linkGroups>
  <linkGroup type="semantic|data">
    <link name="string" id="string" />
  </linkGroup>
</linkGroups>
```

この場合、

- リンクグループタイプの可能な値:
 - data: リンクグループがデータファンデーションに基づいている場合
 - semantic: ビジネスレイヤに基づいている場合
- name はビジネスオブジェクトのパスです。
- ID は、ビジネスオブジェクトの識別子です。

例

```
<linkGroups xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <linkGroup type="semantic">
    <link name="Customer|folder¥Customer|dimension" id="OBJ_13"/>
    <link name="Customer|folder¥Customer|dimension¥Age|attribute"
id="OBJ_9"/>
  </linkGroup>
  <linkGroup type="data">
    <link name="Resort|folder¥Service|dimension" id="OBJ_5"/>
    <link name="Sales|folder¥Sales Date|dimension" id="OBJ_23"/>
    <link name="Resort|folder¥Service Line|dimension" id="OBJ_4"/>
    <link name="Customer|folder¥Customer|dimension" id="OBJ_13"/>
    <link name="Resort|folder¥Resort|dimension" id="OBJ_2"/>
    <link name="Resort|folder¥Resort Country|dimension" id="OBJ_6"/>
    <link name="Customer|folder¥Customer Country|dimension" id="OBJ_17"/>
    <link name="Measures|folder¥Revenue|measure" id="OBJ_7"/>
    <link name="Measures|folder¥Number of guests|measure" id="OBJ_20"/>
  </linkGroup>
  <linkGroup type="data">
    <link name="Resort|folder¥Service|dimension" id="OBJ_5"/>
    <link name="Reservations|folder¥Reservation Date|dimension" id="OBJ_30"/>
    <link name="Resort|folder¥Service Line|dimension" id="OBJ_4"/>
    <link name="Customer|folder¥Customer|dimension" id="OBJ_13"/>
    <link name="Resort|folder¥Resort|dimension" id="OBJ_2"/>
    <link name="Resort|folder¥Resort Country|dimension" id="OBJ_6"/>
    <link name="Customer|folder¥Customer Country|dimension" id="OBJ_17"/>
    <link name="Measures|folder¥Future guests|measure" id="OBJ_37"/>
  </linkGroup>
</linkGroups>
```

関連情報

[ユニバースの一覧の取得 \(セマンティックレイヤ\) \[166 ページ\]](#)

7.1.6 ユニバースのオブジェクトパラメータの取得

用途

エンドユーザに値の入力を求めるために使用され、CMS リポジトリに保存されている UNX ユニバースのデータファンデーションおよびビジネスレイヤで定義されているオブジェクトパラメータの一覧を取得します。

① 注記

UNV ユニバースではオブジェクトパラメータがサポートされないため、これは UNX ユニバースにのみ関連します。

要求

GET/universes/<universeID>/prompts

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の要素によって識別されるオブジェクトパラメータの一覧 (<prompt>)。

- <id>
- <dataType>
- <name>
- <question>

例

GET/universes/6660/prompts

```
<prompts>
  <prompt>
    <id>_HDBaULaYEeCH2d6goflMOA</id>
    <dataType>Numeric</dataType>
    <name>Reference Quarter Number</name>
    <question>Reference Quarter Number:</question>
  </prompt>
  <prompt>
    <id>_PImaULaYEeCH2d6goflMOA</id>
    <dataType>Numeric</dataType>
    <name>Reference Year Number</name>
    <question>Reference Year Number:</question>
  </prompt>
  <prompt>
    <id>_capysLIYEeCVLNpRXueEkA</id>
    <dataType>String</dataType>
    <name>Period Type</name>
    <question>Period Type:</question>
  </prompt>
  <prompt>
    <id>_lBRDMLIYEeCVLNpRXueEkA</id>
    <dataType>String</dataType>
    <name>Time Window</name>
    <question>Time Window:</question>
  </prompt>
  <prompt>
    <id>_uPlz8LIYEeCVLNpRXueEkA</id>
    <dataType>Date</dataType>
    <name>Reference Date</name>
    <question>Reference Date:</question>
  </prompt>
</prompts>
```

7.2 クエリの管理

BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK では、UNV ユニバースと UNIX ユニバースにクエリを実行してデータを取得するための一連の API が提供されます。ユニバースデータは、OData サービスとして公開されます。

[クエリの作成 \[179 ページ\]](#)

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

[クエリの詳細の取得 \[181 ページ\]](#)

[クエリの削除 \[182 ページ\]](#)

7.2.1 クエリの作成

用途

事前コンパイル済みのクエリステートメントを、開いているセッションのインスタンスに作成します。

このインスタンスを使用して、このステートメントを複数回実行することができます。クエリは CMS リポジトリに格納されず、メモリに格納されます。

Request

POST/queries

要求タイプ: application/xml

要求本文: [クエリ仕様の本文スキーマ \[105 ページ\]](#)を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 結果オブジェクトのみによるクエリの作成

POST/queries

要求本文:

```
<query dataSourceType="unx" dataSourceId="5808" xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥City|dimension" id="_IBo8L7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Customer|dimension" id="_IBo8OrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Inventory|folder¥Stock Level|measure" id="_IB8eFrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "query" with identifier "6089913651317040730" has been successfully created.</message>
  <id>6089913651317040730</id>
</success>
```

応答にはクエリ ID が <id> として含まれます。

関連情報

[クエリの削除 \[182 ページ\]](#)

7.2.2 クエリの一覧の取得

用途

開いているセッションのインスタンスで利用できるすべてのクエリステートメントの一覧を取得します。

Request

GET/queries

要求タイプ: application/xml

応答

応答タイプ: application/xml

応答本文: 以下の属性が含まれる一連の <query> 要素:

- dataSourceType はユニバースタイプ (unv または unx) です。
- dataSourceId はユニバース ID です。

<query> には、該当するクエリステートメント ID を表す <id> 子要素が存在します。

例

GET/queries

```
<queries xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe">
  <query dataSourceType="unx" dataSourceId="5845">
    <id>5602099021259262832</id>
  </query>
  <query dataSourceType="unx" dataSourceId="5845">
    <id>7059150136676433395</id>
  </query>
</queries>
```

7.2.3 クエリの詳細の取得

用途

開いているセッションのインスタンスで作成されたクエリステートメントのクエリ仕様を返します。

Request

GET/queries/<queryID>

要求タイプ: application/xml

応答

応答タイプ: application/xml

応答本文: [クエリ仕様の本文スキーマ \[105 ページ\]](#)を参照してください。

例

GET/queries/6089913651317040730

```
<query xmlns="http://www.sap.com/rws/sl/universe" id="6089913651317040730"
dataSourceType="unx" dataSourceId="5808">
  <querySpecification version="1.0">
    <queryData>
      <resultObjects>
        <resultObject path="Customer|folder¥Geography|folder¥City|
dimension" id="_IBo8L7IhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Customer|folder¥Customer|dimension"
id="_IBo8OrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
        <resultObject path="Inventory|folder¥Stock Level|measure"
id="_IB8eFrIhEeCk0Ylv-tlF2Q"/>
      </resultObjects>
    </queryData>
  </querySpecification>
</query>
```

関連情報

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

7.2.4 クエリの削除

用途

開いているセッションのインスタンスのメモリからクエリステートメントを削除します。

① 注記

セッションを閉じることで、このインスタンスで作成されたすべてのクエリステートメントを削除することができます。

Request

DELETE/queries/<queryID>

要求タイプ: application/xml

応答

応答タイプ: application/xml

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/queries/6089913651317040730

```
<success>
  <message>The resource of type "query" with identifier "6089913651317040730"
  has been successfully removed.</message>
  <id>6089913651317040730</id>
</success>
```

関連情報

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

7.3 パラメータの管理

BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス SDK では、UNV ユニバースまたは UNX ユニバースのコンテキストとプロンプトに関するタスクを実行するための一連の API が提供されます。

[パラメータの一覧の取得 \[183 ページ\]](#)

[パラメータへの応答 \[186 ページ\]](#)

[パラメータの詳細の取得 \[198 ページ\]](#)

7.3.1 パラメータの一覧の取得

用途

回答されるパラメータの最初のコンテキストを返します。

要求

GET/queries/<queryID>/parameters?formattedValues=<formattedValues>

この場合、

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答では、预期される回答とデフォルト値が含まれるパラメータが提供されます。コンテンツの構造と要素の詳細については、[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)を参照してください。

例: パラメータなし

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<parameters/>
```

例: コンテキスト

タイプ context のパラメータにより、2 つの考えられるコンテキスト値が提供されます。

```
<parameters>
  <parameter type="context" optional="false" dpId="DP0" >
    <id>0</id>
    <name>Select a context</name>
    <answer type="text" constrained="true">
      <info cardinality="Single">
        <lov partial="false">
          <values>
            <value id="C2">Reservations</value>
            <value id="C1">Sales</value>
          </values>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

例: DateTime プロンプト

タイプ prompt のパラメータは、1つの回答の値 (カーディナリティ Single) のみを受け入れます。

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <name>Enter Open Date:</name>
    <answer constrained="false" type="DateTime">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <values>
            <value>2011-09-03T17:15:00.000+02:00</value> <!--
possible values -->
            <value>2012-09-03T17:15:00.000+02:00</value>
            <value>2013-09-03T17:15:00.000+02:00</value>
          </values>
        </lov>
        <values>
          <value>2011-09-03T17:15:00.000+02:00</value> <!-- default
value -->
        </values>
      </info>
      <values>
        <value>2011-09-03T17:15:00.000+02:00</value> <!-- default value
-->
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

例: 複数の値を受け取るプロンプト

タイプ prompt のパラメータは、複数の回答の値 (カーディナリティ Multiple) を受け入れます。

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>pmmultiple</technicalName>
    <name>Enter Cityname (multiple)</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO22</id>
          <values>
            <value>Barcelona</value> <!-- possible values -->
            <value>Berlin</value>
            <value>Copenhagen</value>
            <value>Firenze</value>
            <value>London</value>
            <value>Madrid</value>
            <value>Marseilles</value>
            <value>Oslo</value>
            <value>Paris</value>
            <value>Pragues</value>
            <value>Roma</value>
            <value>Stockholm</value>
            <value>Stuttgart</value>
          </values>
        </lov>
        <columns mappingId="0">
          <column type="String" id="0">Cityname</column>
        </columns>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

```

        </columns>
      </lov>
      <values>
        <value>Barcelona</value> <!-- default values -->
        <value>Berlin</value>
      </values>
    </info>
    <values>
      <value>Barcelona</value> <!-- default values -->
      <value>Berlin</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

関連情報

[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

7.3.2 パラメータへの応答

用途

コンテキストおよびプロンプトに応答します。

最初のパラメータへの応答時に追加のパラメータが見つかった場合は、そのパラメータを返します。これらの新しいパラメータへの応答も必要となるため、新しいパラメータへの回答、および新しいパラメータをトリガしたパラメータへの回答を要求本文に使用して、追加の呼び出しを実行する必要があります。

要求

PUT/queries/<queryID>/parameters?formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

要求本文: GET .../parameters 呼び出しを使用して取得されるパラメータへの回答。XML コンテンツの構造と要素の詳細については、[応答要求本文スキーマ \[140 ページ\]](#)を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

すべてのパラメータに応答が行われると、最後の PUT 呼び出しにより、要求の成功を示すメッセージが返されます。

```
<success>
  <message>The parameters of the resource of type "Query" with identifier "XX"
have been answered.</message>
  <id>XX</id>
</success>
```

[例 - コンテキストへの応答 \[187 ページ\]](#)

[例 - 複数の値を含むプロンプトへの応答 \[188 ページ\]](#)

[例 - 間隔を定義する 2 つのプロンプトへの応答 \[189 ページ\]](#)

[例 - カスケードパラメータへの応答 \[191 ページ\]](#)

[例 - 階層パラメータへの応答 \[195 ページ\]](#)

関連情報

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

7.3.2.1 例 - コンテキストへの応答

GET .../parameters 呼び出しにより、タイプ context の特定のパラメータの値の一覧が返されます。

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="context" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>c _Sub_2</technicalName>
    <name>Select a context</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
      <info cardinality="Single">
        <lov partial="false">
          <values>
            <value id="CTX_2">Reservations</value>
            <value id="CTX_1">Sales</value>
          </values>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

PUT 呼び出しでは、要求本文にコンテキストへの回答が含まれます。以下の要求本文では <info> 要素が表示されません。これは必須ではありません。

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="context">
```

```

<id>0</id>
<technicalName>c _Sub_2</technicalName>
<name>Select a context</name>
<answer constrained="true" type="Text">
  <values>
    <value id="CTX_2">Reservations</value>
  </values>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

PUT 呼び出しにより成功のメッセージが返されます。

```

<success>
  <message>The resource of type "Query" with identifier "XX" has not been
  modified.</message>
  <id>XX</id>
</success>

```

7.3.2.2 例 - 複数の値を含むプロンプトへの応答

GET .../parameters 呼び出しにより、タイプが prompt のカーディナリティ Single で、2つの列の値によって構成された回答を受け入れるパラメータが記述された XML が返されます。Employee Name 列は参照として使用されます。デフォルト値は Clive Lord です。

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>1</id>
    <technicalName>psCustomLOV_2col</technicalName>
    <name>Enter CustomLOV_2col:</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO65</id>
          <cvalues>
            <cvalue>
              <column id="0">Alan Leroy</column> <!-- possible
values -->
              <column id="1">Sales</column>
            </cvalue>
            <cvalue>
              <column id="0">Brian Lunn</column>
              <column id="1">Board</column>
            </cvalue>
            <cvalue>
              <column id="0">Brian Opel</column>
              <column id="1">Sales</column>
            </cvalue>
            <cvalue>
              <column id="0">Chris Hutchings</column>
              <column id="1">Sales</column>
            </cvalue>
            <cvalue>
              <column id="0">Clive Allen</column>
              <column id="1">Support</column>
            </cvalue>
            <cvalue>
              <column id="0">Clive Lord</column>
              <column id="1">Sales</column>
            </cvalue>
          </cvalues>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
  ...

```



```

        <cvalue>
          <column id="0">Yvonne Viamont</column>
          <column id="1">Support</column>
        </cvalue>
      </cvalues>
      <columns mappingId="0">
        <column id="0" type="String">Employee Name</column>
        <column id="1" type="String">Department</column>
      </columns>
    </lov>
  <values>
    <value>Clive Lord</value>  <!-- default value -->
  </values>
</info>
<values>
  <value>Clive Lord</value>  <!-- default value -->
</values>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

PUT .../parameters 呼び出しがパラメータに応答します。以下の要求本文では <info> 要素が表示されません。これは必須ではありません。回答の値がデフォルト値です。

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>1</id>
    <technicalName>psCustomLOV_2col</technicalName>
    <name>Enter CustomLOV_2col:</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <values>
        <value>Clive Lord</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Query" with identifier "5661410011133153584"
  has not been modified.</message>
  <id>5661410011133153584</id>
</success>

```

7.3.2.3 例 - 間隔を定義する 2 つのプロンプトへの応答

GET .../parameters 呼び出しにより、タイプが prompt のカーディナリティ Single で、2 つのヨーロッパの都市への旅程を定義するパラメータが記述された XML が返されます。

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>psEnter City of Departure</technicalName>
    <name>Enter City of Departure</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO22</id>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

```

        <value>Barcelona</value> <!-- possible values -->
        <value>Berlin</value>
        <value>Copenhagen</value>
        <value>Firenze</value>
        <value>London</value>
        <value>Madrid</value>
        <value>Marseilles</value>
        <value>Oslo</value>
        <value>Paris</value>
        <value>Pragues</value>
        <value>Roma</value>
        <value>Stockholm</value>
        <value>Stuttgart</value>
    </values>
    <columns mappingId="0">
        <column type="String" id="0">Cityname</column>
    </columns>
</lov>
</info>
</answer>
</parameter>
<parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>1</id>
    <technicalName>psEnter Destination City</technicalName>
    <name>Enter Destination City</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
        <info cardinality="Single">
            <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
                <id>UNIVERSELOV_DS0.DO22</id>
                <values>
                    <value>Barcelona</value> <!-- possible values -->
                    <value>Berlin</value>
                    <value>Copenhagen</value>
                    <value>Firenze</value>
                    <value>London</value>
                    <value>Madrid</value>
                    <value>Marseilles</value>
                    <value>Oslo</value>
                    <value>Paris</value>
                    <value>Pragues</value>
                    <value>Roma</value>
                    <value>Stockholm</value>
                    <value>Stuttgart</value>
                </values>
                <columns mappingId="0">
                    <column type="String" id="0">Cityname</column>
                </columns>
            </lov>
        </info>
    </answer>
</parameter>
</parameters>

```

PUT .../parameters 呼び出しは、以下の要求本文が含まれるプロンプトで応答します。

```

<parameters>
    <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
        <id>0</id>
        <technicalName>psEnter City of Departure</technicalName>
        <name>Enter City of Departure</name>
        <answer constrained="true" type="Text">
            <values>
                <value>Barcelona</value>
            </values>
        </answer>
    </parameter>
    <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">

```

```

<id>1</id>
<technicalName>psEnter Destination City</technicalName>
<name>Enter Destination City</name>
<answer constrained="true" type="Text">
  <values>
    <value>Berlin</value>
  </values>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Query" with identifier "7063116525765987187"
  has not been modified.</message>
  <id>7063116525765987187</id>
</success>

```

7.3.2.4 例 - カスケードパラメータへの応答

GET .../parameters 呼び出しにより、以下が返されます。

- id=0、タイプ prompt、およびカーディナリティ Multiple のパラメータへの回答に考えられる値の一覧。
- id=1、タイプ prompt、およびカーディナリティ Single の 2 目のパラメータ。

2 目のパラメータの値の一覧を取得するには、1 目のパラメータに回答する必要があります。

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>pmEnter First Name of Customer</technicalName>
    <name>Enter First Name of Customer</name>
    <answer type="Text" constrained="false">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO5a</id>
          <values>
            <value>Andre</value>
            <value>Annie</value>
            <value>Brian</value>
            <value>Christine</value>
            <value>Dan</value>
            <value>Erika</value>
            <value>Franz</value>
            <value>George</value>
            <value>Habib</value>
            <value>Jack</value>
            <value>Jan</value>
            <value>Joe</value>
            <value>John</value>
            <value>Luke</value>
            <value>Mary</value>
            <value>Michele</value>
            <value>Paul</value>
            <value>Peter</value>
            <value>Philip</value>
            <value>Robert</value>
            <value>Robin</value>
          </values>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

```

        <column type="String" id="0">First Name</column>
      </columns>
    </lov>
  </info>
</answer>
</parameter>
<parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
  <id>1</id>
  <technicalName>psInvoice Date</technicalName>
  <name>Enter Invoice Date:</name>
  <answer type="Date" constrained="false">
    <info cardinality="Single">
      <lov refreshable="true" hierarchical="false">
        <id>UNIVERSELOV_DS0.DO6b</id>
        <parameters>
          <id>0</id>
        </parameters>
      </lov>
    </info>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

PUT .../parameters 呼び出しによってパラメータに回答します。最初に、特定のパターン (a*) に従って値の一覧にクエリを実行します。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>pmEnter First Name of Customer</technicalName>
    <name>Enter First Name of Customer</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true">
          <query>
            <sort order="Descending" />
            <search>a*</search>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>1</id>
    <technicalName>psInvoice Date</technicalName>
    <name>Enter Invoice Date:</name>
    <answer constrained="false" type="Date">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="false" refreshable="true">
          <query>
            <sort order="Descending" />
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

PUT 呼び出しにより、id=0 のパラメータの考えられる値が返されます。これは、降順の検索パターンに対応します。

応答:

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>pmEnter First Name of Customer</technicalName>
    <name>Enter First Name of Customer</name>
    <answer type="Text" constrained="false">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO5a</id>
          <values>
            <value>Annie</value>
            <value>Andre</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column type="String" id="0">First Name </column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>1</id>
    <technicalName>psInvoice Date</technicalName>
    <name>Enter Invoice Date:</name>
    <answer type="Date" constrained="false">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO6b</id>
          <parameters>
            <id>0</id>
          </parameters>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

id=1 の2つ目のパラメータの値を取得するには、入力として id=0 のパラメータの値が含まれる、もう1つの PUT 呼び出しが必要です。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>pmEnter First Name of Customer</technicalName>
    <name>Enter First Name of Customer</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true">
          <query>
            <sort order="Descending"/>
            <search>a*</search>
          </query>
        </lov>
      </info>
      <values>
        <value>Andre</value>
        <value>Annie</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>1</id>
```

```

    <technicalName>psInvoice Date</technicalName>
    <name>Enter Invoice Date:</name>
    <answer constrained="false" type="Date">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="false" refreshable="true">
          <query>
            <sort order="Descending"/>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>1</id>
    <technicalName>psInvoice Date</technicalName>
    <name>Enter Invoice Date:</name>
    <answer type="Date" constrained="false">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.D06b</id>
          <values>
            <value>1995-09-16T17:04:00.000+02:00</value>
            <value>1994-12-24T07:47:00.000+01:00</value>
            <value>1994-12-14T16:26:00.000+01:00</value>
            <value>1994-07-24T05:55:00.000+02:00</value>
            <value>1994-04-06T12:43:00.000+02:00</value>
            <value>1993-12-13T10:05:00.000+01:00</value>
            <value>1993-12-01T15:54:00.000+01:00</value>
            <value>1993-10-07T00:16:00.000+01:00</value>
            <value>1993-07-08T00:12:00.000+02:00</value>
            <value>1993-05-22T02:00:00.000+02:00</value>
            <value>1993-05-12T02:35:00.000+02:00</value>
            <value>1993-01-24T13:55:00.000+01:00</value>
            <value>1992-11-28T15:26:00.000+01:00</value>
            <value>1992-11-24T19:05:00.000+01:00</value>
            <value>1992-10-07T04:27:00.000+01:00</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column type="DateTime" id="0">Invoice Date </column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

入力として id=1 のパラメータに対して選択された値が含まれる最後の PUT 呼び出しでは、成功のメッセージが返されます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>pmEnter First Name of Customer</technicalName>
    <name>Enter First Name of Customer</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true">
          <query>
            <sort order="Descending"/>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

```

        <search>a*</search>
      </query>
    </lov>
  </info>
  <values>
    <value>Andre</value>
    <value>Annie</value>
  </values>
</answer>
</parameter>
<parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
  <id>1</id>
  <technicalName>psInvoice Date</technicalName>
  <name>Enter Invoice Date:</name>
  <answer constrained="false" type="Date">
    <info cardinality="Single">
      <lov hierarchical="false" refreshable="true">
        <query>
          <sort order="Descending"/>
        </query>
      </lov>
    </info>
    <values>
      <value>1993-05-22T02:00:00.000+02:00</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Query" with identifier "6366177434639509348"
  has not been modified.</message>
  <id>6366177434639509348</id>
</success>

```

7.3.2.5 例 - 階層パラメータへの応答

GET .../parameters 呼び出しにより、都市の選択が求められる、タイプ prompt の特定のパラメータの値の一覧が返されます。値は大陸です。

応答:

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>psSelect a city</technicalName>
    <name>Select a city for customer</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="true">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO6a</id>
          <updated>1970-01-01T01:00:00.000+01:00</updated>
          <values>
            <value final="false">Asia</value>
            <value final="false">Europe</value>
            <value final="false">Latin America</value>
            <value final="false">North America</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column type="String" id="0"/>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

```

        </columns>
      </lov>
    </info>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

最初の PUT 呼び出しで、値の一覧の第 1 レベルの値がパラメータの回答として渡されます。回答は Europe です。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>psSelect a city</technicalName>
    <name>Select a city for customer</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true">
          <query>
            <path>
              <value>Europe</value>
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答にはパラメータの第 2 レベルの値の一覧が含まれます。値は国を表します。

応答:

```

<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>psSelect a city</technicalName>
    <name>Select a city for customer</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="true">
path="[[0,¥ Europe]]">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.D06a</id>
          <updated>1970-01-01T01:00:00.000+01:00</updated>
          <values>
            <value final="false">France</value>
            <value final="false">Germany</value>
            <value final="false">Italy</value>
            <value final="false">Spain</value>
            <value final="false">United-Kingdom</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column type="String" id="0"/>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

2 番目の PUT 呼び出しで、第 2 レベルの値の一覧の値がパラメータの回答として渡されます (France)。第 1 レベルの値が再度呼び出されます (Europe)。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>psSelect a city</technicalName>
    <name>Select a city for customer</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true">
          <query>
            <path>
              <value>Europe</value>
              <value>France</value>
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

応答にはパラメータの第3レベルおよび最終レベルの値の一覧が含まれます。値は都市を表します。

応答:

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>psSelect a city</technicalName>
    <name>Select a city for customer</name>
    <answer type="Text" constrained="true">
      <info cardinality="Single">
        <lov refreshable="true" partial="false" hierarchical="true"
path="[[0,¥ Europe], [0,¥ France]]">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.D06a</id>
          <updated>1970-01-01T01:00:00.000+01:00</updated>
          <values>
            <value>Marseilles</value>
            <value>Paris</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column type="String" id="0"/>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

3番目および最終の PUT 呼び出しでは、第1レベルおよび第2レベルの値の一覧の値、ならびに第3レベルの値がパラメータの回答として渡されます。第3レベルの値のみが実際のパラメータ値として考慮されます (Paris)。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter dpId="DP0" optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>psSelect a city</technicalName>
    <name>Select a city for customer</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true">
          <query>
```

```

        <path>
          <value>Europe</value>
          <value>France</value>
        </path>
      </query>
    </lov>
  </info>
  <values>
    <value path="[[0,¥ Europe],[0,¥ France]]">Paris</value>
  </values>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Query" with identifier "6512967723055172061"
  has not been modified.</message>
  <id>6512967723055172061</id>
</success>

```

7.3.3 パラメータの詳細の取得

用途

識別子で指定されたパラメータの可能な回答を返します。

要求

GET/queries/<queryID>/parameters/<parameterID>?formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答により、パラメータとその予期される回答が提供されます。コンテンツの構造と要素の詳細については、[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)を参照してください。

例: タイプ **prompt** のパラメータ

GET/queries/8963412105615728541/parameters/0

応答:

```
<parameters>
  <parameter type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>psEnd</technicalName>
    <name>Enter value for Customer Id (End):</name>
    <answer type="Numeric" constrained="true">
      <info keepLastValues="true" cardinality="Single">
        <lov mandatorySearch="false" searchable="true"
refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DOa8</id>
          <updated>2015-08-19T17:18:53.000+02:00</updated>
          <intervals>
            <interval id="0">
              <cvalue>
                <column id="0">1991</column>
                <column id="1">2002-02-09T01:00:00.000+01:00</
column>
                <column id="2">2002-04-10T02:00:00.000+02:00</
column>
              </cvalue>
              <cvalue>
                <column id="0">1616</column>
                <column id="1">2001-06-15T02:00:00.000+02:00</
column>
                <column id="2">2001-08-14T02:00:00.000+02:00</
column>
              </cvalue>
            </interval>
            <interval id="1">
              <cvalue>
                <column id="0">1614</column>
                <column id="1">2001-11-10T01:00:00.000+01:00</
column>
                <column id="2">2002-01-09T01:00:00.000+01:00</
column>
              </cvalue>
              <cvalue>
                <column id="0">1139</column>
                <column id="1">2001-09-03T02:00:00.000+02:00</
column>
                <column id="2">2001-11-02T01:00:00.000+01:00</
column>
              </cvalue>
            </interval>
            <interval id="2">
              <cvalue>
                <column id="0">1132</column>
                <column id="1">2001-12-14T01:00:00.000+01:00</
column>
                <column id="2">2002-02-12T01:00:00.000+01:00</
column>
              </cvalue>
              <cvalue>
                <column id="0">718</column>
                <column id="1">2002-02-09T01:00:00.000+01:00</
column>
                <column id="2">2002-04-10T02:00:00.000+02:00</
column>
              </cvalue>
            </interval>
          </intervals>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

```

        <interval id="3">
          <cvalue>
            <column id="0">714</column>
            <column id="1">2001-12-28T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-02-26T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">297</column>
            <column id="1">2001-10-08T02:00:00.000+02:00</
column>
            <column id="2">2001-12-07T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
        </interval>
        <interval id="4">
          <cvalue>
            <column id="0">293</column>
            <column id="1">2001-12-16T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-02-14T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">1</column>
            <column id="1">2001-08-09T02:00:00.000+02:00</
column>
            <column id="2">2001-10-08T02:00:00.000+02:00</
column>
          </cvalue>
        </interval>
      </intervals>
      <cvalues>
        <cvalue>
          <column id="0">1991</column>
          <column id="1">2002-02-09T01:00:00.000+01:00</column>
          <column id="2">2002-04-10T02:00:00.000+02:00</column>
        </cvalue>
        <cvalue>
          <column id="0">1988</column>
          <column id="1">2001-07-14T02:00:00.000+02:00</column>
          <column id="2">2001-09-12T02:00:00.000+02:00</column>
        </cvalue>
        ...
      </cvalues>
      <columns mappingId="0">
        <column type="Numeric" id="0">Customer Id </column>
        <column type="DateTime" id="1">From Date </column>
        <column type="DateTime" id="2">To Date </column>
      </columns>
    </lov>
  </info>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

クエリで制限されたパラメータの詳細の取得

用途

値がクエリで制限されているパラメータの可能な回答を返します。

要求

PUT/queries/<queryID>/parameters/<parameterID>?formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

要求本文: クエリの詳細。コンテンツの構造と要素の詳細については、[応答要求本文スキーマ \[140 ページ\]](#)を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答により、パラメータとその予期される回答が提供されます。

例: タイプ **prompt** のパラメータ

最初に、3つの列で構成された回答を受け入れるカーディナリティ Single の prompt パラメータを取得します。

GET/queries/8963412105615728541/parameters

応答:

```
<parameters>
  <parameter type="prompt" optional="false">
    <id>0</id>
    <technicalName>psEnd</technicalName>
    <name>Enter value for Customer Id (End):</name>
    <answer type="Numeric" constrained="true">
      <info keepLastValues="true" cardinality="Single">
        <lov mandatorySearch="false" searchable="true"
refreshable="true" partial="false" hierarchical="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DOa8</id>
          <updated>2015-08-19T17:18:53.000+02:00</updated>
          <intervals>
            <interval id="0">
              <cvalue>
                <column id="0">1991</column>
                <column id="1">2002-02-09T01:00:00.000+01:00</
column>
                <column id="2">2002-04-10T02:00:00.000+02:00</
column>
              </cvalue>
              <cvalue>
                <column id="0">1616</column>
                <column id="1">2001-06-15T02:00:00.000+02:00</
column>
                <column id="2">2001-08-14T02:00:00.000+02:00</
column>
              </cvalue>
            </interval>
          </intervals>
        </info>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
```

```

        <interval id="1">
          <cvalue>
            <column id="0">1614</column>
            <column id="1">2001-11-10T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-01-09T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">1139</column>
            <column id="1">2001-09-03T02:00:00.000+02:00</
column>
            <column id="2">2001-11-02T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
        </interval>
        <interval id="2">
          <cvalue>
            <column id="0">1132</column>
            <column id="1">2001-12-14T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-02-12T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">718</column>
            <column id="1">2002-02-09T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-04-10T02:00:00.000+02:00</
column>
          </cvalue>
        </interval>
        <interval id="3">
          <cvalue>
            <column id="0">714</column>
            <column id="1">2001-12-28T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-02-26T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">297</column>
            <column id="1">2001-10-08T02:00:00.000+02:00</
column>
            <column id="2">2001-12-07T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
        </interval>
        <interval id="4">
          <cvalue>
            <column id="0">293</column>
            <column id="1">2001-12-16T01:00:00.000+01:00</
column>
            <column id="2">2002-02-14T01:00:00.000+01:00</
column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">1</column>
            <column id="1">2001-08-09T02:00:00.000+02:00</
column>
            <column id="2">2001-10-08T02:00:00.000+02:00</
column>
          </cvalue>
        </interval>
      </intervals>
    <cvalues>
      <cvalue>
        <column id="0">1991</column>

```

```

        <column id="1">2002-02-09T01:00:00.000+01:00</column>
        <column id="2">2002-04-10T02:00:00.000+02:00</column>
    </cvalue>
    <cvalue>
        <column id="0">1988</column>
        <column id="1">2001-07-14T02:00:00.000+02:00</column>
        <column id="2">2001-09-12T02:00:00.000+02:00</column>
    </cvalue>
    ...
</cvalues>
<columns mappingId="0">
    <column type="Numeric" id="0">Customer Id </column>
    <column type="DateTime" id="1">From Date </column>
    <column type="DateTime" id="2">To Date </column>
</columns>
</lov>
</info>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

次に、クエリで制限された可能な回答の値を取得します。

PUT/queries/8963412105615728541/parameters/0

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt">
    <id>0</id>
    <technicalName>psEnd</technicalName>
    <name>Enter value for Customer Id (End):</name>
    <answer constrained="true" type="Numeric">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
        <lov hierarchical="false" mandatorySearch="false"
partial="false" refreshable="true" searchable="true">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DOa8</id>
          <updated>2015-08-19T17:18:53.000+02:00</updated>
          <query>
            <sort order="Ascending"/>
            <search>80*</search>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<parameter type="prompt" optional="false">
  <id>0</id>
  <technicalName>psEnd</technicalName>
  <name>Enter value for Customer Id (End):</name>
  <answer type="Numeric" constrained="true">
    <info keepLastValues="true" cardinality="Single">
      <lov mandatorySearch="false" searchable="true" refreshable="true"
partial="false" hierarchical="false">
        <id>UNIVERSELOV_DS0.DOa8</id>
        <updated>2015-08-19T17:25:38.000+02:00</updated>
        <cvalues>
          <cvalue>
            <column id="0">802</column>
            <column id="1">2001-12-21T01:00:00.000+01:00</column>
            <column id="2">2002-02-19T01:00:00.000+01:00</column>
          </cvalue>

```

```

        <cvalue>
          <column id="0">802</column>
          <column id="1">2000-08-10T02:00:00.000+02:00</column>
          <column id="2">2000-10-09T02:00:00.000+02:00</column>
        </cvalue>
      </cvalues>
    <columns mappingId="0">
      <column type="Numeric" id="0">Customer Id </column>
      <column type="DateTime" id="1">From Date </column>
      <column type="DateTime" id="2">To Date </column>
    </columns>
  </lov>
</info>
</answer>
</parameter>

```

7.4 クエリ結果の管理

クエリが投稿され、クエリのパラメータが解決された後に、一部の BI セマンティックレイヤ RESTful Web サービス API を使用して、クエリを実行し結果のデータセットを取得することができます。データセットは OData 形式を使用して返されます。OData を複数回呼び出すことにより、クエリの結果データセットを取得することができます。

[OData サービスへのアクセス \[204 ページ\]](#)

[OData フローメタデータの取得 \[206 ページ\]](#)

[OData フローコンテンツの取得 \[208 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - すべてのデータの取得 \[210 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - 行数の取得 \[214 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - 最初の行の取得 \[214 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - プロパティコンテンツの取得 \[215 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - プロパティの生コンテンツの取得 \[215 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - オフセット後のコンテンツの取得 \[216 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - 最初の N 行の取得 \[218 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - オフセット後の最初の N 行の取得 \[220 ページ\]](#)

7.4.1 OData サービスへのアクセス

用途

指定したクエリに対して利用可能なデータフローを返します。

Request

GET/queries/<queryID>/data.svc

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、Atom フィードまたは JSON オブジェクトのコレクションです。

⚠ 警告

この呼び出しにより、最低1つのコンテキストまたはパラメータに対して応答がなかった場合にエラーメッセージが返されます。

例: 1つのフロー

GET/queries/6089913651317040548/data.svc

応答タイプ: application/xml

```
<service xml:base="http://w2k8x64sp2:6405/biprws/sl/v1/queries/
6089913651317040548/data.svc" xmlns:app="http://www.w3.org/2007/app"
  xmlns:atom="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <workspace>
    <atom:title>Default</atom:title>
    <collection href="Flows0">
      <atom:title>Flows0</atom:title>
    </collection>
  </workspace>
</service>
```

応答タイプ: application/json

```
{ "d":
  { "EntitySets":
    [ "Flows0" ]
  }
}
```

例: 複数のフロー

GET/queries/6089913651317040730/data.svc

応答タイプ: application/xml

```
<service xml:base="http://w2k8x64sp2:6405/biprws/sl/v1/queries/
6089913651317040730/data.svc/" xmlns="http://www.w3.org/2007/app">
```

```
xmlns:atom="http://www.w3.org/2005/Atom">
<workspace>
  <atom:title>Default</atom:title>
  <collection href="Flows0">
    <atom:title>Flows0</atom:title>
  </collection>
  <collection href="Flows1">
    <atom:title>Flows1</atom:title>
  </collection>
</workspace>
</service>
```

応答タイプ: application/json

```
{ "d":
  { "EntitySets":
    [ "Flows0", "Flows1" ]
  }
}
```

関連情報

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

7.4.2 OData フローメタデータの取得

使用法

OData サービスが公開するクエリ結果の作成に使用するメタデータを取得します。

Request

GET/queries/<queryID>/data.svc/\$metadata

応答

応答タイプ: application/xml

スキーマを含んでいる応答は、EDMX 形式です。Id プロパティは、どのオブジェクトもマップしません。現在の行番号を提供します。

例: 複数のフローを使用したクエリ

GETsl/v1/queries/9147840914933280297/data.svc/\$metadata

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<edmx:Edmx xmlns:edmx=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/edmx Version="4.0">
  <edmx:DataService>
    <Schema xmlns=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/edm Namespace="Flows">
      <EntityType Name="Flow0">
        <Key>
          <PropertyRef Name="Id"/>
        </Key>
        <Property Name="Id" Type="Edm.Int32" Nullable="false"/>
        <Property Name="Continent" Type="Edm.String">
          <Annotation Term="sap.label">
            <String>Continent</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.objectKey">
            <String>DP0.DO4</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.qualification">
            <String>DIMENSION</String>
          </Annotation>
        </Property>
        <Property Name="Country" Type="Edm.String">
          <Annotation Term="sap.label">
            <String>Country</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.objectKey">
            <String>DP0.DO6</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.qualification">
            <String>DIMENSION</String>
          </Annotation>
        </Property>
        <Property Name="NumberOfOrders" Type="Edm.Double">
          <Annotation Term="sap.label">
            <String>Number of Orders</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.objectKey">
            <String>DP0.DO43</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.qualification">
            <String>MEASURE</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.projectionFunction">
            <String>Sum</String>
          </Annotation>
        </Property>
        <Property Name="LateOrders" Type="Edm.Double">
          <Annotation Term="sap.label">
            <String>Late Orders</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.objectKey">
            <String>DP0.DO45</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.qualification">
            <String>MEASURE</String>
          </Annotation>
          <Annotation Term="sap.projectionFunction">
            <String>Sum</String>
          </Annotation>
        </Property>
        <Property Name="LateOrders_1" Type="Edm.Double">
          <Annotation Term="sap.label">
            <String>% Late Orders</String>
          </Annotation>
        </Property>
      </EntityType>
    </Schema>
  </edmx:DataService>
</edmx:Edmx>
```

```

        </Annotation>
        <Annotation Term="sap.objectKey">
          <String>DP0.DO46</String>
        </Annotation>
        <Annotation Term="sap.qualification">
          <String>MEASURE</String>
        </Annotation>
        <Annotation Term="sap.projectionFunction">
          <String>Sum</String>
        </Annotation>
      </Property>
    </EntityType>
    <EntityContainer Name="Flows">
      <EntitySet Name="Flows0" EntityType="Flows.Flow0"/>
    </EntityContainer>
    <Annotation Term="sap.isPartial">
      <Bool>false</Bool>
    </Annotation>
  </Schema>
</edmx:DataServices>
</edmx:Edmx>

```

関連情報

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

7.4.3 OData フローコンテンツの取得

使用法

指定したフローのデータを返します。

① 注記

OData サービスは、ページごとにデータを返すことはできません。

要求

GET/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

フローのデータは、Atom フィードまたは JSON オブジェクトの配列によって表されます。

自動的に生成される一連の要素 (title、updated、author、link など) を除いて、<feed> には、以下の子があります。

- 指定したフローのリクエスト URL を含んでいる <id>
- フローの行を表す一連の <entry>

生成された要素を除いて、<entry> には以下の子があります。

- <rowIndex> (/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>(<rowIndex>)) によって指定された行に対するリクエスト URL を含んでいる <id>。行インデックスは自動的に生成されます。
- データを含む <content>。

<m:properties> タグにデータが表示されます。クエリにメタデータが含まれているため、このタグには多くの子が含まれます。それぞれの子のタグ名は <d:name> で、ここで name は OData フローメタデータによって返されるラベルです。OData フローメタデータの取得 [206 ページ] を参照してください。

要求の指定

複数のパラメータを要求に追加して、特定の結果を取得できます。以下の表では、可能な要求、および対応する応答のタイプと意味を説明しています。このパラメータは省略できます。次の節にある例を参照してください。

要求	応答の説明	応答タイプ
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>/\$count	指定したクエリフローのレコードの件数。	application/text
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>(<rowIndex>)	指定したクエリフローの <{rowIndex}> インデックスの位置にある行。 <rowIndex> は整数です。	<ul style="list-style-type: none">• application/xml• application/json
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>(<rowIndex>)/ <fieldName>	指定したクエリフローで、<rowIndex> インデックスの位置にある行から <fieldName> によって指定されたオブジェクトの情報。 <fieldName> は、Property 名に対応します。	<ul style="list-style-type: none">• application/xml• application/json
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>(<rowIndex>)/ <fieldName>/\$value	指定したクエリフローで、<rowIndex> の位置にある行から <fieldName> によって指定されたオブジェクトの生値。	application/text
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>?\$skip=<offset>	指定したクエリフロー内で、<offset> 位置によって指定されたレコード番号で始まる、チャンク内のクエリ結果。	<ul style="list-style-type: none">• application/xml• application/json
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>?\$top=<limit>	指定したクエリフローのチャンク内の最初の <limit> レコード。	<ul style="list-style-type: none">• application/xml• application/json

要求	応答の説明	応答タイプ
/queries/<queryID>/data.svc/ <flowName>? \$skip=<offset>&\$top=<limit>	指定したクエリフロー内で、<offset> によって指定されたレコード番号で始まる、チャンク内の最初の <limit> レコード。	<ul style="list-style-type: none"> • application/xml • application/json

関連情報

[クエリの一覧の取得 \[180 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - すべてのデータの取得 \[210 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - 行数の取得 \[214 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - 最初の行の取得 \[214 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - プロパティコンテンツの取得 \[215 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - プロパティの生コンテンツの取得 \[215 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - オフセット後のコンテンツの取得 \[216 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - 最初の N 行の取得 \[218 ページ\]](#)

[OData コンテンツ - オフセット後の最初の N 行の取得 \[220 ページ\]](#)

7.4.4 OData コンテンツ - すべてのデータの取得

例

以下の要求は、Flows0 フローに含まれるすべてのデータを返します。

GETsl/v1/queries/5924817691768289990/data.svc/Flows0

応答タイプ: application/xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<a:feed xmlns:a=http://www.w3.org/2005/Atom xmlns:m=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/metadata xmlns:d=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/data m:context="$metadata#Flows0">
  <a:id>http://localhost:9080/biprws/sl/v1/queries/5924817691768289990/Flows0</a:id>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">0</d:Id>
        <d:Continent>North America</d:Continent>
        <d:Country>USA</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">1468.0</d:NumberofOrders>
```

```

                <d:LateOrders m:type="Double">88.0</d:LateOrders>
                <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0599455040871935</
d:LateOrders_1>
                </m:properties>
            </a:content>
        </a:entry>
        <a:entry>
            <a:title/>
            <a:summary/>
            <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
            <a:author>
                <a:name/>
            </a:author>
            <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
            <a:content type="application/xml">
                <m:properties>
                    <d:Id m:type="Int32">1</d:Id>
                    <d:Continent>North America</d:Continent>
                    <d:Country>Canada</d:Country>
                    <d:NumberofOrders m:type="Double">713.0</d:NumberofOrders>
                    <d:LateOrders m:type="Double">44.0</d:LateOrders>
                    <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.061711079943899</
d:LateOrders_1>
                </m:properties>
            </a:content>
        </a:entry>
        <a:entry>
            <a:title/>
            <a:summary/>
            <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
            <a:author>
                <a:name/>
            </a:author>
            <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
            <a:content type="application/xml">
                <m:properties>
                    <d:Id m:type="Int32">2</d:Id>
                    <d:Continent>South America</d:Continent>
                    <d:Country>Brasil</d:Country>
                    <d:NumberofOrders m:type="Double">629.0</d:NumberofOrders>
                    <d:LateOrders m:type="Double">34.0</d:LateOrders>
                    <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0540540540540541</
d:LateOrders_1>
                </m:properties>
            </a:content>
        </a:entry>
        <a:entry>
            <a:title/>
            <a:summary/>
            <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
            <a:author>
                <a:name/>
            </a:author>
            <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
            <a:content type="application/xml">
                <m:properties>
                    <d:Id m:type="Int32">3</d:Id>
                    <d:Continent>Asia</d:Continent>
                    <d:Country>Korea</d:Country>
                    <d:NumberofOrders m:type="Double">251.0</d:NumberofOrders>
                    <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
                    <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0597609561752988</
d:LateOrders_1>
                </m:properties>
            </a:content>

```

```

</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">4</d:Id>
      <d:Continent>South America</d:Continent>
      <d:Country>Mexico</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">260.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0576923076923077</
d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">5</d:Id>
      <d:Continent>Asia</d:Continent>
      <d:Country>Singapore</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">204.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">12.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0588235294117647</
d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">6</d:Id>
      <d:Continent>Asia</d:Continent>
      <d:Country>Japan</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">820.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">42.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.051219512195122</
d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>

```



```

    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">7</d:Id>
        <d:Continent>Asia</d:Continent>
        <d:Country>Thailand</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">192.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">7.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0364583333333333</
d:LateOrders_1>
      </m:properties>
    </a:content>
  </a:entry>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:10:32Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">8</d:Id>
        <d:Continent>South America</d:Continent>
        <d:Country>Argentina</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">203.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">11.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0541871921182266</
d:LateOrders_1>
      </m:properties>
    </a:content>
  </a:entry>
</a:feed>

```

応答タイプ: application/json

```

{ "d": [
  { "__metadata":
    { "uri": "http://w2k8x64sp2:6405/biprws/s1/v1/queries/6089913651317040730/
data.svc/Flow0(0)",
      "type": "Flows._Flow0"
    },
    "Id": 0,
    "City": "Chicago",
    "Customer": "Steve Rob",
  },
  { "__metadata":
    { "uri": "http://w2k8x64sp2:6405/biprws/s1/v1/queries/6089913651317040730/
data.svc/Flow0(1)",
      "type": "Flows._Flow0"
    },
    "Id": 1,
    "City": "Chicago",
    "Customer": "eMarket",
  },
  {
    ...
  },
  {
    ...
  }
]
}

```

7.4.5 OData コンテンツ - 行数の取得

例

以下の要求は、指定したフロー内の行数を返します。これは、フィールド内の <entry> 要素の数でもあります。

GET/queries/6089913651317040730/data.svc/Flow0/\$count

応答タイプ: application/text

```
120
```

7.4.6 OData コンテンツ - 最初の行の取得

例

以下の要求は、Flows0 フローの最初の行のデータを返します。

要求:

GETsl/v1/queries/5045279711854322556/data.svc/Flows0(0)

応答タイプ: application/xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<a:entry xmlns:a=http://www.w3.org/2005/Atom xmlns:m=http://docs.oasis-open.org/
odata/ns/metadata xmlns:d=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/data
m:context="$metadata#Flows0">
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:36:41Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">0</d:Id>
      <d:Continent>North America</d:Continent>
      <d:Country>USA</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">1468.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">88.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0599455040871935</d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
```

応答タイプ: application/json

```
{ "d": [
  { "__metadata": {
    { "uri": "http://w2k8x64sp2:6405/biprws/sl/v1/queries/6089913651317040730/
data.svc/Flows0(0)",
      "type": "Flows._Flow0"
    }
  },
  ...
]
```

```

    "Id": 0,
    "City": "Chicago",
    "Customer": "Steve & Rob",
  }
}

```

7.4.7 OData コンテンツ - プロパティコンテンツの取得

例

以下の要求は、Flows0 フローの指定した行にある Customer プロパティの値を返します。

GETsl/v1/queries/5529935817033291697/data.svc/Flows0(0)/Continent

応答タイプ: application/xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<m:value xmlns:m=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/metadata m:context="../$metadata#Flows0/Continent">North America</m:value>

```

応答タイプ: application/json

```

{
  "d": [
    {
      "__metadata": {
        "uri": "http://w2k8x64sp2:6405/biprws/sl/v1/queries/6089913651317040730/data.svc/Flow0(3)",
        "type": "Flows._Flow0"
      },
      "Customer": "Chicago Mall",
    }
  ]
}

```

7.4.8 OData コンテンツ - プロパティの生コンテンツの取得

例

以下の要求は、Flows0 フローの指定した行に対する Customer プロパティの値を返します。

GET/queries/6089913651317040730/data.svc/Flows0(3)/Customer/\$value

応答タイプ: application/text

```
Chicago Mall
```

7.4.9 OData コンテンツ - オフセット後のコンテンツの取得

例

以下の要求は、3 番目の行から開始して、Flows0 フローのコンテンツを返します。

GETsl/v1/queries/5689774110331453308/data.svc/Flows0?\$skip=2

応答タイプ: application/xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<a:feed xmlns:a=http://www.w3.org/2005/Atom xmlns:m=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/metadata xmlns:d=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/data
m:context="$metadata#Flows0">
  <a:id>http://localhost:9080/biprws/sl/v1/queries/5689774110331453308/Flows0</a:id>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">2</d:Id>
        <d:Continent>South America</d:Continent>
        <d:Country>Brasil</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">629.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">34.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0540540540540541</d:LateOrders_1>
      </m:properties>
    </a:content>
  </a:entry>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">3</d:Id>
        <d:Continent>Asia</d:Continent>
        <d:Country>Korea</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">251.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0597609561752988</d:LateOrders_1>
      </m:properties>
    </a:content>
  </a:entry>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
```

```

    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
        <m:properties>
            <d:Id m:type="Int32">4</d:Id>
            <d:Continent>South America</d:Continent>
            <d:Country>Mexico</d:Country>
            <d:NumberofOrders m:type="Double">260.0</d:NumberofOrders>
            <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
            <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0576923076923077</
d:LateOrders_1>
        </m:properties>
    </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
    <a:author>
        <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
        <m:properties>
            <d:Id m:type="Int32">5</d:Id>
            <d:Continent>Asia</d:Continent>
            <d:Country>Singapore</d:Country>
            <d:NumberofOrders m:type="Double">204.0</d:NumberofOrders>
            <d:LateOrders m:type="Double">12.0</d:LateOrders>
            <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0588235294117647</
d:LateOrders_1>
        </m:properties>
    </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
    <a:author>
        <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
        <m:properties>
            <d:Id m:type="Int32">6</d:Id>
            <d:Continent>Asia</d:Continent>
            <d:Country>Japan</d:Country>
            <d:NumberofOrders m:type="Double">820.0</d:NumberofOrders>
            <d:LateOrders m:type="Double">42.0</d:LateOrders>
            <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.051219512195122</
d:LateOrders_1>
        </m:properties>
    </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
    <a:author>
        <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
        <m:properties>
            <d:Id m:type="Int32">7</d:Id>

```

```

        <d:Continent>Asia</d:Continent>
        <d:Country>Thailand</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">192.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">7.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.03645833333333333</
d:LateOrders_1>
        </m:properties>
      </a:content>
    </a:entry>
    <a:entry>
      <a:title/>
      <a:summary/>
      <a:updated>2022-10-19T17:49:01Z</a:updated>
      <a:author>
        <a:name/>
      </a:author>
      <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
      <a:content type="application/xml">
        <m:properties>
          <d:Id m:type="Int32">8</d:Id>
          <d:Continent>South America</d:Continent>
          <d:Country>Argentina</d:Country>
          <d:NumberofOrders m:type="Double">203.0</d:NumberofOrders>
          <d:LateOrders m:type="Double">11.0</d:LateOrders>
          <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0541871921182266</
d:LateOrders_1>
        </m:properties>
      </a:content>
    </a:entry>
  </a:feed>

```

7.4.10 OData コンテンツ - 最初の N 行の取得

例

以下の要求は、Flows0 の最初の 4 行のコンテンツを返します。

GETs1/v1/queries/7332600476947377083/data.svc/Flows0?\$top=4

応答タイプ: application/xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<a:feed xmlns:a=http://www.w3.org/2005/Atom xmlns:m=http://docs.oasis-open.org/
odata/ns/metadata xmlns:d=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/data
m:context="$metadata#Flows0">
  <a:id>http://localhost:9080/biprws/s1/v1/queries/7332600476947377083/Flows0</
a:id>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:51:36Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">0</d:Id>
        <d:Continent>North America</d:Continent>

```

```

        <d:Country>USA</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">1468.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">88.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0599455040871935</
d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:51:36Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">1</d:Id>
      <d:Continent>North America</d:Continent>
      <d:Country>Canada</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">713.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">44.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.061711079943899</
d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:51:36Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">2</d:Id>
      <d:Continent>South America</d:Continent>
      <d:Country>Brasil</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">629.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">34.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0540540540540541</
d:LateOrders_1>
    </m:properties>
  </a:content>
</a:entry>
<a:entry>
  <a:title/>
  <a:summary/>
  <a:updated>2022-10-19T17:51:36Z</a:updated>
  <a:author>
    <a:name/>
  </a:author>
  <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
  <a:content type="application/xml">
    <m:properties>
      <d:Id m:type="Int32">3</d:Id>
      <d:Continent>Asia</d:Continent>
      <d:Country>Korea</d:Country>
      <d:NumberofOrders m:type="Double">251.0</d:NumberofOrders>
      <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
      <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0597609561752988</
d:LateOrders_1>

```

```

        </m:properties>
      </a:content>
    </a:entry>
  </a:feed>

```

7.4.11 OData コンテンツ - オフセット後の最初の N 行の取得

例

以下の要求は、2 番目の行から開始して、Flows0 の最初の 10 行のコンテンツを返します。

GETsl/v1/queries/5634093560637853592/data.svc/Flows0?\$skip=2&\$top=3

応答タイプ: application/xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<a:feed xmlns:a=http://www.w3.org/2005/Atom xmlns:m=http://docs.oasis-open.org/
odata/ns/metadata xmlns:d=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/data
m:context="$metadata#Flows0">
  <a:id>http://localhost:9080/biprws/sl/v1/queries/5634093560637853592/Flows0</
a:id>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:53:08Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">2</d:Id>
        <d:Continent>South America</d:Continent>
        <d:Country>Brasil</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">629.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">34.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0540540540540541</
d:LateOrders_1>
      </m:properties>
    </a:content>
  </a:entry>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:53:08Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">3</d:Id>
        <d:Continent>Asia</d:Continent>
        <d:Country>Korea</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">251.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0597609561752988</
d:LateOrders_1>
      </m:properties>

```



```

    </a:content>
  </a:entry>
  <a:entry>
    <a:title/>
    <a:summary/>
    <a:updated>2022-10-19T17:53:08Z</a:updated>
    <a:author>
      <a:name/>
    </a:author>
    <a:category scheme=http://docs.oasis-open.org/odata/ns/scheme
term="#Flows.Flow0"/>
    <a:content type="application/xml">
      <m:properties>
        <d:Id m:type="Int32">4</d:Id>
        <d:Continent>South America</d:Continent>
        <d:Country>Mexico</d:Country>
        <d:NumberofOrders m:type="Double">260.0</d:NumberofOrders>
        <d:LateOrders m:type="Double">15.0</d:LateOrders>
        <d:LateOrders_1 m:type="Double">0.0576923076923077</
d:LateOrders_1>
      </m:properties>
    </a:content>
  </a:entry>
</a:feed>

```

8 Web Intelligence REST API リファレンス

Web Intelligence REST API のリファレンスです。

各 API リファレンスは、以下の情報を提供します。

- API の処理
- HTTP 要求の URL
- 要求クエリパラメータの説明
- 必要な場合は、要求本文 (XML または JSON の例を使用)
- accept ヘッダ属性の値を決定する応答タイプ
- 応答本文 (応答が成功またはエラーメッセージの場合は、説明しない)
- 応答の例

[ドキュメントの管理 \[223 ページ\]](#)

[レポートの管理 \[338 ページ\]](#)

[レポートデータのドリル操作 \[375 ページ\]](#)

[レポート要素の管理 \[390 ページ\]](#)

[入力コントロールの使用 \[500 ページ\]](#)

[データプロバイダの管理 \[555 ページ\]](#)

[個人用データプロバイダの管理 \[601 ページ\]](#)

[SAP BW 接続および BEx クエリの管理 \[608 ページ\]](#)

[直接入力の SQL データプロバイダ接続の管理 \[617 ページ\]](#)

[ドキュメントの最新表示 \[620 ページ\]](#)

[データプロバイダの最新表示 \[665 ページ\]](#)

[ドキュメントのスケジュール \[668 ページ\]](#)

[パブリケーションの管理 \[678 ページ\]](#)

パブリケーションは、不特定多数の受信者に送信するドキュメントのコレクションです。

[共有要素の管理 \[679 ページ\]](#)

[リソースの検索 \[691 ページ\]](#)

[Web Intelligence RESTful Web サービス SDK を使用したユニバースの管理 \[695 ページ\]](#)

[OData によるドキュメントの内容の取得 \[703 ページ\]](#)

OData API を使用すると、Web Intelligence ドキュメントのコンテンツを探索し、そのデータセットを取得できます。

8.1 ドキュメントの管理

Web Intelligence RESTful Web サービス SDK では、Web Intelligence ドキュメントを使用するための一連の API が提供されます。

⚠ 制限

自動保存および自動回復設定の管理は、現在サポートされていません。

[ドキュメントの作成 \[224 ページ\]](#)

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントの詳細の取得 \[227 ページ\]](#)

[現在のユーザのドキュメントのセキュリティ権限の取得 \[230 ページ\]](#)

[ドキュメントの保存 \[232 ページ\]](#)

[ドキュメントのコピー \[235 ページ\]](#)

[ドキュメントの消去 \[236 ページ\]](#)

[ZIP ファイルの使用 \[237 ページ\]](#)

[ドキュメントのエクスポート \[241 ページ\]](#)

[ドキュメントの状態の更新 \[246 ページ\]](#)

[ドキュメントの削除 \[249 ページ\]](#)

[プロパティの使用 \[250 ページ\]](#)

[スタイル、形式、フォント、スキン、および文字セットの管理 \[253 ページ\]](#)

[カラーパレットの使用 \[275 ページ\]](#)

[関数、演算子、および変数の管理 \[283 ページ\]](#)

[リンクの管理 \[294 ページ\]](#)

[アラータおよびトラッカ設定の管理 \[300 ページ\]](#)

[添付ファイルの管理 \[317 ページ\]](#)

[スナップショットの使用 \[320 ページ\]](#)

[オカレンスの使用 \[324 ページ\]](#)

[参照セルの使用 \[330 ページ\]](#)

参照は、その定義と内容が別のセルに基づいている変数です。参照は、複雑な式を使用して得たセルのデータを活用するときに有用です。

[ドキュメントへのキャッシュエントリの追加 \[336 ページ\]](#)

8.1.1 ドキュメントの作成

用途

空の Web Intelligence ドキュメントを作成します。

Request

POST/documents

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文:

```
<document>
  <name>
  <folderId>
```

要素	型または値	説明
<name>	<i>string</i>	作成するドキュメントの名前。
<folderId>	<i>integer</i>	ドキュメントが作成される BI ラUNCHパッドフォルダ。http:// <server-name>:6405/biprws/infostore の GET 呼び出しから フォルダ ID を取得することができます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML の例

POST/documents

要求本文:

```
<document>
  <name>My Document</name>
  <folderId>5151</folderId>
</document>
```

応答本文:

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Document" with identifier "5022" has been
successfully created.</message>
<id>5022</id>
</success>
```

ID が自動的に割り当てられます。

例: JSON の例

POST/documents

要求本文:

```
{ "document":
  { "name": "my document",
    "folderId": "5151" }
}
```

応答本文:

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type "Document" with identifier "5022" has been
    successfully created.",
    "id": 5022 }
}
```

ID が自動的に割り当てられます。

8.1.2 ドキュメントの一覧の取得

用途

CMS リポジトリに保存されている Web Intelligence ドキュメントの一覧を取得します。

ドキュメントは名前ですべて置換われます。返される一覧はユーザアクセス権によって異なります。返すドキュメントの数、および一覧内で開始ドキュメントとして使用する最初のドキュメントを指定することができます。

① 注記

また、/searches API を使用してドキュメントを検索することもできます。

Request

GET: /documents?offset=<offset>&limit=<limit>

この場合、

- <offset> は、一覧でのドキュメントを返す位置を示します。これは 0 以上にする必要があります。デフォルト値は 0 です。このパラメータは省略できます。

- `<limit>` は、一覧内のドキュメントの数を示します。範囲は 0 ～ 50 です。デフォルト値は 10 です。このパラメータは省略できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 名前で並べ替えられ、次の要素で識別される Web Intelligence ドキュメントの一覧

要素	型または値	説明
<code><id></code>	<i>integer</i>	ドキュメント ID
<code><cuid></code>	<i>string</i>	一意のドキュメント ID
<code><name></code>	<i>string</i>	ドキュメント名
<code><description></code>	<i>string</i>	ドキュメントの説明 (オプション)
<code><folderId></code>	<i>integer</i>	フォルダ ID

例: CMS から 6 つのドキュメントを取得する (XML)

GET/documents?limit=6

応答本文:

```
<documents>
  <document>
    <id>6804</id>
    <cuid>AbrVz6E95lNMtjZk4KLzPuM</cuid>
    <name>BOF-ROLE_AA_ActiveHierOnCtry - Levels 02 and 03</name>
    <folderId>7611</folderId>
  </document>
  <document>
    <id>6861</id>
    <cuid>AUwfvPdEG3xOoLNoNEzDquQ</cuid>
    <name>BOF-QRY_SIMPLE - Filter not in Result</name>
    <description>This is a sample for BOF-QRY_SIMPLE - Filter not in Result</description>
    <folderId>7611</folderId>
  </document>
  <document>
    <id>6869</id>
    <cuid>AclwDFEOuvNHtovI4H.anSM</cuid>
    <name>BOF-QRY_SIMPLE - Filter on Country</name>
    <folderId>48162</folderId>
  </document>
  <document>
    <id>7048</id>
    <cuid>AUiVpegCKnFBh4AX8YxMT5A</cuid>
    <name>BOF-QRY_SIMPLE - Filter on Prompt not in Result</name>
    <folderId>7611</folderId>
  </document>
  <document>
    <id>7125</id>
    <cuid>AWa48YHHT6FFiUMP.T5wtBs</cuid>
```

```

    <name>BOF-QRY_SIMPLE - Query Prompt not in Result</name>
    <folderId>7611</folderId>
  </document>
</document>
  <id>5121</id>
  <cuid>ARnGKBoLv7lDuK_UWMUli5Q</cuid>
  <name>Chart demo</name>
  <description>Shows how data can be visualized on different kinds of
charts.
    And the features supported on the charts. </description>
  <folderId>5127</folderId>
</document>
</documents>

```

例: CMS から 3 つのドキュメントを取得する (JSON)

GET/documents?limit=3

応答本文:

```

{ "documents":
  { "document": [
    { "id": 5152,
      "cuid": "AZx1nlTlCMdCvyJ6bWUTC5I",
      "name": "Chart Demo",
      "description": "Shows how data can be visualized on different kinds of
charts. And the features supported on the charts.",
      "folderId": 5151,
    { "id": 5169,
      "cuid": "AW4AVT1AUhVAogA6P7OQv9c",
      "name": "Charting Samples",
      "folderId": 5150,
      "state": "Unused" },
    { "id": 5157,
      "cuid": "AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg",
      "name": "Drill Demo",
      "description": "This document demonstrates the drill functionality on
tables and Charts",
      "folderId": 5151 } ]
  }
}

```

関連情報

[リソースの検索 \[691 ページ\]](#)

8.1.3 ドキュメントの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントの詳細の取得を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>?trackerDocumentId=<trackerDocumentID>

説明:

- <trackerDocumentID>: 追跡データ機能用の参照ドキュメントの ID。オプション。ドキュメントの状態が未使用の場合にのみ指定する必要があります。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の要素によって識別されるドキュメントの詳細。

要素	型または値	説明
<id>	整数	ドキュメント ID
<cuid>	文字列	一意のドキュメント ID
<name>	文字列	ドキュメント名
<description>	文字列	ドキュメントの説明
<folderId>	整数	ドキュメントが含まれる CMS リポジトリのフォルダの識別子
<path>	文字列	CMS リポジトリディレクトリ内のドキュメントへのパス
<updated>	日時	最終更新の日付と時刻
<scheduled>	ブール型	ドキュメントがスケジュールされている場合、true
<state>	Unused Original Modified	サービスによって使用されているドキュメントの状態。次の値を指定できます。 <ul style="list-style-type: none">• Unused: Web サービスコンテナでドキュメントがロードされていない場合• Original: ドキュメントは Web サービスによってロードされましたが、変更されていない場合• Modified ユーザがドキュメントの状態を変更する要求を送信した場合。
<createdBy>	文字列	ドキュメント作成者の名前
<lastAuthor>	文字列	ドキュメントを最後に変更した人の名前
<size>	整数	ドキュメントのサイズ (バイト)
<refreshOnOpen>	ブール型	ドキュメントを開くときに更新するよう設定する場合、true

例: ドキュメントの詳細の取得 (XML)

GET/documents/4958

応答本文:

```
<document>
  <id>4958</id>
  <cuid>AQtkbbSqN4NOj3ydf.SwllY</cuid>
  <name>Formatting Sample</name>
  <description>This is a sample document showing formatting capabilities.</description>
  <folderId>8246</folderId>
  <path>My Folders/web Intelligence</path>
  <updated>2012-09-05T14:25:05.277+02:00</updated>
  <scheduled>true</scheduled>
  <state>Unused</state>
  <createdBy>Administrator</createdBy>
  <lastAuthor>User1</lastAuthor>
  <size>29410</size>
  <refreshOnOpen>false</refreshOnOpen>
</document>
```

例: ドキュメントの詳細の取得 (JSON)

GET/documents/5152

```
{ "document":
  { "id": 5152,
    "cuid": "AZx1nlTlCMdCvyJ6bWUTC5I",
    "name": "Chart Demo",
    "description": "Shows how data can be visualized on different kinds of charts. And the features supported on the charts.",
    "folderId": 5151,
    "path": "Public Folders¥/Web Intelligence Samples¥/Mobile Samples",
    "updated": "2015-04-21T18:10:29.052+02:00",
    "scheduled": false,
    "state": "Unused",
    "createdBy": "Administrator",
    "lastAuthor": "Administrator",
    "size": 298874,
    "refreshOnOpen": false}
}
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.4 現在のユーザのドキュメントのセキュリティ権限の取得

用途

この URL は、ドキュメントの利用可能な権限の一覧を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/rights

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

利用可能な権限は以下のとおりです。

- add_objects_to_folder
- allow_personal_data_providers
- app_allow_autosave
- app_create_edit_input_controls
- app_edit_document_formatting
- app_edit_my_preferences
- app_enable_context_menus
- app_hide_show_toolbox
- app_lp_document_filters
- app_lp_document_summary
- app_publish_document_content
- app_re_create_edit_alerter
- app_re_create_edit_break
- app_re_create_edit_predefined_calculation
- app_re_create_edit_report_filters
- app_re_create_edit_sort
- app_re_insert_element
- app_view_sql
- change_TDC_format
- create_documents
- delete_objects
- disable_automatic_refresh_on_open
- disable_export_to_BIOD
- disable_import_from_BIOD

- edit_documents
- edit_objects
- edit_query_sql
- enable_shared_objects
- insert_shared_objects
- merge_for_synchro
- publish_documents_real
- rc_enable_use
- rc_export
- rc_import
- rc_local_save
- rc_print
- rc_remove_document_security
- rc_save_for_all_users
- rc_send_by_mail
- read_corporate_documents
- use_TDC
- use_formula_language
- use_interactive_viewing

例: XML 形式

GET/documents/6702/rights

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<rights>
  <right>
    <id>refresh_documents</id>
  </right>
  <right>
    <id>use_list_of_values</id>
  </right>
  <right>
    <id>refresh_list_of_values</id>
  </right>
  ...
</rights>
```

例: JSON 形式

GET/documents/6702/rights

```
{
  "rights": {
    "right": [{
      "id": "refresh_documents"
```

```

    },
    {
      "id": "use_list_of_values"
    },
    ...
  ]
}

```

8.1.5 ドキュメントの保存

用途

Web Intelligence ドキュメントを CMS リポジトリに保存します。

ドキュメントを保存すると、そのドキュメントは保存先フォルダにコピーされ、ID が自動的に割り当てられます。このアクションにより、新しいバージョンのドキュメントが作成されます。ドキュメントが REST Web サービスによって開かれた場合、ドキュメントは新しく作成されたドキュメントに置き換えられます。

要求

POST/documents/<documentID>?overwrite=<boolean>&withComments=<boolean>

POST/documents/<documentID>/occurrences/<occurrenceId>?
overwrite=<boolean>&withComments=<boolean>

ここで、

- `overwrite` (オプション) を使用すると、ドキュメントの既存のバージョンが上書きされないようにすることができます。デフォルトでは、この値は `true` に設定されています。 `false` に設定すると、ドキュメントがすでに存在する場合にはエラーが返されます。
- `withComments` (オプション) を使用すると、コピー元のドキュメントのすべてのコメントを保存済みのドキュメントにコピーできます。デフォルト値は `false` です。 `true` に設定すると、コピー元のドキュメントのすべてのコメントがコピー先のドキュメントにコピーされます。

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文:

```

<document>
  <name>
  <description>
  <keywords>
  <folderId>
  <categories>
    <category>
      <id>
  <properties>
    <property>

```

要素	データ型または値	説明
<name>	文字列	保存するドキュメントの名前
<description>	文字列	オプション。保存するドキュメントの説明
<keywords>	文字列	オプション。保存するドキュメントにタグ付するキーワード
<folderId>	整数	BI ラウンチパッド保存先フォルダの ID
<div>① 注記</div> <p>ドキュメントを同じフォルダに保存するには、フォルダの ID として -1 を使用してください。</p>		
<categories>	整数	オプション。ドキュメントに割り当てられたカテゴリ (パブリックまたは個人) の ID
<properties>	ブール型	オプション。新しいドキュメントに割り当て可能なプロパティの名前、 [起動時に最新表示] および [地域の永続的な書式設定]
<div>① 注記</div> <p>プロパティ refreshonopen および permanentregionalformatting を指定しないと、そのドキュメントの値が継承されます。</p>		

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST/documents/1234

要求本文:

```
<document>
  <name>doc_tables_V2</name>
  <description>2nd version</description>
  <keywords>webi tables</keywords>
  <categories>
    <category>
      <id>6598</id>
    </category>
    <category>
      <id>6594</id>
    </category>
  </categories>
  <properties>
    <property key="refreshonopen">true</property>
    <property key="permanentregionalformatting">true</property>
  </properties>
</document>
```

```
</properties>
</document>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "9217" has been
  successfully created.</message>
  <id>9217</id>
  <details>
    <property key="occurrenceId">0</property>
  </details>
</success>
```

ID が自動的に割り当てられます。

例:

ドキュメントをコメントとともに保存し、ローカルバージョンがすでに存在する場合には上書きされないようにする (エラーメッセージを返す)。

POST /documents/7400?overwrite=false&withComments=true

要求本文:

```
<document>
  <name>Document Save As Example</name>
  <keywords>Save as</keywords>
  <folderId>6773</folderId>
  <categories>
    <category>
      <id>5980</id>
    </category>
    <category>
      <id>6571</id>
    </category>
  </categories>
  <properties>
    <property key="refreshonopen">true</property>
    <property key="permanentregionalformatting">true</property>
  </properties>
</document>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "32271" has been
  successfully created.</message>
  <id>32271</id>
</success>
```

① 注記

- オプション "withComments=false" を指定すると、コメントがあるドキュメントを上書きした場合に、コメントが削除されません。
- ドキュメントのオカレンスをドキュメントとして保存すると、このオカレンスは開いたままになります。ユーザの判断で閉じたり保持したりできます。

8.1.6 ドキュメントのコピー

用途

Web Intelligence ドキュメントの ID を参照してコピーします。保存要求と異なり、ドキュメントはメモリに開かれませんが、

ドキュメント保存の呼び出しとは対照的に、このコピーではドキュメントがメモリに開かれませんが、

要求

POST/documents?sourceId=<documentID>

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文 (オプション):

```
<document>
  <name>
  <folderId>
```

要素	データ型または値	説明
<name>	<i>string</i>	BI ラウンチパッドフォルダにあるコピーされたドキュメントの名前。指定されていない場合は、サービスによってドキュメントに自動的に名前が割り当てられます。
<folderId>	<i>integer</i>	ドキュメントがコピーされる BI ラウンチパッドフォルダ。指定されていない場合、フォルダは元のドキュメントのフォルダになります。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: ドキュメントをコピーする (XML)

POST/documents?sourceId=4990

要求本文:

```
<document>
  <name>Copy of 4990</name>
</document>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "document" with identifier "5875" has been
successfully created.</message>
  <id>5875</id>
</success>
```

名前 "Copy of 4990" および ID "5875" がコピーされたドキュメントに割り当てられました。フォルダはオリジナルと同じです。

例: ドキュメントをコピーする (JSON)

POST/documents?sourceId=5152

元のドキュメントには "Chart Demo" という名前が付けられます。

応答:

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type ¥"Document¥" with identifier ¥"6585¥" has
been successfully created.",
    "id": 6585 }
}
```

名前 "Chart Demo[1]" および ID "6585" がコピーされたドキュメントに割り当てられました。フォルダはオリジナルと同じです。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.7 ドキュメントの消去

用法

ドキュメントまたはそのデータプロバイダを消去します。

要求

```
PUT /documents/<documentID>?
purge=<boolean>&purgeOptions=<string>&dataProviderIds=<dataProviderID>
```

値の意味:

- `purge` は、アプリケーションがドキュメントを消去すべきかどうかを指定するオプションの論理値です。デフォルトでは `false` に設定されています。
- `purgeOptions` は、消去を管理する、オプションの文字列パラメータです。現在許可されているのは `prompt` のみです。このパラメータを設定しない場合、または空白のままにした場合、アプリケーションはデータプロバイダのみを消去します。
- `dataProviderID` は、取得が必要なパラメータを持つデータプロバイダを指定する、オプションの文字列です。複数のデータプロバイダがある場合は、必ずカンマで区切ってください。

要求タイプ: `application/xml` または `application/json`

例

```
PUT /documents/11149?purge=true&purgeOptions=prompts&dataProviderIds=DP0,DP1
```

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Data providers" with identifier "[DP0, DP1]"
  has been successfully updated.</message>
  <id>[DP0, DP1]</id>
</success>
```

8.1.8 ZIP ファイルの使用

Web Intelligence ドキュメントのレポートの HTML ファイルを、ZIP ファイルへとアーカイブすることができます。

[ドキュメントからの ZIP ファイルの作成 \[238 ページ\]](#)

[ZIP ファイルとしてのドキュメントの取得 \[239 ページ\]](#)

[ZIP ファイルの削除 \[240 ページ\]](#)

8.1.8.1 ドキュメントからの ZIP ファイルの作成

用途

選択したドキュメントレポートを HTML ファイルとしてアーカイブする ZIP ファイルを作成します。

このファイルはサーバに作成されます。

⚠ 警告

- GET/documents/<documentID>/zips/<zipID>?fileName=<fileName> を呼び出すことによって ZIP ファイルを取得します。
- ユーザセッションを終了すると、この ZIP ファイルは削除されます。

要求

POST/documents/<documentID>/zips?reportIds=<reportID[,...]>

説明:

- <reportID[,...]> は、カンマで区切られた、ZIP ファイルにアーカイブするレポート ID の一覧です。このパラメータは省略できます。指定しない場合は、ドキュメントのすべてのレポートがアーカイブされます。

要求本文: ファイルをアーカイブするためのスクリプト。以下の例を参照。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST/documents/14695/zips?reportIds=1,3

要求本文:

```
<zipfile>
  <zipentry name="index.html">
    <![CDATA[
      <html>
        <head>
          <title>Save As HTML (customized)</title>
          <script language="javascript" src="reports.js"></script>
        </head>
```

```

        <body bgcolor="#EEEEEE">
            <div id='content'></div>
            <script>
                var content = document.getElementById('content');
                content.innerHTML = '';
                for (var key in reportIds) {
                    var reportLink = "<a href='" + key + "/report.html'>";
reportLink += reportIds[key]['name'];
                    reportLink += '</a>'; reportLink += '<br/>';
                content.innerHTML += reportLink; }
            </script>
        </body>
    </html>
    ]]>
</zipentry>
<zipentry name="report.html">
    <![CDATA[
        <html>
            <head></head>
            <body></body>
        </html>
    ]]>
</zipentry>
</zipfile>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "ZipFile" with identifier "0" has been
successfully created.</message>
  <id>0</id>
</success>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ZIP ファイルとしてのドキュメントの取得 \[239 ページ\]](#)

8.1.8.2 ZIP ファイルとしてのドキュメントの取得

用途

選択したドキュメントレポートを HTML ファイルとしてアーカイブする ZIP ファイルを返します。

① 注記

- POST/documents/<documentID>/zips?reportIds=<reportID[,...]> を呼び出して、ZIP ファイルを作成します。
- GET/documents/<documentID>?fileName=<fileName> を呼び出して、ドキュメントとそのすべてのレポートを ZIP ファイルとしてエクスポートできます。
- REST API 呼び出しで User-Agent HTTP ヘッダを使用すると、HTML へのエクスポートがエンドユーザブラウザに対して最適化されます。

要求

GET/documents/<documentID>/zips/<zipID>?fileName=<fileName>

説明:

- <fileName> は ZIP ファイル名を定義する文字列です。文字列の最大長は 96 です。
このパラメータは省略できます。設定された場合、HTML 出力は fileName.zip ファイルに圧縮され、添付ファイルとして送信されます。

応答

応答タイプ: application/zip

応答: ZIP ファイルとしてのドキュメント。

例

GET/documents/14746/zips/0?fileName=myZipFile

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[一覧モードでのドキュメントのエクスポート \[242 ページ\]](#)

8.1.8.3 ZIP ファイルの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントのレポートをアーカイブして ZIP ファイルを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/zips/<zipID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/14746/zips/0

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "ZipFile" with identifier "0" has been
  successfully removed.</message>
  <id>0</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.9 ドキュメントのエクスポート

Web Intelligence ドキュメント全体をエクスポートするか、またはドキュメントの一部のページをエクスポートできます。

① 注記

4.2 SP4 以降では、ドリルモードとドリル出力モードの両方が少なくとも1つのレポートに対して有効になっている場合、ドリル情報が text/xml 出力に含まれます。

① 注記

4.2 SP4 より前では、dpi のデフォルト値は PDF の場合は 300、それ以外の出力タイプの場合は 96 に設定されていました。4.2 SP4 以降では、デフォルトの動作はサーバの設定を保持することです。

① 注記

4.2 SP4 より前では、Excel データ最適化のデフォルト値は false に設定されていました。4.2 SP4 以降では、デフォルトの動作はサーバの設定を保持することです。

[一覧モードでのドキュメントのエクスポート \[242 ページ\]](#)

[一連のページとしてのドキュメントのエクスポート \[244 ページ\]](#)

8.1.9.1 一覧モードでのドキュメントのエクスポート

用途

Web Intelligence ドキュメントを以下の書式にエクスポートします。

- XML
- zip 形式で圧縮された HTML
- PDF
- Microsoft Excel 2003
- Microsoft Excel 2007

① 注記

REST API 呼び出しで User-Agent HTTP ヘッダを使用すると、HTML へのエクスポートがエンドユーザブラウザに対して最適化されます。

要求

GET/documents/<documentID>?<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明	サポートされる形式
dpi	生成されたチャートの解像度 (DPI: ドット数/インチ)。値は 75 と 9600 の間になります。デフォルト値は PDF 形式では 300、他のすべての形式では 96 です。	すべて
unit	サイズがレポートされる単位を定義する文字列。値は "metric"、"millimeter"、"point"、および "pixel" (デフォルト) です。	XML
rawValues	論理値。デフォルトは false です。true の場合、ロー値とそのタイプが書式設定された値とともにエクスポートされます。	XML
fileName	ZIP ファイル名を定義する文字列。設定された場合、HTML 出力は fileName.zip ファイルに圧縮されます。文字列の最大長は 96 です。	ZIP
optimized	論理値。デフォルトは false です。true の場合、生成される出力は Microsoft Excel 内の計算向けに最適化されます。	Microsoft Excel 2003 および Microsoft Excel 2007

応答

応答タイプ:

- text/xml
- application/zip (圧縮 HTML の場合)
- application/pdf
- application/vnd.ms-excel (Microsoft Excel 2003 の場合)
- application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet (Microsoft Excel 2007 の場合)

応答は、名前がドキュメント ID に出力拡張子タイプが付いたファイルです。

例: XML

XML の結果を xmlfile.xml にエクスポートします。生成されるすべてのチャートの解像度は 150 DPI です。

```
curl -G -s -H "accept:text/xml" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""
"<base_webi_REST_URL>/documents/8022?dpi=150&size=pixel" > xmlfile.xml
```

例: PDF

結果を exportpdf.pdf というファイルにエクスポートします。生成されるすべてのチャートには、デフォルトの解像度 300 DPI が使用されます。

```
curl -G -s -H "accept:application/pdf" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""
"<base_webi_REST_URL>/documents/8022" > exportpdf.pdf
```

例: Microsoft Excel 2003

結果を excel2003.xls というファイルにエクスポートします。出力は Microsoft Excel 内の計算用に最適化され、生成されるすべてのチャートの解像度は 150 DPI になります。

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.ms-excel" -H X-SAP-
LogonToken:""%tokenValue%""
"<base_webi_REST_URL>/documents/8022?optimized=true&dpi=150" > excel2003.xls
```

例: Microsoft Excel 2007

結果を excel2007.xls ファイルにエクスポートします。出力は Microsoft Excel 内の計算用に最適化されます。

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.openxmlformats-
officedocument.spreadsheetml.sheet"
-H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%"" "<base_webi_REST_URL>/documents/8022?
optimized=true" > excel2007.xls
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.9.2 一連のページとしてのドキュメントのエクスポート

用途

Web Intelligence ドキュメントを、次のうちいずれかの形式で一連のページとしてエクスポートします。

- XML
- PDF
- Microsoft Excel 2003
- Microsoft Excel 2007

要求

GET/documents/<documentID>/pages?<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明	サポートされる形式
dpi	生成されたチャートの解像度 (DPI: ドット数/インチ)。値は 75 と 9600 の間になります。デフォルト値は PDF 形式では 300、他のすべての形式では 96 です。	すべて
mode	normal または quickDisplay	すべて
orientation	ページの方向。特定のページの向きを指定するために使用します。値は portrait および landscape です。	mode=normal の場合
widthScaling	レポート表示1回あたりのページ数 (幅)。デフォルトでドキュメント設定が適用されます。	mode=normal の場合
heightScaling	レポート表示1回あたりのページ数 (高さ)。デフォルトでドキュメント設定が適用されます。	mode=normal の場合
unit	サイズがレポートされる単位を定義する文字列。値は "metric"、"millimeter"、"point"、および "pixel" (デフォルト) です。	XML

パラメータ	説明	サポートされる形式
rawValues	論理値。デフォルトは false です。true の場合、 一値とそのタイプが書式設定された値とともにエクスポートされます。	XML
optimized	論理値。デフォルトは false です。true の場合、 生成される出力は Microsoft Excel 内の計算向けに最適化 されます。	Microsoft Excel 2003 および Microsoft Excel 2007

応答

応答タイプ:

- text/xml
- application/pdf
- application/vnd.ms-excel (Microsoft Excel 2003 の場合)
- application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet (Microsoft Excel 2007 の場合)

応答は、名前がドキュメント ID の出力拡張子タイプが付いたファイルです。

例: XML

XML の結果を xmlfile.xml にエクスポートします。

```
curl -G -s -H "accept:text/xml" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""
<base_webi_REST_URL>/documents/8022/pages?unit=pixel" > xmlfile.xml
```

例: PDF

PDF の結果を exportpdffile.pdf にエクスポートします。

```
curl -G -s -H "accept:application/pdf" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""
<base_webi_REST_URL>/documents/8022/pages?mode=quickDisplay" > exportpdffile.pdf
```

例: Microsoft Excel 2003

結果を excel2003.xls ファイルにエクスポートします。

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.ms-excel" -H X-SAP-
LogonToken:""%tokenValue%""
```

```
<base_webi_REST_URL>/documents/8022/pages?mode=normal" > excel2003.xls
```

例: Microsoft Excel 2007

結果を excel2007.xlsx ファイルにエクスポートします。

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet"
-s -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%" " <base_webi_REST_URL>/documents/8022/
pages?optimized=true" > excel2007.xlsx
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.10 ドキュメントの状態の更新

用途

Web Intelligence ドキュメントの状態を ID を参照して変更します。

→ 注意

ドキュメントを CMS リポジトリに保存するには、このメソッドを使用します。

ドキュメントの状態について

WACS サーバにおけるドキュメントの状態は、次のいずれかになります。

状態	説明
Unused	Unused ドキュメントは、サーバにロードされていないドキュメントです。
Original	Original ドキュメントは、サーバにロードされており、変更はされていないドキュメントです。ドキュメントを閉じて、使用可能なメモリを解放するには、オカレンスの状態を Unused に変更できます。
Modified	状態が Modified のドキュメントは、ロードされ、変更されているドキュメントです。その状態を明示的に Unused に変更して、現在のすべての変更を解除することができます。ドキュメントを閉じて、使用可能なメモリを解放します。また、ドキュメントを保存して、それらの変更内容を保存することもできます。ドキュメントの状態は Original に戻ります。

状態	説明
KeepAlive	ユーザがサーバを呼び出すことなくドキュメントを操作する場合にそのドキュメントを開いたまま保持し、サーバがタイムアウトしないようにします。

① 注記

KeepAlive は、疑似ステータスであり、ドキュメントの実際の状態は変更しません。

ドキュメントを開くと、ステータスは Original になります。ドキュメントの状態を Modified または Original から Unused に移行すると、ドキュメントに行ったすべての変更を破棄してドキュメントを閉じることができます。これにより、WACS サーバのメモリが解放されます。

要求

PUT/documents/<documentID>

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文:

```
<document>
  <state>
```

→ 注意

要求本文はオプションです。<state> が存在する場合は、その他のタグは受け入れられません。

ドキュメントの状態の変更	結果
Original から Unused	ドキュメントは変更されずに閉じます。
Original から (本文なし、または空の本文)	ドキュメントは変更されません。
Modified から Unused	ドキュメントは更新され、閉じます。
Modified から (本文なし、または空の本文)	ドキュメントは更新され、保存されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 変更されていないドキュメントを閉じる

PUT/documents/8008

要求本文:

```
<document>
  <state>Unused</state>
</document>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "document" with identifier "8008" has not been
modified.</message>
  <id>8008</id>
</success>
```

例: **Modified** ドキュメントを保存する

PUT/documents/9326

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "document" with identifier "9326" has been
successfully updated.</message>
  <id>9326</id>
</success>
```

例: ドキュメントの活動を保持する

PUT/documents/4575

要求本文:

```
<document>
  <state>KeepAlive</state>
</document>
```

応答本文:

応答は、そのドキュメントの状態に依存します。ドキュメントの状態が **Original** または **Unused** である場合、メッセージは以下のようになります。

```
<success>
  <message>The resource of type "document" with identifier "4575" has not
been modified.</message>
  <id>4575</id>
</success>
```

ドキュメントの状態が Modified である場合、メッセージは以下のようになります。

```
<success>
  <message>The resource of type "document" with identifier "4575" has been
  successfully updated.</message>
  <id>4575</id>
</success>
```

インスタンスのタイムアウトが期限切れになり要求に失敗すると、その呼出では以下のメッセージが戻されます。

```
<error>
  <error_code>WSR 00402</error_code>
  <message>An error occurred while keeping the resource of type "document"
  with identifier "4575" alive.</message>
</error>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.11 ドキュメントの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントの ID を参照して削除します。

Request

DELETE/documents/<documentID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/8022

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Document" with identifier "8022" has been  
successfully removed.</message>  
<id>8022</id>  
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.12 プロパティの使用

これらの方法を使用して、Web Intelligence 内にあるドキュメントの "ドキュメントの要約" に表示されるドキュメントプロパティの一覧の表示や編集を行います。

[ドキュメントのプロパティの取得 \[250 ページ\]](#)

[ドキュメントのプロパティの更新 \[252 ページ\]](#)

8.1.12.1 ドキュメントのプロパティの取得

用途

ドキュメントの ID を参照して、ドキュメントのプロパティを取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/properties

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 一連の <property> 要素。

例

GET/documents/7858/properties

```
<properties>
  <property key="SI_CUID">ATuas0Mb.mxHpfi0i7Xrwfo</property>
  <property key="lastrefreshedtime">1352999520</property>
  <property key="lastrefreshduration">1</property>
  <property key="lastsavedby">Administrator</property>
  <property key="enablealternateusertoeditdoc">true</property>
  <property key="creatorversion">14.0.6.894</property>
  <property key="disablequerypanel">false</property>
  <property key="lastrefreshdate">2012, Nov 15 18:12:00 GMT+01:00</property>
  <property key="enhancedViewing">false</property>
  <property key="current_doc_id">9939</property>
  <property key="osversion">?</property>
  <property key="modificationtime">1352999598</property>
  <property key="stripquery">true</property>
  <property key="modificationdate">2012, Nov 15 18:13:18 GMT+01:00</property>
  <property key="name">doc_unv_drill_enable</property>
  <property key="createdby">Administrator</property>
  <property key="tdcactivated">false</property>
  <property key="reportselected">1</property>
  <property key="nameinrepo">doc_unv_drill_enable</property>
  <property key="permanentregionalformatting">false</property>
  <property key="reporterverversion">14.0.6.894</property>
  <property key="repositorytype">C</property>
  <property key="locale">en_US</property>
  <property key="refreshonopen">false</property>
  <property key="docrepoid">9939</property>
  <property key="documenttype">WID</property>
  <property key="autosynchro">false</property>
  <property key="hassamplingresults">false</property>
  <property key="tdcmodeauto">true</property>
  <property key="effectiverefreshonopen">false</property>
  <property key="contentlocale">en_US</property>
  <property key="mergeprompts">true</property>
  <property key="documentsize">31070</property>
  <property key="extendmergedimension">false</property>
  <property key="autorefresh">false</property>
  <property key="creationtime">1352999595</property>
  <property key="creationdate">2012, Nov 15 18:13:15 GMT+01:00</property>
  <property key="ispartiallyrefreshed">false</property>
  <property key="nbqaawsconnection">0</property>
  <property key="documentversion">14.0.6.894</property>
</properties>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.12.2 ドキュメントのプロパティの更新

用途

Web Intelligence ドキュメントの ID を参照してそのプロパティを更新します。

① 注記

前回の最新表示時刻など、一部の設定は自動的に属性が設定され、手動では設定できません。

Request

PUT/documents/<documentID>/properties

要求本文:

```
<properties>
  <property key="string">
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT/documents/9939/properties

要求本文:

```
<properties>
  <property key="refreshonopen">true</property>
</properties>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "properties" has been successfully updated.</message>
  <id>9939</id>
</success>
```


関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.13 スタイル、形式、フォント、スキン、および文字セットの管理

以下の API では、ドキュメントとレポートの視覚的要素を管理することができます。

[設定書式の取得 \[253 ページ\]](#)

[数値のカスタム書式の取得 \[255 ページ\]](#)

[カスタムの数値または日時書式の作成 \[256 ページ\]](#)

[フォントマッピングの取得 \[257 ページ\]](#)

[ロケールの取得 \[258 ページ\]](#)

[レポートスキンの取得 \[259 ページ\]](#)

[ドキュメントのスタイルの取得 \[261 ページ\]](#)

[スタイルの詳細の取得 \[262 ページ\]](#)

[ドキュメントへのスタイルの追加 \[263 ページ\]](#)

[スタイルの更新 \[265 ページ\]](#)

[スタイルの削除 \[266 ページ\]](#)

[ドキュメントの CSS の取得 \[267 ページ\]](#)

[ドキュメントの CSS の更新 \[268 ページ\]](#)

[文字セットの取得 \[269 ページ\]](#)

[チャートタイプの取得 \[270 ページ\]](#)

[グラデーションの方向の取得 \[272 ページ\]](#)

[設定呼び出しの集計 \[273 ページ\]](#)

8.1.13.1 設定書式の取得

用途

デフォルトのロケール用に、Web Intelligence サーバで宣言したすべての書式の一覧を取得します。デフォルトの書式と使用可能な書式を返します。

結果は優先表示ロケール (PVL) に応じて異なります。特定のロケール設定が必要な場合は、HTTP 要求のヘッダでロケールを渡す必要があります。[複数言語のサポート \[55 ページ\]](#)を参照してください。

Request

GET/configuration/formats

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文:

```
<format default="Boolean" type="Number|Percent|Currency|DateTime|Boolean|Date|
Time" sample="string">
  <template positive="string" />
```

説明:

- デフォルトの書式の場合、default は true です。
- type は任意の書式の種類です。
- sample は対応する書式のサンプル値です。

例

```
<formats>
  <format default="true" type="Number" sample="1 234,57">
    <template positive="" />
  </format>
  <format default="true" type="Currency" sample="1 234,57 €; -1 234,57 €">
    <template positive="#,##0.00' €'"/>
  </format>
  <format default="true" type="DateTime" sample="21/09/2004 20:45:30">
    <template positive="dd'/'MM'/'yyyy HH':'mm':'ss"/>
  </format>
  <format default="true" type="Boolean" sample="vrai; faux">
    <template positive="BOOLEAN"/>
  </format>
  <format default="true" type="Date" sample="21/09/2004">
    <template positive="dd'/'MM'/'yyyy"/>
  </format>
  <format default="true" type="Time" sample="20:45:30">
    <template positive="HH':'mm':'ss"/>
  </format>
  <format type="Number" sample="1 234,57">
    <template positive="STANDARD"/>
  </format>
  <format type="Number" sample="1,234567E3">
    <template positive="SCIENTIFIC"/>
  </format>
  <format type="Number" sample="1235; (1235)">
    <template positive="0" negative="(0)"/>
  </format>
  <format type="Number" sample="1234,57">
    <template positive="0.00"/>
  </format>
  <format type="Number" sample="1 235">
```

```

    <template positive="#,##0"/>
  </format>
  <format type="Currency" sample="1 234,57 €; -1 234,57 €">
    <template positive="#,##0.00' €'"/>
  </format>
  ...
  <format type="Percent" sample="123 456,70%">
    <template positive="#,##0.00[%]%'"/>
  </format>
</formats>

```

関連情報

[複数言語のサポート \[55 ページ\]](#)

8.1.13.2 数値のカスタム書式の取得

用途

ドキュメントに定義されたカスタム書式の数値の一覧を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/formats

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: Web Intelligence ドキュメントで使用されているカスタム書式の説明。

例

GET/documents/4326/formats

```

<formats>
  <format type="Custom" sample="1,235">
    <template positive="#,##0" negative="[red]#,##0" zero="No value"
undefined="NaN"></template>
  </format>
</formats>

```

この例では、負の数値は赤色になります。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.13.3 カスタムの数値または日時書式の作成

用法

数値または日時のカスタム書式を作成します。

要求

PUT /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

テンプレートを使用した、カスタム書式の作成とテーブルのセルへの割り当て

PUT /documents/22036/reports/12/elements/23

要求本文:

```
<element>
  <content>
    <expression>
      <format type="Currency">
        <template positive="'¥'#,##0[Green]" negative="-'¥'#,##0[Red]"/>
      </format>
    </expression>
  </content>
</element>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "23" has been
successfully updated.</message>
  <id>23</id>
</success>
```

トークンを使用した、カスタム書式の作成とテーブルのセルへの割り当て

PUT /documents/22036/reports/12/elements/23

要求本文:

```
<element>
  <content>
    <expression>
      <format>

<token>L[$]T[#]T[gs]T[#]T[#]T[0]T[ds]T[0]T[0]T[Cb]T[FS]L[$]T[-]T[#]T[gs]T[#]T[#]
T[0]T[ds]T[0]T[0]T[Cr]T[FS]T[Ck]T[FS]T[Cgr]</token>
      </format>
    </expression>
  </content>
</element>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "23" has been
successfully updated.</message>
  <id>23</id>
</success>
```

8.1.13.4 フォントマッピングの取得

用途

Web Intelligence サーバのすべての宣言済みフォントマッピングのリストを取得します。HTML、Java、および Windows の 3 つの使用可能なプラットフォームがあり、これらのフォントマッピングは異なります。この呼び出しにより、すべてのプラットフォームのすべてのマッピングが返されます。

Request

GET/configuration/fontmappings

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: Web Intelligence サーバのすべての宣言済みフォントマッピングのリスト。

- platform 属性により、フォントを使用するプラットフォームの種類が指定されます。
- <serverName> 要素はフォントサーバの名前を表します。
- <platformName> 要素には使用できるフォントが示されます。名前が2語以上のフォントは引用符で囲まれます。

例

```
<fontmappings>
  <mapping platform="HTML">
    <font>
      <serverName>Arial</serverName>
      <platformName>Arial, Helvetica, 'Courier New', 'Times New Roman'</platformName>
    </font>
    <font>
      <serverName>BOJapan</serverName>
      <platformName>'MS Gothic', 'Arial Unicode MS'</platformName>
    </font>
  </mapping>
  <mapping platform="Java">
    <font>
      <serverName>Arial</serverName>
      <platformName>Arial, Helvetica, 'Courier New', 'Times New Roman'</platformName>
    </font>
  </mapping>
  <mapping platform="Windows">
    <font>
      <serverName>Arial</serverName>
      <platformName>Arial</platformName>
    </font>
    <font>
      <serverName>default</serverName>
      <platformName>Arial</platformName>
    </font>
  </mapping>
</fontmappings>
```

8.1.13.5 ロケールの取得

用法

サーバからロケールの一覧を取得します。

要求

GET /configuration/locales

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

GET /configuration/locales

応答:

```
<locales>
  <locale>
    <id>it_CH</id>
    <name>Italian (Switzerland)</name>
  </locale>
  <locale>
    <id>pt_BR</id>
    <name>Portuguese (Brazil)</name>
  </locale>
  ...
  <locale>
    <id>es_PY</id>
    <name>Spanish (Paraguay)</name>
  </locale>
</locales>
```

8.1.13.6 レポートスキンの取得

用途

Web Intelligence サーバで宣言されたすべてのタイプのスキンの一覧を取得します。

Request

GET/configuration/skins

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下によって識別される使用可能なスキンの詳細:

```
<skin type="Cell|Block|Section|Report">
  <name>
  <background>
    <color>
    <image>
```

説明:

- <name> はスキンの固有名です。
- <background>: 色、パターン、または gif URL などのスキンの背景の塗りつぶしです。

例

```
<skins>
  <skin type="Cell">
    <name>Curve</name>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
      <image src="boimg://skin_marble.gif" display="Tile"/>
    </background>
  </skin>
  <skin type="Cell">
    <name>Business Objects</name>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
      <image src="boimg://skin_bo.gif" display="Stretch"/>
    </background>
  </skin>
  <skin type="Block">
    <name>Business Objects</name>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
      <image src="boimg://skin_bo.gif" display="Stretch"/>
    </background>
  </skin>
  <skin type="Section">
    <name>Business Objects</name>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
      <image src="boimg://skin_bo.gif" display="Stretch"/>
    </background>
  </skin>
  <skin type="Section">
    <name>Dots</name>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
      <image src="boimg://skin_listing.gif" display="Tile"/>
    </background>
  </skin>
  <skin type="Report">
    <name>Dots</name>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
      <image src="boimg://skin_listing.gif" display="Tile"/>
```



```
</background>
</skin>
</skins>
```

8.1.13.7 ドキュメントのスタイルの取得

用途

指定したドキュメントに定義されているすべてのスタイルの一覧を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/styles?unit=<unit>

この場合、

- <unit> は文字列型のオプションのパラメータです。このパラメータによって、背景の幅と高さなどすべてのディメンション値に使用される測定単位が定義されます。値は、metric (デフォルト)、inch および centimeter です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 一連の <property> 要素。

例

GET/documents/3422/styles

```
<styles>
  <style>
    <id>1</id>
    <background>
      <color rgb="#ffffff"/>
    </background>
    <alignment horizontal="Left" vertical="Bottom"/>
  </style>
  <style>
    <id>2</id>
    <parentId>1</parentId>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="Thin" rgb="#000000" style="Plain"/>
      <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
  </style>
</styles>
```

```

        </border>
        <font size="12" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false"
        underline="false" rgb="#000000"/>
        <alignment horizontal="Left" vertical="Bottom"/>
    </style>
    <style>
        <id>3</id>
        <parentId>1</parentId>
        <border>
            <top thickness="Thin" rgb="#cacad9" style="Plain"/>
            <bottom thickness="Thin" rgb="#cacad9" style="Plain"/>
            <left thickness="Thin" rgb="#cacad9" style="Plain"/>
            <right thickness="Thin" rgb="#cacad9" style="Plain"/>
        </border>
        <background>
            <color rgb="#5175b9"/>
        </background>
        <font size="9" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false"
        underline="false" rgb="#ffffff"/>
        <alignment horizontal="Left" vertical="Bottom"/>
    </style>
</styles>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.13.8 スタイルの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのスタイルの説明を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/styles/<styleID>?unit=<unit>

この場合、

- <unit> は文字列型のオプションのパラメータです。このパラメータによって、背景の幅と高さなどすべてのディメンション値に使用される測定単位が定義されます。値は、metric (デフォルト)、inch および centimeter です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: <style> によって識別されるドキュメントスタイルの詳細。

例

GET/documents/5022/styles/3

```
<style>
  <id>3</id>
  <parentId>58</parentId>
  <border>
    <top thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
    <bottom thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
    <left thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
    <right thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
  </border>
  <background>
    <color rgb="#5175b9"/>
  </background>
  <font size="9" face="Arial" italic="false" bold="true" strikethrough="false"
    underline="false" rgb="#ffffff"/>
  <alignment horizontal="left" vertical="bottom"/>
</style>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントのスタイルの取得 \[261 ページ\]](#)

8.1.13.9 ドキュメントへのスタイルの追加

用途

Web Intelligence ドキュメントを ID で参照してそのドキュメントにスタイルを追加します。

要求

POST/documents/<documentID>/styles?unit=<unit>

この場合、

- `<unit>` は文字列型のオプションのパラメータです。このパラメータによって、背景の幅と高さなどすべてのディメンション値に使用される測定単位が定義されます。値は、`metric` (デフォルト)、`inch` および `centimeter` です。

要求本文:

```
<style>
  <border>
  <background>
  <font>
  <alignment>
```

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST/documents/3422/styles?unit=inch

要求本文:

```
<style>
  <background width="2.3" height="1.6"/>
</style>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Style" with identifier "64" has been
  successfully created.</message>
  <id>64</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.13.10 スタイルの更新

用途

Web Intelligence ドキュメントのスタイルを更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/styles/<styleID>?unit=<unit>

この場合、

- <unit> は文字列型のオプションのパラメータです。このパラメータによって、背景の幅と高さなどすべてのディメンション値に使用される測定単位が定義されます。値は、metric (デフォルト)、inch および centimeter です。

要求本文:

```
<style>
  <id>
  <parentId>
  <border>
  <background>
  <font>
  <alignment>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT/documents/5022/styles/24

要求本文:

```
<style>
  <id>3</id>
  <parentId>58</parentId>
  <border>
    <top thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
    <bottom thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
    <left thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
    <right thickness="thin" rgb="#cacad9" style="plain"/>
  </border>
  <background>
```

```
<color rgb="#5175b9"/>
</background>
<font size="9" face="Arial" italic="false" bold="true" strikethrough="false"
  underline="false" rgb="#ffffff"/>
<alignment horizontal="left" vertical="bottom"/>
</style>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Style" with identifier "24" has been
  successfully updated.</message>
  <id>24</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントのスタイルの取得 \[261 ページ\]](#)

8.1.13.11 スタイルの削除

使用法

Web Intelligence ドキュメントからスタイルを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/styles/<styleID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/5022/styles/L4

```
<success>
  <message>The resource of type "Style" with identifier "L4" has been
  successfully removed.</message>
  <id>L4</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントのスタイルの取得 \[261 ページ\]](#)

8.1.13.12 ドキュメントの CSS の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付された CSS を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/css

応答

応答タイプ: text/css

例

GET/documents/5022/css

応答:

```
FORM CELL.ia-form-header { /* Settings for header cells in a form */
  background-fill:color;
  font-size:9pt;
  color:#1D7DB3;
```

```

        background-color:#f8fbfc;
        font-weight:bold:yes;
        never-alternate:yes;
    }
    CELL.ia-form-separator {      /* Settings for cells separating two form instances
    */
        background-fill:none;      /* Invisible cell making the separation */
        border-top-style:none;
        border-right-style:none;
        border-bottom-style:none;
        border-left-style:none;
        border-top-width:0;
        border-right-width:0;
        border-bottom-width:0;
        border-left-width:0;
    }

```

8.1.13.13 ドキュメントの CSS の更新

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付された CSS を更新します。

Request

PUT/documents/<documentID>/css

応答タイプ: text/css

要求本文: CSS ファイル

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

```

curl -i -X "PUT" -H "accept:application/xml" -H "content-type:text/css" -H X-SAP-
LogonToken:""%tokenValue%"
-d "@css2.xml" "http://localhost:6405/biprws/raylight/v1/documents/5022/css"

```

ファイル css2.xml に記述された要求本文。

```

FORM CELL.ia-form-header {      /* Settings for header cells in a form */

```



```

        background-fill:color;
        font-size:9pt;
        color:#1D7DB3;
        background-color:#f8fbfc;
        font-weight-bold:yes;
        never-alternate:yes;
    }
    CELL.ia-form-separator {      /* Settings for cells separating two form instances
    */
        background-fill:none;      /* Invisible cell making the separation */
        border-top-style:none;
        border-right-style:none;
        border-bottom-style:none;
        border-left-style:none;
        border-top-width:0;
        border-right-width:0;
        border-bottom-width:0;
        border-left-width:0;
    }
}

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "5022" has been
successfully updated.</message>
  <id>5022</id>
</success>

```

8.1.13.14 文字セットの取得

用途

Web Intelligence サーバで、すべてのサポートされる文字セットのリストを取得します。文字セットは、CSV 形式でドキュメントをエクスポートするときに、パラメータとして使用されます。

Request

GET/configuration/charsets

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: サポートされる文字セットの詳細。その場合:

- <charset> サポートされる文字セットの説明を記載
- <name> 文字セット名
- <description> 文字セットの説明

例

```
<charsets>
  <charset>
    <name>EUC-KR</name>
    <description>Korean (EUC-KR)</description>
  </charset>
  <charset>
    <name>ISO-8859-8</name>
    <description>Hebrew (ISO-8859-8)</description>
  </charset>
  <charset>
    <name>ISO-8859-5</name>
    <description>Cyrillic (ISO-8859-5)</description>
  </charset>
  . . .
  <charset>
    <name>UTF-8</name>
    <description>UTF-8</description>
  </charset>
  <charset>
    <name>HZ-GB-2312</name>
    <description>Chinese Simplified (HZ-GB2312)</description>
  </charset>
  <charset>
    <name>CNS-11643</name>
    <description>Chinese Traditional (EUC-TW)</description>
  </charset>
  <charset>
    <name>CP437</name>
    <description>IBM Latin US (CP437)</description>
  </charset>
</charsets>
```

8.1.13.15 チャートタイプの取得

用途

使用可能なチャートタイプの一覧を取得します。

要求

GET/configuration/visualizations

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: サポートされるチャートタイプの詳細。

- `<visualization type>` サポートされるチャートタイプの説明が含まれます。ツリーマップ、ヒートマップ、円チャート、タグクラウドなど。
- `<visualization kind>` は、チャートが埋め込まれるのか、それともカスタム要素であるのかを示します。
- `<name>` チャートタイプ名
- `<description>` チャートタイプの説明
- `<serverId>` は、依頼先レンダリングサーバの識別子です。
- `<category>` は、チャートのカテゴリを示します。たとえば、ツリーマップやヒートマップはマップカテゴリです。

例

```
<visualizations>
  <visualization type="TreeMap" kind="Builtin">
    <name>Tree Map</name>
    <description>This chart displays values within nested rectangles that
can be colored.
      The levels of nesting correspond to the level of hierarchical
breakdown.
      The size of the rectangles and their color both express a set of
values.</description>
    <category>Map</category>
  </visualization>
  <visualization type="HeatMap" kind="Builtin">
    <name>Heat Map</name>
    <description>This map displays values that are represented by colors in
a map using
      a category axis and optionally a second category axis.
      The colors of the rectangles are determined by a measure value.</
description>
    <category>Map</category>
  </visualization>
  <visualization type="Pie" kind="Builtin">
    <name>Pie Chart</name>
    <description>A circular chart made up of sectors. The area of the circle
represents a whole,
      and the sectors of the circle represent the parts of a whole.</
description>
    <category>Pie</category>
  </visualization>
  . . .
  <visualization type="TagCloud" kind="Builtin">
    <name>Tag Cloud</name>
    <description>A mono-dimensional visualization representing data as words
where the word
      font size represents its relative weight in the dataset.</
description>
    <category>Tag Cloud</category>
  </visualization>
  <visualization type="mekko" kind="Custom">
    <name>CVOM HTML5 mekko chart</name>
    <description>Description for Mekko</description>
    <serverId>Delegated_Rendering_Server</serverId>
    <category>Delegated_Rendering_Server</category>
  </visualization>
  <visualization type="google" kind="Custom">
    <name>Google Maps.</name>
    <serverId>Delegated_Rendering_Server</serverId>
    <category>Delegated_Rendering_Server</category>
  </visualization>
```

```
</visualizations>
```

関連情報

[チャートタイプ \[69 ページ\]](#)

8.1.13.16 グラデーションの方向の取得

用法

グラデーションカラーで利用できるグラデーションの方向の一覧を取得します。

要求

GET /configuration/gradientorientations

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

GET /configuration/gradientorientations

応答:

```
<gradientorientations>
  <gradientorientation>
    <id>HORIZONTAL</id>
    <name>Horizontal</name>
  </gradientorientation>
  <gradientorientation>
    <id>HORIZONTAL_INVERSE</id>
    <name>Horizontal inverted</name>
  </gradientorientation>
  <gradientorientation>
    <id>VERTICAL</id>
    <name>Vertical</name>
  </gradientorientation>
</gradientorientations>
```

```

</gradientorientation>
<gradientorientation>
  <id>VERTICAL_INVERSE</id>
  <name>Vertical inverted</name>
</gradientorientation>
<gradientorientation>
  <id>DIAGONAL_UP</id>
  <name>Diagonal up</name>
</gradientorientation>
<gradientorientation>
  <id>DIAGONAL_UP_INVERSE</id>
  <name>Diagonal up inverted</name>
</gradientorientation>
<gradientorientation>
  <id>DIAGONAL_DOWN</id>
  <name>Diagonal down</name>
</gradientorientation>
<gradientorientation>
  <id>DIAGONAL_DOWN_INVERSE</id>
  <name>Diagonal down inverted</name>
</gradientorientation>
</gradientorientations>

```

8.1.13.17 設定呼び出しの集計

用法

指定されたテンプレートに従って、他の設定呼び出しの結果を返します。

要求

POST /configuration

要求タイプ: application/xml または application/json

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

POST /configuration

要求:

```
<configuration>
  <charsets/>
  <settings/>
</configuration>
```

応答:

```
<configuration>
  <charsets>
    <charset>
      <name>MacThai</name>
      <description>Thai (MacThai)</description>
    </charset>
    <charset>
      <name>MacRoman</name>
      <description>Western (MacRoman)</description>
    </charset>
    ...
  </charsets>
  <settings>
    <property key="WEBI_AUTOSAVE_MAXSIZE_DOCUMENTS">30</property>
    <property key="WEBI_AUTO_MERGE">false</property>
    ...
  </settings>
</configuration>
```

例 (JSON)

POST /configuration

要求:

```
{
  "configuration": {
    "charsets": {},
    "fontmappings": {
      "mapping": [{
        "@platform": "HTML"
      }]
    },
    "formats": {},
    "functions": {},
    "gradientorientations": {},
    "locales": {},
    "markerpalettes": {},
    "operators": {},
    "palettes": {},
    "papersizes": {},
    "settings": {},
    "skins": {},
    "visualizations": {
      "visualization": [{
        "@kind": "Builtin"
      }]
    }
  }
}
```

応答:

```
{
  "configuration": {
    "charsets": {
      "charset": [{
        "name": "MacThai",
        "description": "Thai (MacThai)"
      }, {
        "name": "MacRoman",
        "description": "Western (MacRoman)"
      },
      ...
    ]
  },
  "fontmappings": { ... },
  "formats": { ... },
  "functions": { ... },
  "gradientorientations": { ... },
  "locales": { ... },
  "markerpalettes": { ... },
  "operators": { ... },
  "palettes": { ... },
  "papersizes": { ... },
  "settings": { ... },
  "skins": { ... },
  "visualizations": { ... }
}
}
```

8.1.14 カラーパレットの使用

カラーパレットは Web Intelligence ドキュメントで使用できる一連の色を定義します。

Web Intelligence ユーザインタフェースのようにカラーパレットを組み込むことができます。また、カスタムパレットを追加することもできます。

[デフォルトのカラーパレットの取得 \[275 ページ\]](#)

[すべてのマーカーパレットの取得 \[277 ページ\]](#)

[カスタムパレットの一覧の取得 \[278 ページ\]](#)

[カスタムパレットの詳細の取得 \[279 ページ\]](#)

[カスタムパレットの作成 \[280 ページ\]](#)

[カスタムパレットの詳細の更新 \[282 ページ\]](#)

[カスタムパレットの削除 \[282 ページ\]](#)

8.1.14.1 デフォルトのカラーパレットの取得

用途

デフォルトのカラーパレットの一覧を取得します。この機能では、カスタムパレットは取得されません。

色は、RGB カラーモデルおよび不透明度を使用して表示されます。RGB カラー値は、16 進数値の前の # 記号です。色の不透明度の値は、塗りつぶしから不可視まで [0 ～ 255] の範囲になります。

要求

GET/configuration/palettes

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文	説明	リリース
<pre><palette name="<i>string</i>"> <color rgb="#..." alpha="<i>number</i>"></pre>	名前はデフォルトパレットの名前です。RGB 値とアルファ値によりパレットの色が定義されます。	4.1 SP5 以前
<pre><palette> <id> <colors> <color rgb="#..." alpha="<i>number</i>"></pre>	<id> はデフォルトパレットの識別子を表します。RGB 値とアルファ値によりパレットの色が定義されます。	4.1 SP5 以降

例: 4.1 SP5 より前

```
<palettes>
  <palette name="SAP Standard 2011">
    <color rgb="#008fd3" alpha="255"/>
    <color rgb="#99d101" alpha="255"/>
    ...
    <color rgb="#61209a" alpha="255"/>
  </palette>
  ...
  <palette name="black&white">
    <color rgb="#5b5b5b" alpha="255"/>
    <color rgb="#d2d2d2" alpha="255"/>
    ...
    <color rgb="#050505" alpha="255"/>
  </palette>
</palettes>
```


例: 4.1 SP5 以降

```
<palettes>
  <palette>
    <id>SAP Standard 2011</id>
    <colors>
      <color rgb="#008fd3" alpha="255"/>
      <color rgb="#99d101" alpha="255"/>
      ...
      <color rgb="#979ca3" alpha="255"/>
    </colors>
  </palette>
  ...
  <palette>
    <id>black&white</id>
    <colors>
      <color rgb="#5b5b5b" alpha="255"/>
      <color rgb="#d2d2d2" alpha="255"/>
      ...
      <color rgb="#050505" alpha="255"/>
    </colors>
  </palette>
</palettes>
```

8.1.14.2 すべてのマーカーパレットの取得

用法

マーカーパレットの一覧を取得します。

要求

GET /configuration/markerpalettes

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

GET /configuration/markerpalettes

```
<markerpalettes>
  <markerpalette>
    <id>default1</id>
    <symbols>
      <symbol>Square</symbol>
      <symbol>Diamond</symbol>
      <symbol>Star</symbol>
      <symbol>Circle</symbol>
    </symbols>
  </markerpalette>
  <markerpalette>
    <id>default2</id>
    <symbols>
      <symbol>Diamond</symbol>
      <symbol>Circle</symbol>
      <symbol>Square</symbol>
      <symbol>Star</symbol>
    </symbols>
  </markerpalette>
  <markerpalette>
    <id>default3</id>
    <symbols>
      <symbol>Star</symbol>
      <symbol>Square</symbol>
      <symbol>Circle</symbol>
      <symbol>Diamond</symbol>
    </symbols>
  </markerpalette>
  <markerpalette>
    <id>default4</id>
    <symbols>
      <symbol>Circle</symbol>
      <symbol>Star</symbol>
      <symbol>Diamond</symbol>
      <symbol>Square</symbol>
    </symbols>
  </markerpalette>
</markerpalettes>
```

8.1.14.3 カスタムパレットの一覧の取得

用途

エンドユーザが定義して、Web Intelligence ドキュメントに添付されたパレットを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/palettes

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、カスタムパレットの一覧です。カスタムパレットは次のように定義されます。

```
<palette>
  <id>
  <name>
  <colors>
    <color>
```

例

GET/documents/1234/palettes

```
<palettes>
  <palette>
    <id>5f95e34e-b5c1-49d5-ac60-eb73ee5527c2</id>
    <name>custom palette 1</name>
    <colors>
      <color rgb="#5b5b5b" alpha="100"/>
      <color rgb="#d2d2d2" alpha="100"/>
      <color rgb="#efefef" alpha="100"/>
      <color rgb="#848484" alpha="100"/>
      <color rgb="#aeadae" alpha="100"/>
      <color rgb="#0f0f0f" alpha="100"/>
      <color rgb="#ffffff" alpha="100"/>
      <color rgb="#bfbfbf" alpha="100"/>
      <color rgb="#6f706f" alpha="100"/>
      <color rgb="#a4a4a4" alpha="100"/>
      ...
    </colors>
  </palette>
  <palette>
    <id>9dccc8a9-ac02-4301-828a-7b0cc81bb937</id>
    <name>custom palette 2</name>
    <colors>
      <color rgb="#00ff00" alpha="50"/>
      <color rgb="#00fa00" alpha="50"/>
    </colors>
  </palette>
</palettes>
```

8.1.14.4 カスタムパレットの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付されたカスタムパレットの色情報を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/palettes/<paletteID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

GET/documents/1234/palettes/f5d53881-6467-4572-a616-c20bc8d1a687

```
<palette>
  <id>f5d53881-6467-4572-a616-c20bc8d1a687</id>
  <name>custom palette 3</name>
  <colors>
    <color rgb="#5b5b5b" alpha="100"/>
    <color rgb="#d2d2d2" alpha="100"/>
    <color rgb="#efefef" alpha="100"/>
    <color rgb="#848484" alpha="100"/>
    <color rgb="#aeadae" alpha="100"/>
    <color rgb="#0f0f0f" alpha="100"/>
    <color rgb="#ffffff" alpha="100"/>
    <color rgb="#bfbfbf" alpha="100"/>
    <color rgb="#6f706f" alpha="100"/>
    <color rgb="#a4a4a4" alpha="100"/>
    ...
  </colors>
</palette>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.14.5 カスタムパレットの作成

用途

カスタムパレットを現在の Web Intelligence ドキュメントに追加します。

要求

POST/documents/<documentID>/palettes

要求本文:

```
<palette>
  <name>
  <colors>
    <color>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。ID が新しいカスタムパレットに割り当てられます。

例

POST /documents/1234/palettes

要求本文:

```
<palette>
  <name>custom palette 2</name>
  <colors>
    <color rgb="#00ff00" alpha="50"/>
    <color rgb="#00fa00" alpha="50"/>
  </colors>
</palette>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Palette" with identifier "ff6079a2-
df7f-4df6-8278-9c5dd6246b2e" has been successfully created.</message>
  <id>ff6079a2-df7f-4df6-8278-9c5dd6246b2e</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.14.6 カスタムパレットの詳細の更新

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付されたカスタムパレットの色の定義を更新します。

要求

PUT /documents/<documentID>/palettes/<paletteID>

要求本文:

```
<palette>
  <name>
  <color>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/1234/palettes/ff6079a2-df7f-4df6-8278-9c5dd6246b2e

```
<success>
  <message>The resource of type "Palette" with identifier "ff6079a2-
df7f-4df6-8278-9c5dd6246b2e" has been successfully updated.</message>
  <id>ff6079a2-df7f-4df6-8278-9c5dd6246b2e</id>
</success>
```

8.1.14.7 カスタムパレットの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付されたカスタムパレットを削除します。

要求

DELETE /documents/<documentID>/palettes/<paletteID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/1234/palettes/ac468f5c-2035-42ca-8e6f-76700657fa91

```
<success>
  <message>The resource of type "Palette" with identifier
"ac468f5c-2035-42ca-8e6f-76700657fa91" has been successfully removed.</message>
  <id>ac468f5c-2035-42ca-8e6f-76700657fa91</id>
</success>
```

8.1.15 関数、演算子、および変数の管理

式エンジン関数、演算子、および変数のタスクを実行するために、一連の API が提供されています。

[式エンジン関数の取得 \[283 ページ\]](#)

[式エンジン演算子の取得 \[284 ページ\]](#)

[ドキュメントの変数の取得 \[285 ページ\]](#)

[変数の定義の取得 \[287 ページ\]](#)

[変数の追加 \[288 ページ\]](#)

[変数の編集 \[291 ページ\]](#)

[変数の削除 \[293 ページ\]](#)

8.1.15.1 式エンジン関数の取得

用途

使用可能な式エンジンの関数をすべて取得します。これは、レポート仕様に式を作成する、またはドキュメント辞書に変数を定義するために使用できます。

Request

GET /configuration/functions

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 関数の一覧、以下の情報が含まれます。

- <function category="Logical" returnType="Boolean"> 関数のタイプ
- <id>
- <name>
- <description>
- <syntax>

例

```
<functions>
  <function category="Logical" returnType="Boolean">
    <id>EVEN</id>
    <name>Even</name>
    <description>Determines whether a number is even</description>
    <syntax>bool Even(number)</syntax>
  </function>
  <function category="Document" returnType="String">
    <id>DOCUMENTAUTHOR</id>
    <name>DocumentAuthor</name>
    <description>Returns the InfoView logon of the document creator</
description>
    <syntax>string DocumentAuthor()</syntax>
  </function>
</functions>
```

8.1.15.2 式エンジン演算子の取得

用途

式エンジンの演算子をすべて取得します。これは、レポート仕様に式を作成する、またはドキュメント辞書に変数を定義するために使用できます。

Request

GET /configuration/operators

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 式エンジンから使用できるドキュメント演算子の詳細。各演算子は、次のとおりです。

- <id>
- <name>
- <description>
- <syntax>

例

```
<operators>
  <operator>
    <id>LINEAR</id>
    <name>Linear</name>
    <description>Tells the Interpolation function to use linear regression
to supply
      missing measure values</description>
    <syntax>Linear</syntax>
  </operator>
  <operator>
    <id>INLIST</id>
    <name>InList</name>
    <description>Determines if a value is in a list</description>
    <syntax>bool test_value Inlist(value_list)</syntax>
  </operator>
</operators>
```

8.1.15.3 ドキュメントの変数の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントの変数辞書のコンテンツを取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/variables

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ドキュメントで使用する変数の一覧。この場合、

- <variable> の dataType および qualification 属性は、変数のタイプおよび資格です (メジャー、属性またはディメンション)。
- grouping="true" 属性はグループ変数専用です。
- <id> は変数の ID です。
- <name> はドキュメントで使われるとおりの変数の名前です。

例

GET /documents/4326/variables

```
<variables>
  <variable dataType="Numeric" qualification="Measure">
    <id>L6</id>
    <name>Min Revenue</name>
  </variable>
  <variable dataType="Numeric" qualification="Measure">
    <id>L7</id>
    <name>RevenueThreshold</name>
  </variable>
  <variable dataType="Numeric" qualification="Measure">
    <id>L8</id>
    <name>Threshold factor</name>
  </variable>
  <variable dataType="Numeric" qualification="Measure">
    <id>L9</id>
    <name>Threshold Max</name>
  </variable>
  <variable dataType="Numeric" qualification="Measure">
    <id>LA</id>
    <name>Threshold Min</name>
  </variable>
  <variable grouping="true" dataType="String" qualification="Dimension">
    <id>LB</id>
    <name>Month+</name>
  </variable>
</variables>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.15.4 変数の定義の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントの変数辞書から変数の定義を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/variables/<variableID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 変数の定義であり、以下のように記述されます。

- <variable> の属性 dataType および qualification は、変数のタイプおよび資格です (メジャー、属性またはディメンション)。
- <id>
- <name> は、ドキュメントで使用される、変数の名前です。
- <description> はオプションであり、変数の使用方法の説明に使用できます。
- <formulaLanguageId>
- <definition> は変数によって使用される式です。

例: 通常の変数

GET /documents/1234/variables/L9

```
<variable dataType="Numeric" qualification="Measure">
  <id>L9</id>
  <name>Threshold Max</name>
  <description>This is the maximum threshold.</description>
  <formulaLanguageId>[Threshold Max]</formulaLanguageId>
  <definition>=[RevenueThreshold]*(1+[Threshold factor])</definition>
</variable>
```

例: グループ化変数

GET /documents/6409/variables/L2

```
<variable grouping="true" dataType="String" qualification="Dimension">
```

```

<id>L1</id>
<name>Month+</name>
<description>This grouping simplifies the table.</description>
<formulaLanguageId>[Month+]</formulaLanguageId>
<dimensionId>DP0.DOb9</dimensionId>
<groups>
  <group>
    <name>Q1</name>
    <values>
      <value>1</value>
      <value>2</value>
      <value>3</value>
    </values>
  </group>
  <group>
    <name>Q3</name>
    <values>
      <value>7</value>
      <value>8</value>
      <value>9</value>
    </values>
  </group>
  <group ungroupedValues="AutomaticallyGrouped">
    <name>Others</name>
    <values>
      <value>4</value>
      <value>5</value>
      <value>6</value>
      <value>10</value>
      <value>11</value>
      <value>12</value>
    </values>
  </group>
</groups>
</variable>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントの変数の取得 \[285 ページ\]](#)

8.1.15.5 変数の追加

用途

通常の変数またはグループ化変数の定義を Web Intelligence ドキュメントに追加します。

要求

POST/documents/<documentID>/variables

通常の変数の場合の要求本文:

```
<variable qualification="Measure|Attribute|Dimension">
  <name>
  <description>
  <definition>
```

ここで、

- qualification は変数のタイプ
- <description> は変数の説明 (オプション)
- <definition> は変数によって使用される式

→ 注意

通常の変数は次のルールに準拠する必要があります。

- 式が有効である必要があります。
- メジャー、属性、またはディメンションのみを作成できます。
- 属性を作成する場合、関連付けられたディメンションが必須です。

グループ化変数の場合の要求本文:

```
<variable grouping="true">
  <description>
  <dimensionId>
  <groups>
    <group>
      <name>
      <values>
        <value>
```

変数の名前は、ユーザが指定しない場合、または名前が競合する場合は、計算されます。

→ 注意

グループ化変数は次のルールに準拠する必要があります。

- 属性 grouping が存在し、true に設定されている必要があります。
- 要素 <dimensionId> は有効な属性またはディメンションを指し示す必要があります。
- 1つのグループのみが属性 ungroupedValues を保持できます。グループ ungroupedValues に割り当てられる値は無視されます。
- グループは、ungroupedValues グループを除き、名前を持ち、少なくとも1つの値が含まれている必要があります。
- 値は1つのグループのみに割り当てることができ、親の値の一覧に属する必要があります。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 通常の変数

POST /documents/4326/variables

要求本文:

```
<variable qualification="Measure">
  <name>new variable</name>
  <description>your description</description>
  <definition>[RevenueThreshold]*[Threshold factor]</definition>
</variable>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Variable" with identifier "LB" has been
  successfully created.</message>
  <id>LB</id>
</success>
```

例: グループ化変数

POST /documents/6409/variables

要求本文:

```
<variable grouping="true">
  <dimensionId>DP0.DOb9</dimensionId>
  <groups>
    <group>
      <name>From January to April</name>
      <values>
        <value>1</value>
        <value>2</value>
        <value>3</value>
        <value>4</value>
      </values>
    </group>
    <group>
      <name>Summer Holidays</name>
      <values>
        <value>7</value>
        <value>8</value>
      </values>
    </group>
  </groups>
</variable>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Variable" with identifier "L3" has been
  successfully created.</message>
  <id>L3</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データオブジェクトの値の一覧の取得 \[597 ページ\]](#)

8.1.15.6 変数の編集

用途

Web Intelligence ドキュメントの変数辞書の通常の変数またはグループ化変数を変更します。

通常の変数の資格、名前、または定義を変更することができます。グループ化変数のグループおよびグループ値を変更することができます。

要求

PUT/documents/<documentID>/variables/<variableID>

通常の変数の場合の要求本文:

```
<variable qualification="Measure|Attribute|Dimension">
  <name>
  <description>
  <definition>
```

→ 注意

通常の変数は次のルールに準拠する必要があります。

- 式が有効である必要があります。
- 変数の定義を変更した場合、変更をレポートに反映するため、ドキュメントを最新表示する必要があります。

グループ化変数の場合の要求本文:

```
<variable grouping="true">
  <groups>
    <group>
      <name>
      <values>
        <value>
```

→ 注意

グループ化変数は次のルールに準拠する必要があります。

- 属性 grouping が存在し、true に設定されている必要があります。
- 要素 <dimensionId> は必要ありません。

- 1つのグループのみが属性 `ungroupedValues` を保持できます。グループ `ungroupedValues` に割り当てられる値は無視されます。
- グループは、`ungroupedValues` グループを除き、名前を持ち、少なくとも1つの値が含まれている必要があります。
- 値は1つのグループのみに割り当てることができ、親の値の一覧に属する必要があります。

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 通常の変数

PUT `/documents/8022/variables/L9`

要求本文:

```
<variable qualification="Measure">
  <name>Updated variable</name>
  <description>updated description</description>
  <definition>[RevenueThreshold]*[Threshold factor]/10</definition>
</variable>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Variable" with identifier "L9" has been
  successfully updated.</message>
  <id>L9</id>
</success>
```

例: グループ化変数

PUT `/documents/6409/variables/L1`

要求本文:

```
<variable grouping="true">
  <groups>
    <group>
      <name>First Semester</name>
      <values>
        <value>1</value>
        <value>2</value>
        <value>3</value>
        <value>4</value>
        <value>5</value>
      </values>
    </group>
  </groups>
</variable>
```



```

        <value>6</value>
      </values>
    </group>
    <group>
      <name>Second Semester</name>
      <values>
        <value>7</value>
        <value>8</value>
        <value>9</value>
        <value>10</value>
        <value>11</value>
        <value>12</value>
      </values>
    </group>
  </groups>
</variable>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Variable" with identifier "L1" has been
  successfully updated.</message>
  <id>L1</id>
</success>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データオブジェクトの値の一覧の取得 \[597 ページ\]](#)

[ドキュメントの変数の取得 \[285 ページ\]](#)

8.1.15.7 変数の削除

用途

ドキュメントの変数辞書から変数を削除します。

変数がドキュメントのクエリによって使用されていないことを確認してください。

Request

DELETE/documents/<documentID>/variables/<variableID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/8022/variables/L9

```
<success>
  <message>The resource of type "Variable" with identifier "L9" has been
successfully deleted.</message>
  <id>L9</id>
</success>
```

8.1.16 リンクの管理

① 注記

リンクは、結合ディメンションを示します。結合ディメンションは、SAP BusinessObjects Web Intelligence で使用される用語です。

リンクを作成または変更するには、以下の条件を考慮する必要があります。

- ディメンション、属性、および階層のみをリンクできます。
- リンク先の式には、同じデータタイプが含まれている必要があります。
- リンク先の各式は、異なるデータプロバイダからのものである必要があります。
- リンク先の式は、別のリンクですでに使用されてはなりません。
- 分割された式にはリンクできません (クエリストリッピングは許可されていません)。
- 式には互換性がある必要があります。

互換性について

- すべてのカスタム式と変数は、他のすべての式と互換性があるとみなされてから、無視されます。
- メジャーは、常にすべての項目と互換性があります。
- ディメンション A がリンクされている場合は、リンクを含むフロー一覧のすべての式と互換性があります。
- 異なるフロー一覧からの 2 つのディメンションまたは属性には互換性はありません。ただし、上で説明したようにディメンションがリンクされている場合は除きます。

[ドキュメントのリンクの取得 \[295 ページ\]](#)

[リンクの詳細の取得 \[296 ページ\]](#)

[リンクの追加 \[297 ページ\]](#)

[リンクの編集 \[298 ページ\]](#)

[リンクの削除 \[299 ページ\]](#)

8.1.16.1 ドキュメントのリンクの取得

用途

ドキュメントリンクの辞書のコンテンツを取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/links

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: <id> および <name>によって識別される一連の<link>

例

GET /documents/8022/links

```
<links>
  <link dataType="String" qualification="Dimension">
    <id>LB</id>
    <name>Category</name>
  </link>
  <link dataType="String" qualification="Dimension">
    <id>L8</id>
    <name>City</name>
  </link>
  ...
  <link dataType="String" qualification="Dimension">
    <id>L6</id>
    <name>Year</name>
  </link>
</links>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.16.2 リンクの詳細の取得

用途

ドキュメントのリンクの説明を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/links/<linkID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: リンクは以下のように記述されます。

- <id>
- <name>
- <description>
- <linkedExpressions>

例

GET /documents/7738/links/L6

```
<link dataType="String" qualification="Dimension">
  <id>L6</id>
  <name>Year</name>
  <description>Year 2003 - 2006.</description>
  <dataSourceObjectId>DS0.D0bc</dataSourceObjectId>
  <formulaLanguageId>[Year]</formulaLanguageId>
  <linkedExpressions>
    <linkedExpression id="DP0.D0bc"/>
    <linkedExpression id="DP1.D0bc"/>
  </linkedExpressions>
</link>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントのリンクの取得 \[295 ページ\]](#)

8.1.16.3 リンクの追加

用途

ドキュメントの式の辞書に対してリンクを追加します。

Request

POST/documents/<documentID>/links

要求本文:

```
<link>
  <name>
  <linkedExpressions>
    <linkedExpression id="string" />
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/3422/links

要求本文:

```
<link>
  <name>new link</name>
  <linkedExpressions>
    <linkedExpression id="DP0.DObc" />
    <linkedExpression id="DP1.DObc" />
  </linkedExpressions>
</link>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Link" with identifier "L6" has been
  successfully created.</message>
  <id>L6</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.16.4 リンクの編集

用途

Web Intelligence ドキュメントのリンクを変更します。

Request

PUT/documents/<documentID>/links/<linkID>

要求本文:

```
<link>
  <id>
  <name>
  <description>
  <dataSourceObjectId>
  <formulaLanguageId>
  <linkedExpressions>
    <linkedExpression id="string" />
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/3422/links/L2

要求本文:

```
<link dataType="String" qualification="Dimension">
  <id>L6</id>
  <name>Year</name>
  <description>Year 2003 - 2006.</description>
  <dataSourceObjectId>DS0.DObc</dataSourceObjectId>
  <formulaLanguageId>[Year]</formulaLanguageId>
  <linkedExpressions>
```

```
<linkedExpression id="DP0.DObc"/>
<linkedExpression id="DP1.DObc"/>
</linkedExpressions>
</link>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Link" with identifier "L2" has been
  successfully updated.</message>
  <id>67</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントのリンクの取得 \[295 ページ\]](#)

8.1.16.5 リンクの削除

用途

ドキュメントをその ID で参照して、削除します。

Request

DELETE/documents/<documentID>/links/<linkID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/8022/links/L4

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Link" with identifier "L4" has been  
successfully removed.</message>  
<id>L4</id>  
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントのリンクの取得 \[295 ページ\]](#)

8.1.17 アラータおよびトラッカ設定の管理

アラータ

アラータは選択されたデータ内変更を追跡したり、変更されたデータの表示を設定するのに使用します。データの変更をフォーマットするためのカスタムアラータを作成するには、式言語を使用してください。データの変更に基づいた特別な計算を含めることができます。たとえば、メジャーの前の値と現在の値の差を表示する計算を含めることができます。

データ変更の追跡

データの変化を追跡するときは、基準点として特定のデータの最新表示を選択します。このデータは、参照データと呼ばれます。データの追跡を有効にすると、参照データに関するデータを表示できます。

自動またはマニュアルで変更を追跡するための書式設定。次のデータ変更の種類を追跡できます。

- 挿入されたデータ
- 削除されたデータ
- 変更されたデータ
- 増加した値
- 減少した値

自動データ追跡モードでは、現在のデータを最終の最新表示前のデータと常に比較します。これは、各最新表示の前に現在のデータを参照データとして設定し、自動的に実行されます。参照データは常に現在のデータの1つ前の最新表示です。自動データ追跡は、現在のデータを最終の最新表示前のデータと比較したい場合の定期配信ドキュメントに適しています。

手動データ追跡モードでは、参照データを手動で選択します。参照点が更新されるまで、このデータを参照点として使用し続けます。

[アラータの一覧の取得 \[301 ページ\]](#)

[アラータの詳細の取得 \[302 ページ\]](#)

[レポート要素のアラータの一覧の取得 \[303 ページ\]](#)

[アラータの追加 \[305 ページ\]](#)
[アラータの編集 \[307 ページ\]](#)
[レポート要素のすべてのアラータの編集 \[309 ページ\]](#)
[アラータの削除 \[310 ページ\]](#)
[レポート要素のすべてのアラータの削除 \[311 ページ\]](#)
[トラッカ設定の取得 \[312 ページ\]](#)
[トラッカ設定の作成 \[313 ページ\]](#)
[トラッカ設定の編集 \[315 ページ\]](#)
[トラッカ設定の削除 \[316 ページ\]](#)

8.1.17.1 アラータの一覧の取得

用途

ドキュメントに定義されているすべてのアラータの一覧を取得します

Request

GET/documents/<documentID>/alerters

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: アラータの一覧、以下の情報が含まれます。

- <id>
- <name>
- <description> (オプション)

例

GET /documents/1223/alerters

```
<alerters>
  <alerter>
    <id>1</id>
    <name>Sales Revenue</name>
```

```
        <description>Test 1</description>
    </alerter>
    <alerter>
        <id>2</id>
        <name>Profit Margin</name>
        <description>Test 2</description>
    </alerter>
</alerters>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.17.2 アラータの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのアラータの完全な説明を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/alerters/<alerterID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下によって識別されるドキュメントアラータの詳細:

- <id>
- <name>
- <description> (オプション)
- <rule>: ルールの定義
- <action>: ドキュメントの書式に影響を与える定義

例

GET /documents/8022/alerters/3

```
<alerter>
  <id>1</id>
  <name>Sales Revenue</name>
  <description>Test Raylight</description>
  <rule>
    <conditions>
      <condition expressionId="DP0.DO93" operator="Greater">
        <operand>2000000</operand>
      </condition>
    </conditions>
    <action>
      <data>
        <formula type="HyperLink">test</formula>
        <format type="Custom">
          <template positive="STANDARD"/>
        </format>
      </data>
      <style>
        <background>
          <color rgb="#ffff00"/>
        </background>
        <font rgb="#ff0000"/>
      </style>
    </action>
  </rule>
</alerter>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[アラータの一覧の取得 \[301 ページ\]](#)

8.1.17.3 レポート要素のアラータの一覧の取得

用法

タイプがセルのレポート要素で使用するアラータを返します。

要求

GET /documents/<documentId>/report/<reportId>/elements/<elementId>/alerters?
allInfo=<boolean>

値の意味:

- allInfo は、各アラータを選択してその詳細を取得するために使用される、オプションの論理値パラメータです。デフォルトでは、true に設定されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

詳細がない例

GET documents/7032/reports/1/elements/7/alerters

応答本文:

```
<alerters>
  <alerter>
    <id>1</id>
    <name>Sales Revenue</name>
    <description>Description of Sales revenue</description>
  </alerter>
  <alerter>
    ...
  </alerter>
</alerters>
```

すべてのアラータの詳細を含む例

GET /documents/7032/reports/1/elements/7/alerters?allInfo=true

応答本文:

```
<alerters>
  <alerter>
    <id>1</id>
    <name>Sales Revenue</name>
    <description>Description of Sales revenue</description>
    <rule>
      <id>1</id>
      <conditions>
        <condition expressionId="DP0.DO93" operator="Greater">
          <operand>2000000</operand>
        </condition>
      </conditions>
      <action>
        <style>
          <border>
            <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>

```

```

        <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
        <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
        <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background width="0.0" height="0.0">
        <color rgb="#ffff00"/>
    </background>
    <font size="0" face="default" italic="false" bold="false"
    strikethrough="false" underline="false" rgb="#ff0000"/>
    <alignment horizontal="Left" vertical="Bottom"
    wrapText="false"/>
    </style>
    </action>
    </rule>
    </alerter>
    <alerter>
        ...
    </alerters>

```

セルではないレポート要素での例

GET /documents/7032/reports/1/elements/2/alerters

応答本文:

```

HTTP Response Code: 400

<error>
  <error_code>WSR 00101</error_code>
  <message>The resource with identifier "2" is not of type "Cell".</message>
</error>

```

8.1.17.4 アラータの追加

用途

Web Intelligence ドキュメントにアラータを追加します。

Request

POST/documents/<documentID>/alerters

要求本文:

```

<alerter>
  <name>
  <description>
  <rule>
    <action>

```

① 注記

新しいアラータを作成する場合はアクションを指定する必要があります。空のアラータではエラーが発生します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/1223/alerters

要求本文:

```
<name>ciomplexalerter</name>
  <description>Adda complexe alerter using Raylight</description>
  <rule>
    <conditions>
      <condition expressionId="DP0.D093" operator="Greater">
        <operand>10</operand>
        <operand>20</operand>
      </condition>
      <condition expressionId="DP0.D093" operator="Greater">
        <target expressionId="DP0.D093" />
      </condition>
    </conditions>
    <action>
      <data>
        <formula type="HyperLink">my hyperlink</formula>
        <format type="Custom" sample="1 234,57">
          <template positive="STANDARD"/>
        </format>
      </data>
      <style>
        <border>
          <top thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
          <bottom thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
          <left thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
          <right thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
        </border>
        <background width="0" height="0">
          <color rgb="#00ff00"/>
          <image src="bores://00002">
            <alignment horizontal="Left" vertical="Top"/>
          </image>
        </background>
        <font size="12" face="Arial" italic="false" bold="false"
strikethrough="true"
          underline="true" rgb="#ff6600"/>
        <alignment horizontal="Center" vertical="Center"/>
      </style>
    </action>
  </rule>
  <rule>
    <expression>=&quot;hello&quot;</expression>
  </rule>
</alerter>
```

① 注記

フォントサイズは "ポイント" で表されます。

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Alerter" with identifier "2" has been
  successfully created.</message>
  <id>2</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[アラータの一覧の取得 \[301 ページ\]](#)

8.1.17.5 アラータの編集

用途

Web Intelligence ドキュメントのアラータの定義を更新します。

Request

PUT/documents/<documentID>/alerters/<alerterID>

要求本文:

```
<alerter>
  <id>
  <name>
  <description>
  <rule>
    <action>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/5022/alerters/2

要求本文:

```
<alerter>
  <name>Sample 2</name>
  <description>Add a complex alerter</description>
  <rule>
    <conditions>
      <condition expressionId="DP0.DO93" operator="Greater">
        <operand>20</operand>
      </condition>
      <condition expressionId="DP0.DO93" operator="Greater">
        <target expressionId="DP0.DO93" />
      </condition>
    </conditions>
    <action>
      <data>
        <formula type="HyperLink">my hyperlink</formula>
        <format type="Custom" sample="1 234,57">
          <template positive="STANDARD"/>
        </format>
      </data>
      <style>
        <border>
          <top thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
          <bottom thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
          <left thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
          <right thickness="Medium" rgb="#800000" style="Plain"/>
        </border>
        <background width="0" height="0">
          <color rgb="#00ff00"/>
          <image src="bores://00002">
            <alignment horizontal="Left" vertical="Top"/>
          </image>
        </background>
        <font size="12" face="Arial" italic="false" bold="false"
strikethrough="true"
          underline="true" rgb="#ff6600"/>
        <alignment horizontal="Center" vertical="Center"/>
      </style>
    </action>
  </rule>
</rule>
  <expression>=&quot;hello&quot;</expression>
</rule>
</alerter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Alerter" with identifier "2" has been
successfully updated.</message>
  <id>2</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.17.6 レポート要素のすべてのアラータの編集

用法

タイプがセルのレポート要素で使用するアラータの追加、削除、または並べ替えを行います。

要求

PUT /documents/<documentId>/report/<reportId>/elements/<elementId>/alerters

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

PUT /documents/7032/reports/1/elements/7/alerters

要求本文:

```
<element>
  <content>
    <alerters>
      <id>7</id>
      <id>2</id>
    </alerters>
  </content>
</element>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "7" has been
successfully updated.</message>
  <id>7</id>
</success>
```

不明なアラータを参照する例

PUT /documents/7032/reports/1/elements/7/alerters

要求本文:

```
<element>
  <content>
    <alerters>
      <id>123456</id>
    </alerters>
  </content>
</element>
```

応答本文:

```
HTTP Response Code: 404

<error>
  <error_code>WSR 00400</error_code>
  <message>The resource of type "Alerter" with identifier "123456" does not
  exist.</message>
</error>
```

8.1.17.7 アータの削除

用途

アラータを削除します。

Request

DELETE/documents/<documentID>/alerters/<alerterID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/5022/alerters/3

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Alerter" with identifier "3" has been  
successfully removed.</message>  
<id>3</id>  
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[アラータの一覧の取得 \[301 ページ\]](#)

8.1.17.8 レポート要素のすべてのアラータの削除

用法

タイプがセルのレポート要素で使用するすべてのアラータを削除します。

① 注記

アラータはドキュメントからは削除されません。

要求

DELETE /documents/<documentId>/report/<reportId>/elements/<elementId>/alerters

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

DELETE /documents/7032/reports/1/elements/7/alerters

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "7" has been
successfully updated.</message>
  <id>7</id>
</success>
```

8.1.17.9 トラッカ設定の取得

用途

ドキュメントの現在の追跡データ定義を取得します。このドキュメントで追跡データ機能が有効になっていない場合は、エラーを返します。

Request

GET /documents/<documentID>/tracker

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下のように記述された、追跡データ情報の定義。

- <tracker> の mode 属性は、追跡データ変更のモードを示します。
 - Auto: 前回のデータの最新表示との比較に基づいて、変更を表示します。
 - Manual: ユーザ参照からのデータの最新表示との比較に基づいて、変更を表示します。
- threshold 属性は数値データに対して表示変更のしきい値をパーセントで指定します。属性のタイプは double です。

例

GET /documents/8022/tracker

```
<tracker mode="Manual" referenceDate="2012-11-16T10:56:21.951+01:00">
  <added active="true">
    <background/>
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000aa"/>
  </added>
  <changed active="true">
    <background rgb="#aabbcc"/>
  </changed>
</tracker>
```

```

        <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000bb"/>
    </changed>
    <removed active="true">
        <background/>
        <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000cc"/>
    </removed>
    <increasing threshold="5.0" applyThreshold="false" active="true">
        <background rgb="#33cc33"/>
        <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false"/>
    </increasing>
    <decreasing threshold="8.0" applyThreshold="true" active="false">
        <background rgb="#33cc33"/>
        <style italic="true" bold="false" strikethrough="true" underline="true"/>
    </decreasing>
</tracker>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.17.10 トラッカ設定の作成

用途

ドキュメントの追跡データ機能を有効化します。

要求本文はオプションです。要求本文が指定されていない場合、追跡データはデフォルト設定により有効化されるか、または追跡データ機能が以前に有効化されたことがあれば以前の設定により有効化されます。

Request

POST/documents/<documentID>/tracker

要求本文:

```

<tracker mode="Manual" referenceDate="DateTime">
    <added>
    <changed>
    <removed>
    <increasing>
    <decreasing>

```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/8022/tracker

要求本文:

```
<tracker mode="Manual" referenceDate="2012-11-16T10:56:21.951+01:00">
  <added active="true">
    <background/>
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000aa"/>
  </added>
  <changed active="true">
    <background rgb="#aabbcc"/>
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000bb"/>
  </changed>
  <removed active="true">
    <background/>
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000cc"/>
  </removed>
  <increasing threshold="5.0" applyThreshold="false" active="true">
    <background rgb="#33cc33"/>
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false"/>
  </increasing>
  <decreasing threshold="8.0" applyThreshold="true" active="false">
    <background rgb="#33cc33"/>
    <style italic="true" bold="false" strikethrough="true" underline="true"/>
  </decreasing>
</tracker>
```

応答:

```
<success>
  <message> The resource of type "Tracker" has been successfully created for
the document.</message>
  <id>9917</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.17.11 トラッカ設定の編集

用途

ドキュメントの追跡データ機能を更新します。

アラータに適用されるスタイルを更新します。また、変更タイプのビジュアライゼーションを有効/無効にできます。追跡データ定義が指定されていない場合、モードは Manual に設定され、ドキュメントは参照用に設定されます。

要求本文はオプションです。指定されていない場合、デフォルト設定により有効化されるか、または追跡データが以前に有効化されたことがあれば以前の設定により有効化されます。

Request

PUT/documents/<documentID>/tracker

要求本文:

```
<tracker mode="Manual" referenceDate="DateTime">
  <added>
  <changed>
  <removed>
  <increasing>
  <decreasing>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/8022/tracker

XML ファイルの要求本文:

```
<tracker mode="Manual" referenceDate="2012-11-16T10:56:21.951+01:00">
  <added active="true">
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000aa"/>
  </added>
  <changed active="true">
    <background rgb="#aabbcc"/>
    <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000bb"/>
  </changed>
```

```

    <removed active="true">
      <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false" rgb="#0000cc"/>
    </removed>
    <increasing threshold="5.0" applyThreshold="false" active="true">
      <background rgb="#33cc33"/>
      <style italic="false" bold="true" strikethrough="false"
underline="false"/>
    </increasing>
    <decreasing threshold="8.0" applyThreshold="true" active="false">
      <background rgb="#33cc33"/>
      <style italic="true" bold="false" strikethrough="true" underline="true"/>
    </decreasing>
  </tracker>

```

応答:

```

<success>
  <message> The resource of type "Tracker" has been successfully updated for
the document.</message>
  <id>9917</id>
</success>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[トラッカ設定の取得 \[312 ページ\]](#)

8.1.17.12 トラッカ設定の削除

用途

ドキュメントの追跡データ機能を削除します。

Request

DELETE/documents/<documentID>/tracker

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/5022/tracker

```
<success>
  <message>The resource of type "Tracker" has been successfully removed.</
message>
  <id>9917</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.18 添付ファイルの管理

レポートの添付ファイルに関するタスクの実行を可能にする REST API が提供されています。

[添付ファイルの追加 \[317 ページ\]](#)

[添付ファイルの一覧の取得 \[319 ページ\]](#)

8.1.18.1 添付ファイルの追加

用途

ドキュメントに添付ファイルを追加します。

Request

POST/documents/<documentID>/attachments

要求タイプ: multipart/form-data

要求本文:

```
-----####boundary123456798
Content-Disposition: form-data; name="attachmentInfos"
Content-Type: application/xml
<attachment>
  <name>sales_report</name>
  <mimeType>image/png</mimeType> <!--Optional-->
  <size>123</size>
</attachment>
```

```
-----####boundary123456798
Content-Disposition: form-data; name="attachmentContent";
filename="logo_picture.png"
Content-Type: image/png
(Content of file)
-----####boundary123456798
```

マルチパートの本文要求では、少なくとも以下の2つのパートを使用できます。

- 添付ファイルに関する情報 (attachmentInfos)
- 添付ファイルの内容 (attachmentContent)

画像アップロードの場合、使用できる MIME タイプは以下のとおりです。

- image/png
- image/jpeg
- image/gif
- image/bmp

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

CURL コマンド:

```
curl -i -X "POST" -H "accept:application/xml"
-H "content-type:multipart/form-data" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%" -F
"attachmentInfos=@attachment.xml"
-F "attachmentContent=@<file_to_be_uploaded>" http://<serverName>:6405/biprws/
raylight/v1/documents/3422/attachments
```

要求本文:

```
<attachment>
  <mimeType>image/png</mimeType>
  <name>myResourceName</name>
  <description>myResourceDescription</description>
</attachment>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Attachment" has been successfully created.</
message>
  <id>9994</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.18.2 添付ファイルの一覧の取得

用途

ドキュメントの添付ファイルの一覧を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/attachments

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ドキュメントの添付ファイルの詳細。以下により、各添付ファイルが識別される。

- 添付ファイルの MIME タイプ <mimeType>
- ドキュメント名 <name>
- ドキュメントの説明 (存在する場合。存在しない場合、このタグは空白です) <description>

例

GET /documents/8022/attachments

```
<attachments>
  <attachment>
    <name>barometer.png</name>
    <size>13229</size>
    <releasemode>auto</releasemode>
    <md5hashcode>97B3E3B2745595A2CBA42CA825CCD656</md5hashcode>
    <mimeType>image/png</mimeType>
  </attachment>
  <attachment>
    <name>statistics.jpg</name>
    <size>18239</size>
    <releasemode>auto</releasemode>
    <md5hashcode>97B3E3B2745595A2CBA42CA825CCD656</md5hashcode>
    <mimeType>image/jpeg</mimeType>
  </attachment>
</attachments>
```

</attachments>

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.19 スナップショットの使用

スナップショットは、ドリルアクションの結果を含む既存のドキュメントのレポートです。スナップショットは、スナップショット ID トークンで識別されます。ドキュメントには以下のステータスがあります。

- オープン
- プロンプトの設定
- 最新表示
- 出力

これらのステータスは、ドキュメントの各変更の影響を受けます (前述のようなプロンプトワークフローの場合だけではありません)。たとえば、以下のような変更があります。

- ドリルワークフロー
- 変換
- レポートフィルタの操作
- 折りたたみ/展開

ストレージトークンは、スケジュールワークフローで使用できます。

[ドキュメントスナップショットの作成 \[320 ページ\]](#)

[スナップショットの一覧の取得 \[321 ページ\]](#)

[ドキュメントのスナップショットへの復元 \[322 ページ\]](#)

[ドキュメントスナップショットの削除 \[323 ページ\]](#)

[すべてのスナップショットの削除 \[324 ページ\]](#)

8.1.19.1 ドキュメントスナップショットの作成

用途

Web Intelligence ドキュメントのスナップショットを作成します。この呼び出しにより、新しく作成されたストレージトークンの識別子が返されます。

手順はカスタマイズでき、初期ステータスから結果ステータスの間で順序を入れ替えることができます。この操作は、元に戻す、やり直す、またはカスタムプロンプトダイアログボックスの実装として使用できます。

Request

POST/documents/<documentID>/snapshots

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST/documents/8022/snapshots

```
<success>
  <message>The resource of type "Snapshot" with identifier
  "we00000000e3667716ec10" has been successfully created.</message>
  <id>we00000000e3667716ec10</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.19.2 スナップショットの一覧の取得

用途

指定されたドキュメントのスナップショット ID の一覧を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/snapshots

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ドキュメントのスナップショット ID の一覧。 <snaphot> の id 属性がスナップショット ID です。

例

GET/documents/8022/snapshots

```
<snapshots maxStackSize="10">
  <snapshot id="we00000000d447acb133a0"/>
  <snapshot id="we00000000e5df6062ca2a"/>
  <snapshot id="we00010000dc73921d7b5d"/>
</snapshots>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.1.19.3 ドキュメントのスナップショットへの復元

用途

ドキュメントを、指定のスナップショットに対応する状態に復元します。

Request

PUT/documents/<document ID>?snapshotId=<snapshot ID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT/documents/5022?snapshotId=we00000000e5df6062ca2a

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "5022" has been
successfully updated.</message>
  <id>5022</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[スナップショットの一覧の取得 \[321 ページ\]](#)

8.1.19.4 ドキュメントスナップショットの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントの特定のスナップショットを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/snapshots/<snapshotID >

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/8022/snapshots/we00000000e3667716ec10

```
<success>
  <message>The resource of type "Snapshot" with identifier
"we00000000e3667716ec10" has been successfully removed.</message>
  <id>we00000000e3667716ec10</id>
```

```
</success>
```

8.1.19.5 すべてのスナップショットの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントのすべてのスナップショットを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/snapshots

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/8022/snapshots

```
<success>
  <message>The resource of type "Snapshot" has been successfully removed.</message>
</success>
```

ドキュメントにスナップショットがない場合は、HTTP 200 応答コードが次のメッセージとともに返されます。

```
<success>
  <message>Unable to find resources of type "Snapshot".</message>
</success>
```

8.1.20 オカレンスの使用

同じ Web Intelligence ドキュメントをメモリで複数回開くことができます。開かれた各ドキュメントは、オカレンスと呼ばれて、個別のライフサイクルを持ちます。すなわち、同じドキュメントのオカレンスをほかのオカレンスと無関係に変更、最新表示、および分析できます。

→ 注意

オカレンスは同じドキュメントに基づきます。したがって、CMS リポジトリに以前に保存されていたすべてのオカレンスは、最後に保存されたオカレンスによって上書きされます。

オカレンスの状態について

Web Intelligence ドキュメントのオカレンスの状態は以下のいずれかになります。

状態	説明
Original	オカレンスは、サーバにロードされましたが、変更されていません。ドキュメントを閉じて、使用可能なメモリを解放するには、オカレンスの状態を Unused に変更できます。
Modified	オカレンスがロードされて変更されました。オカレンスの状態を Unused に変更できます。ドキュメントを閉じて、使用可能なメモリを解放します。
Unused	unused オカレンスは WACS サーバにロードされなくなりました。
KeepAlive	ユーザがサーバを呼び出すことなくドキュメントを操作する場合にそのオカレンスを開いたまま保持し、サーバがタイムアウトしないようにします。

① 注記

KeepAlive は、疑似ステータスであり、オカレンスの実際のステータスは変更しません。

オカレンスを開くと、オカレンスの状態は Original になります。ドキュメントに対するすべての変更を破棄して、ドキュメントを閉じるには、オカレンスの状態を Modified または Original から Unused に移行できます。これにより、WACS サーバのメモリが解放されます。オカレンスが CMS リポジトリに保存されると、オカレンスの状態は Modified から Original に移行します。

Web Intelligence RESTful Web サービス SDK の使用

ドキュメントに適用される API をこのドキュメントのオカレンスにも適用できます。たとえば、GET /documents/<documentID>/occurrences/<occurrenceID>/reports/<reportID> を呼び出して、ドキュメントのオカレンスのレポート詳細を取得できます。

識別子 0 のオカレンスは、ドキュメント自体を参照します。たとえば、呼び出し /documents/<documentID>/reports/<reportID> は /documents/<documentID>/occurrences/0/reports/<reportID> と同じです。

[イベントの作成 \[326 ページ\]](#)

[オカレンスの一覧の取得 \[326 ページ\]](#)

[イベントの詳細の取得 \[327 ページ\]](#)

[オカレンスの更新 \[328 ページ\]](#)

8.1.20.1 イベントの作成

用途

特定の Web Intelligence ドキュメントのイベントを作成します。

要求

POST/documents/<documentID>/occurrences

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

```
<success>
  <message>The resource of type "Occurrence" with identifier "1" has been
successfully created.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

8.1.20.2 オカレンスの一覧の取得

用途

特定の Web Intelligence ドキュメントに利用可能なオカレンスの一覧を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/occurrences

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: <id> および <state> によって特定された一連の <occurrence>。

例: XML

```
<occurrences>
  <occurrence>
    <id>0</id>
    <state>Original</state>
  </occurrence>
</occurrences>
```

例: JSON

```
{
  "occurrences": {
    "occurrence": [ {
      "id": 0,
      "state": "Original"
    } ]
  }
}
```

8.1.20.3 イベントの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントの特定のイベントの詳細を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/occurrences/<occurrenceID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: <id> および <state> によって特定される <occurrence>。

例: XML

```
<occurrence>
  <id>0</id>
  <state>Original</state>
</occurrence>
```

例: JSON

```
{
  "occurrence": {
    "id": 0,
    "state": "Original"
  }
}
```

8.1.20.4 オカレンスの更新

用途

ID で参照されている Web Intelligence ドキュメントのオカレンスの状態を変更します。

要求

PUT/documents/<documentID>/occurrences/<occurrenceID>

要求本文:

```
<occurrence>
  <state>
```

→ 注意

要求本文はオプションです。<state> が存在する場合は、その他のタグは受け入れられません。

ドキュメントの状態の変更	結果
--------------	----

Original から Unused	オカレンスは変更されずに閉じられます。
--------------------	---------------------

ドキュメントの状態の変更 結果

Original から (本文なし、 オカレンスは変更されません。
または空の本文)

Modified から Unused オカレンスは更新されて閉じられます。

Modified から (本文なし、 オカレンスは更新されて CMS リポジトリに保存されます。
または空の本文)

値 `KeepAlive` では、ユーザがサーバを呼び出すことなくオカレンス进行操作する場合にドキュメントのオカレンスを開いたまま保持し、サーバがタイムアウトしないようにします。

① 注記

値 `KeepAlive` では、ドキュメントのオカレンスのステータスは変更されません。

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 変更されていないオカレンスを閉じる

`PUT/documents/8008/occurrences/1`

要求本文:

```
<occurrence>
  <state>Unused</state>
</occurrence>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Occurrence" with identifier "10082" has not
  been modified.</message>
  <id>10082</id>
</success>
```

例: オカレンスの存続を保持する

`PUT/documents/1357/occurrences/3`

要求本文:

```
<occurrence>
  <state>KeepAlive</state>
</occurrence>
```

応答本文

応答は、そのオカレンスのステータスに依存します。オカレンスのステータスが Original または Unused である場合、メッセージは以下のようになります。

```
<success>
  <message>The resource of type "Occurrence" with identifier "10084" has not
  been modified.</message>
  <id>10084</id>
</success>
```

オカレンスのステータスが Modified である場合、メッセージは以下のようになります。

```
<success>
  <message>The resource of type "Occurrence" with identifier "10084" has been
  successfully updated.</message>
  <id>10084</id>
</success>
```

インスタンスのタイムアウトが期限切れになり要求に失敗すると、その呼出では以下のメッセージが戻されます。

```
<error>
  <error_code>WSR 00402</error_code>
  <message>An error occurred when keeping the resource of type "Occurrence"
  with identifier "10084" alive.</message>
</error>
```

8.1.21 参照セルの使用

参照は、その定義と内容が別のセルに基づいている変数です。参照は、複雑な式を使用して得たセルのデータを活用するときに有用です。

以下は、参照セルに対して実行できるタスクです。

- ドキュメント内の参照セルの一覧を取得するか、特定の参照セルの定義を取得します。
- 参照セルを作成、更新、または削除します。

8.1.21.1 ドキュメントの参照セルの一覧の取得

用法

ドキュメントの利用可能な事前定義セルをすべて一覧表示します。

要求

GET /documents/<documentId>/refcells?allInfo=<boolean>

値の意味:

- allInfo は、参照セルに関する詳細を提供する、オプションの論理値パラメータです。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

詳細がない例

GET /documents/19323/refcells

応答本文 (XML):

```
<refcells>
  <refcell dataType="Numeric" qualification="Constant">
    <id>L1</id>
    <name>Sales revenues for 2014.</name>
  </refcell>
  <refcell dataType="Numeric" qualification="Constant">
    <id>L2</id>
    <name>Sales revenues for 2015.</name>
  </refcell>
</refcells>
```

応答本文 (JSON):

```
{
  "refcells": {
    "refcell": [{
      "@dataType": "Numeric",
      "@qualification": "Constant",
      "id": "L1",
      "name": "Sales revenues for 2014."
    }, {
      "@dataType": "Numeric",
      "@qualification": "Constant",
      "id": "L2",
      "name": "Sales revenues for 2015."
    }
  ]
}
```

詳細を含む例

GET /documents/19323/refcells?allInfo=true

応答本文 (XML):

```
<refcells>
  <refcell dataType="Numeric" qualification="Constant">
    <id>L1</id>
    <name>Sales revenues for 2014.</name>
    <formulaLanguageId>[Sales revenues for 2014.]</formulaLanguageId>
    <reference>G.8.2</reference>
    <reportId>16</reportId>
  </refcell>
  <refcell dataType="Numeric" qualification="Constant">
    <id>L2</id>
    <name>Sales revenues for 2015.</name>
    <description>This is a description for 'Sales revenues for 2015'.</
description>
    <formulaLanguageId>[Sales revenues for 2015.]</formulaLanguageId>
    <reference>G.8.1</reference>
    <reportId>16</reportId>
  </refcell>
</refcells>
```

応答本文 (JSON):

```
{
  "refcells": {
    "refcell": [{
      "@dataType": "Numeric",
      "@qualification": "Constant",
      "id": "L1",
      "name": "Sales revenues for 2014.",
      "formulaLanguageId": "[Sales revenues for 2014.]",
      "reference": "G.8.2",
      "reportId": 16
    }, {
      "@dataType": "Numeric",
      "@qualification": "Constant",
      "id": "L2",
      "name": "Sales revenues for 2015.",
      "description": "This is a description for 'Sales revenues for
2015'.",
      "formulaLanguageId": "[Sales revenues for 2015.]",
      "reference": "G.8.1",
      "reportId": 16
    }
  ]
}
```

8.1.21.2 参照セルの定義の取得

用法

参照セルの定義を取得します。

要求

GET /documents/<documentId>/refcells/<referencedCellId>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

GET raylight/v1/documents/19323/refcells/L2

応答本文 (XML):

```
<refcell dataType="Numeric" qualification="Constant">
  <id>L2</id>
  <name>Sales revenues for 2015.</name>
  <description>This is a description for 'Sales revenues for 2015'.</description>
  <formulaLanguageId>[Sales revenues for 2015.]</formulaLanguageId>
  <reference>G.8.1</reference>
  <reportId>16</reportId>
</refcell>
```

応答本文 (JSON):

```
{
  "refcell": {
    "@dataType": "Numeric",
    "@qualification": "Constant",
    "id": "L2",
    "name": "Sales revenues for 2015.",
    "description": "This is a description for 'Sales revenues for 2015'.",
    "formulaLanguageId": "[Sales revenues for 2015.]",
    "reference": "G.8.1",
    "reportId": 16
  }
}
```

8.1.21.3 新しい参照セルの追加

用法

参照セルを作成してそれをドキュメントディクショナリに追加するか、既存の参照セルを複製します。

要求

POST /documents/<documentId>/refcells?sourceIds=<string>

値の意味:

- sourceIds は、オプションのカンマ区切り文字列一覧パラメータで、複製対象の既存の参照セル識別子を一覧表示します。指定しない場合は、新しい参照セルの有効な定義が要求本文に含まれている必要があります。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

要求本文に定義を含めた参照セルの作成

POST /documents/19323/refcells

要求本文:

```
<refcell>
  <name>refcell example</name>
  <description>This is a description for this referenced cell.</description>
  <reference>G.8.2</reference>
</refcell>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Referenced Cell" with identifier "L3" has
  been successfully created.</message>
  <id>L3</id>
</success>
```

参照セルのコピー

POST /documents/19323/refcells?sourceIds=L2

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Referenced Cell" with identifier "L3" has
  been successfully created.</message>
  <id>L3</id>
</success>
```

複数の参照セルのコピー

POST /documents/19323/refcells?sourceIds=L1,L2,L1

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "19323" has been
successfully updated.</message>
  <id>19323</id>
</success>
```

8.1.21.4 参照セルの定義の編集

用法

既存の参照セルの名前または定義を編集します。

要求

PUT /documents/<documentId>/refcells/<referencedCellId>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

PUT raylight/v1/documents/19323/refcells/L2

要求本文:

```
<refcell>
  <description>This is an updated description.</description>
</refcell>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Referenced Cell" with identifier "L2" has
been successfully updated.</message>
  <id>L2</id>
</success>
```

8.1.21.5 参照セルの削除

用法

参照セルを削除します。

要求

DELETE /documents/<documentId>/refcells/<referencedCellId>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

DELETE raylight/v1/documents/19323/refcells/L1

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Referenced Cell" with identifier "L1" has
  been successfully removed.</message>
  <id>L1</id>
</success>
```

8.1.22 ドキュメントへのキャッシュエントリの追加

用途

ドキュメントにキャッシュエントリを追加します。

Request

POST /documents/<documentID>/cache

要求本文:

```
<cache>
  <output mimeType="application/pdf">
    <locale value="fr_FR"/>
    <locale value="de_DE"/>
  </output>
  <output mimeType="application/pdf">
    <locale value="en" />
  </output>
</cache>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/3422/cache

要求本文:

```
<cache>
  <output mimeType="application/pdf">
    <locale value="fr_FR"/>
    <locale value="de_DE"/>
  </output>
  <output mimeType="application/pdf">
    <locale value="en"/>
  </output>
</cache>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Cache" has been successfully updated.</
message>
  <id>3422</id>
</success>
```

8.2 レポートの管理

▲ 制限

次のワークフローはサポートされていません。

- ドキュメントレポートの表示/非表示状態の取得および設定
- ドキュメントレポートに表示される階層の折りたたみ/展開状態の取得および設定
- ドキュメントまたはレポートでのテキスト検索

[レポートの作成 \[338 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートの詳細の取得 \[341 ページ\]](#)

[レポートの移動 \[343 ページ\]](#)

[レポートのコピー \[344 ページ\]](#)

[レポートのプロパティの更新 \[345 ページ\]](#)

[レポートの削除 \[346 ページ\]](#)

[レポートのマップの取得 \[347 ページ\]](#)

[レポートのエクスポート \[348 ページ\]](#)

[共有要素 API \[358 ページ\]](#)

CMS リポジトリ、ドキュメント、またはレポートの共有要素を管理するための REST API。

[レポートの構造の更新 \[359 ページ\]](#)

[レポートのデータフィルタの管理 \[364 ページ\]](#)

[レポートの構造の取得 \[370 ページ\]](#)

[レポートコメントの管理 \[371 ページ\]](#)

8.2.1 レポートの作成

用途

指定された Web Intelligence ドキュメントのレポートを作成します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports

要求本文 (オプション):

```
<report>
```

```
<name>
```

説明:

- <name> は作成されるレポートの名前を指定する文字列です。指定されていない場合は、サービスによってレポートに自動的に名前が割り当てられます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML

POST /documents/12782/reports

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "2" has been
successfully created.</message>
  <id>2</id>
</success>
```

名前 "Report 2" および ID "2" が自動的に割り当てられました。

例: JSON

POST /documents/5152/reports

要求:

```
{ "report":
  { "name": "Chart Report" }
}
```

応答:

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type ¥"Report¥" with identifier ¥"6¥" has been
successfully created.",
    "id": 6 }
}
```

ID "6" が自動的に割り当てられます。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.2.2 レポートの一覧の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのレポートの一覧を取得します。

レポートは以下の項目により識別されます。

- id
- 参照

要求

GET/documents/<documentID>/reports

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文:

- レポートの <id>、<name>、および <reference>
- データの変更を表示するかどうかを表す <showDataChanges> 論理値

例: XML

GET /documents/12782/reports

応答:

```
<reports>
  <report>
    <id>1</id>
    <name>Cross Tab View</name>
    <reference>1.RS</reference>
    <showDataChanges>false</showDataChanges>
  </report>
  <report>
    <id>2</id>
```



```
<name>Simple charting view</name>
<reference>2.RS</reference>
<showDataChanges>false</showDataChanges>
</report>
</reports>
```

例: JSON

GET /documents/5152/reports

応答:

```
{ "reports":
  { "report": [
    { "id": 1, "name": "Basic
Charts", "reference": "1.RS", "showDataChanges": false },
    { "id": 2, "name": "Combination
Chart", "reference": "2.RS", "showDataChanges": false },
    { "id": 3, "name": "Custom Color
Palette", "reference": "3.RS", "showDataChanges": false },
    { "id": 4, "name": "Chart Property
Support", "reference": "4.RS", "showDataChanges": false },
    { "id": 5, "name": "Element
Linking", "reference": "5.RS", "showDataChanges": false } ]
  }
}
```

8.2.3 レポートの詳細の取得

用途

特定の ID によって指定されたレポートの詳細を取得します。

4.2 SP04 以降では、ページ付けモード ("QuickDisplay" または "Page") も返されます。

要求

GET /documents/<documentID>/reports/<reportID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文:

- レポートの <id>、<name>、および <reference>
- データの変更を表示するかどうかを表す <showDataChanges> 論理値
- レポートスタイルおよびページ設定 (定義されている場合)

例: XML

GET /documents/7858/reports/1

応答:

```
<report>
  <id>1</id>
  <name>Revenue by City</name>
  <reference>1.RS</reference>
  <showDataChanges>false</showDataChanges>
  <style>
    <hyperLinkColors visited="#000000" link="#0000ff" hover="#000000"
active="#000000"/>
  </style>
  <pageSettings>
    <margins left="2835" right="2835" top="2835" bottom="2835"/>
    <format orientation="Portrait" height="42094" width="29764"/>
    <records vertical="100" horizontal="20"/>
    <scaling factor="100"/>
  </pageSettings>
  <paginationMode>QuickDisplay</paginationMode>
</report>
```

例: JSON

GET /documents/5152/reports/5

応答:

```
{ "report":
  { "id": 5,
    "name": "Element Linking",
    "reference": "5.RS",
    "showDataChanges": false,
    "style":
      { "hyperLinkColors":
        { "@visited": "#000000", "@link": "#0000ff", "@hover": "#000000", "@active": "#000000" }
      },
    "pageSettings":
      { "margins":
        { "@left": "2835", "@right": "2835", "@top": "2835", "@bottom": "2835" },
        "format":
        { "@orientation": "Portrait", "@height": "42094", "@width": "29764" },
        "records": { "@vertical": "100", "@horizontal": "20" },
        "scaling": { "@factor": "100" }
      }
  }
}
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.4 レポートの移動

用途

Web Intelligence ドキュメント内でレポートを移動します。

要求

PUT /documents/<documentID>/reports?fromId=<fromID>&toId=<toID>

この場合、

- <fromID> は有効なレポート ID です (移動前)。
- <toID> は有効なレポート ID です (移動後)。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/12782/reports?fromId=1&toId=3

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "1" has been
successfully moved.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.5 レポートのコピー

用途

指定された Web Intelligence ドキュメントのレポートをコピーします。

① 注記

4.2 SP04 以降、作成時に 'showDataChanges' および 'showFolding' を指定できます。

要求

POST /documents/<documentID>/reports?fromId=<fromID>&keepDriller=<keepDriller>

説明:

- <fromID> はレポートの有効な ID です。
- <keepDriller> は、true (デフォルト) の場合、コピーされたレポートのドリルモードを保存します。ソースレポートがドリルモードの場合にのみ適用されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/14308/reports?fromId=2&keepDriller=false

応答:

```
<success>
  <message>Resource of type "Report" with identifier "2" has been successfully
  created.</message>
  <id>2</id>
```

```
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.6 レポートのプロパティの更新

用途

指定された Web Intelligence ドキュメントのレポートのプロパティを更新します。

4.2 SP04 以降では、レポートでの折りたたみを有効/無効にできます。

(showFoldingshowFolding("true","false"): レポートでの折りたたみを有効/無効にします)。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>

要求本文:

```
<report>
  <name>
  <showDataChanges>
```

レポート名および <showDataChanges> 値を変更できます (レポートでの show("true","false") 追跡データ)。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/9512/reports/67

要求本文 (XML ファイル):

```
<report>
  <name>New report name</name>
  <showDataChanges>true</showDataChanges>
</report>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "67" has been
  successfully updated.</message>
  <id="67"></id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.7 レポートの削除

用途

指定された Web Intelligence ドキュメントからレポートを削除します。

→ 注意

この操作は元に戻すことができません。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/7858/reports/9372

```
<success>
  <message>The resource of type "report" with identifier "9372" has been
  successfully removed.</message>
  <id>9372</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.8 レポートのマップの取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのレポートのマップを取得します。

レポートのマップは、ドキュメント内のレポート要素のすべてのインスタンスの一覧です。

要求

GET /documents/<documentID>/reports/<reportID>/map?reference=<nodeReference>

説明:

- <nodeReference> はマップノードの有効な参照です (オプション)。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: レポートマップのノード参照。

4.2 SP04 以降では、"final" 属性が各 <node> 要素に追加されています。"true" であればノードはリーフ、そうでなければ子付きのノードです。

例: レポートの完全なマップ参照を取得する

GET /documents/18809/reports/1/map

応答:

```
<map>
  <node reference="1.G.0" name="2004"/>
  <node reference="1.G.1" name="2005"/>
  <node reference="1.G.2" name="2006"/>
</map>
```

例: 4.2 SP04 のレポートのノードのマップ参照を取得する

GET /documents/7525/reports/1/map?reference=1.G.2

応答:

```
<map>
  <node name="California" reference="1.5.2.0" final="false"/>
  <node name="Colorado" reference="1.5.2.1" final="false"/>
  <node name="DC" reference="1.5.2.2" final="false"/>
  <node name="Florida" reference="1.5.2.3" final="false"/>
  <node name="Illinois" reference="1.5.2.4" final="false"/>
  <node name="Massachusetts" reference="1.5.2.5" final="false"/>
  <node name="New York" reference="1.5.2.6" final="false"/>
  <node name="Texas" reference="1.5.2.7" final="false"/>
</map>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.9 レポートのエクスポート

次のエクスポートができます。

- 1つのドキュメントとして、レポート全体
- ページ区切りモードのレポート (1 レポートページあたり 1 ファイル)
- レポートの 1 ページ

① 注記

4.2 SP4 以降では、ドリルモードとドリル出力モードの両方が少なくとも 1 つのレポートに対して有効になっている場合、ドリル情報が text/xml 出力に含まれます。

① 注記

4.2 SP4 より前では、dpi のデフォルト値は PDF の場合は 300、それ以外の出力タイプの場合は 96 に設定されていました。4.2 SP4 以降では、デフォルトの動作はサーバの設定を保持することです。

① 注記

4.2 SP4 より前では、Excel データ最適化のデフォルト値は false に設定されていました。4.2 SP4 以降では、デフォルトの動作はサーバの設定を保持することです。

[一覧モードでのレポートのエクスポート \[349 ページ\]](#)

[一連のページとしてのレポートのエクスポート \[352 ページ\]](#)

[レポートの 1 ページまたはページ範囲のエクスポート \[354 ページ\]](#)

8.2.9.1 一覧モードでのレポートのエクスポート

用途

以下の形式のいずれかでレポートをエクスポートします。

- HTML
- zip 形式で圧縮された HTML
- MHTML (マルチパート HTML)
- XML
- PDF
- Microsoft Excel 2003
- Microsoft Excel 2007
- CSV
- テキスト

① 注記

- HTML 形式を選択した場合、Web サービスによって画像リンクが生成されます。そのため、HTML 出力の表示時にログオントークンが有効である必要があります。
- REST API 呼び出しで User-Agent HTTP ヘッダを使用すると、HTML へのエクスポートがブラウザに対して最適化されます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>?<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明	サポートされる形式
dpi	生成されたチャートの解像度 (DPI: ドット数/インチ)。値は 75 と 9600 の間になります。デフォルト値は PDF 形式では 300、他のすべての形式では 96 です。	XML と CSV を除くすべて
chartOutputFormat	生成されるチャートの出力形式。値: jpeg、bmp、gif、および png (デフォルト)。	HTML、ZIP、および MHTML
imageUrl	情報システムからアクセスできない画像リンクのカスタマイズに使用される文字列	HTML
chartOutputFormat	生成されたチャートのレンダリング形式。 type=string、 values=" bmp " または " gif " または " png " または " jpeg ", default=" png "	HTML
fileName	ZIP ファイル名を定義する文字列。設定された場合、HTML 出力は fileName.zip ファイルに圧縮されます。文字列の最大長は 96 です。	ZIP
unit	サイズがレポートされる単位を定義する文字列。値は "metric"、"millimeter"、"point"、および "pixel" (デフォルト)。	XML
rawValues	論理値。デフォルトは false です。true の場合、ロー値とそのタイプが書式設定された値とともにエクスポートされます。	XML
optimized	論理値。デフォルトは false です。true の場合、生成される出力は Microsoft Excel 内の計算向けに最適化されます。	Microsoft Excel 2003 および Microsoft Excel 2007
textQualifier	各列の値を囲むために使用される文字。値は ' または " です。	CSV
columnDelimiter	列の間に追加される文字を定義する文字列。値は、カンマ (,)、セミコロン (;)、または特殊文字列 Tab です。	CSV
charset	文字セットの一覧から取得される有効なサーバ文字セットを定義する文字列。	CSV

画像リンクのカスタマイズ

システムで画像にアクセスできない場合、HTML でエクスポートされたレポートにおける画像のソースのカスタマイズが必要になることがあります。

```

</img>
```

そのためには、GET 呼び出しで適切な値の imageUrl パラメータを使用します。

```
GET /documents/6406/reports/1?
reference=1.D.7&imageUrl=http%3A%2F%2FmyServer%2FmyPage.jsp
```

その結果、画像リンクは以下のようになります。

```

</img>
```

応答

応答タイプ:

- text/html (HTML の場合)
- application/zip (圧縮 HTML の場合)
- multipart/related (MHTML の場合)
- text/xml
- application/pdf
- application/vnd.ms-excel (Microsoft Excel 2003 の場合)
- application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet (Microsoft Excel 2007 の場合)
- text/csv (CSV の場合)
- text/plain (テキストの場合)

応答本文: 指定された形式でエクスポートされたレポート。

例: HTML

```
curl -G -s -H "accept:text/html" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%" "
"<base_webi_REST_URL>/documents/9512/reports/67?chartOutputFormat=jpeg" >
exportedreport.htm
```

例: テキスト

```
GET /documents/7101/reports/1
```

```
Thread ID: 18
```

```

Accept: text/plain
Content-Type: text/plain
HTTP Response Code: 200
Response Time: 4709 ms
Response:
Report 1
Year      State      Lines      Sales revenue
2004      California Accessories $489,666
2004      California City Skirts $11,072
2004      California City Trousers $10,935
2004      California Dresses $110,210
...
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[文字セットの取得 \[269 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.9.2 一連のページとしてのレポートのエクスポート

用途

Web Intelligence ドキュメントのレポートを、次のうちいずれかの形式で一連のページとしてエクスポートします。

- XML
- PDF
- Microsoft Excel 2003
- Microsoft Excel 2007
- JSON 出力のテキスト/JSON

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages?<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明	サポートされる形式
dpi	生成されたチャートの解像度 (DPI: ドット数/インチ)。値は 75 と 9600 の間になります。デフォルト値は PDF 形式では 300、他のすべての形式では 96 です。	すべて

パラメータ	説明	サポートされる形式
mode	normal (デフォルト) または quickDisplay。	すべて
unit	サイズのレポートに使用される単位を定義する文字列。値は "metric"、"millimeter"、"point"、および "pixel" (デフォルト) です。	XML
rawValues	論理値。デフォルトは false です。true の場合、ロー値とそのタイプが書式設定された値とともにエクスポートされます。	XML
optimized	論理値。デフォルトは false です。true の場合、生成される出力は Microsoft Excel 内の計算向けに最適化されます。	Microsoft Excel 2003 および Microsoft Excel 2007
orientation	ページの方向。特定のページの向きを指定するために使用します。値は portrait および landscape です。	mode=normal の場合
widthScaling	レポート表示 1 回あたりのページ数 (幅)。デフォルトでドキュメント設定が適用されます。	mode=normal の場合
heightScaling	レポート表示 1 回あたりのページ数 (高さ)。デフォルトでドキュメント設定が適用されます。	mode=normal の場合

応答

応答タイプ:

- text/xml
- application/pdf
- application/vnd.ms-excel (Microsoft Excel 2003 の場合)
- application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet (Microsoft Excel 2007 の場合)

応答本文: 必要な形式のレポート。

例: XML

```
curl -G -s -H "accept:text/xml" -H X-SAP-LogonToken:"" <tokenValue>""
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/pages" > xmlreport.xml
```

例: PDF

```
curl -G -s -H "accept:application/pdf" -H X-SAP-LogonToken:"" <tokenValue>""
```

```
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/pages?mode=normal&widthScaling=1" > pdfreport.pdf
```

例: Microsoft Excel 2003

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.ms-excel" -H "X-SAP-LogonToken:" "<tokenValue>" "<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/pages" > excel2003.xls
```

例: Microsoft Excel 2007

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet" -H "X-SAP-LogonToken:" "<tokenValue>" "<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/pages" > excel2007.xlsx
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.9.3 レポートの 1 ページまたはページ範囲のエクスポート

用途

レポートの特定の 1 ページまたはページ範囲を以下の形式でエクスポートします。

- HTML
- zip 形式で圧縮された HTML
- MHTML (マルチパート HTML)
- XML
- PDF
- Microsoft Excel 2003
- Microsoft Excel 2007

① 注記

- HTML 形式を選択した場合、Web サービスによって画像リンクが生成されます。そのため、HTML 出力の表示時にログオントークンが有効である必要があります。

- REST API 呼び出しで User-Agent HTTP ヘッダを使用すると、HTML へのエクスポートがブラウザに対して最適化されます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/<pageRange>?
<optional_parameters>

説明:

- <pageRange> は、以下の構文で定義されるページ範囲です。
<pageRange> の説明:
 - <pageRange> = {subPageRange}[,{subPageRange}[,{subPageRange}...]]
 - <subPageRange> = {pageSequence} または {simplePage} または {slot} または {iRef}
 - <pageSequence> = {simplePage1}-{simplePage2} → レポートの simplePage1 から simplePage2 までのページ
 - <simplePage> = {pageNumber} または最後のページの "last"。先頭ページは 1 です。
 - <slot> = {x}:{y} → レポートのスロット x:y (x と y の下限値はどちらも 1 です)
 - <iRef>

① 注記

SAP BI 4.2 SP4 以降では、ページ番号ではなくページ範囲を使用できます。

例: GET/documents/<7610>/reports/<32>/pages/9-15,2:1,last,X.R.8.1,3

① 注記

<compositePageRange> (つまり、いくつかの subPageRanges をカンマで結合したもの) および pageSequence は、複数ページの出力をサポートしていないメディアタイプ (HTML、MHTML、ZIP) には使用できません。この場合、エラーがスローされます。

```
HTTP Response Code: 400
Response body:
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<error>
  <error_code>WSR 00100</error_code>
  <message>Rule not respected ("This media type does not support multiple
pages output.")</message>
</error>
```

→ 注意

レポートの最後のページをエクスポートするには、以下を使用します。

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/last

オプションパラメータ

パラメータ	説明	サポートされる形式
dpi	生成されたチャートの解像度 (DPI: ドット数/インチ)。値は 75 と 9600 の間になります。デフォルト値は PDF 形式では 300、他のすべての形式では 96 です。	すべて
mode	normal (デフォルト) または quickDisplay。	すべて
orientation	ページの方向。特定のページの向きを指定するために使用します。値は portrait および landscape です。	mode=normal の場合
widthScaling	レポート表示 1 回あたりのページ数 (幅)。デフォルトでドキュメント設定が適用されます。	mode=normal の場合
heightScaling	レポート表示 1 回あたりのページ数 (高さ)。デフォルトでドキュメント設定が適用されます。	mode=normal の場合
chartOutputFormat	生成されるチャートの出力形式。値: jpeg、bmp、gif、および png (デフォルト)。	HTML、ZIP および MHTML
imageUrl	情報システムからアクセスできない画像リンクのカスタマイズに使用される文字列	HTML
fileName	ZIP ファイル名を定義する文字列。設定された場合、HTML 出力は fileName.zip ファイルに圧縮されます。文字列の最大長は 96 です。	ZIP
unit	サイズがレポートされる単位を定義する文字列。値は "metric"、"millimeter"、"point"、および "pixel" (デフォルト) です。	XML
rawValues	論理値。デフォルトは false です。true の場合、ロー値とそのタイプが書式設定された値とともにエクスポートされます。	XML
optimized	論理値。デフォルトは false です。true の場合、生成される出力は Microsoft Excel 内の計算向けに最適化されます。	Microsoft Excel 2003 および Microsoft Excel 2007

画像リンクのカスタマイズ

システムで画像にアクセスできない場合、HTML でエクスポートされたページにおける画像のソースのカスタマイズが必要になることがあります。

```

</img>
```

そのためには、GET 呼び出しで適切な値の imageUrl パラメータを使用します。


```
GET /documents/6406/reports/1/pages/0?
reference=1.D.7&imageUrl=http%3A%2F%2FmyServer%2FmyPage.jsp
```

その結果、画像リンクは以下のようになります。

```

</img>
```

応答

応答タイプ:

- text/html
- application/zip (圧縮 HTML の場合)
- multi-part/related (MHTML の場合)
- text/xml
- application/pdf
- application/vnd.ms-excel (Microsoft Excel 2003 の場合)
- application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet (Microsoft Excel 2007 の場合)

応答本文: 必要な形式のレポート。

例: XML

```
curl -H "accept:text/xml" -H X-SAP-LogonToken:""<tokenValue>" "
"<base_webi_REST_URL>/documents/9646/reports/479/pages/1" > page1.xml
```

例: PDF

```
curl -H "accept:application/pdf" -H X-SAP-LogonToken:""<tokenValue>" "
"<base_webi_REST_URL>/documents/9646/reports/479/pages/2" > page2.pdf
```

例: Microsoft Excel 2003

```
curl -H "accept:application/vnd.ms-excel" -H X-SAP-LogonToken:""<tokenValue>" " "
```

```
"<base_webi_REST_URL>/documents/9646/reports/479/pages/3" > page3.xls
```

例: Microsoft Excel 2007

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet"
-H X-SAP-LogonToken:"" "<tokenValue>" " "<base_webi_REST_URL>/documents/9646/
reports/479/pages/1"
> page1.xlsx
```

8.2.10 共有要素 API

CMS リポジトリ、ドキュメント、またはレポートの共有要素を管理するための REST API。

次の表は、API のサポートが導入された 4.2 リリースを示しています。

ベース URL: http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1

パスパラメータ

- [<documentID>](#): ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- [<reportID>](#): レポートの一覧から取得されるレポート識別子
- [<elementID>](#): レポート要素の一覧から取得されるレポート要素識別子
- [<shardelementID>](#): 共有要素の一覧から取得される共有要素識別子

クエリパラメータ:

- [<shardelementId>](#): 共有要素の一覧から取得される共有要素識別子

[共有要素の管理 \[679 ページ\]](#) も参照してください。

CMS リポジトリの共有要素

アクション	メソッド	URL	サポート開始
共有要素の一覧の取得 [680 ページ]	GET	/shardelements	4.2 SP3
共有要素の詳細の取得 [682 ページ]	GET	/shardelements/<shardelementID>	4.2 SP3
共有要素の編集 [683 ページ]	PUT	/shardelements/<shardelementID>	4.2 SP3
共有要素の削除 [684 ページ]	DELETE	/shardelements/<shardelementID>	4.2 SP3

ドキュメントの共有エレメント

アクション	メソッド	URL	サポート開始
ドキュメントの共有要素一覧の取得 [685 ページ]	GET	/documents/<documentID>/sharedelements	4.2 SP3
ドキュメントのすべての共有要素の更新 [687 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/sharedelements	4.2 SP3
ドキュメントの共有要素の更新 [687 ページ]	PUT	/documents/<documentID>/sharedelements/<sharedelementID>	4.2 SP3

ドキュメントのレポート要素にリンクされた共有要素

アクション	メソッド	URL	サポート開始
共有要素からのレポート要素の作成 [391 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements?sharedelementId=<sharedelementId>	4.2 SP3
共有要素としてのレポート要素の保存 [688 ページ]	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sharedelement	4.2 SP3
レポート要素にリンクされた共有要素の詳細の取得 [689 ページ]	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sharedelement	4.2 SP3
共有要素とレポート要素のリンク解除 [690 ページ]	DELETE	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sharedelement	4.2 SP3

8.2.11 レポートの構造の更新

① 注記

Web Intelligence レポートコンテンツを取得する際に、レポート要素 API を使用する方法を優先します。 [レポート要素の管理 \[390 ページ\]](#)を参照してください。

用途

指定されたレポートのレポート構造を更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/specification

要求タイプ: text/xml

要求本文: レポート構造

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: レポート構造にセルを追加する

PUT /documents/2334/reports/23/specification

要求本文:

```
<REPORT rId="12" name="My First Cell">
  <PAGE_BODY>
    <CELL x="1000" y="1500">
      <CONTENT>="My First CELL"</CONTENT>
    </CELL>
  </PAGE_BODY>
</REPORT>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "23" has been
  successfully updated.</message>
  <id>23</id>
</success>
```

例: レポート構造に垂直テーブルを追加する

要求本文:

```
<REPORT name="Vertical Table">
  <PAGE_HEADER/>
  <PAGE_BODY>
    <VTABLE name="My Vertical Table" x="3037" y="4455">
      <ROWGROUP type="HEADER">
        <TR>
          <TDCELL>
            <CONTENT>=NameOf ( [ Country ] )</CONTENT>
          </TDCELL>
          <TDCELL>
            <CONTENT>=NameOf ( [ Revenue ] )</CONTENT>
          </TDCELL>
        </TR>
      </ROWGROUP>
      <ROWGROUP type="BODY">
        <TR>
          <TDCELL>
            <CONTENT>=[ Country ]</CONTENT>
          </TDCELL>
          <TDCELL>
            <CONTENT>=[ Revenue ]</CONTENT>
          </TDCELL>
        </TR>
      </ROWGROUP>
    </VTABLE>
  </PAGE_BODY>
</REPORT>
```

```

        </ROWGROUP>
        <ROWGROUP type="FOOTER">
            <TR>
                <TDCELL>
                    <CONTENT/>
                </TDCELL>
                <TDCELL>
                    <CONTENT>=[Revenue]</CONTENT>
                </TDCELL>
            </TR>
        </ROWGROUP>
    </VTABLE>
</PAGE_BODY>
<PAGE_FOOTER/>
</REPORT>

```

例: ブレークのある垂直テーブルを追加する

要求本文:

```

<REPORT name="Vertical Table And Break">
    <PAGE_HEADER/>
    <PAGE_BODY>
        <VTABLE name="Table And Break " x="3037" y="4455">
            <AXIS>
                <EXPRS>
                    <AXIS_EXPR>=[Country]</AXIS_EXPR>
                    <AXIS_EXPR>=[Resort]</AXIS_EXPR>
                </EXPRS>
                <BREAK bid="1" expr="=[Country]" addSort="yes" onePage="yes"
newPage="yes" duplicate="center"/>
            </AXIS>
            <ROWGROUP breakId="1" type="HEADER">
                <TR>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=NameOf ([Country])</CONTENT>
                    </TDCELL>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=NameOf ([Resort])</CONTENT>
                    </TDCELL>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=NameOf ([Revenue])</CONTENT>
                    </TDCELL>
                </TR>
            </ROWGROUP>
            <ROWGROUP type="BODY">
                <TR>
                    <TDCELL>
                        <STYLE>
                            <TEXTVALIGN value="center"/>
                        </STYLE>
                        <CONTENT>=[Country]</CONTENT>
                    </TDCELL>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=[Resort]</CONTENT>
                    </TDCELL>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=[Revenue]</CONTENT>
                    </TDCELL>
                </TR>
            </ROWGROUP>
            <ROWGROUP breakId="1" type="FOOTER">
                <TR>

```

```

        <TDCELL>
            <CONTENT>=[Country]</CONTENT>
        </TDCELL>
        <TDCELL><CONTENT/></TDCELL>
        <TDCELL><CONTENT/></TDCELL>
    </TR>
</ROWGROUP>
</VTABLE>
</PAGE_BODY>
<PAGE_FOOTER/>
</REPORT>

```

例: レポートに対するフィルタとテーブルに対するフィルタを持つ垂直テーブルを追加する

要求本文:

```

<REPORT name="Filter">
    <DATA>
        <DATA_FILTER>
            <WHERE>
                <FILTER key="[Country]">
                    <CONDITION operatorCondition="InList">
                        <MEMBER>France</MEMBER>
                    </CONDITION>
                </FILTER>
            </WHERE>
        </DATA_FILTER>
    </DATA>
    <PAGE_BODY>
        <VTABLE bId="17" name="Block 1" x="3749" y="3443">
            <AXIS>
                <EXPRS>
                    <AXIS_EXPR>=[Country]</AXIS_EXPR>
                    <AXIS_EXPR>=[Resort]</AXIS_EXPR>
                </EXPRS>
            </AXIS>
            <DATA>
                <DATA_FILTER>
                    <WHERE>
                        <FILTER key="[Resort]">
                            <CONDITION operatorCondition="InList">
                                <MEMBER>French Riviera</MEMBER>
                            </CONDITION>
                        </FILTER>
                    </WHERE>
                </DATA_FILTER>
            </DATA>
            <ROWGROUP type="HEADER">
                <TR height="567">
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=NameOf ( [Country] )</CONTENT>
                    </TDCELL>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=NameOf ( [Resort] )</CONTENT>
                    </TDCELL>
                    <TDCELL>
                        <CONTENT>=NameOf ( [Revenue] )</CONTENT>
                    </TDCELL>
                </TR>
            </ROWGROUP>
            <ROWGROUP type="BODY">

```

```

        <TR height="567">
            <TDCELL>
                <CONTENT>=[Country]</CONTENT>
            </TDCELL>
            <TDCELL>
                <CONTENT>=[Resort]</CONTENT>
            </TDCELL>
            <TDCELL>
                <CONTENT>=[Revenue]</CONTENT>
            </TDCELL>
        </TR>
    </ROWGROUP>
</VTABLE>
</PAGE_BODY>
</REPORT>

```

例: テーブルとセルを持つセクションを追加する

要求本文:

```

<REPORT name="Section & Filter">
    <DATA/>
    <PAGE_BODY>
        <ROW height="6255"/>
        <SECTION>
            <DATA>
                <DATA_FILTER>
                    <WHERE>
                        <FILTER key="[Country]">
                            <CONDITION operatorCondition="InList">
                                <MEMBER>France</MEMBER>
                            </CONDITION>
                        </FILTER>
                    </WHERE>
                </DATA_FILTER>
            </DATA>
            <AXIS>
                <SORTS>
                    <SORT sign="desc" expr="=[Country]"/>
                </SORTS>
                <AXIS_EXPR>=[Country]</AXIS_EXPR>
            </AXIS>
            <SBODY bottomPadding="3638" bookmark="yes">
                <CELL class="ia-section-cell" x="600" y="500">
                    <CONTENT>=[Country]</CONTENT>
                </CELL>
                <VTABLE name="Block 1" x="3749" y="500">
                    <DATA/>
                    <ROWGROUP type="HEADER">
                        <TR>
                            <TDCELL>
                                <CONTENT>=NameOf ([Resort])</CONTENT>
                            </TDCELL>
                            <TDCELL>
                                <CONTENT>=NameOf ([Revenue])</CONTENT>
                            </TDCELL>
                        </TR>
                    </ROWGROUP>
                    <ROWGROUP type="BODY">
                        <TR>
                            <TDCELL>
                                <CONTENT>=[Resort]</CONTENT>
                            </TDCELL>

```

```

                <TDCELL>
                    <CONTENT>=[Revenue]</CONTENT>
                </TDCELL>
            </TR>
        </ROWGROUP>
    </VTABLE>
</SBODY>
</SECTION>
<ROW height="1500" />
</PAGE_BODY>
</REPORT>

```

例: **hideAlways** 属性を持つセルを追加する

要求本文:

```

<REPORT name="Cell with hide always and Cell with hide conditional">
    <DATA/>
    <PAGE_BODY>
        <ROW height="2992" bottomPadding="0">
            <CELL x="7416" y="432" hideAlways="yes" width="15048" height="1547">
                <CONTENT>ALWAYS HIDE</CONTENT>
            </CELL>
            <CELL x="7416" y="2000" hideAlways="no"
hideExpr="=Count([Country])>3" width="15048" height="1547">
                <CONTENT>=Count([Country])>3</CONTENT>
            </CELL>
        </ROW>
    </PAGE_BODY>
</REPORT>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.12 レポートのデータフィルタの管理

レポートデータフィルタのタスクを実行するための一連の API が提供されています。

[データフィルタの作成 \[365 ページ\]](#)

[データフィルタの詳細の取得 \[366 ページ\]](#)

[データフィルタの更新 \[367 ページ\]](#)

[データフィルタの削除 \[369 ページ\]](#)

8.2.12.1 データフィルタの作成

用途

ID を参照して、指定のドキュメントのデータフィルタを作成します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter

要求本文: データフィルタの説明。key 属性は、レポートの formulaLanguageId 要素のいずれかである必要があります。

演算子は利用可能なレポートフィルタのいずれかです。

- Equal
- NotEqual
- Greater
- GreaterOrEqual
- Less
- LessOrEqual
- Between
- NotBetween
- InList
- NotInList
- IsNull
- IsNotNull
- IsAny
- Like
- NotLike
- 両方
- Except

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/127/reports/1/datafilter

要求本文:

```
<datafilter>
  <and>
    <condition key="[Lines]" operator="InList">
      <value>City Trousers</value>
      <value>Shirt Waist</value>
      <value>Jackets</value>
    </condition>
    <condition key="[State]" operator="NotEqual">
      <value>Colorado</value>
    </condition>
  </or>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Greater">
    <value>5000</value>
  </condition>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Less">
    <value>10</value>
  </condition>
</or>
</and>
</datafilter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "1" has been
  successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.12.2 データフィルタの詳細の取得

用途

ID を参照して特定のレポートのデータフィルタの説明を取得します。

要求

GET /documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: データフィルタの説明。key 属性は、レポートの formulaLanguageId 要素のいずれかである必要があります。

例

GET /documents/4567/reports/1/datafilter

応答:

```
<datafilter>
  <and>
    <condition key="[Lines]" operator="InList">
      <value>City Trousers</value>
      <value>Shirt Waist</value>
      <value>Jackets</value>
    </condition>
    <condition key="[State]" operator="NotEqual">
      <value>Colorado</value>
    </condition>
  </or>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Greater">
    <value>5000</value>
  </condition>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Less">
    <value>10</value>
  </condition>
</and>
</datafilter>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.12.3 データフィルタの更新

用途

URL パラメータで指定されたレポートに適用されたデータフィルタを更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter

要求本文: 更新するデータフィルタの説明。演算子は利用可能なレポートフィルタ条件のいずれかです。

- Equal
- NotEqual
- Greater
- GreaterOrEqual
- Less
- LessOrEqual
- Between
- NotBetween
- InList
- NotInList
- IsNull
- IsNotNull
- IsAny
- Like
- NotLike
- Both
- Except

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/223/reports/1/datafilter

要求本文:

```
<datafilter>
  <and>
    <condition key="[Lines]" operator="InList">
      <value>City Trousers</value>
      <value>Shirt Waist</value>
      <value>Jackets</value>
    </condition>
    <condition key="[State]" operator="NotEqual">
      <value>Colorado</value>
    </condition>
  </and>
</datafilter>
```

```
<or>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Greater">
    <value>5000</value>
  </condition>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Less">
    <value>10</value>
  </condition>
</or>
</and>
</datafilter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.12.4 データフィルタの削除

用途

ID を参照して、指定のドキュメントからデータフィルタを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/datafilter

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/9512/reports/67/datafilter

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "67" has been
successfully updated.</message>
  <id>67</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.13 レポートの構造の取得

① 注記

Web Intelligence レポートコンテンツを取得する際に、レポート要素 API を使用する方法を優先します。 [レポート要素の管理 \[390 ページ\]](#)を参照してください。

用途

レポートの構造を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/specification

応答

応答タイプ: text/xml

応答本文: レポート構造の説明:

例

GET /documents/2334/reports/23/specification

応答:

```
<REPORT rId="12" name="Report1">
  <PAGE_HEADER bId="1"/>
  <PAGE_BODY bId="2">
    <VTABLE y="100" x="100" bId="21" name="Table 1">
      <ROWGROUP type="header">
        <TR>
          <TDCELL bId="211"><CONTENT>=nameof ([ YEAR ])</CONTENT></TDCELL>
          <TDCELL bId="212"><CONTENT>=nameof ([ INCOME ])</CONTENT></
TDCELL>
        </TR>
      </ROWGROUP>
      <ROWGROUP type="body">
        <TR>
          <TDCELL bId="213"><CONTENT>= [ YEAR ]</CONTENT></TDCELL>
          <TDCELL bId="214"><CONTENT>= [ INCOME ]</CONTENT></TDCELL>
        </TR>
      </ROWGROUP>
    </VTABLE>
  </PAGE_BODY>
  <PAGE_FOOTER bId="3"/>
</REPORT>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.2.14 レポートコメントの管理

レポートまたはレポート内のある範囲のページに対するコメントを表示できます。

関連情報

[レポートの管理 \[338 ページ\]](#)

[レポートのページ範囲の表示可能なコメントの取得 \[373 ページ\]](#)

8.2.14.1 レポートの表示可能なコメントの取得

用途

この呼び出しは、Web Intelligence ドキュメントのレポートの表示可能なコメントを返します。これにはページ区切りモードにおける指定したレポートのエクスポートが含まれ、生成された出力のコメントのみが返されます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/comments

パラメータ

必須

- <documentID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。

オプション

- <mode>: (type=string、values="normal"、または "quickDisplay"、default="normal")
- <orientation>: (type=string、values="portrait"、または "landscape") 指定された場合はページの方角を強制します。
- <widthScaling>: (type=integer、min=0、default=the settings in the original document) レポート表示 1 回あたりのページ数 (幅)、0 は幅に制約がないことを示します。
- <heightScaling>: (type=integer、min=0、default=the settings in the original document) レポート表示 1 回あたりのページ数 (高さ)、0 は高さに制約がないことを示します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML

[GET] <url>/documents/22684/reports/19/pages/comments

応答:

```
<comments>
  <comment>
```



```

<id>80</id>
<created>2016-08-16T15:18:03.000Z</created>
<updated>2016-08-16T15:18:03.000Z</updated>
<createdBy>
  <name>raylight_user</name>
  <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
</createdBy>
<lastAuthor>
  <name>raylight_user</name>
  <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
</lastAuthor>
<value>Comments from the report are here.</value>
<element>
  <id>4</id>
  <reference>J.4</reference>
</element>
</comment>
...
</comments>

```

8.2.14.2 レポートのページ範囲の表示可能なコメントの取得

用途

この呼び出しは、Web Intelligence ドキュメントのレポートのページ範囲の表示可能なコメントを返します。これには指定したページ範囲のエクスポートが含まれ、生成された出力のコメントのみが返されます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/pages/<pageRange>/comments

パラメータ

必須

- <documentID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- <pageRange>: (type=integer) 有効なページ範囲。[レポートページ範囲について \[374 ページ\]](#) を参照してください。

オプション

- <mode>: (type=string、values="normal"、または "quickDisplay"、default="normal")
- <orientation>: (type=string、values="portrait"、または "landscape") ページの方向を強制します。
- <widthScaling>: (type=integer、min=0、default=the settings in the original document) レポート表示 1 回あたりのページ数 (幅)、0 は幅に制約がないことを示します。

- `<heightScaling>`: (type=integer、min=0、default=the settings in the original document) レポート表示 1 回あたりのページ数 (高さ)、0 は高さに制約がないことを示します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML

[GET] `<url>/documents/22684/reports/19/pages/1/comments`

応答:

```
<comments>
  <comment>
    <id>80</id>
    <created>2016-08-16T15:18:03.000Z</created>
    <updated>2016-08-16T15:18:03.000Z</updated>
    <createdBy>
      <name>raylight_user</name>
      <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
    </createdBy>
    <lastAuthor>
      <name>raylight_user</name>
      <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
    </lastAuthor>
    <value>Comments in the document.</value>
    <element>
      <id>4</id>
      <reference>J.4</reference>
    </element>
  </comment>
  ...
</comments>
```

8.2.14.2.1 レポートページ範囲について

4.2 SP04 以降では、pageIndex はより用途の広い pageRange パラメータに置き換えられています。

パラメータ値

- pageRange = {subPageRange}[,{subPageRange}[,{subPageRange}...]]
- subPageRange = {pageSequence} または {simplePage} または {slot} または {iRef}
- pageSequence = {simplePage1}-{simplePage2} → レポートの simplePage1 から simplePage2 までのページ

- `simplePage = {pageNumber}` または `"last"` → 先頭ページは引き続き 1
- `slot = {x}:{y}` → レポートのスロット `x:y` (`x` と `y` の下限値はどちらも 1) (スロットの説明については、添付のページを参照)
- `iRef` = レポート要素 (のインスタンス) の参照。 (4.2 SP4 以降)

例

[GET] /documents/7610/reports/32/pages/9-15,2:1,last,X.R.8.1,3

① 注記

`CompositePageRange` (つまり、いくつかの `subPageRanges` をカンマで結合したもの) および `pageSequence` は、複数ページの出力をサポートしていないメディアタイプ (HTML、MHTML、ZIP) には使用できません。この場合、エラーがスローされます。

```
HTTP Response Code: 400
Response body:
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<error>
  <error_code>WSR 00100</error_code>
  <message>Rule not respected ("This media type does not support multiple
pages output.")</message>
</error>
```

8.3 レポートデータのドリル操作

レポートに表示されている結果を分析するには、ドリル機能を使用します。レポートをドリルすることでテーブル、チャートまたはセクションに表示されているデータを掘り下げ、要約された結果に隠れている詳細な内容を発見できます。

[ドリルモードの取得 \[376 ページ\]](#)

[ドリルモードの更新 \[377 ページ\]](#)

[クエリドリルの有効化 \[378 ページ\]](#)

[クエリドリルの無効化 \[379 ページ\]](#)

[ドリル階層での情報の取得 \[380 ページ\]](#)

[空きドリル要素の取得 \[381 ページ\]](#)

[ドリルフィルタの作成 \[382 ページ\]](#)

[レポートのドリルフィルタの取得 \[383 ページ\]](#)

[ドリルフィルタの詳細の取得 \[384 ページ\]](#)

[ドリルフィルタの更新 \[386 ページ\]](#)

[ドリルフィルタの削除 \[387 ページ\]](#)

[ドリルの実行 \[388 ページ\]](#)

8.3.1 ドリルモードの取得

用途

現在のドリル情報を取得します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ドリル設定、<output> が指定するドリルモード (true または false)。

例

GET /documents/4567/reports/1/driller

応答:

```
<driller>
  <output>true</output>
</driller>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.2 ドリルモードの更新

用途

レポートのドリルモードを更新します。

要求

PUT /documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller

要求本文:

```
<driller>
  <output>
```

<output> は、ドリルモード (true または false) を指定します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/3422/reports/2/driller

要求本文:

```
<driller>
  <output>false</output>
</driller>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Driller" has been successfully updated.</
message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.3 クエリドリルの有効化

用途

レポートでのドリルを有効にします。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller

要求本文 (オプション):

```
<driller>
  <output>
```

<output> は、ドリルモード (true|false) を指定します。指定されていない場合、デフォルトの設定 (true) でドリルが有効化されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/4567/reports/1/driller

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Driller" has been successfully created.</
message>
  <id>2</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.4 クエリドリルの無効化

用途

指定されたレポートでのドリルを無効にします。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /8022/reports/1/driller

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Driller" has been successfully removed.</
message>
  <id>2</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.5 ドリル階層での情報の取得

用途

ドリル階層を取得します。

このレポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/hierarchies

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ドリル階層の詳細。

例

GET /documents/4567/reports/1/driller/hierarchies

応答:

```
<hierarchies>
  <hierarchy>
    <id>DP0.DH1</id>
    <name>Resort Hierarchy</name>
    <dataProviderId>DP0</dataProviderId>
    <elements>
      <element>
        <id>DP0.DO39</id>
        <name>Country</name>
        <description></description>
        <filterValue></filterValue>
        <qualification>dimension</qualification>
        <inQuery>false</inQuery>
        <ambiguous>false</ambiguous>
        <inScope>true</inScope>
      </element>
      <element>
        <id>DP0.DO2</id>
        <name>Resort</name>
        <description></description>
        <filterValue></filterValue>
        <qualification>dimension</qualification>
        <inQuery>false</inQuery>
        <ambiguous>false</ambiguous>
        <inScope>true</inScope>
      </element>
    </elements>
  </hierarchy>
</hierarchies>
```



```

    <element>
      <id>DP0.DO4</id>
      <name>Service Line</name>
      <description></description>
      <filterValue></filterValue>
      <qualification>dimension</qualification>
      <inQuery>false</inQuery>
      <ambiguous>false</ambiguous>
      <inScope>true</inScope>
    </element>
    <element>
      <id>DP0.DO5</id>
      <name>Service</name>
      <description></description>
      <filterValue></filterValue>
      <qualification>dimension</qualification>
      <inQuery>false</inQuery>
      <ambiguous>false</ambiguous>
      <inScope>true</inScope>
    </element>
  </elements>
</hierarchy>
</hierarchies>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.6 空きドリル要素の取得

用途

空きドリル要素を取得します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/drillelements

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 使用可能な、レポートのドリル要素の詳細。

- qualification
- <id>
- <name>

例

GET /documents/4567/reports/1/driller/drillelements

応答:

```
<drillelements>
  <drillelement qualification="Dimension" inQuery="false" ambiguous="false"
inScope="true">
    <id>DP0.DO39</id>
    <name>Country</name>
  </drillelement>
  <drillelement qualification="Dimension" inQuery="false" ambiguous="false"
inScope="true">
    <id>DP0.DO2</id>
    <name>Resort</name>
  </drillelement>
  <drillelement qualification="Dimension" inQuery="false" ambiguous="false"
inScope="true">
    <id>DP0.DO4</id>
    <name>Service Line</name>
  </drillelement>
  <drillelement qualification="Dimension" inQuery="false" ambiguous="false"
inScope="true">
    <id>DP0.DO5</id>
    <name>Service</name>
  </drillelement>
</drillelements>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.7 ドリルフィルタの作成

用途

レポートのドリルフィルタを作成します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters

要求本文: レポートドリルフィルタの ID と値

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/127/reports/1/driller/filters

要求本文:

```
<filter>
  <id>DP1.DO22</id>
  <value>France</value>
</filter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "DrillFilter" with identifier "DP1.DO22" has
  been successfully created.</message>
  <id>DP1.DO22</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.8 レポートのドリルフィルタの取得

用途

レポートのドリルフィルタの一覧を取得します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: レポートに対して使用可能なフィルタの説明

例

GET /documents/4567/reports/1/driller/filters

応答:

```
<filters>
  <filter qualification="Dimension" inQuery="false" ambiguous="false"
inScope="true">
    <id>DP0.DO39</id>
    <name>Country</name>
  </filter>
</filters>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.9 ドリルフィルタの詳細の取得

用途

レポートのドリルフィルタの詳細を取得します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

GET /documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ドリルフィルタの説明。

例

GET /documents/13343/reports/1/driller/filters/DP0.D013

応答:

```
<filter qualification="Dimension" inQuery="false" ambiguous="false"
inScope="true">
  <id>DP0.D013</id>
  <name>City</name>
  <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="false">
    <values>
      <value>Albertville</value>
      <value>Augsburg</value>
      <value>Belfast</value>
      . . .
      <value>Washington D.C.</value>
      <value>Yokohama</value>
    </values>
    <columns mappingId="0">
      <column id="0" type="String"></column>
    </columns>
  </lov>
</filter>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートのドリルフィルタの取得 \[383 ページ\]](#)

8.3.10 ドリルフィルタの更新

用途

レポートのドリルフィルタの定義を更新します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>

要求本文: 更新するドリルフィルタ。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/223/reports/2/driller/filters/DP2.011

要求本文:

```
<filter>
  <value>Germany</value>
</filter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "DrillFilter" with identifier "DP2.011" has
  been successfully updated.</message>
  <id>DP2.011</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートのドリルフィルタの取得 \[383 ページ\]](#)

8.3.11 ドリルフィルタの削除

用途

レポートのドリルフィルタを削除します。

レポートでドリルが有効になっていない場合は、エラーを返します。

要求

DELETE /documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/9512/reports/67/driller/filters/DP5.012

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "DrillFilter" with identifier "DP5.012" has
  been successfully deleted.</message>
  <id>DP5.012</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートのドリルフィルタの取得 \[383 ページ\]](#)

8.3.12 ドリルの実行

用途

レポートでのドリルを実行します。

これは、リソースが作成されていない場合、またはパラメータが無効な場合にエラーを返します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/instructions

要求本文: ドリル指示。ドリル指示は、以下から作成されます。

- 指示タイプ ("Down"、"Up"、または "By" のいずれか)
- ドリルを実行するレポート要素の ID
- ドリルを実行するドリル要素

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/9512/reports/67/driller/instructions

要求本文:

```
<instruction type="Down">
  <elementId>11</elementId>
  <from>
    <drillElement>
      <id>DP0.DO2</id>
      <filterValue>French Riviera</filterValue>
    </drillElement>
  </from>
  <to>
    <drillElement>
      <id>DP0.DO4</id>
      <hierarchyId>DP0.DH1</hierarchyId>
    </drillElement>
  </to>
</instruction>
```


応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "DrillerInstruction" has been successfully
created.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.3.13 ドリルモードでのレポートのスナップショットの作成

用途

ドリルモードで、レポートのスナップショットを作成します。

これは、リソースが作成されていない場合、またはパラメータが無効な場合にエラーを返します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/snapshot

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/7738/reports/12/driller/snapshot

応答:

```
<success>
  <message>Resource of type "Report" with identifier "12" has been
successfully created.</message>
```

```
<id>12</id>  
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.4 レポート要素の管理

[レポート要素の作成 \[391 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

[レポート要素の詳細の取得 \[399 ページ\]](#)

[レポート要素の背景の取得 \[410 ページ\]](#)

[レポート要素のデータパスの取得 \[411 ページ\]](#)

[レポート要素のデータセットの取得 \[416 ページ\]](#)

[階層メンバーの詳細の取得 \[421 ページ\]](#)

[レポート要素の更新 \[422 ページ\]](#)

[テーブルへの行または列の挿入 \[429 ページ\]](#)

[テーブルセルの結合または分割 \[430 ページ\]](#)

[セクションとしてのテーブルのセルの設定 \[431 ページ\]](#)

[レポート要素のエクスポート \[432 ページ\]](#)

[レポート要素の削除 \[437 ページ\]](#)

[レポート要素の順序付け \[439 ページ\]](#)

[軸の使い方 \[440 ページ\]](#)

[順位の操作 \[464 ページ\]](#)

[計算の使用 \[468 ページ\]](#)

[カスタムプロパティの使用 \[473 ページ\]](#)

[レポート要素のデータフィルタの管理 \[478 ページ\]](#)

[並べ替えの使用 \[484 ページ\]](#)

[レポート要素コメントの管理 \[493 ページ\]](#)

8.4.1 レポート要素の作成

用途

次のうちいずれかのレポート要素を作成します。

- セル (テーブルのセル以外のフリーセルのみ)
- セクション
- テーブル (VTable、HTable、XTable、およびフォーム)
- ビジュアライゼーション (チャート)
- カスタム要素
- 共有要素から

→ 注意

ページゾーン要素およびタイプがセルのテーブル要素は作成できません。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements?<optional_parameters>

オプションパラメータ

オプションパラメータ	説明
unit	サイズ、パディング、位置などすべてのディメンション値に使用される測定単位を定義する文字列型のオプションのパラメータ。値は、metric (デフォルト)、inch、および centimeter です。
sharedelementId	CMS リポジトリの共有要素の有効な識別子を示す整数パラメータ。最小値は1です。共有要素がドキュメントに挿入されます。

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文: 要素の有効な定義。チャートの場合は [チャート応答のボディスキーマ \[70 ページ\]](#) を参照してください。

すべてのタイプのレポート要素に共通する設定と、レポート要素タイプ固有の設定があります。これらの固有設定は、content タグで囲まれています。要素が追加され、ID が要素に割り当てられます。

共有要素からレポート要素を作成するときに、要求本文は必要ありません。

→ 注意

- レポート要素とその式を作成するか、空のレポート要素を作成し、2 回目の呼び出しで PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions を使用して式を追加することができます。
- PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID> を呼び出すことによって、作成したレポート要素のタイプを変更できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: セル

POST /documents/127/reports/1/elements?unit=inch

要求本文で、セルディメンション、余白および内容を定義します。

```
<element type="Cell">
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalWidth="2.23" minimalHeight="3.56" autofitWidth="false"
autofitHeight="true"/>
  <padding left="0.069" right="0.069" top="0.069" bottom="0.069"/>
  <content>
    <expression>
      <formula type="Text" dataType="Numeric">=Sum([Sales revenue])</
formula>
    </expression>
  </content>
</element>
```

例: セクション

POST /documents/127/reports/1/elements

要求本文で、重複行集計の管理方法および式を定義します。

```
<element type="Section">
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalHeight="1000"/>
  <padding bottom="1000"/>
  <position repeatOnEveryVerticalPage="true"/>
  <style>
    <background>
      <color rgb="#0000ff"/>
    </background>
  </style>
  <content>
    <axes duplicateRowAggregation="true">
      <axis role="Row">
        <expressions>
          <formula dataType="String">=[Year]</formula>
        </expressions>
      </axis>
    </axes>
  </content>
</element>
```

例: テーブル

POST /documents/14695/reports/1/elements

要求本文:

```
<element type="XTable">
  <parentId>2</parentId>
  <content>
    <axes>
      <axis role="Row">
        <expressions>
          <formula dataType="String">=[Country]</formula>
          <formula dataType="String">=[Year]</formula>
        </expressions>
      </axis>
      <axis role="Column">
        <expressions>
          <formula dataType="String">=[Resort]</formula>
          <formula dataType="String">=[Service]</formula>
        </expressions>
      </axis>
      <axis role="Body">
        <expressions>
          <formula dataType="Numeric">=[Number of guests]</formula>
          <formula dataType="Numeric">=[Revenue]</formula>
        </expressions>
      </axis>
    </axes>
  </content>
</element>
```

例: チャート

POST /documents/13069/reports/6/elements?unit=centimeter

要求本文:

```
<element type="Visualization">
  <parentId>2</parentId>
  <content>
    <chart type="HorizontalBar">
      <axes>
        <axis role="Color">
          <expressions>
            <formula dataType="String">=[Resort]</formula>
            <formula dataType="String">=[Country]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="Category">
          <expressions>
            <formula dataType="String">=[Year]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="Value">
          <expressions>
            <formula dataType="Numeric">=[Revenue]</formula>
          </expressions>
        </axis>
      </axes>
    </chart>
  </content>
</element>
```

```
</chart>
</content>
</element>
```

例: 空のカスタム要素

カスタム要素タイプとサーバ識別子は必須です。

POST /documents/13060/reports/6/elements?unit=centimeter

要求本文:

```
<element type="Custom">
  <parentId>2</parentId>
  <content>
    <custom type="google" serverId="Delegated_Rendering_Server">
    </custom>
  </content>
</element>
```

例: 式を含むカスタム要素

カスタム要素タイプとサーバ識別子は必須です。

POST /documents/13069/reports/6/elements

要求本文:

```
<element type="Custom">
  <parentId>2</parentId>
  <content>
    <custom type="area" serverId="Delegated_Rendering_Server">
      <axes>
        <axis role="category-axis">
          <expressions>
            <formula dataType="String">=[Resort]</formula>
            <formula dataType="String">=[Country]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="region-color">
          <expressions>
            <formula dataType="String">=[Year]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="primary-values">
          <expressions>
            <formula dataType="Numeric">=[Revenue]</formula>
          </expressions>
        </axis>
      </axes>
    </custom>
  </content>
</element>
```

例: 共有要素から

POST /documents/8192/reports/2/elements?sharedelementId=8190

要求本文なし。

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "4" has been
  successfully created.</message>
  <id>4</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の詳細の取得 \[399 ページ\]](#)

[共有要素の管理 \[679 ページ\]](#)

8.4.2 レポート要素の一覧の取得

用途

特定のレポートの要素を取得します。

レポート要素は以下の項目により識別されます。

- id
- リファレンス

要求

GET /documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements?
unit=<unit>&allInfo=<boolean>

説明:

- <unit> は文字列型のオプションのパラメータです。このパラメータによって、サイズ、パディング、位置などすべてのディメンション値に使用される測定単位が定義されます。値は、metric (デフォルト)、inch および centimeter です。
- <allInfo> は、type=boolean (default=false) のオプションのパラメータです。true に設定すると、各レポート要素の詳細が含まれます。4.2 SP04 以降で使用できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の情報が含まれるレポート要素の一覧。

- <id>
- <name>
- <reference>
- <size>
- <position>
- <padding>
- type 属性。設定可能な値は PageZone、Cell、VTable、HTable、XTable、Form、Visualization、および Custom。

例: XML

GET /documents/6528/reports/1/elements?unit=centimeter

応答:

```
<elements>
  <element type="Cell">
    <id>14</id>
    <reference>1.E</reference>
    <name>Block 2</name>
    <parentId>1</parentId>
    <size minimalWidth="7.772" minimalHeight="0.483" autofitWidth="false"
autofitHeight="true"/>
    <position x="15.322" y="0.104" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None"
      oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false"
      oneVerticalPage="false" newVerticalPage="false"/>
    <padding left="0.152" right="0.152" top="0.152" bottom="0.152"/>
  </element>
  <element type="Cell">
    <id>16</id>
    <reference>1.G</reference>
    <name>Block 2</name>
    <parentId>1</parentId>
    <size minimalWidth="0.132" minimalHeight="0.0" autofitWidth="true"
autofitHeight="true"/>
    <position x="1.35" y="1.111" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None"
      oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false"
      oneVerticalPage="false" newVerticalPage="false"/>
    <padding left="0.152" right="0.152" top="0.152" bottom="0.152"/>
  </element>
  <element type="PageZone">
    <id>1</id>
    <name>Header</name>
    <size minimalHeight="3.254"/>
  </element>
  <element type="XTable">
    <id>13</id>
```



```

        <reference>1.D</reference>
        <name>Block 1</name>
        <parentId>24</parentId>
        <position x="1.482" y="1.164" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None"
        oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false"
        oneVerticalPage="false" newVerticalPage="false"/>
        <padding left="0.0" right="0.0" top="0.0" bottom="0.0"/>
    </element>
    <element type="Cell">
        <id>9</id>
        <reference>1.9</reference>
        <parentId>13</parentId>
        <size minimalWidth="2.12" minimalHeight="0.4" autofitWidth="false"
autofitHeight="true"/>
        <padding left="0.176" right="0.176" top="0.155" bottom="0.162"/>
    </element>
    <element type="Section">
        <id>24</id>
        <reference>1.0</reference>
        <name>City</name>
        <parentId>2</parentId>
        <size minimalHeight="0.0"/>
        <position repeatOnEveryVerticalPage="false" oneVerticalPage="false"
newVerticalPage="false"/>
        <padding bottom="0.821"/>
    </element>
</elements>

```

例: JSON

GET /documents/5157/reports/1/elements

応答:

```

{ "elements":
  { "element": [
    { "@type": "PageZone",
      "id": 1,
      "name": "Header",
      "size": { "@minimalHeight": "1984.0" }
    },
    { "@type": "Cell",
      "id": 19,
      "reference": "1.J",
      "parentId": 29,
      "size": {
        "@autofitHeight": "true",
        "@autofitWidth": "false",
        "@minimalHeight": "567.0",
        "@minimalWidth": "3005.0"
      },
      "padding": {
        "@bottom": "230.0",
        "@top": "220.0",
        "@right": "250.0",
        "@left": "250.0"
      }
    },
    ...
    { "@type": "HTable",
      "id": 29,
      "reference": "1.T",
      "name": "Block 1 (1)",

```

```

    "parentId":2,
    "position":{
      "@newVerticalPage":"false",
      "@oneVerticalPage":"false",
      "@repeatOnEveryVerticalPage":"false",
      "@newHorizontalPage":"false",
      "@oneHorizontalPage":"false",
      "@verticalAnchorType":"None",
      "@horizontalAnchorType":"None",
      "@y":"1950.0",
      "@x":"2662.0"}
  },
  ...
  { "@type":"VTable",
    "id":16,
    "reference":"1.G",
    "name":"Block 1",
    "parentId":2,
    "position":{
      "@newVerticalPage":"false",
      "@oneVerticalPage":"false",
      "@repeatOnEveryVerticalPage":"false",
      "@newHorizontalPage":"false",
      "@oneHorizontalPage":"false",
      "@verticalAnchorType":"None",
      "@horizontalAnchorType":"None",
      "@y":"18450.0",
      "@x":"2700.0"}
  },
  ...
  { "@type":"XTable",
    "id":42,
    "reference":"1.g",
    "name":"Block 1 (2)",
    "parentId":2,
    "position":{
      "@newVerticalPage":"false",
      "@oneVerticalPage":"false",
      "@repeatOnEveryVerticalPage":"false",
      "@newHorizontalPage":"false",
      "@oneHorizontalPage":"false",
      "@verticalAnchorType":"None",
      "@horizontalAnchorType":"None",
      "@y":"7800.0",
      "@x":"2887.0"}
  }
}
}
}

```

例: allInfo=true を使用する

GET /documents/6528/reports/1/elements?allInfo=true

応答:

```

<elements>
  <element type="PageZone">
    <id>2</id>
    <name>Header</name>
    <size minimalHeight="1984.0"/>
    <hide always="false"/>
    <style>
      <border>

```

```

        <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
        <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
        <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
        <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background>
        <color rgb="#ffffff"/>
    </background>
</style>
</element>
<element type="VTable">
    <id>41</id>
    <reference>5.f</reference>
    <name>Block 1 (1)</name>
    <parentId>1</parentId>
    <position x="27337.0" y="262.0" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None" oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false" oneVerticalPage="false"
newVerticalPage="false"/>
    <hide always="false" whenEmpty="false"/>
    <style>
        <border>
            <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
            <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
            <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
            <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
        </border>
        <background width="0.0" height="0.0">
            <color rgb="#ffffff"/>
        </background>
        <alternateColor frequency="2" rgb="#f8fbfc"/>
    </style>
    <content>
        <axes duplicateRowAggregation="true">
            <axis role="Column">
                <id>1</id>
                <expressions>
                    ...

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.4.3 レポート要素の詳細の取得

用途

特定のレポート要素を ID で参照してその詳細を取得します。

レポート要素がカスタム要素であり、そのサービスでピクチャが戻される場合、呼出によってピクチャが戻されます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?
<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明
unit	サイズ、パディング、位置などすべてのディメンション値に使用される測定単位を指定します。値は、metric (デフォルト)、inch および centimeter です。
reference	参照する要素を指定します。例: {elementId}?reference=1.D.7
datapath	4.2 SP04 以降。Type=string。レポート要素のインスタンスを識別するためのデータパスを指定します。(例: /documents/7610/reports/1/elements/13?datapath=1.D.7)

① 注記

同じ呼び出しで reference と datapath を指定することはできません。1つのみを指定できます。

応答:

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の情報が含まれるレポート要素の定義。

- <id>
- <reference>
- <parentId>
- <size>
- <position>
- <hide>
- <padding>
- <style>
- <content>
- type 属性。設定可能な値は PageZone、Cell、VTable、HTable、XTable、Form、Visualization、および Custom。
- isLinkedToSharedElement 論理値属性は、レポート要素が共有要素にリンクされている場合には "true"、それ以外の場合には "false" です。

例: セル

GET /documents/6580/reports/1/elements/4?unit=inch

応答:

```
<element type="Cell" isLinkedToSharedElement="false">
  <id>4</id>
  <reference>1.4</reference>
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalWidth="4.18" minimalHeight="0.43" autofitWidth="false"
autofitHeight="true"/>
  <position x="2.06" y="0.12" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None"
    oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false"
    oneVerticalPage="false" newVerticalPage="false"/>
  <hide always="false"/>
  <padding left="0.059" right="0.059" top="0.043" bottom="0.043"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background>
      <color rgb="#ff00ff"/>
    </background>
    <font size="16" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#333333"/>
    <alignment horizontal="Center" vertical="Center" wrapText="false"/>
  </style>
  <content>
    <expression>
      <formula type="Text" dataType="Numeric">=[ 帳票_累計(内)_発生 ]+[ 帳票_累計
(外)_発生]</formula>
      <format type="Custom">
        <template positive="# ,##0" negative="-# ,##0" zero="0"
undefined="0"/>
      </format>
    </expression>
    <alerters>
      <id>2</id>
    </alerters>
  </content>
</element>
```

例: ページゾーン

GET /documents/6580/reports/1/elements/1?unit=centimeter

応答:

```
<element type="PageZone" isLinkedToSharedElement="false">
  <id>1</id>
  <size minimalHeight="1.4"/>
  <hide always="false"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background>
```

```

        <color rgb="#ffffff"/>
      </background>
    </style>
  </element>

```

例: セクション

GET /documents/6580/reports/1/elements/13?unit=inch

応答:

```

<element type="Section" isLinkedToSharedElement="false">
  <id>13</id>
  <reference>1.D</reference>
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalHeight="0.2"/>
  <position repeatOnEveryVerticalPage="true" oneVerticalPage="true"
newVerticalPage="true"/>
  <hide always="false">
    <expression dataType="Boolean">=Min([Number of guests])=0</expression>
  </hide>
  <padding bottom="0.1"/>
  <style>
    <background>
      <color rgb="#ffffce"/>
    </background>
  </style>
  <content>
    <axes duplicateRowAggregation="true">
      <axis role="Row">
        <id>0</id>
        <expressions>
          <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DO39">=[Country]</formula>
        </expressions>
      </axis>
    </axes>
    <emptyHidingBlocks>
      <child id="14"/>
      <child id="11"/>
    </emptyHidingBlocks>
    <body>
      <child id="14"/>
      <child id="11"/>
    </body>
  </content>
</element>

```

例: XTable

GET /documents/19035/reports/2/elements/12?unit=centimeter

応答:

```

<element type="XTable" isLinkedToSharedElement="false">
  <id>12</id>
  <reference>2.C</reference>

```

```

<name>Block 1</name>
<parentId>1</parentId>
<position x="4.894" y="1.376" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None"
oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false"
oneVerticalPage="false" newVerticalPage="false"/>
<hide always="false"/>
<style>
  <border>
    <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
  </border>
  <background width="0.0" height="0.0"/>
  <alternateColor frequency="2" rgb="#fcfdfd"/>
</style>
<content>
  <axes duplicateRowAggregation="true">
    <axis role="Row">
      <id>0</id>
      <breaks>
        <break onePage="false" newPage="false" sort="true"
duplicate="Remove"
repeatHeader="false" showHeader="true" showFooter="true">
          <id>1</id>
          <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DO31">=[Year]</formula>
        </break>
      </breaks>
      <expressions>
        <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO31">=[Year]</
formula>
      </expressions>
      <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DO39">=[Country]</formula>
    </axis>
    <axis role="Column">
      <id>1</id>
      <expressions>
        <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO2">=[Resort]</
formula>
      </expressions>
    </axis>
    <axis role="Body">
      <id>2</id>
      <expressions>
        <formula dataType="Numeric"
dataObjectId="DP0.DO7">=[Revenue]</formula>
      </expressions>
    </axis>
  </axes>
  <layout>
    <zone horizontalType="Body" verticalType="Body">
      <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="5"/>
    </zone>
    <zone horizontalType="Body" verticalType="Header">
      <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="8"/>
    </zone>
    <zone horizontalType="Body" verticalType="Header"
verticalBreakId="1">
      <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="19"/>
    </zone>
    <zone horizontalType="Body" verticalType="Footer"
verticalBreakId="1">
      <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="24"/>
      <child row="1" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="27"/>
    </zone>
  </layout>
</content>

```

```

        </zone>
        <zone horizontalType="Header" verticalType="Body">
            <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="14"/>
            <child row="0" rowSpan="1" column="1" columnSpan="1" id="7"/>
        </zone>
        <zone horizontalType="Header" verticalType="Header">
            <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="10"/>
            <child row="0" rowSpan="1" column="1" columnSpan="1" id="11"/>
        </zone>
        <zone horizontalType="Header" verticalType="Header"
verticalBreakId="1">
            <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="16"/>
            <child row="0" rowSpan="1" column="1" columnSpan="1" id="17"/>
        </zone>
        <zone horizontalType="Header" verticalType="Footer"
verticalBreakId="1">
            <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="21"/>
            <child row="0" rowSpan="1" column="1" columnSpan="1" id="22"/>
            <child row="1" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="25"/>
            <child row="1" rowSpan="1" column="1" columnSpan="1" id="26"/>
        </zone>
    </layout>
</content>
</element>

```

例: 参照を含むセル

GET /documents/8362/reports/1/elements/6?reference=1.6.Ga

応答:

```

<element type="Cell" isLinkedToSharedElement="false">
    <id>6</id>
    <reference>1.6</reference>
    <parentId>11</parentId>
    <datapath>DP0.DO1:"Robert King"|"0000000007",DP0.DO10:" 6561 - Centre
Sport"|"0000006561"</datapath>
    ...
</element>

```

例: チャート

GET /documents/6503/reports/1/elements/39?unit=inch

応答:

```

<element type="Visualization" isLinkedToSharedElement="false">
    <id>39</id>
    <reference>1.d</reference>
    <name>Block 2 (2)</name>
    <parentId>2</parentId>
    <size minWidth="4.165" minimalHeight="3.125"/>
    <position x="0.334" y="0.018" oneHorizontalPage="false"
newHorizontalPage="false"
    repeatOnEveryVerticalPage="false" oneVerticalPage="false"
newVerticalPage="false"/>
    <hide always="false"/>
    <style>

```



```

<border>
  <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
  <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
  <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
  <right thickness="Thin" rgb="#ff0000" style="Dashed"/>
</border>
<background>
  <gradient orientation="Horizontal">
    <start alpha="255" rgb="#ffff00"/>
    <end alpha="255" rgb="#ff00ff"/>
  </gradient>
</background>
</style>
<content>
  <chart type="HorizontalBar">
    <layout showDimensionsWithEmptyMeasureValues="true"
showDimensionsWithMeasuresEqualToZero="false"
    showDimensionsWithSumOfMeasuresEqualToZero="true"
showMeasuresWithEmptyDimensionValues="true"
    showParentNodes="true" duplicateRowAggregation="true"
horizontal="true"/>
    <title visible="true">
      <style>
        <border thickness="None">
          <color alpha="255" rgb="#000000"/>
        </border>
        <background>
          <color alpha="0" rgb="#000000"/>
        </background>
        <font size="9" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
        <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Truncate"/>
      </style>
      <label dataType="String">="Bar"</label>
      <layout location="Top" orientation="Auto" spacing="2"
adjust="false"/>
    </title>
    <legend visible="true">
      <style>
        <border thickness="None">
          <color alpha="0" rgb="#000000"/>
        </border>
        <background>
          <color alpha="0" rgb="#000000"/>
        </background>
        <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
        <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Wrap"/>
      </style>
      <title visible="true">
        <style>
          <border thickness="None">
            <color alpha="255" rgb="#000000"/>
          </border>
          <background>
            <color alpha="0" rgb="#000000"/>
          </background>
          <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
          <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Truncate"/>
        </style>
        <layout orientation="Auto" spacing="2"/>
      </title>
      <layout groupByDimension="false" symbolSize="9" location="Right"
orientation="Auto" spacing="4" adjust="false"/>
    </legend>
  </chart>
</content>
</chart>

```

```

</legend>
<dataLabels type="Auto" visible="false">
  <style>
    <border thickness="None">
      <color alpha="255" rgb="#000000"/>
    </border>
    <background>
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </background>
    <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
  </style>
  <layout autoHiding="true" resolveOverlapping="false"
position="InsideFirstOutsideOtherwise" orientation="Vertical" spacing="0"/>
</dataLabels>
<plotArea>
  <barSeries dashedLines="false" spacingBetweenGroups="0.2"
spacingWithinGroups="0.2"/>
  <background mode="Plain">
    <coloring>
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </coloring>
  </background>
  <grids>
    <grid type="Vertical">
      <color alpha="0" rgb="#000000"/>
    </grid>
    <grid type="Horizontal">
      <color alpha="255" rgb="#e7e7e7"/>
    </grid>
  </grids>
</plotArea>
<graphics>
  <coloring>
    <palettes>
      <palette alpha="0" refId="green"/>
    </palettes>
  </coloring>
  <rendering filter="RealLightingAndComplexShadows" look3D="false">
    <edge type="None"/>
    <shadow effect="OneSided" xOffset="0.0" yOffset="0.0"
filterPassCount="3" filterWindowSize="5" lightPower="0.3">
      <color alpha="187" rgb="#9d9d9d"/>
    </shadow>
  </rendering>
  <effects>
    <barSeries effect="None" roundedCorners="false"/>
  </effects>
</graphics>
<axes>
  <axis role="Color" optional="true">
    <id>0</id>
    <name>Region Color</name>
    <expressions>
      <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.D04">=[Service Line]</formula>
    </expressions>
  </axis>
  <axis role="Category" visible="true" optional="false">
    <id>1</id>
    <name>Category Axis</name>
    <title visible="true">
      <style>
        <border thickness="None">
          <color alpha="255" rgb="#000000"/>
        </border>
        <background>
          <color alpha="0" rgb="#000000"/>
        </background>
      </style>
    </title>
  </axis>
</axes>

```

```

        </background>
        <font size="8" face="Arial" italic="false"
bold="true" strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
        </style>
        <layout spacing="0"/>
        <separator>&amp;</separator>
    </title>
    <layout reverseOrder="false" continuous="false"
adjust="false"/>
    <coloring>
        <color alpha="255" rgb="#707070"/>
    </coloring>
    <grid>
        <color alpha="255" rgb="#dadada"/>
        <background>
            <color alpha="0" rgb="#000000"/>
        </background>
    </grid>
    <tick length="4" margin="0"/>
    <labels visible="true" orientation="Auto" deleteMode="Auto"
autoResize="false" staggered="false">
        <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
    </labels>
    <expressions>
        <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DO39">=[Country]</formula>
    </expressions>
</axis>
<axis role="Value" visible="true" optional="false">
    <id>2</id>
    <name>Value Axis 1</name>
    <title visible="true">
        <style>
            <border thickness="None">
                <color alpha="255" rgb="#000000"/>
            </border>
            <background>
                <color alpha="0" rgb="#000000"/>
            </background>
            <font size="8" face="Arial" italic="false"
bold="true" strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
        </style>
        <layout spacing="0"/>
        <separator>&amp;</separator>
    </title>
    <layout adjust="false"/>
    <coloring>
        <color alpha="255" rgb="#707070"/>
    </coloring>
    <tick length="5" margin="4" densityMode="Fixed" density="2"/>
    <labels visible="true" orientation="Auto" staggered="false">
        <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
    </labels>
    <stacking mode="GloballyStacked" stacked100percent="true"/>
    <scaling mode="Linear" originInRange="Always"
unitScaleFactor="0" roundMinMaxValues="false">
        <minValue type="Auto"/>
        <maxValue type="Auto"/>
    </scaling>
    <expressions>
        <formula regionType="Default" dataType="Numeric"
dataObjectId="DP0.DO7">=[Revenue]</formula>
    </expressions>
</axis>
</axes>
</chart>

```

```
</content>
</element>
```

例: カスタム要素

GET /documents/6580/reports/1/elements/138?unit=inch

応答

```
<element type="Custom">
  <id>138</id>
  <reference>2.4</reference>
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalWidth="9.141" minimalHeight="2.473"/>
  <position x="0.25" y="0.55" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None" oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false" oneVerticalPage="false"
newVerticalPage="false"/>
  <hide always="false" whenEmpty="false"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="Dotted"/>
      <left thickness="None" rgb="#00ee00" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
  </style>
  <content>
    <custom type="area" serverId="Delegated_Rendering_Server">
      <layout showDimensionsWithEmptyMeasureValues="true"
showDimensionsWithMeasuresEqualToZero="true"
showDimensionsWithSumOfMeasuresEqualToZero="true"
showMeasuresWithEmptyDimensionValues="true" duplicateRowAggregation="false"/>
      <name>CVOM HTML5 area chart</name>
      <description>Description for Area</description>
      <axes>
        <axis role="category-axis" optional="false">
          <id>0</id>
          <name>Category Axis</name>
          <expressions>
            <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DO2">=[Resort]</formula>
            <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DOa5">=[Region]</formula>
            <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DOa7">=[City]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="region-color" optional="true">
          <id>1</id>
          <name>Color</name>
          <expressions>
            <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.DO18">=[Year]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="primary-values" optional="true">
          <id>2</id>
          <name>Values</name>
          <expressions>
            <formula dataType="Numeric"
dataObjectId="DP0.DO25">=[Future guests]</formula>
          </expressions>
        </axis>
      </axes>
    </custom>
  </content>
</element>
```

```

        </axis>
      </axes>
    </custom>
  </content>
</element>

```

例: "fold" 属性を使用したカスタム要素

4.2 SP04 以降では、'fold' 属性により、ブロックまたはブロックのインスタンスの軸および軸のブレイクを折りたたむかどうか指定されます。

応答

```

<element type="HTable" isLinkedToSharedElement="false">
  <id>75</id>
  <reference>m.1B.1.3</reference>
  <name>Block 3</name>
  <parentId>65</parentId>
  <datapath>DP0.DObc:"2005",DP0.DOda:"Florida"</datapath>
  <position x="20737.0" y="787.0" horizontalAnchorType="None"
verticalAnchorType="None" oneHorizontalPage="false" newHorizontalPage="false"
repeatOnEveryVerticalPage="false" oneVerticalPage="false"
newVerticalPage="false"/>
  <hide always="false" whenEmpty="false"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background width="0.0" height="0.0">
      <color rgb="#ffffff"/>
    </background>
    <alternateColor frequency="2" rgb="#f8fbfc"/>
  </style>
  <content>
    <axes duplicateRowAggregation="true">
      <axis role="Row" fold="true">
        <id>0</id>
        <expressions>
          <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DOa5">[Lines]</
formula>
          <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO93">[Sales
revenue]</formula>
        </expressions>
      </axis>
    </axes>
    <layout showColumnsWithEmptyMeasureValues="true"
showColumnsWithMeasuresEqualToZero="true"
showColumnsWithSumOfMeasuresEqualToZero="true"
showRowsColumnsWithEmptyDimensionValues="false" showHeader="true"
showFooter="false" repeatHeaderHorizontally="false">
      <zone horizontalType="Body" verticalType="Body">
        <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="76"/>
        <child row="1" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="77"/>
      </zone>
      <zone horizontalType="Header" verticalType="Body">
        <child row="0" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="79"/>
        <child row="1" rowSpan="1" column="0" columnSpan="1" id="80"/>
      </zone>
    </layout>
  </content>

```

```
</element>
```

例: オプションのデータパスを指定する

```
GET /documents/7409/reports/1/elements/24?
datapath=DP0.DO84%3A%22US%22%2CDP0.DOa7%3A%22Washington+D.C.%22
```

応答:

```
<element type="Cell" isLinkedToSharedElement="false">
  <id>24</id>
  <reference>1.0.6</reference>
  <parentId>23</parentId>
  <datapath>DP0.DO84: "US" ,DP0.DOa7: "Washington D.C."</datapath>
  . . .
</element>
```

関連情報

[チャート \[69 ページ\]](#)

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

[レポート要素のエクスポート \[432 ページ\]](#)

8.4.4 レポート要素の背景の取得

用途

レポート要素の背景画像またはスキンをバイナリストリームとして返します。

要求

```
GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/background
```

応答

応答タイプは、背景画像またはスキンの形式によって決まります。以下はその例です。

- image/bmp
- image/gif
- image/png
- image/jpg
- image/jpeg

背景の形式がわからない場合は、image/* を使用します。

次の場合に、エラーがスローされます。

- 背景がありません。
- 応答タイプと背景の形式に互換性がありません。

例

GET /documents/9199/reports/154769/elements/289477/background

応答:

```
Content-Type: image/png
HTTP Response Code: 200
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.5 レポート要素のデータパスの取得

用途

レポート要素で利用可能なデータパスを取得します。

データパスを使用すると、複数のセクション内などで使用できるレポート要素の特定のインスタンスを見つけるか、テーブル内でタイプがセルの特定のレポート要素を見つけることができます。データパスは、レポート要素をエクスポートする場合や、レポート要素の関連データを取得する場合にも使用できます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datapaths?
limit=10&offset=0<optional_parameters>

ここで、

- limit は、戻すデータパスの数を指定する整数値です。値の範囲は 0 から 50 です。指定しない場合のデフォルト値は 10 です。
- offset は、一覧の先頭をオフセット指定する整数値です。最大値はありません。指定しない場合のデフォルト値は 0 です。

オプションパラメータ

パラメータ	説明
datapath	次のレベルに到達するために必要な初期データパスを指定する文字列。例: datapaths?datapath=DP0.DO18:"FY93"
reference	参照を指定する文字列。例: datapaths?reference=1.D.7

① 注記

このパラメータは URL でエンコードされる必要があります。

⚠ 警告

同じ URL で datapath パラメータと reference パラメータを使用することはできません。400 HTTP エラーが生成されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: データパスなし

GET /documents/8413/reports/1/elements/20/datapaths?limit=20&offset=0

応答:

```
<datapaths elementId="17">
  <datapath>DP0.DObc:"2004"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2005"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006"</datapath>
</datapaths>
```

① 注記

返される elementId 属性では、反復処理が行われるレポート要素 ID が指定されます。

GET /documents/7070/reports/217/elements/227/datapaths?limit=10&offset=0

```
<datapaths elementId="227">
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Accessories"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"City Skirts"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"City Trousers"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Dresses"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Jackets"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Leather"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Outerwear"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Overcoats"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Shirt Waist"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Sweaters"</datapath>
</datapaths>
```

GET /documents/7070/reports/217/elements/227/datapaths?limit=10&offset=10

```
<datapaths elementId="227">
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Sweat-T-Shirts"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q1",DP0.DOa5:"Trousers"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"Accessories"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"City Skirts"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"City Trousers"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"Dresses"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"Jackets"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"Outerwear"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"Overcoats"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2014",DP0.DOa6:"Austin",DP0.DOba:"Q2",DP0.DOa5:"Shirt Waist"</datapath>
</datapaths>
```

例: データパスあり

```
GET /documents/8413/reports/1/elements/17/datapaths?
datapath=DP0.DOa5%3A%22Sweaters%22%2CDP0.DOda%3A%22Texas%22%2CDP0.DObc%3A%222006%22
&limit=30&offset=0
```

応答:

```
<datapaths elementId="10">
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"California"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"Colorado"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"DC"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"Florida"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"Illinois"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"Massachusetts"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"New York"</datapath>
  <datapath>DP0.DObc:"2006",DP0.DOda:"Texas"</datapath>
</datapaths>
```

例: 参照あり

```
GET /documents/8413/reports/1/elements/10/datapaths?reference=1.5.2.7
```

応答:

```
<datapaths elementId="11">
  <datapath>DP0.DOa5:"Accessories"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"City Skirts"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"City Trousers"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Dresses"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Jackets"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Leather"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Outerwear"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Overcoats"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Shirt Waist"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Sweaters"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Sweat-T-Shirts"</datapath>
  <datapath>DP0.DOa5:"Trousers"</datapath>
</datapaths>
```

例: ワークフロー

1. GET /documents/8275/reports/1/elements/16/dataset で、チャートデータ (ID=16) を取得します。
次のエラーが返されます。

```
<error>
  <error_code>101</error_code>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "16"
contains datapaths: one must be
  specified.</message>
</error>
```

2. GET /documents/8275/reports/1/elements/16/datapaths で、値にアクセスするデータパスを取得します。
以下が返されます。

```
<datapaths elementId="5">
  <datapath>DP0.DO18:"FY92"</datapath>
  <datapath>DP0.DO18:"FY93"</datapath>
  <datapath>DP0.DO18:"FY94"</datapath>
  <datapath>DP0.DO18:"FY95"</datapath>
</datapaths>
```

3. GET /documents/8275/reports/1/elements/5/datapaths?datapath=DP0.DO18:"FY92" では、所定の elementId と選択したデータパスで、必要な次のデータパスが取得されます。

```
<datapaths elementId="8">
  <datapath>DP0.DO18:"FY92",DP0.DO1a:"Q1"</datapath>
  <datapath>DP0.DO18:"FY92",DP0.DO1a:"Q2"</datapath>
  <datapath>DP0.DO18:"FY92",DP0.DO1a:"Q3"</datapath>
  <datapath>DP0.DO18:"FY92",DP0.DO1a:"Q4"</datapath>
</datapaths>
```

4. GET /documents/8275/reports/1/elements/8/datapaths?datapath=DP0.DO18:"FY92",DP0.DO1a:"Q1" では、データパスのリストが空になるまで繰り返されます。

```
<datapaths/>
```

5. GET /documents/8275/reports/1/elements/16/dataset?datapath=DP0.DO18:"FY92",DP0.DO1a:"Q1" では、指定したデータパスを使用して、次のチャートデータが取得されます。

```
<dataset>
  <data id="Category" type="String">
    <label>Month</label>
    <value>Feb</value>
  </data>
  <data id="Value" type="Numeric">
    <label>Revenue</label>
    <value>291190</value>
  </data>
</dataset>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

[レポート要素のデータセットの取得 \[416 ページ\]](#)

8.4.6 レポート要素のデータセットの取得

用途

タイプがセル、テーブル、ビジュアライゼーション(チャート)、またはカスタム要素であるレポート要素のデータを返します。

レポート要素のデータを取得するために、その固有のデータパスまたは参照を使用することができます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/dataset?
<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明
datapath	レポート要素の特定のインスタンスを見つけることができるデータパスを指定する文字列。 例: dataset?datapath=DP1.DObc:"2004",DP1.DOa6:"Austin"
reference	参照を指定する文字列。例: dataset?reference=1.D.7

⚠ 警告

同じ URL の datapath パラメータと reference パラメータを使用することはできません。400 HTTP エラーが生成されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 次のデータセットの詳細。

- 列のメタデータ (列の名前、型、およびデータオブジェクト識別子)
- 値を含む行の一覧

例: セル

GET /documents/6404/reports/4/elements/7/dataset?reference=4.7.B

応答:

```
<dataset>
  <metadata>
    <value dataObjectId="DP1.DO93" type="Numeric">Sales revenue</value>
```

```

</metadata>
<row>
  <value>910451.2</value>
</row>
</dataset>

```

例: VTable

この垂直テーブルでは最大 5 つのデータオブジェクト値を表示できる 6 行が含まれます。

GET /documents/6395/reports/1/elements/78/dataset

応答:

```

<dataset>
  <metadata>
    <value dataObjectId="DP1.DO84" type="String">Country</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO2" type="String">Resort</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO5" type="String">Service</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO14" type="Numeric">Number of guests</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO7" type="Numeric">Revenue</value>
  </metadata>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Bahamas Beach</value>
    <value>Activities</value>
    <value/>
    <value>65600</value>
  </row>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Bahamas Beach</value>
    <value>Bungalow</value>
    <value>48</value>
    <value>47040</value>
  </row>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Sun Resort</value>
    <value>Activities</value>
    <value/>
    <value>9000</value>
  </row>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Sun Resort</value>
    <value>Bungalow</value>
    <value>44</value>
    <value>40800</value>
  </row>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Hawaiian Club</value>
    <value>Activities</value>
    <value/>
    <value>101100</value>
  </row>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Hawaiian Club</value>
    <value>Bungalow</value>
    <value>45</value>
    <value>56100</value>
  </row>

```

```
</row>
</dataset>
```

例: HTable

この水平テーブルには最大3つのデータオブジェクト値を表示できる6列が含まれます。

GET /documents/6361/reports/3/elements/101/dataset

応答 (JSON):

```
{ "dataset":
  { "metadata":
    { "value":
      [ { "@dataObjectId": "DP0.DOa5",
          "@type": "String",
          "$": "Region" },
        { "@dataObjectId": "DP0.DOa7",
          "@type": "String",
          "$": "City" },
        { "@dataObjectId": "DP0.DO14",
          "@type": "Numeric",
          "$": "Number of guests" } ]
    },
    "row":
      [ { "value": [ "Bavaria", "Augsburg", 191 ] },
        { "value": [ "Bavaria", "Munich", 132 ] },
        { "value": [ "East Germany", "Berlin", 6 ] },
        { "value": [ "East Germany", "Dresden", 4 ] },
        { "value": [ "East Germany", "Magdeburg", 133 ] },
        { "value": [ "Ruhr", "Cologne", 4 ] } ]
  }
}
```

例: XTable

このクロステーブルでは6つのデータオブジェクトの値が表示されます。

GET /documents/6395/reports/3/elements/19/dataset

応答:

```
<dataset>
  <metadata>
    <value dataObjectId="DP1.DO84" type="String">Country</value>
    <value dataObjectId="DP1.DOa7" type="String">City</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO2" type="String">Resort</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO5" type="String">Service</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO7" type="Numeric">Revenue</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO14" type="Numeric">Number of guests</value>
  </metadata>
  <row>
    <value>Bahamas Islands</value>
    <value>Coral Bay</value>
    <value>Bahamas Beach</value>
    <value>Activities</value>
    <value>5600</value>
  </row>
</dataset>
```

```

        <value/>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>Long Island</value>
        <value>Bahamas Beach</value>
        <value>Bungalow</value>
        <value>3200</value>
        <value>4</value>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>Nassau</value>
        <value>Bahamas Beach</value>
        <value>Bungalow</value>
        <value>43840</value>
        <value>44</value>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>Nassau</value>
        <value>Sun Resort</value>
        <value>Bungalow</value>
        <value>40800</value>
        <value>44</value>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>Nassau</value>
        <value>Hawaiian Club</value>
        <value>Bungalow</value>
        <value>56100</value>
        <value>45</value>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>San Salvador</value>
        <value>Bahamas Beach</value>
        <value>Activities</value>
        <value>60000</value>
        <value/>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>San Salvador</value>
        <value>Sun Resort</value>
        <value>Activities</value>
        <value>9000</value>
        <value/>
    </row>
    <row>
        <value>Bahamas Islands</value>
        <value>San Salvador</value>
        <value>Hawaiian Club</value>
        <value>Activities</value>
        <value>101100</value>
        <value/>
    </row>
</dataset>

```

例: チャート

このチャートでは 3 つのオブジェクト値が表示されます。

GET /documents/6405/reports/1/elements/13/dataset?datapath=DP1.DOa6:"New York"

応答 (XML):

```
<dataset>
  <metadata>
    <value dataObjectId="DP1.DO178" type="String">Store name</value>
    <value dataObjectId="DP1.DObc" type="String">Year</value>
    <value dataObjectId="DP1.DO93" type="Numeric">Sales revenue</value>
  </metadata>
  <row>
    <value>e-Fashion New York 5th</value>
    <value>2004</value>
    <value>644635.1</value>
  </row>
  <row>
    <value>e-Fashion New York 5th</value>
    <value>2005</value>
    <value>1.076144e6</value>
  </row>
  <row>
    <value>e-Fashion New York 5th</value>
    <value>2006</value>
    <value>1.2395874e6</value>
  </row>
  <row>
    <value>e-Fashion New York Magnolia</value>
    <value>2004</value>
    <value>1.0230607e6</value>
  </row>
  <row>
    <value>e-Fashion New York Magnolia</value>
    <value>2005</value>
    <value>1.6873591e6</value>
  </row>
  <row>
    <value>e-Fashion New York Magnolia</value>
    <value>2006</value>
    <value>1.9114343e6</value>
  </row>
</dataset>
```

例: チャート

このチャートでは5つのオブジェクト値が表示されます。

GET /documents/6404/reports/4/elements/16/dataset

応答 (JSON):

```
{ "dataset":
  { "metadata":
    { "value":
      [ { "@dataObjectId": "DP1.D0da", "@type": "String", "$": "State" },
        { "@dataObjectId": "DP1.DOa6", "@type": "String", "$": "City" },
        { "@dataObjectId": "DP1.DO178", "@type": "String", "$": "Store name" },
        { "@dataObjectId": "DP1.DO93", "@type": "Numeric", "$": "Sales revenue" },
        { "@dataObjectId": "DP1.DO94", "@type": "Numeric", "$": "Quantity sold" } ]
    },
    "row":
      [ { "value": [ "California", "Los Angeles", "e-Fashion Los Angeles", "1.6566757e6", 9869 ] },
```



```

    {
      "value": [
        "California",
        "San Francisco",
        "e-Fashion San Francisco",
        "1.3360033e6",
        7900
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Colorado",
        "Colorado Springs",
        "e-Fashion Colorado Springs",
        843584.2,
        5116
      ]
    },
    {
      "value": [
        "DC",
        "Washington",
        "e-Fashion Washington Tolbooth",
        "1.0535814e6",
        6491
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Florida",
        "Miami",
        "e-Fashion Miami Sundance",
        811923.6,
        4830
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Illinois",
        "Chicago",
        "e-Fashion Chicago 33rd",
        "1.1340854e6",
        6519
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Massachusetts",
        "Boston",
        "e-Fashion Boston Newbury",
        887169.2,
        5269
      ]
    },
    {
      "value": [
        "New York",
        "New York",
        "e-Fashion New York 5th",
        "1.2395874e6",
        7458
      ]
    },
    {
      "value": [
        "New York",
        "New York",
        "e-Fashion New York Magnolia",
        "1.9114343e6",
        11651
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Texas ",
        "Austin",
        "e-Fashion Austin",
        "1.1354791e6",
        6919
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Texas ",
        "Dallas",
        "e-Fashion Dallas",
        803420.8,
        4932
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Texas ",
        "Houston",
        "e-Fashion Houston",
        910451.2,
        5419
      ]
    },
    {
      "value": [
        "Texas ",
        "Houston",
        "e-Fashion Houston Leighton",
        "1.3357472e6",
        7923
      ]
    }
  ]
}

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.7 階層メンバーの詳細の取得

用法

階層ディメンションのメンバーの詳細を取得します。

要求

```
GET /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/members/
<memberId>?<dataObjectID=string>
```

値の意味:

- dataObjectID は、チャートの場合にデータオブジェクトを定義する文字列パラメータです。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

テーブルのセルの場合の例

GET /documents/6797/reports/10/elements/15/members/0.0.1

応答本文:

```
<member>
  <id>0.0.1</id>
  <level>8</level>
</member>
```

チャートの場合の例

GET /documents/6797/reports/10/elements/36/members/0.0.0?dataobjectId=DP0.D087

応答本文:

```
<member>
  <id>0.0.0</id>
  <level>5</level>
</member>
```

8.4.8 レポート要素の更新

用途

- 更新できるレポート要素は次のとおりです。
 - セル
 - セクション
 - テーブル (VTable、HTable、XTable、およびフォーム)
 - ページゾーン
 - ビジュアライゼーション (チャート)
 - カスタム要素
- 次のレポート要素のタイプを変更できます。
 - テーブルのタイプを別のテーブルタイプへ
 - テーブルからビジュアライゼーションへ
 - ビジュアライゼーションからテーブルへ
 - ビジュアライゼーションのタイプを別のビジュアライゼーションタイプへ
 - テーブルからカスタム要素へ

- ビジュアライゼーションからカスタム要素へ
- カスタム要素から別のカスタム要素へ

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?unit=<unit>

この場合、

- <unit> は文字列型のオプションのパラメータです。このパラメータによって、サイズ、パディング、位置などすべてのディメンション値に使用される測定単位が定義されます。値は、metric (デフォルト)、inch および centimeter です。

要求本文: 更新する要素の関連パラメータ。ビジュアライゼーションの詳細については、[チャート \[69 ページ\]](#)を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

軸式の更新

次の API を使用することによって、レポート要素の軸式を更新することもできます。

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions

[軸の式の更新 \[445 ページ\]](#)を参照してください。

例: セクション

PUT/documents/127/reports/1/elements/43

要求本文:

```
<element type="Section">
  <parentId>2</parentId>
  <content>
    <axes duplicateRowAggregation="true">
      <axis role="Row">
        <expressions>
          <formula dataType="String">=[Year]</formula>
        </expressions>
      </axis>
    </axes>
  </content>
</element>
```

```
</axes>
</content>
</element>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "43" has been
  successfully updated.</message>
  <id>43</id>
</success>
```

例: セル

要求本文:

```
<element type="Cell">
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalWidth="4500" minimalHeight="675" autofitWidth="false"
  autofitHeight="true"/>
  <padding left="75" right="75" top="75" bottom="75"/>
  <content>
    <expression>
      <formula type="Text" dataType="Numeric">=Sum([Sales revenue])</
formula>
    </expression>
  </content>
</element>
```

例: VTable

要求本文:

```
<element type="VTable">
  <parentId>2</parentId>
  <position x="8888" y="4444" horizontalAnchorType="None"
  verticalAnchorType="None"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background width="10" height="10"/>
    <alternateColor frequency="2" rgb="#fcfdfd"/>
  </style>
</element>
```

例: ページゾーン

要求本文:

① 注記

以下のタグに限り、ページゾーンレポート要素に使用できます。

- <id>
- minimalHeight 属性を含む <size>
- 関連する式を含まない <hide>
- <style> (および <alignment> タグは、ページゾーンスタイルで使用できません)

```
<element type="PageZone">
  <id>1</id>
  <size minimalHeight="8888"/>
  <hide always="true"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="Thin" rgb="#ff0000" style="Dotted"/>
      <bottom thickness="Thin" rgb="#ff0000" style="Dotted"/>
      <left thickness="Thin" rgb="#ff0000" style="Dotted"/>
      <right thickness="Thin" rgb="#ff0000" style="Dotted"/>
    </border>
    <background>
      <skin>Curve</skin>
    </background>
  </style>
</element>
```

例: チャート

要求本文:

```
<element type="Visualization">
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalWidth="10.84" minimalHeight="6.26"/>
  <position x="0.2" y="0.2"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <left thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
    <background>
      <gradient orientation="Horizontal">
        <start alpha="255" rgb="#ffff00"/>
        <end alpha="255" rgb="#ff00ff"/>
      </gradient>
    </background>
  </style>
  <content>
    <chart type="TagCloud">
      <layout showDimensionsWithEmptyMeasureValues="true"
showDimensionsWithMeasuresEqualToZero="true"
showDimensionsWithSumOfMeasuresEqualToZero="true"
showMeasuresWithEmptyDimensionValues="false"
showParentNodes="true" duplicateRowAggregation="true"/>
      <title visible="true">
        <style>
          <border thickness="None">
            <color rgb="#000000" alpha="255"/>

```

```

        </border>
        <background>
            <color rgb="#000000" alpha="0"/>
        </background>
        <font size="9" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#000000"/>
        <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Truncate"/>
    </style>
    <label dataType="String">="Tag Cloud"</label>
    <layout location="Top" orientation="Auto" spacing="2"
adjust="false"/>
</title>
<legend visible="true">
    <style>
        <border thickness="None">
            <color rgb="#000000" alpha="0"/>
        </border>
        <background>
            <color rgb="#000000" alpha="0"/>
        </background>
        <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#707070"/>
        <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Wrap"/>
    </style>
    <title visible="true">
        <style>
            <border thickness="None">
                <color rgb="#000000" alpha="255"/>
            </border>
            <background>
                <color rgb="#000000" alpha="0"/>
            </background>
            <font size="8" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false"
                rgb="#000000"/>
            <alignment horizontal="Left" vertical="Center"
textPolicy="Truncate"/>
        </style>
        <layout orientation="Auto" spacing="2"/>
    </title>
    <layout groupByDimension="false" symbolSize="9" location="Right"
orientation="Auto" spacing="4" adjust="false"/>
    <extraInfo visible="true">
        <font size="10" face="Arial" italic="false" bold="false"
strikethrough="false" underline="false" rgb="#7070ff"/>
    </extraInfo>
</legend>
<plotArea>
    <tagCloudSeries levelColoring="45" comparator="Weight"
mode="Wordle" orientation="HorizontalAndVertical"
        fillRate="0.65" spacingBetweenTags="Fixed"
spacingValue="0.0">
        <tag maxFontRatio="Fixed" maxFontSize="8"
minFontRatio="Fixed" minFontSize="4" minVisibleFontSize="4"
            fontScaling="Logarithmic">
                <font size="6" face="Arial" italic="false" bold="true"
strikethrough="false" underline="false"
                    rgb="#555555"/>
            </tag>
        </tagCloudSeries>
</plotArea>
<graphics>
    <coloring>
        <palettes>
            <palette alpha="50" refId="red" />
        </palettes>

```

```

        <tagCloudSeries method="CustomRange">
            <outOfRange>
                <color rgb="#c0c0c0" alpha="117"/>
            </outOfRange>
            <nullOrEmpty>
                <color rgb="#e0e0e0" alpha="125"/>
            </nullOrEmpty>
            <data distributionMode="ByQuantiles"
intervalSyntax="US"/>
                <ranges percentage="true">
                    <range from="0.0" to="33.0">
                        <color rgb="#ff0000" alpha="255"/>
                    </range>
                    <range from="33.0" to="67.0">
                        <color rgb="#000000" alpha="255"/>
                    </range>
                    <range from="67.0" to="100.0">
                        <color rgb="#00ff00" alpha="255"/>
                    </range>
                </ranges>
            </tagCloudSeries>
        </coloring>
        <rendering filter="None">
            <shadow xOffset="0.0" yOffset="0.0" filterPassCount="3"
filterWindowSize="5" lightPower="0.3">
                <color rgb="#9d9d9d" alpha="187"/>
            </shadow>
        </rendering>
    </graphics>
    <axes>
        <axis role="Category" optional="false">
            <id>0</id>
            <name>Tags Name</name>
            <expressions>
                <formula dataType="String"
dataObjectId="DP0.D05">=[Service]</formula>
            </expressions>
        </axis>
        <axis role="TagsWeight" optional="false">
            <id>1</id>
            <name>Tags Weight</name>
            <expressions>
                <formula polarity="Auto" dataType="Numeric"
dataObjectId="DP0.D07">=[Revenue]</formula>
            </expressions>
        </axis>
        <axis role="TagsFamily" optional="true">
            <id>2</id>
            <name>Tags Family</name>
            <expressions>
                <formula polarity="Auto" dataType="Numeric"
dataObjectId="DP0.D025">=[Future guests]</formula>
            </expressions>
        </axis>
    </axes>
</chart>
</content>
</element>

```

例: カスタム要素

要求本文:

```
<element type="Custom">
  <parentId>2</parentId>
  <size minimalWidth="9.141" minimalHeight="2.473"/>
  <position x="0.25" y="0.55" oneHorizontalPage="false"
newHorizontalPage="false" repeatOnEveryVerticalPage="false"
oneVerticalPage="false" newVerticalPage="false"/>
  <hide always="false" whenEmpty="false"/>
  <style>
    <border>
      <top thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
      <bottom thickness="None" rgb="#000000" style="Dotted"/>
      <left thickness="None" rgb="#00ee00" style="None"/>
      <right thickness="None" rgb="#000000" style="None"/>
    </border>
  </style>
  <content>
    <custom type="area" serverId="Delegated_Rendering_Server">
      <layout showDimensionsWithEmptyMeasureValues="false"
showDimensionsWithMeasuresEqualToZero="false"
showDimensionsWithSumOfMeasuresEqualToZero="false"
showMeasuresWithEmptyDimensionValues="true" duplicateRowAggregation="false"/>
      <axes>
        <axis role="category-axis" optional="false">
          <name>Category Axis</name>
          <expressions>
            <formula dataType="String">=[Resort]</formula>
            <formula dataType="String">=[Region]</formula>
            <formula dataType="String">=[City]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="region-color" optional="true">
          <name>Color</name>
          <expressions>
            <formula dataType="String">=[Year]</formula>
          </expressions>
        </axis>
        <axis role="primary-values" optional="true">
          <name>Values</name>
          <expressions>
            <formula dataType="Numeric">=[Future guests]</formula>
          </expressions>
        </axis>
      </axes>
    </custom>
  </content>
</element>
```

関連情報

[チャート \[69 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.9 テーブルへの行または列の挿入

用途

指定されたセルの位置に従って行または列をテーブルに挿入します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?
strip=<strip>&position=<position>

この場合、

- <strip> は、指定されたセル <elementID> が含まれるテーブルに挿入する行または列を定義する文字列パラメータです。値は row または column です。
- <position> は、指定されたセルに対する行または列の位置を定義する文字列パラメータです。値は次のとおりです。
 - left または right: 列の場合
 - above または below: 行の場合

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 指定されたセルの上への行挿入 (JSON)

POST/documents/16654/reports/1/elements/6?strip=row&position=above

```
{ "success":  
  {  
    "message": "The resource of type \"Report element\" with identifier \"6\" has  
been successfully updated.",  
    "id": 6  
  }  
}
```

8.4.10 テーブルセルの結合または分割

用途

テーブルのセルを1つのセルに結合するか、以前に結合したセルを分割します。

要求

```
PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?  
operation=<operation>&targetCellIds=<targetCellIds>
```

この場合、

- `<operation>` は、セルに適用される操作を定義する、文字列型の必須パラメータです。値は `split` または `merge` です。
- `<targetCellIds>` は、カンマで区切った、分割または結合するセルの ID を一覧表示する必須パラメータです。

操作ルール

結合ルール:

- ID の一覧にセルが少なくとも2つ含まれていること。
- ID 一覧のセルがすべて同一のセルマトリクス内に存在すること。
- セルがテーブル内で長方形ゾーンを形成していること。

分割ルール:

- セルがセルマトリクス内に存在すること。
- セルの行または列のスパンが1を超えていること。

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: テーブル内 2 セルの結合 (XML)

PUT/documents/16654/reports/1/elements/12?operation=merge&targetCellIds=4,6

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "12" has been
successfully updated.</message>
  <id>12</id>
</success>
```

例: テーブル内 3 セルの分割 (JSON)

PUT/documents/16654/reports/1/elements/12?operation=split&targetCellIds=8,10,9

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type "Report element" with identifier "12" has
been successfully updated.",
    "id": 12 }
}
```

8.4.11 セクションとしてのテーブルのセルの設定

用法

テーブルのセルをセクションとして設定します。

要求

PUT /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>?
operation=setAsSection

ここで、operation は、テーブルのセルに対するアクションを示す文字列パラメータです。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json。

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/8644/reports/1/elements/4?operation=setAsSection

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "40" has been
  successfully created.</message>
  <id>40</id>
</success>
```

8.4.12 レポート要素のエクスポート

用途

レポート要素を次の形式のいずれかでエクスポートします。

- HTML
- zip 形式で圧縮された HTML
- MHTML (マルチパート HTML)
- XML
- PDF
- Microsoft Excel 2003
- Microsoft Excel 2007
- CSV
- テキスト
- レポート要素がチャートである場合は、画像のタイプは PNG、JPEG、GIF または BMP です。レポート要素がカスタム要素であり、そのサービスでピクチャが戻される場合は、呼出によってピクチャが戻されます。

⚠ 警告

- チャートやカスタム要素を CSV またはテキストとしてエクスポートすることはできません。
- ヘッダ、フッタ、ボディなどのページゾーン全体をエクスポートすることはできません。同じ URL を使用すると 400 HTTP 要求が生成されます。

① 注記

- HTML 形式を選択した場合、Web サービスによって画像リンクが生成されます。そのため、HTML 出力の表示時にログオントークンが有効である必要があります。
- REST API 呼び出しで User-Agent HTTP ヘッダを使用すると、HTML へのエクスポートがエンドユーザブラウザに対して最適化されます。

① 注記

4.2 SP4 以降では、ドリルモードとドリル出力モードの両方が少なくとも 1 つのレポートに対して有効になっている場合、ドリル情報が text/xml 出力に含まれます。

① 注記

4.2 SP4 より前では、dpi のデフォルト値は PDF の場合は 300、それ以外の出力タイプの場合は 96 に設定されていました。4.2 SP4 以降では、デフォルトの動作はサーバの設定を保持することです。

① 注記

4.2 SP4 より前では、Excel データ最適化のデフォルト値は false に設定されていました。4.2 SP4 以降では、デフォルトの動作はサーバの設定を保持することです。

4.2 SP4 以降では、カスタム要素を画像としてエクスポートできます (カスタム要素サーバでサポートされている場合)。GET image/* により、サポートされている画像タイプの中から次の優先順序で描画タイプが選択されます。PNG、JPEG、GIF、BMP などです。4.2 SP4 より前では、サポートされている場合、BMP が最初に返されていました。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?
<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明	サポートされる形式
datapath	オプション。データパスを指定する文字列。例: {elementId}? datapath=DP1.DObc:"2004",DP1.DOa6:"Austin"	すべて
reference	オプション。参照を指定する文字列。例: {elementId}? reference=1.D.7	すべて
dpi	生成されたチャートの解像度 (DPI: ドット数/インチ)。値は 75 と 9600 の間になります。デフォルト値は PDF 形式では 300、他のすべての形式では 96 です。	XML と CSV を除くすべて
mode	normal または quickDisplay.	すべて
orientation	ページの方向。特定のページの向きを指定するために使用します。値は portrait および landscape です。	mode=normal の場合
widthScaling	レポート表示 1 回あたりのページ数 (幅)。デフォルト値は 0 であり、幅に制約がないことを意味します。	mode=normal の場合
heightScaling	レポート表示 1 回あたりのページ数 (高さ)。デフォルト値は 0 であり、高さに制約がないことを意味します。	mode=normal の場合
unit	サイズがレポートされる単位を定義する文字列。値は "metric"、"millimeter"、"point"、および "pixel" (デフォルト) です。	XML

パラメータ	説明	サポートされる形式
rawValues	論理値。デフォルト値は false です。true の場合、ロー値とそのタイプが書式設定された値とともにエクスポートされます。	XML
chartOutputFormat	生成されるチャートの出力形式。値: jpeg、bmp、gif、および png (デフォルト)	HTML、ZIP、および MHTML
imageUrl	情報システムからアクセスできない画像リンクのカスタマイズに使用される文字列	HTML
optimized	論理値。デフォルト値は false です。true の場合、生成される出力は Microsoft Excel 内の計算向けに最適化されます。	Microsoft Excel 2003 および Microsoft Excel 2007
textQualifier	各列の値を囲むために使用される文字。値は ' または " です。	CSV
columnDelimiter	列の間に追加される文字を定義する文字列。値は、カンマ (,)、セミコロン (;)、または特殊文字列 Tab です。	CSV
charset	文字セットの一覧から取得される有効なサーバ文字セットを定義する文字列。	CSV

⚠ 警告

同じ URL で datapath パラメータと reference パラメータを使用することはできません。同じ URL を使用すると 400 HTTP 要求が生成されます。

画像リンクのカスタマイズ

システムで画像にアクセスできない場合、HTML でエクスポートされたレポート要素における画像のソースのカスタマイズが必要になることがあります。

```

</img>
```

そのためには、GET 呼び出しで適切な値の imageUrl パラメータを使用します。

```
GET /documents/6406/reports/1/elements/13?
reference=1.D.7&imageUrl=http%3A%2F%2FmyServer%2FmyPage.jsp
```

その結果、画像リンクは以下のようになります。

```

```

```
</img>
```

応答

応答タイプ:

- text/xml (XML の場合)
 - text/html (HTML の場合)
 - application/zip (圧縮 HTML の場合)
 - multipart/related (MHTML の場合)
 - application/pdf (PDF の場合)
 - application/vnd.ms-excel (Microsoft Excel 2003 の場合)
 - application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet (Microsoft Excel 2007 の場合)
 - text/csv (CSV の場合)
 - text/plain (テキストの場合)
 - image/bmp (BMP 画像の場合)
 - image/gif (GIF 画像の場合)
 - image/png (PNG 画像の場合)
 - image/jpeg または image/jpg (JPEG 画像の場合)
- どちらの場合でも、返されるコンテンツタイプは image/jpg です。

例: HTML

```
curl -G -s -H "accept:text/html" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4" > reportelement4.htm
```

例: XML

```
curl -G -s -H "accept:text/xml" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4" > reportelement4.xml
```

例: PDF

```
curl -G -s -H "accept:application/pdf" -H X-SAP-LogonToken:""%tokenValue%""  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4" > reportelement4.pdf
```

例: Microsoft Excel 2003

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.ms-excel" -H "X-SAP-LogonToken:" "%tokenValue%" "  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4?dpi=150&optimized=true" > reportelement4.xls
```

例: Microsoft Excel 2007

```
curl -G -s -H "accept:application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet" -H "X-SAP-LogonToken:" "%tokenValue%" "  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4" > reportelement4.xlsx
```

例: CSV

この例の列区切り文字はカンマです。

```
curl -G -s -H "accept:text/csv" -H "X-SAP-LogonToken:" "%tokenValue%" "  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4?textQualifier='&columnDelimiter=,&charset='UTF-8'" > reportelement4.csv
```

例: 画像

```
curl -G -s -H "accept:image/bmp" -H "X-SAP-LogonToken:" "%tokenValue%" "  
"<base_webi_REST_URL>/documents/9227/reports/1/elements/4?imageUrl=http%3A%2F%2FmyServer%2FmyPage.jsp" > reportelement4.bmp
```

例: テキスト

GET /documents/6872/reports/1/elements/13

```
Accept: text/plain  
Content-Type: text/plain  
HTTP Response Code: 200  
Response Time: 5721 ms  
Response:  
Austin  
    e-Fashion Austin  
2004    $561,123  
2005    $1,003,071  
2006    $1,135,479
```



```
Boston
    e-Fashion Boston Newbury
2004    $238,819
...
```

例: テキストのチャート

GET /documents/6868/reports/1/elements/13?reference=1.D.7

```
Thread ID: 18
Accept: text/plain
Content-Type: application/xml
HTTP Response Code: 406
Response Time: 9805 ms
Response:
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<error>
  <error_code>WSR 00103</error_code>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "13" is not
compatible with content type "[text/plain]".</message>
</error>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[文字セットの取得 \[269 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.13 レポート要素の削除

用途

次のいずれかのレポート要素を削除できます。

- セル (テーブルのセル以外のフリーセルのみ)
- セクション
- テーブル (VTable、HTable、XTable、およびフォーム)
- 指定されたセルを含んだテーブルの行または列
- ビジュアライゼーション (チャート)
- カスタム要素

→ 注意

- レポートから要素のコンテンツも削除されます。

- ページゾーン要素およびタイプがセルのテーブル要素は削除できません。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>?strip=<strip>

この場合、

- <strip> は、指定されたセル <elementID> の含まれるテーブルから削除する行または列を定義するオプションの文字列パラメータです。値は row または column です。セルがテーブルのヘッダまたはフッタにある場合、このパラメータは必須です。セルがテーブルボディにある場合、テーブルタイプに応じて該当する行または列が自動的に削除されるため、このパラメータは必須ではありません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: テーブルの削除 (XML)

DELETE/documents/5022/reports/3/elements/4

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "4" has been
successfully deleted.</message>
  <id>4</id>
</success>
```

例: テーブルヘッダの指定されたセルを含む行の削除 (JSON)

DELETE/documents/5022/reports/3/elements/22?strip=row

```
{
  "success": {
    "message": "The resource of type \"Report element\" with identifier \"22\" has
been successfully deleted.",
    "id": 22
  }
}
```

例: テーブルボディの指定されたセルを含む行の削除 (XML)

DELETE/documents/5022/reports/3/elements/23

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "23" has been
  successfully deleted.</message>
  <id>23</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.14 レポート要素の順序付け

用法

レポート要素のレイヤの位置を変更します。

要求

PUT /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>?operation=order

値の意味:

- operation は、レポート要素に対するアクションを示す文字列パラメータです。
- level は、レポート要素のレイヤの位置を示すオプションの文字列パラメータです。指定可能な値は forward、back、forward、および backward です。

① 注記

level が forward または backward に設定されると、レポート要素は1レイヤ移動します。front または back に設定されると、レポート要素はすべてのレイヤの最上位または最下位に移動します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/8644/reports/1/elements/12?operation=order&level=front

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "12" has been
updated.</message>
  <id>12</id>
</success>
```

8.4.15 軸の使い方

レポート要素の軸について実行できるタスクは次のとおりです。

- 軸の式の更新または削除
- テーブル軸でブレイクを使用して、選択したディメンションまたはメジャーに従ってデータを整理する
- テーブル軸でのデータの並べ替え

次の表に、レポート要素のタイプごとに異なる軸の数を示します。

レポート要素	軸の数
セクション	行を表す ID 0 の軸が 1 つ
HTable または フォーム	行を表す ID 0 の軸が 1 つ
VTable	列を表す ID 1 の軸が 1 つ
XTable	行に対する ID 0、列に対する ID 1 および本文に対する ID 2 の軸が 3 つ
ビジュアライゼーション	軸はチャートのタイプによって異なります。 ルールと ID [101 ページ] を参照してください。

[レポート要素の軸の詳細の取得 \[441 ページ\]](#)

[レポート要素の軸の更新 \[443 ページ\]](#)

[レポート要素の軸式の取得 \[444 ページ\]](#)

[軸の式の更新 \[445 ページ\]](#)

[軸からの式の削除 \[447 ページ\]](#)

[テーブルのブレイクの作成 \[448 ページ\]](#)

[テーブルのブレイクの更新 \[450 ページ\]](#)

[テーブルのブレークの削除 \[451 ページ\]](#)
[レポート要素のすべてのブレークの削除 \[452 ページ\]](#)
[テーブル軸のすべてのブレークの更新 \[452 ページ\]](#)
[テーブル軸のすべてのブレークの一覧表示 \[454 ページ\]](#)
[テーブル軸のすべてのブレークの削除 \[455 ページ\]](#)
[テーブルのブレークの詳細の取得 \[455 ページ\]](#)
[レポート要素の軸ブレークの詳細の更新 \[457 ページ\]](#)
[軸の並べ替えの更新 \(4.2 SP04 以降、非推奨\) \[458 ページ\]](#)
[軸からの並べ替えの削除 \(4.2 SP04 以降、非推奨\) \[459 ページ\]](#)
[レポート要素での軸の並べ替えの取得 \[460 ページ\]](#)
[テーブル軸のブレークの詳細の取得 \[462 ページ\]](#)

8.4.15.1 レポート要素の軸の詳細の取得

用途

この URL を使用して、レポート要素 (セクション、テーブル、チャート、またはカスタム要素) の軸の詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>

パラメータ

パスパラメータ

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: ドキュメントレポートの ID
- <elementID>: レポート要素の ID
- <axisID>: 要素軸の ID

オプション

- <datapath>: (type=string) レポート要素インスタンスのデータパスを指定します。
- <reference>: (type=string) レポート要素インスタンスの ID です。

① 注記

パラメータ datapath と reference は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: レポート要素 (すべてのインスタンス) の軸の取得 (XML 形式)

[GET] /documents/11922/reports/1/elements/36/axes/1

応答:

```
<axis role="Column" fold="false">
  <id>1</id>
  <expressions>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO5">=[Service]</formula>
    <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO14">=[Number of guests]</
formula>
  </expressions>
</axis>
```

例: レポート要素の特定のインスタンスの軸の取得 (XML 形式)

[GET] /documents/11922/reports/1/elements/36/axes/1?

datapath=DP0.DObc%3A%222005%22%2CDP0.Doda%3A%22Florida%22

応答:

```
<axis role="Column" fold="true">
  <id>1</id>
  <expressions>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO5">=[Service]</formula>
    <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO14">=[Number of guests]</
formula>
  </expressions>
</axis>
```

① 注記

注: レポート要素の特定のインスタンスに関連する情報は、"fold" 属性のみです。

8.4.15.2 レポート要素の軸の更新

用途

この URL を使用して、レポート要素 (セクション、テーブル、ビジュアライゼーション、またはカスタム) の軸を更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>

要求本文: 変更するブレーク。

パラメータ

必須

- <documentID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- <elementID>: (type=integer) 有効な要素 ID。
- <axisID>: (type=integer) 有効な軸 ID。

オプション

- <datapath>: (type=string) レポート要素インスタンスのデータパスを指定します。
- <reference>: (type=string) レポート要素インスタンスの ID です。

① 注記

パラメータ datapath と reference は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: レポート要素 (すべてのインスタンス) の軸の更新

[PUT] <url>/documents/21953/reports/658/elements/659/axes/1

要求本文:

```
<axis role="primary-values">
  <expressions>
    <formula dataType="Numeric">=[Number of guests]</formula>
  </expressions>
</axis>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
  <id>0</id>
</success>
```

例: レポート要素の特定のインスタンスの軸の更新

[PUT] <url>/documents/11931/reports/48/elements/75/axes/1?
datapath=DP0.DObc%3A%222005%22%2CDP0.Doda%3A%22Florida%22

要求本文:

```
<axis role="Column" fold="true">
  <id>1</id>
  <expressions>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO5">=[Service]</formula>
    <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO14">=[Number of guests]</
formula>
  </expressions>
</axis>
```

① 注記

レポート要素の特定のインスタンスに関連する情報は、"fold" 属性のみです。

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
  <id>0</id>
</success>
```

8.4.15.3 レポート要素の軸式の取得

用途

レポート要素 (テーブル、セクション、チャート、およびカスタム要素) の式を取得します。式では、どのディメンションが軸をフィードするかを定義します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: ドキュメントレポートの ID
- <elementID>: レポート要素の ID
- <axisID>: 要素軸の ID

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

[GET] <url>/documents/16995/reports/1/elements/8/axes/0/expressions

応答:

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<expressions>
  <formula dataType="String">=[Country]</formula>
</expressions>
```

8.4.15.4 軸の式の更新

用途

以下のいずれかのタイプのレポート要素で軸の式を更新します。

- セクション
- テーブル (VTable、HTable、XTable、およびフォーム)
- ビジュアライゼーション (チャート)
- カスタム要素

要求

PUT /documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/expressions

要求本文: 更新する式。

⚠ 制限

標準テーブルの式のみを更新できます。その他の式ではテーブルの書式設定が失われます。この機能は、SAP BusinessObjects Web Intelligence でテーブルを作成する際に使用する [データの割り当て](#) コンテキストメニューに対応します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/16995/reports/1/elements/8/axes/0/expressions

要求本文:

```
<expressions>
  <formula dataType="String">=[Resort]</formula>
  <formula dataType="Numeric">=[Revenue]</formula>
</expressions>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "0" has been
successfully updated.</message>
  <id>0</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.15.5 軸からの式の削除

用途

以下のいずれかのタイプのレポート要素で軸の式を削除します。

- セクション
- テーブル (VTable、HTable、XTable、およびフォーム)
- ビジュアライゼーション (チャート)
- カスタム要素

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/
<axisID>/expressions

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/17170/reports/3/elements/8/axes/1/expressions

```
<success>
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "1" has been
  successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.15.6 テーブルのブレークの作成

用途

タイプがテーブルのレポート要素の指定した軸にブレークを作成します。

→ 注意

次の場合には、ブレークを作成することができません。

- フォームテーブル内
- XTable のボディ内

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks

要求本文: ブレークの詳細。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

単純なブレークの作成

POST /documents/17230/reports/3/elements/8/axes/0/breaks

要求本文:

```
<break onePage="true" newPage="true" sort="false" duplicate="Repeat"
repeatHeader="true" showHeader="true" showFooter="false">
  <formula dataType="String">=[Year]</formula>
</break>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Break" with identifier "1" has been
successfully created.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

例

同一レベルのブレイクの作成

POST /document/17230/reports/3/elements/9/axes/0/breaks

要求本文:

```
<break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Remove"
repeatHeader="false" showHeader="true" showFooter="true">
  <id>1</id>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP1.DO84"
qualification="Dimension">=[Query 2].[Country]</formula>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP1.DO12"
qualification="Dimension">=[Query 2].[Region]</formula>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP1.DO13"
qualification="Dimension">=[City]</formula>
</break>
```

例

値ベースのブレイクの作成

POST /document/17230/reports/3/elements/7/axes/0/breaks

```
</breaks>
  <break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Remove"
    repeatHeader="false" showHeader="false" showFooter="true">
    <id>2</id>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO3"
qualification="Hierarchy">=[COUNTRY_01]</formula>
    <values>
      <value id="0000000011">Level01¥ 11 - Clean Air Tran</value>
      <value id="0000000032">Level01¥Level02¥Level03¥Level04¥ 32 - Spokes</value>
      <value id="0000000090">Level01¥Level02¥Level03¥Level04¥Level05¥ 90 - Sports
Alsace</value>
      <value id="0000000001">Level01¥Level02¥Level03¥Level04¥Level05¥ 1 - City
Cyclists</value>
    </values>
  </break>
</breaks>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.15.7 テーブルのブレークの更新

用途

タイプがテーブルのレポート要素内で、軸のブレークのコンテンツを変更します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks/<breakID>

要求本文: 変更するブレーク。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/17230/reports/3/elements/8/axes/0/breaks/1

要求本文:

```
<break onePage="true" newPage="true" sort="false" duplicate="Repeat"
repeatHeader="true" showHeader="true" showFooter="false">
  <formula dataType="String">[Year]</formula>
</break>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Break" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

[レポート要素の詳細の取得 \[399 ページ\]](#)

8.4.15.8 テーブルのブレイクの削除

用途

タイプがテーブルのレポート要素で軸の特定のブレイクを削除します。

要求

```
DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/  
<axisID>/breaks/<breakID>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

```
DELETE /documents/17230/reports/3/elements/8/axes/0/breaks/1
```

応答:

```
<success>  
  <message>The resource of type "Break" with identifier "1" has been  
  successfully removed.</message>  
  <id>1</id>  
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

[レポート要素の詳細の取得 \[399 ページ\]](#)

8.4.15.9 レポート要素のすべてのブレイクの削除

用法

URL パラメータで指定されたテーブルのすべてのブレイクを削除します。

要求

DELETE /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/breaks

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

DELETE /documents/17230/reports/3/elements/8/breaks

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Break" has been successfully removed.</
message>
  <id>0</id>
</success>
```

8.4.15.10 テーブル軸のすべてのブレイクの更新

用法

URL パラメータで指定されたテーブル軸のすべてのブレイクを更新します。

要求

PUT /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/axes/<axisId>/breaks

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

PUT /documents/22115/reports/44/elements/61/axes/1/breaks

要求本文:

```
<breaks>
  <break>
    <formula>[Service Line]</formula>
    <values>
      <value>Recreation</value>
      <value>Travels</value>
    </values>
  </break>
  <break>
    <formula>[Resort]</formula>
  </break>
  <break>
    <formula>[City]</formula>
    <formula>[Region]</formula>
  </break>
  <break>
    <formula>[Service]</formula>
  </break>
</breaks>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

8.4.15.11 テーブル軸のすべてのブレイクの一覧表示

用途

この URL は、URL パラメータで指定されたテーブル軸のすべてのブレイクを一覧表示します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式:

[GET] <url>/documents/11014/reports/31/elements/36/axes/1/breaks

応答:

```
<breaks>
  <break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Remove"
repeatHeader="false" showHeader="false" showFooter="true">
    <id>1</id>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO39">=[Country]</formula>
  </break>
  <break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Remove"
repeatHeader="false" showHeader="true" showFooter="true">
    <id>2</id>
    <parentId>1</parentId>
    <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO31">=[Year]</formula>
  </break>
</breaks>
```

8.4.15.12 テーブル軸のすべてのブレイクの削除

用法

URL パラメータで指定されたテーブル軸のすべてのブレイクを削除します。

要求

```
DELETE /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/axes/  
<axisId>/breaks
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

```
DELETE /documents/17230/reports/3/elements/8/axes/0/breaks
```

応答本文:

```
<success>  
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "0" has been  
  successfully updated.</message>  
  <id>0</id>  
</success>
```

8.4.15.13 テーブルのブレイクの詳細の取得

用途

この URL は、URL パラメータで指定されたテーブル軸のブレイクの詳細を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks/<breakID>

パラメータ

パラメータ	説明
<documentID>	Web Intelligence ドキュメントの有効な ID
<reportID>	Web Intelligence ドキュメントのレポートの有効な ID
<elementID>	レポート要素の有効な ID
<axisID>	軸の有効な ID セクションには、ID 0 (ロール '行') の軸が 1 つのみあります。 テーブルには以下の ID があります。 <ul style="list-style-type: none">'HTable' または 'フォーム' には、ID 0 (ロール '行') の軸が 1 つのみあります。'VTable' には、ID 1 (ロール '列') の軸が 1 つあります。'XTable' には、ID 0 (ロール '行')、1 (ロール '列')、および 2 (ロール '本文') の軸が 3 つあります。 ビジュアライゼーションには、チャートタイプに応じて異なる軸がある場合があります。詳細については、チャートを参照してください。
<breakID>	ブレークの有効な ID。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式: すべてのテーブルのインスタンス

[GET] <url>/documents/11026/reports/31/elements/36/axes/0/breaks/2

応答:

```
<break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Remove"
repeatHeader="false" showHeader="true" showFooter="true" fold="false">
  <id>2</id>
  <parentId>1</parentId>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO31">=[Year]</formula>
</break>
```

① 注記

この場合、属性 'fold' は、ブレークのすべてのインスタンスが折りたたまれているかどうかを反映しています。

例: XML 形式: テーブルの特定のインスタンス

[GET] <url>/documents/11949/reports/1/elements/17/axes/1/breaks/1?
datapath=DP0.DObc%3A%222004%22%2CDP0.DOd%3A%22Texas+%22

応答:

```
<break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Repeat"
repeatHeader="false" showHeader="false" showFooter="true" fold="true">
  <id>1</id>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DOd">=[State]</formula>
</break>
```

① 注記

この場合、属性 'fold' は、ブレイクのこの特定のインスタンスが折りたたまれているかどうかを反映しています。

8.4.15.14 レポート要素の軸ブレイクの詳細の更新

用途

この URL は、レポート要素の軸ブレイクの詳細の編集に使用します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/
breaks/<breakID>

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: ドキュメントレポートの ID
- <elementID>: レポート要素の ID
- <axisID>: 要素軸の ID
- <breakID>: ブレイクの ID

オプションパラメータ

- <datapath>: (type=string) テーブルのインスタンスのデータパスを指定できます。
- <reference>: (type=string) レポート要素インスタンスの ID です。

① 注記

パラメータ datapath と reference は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

8.4.15.15 軸の並べ替えの更新 (4.2 SP04 以降、非推奨)

用途

タイプがテーブル (HTable、VTable、XTable、およびフォーム)、セクション、ビジュアライゼーション、またはカスタム要素のレポート要素で軸の並べ替えを更新します ([レポート要素の1つの並べ替えの更新 \[490 ページ\]](#) を参照)。

① 注記

この API は、4.2 SP04 以降、非推奨となっているため、使用しないでください。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/
sorts

要求本文: 更新する並べ替え。

→ 注意

並べ替えは指定順序で適用されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT/documents/17196/reports/3/elements/12/axes/1/sorts

要求本文:

```
<sorts>
  <sort order="Ascending" dataType="String">[Resort]</sort>
  <sort order="Ascending" dataType="String">[Country]</sort>
</sorts>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Axis" with identifier "1" has been
  successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

8.4.15.16 軸からの並べ替えの削除 (4.2 SP04 以降、非推奨)

用途

タイプがテーブル (HTable、VTable、XTable、およびフォーム)、セクション、ビジュアライゼーション、またはカスタム要素のレポート要素で軸の並べ替えを削除します ([レポート要素の特定の並べ替えの削除 \[492 ページ\]](#) を参照)。

① 注記

この API は、4.2 SP04 以降、非推奨となっているため、使用しないでください。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/
<axisID>/sorts

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/18930/reports/2/elements/15/axes/1/sorts

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Axis" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
<id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.15.17 レポート要素での軸の並べ替えの取得

用途

タイプがテーブル (HTable、VTable、XTable、およびフォーム)、セクション、ビジュアライゼーション、またはカスタム要素のレポート要素で軸の並べ替えタイプ (昇順または降順) を取得します。この RESTful 呼び出しでは、レポート要素の軸の並べ替えタイプを取得することができます。軸を持つサポートされるレポート要素は以下のとおりです。

- セクション (4.1 SP6 以降)
- テーブル
- ビジュアライゼーション (4.1 SP5 以降)
- カスタム (4.2 SP3 以降)

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/sorts

パラメータ

パラメータ	説明
<documentID>	Web Intelligence ドキュメントの有効な ID
<reportID>	Web Intelligence ドキュメントのレポートの有効な ID
<elementID>	レポート要素の有効な ID

パラメータ	説明
<code><axisID></code>	<p>軸の有効な ID</p> <p>セクションには、ID 0 (ロール '行') の軸が 1 つのみあります。</p> <p>テーブルには以下の ID があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 'HTable' または 'フォーム' には、ID 0 (ロール '行') の軸が 1 つのみあります。 'VTable' には、ID 1 (ロール '列') の軸が 1 つあります。 'XTable' には、ID 0 (ロール '行')、1 (ロール '列')、および 2 (ロール '本文') の軸が 3 つあります。 <p>ビジュアライゼーションには、チャートタイプに応じて異なる軸がある場合があります。詳細については、チャートを参照してください。</p>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: セクションの並べ替えの取得

GET/documents/16995/reports/1/elements/8/axes/0/sorts

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<sorts>
  <sort order="Ascending" dataType="String">[Resort]</sort>
</sorts>
```

例: テーブルの軸の並べ替えの取得

GET/documents/17196/reports/3/elements/12/axes/1/sorts

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<sorts>
  <sort order="Ascending" dataType="String">[Resort]</sort>
  <sort order="Ascending" dataType="String">[Country]</sort>
</sorts>
```

例: チャートの軸の並べ替えの取得

GET/documents/13644/reports/6/elements/24/axes/5/sorts

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<sorts>
  <sort order="Descending" dataType="String">[Service]</sort>
  <sort order="Ascending" dataType="String">[Country]</sort>
</sorts>
```

例: カスタム要素の軸の並べ替えの取得

GET/documents/13644/reports/6/elements/24/axes/1/sorts

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<sorts>
  <sort order="Descending" dataType="String">[Year]</sort>
</sorts>
```

8.4.15.18 テーブル軸のブレイクの詳細の取得

用途

この URL は、URL パラメータで指定されたテーブル軸のブレイクの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/axes/<axisID>/breaks/<breakID>

パスパラメータ:

- <documentID>: ドキュメントの一覧から取得されるドキュメント ID
- <reportID>: ドキュメントレポートの ID
- <elementID>: レポート要素の ID
- <axisID>: 要素軸の ID
- <breakID>: ブレイクの ID

オプションパラメータ

- <datapath>: (type=string) テーブルのインスタンスのデータパスを指定できます。
- <reference>: (type=string) レポート要素インスタンスの ID です。

① 注記

パラメータ datapath と reference は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: テーブルのすべてのインスタンスの取得

[GET] <url>/documents/11026/reports/31/elements/36/axes/0/breaks/2

応答:

```
<break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Remove"
repeatHeader="false" showHeader="true" showFooter="true" fold="false">
  <id>2</id>
  <parentId>1</parentId>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DO31">=[Year]</formula>
</break>
```

① 注記

この場合、属性 'fold' は、ブレイクのすべてのインスタンスが折りたたまれているかどうかを反映しています。

例: テーブルの特定のインスタンスの取得

[GET] <url>/documents/11949/reports/1/elements/17/axes/1/breaks/1?

datapath=DP0.DObc%3A%222004%22%2CDP0.DOd%3A%22Texas+%22

応答:

```
<break onePage="false" newPage="false" sort="true" duplicate="Repeat"
repeatHeader="false" showHeader="false" showFooter="true" fold="true">
  <id>1</id>
  <formula dataType="String" dataObjectId="DP0.DOd">=[State]</formula>
</break>
```

① 注記

この場合、属性 'fold' は、ブレイクのこの特定のインスタンスが折りたたまれているかどうかを反映しています。

8.4.16 順位の操作

順位付けを使用すると、さまざまな基準に基づいて、データセット内の上位および下位のレコードを分離することができます。

[レポート要素での順位の作成 \[464 ページ\]](#)

[レポート要素の順位の更新 \[465 ページ\]](#)

[レポート要素の順位の削除 \[466 ページ\]](#)

[レポート要素での順位の取得 \[467 ページ\]](#)

8.4.16.1 レポート要素での順位の作成

用途

タイプがテーブル (HTable、VTable、XTable、およびフォーム)、セクション、ビジュアライゼーション、またはカスタム要素のレポート要素で順位を作成します。

→ 注意

レポート要素には、順位を 1 つだけ定義できます。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/ranking

要求本文: 順位の定義。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST/documents/17281/reports/1/elements/20/ranking

要求本文:

```
<ranking calculation="Count" top="3" bottom="3">
```

```
<basedOn>=[Number of guests]</basedOn>
<rankedBy>=[Year]</rankedBy>
</ranking>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Ranking" has been successfully created.</
message>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.16.2 レポート要素の順位の更新

用途

タイプがテーブル (HTable、VTable、XTable、およびフォーム)、セクション、ビジュアライゼーション、またはカスタム要素のレポート要素で順位を変更します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/ranking

応答本文: 更新する順位の詳細。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT/documents/17281/reports/1/elements/20/ranking

要求本文:

```
<ranking calculation="Count" top="2" bottom="4">
  <basedOn>=[Number of guests]</basedOn>
  <rankedBy>=[Year]</rankedBy>
</ranking>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Ranking" has been successfully updated.</
message>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.16.3 レポート要素の順位の削除

用途

タイプがテーブル (HTable、VTable、XTable、およびフォーム)、セクション、ビジュアライゼーション、またはカスタム要素のレポート要素で順位を削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/ranking

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE/documents/17281/reports/1/elements/20/ranking

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Ranking" has been successfully removed.</
message>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.16.4 レポート要素での順位の取得

用途

この RESTful 呼び出しでは、タイプがテーブル ('VTable'、'HTable'、'XTable'、'Form')、'セクション'、'ビジュアライゼーション'、またはカスタムのレポート要素で順位を取得することができます。レポート要素では、1つの順位のみを定義することができます。

この URL は、URL パラメータで指定された順位を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/ranking

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: (XML 形式):

[GET] <url>/documents/17281/reports/1/elements/20/ranking

応答:

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<ranking calculation="Count" top="3" bottom="3">
  <basedOn>=[Number of guests]</basedOn>
  <rankedBy>=[Year]</rankedBy>
</ranking>
```

8.4.17 計算の使用

レポート要素の計算で実行できるタスクは次のとおりです。

- レポート要素の計算を取得する
- レポート要素に関連付けられている特定の計算の作成、詳細の取得、および削除を行う

計算はテーブルのセルにのみ適用できます。

- 垂直テーブルおよび水平テーブル: ボディセルのみ
- クロステーブル: ボディセルまたはヘッダボディセルのみ

計算 ID は Average、Count、Max、Min、Percent、および Sum です。メジャー以外の式に基づいたセルの場合は、Count、Max、および Min のみが利用可能です。

8.4.17.1 レポート要素の計算の取得

用法

レポート要素のすべての計算を取得します。レポート要素は、テーブルまたはテーブルのセルにすることができます。

要求

GET /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/calculations

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

テーブルの計算の取得

GET /documents/12236/reports/22/elements/29/calculations

応答本文:

```
<calculations>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Sum</id>
    <formula dataType="Numeric" qualification="Measure">=Sum([Sales
revenue])</formula>
    <basedOn>
      <id>24</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO93"
qualification="Measure">=[Sales revenue]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Count</id>
    <formula dataType="Numeric"
qualification="Measure">=Count([Margin])</formula>
    <basedOn>
      <id>30</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO92"
qualification="Measure">=[Margin]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Average</id>
    <formula dataType="Numeric" qualification="Measure">=Average([Sales
revenue])</formula>
    <basedOn>
      <id>24</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO93"
qualification="Measure">=[Sales revenue]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Max</id>
    <formula dataType="Numeric" qualification="Measure">=Max([Margin])</
formula>
    <basedOn>
      <id>30</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO92"
qualification="Measure">=[Margin]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Percent</id>
    <formula dataType="Numeric"
qualification="Measure">=Percentage([Margin])</formula>
    <basedOn>
      <id>30</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO92"
qualification="Measure">=[Margin]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
</calculations>
```

テーブルのセルの計算の取得

GET /documents/12236/reports/22/elements/30/calculations

応答本文:

```
<calculations>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Max</id>
    <formula dataType="Numeric" qualification="Measure">=Max([Margin])</
formula>
    <basedOn>
      <id>30</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO92"
qualification="Measure">=[Margin]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Percent</id>
    <formula dataType="Numeric"
qualification="Measure">=Percentage([Margin])</formula>
    <basedOn>
      <id>30</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO92"
qualification="Measure">=[Margin]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
  <calculation horizontal="false">
    <id>Count</id>
    <formula dataType="Numeric" qualification="Measure">=Count([Margin])</
formula>
    <basedOn>
      <id>30</id>
      <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO92"
qualification="Measure">=[Margin]</formula>
    </basedOn>
  </calculation>
</calculations>
```

8.4.17.2 計算の詳細の取得

用法

指定した計算に関するすべての情報を返します。レポート要素にすることができるのは、テーブルのセルのみです。

要求

GET /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/calculations/
<calculationId>?strip=column

値の意味:

- strip は、計算の方向を定義するオプションの文字列パラメータです。可能な値は row または column です。クロステーブルでは、strip はボディセルにのみ適用されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

GET /documents/15216/reports/5/elements/13/calculations/Sum?strip=row

応答本文:

```
<calculation horizontal="true">
  <id>Sum</id>
  <formula dataType="Numeric" qualification="Measure">=Sum([Future guests])</
formula>
  <basedOn>
    <id>13</id>
    <formula dataType="Numeric" dataObjectId="DP0.DO25"
qualification="Measure">=[Future guests]</formula>
  </basedOn>
</calculation>
```

8.4.17.3 計算の作成

用法

レポート要素に関連付けられる計算を作成します。レポート要素は、テーブルまたはテーブルのセルにすることができます。

要求

POST /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/calculations?strip=column

値の意味:

- strip は、計算の方向を定義するオプションの文字列パラメータです。可能な値は row または column です。クロステーブルでは、strip はボディセルにのみ適用されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

クロステーブルのボディセルでの計算の作成

POST /documents/15231/reports/5/elements/13/calculations?strip=row

要求本文:

```
<calculation>
  <id>Sum</id>
</calculation>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Calculation" with identifier "Sum" has been
  successfully created.</message>
  <id>Sum</id>
</success>
```

垂直テーブルでの計算の作成

POST /documents/15246/reports/22/elements/29/calculations

要求本文:

```
<calculation>
  <id>Count</id>
  <basedOn>
    <id>30</id>
  </basedOn>
</calculation>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Calculation" with identifier "Count" has been
  successfully created.</message>
  <id>Count</id>
</success>
```

8.4.17.4 計算の削除

用法

レポート要素に関連付けられている特定の計算を削除します。レポート要素にすることができるのは、テーブルのセルのみです。

要求

```
DELETE /documents/<documentId>/reports/<reportId>/elements/<elementId>/
calculations/<calculationId>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

```
DELETE /documents/15261/reports/22/elements/30/calculations/Max
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "Calculation" with identifier "Max" has been
successfully removed.</message>
  <id>Max</id>
</success>
```

8.4.18 カスタムプロパティの使用

[カスタムプロパティの一覧の取得 \[474 ページ\]](#)

[カスタムプロパティ値の取得 \[475 ページ\]](#)

[レポート要素へのカスタムプロパティの追加 \[475 ページ\]](#)

[カスタムプロパティの更新 \[477 ページ\]](#)

8.4.18.1 カスタムプロパティの一覧の取得

用途

指定したレポート要素の使用可能なカスタムプロパティをすべて一覧表示します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: カスタムプロパティのキーと値の一覧。

例

GET /documents/1234/reports/1/elements/100/properties

応答:

```
<properties>
  <property key="KEY01">Value01</property>
  <property key="KEY#2">2nd properties</property>
</properties>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.18.2 カスタムプロパティ値の取得

用途

レポート要素の指定したカスタムプロパティの値を取得します。

要求

GET /documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties/
<propertyKey>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

GET /documents/1234/reports/1/elements/100/properties/NEW_KEY

応答:

```
<property key='NEW_KEY'>MyKeyValue</property>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.18.3 レポート要素へのカスタムプロパティの追加

用途

レポート要素にカスタムプロパティを追加します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties

要求本文: 追加するプロパティ。

→ 注意

プロパティのキーを NULL または空にすることはできません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/1234/reports/1/elements/100/properties

要求本文:

```
<property key='NEW_KEY'>MyKeyValue</property>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Property" has been successfully created.</
message>
  <id>NEW_KEY</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.18.4 カスタムプロパティの更新

用途

レポート要素の指定されたカスタムプロパティの値を変更します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties

要求本文: 編集するカスタムプロパティ (キーと値)。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/1234/reports/1/elements/100/properties

要求本文:

```
<property key='NEW_KEY'>Modified Value</property>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Property" has been successfully updated.</message>
  <id>NEW_KEY</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.18.5 カスタムプロパティの削除

用途

レポート要素からカスタムプロパティを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/properties/
<propertyKey>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/1234/reports/1/elements/100/properties/MYKEY

```
<success>
  <message>The resource of type "Property" has been successfully removed.</
message>
  <id>MYKEY</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.19 レポート要素のデータフィルタの管理

レポート要素に適用するデータフィルタについてタスクを実行するために API が用意されています

[レポート要素のデータフィルタの作成 \[479 ページ\]](#)

[レポート要素のデータフィルタの詳細を取得する \[480 ページ\]](#)

[レポート要素のデータフィルタの更新 \[482 ページ\]](#)

[レポート要素からのデータフィルタを削除する \[483 ページ\]](#)

8.4.19.1 レポート要素のデータフィルタの作成

用途

ID を参照して、指定のレポート要素のデータフィルタを作成します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter

要求本文: レポート要素に作成するデータフィルタの説明 key 属性は、レポートの formulaLanguageId 要素のいずれかである必要があります。

演算子は利用可能なレポートフィルタのいずれかです。

- Equal
- NotEqual
- Greater
- GreaterOrEqual
- Less
- LessOrEqual
- Between
- NotBetween
- InList
- NotInList
- IsNull
- IsNotNull
- IsAny
- Like
- NotLike
- 両方
- Except

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

要求本文:

```
<datafilter>
  <and>
    <condition key="[Lines]" operator="InList">
      <value>City Trousers</value>
      <value>Shirt Waist</value>
      <value>Jackets</value>
    </condition>
    <condition key="[State]" operator="NotEqual">
      <value>Colorado</value>
    </condition>
  </or>
</and>
</datafilter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "1" has been
  successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.19.2 レポート要素のデータフィルタの詳細を取得する

用途

レポートからレポート要素データフィルタの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

GET /documents/4567/reports/1/elements/22/datafilter

応答:

```
<datafilter>
  <and>
    <condition key="[Lines]" operator="InList">
      <value>City Trousers</value>
      <value>Shirt Waist</value>
      <value>Jackets</value>
    </condition>
    <condition key="[State]" operator="NotEqual">
      <value>Colorado</value>
    </condition>
  </or>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Greater">
    <value>5000</value>
  </condition>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Less">
    <value>10</value>
  </condition>
</or>
</and>
</datafilter>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.19.3 レポート要素のデータフィルタの更新

用途

URL パラメータで指定されたレポートに適用されたデータフィルタを更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter

要求本文: レポート用に作成するデータフィルタの説明 演算子は利用可能なレポートフィルタ条件のいずれかです。

- Equal
- NotEqual
- Greater
- GreaterOrEqual
- Less
- LessOrEqual
- Between
- NotBetween
- InList
- NotInList
- IsNull
- IsNotNull
- IsAny
- Like
- NotLike
- 両方
- Except

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/223/reports/1/elements/22/datafilter

要求本文:

```
<datafilter>
  <and>
    <condition key="[Lines]" operator="InList">
      <value>City Trousers</value>
      <value>Shirt Waist</value>
      <value>Jackets</value>
    </condition>
    <condition key="[State]" operator="NotEqual">
      <value>Colorado</value>
    </condition>
  </or>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Greater">
    <value>5000</value>
  </condition>
  <condition key="[Sales revenue]" operator="Less">
    <value>10</value>
  </condition>
</or>
</and>
</datafilter>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "1" has been
  successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.19.4 レポート要素からのデータフィルタを削除する

用途

ID を参照して、指定のレポート要素からデータフィルタを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/datafilter

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/9512/reports/67/elements/22/datafilter

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "67" has been
  successfully deleted.</message>
  <id>67</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポート要素の一覧の取得 \[395 ページ\]](#)

8.4.20 並べ替えの使用

レポート要素の並べ替えについて実行できるタスクは次のとおりです。

- レポート要素の並べ替えの取得、更新、または削除
- レポート要素の特定の並べ替えの取得、更新、または削除

これらの並べ替えは、次のレポート要素に適用できます。セクション、テーブル、テーブルのセルまたはセクションセル、チャートおよびカスタム要素。

8.4.20.1 レポート要素の並べ替えの取得

用途

レポート要素の並べ替えの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: 1.レーダーチャート (XML 形式)

[GET] /documents/8401/reports/4/elements/130/sorts

応答:

```
<sorts>
  <group>
    <name>Sort 1</name>
    <sort order="None">
      <id>R4.B130.S0</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO5" kind="Expression"
dataType="String">[Service]</assignedDataObject>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B130.S1</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO25" kind="Expression"
dataType="Numeric">[Future guests]</assignedDataObject>
    </sort>
  </group>
  <group>
    <name>Sort 2</name>
    <sort order="Ascending">
      <id>R4.B130.S2</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO2" kind="Expression"
dataType="String">[Resort]</assignedDataObject>
    </sort>
  </group>
</sorts>
```

例: 2.円チャート (XML 形式)

[GET] /documents/8579/reports/7/elements/289/sorts

応答:

```
<sorts>
  <sort order="Descending">
    <id>R7.B289.S0</id>
    <assignedDataObject refId="DP0.DO7" kind="Expression"
dataType="Numeric">=[Revenue]</assignedDataObject>
  </sort>
  <sort order="Ascending">
    <id>R7.B289.S1</id>
    <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"
dataType="String">=[Country]</assignedDataObject>
  </sort>
  <sort order="None">
    <id>R7.B289.S2</id>
    <assignedDataObject refId="DP0.DO31" kind="Expression"
dataType="String">=[Year]</assignedDataObject>
  </sort>
</sorts>
```

例: 3.クロステーブル (XML 形式)

[GET] /documents/8579/reports/7/elements/289/sorts

応答:

```
<sorts>
  <group>
    <name>Columns</name>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S0</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"
dataType="String">=[Country]</assignedDataObject>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S1</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO31" kind="Expression"
dataType="String">=[Year]</assignedDataObject>
    </sort>
  </group>
  <group>
    <name>Rows</name>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S2</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO25" kind="Expression"
dataType="Numeric">=[Future guests]</assignedDataObject>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S3</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO5" kind="Expression"
dataType="String">=[Service]</assignedDataObject>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S4</id>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO4" kind="Expression"
dataType="String">=[Service Line]</assignedDataObject>
    </sort>
  </group>
</sorts>
```

```
        </sort>
      </group>
    </sorts>
```

例: 4. テーブルセル (XML 形式)

[GET] /documents/8244/reports/1/elements/10/sorts

応答:

```
<sorts>
  <sort order="None">
    <id>R1.B12.S3</id>
    <assignedDataObject dataType="String">=NameOf([Year])</
assignedDataObject>
  </sort>
</sorts>
```

8.4.20.2 並べ替えの詳細の取得

用途

レポート要素の並べ替えの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/<sortID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

パラメータ

- documentId: WebI ドキュメントの有効な ID です。
- reportId: 特定のドキュメントのレポートの有効な ID です。

- `elementId`: レポート要素の有効な ID です。
- `sortId`: 並べ替えの有効な ID です。

例: (XML 形式)

[GET] `raylight/v1/documents/8486/reports/7/elements/289/sorts/R7.B289.S1`

応答:

```
<sort order="Ascending">
  <id>R7.B289.S1</id>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"
dataType="String">[Country]</assignedDataObject>
</sort>
```

8.4.20.3 レポート要素の並べ替えの更新

この URL を使用して、レポート要素のすべての並べ替えを 1 回で更新します。各並べ替えの位置は重要で、並べ替えは指定した順序で適用されます。属性 "order" および並べ替えの位置のみを変更できることに注意してください。グループ間で並べ替えを移動したり、新しい並べ替えを追加したりすることはできません。既存の並べ替えの変更のみが可能です。

用途

レポート要素のすべての並べ替えを 1 回で更新します。

要求

`PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts`

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

パラメータ

- documentId: Web Intelligence ドキュメントの有効な ID です。
- reportId: 特定のドキュメントのレポートの有効な ID です。
- elementId: レポート要素の有効な ID です。

例: 1. クロステーブル (XML 形式)

[PUT] /documents/9134/reports/4/elements/12/sorts

要求本文:

```
<sorts>
  <group>
    <sort order="Descending">
      <id>R4.B12.S1</id>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S0</id>
    </sort>
  </group>
  <group>
    <sort order="Ascending">
      <id>R4.B12.S2</id>
    </sort>
    <sort order="Descending">
      <id>R4.B12.S4</id>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S3</id>
    </sort>
  </group>
</sorts>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "12" has been
  successfully updated.</message>
  <id>12</id>
</success>
```

例: 2. テーブルセル (XML 形式)

[PUT] /documents/8263/reports/3/elements/10/sorts

要求本文:

```
<sorts>
  <sort order="Descending" />
</sorts>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "10" has been
successfully updated.</message>
  <id>10</id>
</success>
```

① 注記

並べ替えは1つのみ存在できるため、セクション/テーブルセルの並べ替えを更新する際に、並べ替えの ID を指定する必要はありません。

8.4.20.4 レポート要素の 1 つの並べ替えの更新

この URL を使用して、レポート要素の特定の並べ替えを更新します。属性 `order` のみを変更できます。

用途

レポート要素の特定の並べ替えを更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/<sortID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

パラメータ

- documentId: Web Intelligence ドキュメントの有効な ID です。
- reportId: 特定のドキュメントのレポートの有効な ID です。
- elementId: レポート要素の有効な ID です。
- sortId: レポート要素の有効な ID です。

例: (XML 形式) (XTable)

[PUT] raylight/v1/documents/9274/reports/7/elements/270/sorts/R7.B270.S0

要求本文:

```
<sort order="Ascending" />
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Sort" with identifier "R7.B270.S0" has been
  successfully updated.</message>
  <id>R7.B270.S0</id>
</success>
```

8.4.20.5 レポート要素の並べ替えの削除

この URL を使用すると、レポート要素の並べ替えを削除できます。この呼び出しにより、すべての並べ替えの位置がリセットされ、かつ属性 "order" が "None" にリセットされます。

用途

レポート要素の並べ替えを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

パラメータ

- documentId: Web Intelligence ドキュメントの有効な ID です。
- reportId: 特定のドキュメントのレポートの有効な ID です。

- elementId: レポート要素の有効な ID です。

例: (XML 形式) (XTable)

[GET] /documents/9134/reports/4/elements/12/sorts

要求本文:

```
<sorts>
  <group>
    <sort order="Descending">
      <id>R4.B12.S1</id>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S0</id>
    </sort>
  </group>
  <group>
    <sort order="Ascending">
      <id>R4.B12.S2</id>
    </sort>
    <sort order="Descending">
      <id>R4.B12.S4</id>
    </sort>
    <sort order="None">
      <id>R4.B12.S3</id>
    </sort>
  </group>
</sorts>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "12" has been
successfully updated.</message>
  <id>12</id>
</success>
```

8.4.20.6 レポート要素の特定の並べ替えの削除

この URL を使用して、レポート要素の特定の並べ替えを削除します。この呼び出しにより、指定した並べ替えの属性 "order" が "None" にリセットされます。

用途

指定したレポート要素の並べ替えを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sorts/
<sortID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

パラメータ

- documentId: Web Intelligence ドキュメントの有効な ID です。
- reportId: 特定のドキュメントのレポートの有効な ID です。
- elementId: レポート要素の有効な ID です。
- sortId: 並べ替えの有効な ID です。

例: (XML 形式)

[DELETE] raylight/v1/documents/9314/reports/2/elements/8/sorts/R2.B8.S1

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Sort" with identifier "R2.B8.S1" has been
  successfully removed.</message>
  <id>R2.B8.S1</id>
</success>
```

8.4.21 レポート要素コメントの管理

以下は、レポート要素コメントに対して実行できるタスクです。

- レポート要素の特定のコメントを取得する
- レポート要素のすべてのコメントを取得する

関連情報

[レポート要素の特定のコメントの取得 \[495 ページ\]](#)

[レポート要素のすべてのコメントまたは表示可能なコメントのみの取得 \[494 ページ\]](#)

8.4.21.1 レポート要素のすべてのコメントまたは表示可能なコメントのみの取得

用途

この呼出では、レポート要素のすべてのコメント、または表示可能なコメントのみが戻されます。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/comments?
filter=visible

① 注記

タイプが PageZone および Section のレポート要素にはコメントができません。呼び出すとエラーがスローされ、以下のようになります。

{ } サンプルコード

```
HTTP code: 400
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<error>
  <error_code>WSR 00101</error_code>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "2"
does not support inner resources of type "Comment" ("PageZone").</message>
</error>
```

パラメータ

必須

- <documentID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- <elementID>: (type=integer) レポート内の要素の有効な ID。

オプション

- <filter>: (type=string) 呼出での指定に従ってコメントが戻されます。
使用可能な値は all (デフォルト) または visible です。
- <datapath>: (type=string) インスタンスを特定するデータパスを指定します。

- `<reference>`: (type=string) 要素でのインスタンスの参照を指定します (複数のインスタンスが存在する場合)。

① 注記

パラメータ datapath と reference は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML

[GET] `<url>/documents/22684/reports/19/elements/4/comments?reference=J.4&filter=visible`

?filter=visible の場合、`<comments>` で戻される一覧には1つの `<comment>` のみが含まれます。

応答:

```
<comments>
  <comment>
    <id>82</id>
    <created>2016-08-16T15:18:16.000Z</created>
    <updated>2016-08-16T15:18:16.000Z</updated>
    <createdBy>
      <name>fhsq1_user2</name>
      <cuid>Aa6EkoIN4_xMhE2FhhaTEAA</cuid>
    </createdBy>
    <lastAuthor>
      <name>fhsq1_user2</name>
      <cuid>Aa6EkoIN4_xMhE2FhhaTEAA</cuid>
    </lastAuthor>
    <value>123</value>
    <element>
      <id>7</id>
      <reference>J.7.0.E</reference>
    </element>
  </comment>
</comments>
```

8.4.21.2 レポート要素の特定のコメントの取得

用途

この呼び出しは、可視性に関係なく、Web Intelligence ドキュメントのレポート要素のすべてのコメントを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/comments/
<commentID>

パラメータ

必須

- <documentID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportID>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- <elementID>: (type=integer) レポート内の要素の有効な ID。
- <commentID>: (type=integer) コメントの有効な ID。

オプション

- <reference>: (type=string) 参照を指定します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML

[GET] <url>/documents/22684/reports/19/elements/4/comments/80?reference=J.4

応答:

```
<comment>
  <id>80</id>
  <created>2016-08-16T15:18:03.000Z</created>
  <updated>2016-08-16T15:18:03.000Z</updated>
  <createdBy>
    <name>raylight_user</name>
    <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
  </createdBy>
  <lastAuthor>
    <name>raylight_user</name>
    <cuid>AZFmWPGBwwRBm3almUJGkfk</cuid>
  </lastAuthor>
  <value>Second</value>
  <element>
    <id>4</id>
    <reference>J.4</reference>
  </element>
</comment>
```

8.4.21.3 レポート要素への新規コメントの追加

用途

新しいコメントを Web Intelligence ドキュメントの特定のレポート要素に追加します。

要求

POST /documents/<{documentId}>/reports/<{reportId}>/elements/<{elementId}>/comments

パラメータ

必須

- <documentId>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportId>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- <elementId>: (type=integer) レポート内の要素の有効な ID。

オプション

- <datapath>: (type=string) 要素でのインスタンスのデータパスを指定します。
- <reference>: (type=string) 要素でのインスタンスの参照を指定します (複数のインスタンスが存在する場合)。

① 注記

パラメータ <datapath> と <reference> は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML

POST/documents/22684/reports/19/elements/5/comments

要求:

```
<comment>
```

```
<value>Great results in Q4!</value>
</comment>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type 'Comment' with identifier '5' has been
  successfully created.</message>
  <id>5</id>
</success>
```

8.4.21.4 コメントスレッドでの特定メッセージの変更

用途

レポート要素の特定のコメントを変更します。

要求

PUTdocuments/{documentId}/reports/{reportId}/elements/{elementId}/comments/
{commentId}

パラメータ

必須

- **<documentId>**: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- **<reportId>**: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- **<elementId>**: (type=integer) レポート内の要素の有効な ID。
- **<commentId>**: (type=integer) コメントの有効な ID。

オプション

- **<datapath>**: (type=string) 要素でのインスタンスのデータパスを指定します。
- **<reference>**: (type=string) 要素でのインスタンスの参照を指定します (複数のインスタンスが存在する場合)。

① 注記

パラメータ **<datapath>** と **<reference>** は同時には使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML

[PUT]/documents/22684/reports/19/elements/4/comments/5

要求:

```
<comment>
  <value>Update: Revenue covers country only</value>
</comment>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type 'Comment' with identifier '5' has been
successfully edited.</message>
  <id>5</id>
</success>
```

8.4.21.5 コメントスレッドでのメッセージの削除

用途

レポート要素のコメントスレッドで特定のメッセージを削除します。

要求

DELETE/documents/<{docId}>/reports/<{repId}>/elements/<{elId}>/comments/
<{commentId}>

パラメータ

- <documentId>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメントの有効な ID。
- <reportId>: (type=integer) Web Intelligence ドキュメント内のレポートの有効な ID。
- <elementId>: (type=integer) レポート内の要素の有効な ID。

- `<commentId>`: (type=integer) コメントの有効な ID。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML

[DELETE] /documents/22684/reports/19/elements/4/comments/5

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Comment" with identifier "5" has been
  successfully deleted.</message>
</success>
```

8.5 入力コントロールの使用

入力コントロールは、1つのレポート、一連のレポート、またはドキュメント全体に適用することができます。また、入力コントロールをレポートからドキュメントに、およびドキュメントからレポートに移動することができます。

関連情報

[ドキュメント入力コントロールの使用 \[500 ページ\]](#)

[レポート入力コントロールの使用 \[526 ページ\]](#)

8.5.1 ドキュメント入力コントロールの使用

入力コントロールは、1つのレポート、一連のレポート、またはドキュメント全体に適用することができます。また、入力コントロールをレポートからドキュメントに、およびドキュメントからレポートに移動することができます。

次の入力コントロールがサポートされています。

- TextField
- ComboBox
- RadioButtons
- CheckBox
- ListBox
- Calendar
- Spinner
- Slider
- TreeList
- 入力コントロールのグループ

[ドキュメントの入力コントロールの取得 \[501 ページ\]](#)

[ドキュメント内の 1 つの入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義の取得 \[505 ページ\]](#)

[ドキュメント入力コントロールの定義の更新 \[511 ページ\]](#)

[ドキュメントへの入力コントロールの追加 \[515 ページ\]](#)

[ドキュメントでの入力コントロールの新しいグループの追加 \[516 ページ\]](#)

[ドキュメント入力コントロールの値の一覧の取得 \[517 ページ\]](#)

[ドキュメント入力コントロールの選択の取得 \[518 ページ\]](#)

[ドキュメント入力コントロールの選択の設定 \[519 ページ\]](#)

[ドキュメント入力コントロールの選択の削除 \[521 ページ\]](#)

[ドキュメントからの入力コントロールグループの削除 \[522 ページ\]](#)

[ドキュメント入力コントロールの削除 \[523 ページ\]](#)

[ドキュメント内の入力コントロールの並べ替え \[524 ページ\]](#)

[レポートからドキュメントへの入力コントロールの移動 \[525 ページ\]](#)

8.5.1.1 ドキュメントの入力コントロールの取得

用途

ドキュメントのすべての入力制御を一覧表示します。

要求

GET/documents/<documentID>/inputcontrols

オプションパラメータ

`allInfo`: (type=boolean、default=false) true に設定すると、各入力コントロールの詳細および選択が含まれます。

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答本文: 入力制御の ID と名前の一覧。

例: XML

GET `/documents/6671/inputcontrols`

応答:

```
<inputcontrols>
  <inputcontrol>
    <id>D.IF0</id>
    <name>Country</name>
  </inputcontrol>
</inputcontrols>
```

例: JSON

GET `/documents/5152/inputcontrols`

応答:

```
{ "inputcontrols":
  { "inputcontrol":
    [ { "id": "D.IF0",
        "name": "my checkbox_1" } ]
  }
}
```

例: 詳細および選択を使用した例 (XML 形式):

GET `/documents/7411/inputcontrols?allInfo=true`

応答:

```
<inputcontrols>
```

```

    <inputcontrol>
      <id>D.IF0</id>
      <name>Country</name>
      <comboBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
operator="Equal"/>
      <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"
dataType="String"/>
      <assignedReportElements>
        <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
      </assignedReportElements>
      <selection>
        <value>US</value>
      </selection>
    </inputcontrol>
  </inputcontrols>

```

例: XML 形式

GET /documents/8020/inputcontrols

応答

```

<inputcontrols>
  <inputcontrol>
    <id>R30.G0</id>
    <name>Location</name>
    <group>
      <id>R30.IF1</id>
      <id>R30.IF2</id>
    </group>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R30.IF3</id>
    <name>Name of manager</name>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R30.G1</id>
    <name>Weeks</name>
    <group>
      <id>R30.IF4</id>
      <id>R30.IF6</id>
      <id>R30.IF5</id>
    </group>
  </inputcontrol>
</inputcontrols>

```

上記のグループは、2つの入力コントロールのグループ、単一の入力コントロール、3つの入力コントロールのグループの順に示しています。

例: 詳細および選択を使用する (XML 形式)

GET /documents/8020/inputcontrols?allInfo=true

応答

```

<inputcontrols>
  <inputcontrol>

```

```

<id>R30.G0</id>
<name>Location</name>
<group hasFilterPath="true">
  <inputcontrol>
    <id>R30.IF1</id>
    <name>State</name>
    <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" cardinality="Multiple" operator="InList"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0da" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedReportElements>
      <assignedReportElement refId="29" reference="R30.IF1.T0"/>
      <assignedReportElement refId="22" reference="R30.IF1.T1"/>
    </assignedReportElements>
    <groupingInfo refId="R30.G0" inFilterPath="true"
eligibility="Full"/>
    <selection>
      <value>California</value>
      <value>DC</value>
      <value>Illinois</value>
    </selection>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R30.IF2</id>
    <name>City</name>
    <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" cardinality="Multiple" operator="InList"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0a6" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedReportElements>
      <assignedReportElement refId="29" reference="R30.IF2.T0"/>
      <assignedReportElement refId="22" reference="R30.IF2.T1"/>
    </assignedReportElements>
    <groupingInfo refId="R30.G0" inFilterPath="true"
eligibility="Full"/>
    <selection>
      <value>Chicago</value>
      <value>San Francisco</value>
      <value>Washington</value>
    </selection>
  </inputcontrol>
</group>
</inputcontrol>
<inputcontrol>
  <id>R30.IF3</id>
  <name>Name of manager</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" cardinality="Multiple" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.D03c" kind="Expression"
dataType="String"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="29" reference="R30.IF3.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupingInfo eligibility="Full"/>
  <selection>
    <value>Barrett</value>
    <value>Steve</value>
  </selection>
</inputcontrol>
...
</inputcontrols>

```

このオプションを指定すると、グループ内の入力コントロールが完全に展開され、このオプションを指定しないと、ID のみが返されます。

8.5.1.2 ドキュメント内の 1 つの入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義の取得

用途

入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義を取得します。

要求

GET /documents/{documentId}/inputcontrols/{inputcontrolId}

パラメータ

inputcontrolId: 有効な入力コントロール識別子

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

GET /documents/8020/inputcontrols/R2.IF1

応答

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF1</id>
  <name>Quarter</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DOba" kind="Expression" dataType="String"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="17" reference="R2.IF1.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupingInfo refId="R2.G0" inFilterPath="true" eligibility="Full"/>
</inputcontrol>
```

<groupingInfo> は、以下の属性により、グループ化の状態に関する詳細を提供します。

- refId および inFilterPath は、グループに含まれている入力コントロールにのみ存在します。それぞれ、グループ ID と、入力コントロールをフィルタパスで使用するかどうかを示します。
- eligibility は常に存在し、以下の値を指定できます。
 - Full: 入力コントロールを入力コントロールグループに追加できます。
 - Restricted: 入力コントロールを入力コントロールグループに追加できますが、そのフィルタリングは制限されます。
 - None: 入力コントロールをグループに追加することはできません。

例: 入力コントロールのグループ (XML 形式)

GET /documents/8020/inputcontrols/D.GO

応答

```
<inputcontrol>
  <id>D.GO</id>
  <name>Months</name>
  <group hasFilterPath="true">
    <id>D.IF0</id>
    <id>D.IF1</id>
  </group>
</inputcontrol>
```

例: コンボボックス (XML)

GET /documents/6671/inputcontrols/D.IF0

応答

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Country</name>
  <comboBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" operator="Equal"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: チェックボックス (JSON)

GET /documents/5152/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
{ "inputcontrol":
  { "id": "D.IF0",
    "name": "my checkbox_1",
```

```

    "checkBox":
      { "@numberOfLines": "5",
        "@useCustom": "false",
        "@allowAllValuesSelection": "true",
        "@operator": "InList" },
    "assignedDataObject":
      { "@kind": "Expression",
        "@refId": "DP0.DO1fc" },
    "assignedReportElements":
      { "assignedReportElement":
        [ { "@reference": "D.IF0.T0",
            "@refId": "D" } ]
      }
  }
}

```

例: データ型詳細および選択を使用した例 (XML 形式):

4.2 SP4 以降では、割り当てられたデータオブジェクトのデータ型も出力に返されます (ただし、入力コントロールの作成または更新の入力時にはスキップされます)。

GET /documents/7258/inputcontrols/D.IF0

応答:

```

<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Year</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DObc" kind="Expression" dataType="String"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupId>D.G0</groupId>
</inputcontrol>

```

例: グループ化情報を使用した例 (XML 形式):

4.2 SP4 以降では、グループ化情報に関連する新しい要素が追加されています。

GET /documents/7258/inputcontrols/D.IF0

応答:

```

<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Year</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DObc" kind="Expression" dataType="String"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupId>D.G0</groupId>
</inputcontrol>

```

例: 'eligibility' 属性を含むグループ化情報を使用した例 (XML 形式):

[GET] documents/7258/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  ...
  <groupingInfo refId="D.G0" inFilterPath="true" eligibility="Full"/>
</inputcontrol>
```

eligibility 属性の値は以下のとおりです。

- None
- Restricted
- Full

8.5.1.2.1 ドキュメント入力コントロールの定義の取得

用途

ドキュメントの入力コントロールの詳細を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

① 注記

4.2 SP4 以降では、新しい 'allowNullValueSelection' 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

例: コンボボックス (XML)

GET /documents/6671/inputcontrols/D.IF0

応答

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Country</name>
  <comboBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" operator="Equal"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: チェックボックス (JSON)

GET /documents/5152/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
{ "inputcontrol":
  { "id": "D.IF0",
    "name": "my checkbox_1",
    "checkBox":
      { "@numberOfLines": "5",
        "@useCustom": "false",
        "@allowAllValuesSelection": "true",
        "@operator": "InList" },
    "assignedDataObject":
      { "@kind": "Expression",
        "@refId": "DP0.DO1fc" },
    "assignedReportElements":
      { "assignedReportElement":
        [ { "@reference": "D.IF0.T0",
            "@refId": "D" } ]
      }
  }
}
```

例: データ型詳細および選択を使用した例 (XML 形式):

4.2 SP4 以降では、割り当てられたデータオブジェクトのデータ型も出力に返されます (ただし、入力コントロールの作成または更新の入力時にはスキップされます)。

[GET] documents/7258/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Year</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DObc" kind="Expression" dataType="String"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupId>D.G0</groupId>
```

```
</inputcontrol>
```

例: グループ化情報を使用した例 (XML 形式):

4.2 SP4 以降では、グループ化情報に関連する新しい要素が追加されています。

[GET] documents/7258/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Year</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DObc" kind="Expression" dataType="String"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupId>D.G0</groupId>
</inputcontrol>
```

例: 'eligibility' 属性を含むグループ化情報を使用した例 (XML 形式):

[GET] documents/7258/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  ...
  <groupingInfo refId="D.G0" inFilterPath="true" eligibility="Full"/>
</inputcontrol>
```

eligibility 属性の値は以下のとおりです。

- None
- Restricted
- Full

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[ドキュメントの入力コントロールの取得 \[501 ページ\]](#)

8.5.1.3 ドキュメント入力コントロールの定義の更新

用途

名前、説明など、ドキュメントの入力コントロールの詳細を更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>

要求タイプ: application/xml または application/json

① 注記

4.2 SP04 以降では、新しい 'allowNullValueSelection' 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

入力コントロールの更新は次のルールを適用する必要があります。

- 入力コントロールのウィジェットを変更することはできません。
- 入力コントロールには、少なくとも1つの割り当てられたレポート要素が必要です。
- 割り当てられたデータオブジェクトは、変更することはできますが、ウィジェットとの互換性が必要です。
- 演算子は、変更することはできますが、ウィジェットとの互換性が必要です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/6671/inputcontrols/D.IF0

要求本文:

```
<inputcontrol>
  <name>V_update</name>
  <comboBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
operator="GreaterOrEqual"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO2"/>
</inputcontrol>
```

① 注記

4.2 SP4 以降では、新しい 'allowNullValueSelection' 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.IF0" has
  been successfully updated.</message>
  <id>D.IF0</id>
</success>
```

8.5.1.3.1 ドキュメント内の 1 つの入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義の更新

用途

既存の 1 つの入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義を更新します。

グループにアタッチされた通常の入力コントロールの場合、既知の操作の他に、フィルタパスから削除することもできます。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[PUT] <url>/documents/{documentId}/inputcontrols/{inputcontrolId}

パラメータ

inputcontrolId: 有効な入力コントロール識別子

コンテンツタイプ

コンテンツタイプ: application/xml または application/json

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: グループにアタッチされた入力コントロールをフィルタパスから削除する (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/inputcontrols/R30.IF1

要求

```
<inputcontrol>
  <groupingInfo inFilterPath="false"/>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R30.IF1" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R30.IF1</id>
</success>
```

例: 入力コントロールグループの名前を変更する (XML 形式)

入力コントロールグループは、以下の目的で更新することもできます。

- 名前を変更するため
- 入力コントロール一覧を変更するため
- フィルタパス全体をリセットするため

[PUT] <url>/documents/8020/inputcontrols/R1.G0

① 注記

以下の例の操作を単一の要求にまとめることもできます。

要求

```
<inputcontrol>
  <name>New group name</name>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R1.G0" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R1.G0</id>
</success>
```

例: このグループにアタッチされた通常の入力コントロールを変更する (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/inputcontrols/R1.G0

要求

```
<inputcontrol>
  <group>
    <id>R1.IF2</id>
    <id>R1.IF3</id>
  </group>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R1.G0" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R1.G0</id>
</success>
```

例: フィルタパスをリセットする (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/inputcontrols/R30.G3

要求

```
<inputcontrol>
  <group hasFilterPath='false' />
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R30.G3" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R30.G3</id>
</success>
```

8.5.1.4 ドキュメントへの入力コントロールの追加

用途

新しい入力コントロールをドキュメントに追加します。

要求

POST/documents/<documentID>/inputcontrols

要求本文には次のルールを適用する必要があります。

- ウィジェットには、メジャーのスライド、ディメンションのラジオボタンなど、割り当てられたデータオブジェクトとの互換性が必要です。
- ウィジェットには、演算子との互換性が必要です。

① 注記

4.2 SP4 以降では、新しい 'allowNullValueSelection' 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML

POST /documents/6671/inputcontrols

要求本文:

```
<inputcontrol>
  <name>my_checkbox_1</name>
  <checkBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
operator="InList" />
  <assignedDataObject refId="DP0.DO39" />
</inputcontrol>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.IF1" has
been successfully created.</message>
  <id>D.IF1</id>
```

```
</success>
```

例: JSON

POST /documents/5152/inputcontrols

要求本文:

```
{ "inputcontrol": {
  "name": "my_checkbox_1",
  "checkBox": {
    "@allowAllValuesSelection": "true",
    "@useCustom": "false",
    "@operator": "InList"
  },
  "assignedDataObject": { "@refId": "DP0.DO1fc" }
}
```

応答:

```
{ "success": {
  "message": "The resource of type ¥"Input Control¥" with identifier ¥"D.IF0¥"
has been successfully created.",
  "id": "D.IF0"
}
```

8.5.1.5 ドキュメントでの入力コントロールの新しいグループの追加

用途

適格な入力コントロールをグループに移動します。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[POST] <url>/documents/{documentId}/inputcontrols

コンテンツタイプ

コンテンツタイプ: application/xml または application/json

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

POST /documents/8020/inputcontrols

要求

```
<inputcontrol>
  <name>New group</name>
  <group>
    <id>R30.IF1</id>
    <id>R30.IF4</id>
    <id>R30.IF3</id>
  </group>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R30.G2" has
  been successfully created.</message>
  <id>R30.G2</id>
</success>
```

8.5.1.6 ドキュメント入力コントロールの値の一覧の取得

4.2 SP04 の新機能として、入力コントロールの URL 自体が "/lov" 呼び出しを保持するようになりました。これは、入力コントロールの値の一覧を返し、入力コントロール選択を設定するように設計されています。

要求

GET /documents/<documentID>/inputcontrols/<inputcontrolID>/lov

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 入力コントロールの値の一覧。

例: 入力コントロールの値の一覧を取得する (XML 形式)

GET /documents/7679/inputcontrols/D.IF0/lov

応答:

```
<lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="false" searchable="true"
mandatorySearch="false" searchScopes="Values" searchTargets="Server">
  <values>
    <value>France</value>
    <value>US</value>
  </values>
  <columns mappingId="0">
    <column id="0" type="String">Country</column>
  </columns>
</lov>
```

8.5.1.7 ドキュメント入力コントロールの選択の取得

用途

ドキュメントの入力コントロールに対して選択された値を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、入力コントロールに対して選択された値の一覧です。

例: XML

GET /documents/6671/inputcontrols/D.IF0/selection

応答:

```
<selection>
  <value>US</value>
</selection>
```

すべての値が選択された場合の応答:

```
<selection all="true"/>
```

値または Null 値が選択されていない場合の応答:

```
<selection/>
```

例: JSON

GET /documents/5152/inputcontrols/D.IF0/selection

応答:

```
{ "selection":
  { "value": [ "Bermudas", "Boatwear" ] } }
```

すべての値が選択された場合の応答:

```
{ "selection":
  { "@all": "true",
    "value": [ ] } }
```

値または Null 値が選択されていない場合の応答:

```
{ "selection":
  { "value": [ ] } }
```

8.5.1.8 ドキュメント入力コントロールの選択の設定

用途

ドキュメントの入力コントロールに対して選択された値を設定します。

要求

PUT/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection

要求本文: 割り当てられたデータオブジェクトから値の一覧を以下の呼び出しで取得することにより、値を取得できます。

```
GET/documents/<documentID>/dataobjects/<dataObjectID>/lov
```

<selection> には、すべての値が選択されることを指定する all="true" 属性が含まれることがあります。

<selection/> タグは、値の選択なし、または Null 値選択を示します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: XML

PUT /documents/6671/inputcontrols/D.IF0/selection

要求本文:

```
<selection>
  <value>France</value>
  <value>Germany</value>
</selection>
```

すべての値を含む要求本文:

```
<selection all="true"/>
```

値なしの要求本文、または Null 値を含む要求本文:

```
<selection/>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control Selection" with identifier
"D.IF0" has been successfully updated.</message>
  <id>D.IF0</id>
</success>
```

例: JSON

PUT /documents/5152/inputcontrols/D.IF0/selection

要求本文:

```
{ "selection":
  { "value": [ "Bermudas", "Boatwear" ] }
```

すべての値を含む要求本文:

```
{ "selection":
  { "@all": "true",
    "value": [ ] } }
```

値なしの要求本文、または Null 値を含む要求本文:

```
{ "selection":
  { "value": [ ] } }
```

応答:

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type ¥"Input Control Selection¥" with identifier
¥"D.IF0¥" has been successfully updated.",
    "id": "D.IF0" } }
```

関連情報

[データオブジェクトの値の一覧の取得 \[597 ページ\]](#)

8.5.1.9 ドキュメント入力コントロールの選択の削除

用途

選択された値をドキュメントの入力コントロールから削除します。

要求

DELETE /documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/6671/inputcontrols/D.IF0/selection

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control Selection" has been
  successfully removed.</message>
</success>
```

8.5.1.10 ドキュメントからの入力コントロールグループの削除

用途

この呼び出しにより、入力コントロールグループが削除されます (グループに含まれている入力コントロールは削除されません)。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[DELETE] <url>/documents/{documentId}/inputcontrols/{inputcontrolId}

パラメータ

inputcontrolId: 有効な入力コントロール識別子

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

[DELETE] <url>/documents/8020/D.G0

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.G0" has
  been successfully removed.</message>
  <id>D.G0</id>
</success>
```

8.5.1.11 ドキュメント入力コントロールの削除

用途

ドキュメントから入力コントロールを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/6671/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.IF0" has
been successfully removed.</message>
<id>D.IF0</id>
</success>
```

8.5.1.12 ドキュメント内の入力コントロールの並べ替え

用法

内部入力コントロールインデックスを変更して、これらを並べ替えます。

要求

PUT /documents/<documentId>/inputcontrols

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

PUT /documents/18729/inputcontrols

要求:

```
<inputcontrols>
  <inputcontrol><id>D.IF4</id></inputcontrol>
  <inputcontrol><id>D.IF3</id></inputcontrol>
</inputcontrols>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "18729" has been
successfully updated.</message>
  <id>18729</id>
</success>
```


8.5.1.13 レポートからドキュメントへの入力コントロールの移動

用途

入力コントロールをレポートからドキュメントに移動します。移動した入力コントロールには新しい ID が提供されますが、データオブジェクトは同じものが保持されます。

要求

PUT/documents/<documentID>/inputcontrols/<inputControlID>?fromId=<fromID>

この場合、

- <fromID> はレポートの入力コントロール ID です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT documents/6660/inputcontrols?fromId=R1.IF3

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R1.IF3" has
  been successfully moved.</message>
  <id>D.IF0</id>
</success>
```

<id> はドキュメントの入力コントロールの新しい ID です。

入力コントロールの定義を取得する別の呼び出しで、ドキュメントの入力コントロールに関連付けられている ID D を持つフェイクレポート要素を表示します。

GET documents/6660/inputcontrols/D.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>D.IF0</id>
  <name>Revenue</name>
  <slider minValue="30000.0" maxValue="600000.0" increment="1000.0"
  cardinality="Interval" operator="Between">
    <default>
```

```
<value>30000</value>
<value>600000</value>
</default>
</slider>
<assignedDataObject refId="DP0.DO7" kind="Expression"/>
<assignedReportElements>
  <assignedReportElement refId="D" reference="D.IF0.T0"/>
</assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

8.5.2 レポート入力コントロールの使用

入力コントロールは、1つのレポート、一連のレポート、またはドキュメント全体に適用することができます。また、入力コントロールをレポートからドキュメントに、およびドキュメントからレポートに移動することができます。

① 注記

カスケード入力コントロールは、現在 4.2 SP04 以降でサポートされています。

次の入力コントロールがサポートされています。

- TextField
- ComboBox
- RadioButtons
- CheckBox
- ListBox
- Calendar
- Spinner
- Slider
- TreeList
- 入力コントロールのグループ

[入力コントロールおよび値の一覧 \[527 ページ\]](#)

[要素リンクの処理 \(ブロック入力コントロール\) \[528 ページ\]](#)

[レポートの入力コントロールの取得 \[530 ページ\]](#)

[入力コントロールの定義の取得 \[534 ページ\]](#)

[入力コントロールの定義の更新 \[540 ページ\]](#)

[入力コントロールの追加 \[544 ページ\]](#)

[入力コントロールの削除 \[546 ページ\]](#)

[入力コントロールの選択の取得 \[547 ページ\]](#)

[入力コントロールの選択の設定 \[548 ページ\]](#)

[入力コントロールの選択の削除 \[549 ページ\]](#)

[レポート内の入力コントロールの並べ替え \[550 ページ\]](#)

[ドキュメントからレポートへの入力コントロールの移動 \[551 ページ\]](#)

[レポートへの入力コントロールの新しいグループの追加 \[553 ページ\]](#)

[レポートからの入力コントロールグループの削除 \[554 ページ\]](#)

8.5.2.1 入力コントロールおよび値の一覧

通常の入力コントロールの URL 自体が "/lov" (値の一覧) 呼び出しを保持するようになりました。これらは、グループのフィルタパスを処理するように設計されましたが、グループかどうかに関係なくあらゆる種類の入力コントロールで使用できます。

例: 入力コントロールの値の一覧を取得する (XML 形式)

[GET] <url>/documents/8020/reports/48/inputcontrols/R48.IF2/lov

応答:

```
<lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="false" searchable="true"
mandatorySearch="false">
  <values>
    <value>Accessories</value>
    <value>City Skirts</value>
    <value>City Trousers</value>
    <value>Dresses</value>
    <value>Jackets</value>
    <value>Leather</value>
    <value>Outerwear</value>
    <value>Overcoats</value>
    <value>Shirt Waist</value>
    <value>Sweaters</value>
    <value>Sweat-T-Shirts</value>
    <value>Trousers</value>
  </values>
  <columns mappingId="0">
    <column id="0" type="String">Lines</column>
  </columns>
</lov>
```

例: パターンに一致する入力コントロールの値の一覧を降順に取得する (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/reports/1/inputcontrols/R1.IF3/lov

要求本文:

```
<lov>
  <query>
    <sort order='Descending' />
    <search>*a*</search>
  </query>
</lov>
```

応答:

```
<lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="false" searchable="true"
mandatorySearch="false">
  <values>
    <value>Richards</value>
    <value>Mark</value>
    <value>Leonard</value>
    <value>Larry</value>
    <value>Barrett</value>
    <value>Anderson</value>
  </values>
  <columns mappingId="0">
    <column id="0" type="String">Name of manager</column>
  </columns>
</lov>
```

8.5.2.2 要素リンクの処理 (ブロック入力コントロール)

用途

レポートのすべての入力コントロールを一覧表示します。要素リンクは、ウィジェットタイプがより一般的な "listBox" や "slider" などではなく "block" であることを除き、他の入力コントロールと同じように処理されます。リンクは常にレポート関連であるため、ドキュメントブロック入力コントロールは使用できません。要素リンクでは、テーブル、チャート、またはカスタム要素をフィルタリングのソースとして使用します。ディメンションとして適格なソース要素の式 (または変数やリンク) のみが使用されます。メジャーおよび詳細は使用されません。要素リンクでは、ソースレポート要素の1つまたはすべてのディメンションを使用します。たとえば、3つのディメンションのうち2つを使用するといったことはできません。

URL は、他のレポート入力コントロールのものと同じです。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols

例: 要素リンクの定義を取得する (単一のディメンション)

[GET] /documents/7919/reports/22/inputcontrols/R22.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>R22.IF0</id>
  <name>State</name>
  <block elementId="29" operator="Equal"/>
```

```

<assignedDataObject refId="DP0.D0da" kind="Expression" dataType="String"/>
<assignedReportElements>
  <assignedReportElement refId="46" reference="R22.IF0.T0"/>
</assignedReportElements>
<groupingInfo eligibility="None"/>
</inputcontrol>

```

eligibility 属性の値は以下のとおりです。

- None
- Restricted
- Full

例: 要素リンクの定義を取得する (すべてのディメンション)

GET /documents/7411/reports/1/inputcontrols?allInfo=true

応答:

```

<inputcontrol>
  <id>R49.IF0</id>
  <name>Bloc 2</name>
  <block allowNullValueSelection="true" elementId="46" operator="Equal"/>
  <assignedDataObjects>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0da" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0b9" kind="Expression"
dataType="Numeric"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0ba" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0178" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0104" kind="Expression"
dataType="Numeric"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0bc" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.D0bb" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedDataObject refId="L1" kind="Variable" dataType="String"/>
  </assignedDataObjects>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="29" reference="R49.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
  <groupingInfo eligibility="None"/>
</inputcontrol>

```

① 注記

"すべてのディメンション" 要素リンクでは、単一の <assignedDataObject> 要素は <assignedDataObjects> 一覧に置き換えられます。

8.5.2.3 レポートの入力コントロールの取得

用途

レポートのすべての入力コントロールを一覧表示します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols

オプションのパラメータ

allInfo: (type=boolean、default=false) true に設定すると、各入力コントロールの詳細および選択が含まれます。4.2 SP04 以降。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 入力制御の ID と名前の一覧。

例

GET /documents/6452/reports/1/inputcontrols

応答:

```
<inputcontrols>
  <inputcontrol>
    <id>R1.IF0</id>
    <name>Country</name>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R1.IF1</id>
    <name>Service Line</name>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R1.IF2</id>
    <name>Year</name>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R1.IF3</id>
    <name>Revenue</name>
  </inputcontrol>
</inputcontrols>
```

```

<inputcontrol>
  <id>R1.IF4</id>
  <name>var1_serviceline</name>
</inputcontrol>
<inputcontrol>
  <id>R1.IF5</id>
  <name>var2_revenue</name>
</inputcontrol>
</inputcontrols>

```

例: 詳細および選択を使用した例 (XML 形式): (4.2 SP4 以降)

GET /documents/7411/reports/1/inputcontrols?allInfo=true

応答:

```

<inputcontrols>
  <inputcontrol>
    <id>R1.IF0</id>
    <name>Country</name>
    <checkBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" operator="InList">
      <default>
        <value>France</value>
        <value>US</value>
      </default>
    </checkBox>
    <assignedDataObject refId="DP0.D06" kind="Expression" dataType="String"/>
    <assignedReportElements>
      <assignedReportElement refId="15" reference="R1.IF0.T0"/>
    </assignedReportElements>
    <selection>
      <value>France</value>
      <value>US</value>
    </selection>
  </inputcontrol>
  ...
  <inputcontrol>
    <id>R1.IF5</id>
    <name>var2_revenue</name>
    <spinner minValue="10.0" maxValue="15.0" increment="1.0"
operator="Equal">
      <default>
        <value>11</value>
      </default>
    </spinner>
    <assignedDataObject refId="L2" kind="Variable" dataType="Numeric"/>
    <assignedReportElements>
      <assignedReportElement refId="20" reference="R1.IF5.T0"/>
    </assignedReportElements>
    <selection>
      <value>13</value>
    </selection>
  </inputcontrol>
</inputcontrols>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.5.2.3.1 レポートの入力コントロールの一覧の取得

用途

レポートの入力コントロールの一覧を返します。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[GET] <url>/documents/{documentId}/reports/{reportId}/inputcontrols

オプションパラメータ

allInfo: (type=boolean、default=false) true に設定すると、各入力コントロールの詳細および選択が含まれます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

GET /documents/8020/reports/30/inputcontrols

応答

```
<inputcontrols>
  <inputcontrol>
    <id>R30.G0</id>
    <name>Location</name>
    <group>
      <id>R30.IF1</id>
      <id>R30.IF2</id>
    </group>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R30.IF3</id>
    <name>Name of manager</name>
  </inputcontrol>
  <inputcontrol>
    <id>R30.G1</id>
    <name>Weeks</name>
    <group>
      <id>R30.IF4</id>
      <id>R30.IF6</id>
      <id>R30.IF5</id>
    </group>
  </inputcontrol>
</inputcontrols>
```

上記のグループは、2つの入力コントロールのグループ、通常の入力コントロール、3つの入力コントロールのグループを順に示しています。

例: 詳細および選択を使用する (XML 形式)

[GET] <url>/documents/8020/reports/30/inputcontrols?allInfo=true

応答

```
<inputcontrols>
  <inputcontrol>
    <id>R30.G0</id>
    <name>Location</name>
    <group hasFilterPath="true">
      <inputcontrol>
        <id>R30.IF1</id>
        <name>State</name>
        <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" cardinality="Multiple" operator="InList"/>
        <assignedDataObject refId="DP0.D0da" kind="Expression"
dataType="String"/>
        <assignedReportElements>
          <assignedReportElement refId="29" reference="R30.IF1.T0"/>
          <assignedReportElement refId="22" reference="R30.IF1.T1"/>
        </assignedReportElements>
        <groupingInfo refId="R30.G0" inFilterPath="true"
eligibility="Full"/>
        <selection>
          <value>California</value>
          <value>DC</value>
          <value>Illinois</value>
        </selection>
      </inputcontrol>
      <inputcontrol>
        <id>R30.IF2</id>
        <name>City</name>
```

```

        <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" cardinality="Multiple" operator="InList"/>
        <assignedDataObject refId="DP0.DOa6" kind="Expression"
dataType="String"/>
        <assignedReportElements>
            <assignedReportElement refId="29" reference="R30.IF2.T0"/>
            <assignedReportElement refId="22" reference="R30.IF2.T1"/>
        </assignedReportElements>
        <groupingInfo refId="R30.G0" inFilterPath="true"
eligibility="Full"/>
        <selection>
            <value>Chicago</value>
            <value>San Francisco</value>
            <value>Washington</value>
        </selection>
    </inputcontrol>
</group>
</inputcontrol>
<inputcontrol>
    <id>R30.IF3</id>
    <name>Name of manager</name>
    <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" cardinality="Multiple" operator="InList"/>
    <assignedDataObject refId="DP0.DO3c" kind="Expression"
dataType="String"/>
    <assignedReportElements>
        <assignedReportElement refId="29" reference="R30.IF3.T0"/>
    </assignedReportElements>
    <groupingInfo eligibility="Full"/>
    <selection>
        <value>Barrett</value>
        <value>Steve</value>
    </selection>
</inputcontrol>
    ...
</inputcontrols>

```

このオプションを指定すると、グループ内の入力コントロールが完全に展開され、このオプションを指定しないと、ID のみが返されます。

8.5.2.4 入力コントロールの定義の取得

用途

レポートの入力コントロールの詳細を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>

① 注記

4.2 SP04 以降では、新しい 'allowNullValueSelection' 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: カレンダー

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF3</id>
  <name>Invoice Date (type:DateTime)</name>
  <calendar useCustom="false" operator="Equal"/>
  <assignedDataObject refId="DP2.DO17" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="1" reference="R2.IF3.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: チェックボックス

```
<inputcontrol>
  <id>R1.IF0</id>
  <name>Country</name>
  <checkBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
operator="InList">
    <default>
      <value>France</value>
      <value>US</value>
    </default>
  </checkBox>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO6" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="15" reference="R1.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: コンボボックス

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF2</id>
  <name>var1_serviceline</name>
  <comboBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" operator="Equal"/>
  <assignedDataObject refId="L1" kind="Variable"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="1" reference="R2.IF2.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: リストボックス

```
<inputcontrol>
  <id>R1.IF1</id>
  <name>Service Line</name>
  <listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList">
    <default>
      <value>Accommodation</value>
      <value>Food & Drinks</value>
    </default>
  </listBox>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO4" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="15" reference="R1.IF1.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: ラジオボタン

```
<inputcontrol>
  <id>R1.IF2</id>
  <name>Year</name>
  <radioButtons allowAllValuesSelection="true" useCustom="false"
numberOfLines="5" operator="Equal"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO18" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="15" reference="R1.IF2.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: スライダー

```
<inputcontrol>
  <id>R1.IF3</id>
  <name>Revenue</name>
  <slider minValue="30000" maxValue="600000" increment="1000"
cardinality="Interval" operator="Between">
    <default>
      <value>30000</value>
      <value>600000</value>
    </default>
  </slider>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO7" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="15" reference="R1.IF3.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: スピナー

```
<inputcontrol>
  <id>R1.IF5</id>
  <name>var2_revenue</name>
  <spinner minValue="10" maxValue="15" increment="1" operator="Equal">
    <default>
      <value>11</value>
    </default>
  </spinner>
  <assignedDataObject refId="L2" kind="Variable"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="20" reference="R1.IF5.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: テキストフィールド

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF1</id>
  <name>Year</name>
  <textField operator="Equal">
    <default>
      <value>FY93</value>
    </default>
  </textField>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO18" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="1" reference="R2.IF1.T1"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: ツリーリスト

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF4</id>
  <name>Customer Geography</name>
  <treeList numberOfLines="5" cardinality="Multiple"
allowComplexSelection="true" operator="InList"/>
  <assignedDataObject refId="DP1.DO9d" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="1" reference="R2.IF4.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: **4.2 SP04** 以降では、割り当てられたデータオブジェクトのデータ型も出力に返される

GET /documents/6948/reports/1/inputcontrols/R1.IF0

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>R1.IF0</id>
  <name>Invoice Date on CheckBox</name>
  <checkBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
operator="InList">
    <default>
      <value>1992-09-03T20:33:00.000Z</value>
      <value>1992-10-13T21:34:00.000Z</value>
      <value>1993-01-11T00:00:00.000Z</value>
      <value>1993-02-01T18:30:00.000Z</value>
    </default>
  </checkBox>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO17" kind="Expression" dataType="DateTime"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="11" reference="R1.IF0.T0"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

例: **4.2 SP04** 以降では、グループ化情報に関連する新しい要素が追加されている

GET /documents//8020/reports/48/inputcontrols/R48.IF2

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>R48.IF2</id>
  ...
  <groupingInfo refId="R48.G0" inFilterPath="false" eligibility="Full"/>
</inputcontrol>
```

例: '**eligibility**' 属性を使用する

```
<inputcontrol>
  <id>R48.IF2</id>
  ...
  <groupingInfo refId="R48.G0" inFilterPath="false" eligibility="Full"/>
</inputcontrol>
```

eligibility 属性の値は以下のとおりです。

- None
- Restricted
- Full

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートの入力コントロールの取得 \[530 ページ\]](#)

8.5.2.4.1 レポート内の 1 つの入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義の取得

用途

適格な入力コントロールをグループに移動します。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[GET] <url>/documents/{documentId}/reports/{reportId}/inputcontrols/{inputcontrolId}

パラメータ

inputcontrolId: 有効な入力コントロール識別子

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

GET /documents/8020/reports/30/inputcontrols/R2.IF1

応答

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF1</id>
```

```

<name>Quarter</name>
<listBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" numberOfLines="5"
cardinality="Multiple" operator="InList"/>
<assignedDataObject refId="DP0.DOba" kind="Expression" dataType="String"/>
<assignedReportElements>
  <assignedReportElement refId="17" reference="R2.IF1.T0"/>
</assignedReportElements>
<groupingInfo refId="R2.G0" inFilterPath="true" eligibility="Full"/>
</inputcontrol>

```

新しい<groupingInfo>は、グループ化の状態に関する詳細 (refId および inFilterPath: 入力コントロールがグループにアタッチされている場合にのみ存在します) および入力コントロールの機能 (eligibility: 常に存在します) を提供します。

eligibility 属性の値は以下のとおりです。

- None
- Restricted
- Full

例: 入力コントロールのグループ (XML 形式)

[GET] <url>/documents/8020/reports/30/inputcontrols/D.GO

応答

```

<inputcontrol>
  <id>D.GO</id>
  <name>Months</name>
  <group hasFilterPath="true">
    <id>D.IF0</id>
    <id>D.IF1</id>
  </group>
</inputcontrol>

```

8.5.2.5 入力コントロールの定義の更新

用途

レポートの入力コントロールの詳細を更新します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>

① 注記

4.2 SP04 以降では、新しい 'allowNullValueSelection' 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

入力コントロールの更新は次のルールを適用する必要があります。

- 入力コントロールのウィジェットを変更することはできません。
- 入力コントロールには、少なくとも 1 つの割り当てられたレポート要素が必要です。
- 割り当てられたデータオブジェクトは、変更することはできますが、ウィジェットとの互換性が必要です。
- 演算子は、変更することはできますが、ウィジェットとの互換性が必要です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/7214/reports/1/inputcontrols/R1.IF2

要求本文:

```
<inputcontrol>
  <name>IC Label</name>
  <radioButtons allowAllValuesSelection="true" useCustom="false "
numberOfLines="5" operator="NotEqual"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO4"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="2"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "InputControl" with identifier "R1.IF2" has
been uccessfully updated.</message>
  <id>R1.IF2</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.5.2.5.1 レポート内の 1 つの入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義の更新

用途

既存の通常の入力コントロールまたは入力コントロールグループの定義を更新します。

グループにアタッチされた通常の入力コントロールの場合、既知の操作の他に、フィルタパスから削除することもできます。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[PUT] <url>/documents/{documentId}/report/{reportId}/inputcontrols/{inputcontrolId}

パラメータ

inputcontrolId: 有効な入力コントロール識別子

コンテンツタイプ

コンテンツタイプ: application/xml or application/json

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: グループにアタッチされた入力コントロールをフィルタパスから削除する (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/reports/30/inputcontrols/R30.IF1

要求

```
<inputcontrol>
  <groupingInfo inFilterPath="false"/>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R30.IF1" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R30.IF1</id>
</success>
```

例: 入力コントロールグループの名前を変更する (XML 形式)

入力コントロールグループは、以下の目的で更新することもできます。

- 名前を変更するため
- 入力コントロール一覧を変更するため
- フィルタパス全体をリセットするため

[PUT] <url>/documents/8020/reports/1/inputcontrols/R1.G0

① 注記

以下の例の操作を単一の要求にまとめることもできます。

要求

```
<inputcontrol>
  <name>New group name</name>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R1.G0" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R1.G0</id>
</success>
```

例: このグループにアタッチされた通常の入力コントロールを変更する (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/reports/1/inputcontrols/R1.G0

要求

```
<inputcontrol>
  <group>
    <id>R1.IF2</id>
    <id>R1.IF3</id>
  </group>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R1.G0" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R1.G0</id>
</success>
```

例: フィルタパスをリセットする (XML 形式)

[PUT] <url>/documents/8020/reports/30/inputcontrols/R30.G3

要求

```
<inputcontrol>
  <group hasFilterPath='false' />
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R30.G3" has
  been successfully updated.</message>
  <id>R30.G3</id>
</success>
```

8.5.2.6 入力コントロールの追加

用途

新しい入力コントロールをレポートに追加します。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols

要求本文には次のルールを適用する必要があります。

- ウィジェットには、メジャーのスライド、ディメンションのラジオボタンなど、割り当てられたデータオブジェクトとの互換性が必要です。

- 入力コントロールには、少なくとも1つの割り当てられたレポート要素が必要です。
- ウィジェットには、演算子との互換性が必要です。

① 注記

4.2 SP04 以降では、新しい `allowNullValueSelection` 論理値属性が 'ComboBox'、'ListBox'、'CheckBox'、および 'RadioButtons' のウィジェット属性の一覧に追加されています。

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST `/documents/7216/reports/3/inputcontrols`

要求本文:

```
<inputcontrol>
  <name>Slider on Revenue</name>
  <slider minValue="30000" maxValue="600000" increment="1000"
cardinality="Single" operator="Greater"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO7"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="2"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "InputControl" with identifier "R3.IF6" has
been successfully created.</message>
  <id>R3.IF6</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

8.5.2.7 入力コントロールの削除

用途

レポートから入力コントロールを削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/7232/reports/2/inputcontrols/R2.IF5

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "InputControl" with identifier "R2.IF5" has
  been successfully removed.</message>
  <id>R2.IF5</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートの入力コントロールの取得 \[530 ページ\]](#)

8.5.2.8 入力コントロールの選択の取得

用途

レポートの入力コントロールに対して選択された値を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、入力コントロールに対して選択された値の一覧です。

例

GET /documents/7246/reports/1/inputcontrols/R1.IF4/selection

応答:

```
<selection>
  <value>Japan</value>
  <value>UK</value>
  <value>Australia</value>
</selection>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートの入力コントロールの取得 \[530 ページ\]](#)

8.5.2.9 入力コントロールの選択の設定

用途

レポートの入力コントロールに対して選択された値を設定します。

要求

PUT/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection

要求本文: 割り当てられたデータオブジェクトから値の一覧を取得することにより、値を取得できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/7246/reports/1/inputcontrols/R1.IF4/selection

要求本文:

```
<selection>
  <value>Japan</value>
  <value>UK</value>
  <value>Australia</value>
</selection>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control Selection" with identifier
  "R1.IF4" has been successfully updated.</message>
  <id>R1.IF4</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)

[レポートの入力コントロールの取得 \[530 ページ\]](#)
[データオブジェクトの値の一覧の取得 \[597 ページ\]](#)

8.5.2.10 入力コントロールの選択の削除

用途

レポートの入力コントロールの選択値を削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols/<inputControlID>/selection

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/7255/reports/1/inputcontrols/R1.IF4/selection

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "InputControlSelection" has been successfully
removed.</message>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)
[レポートの一覧の取得 \[340 ページ\]](#)
[レポートの入力コントロールの取得 \[530 ページ\]](#)

8.5.2.11 レポート内の入力コントロールの並べ替え

用法

内部入力コントロールインデックスを変更して、これらを並べ替えます。

要求

```
PUT /documents/<documentId>/reports/<reportId>/inputcontrols
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 (XML)

```
PUT /documents/7070/reports/1/inputcontrols
```

要求:

```
<inputcontrols>
  <inputcontrol><id>R1.IF4</id></inputcontrol>
  <inputcontrol><id>R1.IF5</id></inputcontrol>
  <inputcontrol><id>R1.IF2</id></inputcontrol>
  <inputcontrol><id>R1.IF3</id></inputcontrol>
  <inputcontrol><id>R1.IF1</id></inputcontrol>
  <inputcontrol><id>R1.IF0</id></inputcontrol>
</inputcontrols>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report" with identifier "1" has been
successfully updated.</message>
  <id>1</id>
</success>
```

8.5.2.12 ドキュメントからレポートへの入力コントロールの移動

用途

入力コントロールをドキュメントからレポートに移動します。移動した入力コントロールには新しい ID が提供されますが、データオブジェクトは同じものが保持されます。

要求本文で入力コントロールに関連付けるレポート要素を指定することもできます。

要求

PUT /documents/<documentID>/reports/<reportID>/inputcontrols?fromId=<fromID>

説明:

- <fromID> はドキュメントの入力コントロール ID です。

要求本文:

```
<inputcontrol>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="string" />
```

要求本文はオプションです。

レポート要素 ID (refId) をレポート要素の一覧 (<id>) から取得することができます。

GET documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements

応答:

```
<elements>
  <element>
    <id>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: 割り当てられたレポート要素を除いた入力コントロールの移動

PUT /documents/6671/reports/2/inputcontrols?fromId=D.IF0

応答:

```
<success>
```

```
<message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.IF0" has
been successfully moved.</message>
<id>R2.IF1</id>
</success>
```

<id> はレポートの入力コントロールの新しい ID です。

例: 割り当てられたレポート要素を含めた入力コントロールの移動

PUT /documents/6671/reports/2/inputcontrols?fromId=D.IF0

要求本文:

```
<inputcontrol>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="10"/>
    <assignedReportElement refId="20"/>
    <assignedReportElement refId="19"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.IF0" has
been successfully moved.</message>
  <id>R2.IF1</id>
</success>
```

レポート入力コントロールの定義を取得する別の呼び出しで、割り当てられたレポート要素を表示します。

GET /documents/6671/reports/2/inputcontrols/R2.IF1

応答:

```
<inputcontrol>
  <id>R2.IF1</id>
  <name>Country</name>
  <comboBox allowAllValuesSelection="true" useCustom="false" operator="Equal"/>
  <assignedDataObject refId="DP0.DO39" kind="Expression"/>
  <assignedReportElements>
    <assignedReportElement refId="10" reference="R2.IF1.T0"/>
    <assignedReportElement refId="20" reference="R2.IF1.T1"/>
    <assignedReportElement refId="19" reference="R2.IF1.T2"/>
  </assignedReportElements>
</inputcontrol>
```

8.5.2.13 レポートへの入力コントロールの新しいグループの追加

用途

適格な入力コントロールをグループに移動します。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

[POST] <url>/documents/{documentId}/inputcontrols

コンテンツタイプ

コンテンツタイプ: application/xml または application/json

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

POST /documents/8020/reports/30/inputcontrols

要求

```
<inputcontrol>
  <name>New group</name>
  <group>
    <id>R30.IF1</id>
    <id>R30.IF4</id>
    <id>R30.IF3</id>
  </group>
</inputcontrol>
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "R30.G2" has
  been successfully created.</message>
  <id>R30.G2</id>
</success>
```

8.5.2.14 レポートからの入力コントロールグループの削除

用途

この呼び出しにより、入力コントロールグループが削除されます (これらの通常の入力コントロールは削除されません)。

① 注記

4.2 SP4 以降

要求

```
[DELETE] <url>/documents/{documentId}/reports/reportId/inputcontrols/
{inputcontrolId}
```

パラメータ

inputcontrolId: 有効な入力コントロール識別子

応答タイプ

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML 形式

```
[DELETE] <url>/documents/8020/reports/2/D.G0
```

応答

```
<success>
  <message>The resource of type "Input Control" with identifier "D.G0" has
  been successfully removed.</message>
  <id>D.G0</id>
</success>
```

8.6 データプロバイダの管理

データプロバイダは、Web Intelligence ドキュメントでクエリを作成するために使用されるデータソースです。データプロバイダには以下のようなものがあります。

- ユニバース
- BEx クエリ
- Microsoft Excel 2003 または Microsoft Excel 2007 ファイル
- 直接入力 of SQL スクリプト

① 注記

複数フローの直接入力の SQL スクリプトは、本リリースではサポートされていません。

現行のガイドには、次に固有のメソッドも記載されています。

- Microsoft Excel ファイルを基礎にした個人用データプロバイダについては、[個人用データプロバイダの管理 \[601 ページ\]](#) を参照してください。
- 直接入力の SQL データプロバイダについては、[直接入力の SQL データプロバイダ接続の管理 \[617 ページ\]](#) を参照してください。

⚠ 制限

次のワークフローはサポートされていません。

- 新しいデータプロバイダのデータソースとしての分析ビューの使用
- 分析ビューおよびカスタムデータプロバイダを基礎にする場合のデータソースの変更

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

[データプロバイダの詳細の取得 \[558 ページ\]](#)

[データプロバイダの追加 \[561 ページ\]](#)

[データプロバイダの更新 \[564 ページ\]](#)

[ドキュメント内のデータプロバイダの移動 \[572 ページ\]](#)

[データプロバイダの削除 \[573 ページ\]](#)

[データプロバイダの変更 \[574 ページ\]](#)

[データプロバイダのフロー件数の取得 \[584 ページ\]](#)

[フローの詳細の取得 \[585 ページ\]](#)

[フローのサンプルの取得 \[587 ページ\]](#)

[クエリプランの取得 \[589 ページ\]](#)

[クエリプランの更新 \[591 ページ\]](#)

[クエリ仕様の取得 \[593 ページ\]](#)

[クエリ仕様の更新 \[595 ページ\]](#)

[オブジェクトの定義の取得 \[596 ページ\]](#)

[データオブジェクトの値の一覧の取得 \[597 ページ\]](#)

[特定のデータオブジェクト値の範囲内における値の一覧の取得 \[599 ページ\]](#)

8.6.1 データプロバイダの一覧の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのデータプロバイダの一覧を取得します。

一覧にはユニバース (unv および unx)、BEx クエリ、Microsoft Excel ファイル、直接入力 of SQL データプロバイダ、および Web Intelligence ドキュメントを含めることができます。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 次の情報を使用した <dataprovider> 要素の一覧:

- <id>
- <name>
- <dataSourceId> はデータソースの識別子です。
- <dataSourceType> はデータソースの種類 (unx、unv、bex、excel、fhsql、webi) です。
- <updated> は最終更新の日付です。

例

GET /documents/7738/dataproviders

XML 応答:

```
<dataproviders>
  <dataproducer>
    <id>DP0</id>
    <name>Query 1</name>
    <dataSourceId>6187</dataSourceId>
    <dataSourceType>unv</dataSourceType>
    <updated>2006-09-20Z</updated>
  </dataproducer>
  <dataproducer>
    <id>DP1</id>
    <name>Query 2</name>
    <dataSourceId>6191</dataSourceId>
    <dataSourceType>unx</dataSourceType>
    <updated>2014-04-23T09:08:20.000+02:00</updated>
  </dataproducer>
  <dataproducer>
    <id>DP2</id>
    <name>Query 3</name>
    <dataSourceId>6120</dataSourceId>
    <dataSourceType>bex</dataSourceType>
    <updated>2014-04-23T09:08:20.000+02:00</updated>
  </dataproducer>
  <dataproducer>
    <id>DP3</id>
    <name>Query 4</name>
    <dataSourceId>6641</dataSourceId>
    <dataSourceType>excel</dataSourceType>
    <updated>2014-04-29T13:37:24.000+02:00</updated>
  </dataproducer>
  <dataproducer>
    <id>DP4</id>
    <name>Query 5</name>
    <dataSourceId>6250</dataSourceId>
    <dataSourceType>fhsql</dataSourceType>
    <updated>2014-08-29T08:32:37.000+02:00</updated>
  </dataproducer>
</dataproviders>
```

JSON 応答:

```
{ "dataproviders":
  { "dataproducer":
    [ { "id": "DP0", "name": "Query 1", "dataSourceId": 6187, "dataSourceType": "unv",
        "updated": "2014-04-23T09:08:20.000+02:00" },
      { "id": "DP1", "name": "Query 2", "dataSourceId": 6191, "dataSourceType": "unx",
        "updated": "2014-04-23T09:08:20.000+02:00" },
      { "id": "DP2", "name": "Query 3", "dataSourceId": 6120, "dataSourceType": "bex",
        "updated": "2014-04-23T09:08:20.000+02:00" },
      { "id": "DP3", "name": "Query
4", "dataSourceId": 6641, "dataSourceType": "excel",
        "updated": "2014-04-29T13:37:24.000+02:00" },
      { "id": "DP4", "name": "Query
5", "dataSourceId": 6250, "dataSourceType": "fhsql",
        "updated": "2014-08-29T08:32:37.000+02:00" } ]
    }
  }
}
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.6.2 データプロバイダの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのデータプロバイダの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本体: 以下の情報が含まれるデータプロバイダの詳細:

- <id>
- <name>
- <dataSourceId>
- <dataSourceType> (unx、unv、bex、excelhsql、または webi)
- <dataSourcePrefix>: .unv ユニバースのみのデータソースオブジェクト ID のプレフィックスとして使用されます。
- <updated>: 最終更新の日付と時刻
- <ispartial>
- <rowCount>: 行数
- 以下を含むオブジェクトディクショナリ
 - <id>
 - <name>
 - <description>
 - <dataSourceObjectId>
 - <formulaLanguageId>: データのフィルタのキーとして使用されます。
 - expression の dataType、qualification、および highPrecision 属性
- クエリ ID
- データプロバイダのプロパティ (存在する場合)

① 注記

highPrecision は、メジャー値を "10 進浮動小数点" の数値形式で表示するために Measure 式の定義で使用されます。この形式は IEEE 754-2008 標準で定義されており、これを使用すると、有効桁数を 15 桁から 40 桁にすることができるため、より高い精度が値に提供されます。属性のデフォルト値は false です。

例

GET /documents/18809/dataproviders/DP0

XML 応答:

```
<dataprovider>
  <id>DP0</id>
  <name>Query 1</name>
  <dataSourceId>7599</dataSourceId>
  <dataSourceType>bex</dataSourceType>
  <dataSourcePrefix>DS0</dataSourcePrefix>
  <updated>2012-07-31T15:44:25.000+02:00</updated>
  <duration>1</duration>
  <isPartial>false</isPartial>
  <rowCount>284</rowCount>
  <flowCount>1</flowCount>
  <dictionary>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP1.D01</id>
      <name>City</name>
      <description>City</description>
      <dataSourceObjectId>AZ_CITY</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[City]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP1.D01d</id>
      <name>Customer</name>
      <description>Customer</description>
      <dataSourceObjectId>AZ_CUSTOM</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Query 2].[Customer]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP1.D06</id>
      <name>Sales Person</name>
      <description>Sales Person</description>
      <dataSourceObjectId>AZ_SALES</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Query 2].[Sales Person]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Measure"
highPrecision="true">
      <id>DP1.D05c</id>
      <name>Order Amount</name>
      <description>Order Amount</description>
      <dataSourceObjectId>MCWZZCK8Z39ES5HKKFA52FG78E</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Query 2].[Order Amount]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Measure"
highPrecision="false">
      <id>DP1.D05f</id>
      <name>Order Quantity</name>
      <description>Order Quantity</description>
      <dataSourceObjectId>M7MRKCICEBY5WYKQ8AL86VY9Q8</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Query 2].[Order Quantity]</formulaLanguageId>
    </expression>
  </dictionary>
  <query>CgASFQoGwL9DSVRZEgskB0FaX0NJVFkQARIXCgdaX1NBTEVTEgwKCEFaX1NBTEVTEAES
GQoIwL9DVVNUT00SDQoJQVpfQ1VTVE9NEAEaSwQ1daWkNLOFozOUVTNUhLS0ZBNTJGRzc
4RRIMT3JkZXIgcWlvdW50GAIiHgoaTUNXWlpDSzhaMzlfUzVIS0tGQTUyRkc3OEUBhpNCh
k3TVJLQ0lDRUJZNvdZS1E4QUw4NlZZOVE4Eg5PcmRlciBRdWFudG10eRgCIh4KGk03TVJLQ
0lDRUJZNvdZS1E4QUw4NlZZOVE4EAYgACgAMAE=</query>
</dataprovider>
```

JSON 応答:

```
{ "dataprovider" :
```

```

    { "id": "DP2", "name": "Query 3", "dataSourceId": 6120, "dataSourceType": "bex",
      "dataSourcePrefix": "DS0", "updated": "2014-04-23T09:08:20.000+02:00",
      "duration": 1, "isPartial": false, "rowCount": 175, "flowCount": 1,
      "dictionary":
        { "expression":
          [ { "@dataType": "String", "@qualification": "Hierarchy", "id": "DP2.DO5",
              "name": "Region", "description": "Region", "dataSourceObjectId":
                "HZ_REGION", "formulaLanguageId": "[Region]" },
            { "@dataType": "String", "@qualification": "Attribute", "id": "DP2.DOa",
              "name": "Order Amount Currency", "description": "",
              "dataSourceObjectId": "MDCZO1XT12V8KC6LFFGN1WEL3E.Currency",
              "formulaLanguageId": "[Order Amount Currency]" }
          ],
        },
    "query": "CgASGQoIWl9SRUdJT04SDQoJSFpfUkVHSU9OEAIaVAoZRENaTzFYVDEyVjhLQzZMRkZ
HTjFXRUwzRRIMT3JkZXIgcWlvdW50GAIiJwojTURDwk8xWFQxMlY4S0M2TEZGR04xV0VMM0U
uQ3VycmVuY3kQCCAaAAwAA=="
  }
}

```

Microsoft Excel ファイルの場合、XML 応答:

```

<dataprovider>
  <id>DP3</id>
  <name>MyQuery</name>
  <dataSourceId>6641</dataSourceId>
  <dataSourceType>excel</dataSourceType>
  <updated>2014-04-29T13:37:24.000+02:00</updated>
  <duration>1</duration>
  <isPartial>false</isPartial>
  <rowCount>405</rowCount>
  <dictionary>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP3.DO7</id>
      <name>Build</name>
      <description/>
      <dataSourceObjectId>DS3.DO7</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Build]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP3.DO0</id>
    </expression>
    ...
  </dictionary>
  <properties>
    <property key="selectedSheet">Planning</property>
    <property key="rangeSelectionMode">all</property>
    <property key="firstRawAsObjectNames">true</property>
    <property key="isRefreshable">true</property>
  </properties>
</dataprovider>

```

直接入力の SQL スクリプトの場合、XML 応答:

```

<dataprovider>
  <id>DP5</id>
  <name>FreeHandSQL based on beachOraJdbc</name>
  <dataSourceId>6250</dataSourceId>
  <dataSourceType>fhsql</dataSourceType>
  <updated>2014-08-29T08:43:26.000+02:00</updated>
  <duration>1</duration>
  <isPartial>false</isPartial>
  <rowCount>7</rowCount>

```

```

    <flowCount>1</flowCount>
    <dictionary>
      <expression dataType="Numeric" qualification="Measure"
highPrecision="false">
        <id>DP5.D00</id>
        <name>COUNTRY_ID</name>
        <dataSourceObjectId>DS5.D00</dataSourceObjectId>
        <formulaLanguageId>[COUNTRY_ID]</formulaLanguageId>
        <aggregationFunction>None</aggregationFunction>
      </expression>
      <expression dataType="String" qualification="Dimension">
        <id>DP5.D01</id>
        <name>COUNTRY</name>
        <dataSourceObjectId>DS5.D01</dataSourceObjectId>
        <formulaLanguageId>[COUNTRY]</formulaLanguageId>
      </expression>
    </dictionary>
    <properties>
      <property key="sql">SELECT * from country</property>
      <property key="maxRows">-1</property>
      <property key="timeout">-1</property>
    </properties>
  </dataprovider>

```

関連情報

[レポートのデータフィルタの管理 \[364 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.3 データプロバイダの追加

用途

Web Intelligence ドキュメントに新しいデータプロバイダを追加します。

次の方法で追加できます。

- ユニバース (unv または unx)
- BEx クエリ
- Microsoft Excel 2003 または Microsoft Excel 2007 ファイル
- 直接入力の SQL スクリプト

要求

POST/documents/<documentID>/dataproviders

要求本文:

```
<dataprovider>
```

```
<name>
<dataSourceId>
```

この場合、

- <name> はデータソースの名前です。
- <dataSourceId> はデータソースの識別子です。

Microsoft Excel ファイルの要求本文

Microsoft Excel ファイルの場合、次の <property> 要素を追加して、データソースに補足詳細を入力します。

```
<properties>
  <property key="selectedSheet">
  <property key="rangeSelectionMode">
  <property key="firstRowAsObjectNames">
  <property key="selectedRange">
```

プロパティ

プロパティのキー	説明
selectedSheet	データプロバイダとして使用するシートの名前を指定します。プロパティが設定されていない場合は、最初のシートを使用します。
rangeSelectionMode	実行可能な操作: <ul style="list-style-type: none">• シート全体を選択する場合は、all• 指定セル範囲のいずれかを選択する場合は、named• エンドユーザがセル範囲を選択する場合は、freehand
firstRowAsObjectNames	論理値。デフォルト値は true です。true の場合、シートの最初の行に列名が含まれます。
selectedRange	rangeSelectionMode が all に設定されている場合は、selectedRange を使用しないでください。指定セル範囲がある場合は指定するか、またはエンドユーザ入力を使用します。

① 注記

現在のリリースでは、断片化した指定範囲には対応していません。

直接入力の SQL スクリプト用の要求本文

直接入力の SQL スクリプトの場合、要求本文は SQL 文を <property> として含んでいる必要があります。

```
<dataproducer>
  <name>
  <dataSourceId>
  <properties>
    <property key="sql">
```

標準の ANSI-SQL 89/92/98 に準拠するすべての SQL 文はサポートされています。たとえば、SET オプション、ストアドプロシージャ、WITH 句はサポートされています。また、対話型クエリの @Variable および @Prompt 関

数もサポートされています。DROP TABLE または ALTER TABLE などの DDL コマンドを含む SQL スクリプトは実行されません。複数フローの SQL 文はサポートされていません。クエリは、最初の結果だけを返します。

次の <property> 要素を追加して、希望する結果に補足詳細を入力します。

```
<properties>
  <property key="maxRows">
  <property key="timeout">
```

プロパティ

プロパティのキー	説明
maxRows	取得される最大行数を指定します。設定していない場合、または -1 の場合、プロパティは使用できません。
timeout	最大受信時間 (秒) を指定します。設定していない場合、または -1 の場合、プロパティは使用できません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/3422/dataproviders

BEx クエリ用の要求本文:

```
<dataprovider>
  <name>Query1</name>
  <dataSourceId>11990;Z_BOBJ;AAQUERY_SAMPLE</dataSourceId>
</dataprovider>
```

Microsoft Excel ファイル用の要求本文

```
<dataprovider>
  <name>My Excel data provider</name>
  <dataSourceId>6641</dataSourceId>
  <properties>
    <property key="selectedSheet">mysheet</property>
    <property key="rangeSelectionMode">freehand</property>
    <property key="firstRowAsObjectNames">true</property>
    <property key="selectedRange">A2:F7</property>
  </properties>
</dataprovider>
```

直接入力の SQL スクリプト用の要求本文

```
<dataprovider>
  <name>FHSQL dp on beachOraJdbc</name>
  <dataSourceId>6250</dataSourceId>
  <properties>
```

```
<property key="sql">SELECT * from country</property>
<property key='maxRows'>286</property>
<property key='timeout'>857</property>
</properties>
</dataprovider>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP3" has been
  successfully created.</message>
  <id>DP3</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[Microsoft Excel ファイルの詳細の取得 \[605 ページ\]](#)

8.6.4 データプロバイダの更新

用途

データプロバイダを消去または更新します。

以下の表は、データプロバイダの特定のケースで、Microsoft Excel ファイルまたは直接入力 of SQL スクリプトに基づいて何を更新できるかを示しています。

データプロバイダ	指定できる更新
Microsoft Excel ファイル	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Excel ファイル自体• プロパティ• ディクショナリ式の詳細<ul style="list-style-type: none">• データ型• 資格• 高精度• 名前• メジャーの集計関数• 属性の関連付けられたディメンション

データプロバイダ	指定できる更新
SQL スクリプトの直接入力	<ul style="list-style-type: none"> プロパティ 接続 SQL スクリプト ディクショナリ式の詳細 <ul style="list-style-type: none"> 資格 高精度 名前 メジャーの集計関数 属性の関連付けられたディメンション

① 注記

- 置換した Microsoft Excel ファイルは、CMS リポジトリに格納する必要があります。また、データプロバイダとして使用されているものと同じファイル構造を持っている必要があります (列番号、名前、および順序)。
- Microsoft Excel ファイルとそのプロパティは、1つの要求または2つの個別要求のいずれかによって変更できます。
- 接続と SQL スクリプトは、1つの要求または2つの個別要求のいずれかによって変更できます。
- 更新中、<dataSourceObjectId> および <dataSourceObjectId> への変更は無視されます。
- SDK では、欠落した結果オブジェクト、重複する式の識別子、重複する名前、不明な式の識別子、および変更されたオブジェクトの順序を処理します。

要求

PUT/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>?

purge=<purge>&purgeOptions=<purgeOptions>

この場合、

- <purge> (オプション) は、データプロバイダを消去するかどうかを示します。デフォルトは false です。
- <purgeOptions> (オプション) は、消去操作を制御する prompts です。設定されていない場合、または空の場合は、データプロバイダのみが消去されます。

① 注記

purge=false と purgeOptions の両方を呼び出しで指定すると、エラーが発生します。

要求本文はオプションです。

データプロバイダの名前を変更する要求本文

```
<dataprovider>
```

```
<name>
```

データプロバイダのメジャー値の形式を変更する要求本文

メジャータイプの式の `highPrecision` 属性を `true` に設定して、メジャー値を "10 進浮動小数点" の数値形式で表示することができます。この形式は IEEE 754-2008 標準で定義されており、これを使用すると、有効桁数を 15 桁から 40 桁にすることができるため、より高い精度が値に提供されます。任意のデータプロバイダにこのような変更を行うことができます。

```
<dataprotider>
  <dictionary>
    <expression highPrecision=Boolean>
      <id>
```

属性が要求本文に含まれていない場合、メジャーは通常の数値で表示されます。

Microsoft Excel ファイルのプロパティを変更する要求本文

```
<dataprotider>
  <property key="selectedSheet">
  <property key="rangeSelectionMode">
  <property key="firstRowAsObjectNames">
  <property key="selectedRange">
```

データプロバイダを最新表示を可能にするように `isRefreshable` プロパティを要求本文に追加することもできます。

```
<dataprotider>
  <property key="isRefreshable">true|false</property>
```

`isRefreshable` プロパティ値は消去操作に影響します。このプロパティが Web Intelligence サーバで `false` の場合、`<purge>` を `true` に設定しても、消去は実行されません。

データプロバイダとして使用される Microsoft Excel ファイルを変更する要求本文

```
<dataprotider>
  <dataSourceId>
```

直接入力 SQL スクリプトのプロパティを変更する要求本文

```
<dataprotider>
  <property key="maxRows">
```

```
<property key="timeout">
```

直接入力 **SQL** データプロバイダの接続と **SQL** スクリプトを変更する要求本文

```
<dataprovider>
  <dataSourceId>
    <properties>
      <property key="sql">
```

<dataSourceId> は接続 ID を示します。

接続と SQL スクリプトは別々の要求で更新できます。

次の場合はエラーになります。

- 接続と SQL スクリプトに互換性がない場合 (HTTP エラーコード 400、WSR 00102)。
- エンドユーザに SQL スクリプトの編集が許可されない場合 (HTTP エラーコード 401、WSR 00402)。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: プロンプトを消去せずにデータプロバイダだけを消去する

PUT/documents/7738/dataproviders/DP0?purge=true

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>
```

例: データプロバイダとプロンプトを消去する

PUT/documents/7738/dataproviders/DP0?purge=true&purgeOptions=prompts

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>
```

例: データプロバイダの名前を変更する

PUT/documents/7738/dataproviders/DP0

XML ファイルの要求本文:

```
<dataprovider>
  <name>My Renamed Data Provider</name>
</dataprovider>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>
```

例: 直接入力の SQL データプロバイダのプロパティを変更する

PUT/documents/8229/dataproviders/DP0

XML ファイルの要求本文:

```
<dataprovider>
  <property key="maxRows">928</property>
  <property key="timeout">101</property>
</dataprovider>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>
```

例: 直接入力の SQL データプロバイダの接続と SQL スクリプトを変更する

PUT/documents/8229/dataproviders/DP0

要求本文:

```
<dataprovider>
  <dataSourceId>6340</dataSourceId>
  <properties>
    <property key="sql">SELECT DISTINCT SALES.INVOICE_DATE FROM SALES</
property>
  </properties>
</dataprovider>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
  successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>
```

例: Microsoft Excel ファイルに基づくデータプロバイダのオブジェクトディクショナリを更新する

最初の呼び出しにより次のデータプロバイダの詳細を取得できます。

GET/documents/11837/dataproviders/DP0

応答:

```
<dataprovder>
  <id>DP0</id>
  <name>named cell</name>
  <dataSourceId>11835</dataSourceId>
  <dataSourceType>excel</dataSourceType>
  <duration>0</duration>
  <isPartial>false</isPartial>
  <rowCount>0</rowCount>
  <flowCount>1</flowCount>
  <dictionary>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.D00</id>
      <name>OrderDate</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.D00</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[OrderDate]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.D01</id>
      <name>Region</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.D01</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Region]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.D02</id>
      <name>Rep</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.D02</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Rep]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.D03</id>
      <name>Item</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.D03</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Item]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Measure">
      <id>DP0.D04</id>
      <name>Units</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.D04</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Units]</formulaLanguageId>
      <aggregationFunction>Sum</aggregationFunction>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Measure">
      <id>DP0.D05</id>
      <name>Cost</name>
```

```

        <dataSourceObjectId>DS0.DO5</dataSourceObjectId>
        <formulaLanguageId>[Cost]</formulaLanguageId>
        <aggregationFunction>Sum</aggregationFunction>
    </expression>
</dictionary>
<properties>
    <property key="selectedSheet">Sheet1</property>
    <property key="rangeSelectionMode">freehand</property>
    <property key="selectedRange">A1:F9</property>
    <property key="firstRowAsObjectNames">true</property>
    <property key="isRefreshable">true</property>
</properties>
</dataprovder>

```

2 番目の呼び出しにより次の変更が可能です。

- DP0.DO0、DP0.DO1、DP0.DO2、DP0.DO3、DP0.DO4、および DP0.DO5 の名前。
- DP0.DO2 および DP0.DO5 の識別子
- DP0.DO5 の関連するディメンション
- DP0.DO4 の集計関数

PUT/documents/11837/dataproviders/DP0

要求本文:

```

<dataprovder>
  <dictionary>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO0</id>
      <name>OrderDate1</name>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO1</id>
      <name>Region1</name>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Attribute">
      <id>DP0.DO2</id>
      <name>Repl</name>
      <associatedDimensionId>DP0.DO1</associatedDimensionId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO3</id>
      <name>Item1</name>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Measure">
      <id>DP0.DO4</id>
      <name>Average</name>
      <aggregationFunction>Average</aggregationFunction>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO5</id>
      <name>Cost1</name>
    </expression>
  </dictionary>
</dataprovder>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
  successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>

```

3 番目の呼び出しで、ディクショナリが更新されたことを確認します。<formulaLanguageId> は、<name> の変更に応じて自動的に変更されました。

GET/documents/11837/dataproviders/DP0

応答:

```
<dataprovider>
  <id>DP0</id>
  <name>named_cell</name>
  <dataSourceId>11835</dataSourceId>
  <dataSourceType>excel</dataSourceType>
  <duration>0</duration>
  <isPartial>false</isPartial>
  <rowCount>0</rowCount>
  <flowCount>1</flowCount>
  <dictionary>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO0</id>
      <name>OrderDate1</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.DO0</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[OrderDate1]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO1</id>
      <name>Region1</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.DO1</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Region1]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Attribute">
      <id>DP0.DO2</id>
      <name>Repl</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.DO2</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Repl]</formulaLanguageId>
      <associatedDimensionId>DP0.DO1</associatedDimensionId>
    </expression>
    <expression dataType="String" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO3</id>
      <name>Item1</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.DO3</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Item1]</formulaLanguageId>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Measure">
      <id>DP0.DO4</id>
      <name>Average1</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.DO4</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Average1]</formulaLanguageId>
      <aggregationFunction>Average</aggregationFunction>
    </expression>
    <expression dataType="Numeric" qualification="Dimension">
      <id>DP0.DO5</id>
      <name>Cost1</name>
      <dataSourceObjectId>DS0.DO5</dataSourceObjectId>
      <formulaLanguageId>[Cost1]</formulaLanguageId>
    </expression>
  </dictionary>
  <properties>
    <property key="selectedSheet">Sheet1</property>
    <property key="rangeSelectionMode">freehand</property>
    <property key="selectedRange">A1:F9</property>
    <property key="firstRowAsObjectNames">true</property>
    <property key="isRefreshable">true</property>
  </properties>
</dataprovider>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.5 ドキュメント内のデータプロバイダの移動

用途

Web Intelligence ドキュメント内の既存のデータプロバイダをある位置から別の位置に移動します。

Request

```
PUT/documents/<documentID>/dataproviders?  
fromId=<FromDataProviderID>&toId=<ToDataProviderID>
```

場所:

- `<FromDataProviderID>` は移動するデータプロバイダの ID です。
- `<ToDataProviderID>` は移動後のデータプロバイダの ID です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

```
PUT /documents/8022/dataproviders?fromId=DP0&toId=DP2
```

```
<success>  
  <message>Resources of type "Data provider" with identifier "DP0" has been  
successfully moved.</message>  
  <id>DP2</id>  
</success>
```


関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.6 データプロバイダの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントのデータプロバイダの一覧からデータプロバイダを削除します。

Request

```
DELETE /documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

```
DELETE /documents/7738/dataproviders/DP1
```

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP1" has been
successfully removed.</message>
  <id>DP1</id>
</success>
```

例: 最後のデータプロバイダの削除

```
DELETE /documents/7738/dataproviders/DP0
```

```
<error>
  <error_code>101</error_code>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" cannot be
removed.</message>
```

</error>

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.7 データプロバイダの変更

現在のデータソースのデータオブジェクトをターゲットデータソースのデータオブジェクトに置換することによって、Web Intelligence ドキュメントのデータプロバイダを変更することができます。

→ 注意

- 4.2 SP3 リリースより、ドキュメントのデータプロバイダを変更するときに、ドキュメントパラメータ (プロンプトとコンテキスト) の回答が不要になりました。回答が引き続き必要なのは、SAP HANA の変数と BEx クエリの変数など、データソースパラメータだけです。
- 4.2 SP3 より前では、"ソースの変更" によって影響を受けたデータプロバイダの ID は、N から N+1 (たとえば DP0 から DP1) に変更されていました。これは 4.2 SP3 以降に当てはまらなくなりました。

① 注記

"ソースの変更" 機能では、テキストファイル、Microsoft Excel スプレッドシート、SAP HANA オンラインおよび Web サービスをデータソースとして使用することはできません。

[デフォルトのストラテジーを使用した可能オブジェクトマッピングの取得 \[574 ページ\]](#)

[選択したストラテジーを使用した使用可能なオブジェクトマッピングの取得 \[577 ページ\]](#)

[データプロバイダのデータオブジェクトの変更 \[580 ページ\]](#)

関連情報

[ソースの変更 \[143 ページ\]](#)

8.6.7.1 デフォルトのストラテジーを使用した可能オブジェクトマッピングの取得

用途

デフォルトのストラテジーで見つかった可能オブジェクトマッピングの一覧を取得します。

データプロバイダが指定されていない場合、この要求はドキュメントに含まれるすべての既存データプロバイダに実行されます。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders/mappings?

originDataProviderIds=<dataProviderID[,...]>&targetDataSourceId=<dataSourceID>

説明:

- <dataProviderID[,...]> は、カンマで区切った、マッピングに考慮するデータプロバイダ識別子の一覧です。このパラメータは省略できます。指定しない場合は、ドキュメントのすべてのデータプロバイダが考慮されます。
- <dataSourceID> は、提案マッピングで使用するターゲットデータソースの識別子です。このパラメータは必須です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/jsonapplication/json

要求本文: マッピングの詳細については、[要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング \[145 ページ\]](#) を参照してください。

例: 可能マッピングを取得する

データプロバイダ ID は DP0 と DP1 です。ターゲットデータソース ID は 11414 です。

GET/documents/9460/dataproviders/mappings?

originDataProviderIds=DP0,DP1&targetDataSourceId=11414

```
<mappings>
  <content>
    <mapping status="Ok">
      <source>
        <id>DS0.DO12</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.DO12</id>
      </target>
    </mapping>
    <mapping status="Ok">
      <source>
        <id>DS0.DO13</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.DO13</id>
      </target>
    </mapping>
    ...
    <mapping status="Ok">
```

```

        <source>
            <id>DS0.D07</id>
        </source>
        <target>
            <id>DS1.D07</id>
        </target>
    </mapping>
    <mapping status="Ambiguous">
        <source>
            <id>DS0.D084</id>
        </source>
        <target>
            <id>DS1.D06</id>
        </target>
    </mapping>
</content>
</mappings>

```

例: ターゲットが **BEx** クエリである場合に可能マッピングを取得する

データプロバイダ ID は DP0 と DP1 です。ターゲットデータソース ID は "10326;AAQUERY_RESTRICT_KF" です。

GET/documents/10554/dataproviders/mappings?

originDataProviderIds=DP0,DP1&targetDataSourceId=10326;AAQUERY_RESTRICT_KF

```

<mappings>
    <content>
        <mapping status="Ok">
            <source>
                <id>AZ_CITY</id>
            </source>
            <target>
                <id>AZ_CITY</id>
            </target>
        </mapping>
        <mapping status="Ambiguous">
            <source>
                <id>MA55OT46E04K803Z77TO03LNMU</id>
            </source>
            <target>
                <id>MD4NTN2159JU9ONUHTLMNBW3U</id>
            </target>
        </mapping>
    </content>
</mappings>

```

関連情報

[ソースの変更 \[143 ページ\]](#)

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.7.2 選択したストラテジーを使用した使用可能なオブジェクトマッピングの取得

用途

指定されたストラテジーを使用して検出された使用可能なオブジェクトマッピングの一覧を取得します。

これらのストラテジーは、マッピングステータスが、“見つかりません” の場合に、一致するオブジェクトが1つ見つかるまで、要求で指定された順序で適用されます。

データプロバイダが指定されていない場合、この要求はドキュメントに含まれるすべての既存データプロバイダについて実行されます。

要求

PUT/documents/<documentID>/dataproviders/mappings?
originDataProviderIds=<dataProviderID[,...]>&targetDataSourceId=<dataSourceID>

この場合、

- <dataProviderID[,...]> は、カンマで区切った、マッピングに考慮するデータプロバイダ識別子の一覧です。このパラメータは省略できます。指定しない場合は、ドキュメントのすべてのデータプロバイダが考慮されます。
- <dataSourceID> は、提案マッピングで使用するターゲットデータソースの識別子です。このパラメータは必須です。

要求本文:

```
<mappings>
  <policy qualificationTolerance="Low|Normal|High" dataTypeTolerance="Low|Normal|High">
    <strategies mappingSourceIds="string">
      <strategy name="SameId|SameName|SameTechnicalName|SamePath|CloseName|Selection|Removal" targetId="string" />
    <content>
      <mapping>
        <source>
          <id>
          <target>
            <id>
        <parameters>
          <parameter>
```

要求本文の説明については、[要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング \[145 ページ\]](#) を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

要求本文: マッピングの詳細については、[要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング \[145 ページ\]](#) を参照してください。

例

PUT/documents/7278/dataproviders/mappings?targetDatasourceId=6610

要求本文:

```
{
  "mappings": {
    "policy": {
      "strategies": [
        {
          "strategy": [
            { "@name": "SamePath" },
            { "@name": "SameTechnicalName" },
            { "@name": "SameName" },
            { "@name": "Removal" }
          ]
        },
        {
          "@mappingSourceIds": "DS0.DO2,DS0.DO7,DS0.DO18,DS0.DO4",
          "strategy": [
            { "@name": "SameId" },
            { "@name": "CloseName" }
          ]
        },
        {
          "@mappingSourceIds": "DS0.DO25",
          "strategy": {
            "@name": "Selection",
            "@targetId": "M[Measures].[Customer Count]"
          }
        },
        {
          "@mappingSourceIds": "DS0.DO7",
          "strategy": {
            "@name": "Selection",
            "@targetId": "M[Measures].[Internet Sales Amount]"
          }
        }
      ]
    },
    "parameters": {
      "parameter": {
        "id": "1",
        "answer": {
          "values": {
            "value": {
              "@id": "2",
              "$": "France"
            }
          }
        }
      }
    }
  }
}
```

応答:

```
{
  "mappings": {
    "policy": {
      "strategies": [
```

```

    {
      "strategy": [
        { "@name": "SamePath" },
        { "@name": "SameTechnicalName" },
        { "@name": "SameName" },
        { "@name": "Removal" }
      ],
    },
    {
      "@mappingSourceIds": "DS0.DO2,DS0.DO7, DS0.DO18, DS0.DO4",
      "strategy": [
        { "@name": "SameId" },
        { "@name": "CloseName" }
      ],
    },
    {
      "@mappingSourceIds": "DS0.DO25",
      "strategy": {
        "@name": "Selection",
        "@targetId": "M[Measures].[Customer Count]"
      },
    },
    {
      "@mappingSourceIds": "DS0.DO7",
      "strategy": {
        "@name": "Selection",
        "@targetId": "M[Measures].[Internet Sales Amount]"
      },
    }
  ],
  "content": {
    "mapping": [
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO12" },
        "target": { "id": "L[Sales Territory].[Sales Territory].[Region]" }
      },
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO13" },
        "target": { "id": "A[Customer].[City]" }
      },
      {
        "@status": "NotFound",
        "source": { "id": "DS0.DO17" }
      },
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO18" },
        "target": { "id": "A[Customer].[City]" }
      },
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO2" },
        "target": { "id": "A[Product].[Color]" }
      },
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO25" },
        "target": { "id": "M[Measures].[Customer Count]" }
      },
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO4" },
        "target": { "id": "L[Internet Sales Order Details].[Internet Sales
Orders].[Order Line]" }
      },
      {
        "@status": "Ambiguous",
        "source": { "id": "DS0.DO6" },
        "target": { "id": "A[Customer].[Country]" }
      }
    ]
  }
}

```

```

    },
    {
      "@status": "Ambiguous",
      "source": { "id": "DS0.D07" },
      "target": { "id": "M[Measures].[Internet Sales Amount]" }
    },
    {
      "@status": "Ambiguous",
      "source": { "id": "DS0.D084" },
      "target": { "id": "A[Customer].[Country]" }
    }
  ]
}
}
}

```

関連情報

[ソースの変更 \[143 ページ\]](#)

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.7.3 データプロバイダのデータオブジェクトの変更

用途

指定のデータオブジェクトマッピングとストラテジーを使用して、現在のデータソースのデータオブジェクトをターゲットデータソースのデータオブジェクトに置換します。カスタムストラテジーの使用は、4.1 SP6 リリースから新たに導入されました。

4.2 SP3 リリースより、ドキュメントのデータプロバイダを変更するときに、ドキュメントパラメータ (プロンプトとコンテキスト) の回答が不要になりました。回答が引き続き必要なのは、SAP HANA の変数と BEx クエリの変数など、データソースパラメータだけです。

要求

POST/documents/<documentID>/dataproviders/mappings?
originDataProviderIds=<dataProviderID[,...]>&targetDataSourceId=<dataSourceID>&skip
Checking=true

ここで、

- <dataProviderID[,...]> は、カンマで区切った、マッピングに考慮するデータプロバイダ識別子の一覧です。このパラメータは省略できます。
- <dataSourceID> は、提案マッピングで使用するターゲットデータソースの識別子です。このパラメータは必須です。

- `skipChecking` は、すべての検証をスキップし、ソース変更のプロセスを高速化することができます。このパラメータは省略できます。

要求本文: データソースにパラメータがある場合のストラテジー、カスタムマッピング、およびパラメータ値。要求本文が空である場合は、デフォルトストラテジーで見つかったマッピングを使用して、ソースの変更が実行されます。

要求本文の説明については、[要求本文スキーマと応答本文スキーマのマッピング \[145 ページ\]](#) を参照してください。

要求のコンテンツ	使用されるオブジェクトマッピング
マッピングなし、ストラテジーなし	デフォルトのストラテジーで見つかったマッピング
ストラテジーあり、マッピングなし	ストラテジーで見つかったマッピング
マッピングあり、ストラテジーなし	このマッピングがデフォルトのマッピングをオーバーロードする
マッピングあり、ストラテジーあり	このマッピングがストラテジーで見つかったマッピングをオーバーロードする

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例: マッピングを提供することによってデータソースを変更する (XML)

POST/documents/9455/dataproviders/mappings?
originDataProviderIds=DP0&targetDataSourceId=11414

以下の要求本文にはデータソースパラメータがなく、すべてのソースがターゲットにマップされます。

```
<mappings>
  <content>
    <mapping>
      <source>
        <id>DS0.DO12</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.DO12</id>
      </target>
    </mapping>
    <mapping>
      <source>
        <id>DS0.DO2</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.DO2</id>
      </target>
    </mapping>
  </content>
</mappings>
```

```

    </mapping>
    <mapping>
      <source>
        <id>DS0.D06</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.D039</id>
      </target>
    </mapping>
  </content>
</mappings>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "9455" has been
  successfully updated.</message>
  <id>9455</id>
</success>

```

例: データソースを変更する: 1つのソースがターゲットにマップされない場合 (XML)

POST/documents/9460/dataproviders/mappings?
originDataProviderIds=DP0,DP1&targetDataSourceId=11414

以下の要求本文にはデータソースパラメータがなく、最後のソース (DS0.D06) はターゲットにマップされません。データソースオブジェクトがドキュメントから削除されます。

```

<mappings>
  <content>
    <mapping>
      <source>
        <id>DS0.D012</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.D012</id>
      </target>
    </mapping>
    <mapping>
      <source>
        <id>DS0.D02</id>
      </source>
      <target>
        <id>DS1.D02</id>
      </target>
    </mapping>
    <mapping>
      <source>
        <id>DS0.D06</id>
      </source>
      <target/>
    </mapping>
  </content>
</mappings>

```

例: ストラテジーが含まれるデータソースを変更する (JSON)

POST /16706/dataproviders/mappings?originDataProviderIds=DP0&targetDatasourceId=6610

要求本文:

```
{
  "mappings": {
    "policy": {
      "strategies": {
        "strategy": [ {
          "@name": "SameId"
        } ]
      }
    },
    "content": {
      "mapping": {
        "source": {
          "id": "M[Measures].[Sales Amount]"
        },
        "target": {
          "id": "M[Measures].[Internet Sales Amount]"
        }
      }
    }
  }
}
```

応答:

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type ¥"Document¥" with identifier ¥"16706¥" has
    been successfully updated.",
    "id": "16706"
  }
}
```

例: データソースパラメータが含まれるドキュメントのデータソースを変更する (XML)

データソースパラメータは、要求本文での入力が必要である限り、応答に表示されます。すべてのパラメータが値を持つ場合、応答は成功します。

POST /documents/15630/dataproviders/mappings?
targetDatasourceId=6576;ROLE_AA_QRY_VAR_S_OPT

要求本文が空です。デフォルトマッピングが使用されます。

応答にはパラメータが含まれます。

```
<mappings>
  <parameters>
    <parameter optional="true" type="sapVariable" dpId="DS1">
      <id>1</id>
      <technicalName>ROLE_VAR_20090709102231</technicalName>
      <name>Select a country</name>
      <answer constrained="false" type="Text" keyType="Text">
        <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
```

```

        <lov hierarchical="true" nodeSelection="Any"
refreshable="true"/>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
</mappings>

```

パラメータ応答が含まれる以下の要求を送信します。

POST/documents/15630/dataproviders/mappings?
targetDatasourceId=6576;ROLE_AA_QRY_VAR_S_OPT

要求本文:

```

<mappings>
  <parameters>
    <parameter>
      <id>1</id>
      <answer>
        <values>
          <value id='1'>Argentina</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</mappings>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "15630" has been
successfully updated.</message>
  <id>15630</id>
</success>

```

関連情報

[ソースの変更 \[143 ページ\]](#)

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.8 データプロバイダのフロー件数の取得

用途

データプロバイダのフロー件数を取得します。

Request

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/flows/count

応答

応答タイプ: text/plain

応答本文: 1 ～ n の整数で示されたフローの数。

例

この例では、ドキュメント ID 7738 で使用できるデータプロバイダ ID DP0 のフロー件数を取得します。

GET /documents/7738/dataproviders/DP0/flows/count

応答

```
1
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.9 フローの詳細の取得

用途

XML 形式または CSV 形式で指定されたデータプロバイダフローの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/flows<flowID>

応答

応答タイプ: text/xml または text/plain

応答本文: 1つのデータプロバイダに対して、フローの詳細を取得します。

- XML 形式では、行ごとのインデックスセルおよび値です。
- CSV 形式では、値のみです。

例: テキスト

この例では、ドキュメント ID 7744 で使用できるデータプロバイダ DP0 の最初のフロー (flowId は 0) が取得されます。

GET /documents/7744/dataproviders/DP0/flows/0

応答 (CSV 形式):

```
"Year";"State";"Sales revenue";"Margin"
"2001";"California";"1704210.8";"774893.4"
"2001";"Colorado";"448301.5";"203700.6"
"2001";"DC";"693210.5";"310356.2"
"2001";"Florida";"405985.1";"192479.3"
"2001";"Illinois";"737914.2";"348749.8"
"2002";"California";"2782679.5";"1076528"
"2002";"Colorado";"768389.5";"294482.6"
"2002";"DC";"1215158";"457230.6"
"2003";"California";"2992679";"1121488.5"
...
```

例: XML 形式

この例では、ドキュメント ID 12575 で使用できるデータプロバイダ DP0 の最初のフロー (flowId は 0) が取得されます。

GET /documents/12575/dataproviders/DP0/flows/0

```
<DATA_PROVIDERS>
  <DATA_PROVIDER>
    <ROW>
      <CELL INDEX="0">2006</CELL>
      <CELL INDEX="1">12</CELL>
      <CELL INDEX="2">Texas </CELL>
      <CELL INDEX="3">Dallas</CELL>
      <CELL INDEX="4">e-Fashion Dallas</CELL>
      <CELL INDEX="5">43302.1</CELL>
      <CELL INDEX="6">222</CELL>
      <CELL INDEX="7">17829.4</CELL>
    </ROW>
    <ROW>
      <CELL INDEX="0">2006</CELL>
      <CELL INDEX="1">12</CELL>
      <CELL INDEX="2">Texas </CELL>
      <CELL INDEX="3">Houston</CELL>
    </ROW>
  </DATA_PROVIDER>
</DATA_PROVIDERS>
```

```

        <CELL INDEX="4">e-Fashion Houston</CELL>
        <CELL INDEX="5">55454.6</CELL>
        <CELL INDEX="6">258</CELL>
        <CELL INDEX="7">24614.6</CELL>
    </ROW>
    <ROW>
        <CELL INDEX="0">2006</CELL>
        <CELL INDEX="1">12</CELL>
        <CELL INDEX="2">Texas </CELL>
        <CELL INDEX="3">Houston</CELL>
        <CELL INDEX="4">e-Fashion Houston Leighton</CELL>
        <CELL INDEX="5">77237.7</CELL>
        <CELL INDEX="6">366</CELL>
        <CELL INDEX="7">34926.7</CELL>
    </ROW>
</DATA_PROVIDER>
</DATA_PROVIDERS>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

[データプロバイダのフロー件数の取得 \[584 ページ\]](#)

8.6.10 フローのサンプルの取得

用途

データプロバイダのデータサンプルを返します。

Web Intelligence で、データサンプルがクエリパネルに表示されます。

⚠ 警告

次のメソッドは、Microsoft Excel および直接入力の SQL データプロバイダでのみサポートされます。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/flows<flowID>/samples

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文には次が含まれます。

- 列名および ID とデータ型の一覧 (<column>)
- データサンプルの各行の列値の一覧 (<cvalue>)

例

```
<samples>
  <columns>
    <column id="0" type="String">Country</column>
    <column id="1" type="String">Region</column>
    <column id="2" type="String">City</column>
    <column id="3" type="Numeric">Revenue</column>
    <column id="4" type="String">Retailer Name</column>
    ...
  </columns>
  <cvalues>
    <cvalue>
      <column id="0">United States</column>
      <column id="1">California</column>
      <column id="2">Los Angeles</column>
      <column id="3">155000</column>
      <column id="4">Bedford</column>
      ...
    </cvalue>
    <cvalue>
      <column id="0">United States</column>
      <column id="1">California</column>
      <column id="2">Los Angeles</column>
      <column id="3">120150</column>
      <column id="4">Jones</column>
      ...
    </cvalue>
    <cvalue>
      <column id="0">United States</column>
      <column id="1">California</column>
      <column id="2">Los Angeles</column>
      <column id="3">227000</column>
      <column id="4">Smith</column>
      ...
    </cvalue>
    ...
  </cvalues>
</samples>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

[データプロバイダのフロー件数の取得 \[584 ページ\]](#)

8.6.11 クエリプランの取得

用途

指定されたデータプロバイダのクエリプランを返します。

クエリプランはクエリを構成する SQL 文を表します。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/queryplan

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 結合および UNION、INTERSECT、MINUS などの集合演算子を使用して結合された一連の SQL 文から構成されるクエリプランの詳細。

例

GET /documents/9106/dataproviders/DP2/queryplan

```
<queryplan custom="false" editable="true">
  <union>
    <fullOuterJoin>
      <statement index="1">SELECT 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy'),
        count(distinct SALES.inv_id) FROM SALES GROUP BY 'FY' ||
        to_char(SALES.invoice_date,'yy')</statement>
      <statement index="2">SELECT 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy'),
        sum(INVOICE_LINE.nb_guests) FROM SALES, INVOICE_LINE,
SERVICE_LINE,
        SERVICE WHERE (SALES.INV_ID=INVOICE_LINE.INV_ID) AND
        (INVOICE_LINE.SERVICE_ID=SERVICE.SERVICE_ID) AND
        (SERVICE.SL_ID=SERVICE_LINE.SL_ID) AND
        (SERVICE_LINE.service_line = 'Accommodation')
        GROUP BY 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy')</statement>
    </fullOuterJoin>
    <fullOuterJoin>
      <statement index="3">...</statement>
      <statement index="4">...</statement>
    </fullOuterJoin>
    <intersect>
      <fullOuterJoin>
        <statement index="5">...</statement>
        <statement index="6">...</statement>
      </fullOuterJoin>
      <fullOuterJoin>
        <statement index="7">...</statement>
```

```

        <statement index="8">...</statement>
    </fullOuterJoin>
    <minus>
        <fullOuterJoin>
            <statement index="9">...</statement>
            <statement index="10">...</statement>
        </fullOuterJoin>
        <fullOuterJoin>
            <statement index="11">...</statement>
            <statement index="12">...</statement>
        </fullOuterJoin>
    </minus>
</intersect>
</union>
</queryplan>

```

例

データプロバイダにコンテキストがある場合は、最初にコンテキストを解決する必要があります。

GET /documents/8722/dataproviders/DP5/queryplan

応答

```

<error>
  <error_code>WSR 00103</error_code>
  <message>Missing contexts for the data provider "DP5".</message>
</error>

```

GET /documents/8722/dataproviders/DP5/parameters?refresh=false

要求本文には、コンテキストへの回答が含まれます。

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <values>
        <value id='_VlxrQPzQEeG4Q-3y4CsnNg'>INVOICE_LINE</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答は、prompt タイプのパラメータを表示します。

このレベルでは、このパラメータに回答する必要はありません。

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP5">
    <id>1</id>
    <technicalName>pmEnter value(s) for Service</technicalName>
    <name>Enter value(s) for Service</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="true">
          <id>UNIVERSELOV_DS2.DO27</id>
          <updated>2014-08-05T12:41:14.000+02:00</updated>
          <values>
            <value>Activities</value>

```

```

        <value>Bungalow</value>
        <value>Car Rent</value>
        <value>Excursion</value>
        <value>Fast Food</value>
        <value>Hotel Room</value>
        <value>Hotel Suite</value>
        <value>Poolside Bar</value>
        <value>Restaurant</value>
        <value>Sports</value>
        <value>Travel Reservation</value>
    </values>
    <columns mappingId="0">
        <column id="0" type="String">Service</column>
    </columns>
</lov>
</info>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

GET /documents/8722/dataproviders/DP5/queryplan

応答:

```

<queryplan custom="false" editable="true">
  <statement index="1">
    SELECT "CITY"."CITY", "SERVICE"."PRICE" FROM "CITY",
      "SERVICE", "INVOICE_LINE", "SALES", "CUSTOMER" WHERE
    ( "INVOICE_LINE"."SERVICE_ID"
      ="SERVICE"."SERVICE_ID" ) AND
    ( "SALES"."INV_ID"="INVOICE_LINE"."INV_ID" ) AND
      ( "CUSTOMER"."CUST_ID"="SALES"."CUST_ID" ) AND
    ( "CITY"."CITY_ID"="CUSTOMER"."CITY_ID" )
      AND "SERVICE"."SERVICE" IN @Prompt('Enter value(s) for
Service','A','Service¥Service',
Multi,Free,Not_Persistent,,User:0)
  </statement>
</queryplan>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.12 クエリプランの更新

用途

指定されたデータプロバイダのクエリプランを更新します。

クエリプランはクエリを構成する SQL 文を表します。

要求

PUT/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/queryplan

要求本文: クエリプランの詳細。

```
<queryplan custom="false" editable="true">
```

→ 注意

クエリプランは `editable` 属性が `true` に設定されている場合にのみ更新できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

① 注記

`custom` 属性は、クエリプランが変更されると自動的に `true` に設定されます。

クエリプランの復元

`false` に設定された `custom` 属性を含む要求本文を渡すことにより、元のクエリプランに戻すことができます。

```
<queryplan custom="false">
```

例

PUT /documents/9178/dataproviders/DP3/queryplan

要求本文:

```
<queryplan>
  <union>
    <fullOuterJoin>
      <statement index="1">SELECT 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy'),
        count( distinct SALES.inv_id) FROM SALES GROUP BY 'FY' ||
        to_char(SALES.invoice_date,'yy')</statement>
      <statement index="2">SELECT 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy'),
        sum(INVOICE_LINE.nb_guests) FROM SALES, INVOICE_LINE,
SERVICE_LINE,
        SERVICE WHERE (SALES.INV_ID=INVOICE_LINE.INV_ID) AND
        (INVOICE_LINE.SERVICE_ID=SERVICE.SERVICE_ID) AND
        (SERVICE.SL_ID=SERVICE_LINE.SL_ID) AND
        (SERVICE_LINE.service_line ='Accommodation') GROUP BY 'FY' ||
```

```

        to_char(SALES.invoice_date,'yy')</statement>
</fullOuterJoin>
<fullOuterJoin>
    <statement index="3">SELECT 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy'),
        count( distinct SALES.inv_id) FROM SALES GROUP BY 'FY' ||
        to_char(SALES.invoice_date,'yy')</statement>
    <statement index="4">SELECT 'FY' || to_char(SALES.invoice_date,'yy'),
        sum(INVOICE_LINE.days * INVOICE_LINE.nb_guests * SERVICE.price)
        FROM SALES, INVOICE_LINE, SERVICE WHERE
        (SALES.INV_ID=INVOICE_LINE.INV_ID)
        AND (INVOICE_LINE.SERVICE_ID=SERVICE.SERVICE_ID) GROUP BY 'FY' ||
        to_char(SALES.invoice_date,'yy')</statement>
</fullOuterJoin>
</union>
</queryplan>

```

応答:

```

<success>
    <message>The resource of type "QueryPlan" has been successfully updated.</
message>
</success>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.6.13 クエリ仕様の取得

用途

指定したデータプロバイダに添付されているクエリ仕様を返します。

クエリ仕様は、パラメータおよびクエリの結果オブジェクトを示します。

Request

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/specification

応答

応答タイプ: text/xml

応答本文: クエリ仕様の詳細。例を参照してください。

例

GET /documents/7738/dataproviders/DP0/specification

```
<queryspec:QuerySpec ... xmlns:queryspec="http://com.sap.sl.queryspec"
dataProviderId="DP0">
  <queryParameters>
    <duplicatedRowsProperty activated="true" value="true"/>
    <maxRetrievalTimeInSecondsProperty value="300"/>
    <maxRowsRetrievedProperty value="90000"/>
    <removeEmptyRowsProperty activated="true" value="true"/>
    <allowOtherUserToEditQueryProperty activated="true" value="true"/>
    <resetContextOnRefreshProperty activated="true" value="true"/>
    <stripQueryProperty/>
  </queryParameters>
  <queriesTree xsi:type="queryspec:QueryOperatorNode"
queryOperator="Union">
    <children xsi:type="queryspec:QueryDataNode">
      <bOQuery name="Query"
identifier="_ly8aENsVEeGswMB7H6mlQw">
        <resultObjects identifier="DS0.D0bc" name="Year"/>
        <resultObjects identifier="DS0.D0da" name="State"/>
        <resultObjects identifier="DS0.D0a5" name="Lines"/>
        <resultObjects identifier="DS0.D093" name="Sales
revenue"/>
        <conditionPart/>
      </bOQuery>
    </children>
  </queriesTree>
  <propertyBag key="DUPLICATED_ROWS_UNDEFINED_VALUE" value="-1"/>
  <propertyBag key="RESET_CONTEXT_ON_REFRESH_UNDEFINED_VALUE" value="-1"/>
  <propertyBag key="ALLOW_THE_USER_TO_EDIT_QUERY_UNDEFINED_VALUE" value="-1"/>
</queryspec:QuerySpec>
```

① 注記

.unv ユニバースの場合、resultObjects 識別子はユニバースアウトラインから取得され、現在のデータプロバイダの dataSourcePrefix が先頭に付き、データプロバイダアウトラインから取得されたオブジェクト識別子によって構成されます。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

[データプロバイダの詳細の取得 \[558 ページ\]](#)

[ユニバースの詳細の取得 \(Web Intelligence\) \[697 ページ\]](#)

8.6.14 クエリ仕様の更新

用途

データプロバイダに添付されているクエリ仕様を更新します。

クエリ仕様は、パラメータおよびクエリの結果オブジェクトを示します。

Request

PUT /documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/specification

要求タイプ: text/xml

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/7738/dataproviders/DP0/specification

XML ファイルの要求本文:

```
<queryspec:QuerySpec xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:queryspec="http://com.sap.sl.queryspec"
  dataProviderId="DP0">
  <queryParameters>
    <duplicatedRowsProperty activated="true" value="true"/>
    <maxRetrievalTimeInSecondsProperty value="300"/>
    <maxRowsRetrievedProperty value="90000"/>
    <removeEmptyRowsProperty activated="true" value="true"/>
    <allowOtherUserToEditQueryProperty activated="true" value="true"/>
    <resetContextOnRefreshProperty activated="true" value="true"/>
    <stripQueryProperty/>
  </queryParameters>
  <queriesTree xsi:type="queryspec:QueryOperatorNode" queryOperator="Union">
    <children xsi:type="queryspec:QueryDataNode">
      <boQuery name="Query" identifier="_1y8aENsVEeGswMB7H6mlQw">
        <resultObjects identifier="DS0.D0bc" name="Year"/>
        <resultObjects identifier="DS0.D0da" name="State"/>
        <resultObjects identifier="DS0.D0a5" name="Lines"/>
        <resultObjects identifier="DS0.D093" name="Sales revenue"/>
        <conditionPart/>
      </boQuery>
    </children>
  </queriesTree>
  <propertyBag key="DUPLICATED_ROWS_UNDEFINED_VALUE" value="-1"/>
</queryspec:QuerySpec>
```

```
<propertyBag key="RESET_CONTEXT_ON_REFRESH_UNDEFINED_VALUE" value="-1"/>
<propertyBag key="ALLOW_THE_USER_TO_EDIT_QUERY_UNDEFINED_VALUE" value="-1"/>
</queryspec:QuerySpec>
```

① 注記

.unv ユニバースの場合、resultObjects 識別子はユニバースアウトラインから取得され、現在のデータプロバイダの dataSourcePrefix が先頭に付き、データプロバイダアウトラインから取得されたオブジェクト識別子によって構成されます。

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "DP0" has been
  successfully updated.</message>
  <id>DP0</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

[データプロバイダの詳細の取得 \[558 ページ\]](#)

[ユニバースの詳細の取得 \(Web Intelligence\) \[697 ページ\]](#)

8.6.15 オブジェクトの定義の取得

用法

式、変数、リンク、または参照セルを返します。

要求

GET /documents/<documentId>/dataobjects/<dataobjectId>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

GET /documents/1234/dataobjects/DP0.DO84

応答:

```
HTTP code: 200
<expression dataType="String" qualification="Dimension" customSort="Defined"
allowUserValues="true">
  <id>DP0.DO84</id>
  <name>Country</name>
  <description>/All Geographical/Country Object on Country Table, can be used
for multi Dps Test with a Links between Country Id Objects</description>
  <dataSourceObjectId>DS0.DO84</dataSourceObjectId>
  <formulaLanguageId>[Country]</formulaLanguageId>
  <dataProviderId>DP0</dataProviderId>
  <dataProviderName>Query 1</dataProviderName>
  <dataSourceId>6431</dataSourceId>
  <dataSourceName>Beach oracle(Beach_oracle)</dataSourceName>
</expression>
```

8.6.16 データオブジェクトの値の一覧の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのデータオブジェクトの値の一覧を返します。

データオブジェクトは、データプロバイダの式、変数、またはリンクされたディメンションです。

要求

GET/documents/<documentID>/dataobjects/<dataObjectID>/lov?
formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: XML

GET/documents/6071/dataobjects/DP0.DO84/lov

応答:

```
<lov mandatorySearch="false" searchable="false" refreshable="false"
partial="false" hierarchical="false">
  <values>
    <value>Germany</value>
    <value>Japan</value>
    <value>Madagascar</value>
    <value>Middle East</value>
    <value>Nepal</value>
    <value>South Africa</value>
    <value>US</value>
  </values>
  <columns mappingId="0">
    <column type="String" id="0">Country</column>
  </columns>
</lov>
```

例: JSON

GET/documents/5152/dataobjects/DP0.DO1fc/lov

応答:

```
{ "lov": {
  "@mandatorySearch": "false",
  "@searchable": "true",
  "@refreshable": "false",
  "@partial": "false",
  "@hierarchical": "false",
  "values": {
    "value": [
      "2 Pocket shirts",
      "Belts,bags,wallets",
      "Bermudas",
      "Boatwear",
      "Cardigan",
      "Casual dresses",
      "Day wear",
      "Dry wear",
      "Evening wear",
      "Fancy fabric",
      "Full length",
      "Hair accessories",
      "Hats,gloves,scarves",
      "Jackets",
      "Jeans",
      "Jewelry",
      "Long lounge pants",
      "Long sleeve",
      "Lounge wear",
      "Mini city",
      "Night wear",
      "Outdoor",
      "Pants",
      "Party pants",
```

```

        "Samples",
        "Shirts",
        "Short sleeve",
        "Skirts",
        "Soft fabric",
        "Sweater dresses",
        "Sweats",
        "T-Shirts",
        "Turtleneck",
        "Wet wear"
    ]
},
"columns":{
    "@mappingId":"0",
    "column":[{
        "@type":"String",
        "@id":"0",
        "$":"Category"}]
    }
}

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[入力コントロールの定義の取得 \[534 ページ\]](#)

8.6.17 特定のデータオブジェクト値の範囲内における値の一覧の取得

用途

階層内で、データオブジェクトの特定の値の範囲内における値の一覧を返します。

データオブジェクトは、データプロバイダの式、変数、またはリンクされたディメンションです。

要求

PUT/documents/<documentID>/dataobjects/<dataObjectID>/lov?
formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

要求本文: データオブジェクトの値の一覧の特定値。

△ 警告

要求本文に指定する値が正しいことを確認します。Web Service SDK では、値は確認されません。誤った値は無視されるか、ルート値によって置き換えられます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

PUT/documents/6070/dataobjects/DP0.DO9d/lov

要求本文:

```
<lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="false">
  <query>
    <path>
      <value id="[Customer].[Customer Geography].[State-Province]
State-Province].[NSW].[AU]" final="false">Queensland</value>
    </path>
  </query>
</lov>
```

応答:

```
<lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="false">
  <values>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Alexandria].[NSW]" final="false">Alexandria</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Coffs Harbour].[NSW]" final="false">Coffs Harbour</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Darlinghurst].[NSW]" final="false">Darlinghurst</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Goulburn].[NSW]" final="false">Goulburn</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Lane Cove].[NSW]" final="false">Lane Cove</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Lavender Bay].[NSW]" final="false">Lavender Bay</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Malabar].[NSW]" final="false">Malabar</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Matraville].[NSW]" final="false">Matraville</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Milsons Point].[NSW]" final="false">Milsons Point</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Newcastle].[NSW]" final="false">Newcastle</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[North Ryde].[NSW]" final="false">North Ryde</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[North Sydney].[NSW]" final="false">North Sydney</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Port Macquarie].[NSW]" final="false">Port Macquarie</value>
    <value id="[Customer].[Customer Geography].[City].[Rhodes].[NSW]" final="false">Rhodes</value>
```

```

        <value id="¥[Customer¥].¥[Customer Geography¥].¥[City¥].&¥
[Silverwater¥]&¥[NSW¥]" final="false">Silverwater</value>
        <value id="¥[Customer¥].¥[Customer Geography¥].¥[City¥].&¥[Springwood¥]&¥
[NSW¥]" final="false">Springwood</value>
        <value id="¥[Customer¥].¥[Customer Geography¥].¥[City¥].&¥[St.
Leonards¥]&¥[NSW¥]" final="false">St. Leonards</value>
        <value id="¥[Customer¥].¥[Customer Geography¥].¥[City¥].&¥[Sydney¥]&¥
[NSW¥]" final="false">Sydney</value>
        <value id="¥[Customer¥].¥[Customer Geography¥].¥[City¥].&¥[Wollongong¥]&¥
[NSW¥]" final="false">Wollongong</value>
    </values>
</lov>

```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.7 個人用データプロバイダの管理

データプロバイダは、Web Intelligence ドキュメントでクエリを作成するために使用されるデータソースです。

Microsoft Excel 2003 または Microsoft Excel 2007 スプレッドシートからドキュメントを作成することができます。これを行う場合は事前に、ファイルを CMS リポジトリにアップロードする必要があります。

データプロバイダの詳細については、[データプロバイダの管理 \[555 ページ\]](#)を参照してください。

[CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルのアップロード \[601 ページ\]](#)

[Microsoft Excel ファイルの一覧の取得 \[603 ページ\]](#)

[Microsoft Excel ファイルの詳細の取得 \[605 ページ\]](#)

[CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルの更新 \[606 ページ\]](#)

[Microsoft Excel ファイルの削除 \[608 ページ\]](#)

8.7.1 CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルのアップロード

用途

Microsoft Excel ファイルを CMS リポジトリにアップロードして保存します。

要求

POST /spreadsheets

要求タイプ: multipart/form-data

要求本文は、以下のパートから構成されるマルチパートの本文です。

- ファイルの詳細は XML または JSON です。name と folderId 要素のみが必須です。description はオプションです。他のスプレッドシートの要素は無視されます。
- ファイル自体はバイナリストリームです。Content-Type は Microsoft Excel 2003 用の application/vnd.ms-excel または Microsoft Excel 2007 用の application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet のいずれかです。

① 注記

要求本文に必要な空白行が含まれていることを確認します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

Microsoft Excel 2007 ファイル用の XML 要求本文:

```
--10f3211b-66e8-4b14-93ec-b11ec5c19a43-41d3c84c-d157-4377-aba9-41353b9a4dfe
Content-Disposition: form-data; name="attachmentInfos"
Content-Type: application/xml
    // mandatory carriage return
<spreadsheet>
  <name>myfile.xlsx</name>
  <folderId>6206</folderId>
</spreadsheet>
    // mandatory carriage return
--10f3211b-66e8-4b14-93ec-b11ec5c19a43-41d3c84c-d157-4377-aba9-41353b9a4dfe
Content-Disposition: form-data; name="attachmentContent"
Content-Type: application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet
    // mandatory empty line
... Excel 2007 document as a binary stream...
    // mandatory carriage return
--10f3211b-66e8-4b14-93ec-b11ec5c19a43-41d3c84c-d157-4377-aba9-41353b9a4dfe--
```

XML 応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Spreadsheet" with identifier "7466" has been
  successfully created.</message>
  <id>7466</id>
</success>
```

Microsoft Excel 2003 ファイル用の JSON 要求本文:

```
--10f3211b-66e8-4b14-93ec-b11ec5c19a43-41d3c84c-d157-4377-aba9-41353b9a4dfe
Content-Disposition: form-data; name="attachmentInfos"
Content-Type: application/json
    // mandatory carriage return
{"spreadsheet":{"name":"myfile.xls","folderId":6206}}
    // mandatory carriage return
--10f3211b-66e8-4b14-93ec-b11ec5c19a43-41d3c84c-d157-4377-aba9-41353b9a4dfe
Content-Disposition: form-data; name="attachmentContent"
Content-Type: application/vnd.ms-excel
    // mandatory empty line
... Excel 2007 document as a binary stream...
    // mandatory carriage return
--10f3211b-66e8-4b14-93ec-b11ec5c19a43-41d3c84c-d157-4377-aba9-41353b9a4dfe--
```

JSON 応答:

```
{ "success":
  { "message": "The resource of type ¥"Spreadsheet¥" with identifier ¥"7492¥"
    has been successfully created.",
    "id": 7492
  }
}
```

8.7.2 Microsoft Excel ファイルの一覧の取得

用途

CMS リポジトリに保存されている Microsoft Excel ファイルを返します。

要求

GET/spreadsheets?offset=<offset>&limit=<limit>

この場合、

- <offset> は、一覧でのドキュメントを返す位置を示します。これは 0 以上にする必要があります。デフォルト値は 0 です。このパラメータは省略できます。
- <limit> は、一覧内のドキュメントの数を示します。この範囲は 0 ~ 50 です。デフォルト値は 10 です。このパラメータは省略できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ファイルの一覧。各 <spreadsheet> 要素には次の子があります。

- <id>: CMS リポジトリのファイルの識別子
- <cuid>: CMS リポジトリのファイルの CUID
- <name>: ファイルの名前
- <description>: ファイルの説明
- <folderId>: ファイルが含まれる CMS リポジトリのフォルダの識別子

例

XML 応答:

```
<spreadsheets>
  <spreadsheet>
    <id>6535</id>
    <cuid>FljHNFCAVAMAzgUAAFD5eRsAAFBWoELQ</cuid>
    <name>MySheet</name>
    <description>one of my spreadsheets</description>
    <folderId>6532</folderId>
  </spreadsheet>
  <spreadsheet>
    <id>6641</id>
    <cuid>AbbqtvKKLoBFjhvhSqb5S7w</cuid>
    <name>MySheet2</name>
    <folderId>6206</folderId>
  </spreadsheet>
  <spreadsheet>
    <id>6541</id>
    <cuid>FjdAO1D.igIAzgUAAFCJCBoAAFBWoELQ</cuid>
    <name>MySheet3</name>
    <description>one of my spreadsheets</description>
    <folderId>6539</folderId>
  </spreadsheet>
</spreadsheets>
```

JSON 応答:

```
{ "spreadsheets":
  { "spreadsheet":
    [ { "id": 6535,
        "cuid": "FljHNFCAVAMAzgUAAFD5eRsAAFBWoELQ",
        "name": "MySheet",
        "description": "one of my spreadsheets",
        "folderId": 6532 },
      { "id": 6641, "cuid": "AbbqtvKKLoBFjhvhSqb5S7w",
        "name": "MySheet2",
        "folderId": 6206 },
      { "id": 6541,
        "cuid": "FjdAO1D.igIAzgUAAFCJCBoAAFBWoELQ",
        "name": "MySheet3",
        "description": "one of my spreadsheets",
        "folderId": 6539 } ]
    }
}
```


8.7.3 Microsoft Excel ファイルの詳細の取得

用途

CMS リポジトリに保存されている Microsoft Excel ファイルの詳細を返します。

要求

GET/spreadsheets/<spreadsheetID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の情報を含む、ファイルの詳細:

- <id>: ファイル識別子
- <cuid>: ファイルの CUID
- <name>: ファイルの名前
- <folderId>: ファイルが含まれる CMS リポジトリのフォルダの識別子
- <path>: CMS リポジトリディレクトリ内のファイルへのパス
- <updated>: 最終更新日付
- <createdBy>: スプレッドシート作成者の名前
- <file>: 拡張子付きファイル名
- <size>: ファイルのサイズ (バイト)
- <mimeType>: MIME タイプ (Microsoft Excel 2003 用の application/vnd.ms-excel または Microsoft Excel 2007 用の application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet)
- <sheet>: ファイルに含まれるシートの名前
- <range>: ファイルの名前付きセル範囲の名前

例

XML 応答:

```
<spreadsheet>
  <id>7168</id>
  <cuid>AQJqfTLbR5RNoYhzV9DnCMA</cuid>
  <name>myfile</name>
  <folderId>6206</folderId>
  <path>Public Folders/Documents/</path>
  <updated>2014-07-17T14:27:44.367+02:00</updated>
  <createdBy>Administrator</createdBy>
```

```

<file>myfile.xlsx</file>
<size>22444</size>
<mimeType>application/vnd.ms-excel</mimeType>
<sheets>
  <sheet>sheet1</sheet>
  <sheet>sheet2</sheet>
  <sheet>sheet3</sheet>
  <sheet>sheet4</sheet>
</sheets>
<namedRanges>
  <range>items</range>
  <range>region</range>
  <range>region_item_units_cost</range>
  <range>sum_cost</range>
  <range>sum_units</range>
</namedRanges>
</spreadsheet>

```

JSON 応答:

```

{ "spreadsheet":
  { "id": 7168,
    "cuid": "AQJqfTLbR5RNoYhzV9DnCMA",
    "name": "myfile",
    "folderId": 6206,
    "path": "Public Folders¥/Documents¥/",
    "updated": "2014-07-17T10:34:19.763+02:00",
    "createdBy": "Administrator",
    "file": "myfile.xlsx",
    "size": 22444,
    "mimeType": "application¥/vnd.ms-excel",
    "sheets":
      [ { "sheet": "sheet1" },
        { "sheet": "sheet2" },
        { "sheet": "sheet3" },
        { "sheet": "sheet4" } ],
    "namedRanges":
      [ { "range": "items" },
        { "range": "region" },
        { "range": "region_item_units_cost" },
        { "range": "sum_costs" },
        { "range": "sum_units" } ]
  }
}

```

関連情報

[Microsoft Excel ファイルの一覧の取得 \[603 ページ\]](#)

8.7.4 CMS リポジトリに対する Microsoft Excel ファイルの更新

用途

CMS リポジトリに格納されている Microsoft Excel ファイルを別の内容で再アップロードします。

→ 注意

現在のファイルとアップロードするファイルのファイル構造が同じである必要があります (列番号、名前、および順序)。

要求

PUT/spreadsheets/<spreadsheetID>

要求タイプ:

- Microsoft Excel 2003 の場合は application/vnd.ms-excel
- Microsoft Excel 2007 の場合は application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet

要求本文には、バイナリストリームとして Microsoft Excel ファイルのみが含まれます。添付ファイルとして再度ファイルの詳細を送信する必要はありません。

① 注記

要求本文に必要な空白行が含まれていることを確認します。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

Microsoft Excel 2007 ファイル用の XML 要求本文:

```
... Excel 2007 document as a binary stream...
```

XML 応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Spreadsheet" with identifier "7466" has been
successfully updated.</message>
  <id>7466</id>
</success>
```

8.7.5 Microsoft Excel ファイルの削除

用途

CMS リポジトリに保存されている Microsoft Excel ファイルを削除します。

要求

DELETE /spreadsheets /<spreadsheetID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /spreadsheets/8995

```
<success>
  <message>The resource of type "Spreadsheet" with identifier "8995" has been
  successfully removed.</message>
  <id>8995</id>
</success>
```

関連情報

[Microsoft Excel ファイルの一覧の取得 \[603 ページ\]](#)

8.8 SAP BW 接続および BEx クエリの管理

SAP BW 接続と BEx クエリのタスクを実行するための API が提供されています。

[SAP BW 接続の一覧の取得 \[609 ページ\]](#)

[SAP BW 接続の詳細の取得 \[610 ページ\]](#)

[SAP BW 接続の詳細の参照 \[611 ページ\]](#)

[BEx クエリのアウトラインの取得 \[614 ページ\]](#)

[BEx クエリの機能の取得 \[615 ページ\]](#)

8.8.1 SAP BW 接続の一覧の取得

用途

使用可能な SAP BW 接続の一覧を返します。表示する権限がある接続のみ、表示できます。

要求

GET/bwconnections?offset=<offset>&limit=<limit>

この場合、:

- <offset> は一覧の先頭からのオフセットです。デフォルト値は 0 です。
- <limit> は、返される接続の最大数です。デフォルト値は 10 です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 表示/アクセスする権限がある BW 接続の一覧。

例

```
<bwconnections>
  <bwconnection type="Cube">
    <id>7052</id>
    <cuid>AdDDU67.DyxBkOgpzjDJn30</cuid>
    <name>Adventure Works MSAS2005</name>
    <folderId>7131</folderId>
  </bwconnection>
  <bwconnection type="Cube">
    <id>11540</id>
    <cuid>AbUAJD7zVpZFgy2jQQNMyI8</cuid>
    <name>AdventureWorks</name>
    <folderId>11484</folderId>
  </bwconnection>
  <bwconnection type="Cube">
    <id>11537</id>
    <cuid>AROnvrBXnltOpsXj_jPPtYo</cuid>
    <name>ADW</name>
    <folderId>11484</folderId>
  </bwconnection>
</bwconnections>
```

```

...
<bwconnection type="Query">
  <id>7268</id>
  <cuid>AUeWmURZfzVKjnpwfTWVxvM</cuid>
  <name>BICS_Query</name>
  <folderId>4066</folderId>
</bwconnection>
<bwconnection type="System">
  <id>7039</id>
  <cuid>AY2UQVyb3WRLioC8GBg5Vi0</cuid>
  <name>BICS_Server</name>
  <folderId>4066</folderId>
</bwconnection>
</bwconnections>

```

8.8.2 SAP BW 接続の詳細の取得

用途

SAP BW 接続の詳細を返します。

要求

GET/bwconnections/<bwConnectionID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: アクセスする権限がある SAP BW 接続の詳細。

<path> は、CMS リポジトリの接続パスです。

例: タイプがクエリである SAP BW 接続

GET /bwconnections/11489

```

<bwconnection type="Query">
  <id>11489</id>
  <cuid>AXRu2fNiQphAtF4O4lJ4OKg</cuid>
  <name>bex_simple</name>
  <folderId>11484</folderId>
  <path>Application Folder/Root Folder/Connections/</path>
  <bwnodes>
    <bwnode type="Query">
      <id>11489</id>

```

```

    <name>A simple Bex Query</name>
    <technicalName>QRY_SIMPLE</technicalName>
    <path>/QRY_SIMPLE</path>
  </bwnode>
</bwnodes>
</bwconnection>

```

例: タイプがシステムまたはキューブである不完全な **SAP BW** 接続

GET /bwconnections/11990

```

<bwconnection type="System">
  <id>11990</id>
  <cuid>Aaj0N_I.bSJElyDKk08sxTU</cuid>
  <name>raylight_BOF</name>
  <folderId>11484</folderId>
  <path>Application Folder/Root Folder/Connections/</path>
  <bwnodes>
    <bwnode type="Favorites">
      <name>Favorites</name>
      <technicalName>SystemFavoritesTopLevel</technicalName>
      <path>/SystemFavoritesTopLevel</path>
    </bwnode>
    <bwnode type="InfoArea">
      <name>InfoArea</name>
      <technicalName>SystemInfoareaTopLevel</technicalName>
      <path>/SystemInfoareaTopLevel</path>
    </bwnode>
  </bwnodes>
</bwconnection>

```

① 注記

システムまたはキューブでタイプがクエリである BW ノードを探すことによって、接続を完全にします。

関連情報

[SAP BW 接続の一覧の取得 \[609 ページ\]](#)

8.8.3 SAP BW 接続の詳細の参照

用途

不完全な SAP BW 接続の詳細を参照し、接続を完全にする BEx クエリを選択できます。

"パスを指定する" 参照メソッドと、"検索パターンを指定する" 参照メソッドを使用できます。

① 注記

MDX に準拠する BEx クエリのみが Web Intelligence ワークフローで使用できます。

要求

PUT /bwconnections/<bwConnectionID>

要求本文 (オプション):

- パスを指定する場合:

```
<bwnode>
  <path>[path/to/the/required/node]</path>
</bwnode>
```

- 検索パターンを指定する場合:

```
<bwnode>
  <pattern>[pattern to be used for the search]</pattern>
</bwnode>
```

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: アクセスする権限がある BW 接続の一覧。

① 注記

BEx クエリ ID は、セミコロン (;) によって区切られる、BW 接続の ID と BEx クエリの技術名称の連結によって定義されます。

例: 1: パスを使用して参照し、BW 接続内で BEx クエリのリストを取得する

PUT /bwconnections/11990

XML ファイルの要求本文:

```
<bwnode>
  <path>/SystemInfoareaTopLevel/BUSINESSOBJECTS_QA/Z_BOBJ/TEST_DATE</path>
</bwnode>
```

応答:

```
<bwconnection type="System">
  <id>11990</id>
  <cuid>Aaj0N_I.bSJelyDKk08sxTU</cuid>
  <name>raylight_BOF</name>
  <folderId>11484</folderId>
  <bwnodes>
    <bwnode type="Query">
      <id>11990;TEST_DATE</id>
      <name>test_data</name>
      <technicalName>TEST_DATE</technicalName>
      <mdxCompliant>true</mdxCompliant>
    </bwnode>
  </bwnodes>
</bwconnection>
```



```

    <path>/SystemInfoareaTopLevel/BUSINESSOBJECTS_QA/Z_BOBJ/TEST_DATE</
path>
    </bwnode>
  </bwnodes>
</bwconnection>

```

例: パターンに一致する **BW** 接続内で **BEx** クエリのリストを取得する

PUT /bwconnections/11990

XML ファイルの要求本文:

```

<bwnode>
  <pattern>*BOBJ*</pattern>
</bwnode>

```

応答:

```

<bwconnection type="System">
  <id>11990</id>
  <cuid>Aaj0N_I.bsJElYDKk08sxTU</cuid>
  <name>raylight_BOJ</name>
  <folderId>11484</folderId>
  <bwnodes>
    <bwnode type="Query">
      <id>11990;Z_BOBJ;BOBJ_TEST_ROLE</id>
      <name>BOBJ_TEST_ROLE</name>
      <technicalName>BOBJ_TEST_ROLE</technicalName>
      <mdxCompliant>false</mdxCompliant>
    </bwnode>
    <bwnode type="Query">
      <id>11990;Z_BOBJ;IE_ZBOBJ_COUNTRYVAR</id>
      <name>IE_ZBOBJ_COUNTRYVAR</name>
      <technicalName>IE_ZBOBJ_COUNTRYVAR</technicalName>
      <mdxCompliant>true</mdxCompliant>
    </bwnode>
    <bwnode type="Query">
      <id>11990;T_BOBJ;ZCR_BOBJ_ALLF_MHIER_FCHAR_1</id>
      <name>ZCR BOBJ all_fields mult_hier free_chars</name>
      <technicalName>ZCR_BOBJ_ALLF_MHIER_FCHAR_1</technicalName>
      <mdxCompliant>false</mdxCompliant>
    </bwnode>
    <bwnode type="Query">
      <id>11990;Z_BOBJ;Z_BOBJ_HB_SIMPLE</id>
      <name>Z_BOBJ_HB_simple</name>
      <technicalName>Z_BOBJ_HB_SIMPLE</technicalName>
      <mdxCompliant>true</mdxCompliant>
    </bwnode>
  </bwnodes>
</bwconnection>

```

8.8.4 BEx クエリのアウトラインの取得

用途

BEx クエリの詳細を返します。

Request

PUT/bwconnections/<bwConnectionID>/outline

要求本文 (オプション):

```
<bwnode>
  <id>
```

説明:

- <id> は BEx クエリ ID です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 表示/アクセスする権限がある BEx クエリのアウトライン。

例

PUT /bwconnections/11990/outline

XML ファイルの要求本文:

```
<bwnode>
  <id>11990;ROLE_ST_BEX5</id>
</bwnode>
```

応答:

```
<outline>
  <item type="Dimension">
    <name>Country</name>
    <description>Country</description>
  <item type="Hierarchy">
    <name>Country</name>
    <description>Country</description>
    <id>HZ_COUNTRY</id>
  </item>
  <item type="Hierarchy">
    <name>Country Hierarchy 01</name>
```

```

    <description>Country Hierarchy 01</description>
    <item type="Level">
      <name>Level 01</name>
      <description>Level 01</description>
      <id>LCOUNTRY_HIERARCHY_01|Z_COUNTRY.#1</id>
    </item>
    <item type="Level">
      <name>Level 02</name>
      <description>Level 02</description>
      <id>LCOUNTRY_HIERARCHY_01|Z_COUNTRY.#2</id>
    </item>
    <item type="Level">
      <name>Level 03</name>
      <description>Level 03</description>
      <id>LCOUNTRY_HIERARCHY_01|Z_COUNTRY.#3</id>
    </item>
    <id>HCOUNTRY_HIERARCHY_01|Z_COUNTRY</id>
  </item>
  . . .
  <item type="Measure">
    <name>Voyager Training 01 - Restricted KF</name>
    <description>Voyager Training 01 - Restricted KF</description>
    <item type="Attribute">
      <name>Voyager Training 01 - Restricted KF Currency</name>
      <id>MD4NUM119ATNWC7USQ4XYS0QY.Currency</id>
    </item>
    <item type="Attribute">
      <name>Voyager Training 01 - Restricted KF Formatted Value</name>
      <id>MD4NUM119ATNWC7USQ4XYS0QY.FormattedValue</id>
    </item>
    <id>MD4NUM119ATNWC7USQ4XYS0QY</id>
  </item>
</outline>

```

関連情報

[SAP BW 接続の一覧の取得 \[609 ページ\]](#)

8.8.5 BEx クエリの機能の取得

用途

BEx クエリの機能を返します。

Request

PUT/bwconnections/<bwConnectionID>/capabilities

要求本文 (オプション):

```
<bwnode>
```

<id>

説明:

- <id> は BEx クエリ ID です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 表示/アクセスする権限がある BEx クエリの機能。

例

PUT /bwconnections/11990/capabilities

XML ファイルの要求本文:

```
<bwnode>
  <id>11990;Z_BOBJ;ROLE_ST_BEX5</id>
</bwnode>
```

応答:

```
<datasource:QueryCapability xmlns:datasource="http://com.sap.sl.datasource">
  <generalCapability customQueryScriptSupported="false"
showHideScopeSupported="false" />
  <dataProcessingCapability removeEmptyRowsAvailable="true"
maxRetrievalTimeAvailable="false"
  queryStrippingAvailable="true" />
  <filterCapability resultHierarchyInFilterSupported="false"
constantComparisonSupported="true"
  hierarchyConstantOperandSupported="true">
    <supportedComparisonOperators>equal</supportedComparisonOperators>
    <supportedComparisonOperators>notEqual</supportedComparisonOperators>
    ...
    <supportedValueBasedHierarchyComparisonOperators>equal</
supportedValueBasedHierarchyComparisonOperators>
    <supportedValueBasedHierarchyComparisonOperators>inList</
supportedValueBasedHierarchyComparisonOperators>
    <supportedLevelBasedHierarchyComparisonOperators>equal</
supportedLevelBasedHierarchyComparisonOperators>
    <supportedLevelBasedHierarchyComparisonOperators>inList</
supportedLevelBasedHierarchyComparisonOperators>
    <supportedLogicalOperators>and</supportedLogicalOperators>
    <supportedObjects>attribute</supportedObjects>
    <supportedObjects>dimension</supportedObjects>
    <supportedObjects>hierarchy</supportedObjects>
    <supportedObjects>level</supportedObjects>
  </filterCapability>
  <resultObjectCapability useAttributeSeparatelyAvailable="true"
buildLogicalSetWithMetadataFunctionsAvailable="true"
  buildLogicalSetWithMemberFunctionsAvailable="true"
memberSelectionPromptSupported="true"
  supportsMemberSelectionCompletion="true" />
</datasource:QueryCapability>
```

関連情報

[SAP BW 接続の一覧の取得 \[609 ページ\]](#)

8.9 直接入力 of SQL データプロバイダ接続の管理

データプロバイダは、Web Intelligence ドキュメントでクエリを作成するために使用されるデータソースです。

ユニバースを使用することなく、セキュリティ保護されたリレーショナルデータベース接続上で SQL スクリプトから直接ドキュメントを作成できます。この機能により、高度なデータベース関数を使用するリッチで複雑な SQL クエリをサポートできます。

データプロバイダの詳細については、[データプロバイダの管理 \[555 ページ\]](#)を参照してください。

[接続の一覧の取得 \[617 ページ\]](#)

[接続の詳細の取得 \[619 ページ\]](#)

8.9.1 接続の一覧の取得

用途

エンドユーザがアクセス権を持つ CMS リポジトリに保存されている接続の一覧を返します。

要求

GET/connections?type=<type>&offset=<offset>&limit=<limit>

この場合、

- <type> は取得される接続の種類を示します。値は、Relational、FlattenedOlap、Olap または DataFederation です。このパラメータは省略できます。指定されていない場合は、すべての種類の接続が取得されます。
- <offset> は、接続が返される一覧での位置を示します。これは 0 以上にする必要があります。デフォルト値は 0 です。このパラメータは省略できます。
- <limit> は、1 ページに表示できる接続の数を示します。この範囲は 1 ～ 50 です。このパラメータは省略できます。デフォルト値は 10 です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例: パラメータなし要求

GET /connections

XML 応答:

```
<connections>
  <connection type="Olap">
    <id>6100</id>
    <cuid>AbpsL1MVilFPoM.RfGB02m0</cuid>
    <name>AAQUEY_HIERNODE_01</name>
    <folderId>6069</folderId>
  </connection>
  <connection type="Relational">
    <id>5993</id>
    <cuid>AbL85pdeN7NOqNjd1j0bt1A</cuid>
    <name>BOF_ERP_en_UK_Save_Lang_IDT</name>
    <folderId>5971</folderId>
  </connection>
  <connection type="FlattenedOlap">
    <id>6118</id>
    <cuid>ARgmu_R0AQhDvJFmrHnP5F0</cuid>
    <name>BW_VAR_FORMULA</name>
    <folderId>6069</folderId>
  </connection>
  <connection type="DataFederator">
    <id>6196</id>
    <cuid>AYATF1eY_8Rpt0LWH4Vcfug</cuid>
    <name>DF data source BW</name>
    <folderId>548</folderId>
  </connection>
  ...
</connections>
```

例: パラメータあり要求

GET /connections?limit=3&offset=2&type=FlattenedOlap

JSON 応答:

```
{ "connections":
  { "connection":
    [ { "@type": "FlattenedOlap",
      "id": 6117,
      "cuid": "AZHZ1bdSX85LmE3U7dsC120",
      "name": "BW_VAR_KD_DEFVAL",
      "folderId": 6069 },
      { "@type": "FlattenedOlap",
        "id": 6112,
        "cuid": "Adr6Epit67FPu_0JebFfgqY",
        "name": "BW_VAR_RANGE",
        "folderId": 6069 },
        { "@type": "FlattenedOlap",
          "id": 6110,
          "cuid": "AQ5UAwvV1ptJhuNBzYmdXTw",
          "name": "BW_VAR_TEXT",
          "folderId": 6069 }
    ]
  }
}
```

8.9.2 接続の詳細の取得

用途

CMS リポジトリに保存されている接続の詳細を返します。

要求

GET /connections/<connectionID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例

GET /connections/6224

XML 応答:

```
<connection type="Relational">
  <id>6224</id>
  <cuid>AZKgD3.WRiJAhYfy7vjCZ_A</cuid>
  <name>beach</name>
  <folderId>6069</folderId>
  <path>Connections/MyConnections</path>
  <updated>2014-08-06T14:11:02.000+02:00</updated>
  <createdBy>Administrator</createdBy>
  <database>Oracle 10</database>
  <networkLayer>Oracle OCI</networkLayer>
</connection>
```

JSON 応答:

```
{ "connection":
  { "@type": "Relational",
    "id": 6224,
    "cuid": "AZKgD3.WRiJAhYfy7vjCZ_A",
    "name": "beach",
    "folderId": 6069,
    "path": "Connections/MyConnections",
    "updated": "2014-08-06T14:11:02.000+02:00",
    "createdBy": "Administrator",
    "database": "Oracle 10",
    "networkLayer": "Oracle OCI"
  }
}
```

関連情報

[接続の一覧の取得 \[617 ページ\]](#)

8.10 ドキュメントの最新表示

Web Intelligence ドキュメントで実行できる最新表示操作は以下のとおりです。

- コンテキストおよびプロンプトなしでのドキュメントの最新表示
- ドキュメントのコンテキストおよびプロンプトの識別
- コンテキストおよびプロンプトへの値の入力

以下のプロンプトがサポートされています。

- 文字列、数値、または日付のいずれかの値を受け入れるプロンプト
- 1つの値または複数の値を受け入れるプロンプト
- オプションおよびオプションでないプロンプト

[ドキュメントの最新表示パラメータの取得 \[620 ページ\]](#)

[ドキュメントの最新表示 \[627 ページ\]](#)

[ドキュメントの最新表示のキャンセル \[648 ページ\]](#)

[パラメータの詳細の取得 \[649 ページ\]](#)

[バリエーションの使用 \[654 ページ\]](#)

8.10.1 ドキュメントの最新表示パラメータの取得

用途

ドキュメント最新表示の実行前に、入力されるパラメータを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/parameters?<optional_parameters>

説明:

オプションパラメータ

パラメータ	説明
formattedValues	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。
lovInfo	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は true です。false に設定されている場合、値の一覧は計算されず、表示されません。
summary	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は false です。true に設定すると、前の値の概要が返されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 応答は、予期される回答、前回の値があればその値、ない場合はデフォルト値をパラメータに提供します。[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)を参照してください。

例: パラメータなし

応答:

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<parameters/>
```

例: コンテキスト

タイプ context のパラメータにより、2 つの考えられるコンテキスト値が提供されます。

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="context" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>0</technicalName>
    <name>Select a context</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="false"/>
        <values>
          <value id="2">Reservations</value> <!-- possible values
-->
          <value id="1">Sales</value>
        </values>
      </lov>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

```

        <previous>
            <value id="2">Reservations</value> <!-- previous value -->
        </previous>
    </info>
    <values>
        <value id="2">Reservations</value> <!-- previous value -->
    </values>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

例: 日時プロンプト

タイプ prompt のパラメータは、1つの回答の値 (カーディナリティ Single) のみを受け入れます。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP01">
    <id>0</id>
    <name>Enter Open Date:</name>
    <answer constrained="false" type="DateTime">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
        <previous>
          <value>1992-09-03T17:15:00.000+02:00</value> <!-- previous
value -->
        </previous>
      </info>
      <values>
        <value>1992-09-03T17:15:00.000+02:00</value> <!-- previous value
-->
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

例: 複数の値を受け取るプロンプト

タイプ prompt のパラメータは、複数の回答の値 (カーディナリティ Multiple) を受け入れます。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Enter values for Customer:</technicalName>
    <name>Enter values for Customer:</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Multiple" keepLastValues="true">
        <lov hierarchical="false" partial="true" refreshable="true"
searchable="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DOd</id>
          <intervals>
            <interval id="0">
              <value>Arai</value>
              <value>Okumura</value>
            </interval>

```

```

        <interval id="1">
            <value>Oneda</value>
            <value>Wilson</value>
        </interval>
    </intervals>
    <values>
        <value>Arai</value>  <!-- possible values -->
        <value>Baker</value>
        <value>Brendt</value>
        . . .
        <value>Okumura</value>
    </values>
    <columns mappingId="0">
        <column id="0" type="String">Customer </column>
    </columns>
</lov>
<previous>
    <value>Arai</value>  <!-- previous values -->
    <value>Baker</value>
    <value>Brendt</value>
    <value>Diemers</value>
    <value>Dupont</value>
    <value>Durnstein</value>
    <value>Edwards</value>
</previous>
</info>
<values>
    <value>Arai</value>  <!-- previous values -->
    <value>Baker</value>
    <value>Brendt</value>
    <value>Diemers</value>
    <value>Dupont</value>
    <value>Durnstein</value>
    <value>Edwards</value>
</values>
</answer>
</parameter>
. . .
</parameters>

```

① 注記

間隔が1つのみの場合、<intervals/> は値の一覧の詳細に含まれません。

例: 複数の列を受け取るプロンプト

タイプ prompt のパラメータは、3 列から構成される値の一覧から 1 つの回答の値 (カーディナリティ Single) を受け入れます。1 つ目 (mappingId="0") は参照として使用されます。

応答:

```

<parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP15">
    <id>6</id>
    <technicalName>Enter values for Customer:</technicalName>
    <name>Enter values for Customer:</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
        <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
            <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="true">
                <id>UNIVERSELOV_DS2.DOea</id>
            </intervals>

```

```

        <interval id="0">
          <cvalue>
            <column id="0">William</column>
            <column id="1">64</column>
            <column id="2">1995-12-19T02:00:00.000+01:00</column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">Silke</column>
            <column id="1">63</column>
            <column id="2">1994-03-25T02:00:00.000+01:00</column>
          </cvalue>
        </interval>
        <interval id="1">
          . . .
        </interval>
      </intervals>
      <cvalues>
        <cvalue>
          <column id="0">Werner</column>
          <column id="1">42</column>
          <column id="2">1995-06-08T08:28:00.000+02:00</column>
        </cvalue>
        . . .
        <cvalue>
          <column id="0">Tony</column>
          <column id="1">55</column>
          <column id="2">1995-07-05T04:00:00.000+02:00</column>
        </cvalue>
      </cvalues>
      <columns mappingId="0">
        <column id="0" type="String">Customer</column>
        <column id="1" type="Numeric">Age</column>
        <column id="2" type="DateTime">Invoice Date</column>
      </columns>
    </lov>
    <previous>
      <value>Andre</value>
    </previous>
  </info>
  <values>
    <value>Andre</value>
  </values>
</answer>
</parameter>

```

例: プロンプト (書式設定値)

GET /documents/6874/parameters?formattedValues=true

X-SAP-PVL: fr_FR

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Enter value(s) for Coll</technicalName>
    <name>Enter value(s) for Coll</name>
    <answer constrained="false" type="Date">
      <info cardinality="Multiple" keepLastValues="true">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="true" mandatorySearch="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.D01</id>

```

```

        <updated>2016-01-15T09:41:46.000+01:00</updated>
        <values>
          <value>11/11/1939 00:00:00</value>
          <value>05/08/1945 00:00:00</value>
          <value>09/04/1955 00:00:00</value>
          <value>10/04/1965 00:00:00</value>
          <value>12/05/1968 00:00:00</value>
          <value>28/02/1974 00:00:00</value>
          <value>01/05/1975 00:00:00</value>
          <value>02/02/1980 00:00:00</value>
          <value>30/09/1999 00:00:00</value>
          <value>15/08/2002 00:00:00</value>
        </values>
        <columns mappingId="0">
          <column id="0" type="DateTime">Coll</column>
        </columns>
      </lov>
      <previous>
        <value>10/04/1965 00:00:00</value>
        <value>28/02/1974 00:00:00</value>
      </previous>
    </info>
    <values>
      <value>10/04/1965 00:00:00</value>
      <value>28/02/1974 00:00:00</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

例: 前の値の概要を取得する (4.2 SP04 以降)

GET /documents/26647/parameters?summary=true

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Year (with default)</technicalName>
    <name>Year (with default)</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="false">
        <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DObc</id>
        </lov>
        <values>
          <value>2004</value>
        </values>
      </info>
      <values>
        <value>2004</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>1</id>
    <technicalName>Quarter (with previous)</technicalName>
    <name>Quarter (with previous)</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="true">

```

```

        <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
        <id>UNIVERSELOV_DS0.DOba</id>
        </lov>
        <previous>
        <value>Q3</value>
        </previous>
    </info>
    <values>
        <value>Q3</value>
    </values>
</answer>
</parameter>
<parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>2</id>
    <technicalName>Month (with previous + default)</technicalName>
    <name>Month (with previous + default)</name>
    <answer constrained="true" type="Numeric">
        <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
            <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
            <id>UNIVERSELOV_DS0.DOb9</id>
            </lov>
            <values>
                <value>7</value>
            </values>
            <previous>
                <value>10</value>
            </previous>
        </info>
        <values>
            <value>10</value>
        </values>
    </answer>
</parameter>
<parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>3</id>
    <technicalName>Week</technicalName>
    <name>Week</name>
    <answer constrained="false" type="Numeric">
        <info cardinality="Single" keepLastValues="false">
            <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
            <id>UNIVERSELOV_DS0.DO104</id>
            </lov>
        </info>
    </answer>
</parameter>
</parameters>

```

① 注記

オプションの URL パラメータ `<lovInfo>` が自動的に `false` に設定されます。

① 注記

プロンプトが返されないため、`<sapVariables>` は設定されません。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.10.2 ドキュメントの最新表示

用途

必要に応じて最新表示パラメータに入力し、クエリを実行して、Web Intelligence ドキュメントを最新表示します。

パラメータなし (要求本文なし) で最新表示を求めることができます。この場合、Web サービスは、入力が必要なコンテキストまたはプロンプトを返します。パラメータの入力がない場合、ドキュメントは最新表示されます。

要求

PUT/documents/<documentID>/parameters?<optional_parameters>

説明:

オプションパラメータ

パラメータ	説明
datapviderScope	<div><div>① 注記</div><div>4.2 SP04 以降の新機能</div></div> <p>オプション、String (values="all" または "accessible"。デフォルト値は all です。accessible に設定すると、1 つ以上のデータプロバイダにアクセスできない場合でも、ドキュメントを最新表示できます。</p>
formattedValues	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ルールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。
lovInfo	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は true です。false に設定されている場合、値の一覧は計算されず、表示されません。
refresh	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は true です。パラメータワークフローの最後にデータの最新表示を回避します。
strict	オプションの論理値パラメータ。デフォルトは false です。<variantIds> とともに使用されます。true に設定されていると、以下の場合にエラーメッセージが返されます。 <ul style="list-style-type: none">バリエーションの内容とドキュメントのパラメータが一致しないバリエーションの応答カーディナリティが正しくないバリエーションの応答データ型が正しくない
variantIds	オプション。ドキュメントのプロンプトパラメータの回答に使用できるバリエーション識別子のカンマ区切り一覧。一覧内のバリエーションの順序は重要です。バリエーションまたは要求本文の値を別のバリエーションの値で上書きできます。パラメータの回答には最後の値が使用されます。

要求本文: GET .../parameters 呼び出しを使用して取得されるパラメータへの回答。 [応答要求本文スキーマ \[140 ページ\]](#) を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

すべてのパラメータに応答が行われると、最後の PUT 呼び出しにより、要求の成功を示すメッセージが返されます。

refresh が true の場合、メッセージは以下のとおりです。

```
<success>
  <message>The resource of type 'Document' with identifier 'XX' has been
  successfully updated.</message>
  <id>XX</id>
</success>
```

refresh が false の場合、メッセージは以下のとおりです。

```
<success>
  <message>The resource of type 'Document' with identifier 'XX' has not been
  modified.</message>
  <id>XX</id>
</success>
```

[例 - コンテキストを含むドキュメントの最新表示 \[628 ページ\]](#)

[例 - コンテキストおよびプロンプトパラメータを含むドキュメントの最新表示 \[629 ページ\]](#)

[例: プロンプトを含むドキュメントの最新表示 \(書式設定値\) \[630 ページ\]](#)

[例 - クエリを使用したドキュメントの更新 \[631 ページ\]](#)

[例 - 検索パターンに応じたクエリを使用したドキュメントの更新 \[632 ページ\]](#)

[例 - 階層パラメータありでのドキュメントの最新表示 \[634 ページ\]](#)

[例 - 複数列の階層パラメータありでのドキュメントの最新表示 \[636 ページ\]](#)

[例 - 階層インデックス化された値の一覧を含むドキュメントの最新表示 \[639 ページ\]](#)

[例 - カスケードパラメータを含むドキュメントの最新表示 \[643 ページ\]](#)

[例 - バリエントを含むドキュメントの最新表示 \[645 ページ\]](#)

[例 - 1 つ以上のデータプロバイダにアクセスできない場合でもドキュメントを最新表示する \[647 ページ\]](#)

新しい 4.2 SP04 パラメータ dataproviderScope="accessible" を使用して最新表示します。

8.10.2.1 例 - コンテキストを含むドキュメントの最新表示

PUT 呼び出しでは、要求本文にコンテキストへの回答が含まれます。以下の要求本文では <info> 要素が表示されません。これは必須ではありません。

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="context">
    <id>0</id>
    <name>Select a context</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <values>
        <value id="2">Reservations</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```



```

    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

PUT 呼び出しにより成功のメッセージが返されます。

```

<success>
  <message>The resource of type 'document' with identifier 'xxx' has been
  successfully updated.</message>
  <id>xxx</id>
</success>

```

8.10.2.2 例 - コンテキストおよびプロンプトパラメータを含むドキュメントの最新表示

後続の返されるプロンプトに回答する前に、まずコンテキストに回答する必要があります。コンテキストが指定されていない場合、ドキュメントを最新表示することはできません。また、PUT 呼び出しの応答に、コンテキストパラメータの詳細が含まれます。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="context">
    <id>0</id>
    <name>Select a context</name>
    <answer constrained="true" type="text">
      <info cardinality="Single">
        <values>
          <value id="2">Reservations</value> <!-- possible values -->
          <value id="1">Sales</value>
        </values>
        <previous>
          <value id="1">Sales</value> <!-- previous value -->
        </previous>
      </info>
      <values>
        <value id="1">Sales</value> <!-- previous value -->
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

2 回目の PUT 呼び出しで、コンテキストに回答が提供されます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="context">
    <id>0</id>
    <answer type="text">
      <values>
        <value id="1">Sales</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

コンテキストが解決されると、PUT 呼び出しの応答にはタイプ `prompt` の 2 つ目のパラメータの前の値が含まれます。

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt">
    <id>1</id>
    <name>Enter a value for Country:</name>
    <answer constrained="false" type="text">
      <info cardinality="Single">
        <previous>
          <value>France</value>
        </previous>
      </info>
      <values>
        <value>France</value> <!-- previous value -->
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

もう1つの PUT 呼び出しで、コンテキスト値およびプロンプトの応答は入力として指定されます。必要なパラメータと、それらの正しい識別子をすべて指定する場合、パラメータの順序は任意です。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="context">
    <id>0</id>
    <answer type="text">
      <values>
        <value id="1">Sales</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter type="prompt">
    <id>1</id>
    <answer type="text">
      <values>
        <value>France</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type 'document' with identifier '23535' has been
  successfully updated.</message>
  <id>23535</id>
</success>
```

8.10.2.3 例: プロンプトを含むドキュメントの最新表示 (書式設定値)

PUT /documents/6874/parameters?formattedValues=true

X-SAP-PVL:en_US

要求本文:

```
{
  "parameters": {
    "parameter": {
      "id": 0,
      "answer": {
        "values": {
          "value": ["10¥/20¥/1969 11:45:00 PM"]
        }
      }
    }
  }
}
```

応答:

```
{
  "success": {
    "message": "The resource of type ¥\"Document¥\" with identifier ¥\"6874¥\" has been successfully updated.",
    "id": 6874
  }
}
```

8.10.2.4 例 - クエリを使用したドキュメントの更新

PUT 呼び出しの要求本文では、値が返される方法を指定するクエリが提供されます。回答の値は指定されません。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter>
    <id>1</id>
    <answer>
      <info>
        <lov>
          <query intervalId="2" intervalSize="6" refresh="true">
            <sort order="Descending"/>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>1</id>
    <technicalName>Select Max Age</technicalName>
    <name>Select Max Age</name>
    <answer constrained="false" type="Numeric">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO58</id>
          <intervals>
            <interval id="0">
              <value>74</value>
```

```

        <value>64</value>
      </interval>
      <interval id="1">
        <value>63</value>
        <value>45</value>
      </interval>
      <interval id="2">
        <value>42</value>
        <value>24</value>
      </interval>
      <interval id="3">
        <value>22</value>
        <value>18</value>
      </interval>
    </intervals>
    <values>
      <value>42</value>
      <value>38</value>
      <value>36</value>
      <value>34</value>
      <value>29</value>
      <value>24</value>
    </values>
    <columns mappingId="0">
      <column id="0" type="double">Age </column>
    </columns>
  </lov>
  <previous>
    <value>67</value>
  </previous>
</info>
<values>
  <value>67</value>
</values>
</answer>
</parameter>
. . .
</parameters>

```

8.10.2.5 例 - 検索パターンに応じたクエリを使用したドキュメントの更新

PUT 呼び出しの要求本文では、パターンに応じてどの値が返されるようにするかを指定するクエリが提供されます。回答の値は指定されません。

要求本文 (JSON):

```

{ "parameters": {
  "parameter": [ {
    "id": "1",
    "answer": {
      "info": {
        "lov": {
          "query": { "search": "20*11??" }
        }
      }
    }
  } ]
}
}

```

応答 (JSON):

```
{ "parameters": {
  "parameter": [
    { ... },
    { "@optional": "false",
      "@type": "prompt",
      "@dpId": "DP0",
      "id": 1,
      "technicalName": "Enter value(s)",
      "name": "Enter value(s)",
      "answer": {
        "@constrained": "false",
        "@type": "Numeric",
        "info": {
          "@cardinality": "Multiple",
          "lov": {
            "@hierarchical": "false",
            "@partial": "false",
            "@refreshable": "false",
            "@searchable": "true",
            "@mandatorySearch": "true",
            "id": "UNIVERSELOV_DS0.DO3",
            "updated": "2014-12-24T12:51:26.000+01:00",
            "intervals": {
              "interval": [
                { "@id": "0", "value": [20121123, 20051120] },
                { "@id": "1", "value": [20051121, 20071110] },
                { "@id": "2", "value": [20071111, 20081130] },
                { "@id": "3", "value": [20111117, 20101129] },
                { "@id": "4", "value": [20101130, 20091102] }
              ],
              "values": {
                "value": [
124, 20121125, 20121126, 20121127, 20121128, 20121129,
20121130, 20121101, 20121102, 20121103, 20121104, 20121105, 20121106,
20121107, 20121108, 20121109, 20121110, 20121111, 20121112, 20121113,
20121114, 20121115, 20121116, 20121117, 20121118, 20121119, 20121120,
20121121, 20121122, 20051101, 20051102, 20051103, 20051104, 20051105,
20051106, 20051107, 20051108, 20051109, 20051110, 20051111, 20051112,
20051113, 20051114, 20051115, 20051116, 20051117, 20051118, 20051119,
20051120]
                },
                "columns": {
                  "@mappingId": "0",
                  "column": [ {
                    "@id": "0",
                    "@type": "Numeric",
                    "$": "Time Key"
                  } ]
                }
              },
              "previous": {
                "value": [20050101]
              },
              "values": {
                "value": [20050101]
              }
            }
          ]
        }
      }
    }
  ]
}
```

8.10.2.6 例 - 階層パラメータありでのドキュメントの最新表示

GET .../parameters 呼び出しにより、都市の選択が求められる、タイプ prompt の特定のパラメータの値の一覧が返されます。値は国です。

応答には、階層の第1レベルのプロンプトが含まれます (hierarchical="true")。final="false" は、値が階層のノードであることを意味し、final="true" またはタグがない場合、値がリーフであることを意味します。

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DPe">
    <id>0</id>
    <technicalName>Select a city:</technicalName>
    <name>Select a city:</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS2.DObb</id>
          <values>
            <value final="false">Australia</value>
            <value final="false">France</value>
            <value final="false">Germany</value>
            <value final="false">Holland</value>
            <value final="false">Japan</value>
            <value final="false">Madagascar</value>
            <value final="false">Middle East</value>
            <value final="false">Nepal</value>
            <value final="false">South Africa</value>
            <value final="false">UK</value>
            <value final="false">US</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column id="0" type="String">Country</column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

最初の PUT 呼び出しで、値の一覧の第1レベルの値がパラメータの回答として渡されます。階層の値の一覧では、<query> セクション内の追加の <path> 要素を受け入れることで、階層パラメータの各レベルにまで移動することができます。回答は France です。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <info>
        <lov>
          <query>
            <path>
              <value>France</value>
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
```

```
</parameters>
```

応答にはパラメータの第2レベルの値の一覧が含まれます。値は地域を表します。<lov>要素のpath属性は、呼び出しで返される値の一覧の値へのパスを示します。数値はデータ型を表します(0は文字列、1は日付、2は数値)。

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DPe">
    <id>0</id>
    <technicalName>Select a city:</technicalName>
    <name>Select a city:</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false" path="[[0,¥ France]]">
          <id>UNIVERSELOV_DS2.DObb</id>
          <values>
            <value final="false">French Alps</value>
            <value final="false">Normandy</value>
            <value final="false">Paris</value>
            <value final="false">Provence</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column id="0" type="String">Region</column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

2番目のPUT呼び出しで、第2レベルの値の一覧の値がパラメータの回答として渡されます(Provence)。第1レベルの値が再度呼び出されます(France)。

要求本文:

```
<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <info>
        <lov>
          <query>
            <path>
              <value>France</value>
              <value>Provence</value>
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
```

応答にはパラメータの第3レベルおよび最終レベルの値の一覧が含まれます。値は都市を表します。

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DPe">
    <id>0</id>
    <technicalName>Select a city:</technicalName>
```

```

    <name>Select a city:</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false" path="[[0,¥ France], [0,¥ Provence]]">
          <id>UNIVERSELOV_DS2.DObb</id>
          <values>
            <value final="false">Bordeaux</value>
            <value final="false">Marseille</value>
            <value final="false">Nice</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column id="0" type="String">City</column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

最後の PUT 呼び出しにより、<value> が含まれるドキュメントが最新表示されます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <values>
        <value path="[[0,¥ France], [0,¥ Provence]]">Bordeaux</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type 'Document' with identifier '9586' has been
successfully updated.</message>
  <id>9586</id>
</success>

```

8.10.2.7 例 - 複数列の階層パラメータありでのドキュメントの最新表示

最初の GET .../parameters 呼び出しにより、タイプ prompt の特定のパラメータの値の一覧が返されます。

この応答には、階層の第1レベルのプロンプトが含まれます (hierarchical="true")。タイプ String の列は1つのみです。final="false" は、値が階層のノードであることを意味し、final="true" またはタグがない場合、値がリーフであることを意味します。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Enter one or more Invoice Date values</technicalName>
    <name>Enter one or more Invoice Date values</name>
  </parameter>
</parameters>

```



```

    <answer constrained="false" type="DateTime">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO119</id>
          <values>
            <value final="false">FY1992</value>
            <value final="false">FY1993</value>
            <value final="false">FY1994</value>
            <value final="false">FY1995</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column id="0" type="String">Year</column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

最初の PUT 呼び出しで、値の一覧の第 1 レベルの値がパラメータの回答として渡されます。階層の値の一覧では、<query> セクション内の追加の <path> 要素を受け入れることで、階層パラメータの各レベルにまで移動することができます。回答は FY1993 です。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <info>
        <lov>
          <query>
            <path>
              <value>FY1993</value>
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答にはパラメータの第 2 レベルの値の一覧が含まれます。タイプ String の列は 2 つあります。1 つ目は参照として使用されます (mappingId="0")。<lov> 要素の path 属性は、呼び出しで返される値の一覧の値へのパスを示します。数値はデータ型を表します (0 は文字列、1 は日付、2 は数値)。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Enter one or more Invoice Date values</technicalName>
    <name>Enter one or more Invoice Date values</name>
    <answer constrained="false" type="DateTime">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false"
        path="[[0,¥ FY1993]]">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DO119</id>
          <cvalues>
            <cvalue final="false">
              <column id="0">Q1</column>
              <column id="1">FY1993</column>
            </cvalue>

```

```

        <cvalue final="false">
          <column id="0">Q2</column>
          <column id="1">FY1993</column>
        </cvalue>
        <cvalue final="false">
          <column id="0">Q3</column>
          <column id="1">FY1993</column>
        </cvalue>
        <cvalue final="false">
          <column id="0">Q4</column>
          <column id="1">FY1993</column>
        </cvalue>
      </cvalues>
      <columns mappingId="0">
        <column id="0" type="String">Quarter</column>
        <column id="1" type="String">Year</column>
      </columns>
    </lov>
  </info>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

PUT 呼び出しは、パラメータの最終レベルまで繰り返されます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <info>
        <lov>
          <query>
            <path>
              <value>FY1993</value>
              <value>Q2</value>
              <value>06</value>
              <value type="Numeric">25</value>
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答では、<cvalue> に final="false" 属性はこれ以上ありません。階層の最後のレベルに到達し、そのレベルには 3 つの列が含まれ、参照が先頭になります (mappingId="0")。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Enter one or more Invoice Date values</technicalName>
    <name>Enter one or more Invoice Date values</name>
    <answer constrained="false" type="DateTime">
      <info cardinality="Multiple">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false"
          path="[[0,¥ FY1993], [0,¥ Q2], [0,¥ 06], [2,¥ 25]]">
            <id>UNIVERSELOV_DS0.D0119</id>
            <cvalues>
              <cvalue>
                <column id="0">1993-06-19T02:00:00.000+02:00</column>

```

```

        <column id="1">06</column>
        <column id="2">FY1993</column>
    </cvalue>
    . . .
    <cvalue>
        <column id="0">1995-06-24T02:00:00.000+02:00</column>
        <column id="1">06</column>
        <column id="2">FY1995</column>
    </cvalue>
</cvalues>
<columns mappingId="0">
    <column id="0" type="DateTime">Invoice Date</column>
    <column id="1" type="String">Month</column>
    <column id="2" type="String">Year</column>
</columns>
</lov>
</info>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

最後の PUT 呼び出しにより、<value> が含まれるドキュメントが最新表示されます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <values>
        <value path='[[0,¥ FY1993], [0,¥ Q2], [0,¥ 06], [2,¥
25]]'>1995-06-19T02:00:00.000+02:00</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type 'Document' with identifier '9586' has been
successfully updated.</message>
  <id>9586</id>
</success>

```

8.10.2.8 例 - 階層インデックス化された値の一覧を含むドキュメントの最新表示

GET .../parameters 呼び出しにより、タイプ prompt かつ値の一覧がインデックス化された特定のパラメータの値の一覧が返されます ("<value id="...">...</value>")。値のインデックスのみ必須です。

この応答には、階層の第1レベルのプロンプトが含まれます (hierarchical="true")。タイプ String の列は1つのみです。final="false" は、値が階層のノードであることを意味し、final="true" またはタグがない場合、値がリーフであることを意味します。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">

```

```

<id>0</id>
<technicalName>customer Hierarchy Node variable mandatory</technicalName>
<name>customer Hierarchy Node variable mandatory</name>
<answer constrained="true" type="Text">
  <info cardinality="Single">
    <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false">
      <id>UNIVERSELOV_DS0.DO48</id>
      <cvalues>
        <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[WORLD
0HIER_NODE]" final="false">
          <column id="0">WORLD 0HIER_NODE</column>
          <column id="1">WORLD</column>
        </cvalue>
        <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[REST_H
1HIER_REST]" final="false">
          <column id="0">REST_H 1HIER_REST</column>
          <column id="1">Not Assigned Country (s)</column>
        </cvalue>
      </cvalues>
      <columns mappingId="0">
        <column id="0" type="String">LovHierNodeL00 CountryBase
</column>
        <column id="1" type="String">LovHierNodeL00 Country </
column>
      </columns>
    </lov>
    <previous>
      <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0013]">0013</
value>
    </previous>
  </info>
  <values>
    <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0013]">0013</value>
  </values>
</answer>
</parameter>
</parameters>

```

最初の final="true" 呼び出しで、値の一覧の第1レベルのインデックスがパラメータの回答として渡されます。階層の値の一覧では、<query> セクション内の追加の <path> 要素を受け入れることで、階層パラメータの各レベルにまで移動することができます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <info>
        <lov>
          <query>
            <path>
              <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[WORLD
0HIER_NODE]" />
            </path>
          </query>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答にはパラメータの第2レベルの値の一覧が含まれます。path 要素の lov 属性は、呼び出しで返される値の一覧の値へのパスを示します。構文 [0|1|2,¥, ¥ index] は、値のタイプとレベルの ID を示します (0 は文字列、1 は日付、2 は数値)。

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>customer Hierarchy Node variable mandatory</technicalName>
    <name>customer Hierarchy Node variable mandatory</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false" path="[0,¥ ,
      ¥ [Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[WORLD 0HIER_NODE]]]">
        <id>UNIVERSELOV_DS0.DO48</id>
        <cvalues>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[EUROPE
0HIER_NODE]" final="false">
            <column id="0">EUROPE 0HIER_NODE</column>
            <column id="1">EUROPE</column>
          </cvalue>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].
[NORTH_AMERICA 0HIER_NODE]" final="false">
            <column id="0">NORTH_AMERICA 0HIER_NODE</column>
            <column id="1">NORTH_AMERICA</column>
          </cvalue>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[ASIA_PAC
0HIER_NODE]" final="false">
            <column id="0">ASIA_PAC 0HIER_NODE</column>
            <column id="1">ASIA_PAC</column>
          </cvalue>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].
[MIDDLE_EAST 0HIER_NODE]" final="false">
            <column id="0">MIDDLE_EAST 0HIER_NODE</column>
            <column id="1">MIDDLE_EAST</column>
          </cvalue>
        </cvalues>
        <columns mappingId="0">
          <column id="0" type="String">LovHierNodeL01 CountryBase
</column>
          <column id="1" type="String">LovHierNodeL01 Country </
column>
        </columns>
      </lov>
      <previous>
        <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0013]">0013</
value>
      </previous>
    </info>
    <values>
      <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0013]">0013</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
</parameters>
```

2 番目の PUT 呼び出しで、第2レベルの値の一覧の値がパラメータの回答として渡されます (" [Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[ASIA_PAC 0HIER_NODE]"). 第1レベルの値インデックスが再度呼び出されます ([Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[WORLD 0HIER_NODE])。

要求本文:

```
<parameters>
```

```

<parameter>
  <id>0</id>
  <answer>
    <info>
      <lov>
        <query>
          <path>
            <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[WORLD
OHIER_NODE]" />
            <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].
[ASIA_PAC OHIER_NODE]" />
          </path>
        </query>
      </lov>
    </info>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

応答では、<cvalue> に final="false" 属性はこれ以上ありません。階層の最後のレベルに到達しました。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>customer Hierarchy Node variable mandatory</technicalName>
    <name>customer Hierarchy Node variable mandatory</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="true" partial="false" refreshable="true"
searchable="false" path="[0,¥ ,
¥ [Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[WORLD OHIER_NODE]]]"> >
        <id>UNIVERSELOV_DS0.DO48</id>
        <cvalues>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0003]">
            <column id="0">0003</column>
            <column id="1">Australia</column>
          </cvalue>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0006]">
            <column id="0">0006</column>
            <column id="1">Bangladesh</column>
          </cvalue>
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0015]">
            <column id="0">0015</column>
            <column id="1">China</column>
          </cvalue>
          ...
          <cvalue id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0063]">
            <column id="0">0063</column>
            <column id="1">Thailand</column>
          </cvalue>
        </cvalues>
        <columns mappingId="0">
          <column id="0" type="String">LovHierNodeL02 CountryBase
</column>
          <column id="1" type="String">LovHierNodeL02 Country </
column>
        </columns>
      </lov>
    <previous>
      <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0013]">0013</
value>
    </previous>
  </info>
</values>
  <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0013]">0013</value>

```

```

        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>

```

最後の PUT 呼び出しにより、<value> が含まれるドキュメントが最新表示されます。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <values>
        <value id="[Z_COUNTRY COUNTRY_HIERARCHY_01].[0015]"/>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type 'Document' with identifier '8816' has been
  successfully updated.</message>
  <id>8816</id>
</success>

```

8.10.2.9 例 - カスケードパラメータを含むドキュメントの最新表示

初回の GET .../parameters 呼び出しにより、以下が返されます。

- id=0、タイプ prompt、およびカーディナリティ Single (age) のパラメータへの回答に考えられる値の一覧。
- Single、タイプ prompt、およびカーディナリティ Single (顧客名) の 2 つ目のパラメータ。

2 つ目のパラメータの値の一覧を取得するには、1 つ目のパラメータに回答する必要があります。2 つ目のパラメータの <lov> 要素内の <parameters> 要素を参照してください。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP11">
    <id>0</id>
    <technicalName>Age:</technicalName>
    <name>Age:</name>
    <answer constrained="false" type="Numeric">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS2.DO9</id>
          <values>
            <value>18</value>
            <value>19</value>
            .
            .
            <value>150</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">

```

```

        <column id="0" type="Numeric">Age</column>
      </columns>
    </lov>
  </info>
</answer>
</parameter>
<parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP11">
  <id>1</id>
  <technicalName>Enter customer:</technicalName>
  <name>Enter customer:</name>
  <answer constrained="false" type="Text">
    <info cardinality="Single">
      <lov hierarchical="false" refreshable="true">
        <id>UNIVERSELOV_DS2.DO10c</id>
        <parameters>
          <id>0</id>
        </parameters>
      </lov>
    </info>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

初回の PUT .../parameters 呼び出しが最初のパラメータに回答します。

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter>
    <id>0</id>
    <answer>
      <values>
        <value>25</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```

応答には 2 つ目のパラメータに考えられる値が含まれます。

応答:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP11">
    <id>1</id>
    <technicalName>Enter customer:</technicalName>
    <name>Enter customer:</name>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <info cardinality="Single">
        <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="false">
          <id>UNIVERSELOV_DS2.DO10c</i>
          <values>
            <value>Arrow</value>
            <value>Baker</value>
            . . .
            <value>Wilson</value>
          </values>
          <columns mappingId="0">
            <column id="0" type="String">Customer</column>
          </columns>
        </lov>
      </info>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>

```


① 注記

ドキュメントのネストされたパラメータの一部だけが解決されても、メインの値の一覧に値を入力できません。要求本文に一部のパラメータへの回答が含まれていない場合、PUT 呼び出しにより、回答を必要とするパラメータが返されます。

8.10.2.10 例 - バリエントを含むドキュメントの最新表示

ユーザが使用しているドキュメントには、タイプ prompt のパラメータが5つと、バリエントが2つ含まれています。

最初の呼び出し:

GET /documents/9484/parameters

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Choose a Category to Analyze:</technicalName>
    ...
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>1</id>
    <technicalName>Enter Values for State:</technicalName>
    ...
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>2</id>
    <technicalName>Enter Values for Color:</technicalName>
    ...
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>3</id>
    <technicalName>Enter a Value for Year (start):</technicalName>
    ...
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>4</id>
    <technicalName>Enter a Value for Year (end):</technicalName>
    ...
</parameters>
```

2 番目および 3 番目の呼び出し:

GET /documents/9484/variants/9488

variant 1 は、0、1、および 2 で識別されるパラメータの値セットを提供します。

応答:

```
<variant>
  <id>9488</id>
  <cuid>Abrlk6YtLTpKmlvae2nF3cU</cuid>
  <name>Variant 1</name>
  <parameters>
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
      <technicalName>Choose a Category to Analyze:</technicalName>
      ...
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
      <technicalName>Enter Values for State:</technicalName>
      ...
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
```

```

        <technicalName>Enter Values for Color:</technicalName>
        ...
    </parameters>
</variant>

```

GET /documents/9484/variants/9490

応答:

variant 2 は、2 および 3 で識別されるパラメータの値セットを提供します。

```

<variant>
  <id>9490</id>
  <cuid>AXFuygctuQJHkwFuwIGz7tc</cuid>
  <name>variant 2</name>
  <parameters>
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
      <technicalName>Enter Values for Color:</technicalName>
      ...
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
      <technicalName>Enter a Value for Year (start):</technicalName>
      ...
    </parameters>
  </variant>

```

以下の呼び出しは、ドキュメントのプロンプトパラメータに応答します。

- 2つのバリエーションからの値セットのグループをクエリパラメータとして提供する
- 要求本文で値を送信する

PUT /documents/9484/parameters?variantIds=9488,9490

要求本文:

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>1</id>
    <technicalName>Enter Values for State:</technicalName>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <values>
        ...
      </values>
    </parameter>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>4</id>
    <technicalName>Enter a Value for Year (end):</technicalName>
    <answer constrained="false" type="Text">
      <values>
        ...
      </values>
    </parameter>
  </parameters>

```

この場合は、パラメータは次のように回答されます。

- variant 1 で 0
- 要求本文の回答で 1。variant 1 で提供された値は、この値で上書きされます。
- variant 2 で 2variant 1 で提供された値は、この値で上書きされます。
- variant 2 で 3
- 要求本文の回答で 4

最後に、バリエーションでの以下の HTTP 400 エラーを生成するには、呼び出しで strict クエリパラメータを使用します。

PUT /documents/6861/parameters?variantIds=9330&strict=true

- バリエントの未使用パラメータ

```
<error>
  <error_code>WSR 00101</error_code>
  <message>Illegal argument (Suspicious variant(s) parameter(s): [{DP13,
'Select Max Age', Numeric, Single}, {DP15, 'Select Your Country', Text,
Multiple}, {DP16, 'Select Your Country', Text, Single}, {DP18, 'Choose
Region', Text, Single}, {DP19, 'Select a customer Date Reservation',
DateTime, Single}, {DP1c, 'Select a customer Date Reservation', DateTime,
Multiple}, {DP1f, 'Select a customer Age', Numeric, Single}])</message>
</error>
```

- カーディナリティの不一致

```
<error>
  <error_code>WSR 00101</error_code>
  <message>The variant used to answer the parameter with id '0' has an
incorrect cardinality 'Multiple'. Expected cardinality is 'Single'.</message>
</error>
```

- データ型の不一致

```
<error>
  <error_code>WSR 00101</error_code>
  <message>The variant used to answer the parameter with id '0' has an
incorrect data type 'Text'. Expected data type is 'Numeric'.</message>
</error>
```

8.10.2.11 例 - 1つ以上のデータプロバイダにアクセスできない場合でもドキュメントを最新表示する

新しい 4.2 SP04 パラメータ `dataproviderScope="accessible"` を使用して最新表示します。

用途

データプロバイダにアクセスできない場合でも、Web Intelligence ドキュメントを最新表示します。

4.2 SP04 より前

1つ以上のデータプロバイダにアクセスできないドキュメントを最新表示しようとすると、エラーが発生します。たとえば、`PUT/documents/<12956>/parameters` です。

応答:

```
<error>
  <error_code>WSR 00402</error_code>
  <message>Resource is not reachable: "You do not have access to one or more
data providers, only the ones for which you have permission will be refreshed.
(Error: WIS 30286)"</message>
  <id>12956</id>
```

```
</errorr>
```

4.2 SP04 以降

1つ以上のデータプロバイダにアクセスできないドキュメントを最新表示しようとする、アクセス可能なすべてのデータプロバイダを使用してドキュメントが最新表示されます。たとえば、PUT/documents/<12956>/parameters?datapviderScope="accessible" です。

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "12956" has been
  successfully updated.</message>
  <id>12956</id>
</success>
```

① 注記

4.2 SP4 以降では、ドキュメントの最新表示が成功すると、"datapviderScope" 値に関係なく、新しい "allDataprovidersRefreshed" プロパティが返されます。

8.10.3 ドキュメントの最新表示のキャンセル

用途

最新表示されている Web Intelligence ドキュメントの最新表示をキャンセルします。現在実行されていない場合、影響はありません。

4.2 SP4 以降では、'ドキュメントの最新表示' 呼び出しをキャンセルすると、'キャンセル' 呼び出しが行われたことをユーザに警告する追加情報が返されます。

要求

PUT/documents/<documentID>/parameters/execution?cancel=<mode>

説明:

- <mode> はキャンセルの管理方法を定義します。
 - partial: キャンセルが実行されると、これまでに取得した新しい値がドキュメントの適切な部分に表示されます。それ以外の部分については、前回のクエリ実行時に受信したデータが表示されます。
 - restore: キャンセルが実行されると、前回のクエリ実行時に取得した値がドキュメントに復元されます。表示される値は、データベースにある最新の情報ではありません。後でクエリを実行して、データベースから最新情報を受信することができます。
 - purge: キャンセルが実行されると、ドキュメントに空の値が表示されます。ドキュメントの構造と書式はそのままです。後でクエリを実行して、データベースから最新情報を受信することができます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/8022/parameters/execution?cancel=partial

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "8022" has been
successfully updated.</message>
  <id>8022</id>
</success>
```

例: 4.2 SP04 以降で操作をキャンセルする

PUT /documents/7395/parameters/execution?cancel=partial

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "8022" has been
successfully updated.</message>
  <id>7935</id>
  <details>
    <property key="cancel">partial</property>
  </details>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.10.4 パラメータの詳細の取得

用途

パラメータの詳細を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/parameters/<parameterID>?
formattedValues=<formattedValues>

説明:

- **<formattedValues>** はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は `false` です。このパラメータが `true` に設定されている場合には、要求の `X-SAP-PVL` で設定された優先表示ロケールに従って `DateTime` と `Numeric` の値の書式が設定されます。
- **<lovInfo>** はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は `true` です。 `false` に設定すると、LOV (値の一覧) は計算されないため表示されません。4.2 SP03 以降。
- **<summary>** はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は `false` です。 `true` に設定すると、前の値の概要が返されます。4.2 SP04 以降。

応答

応答タイプ: `application/xml` または `application/json`

応答により、予期された回答、該当する場合は前回の値、該当しない場合はデフォルト値を含むパラメータが提供されます。コンテンツの構造と要素の詳細については、[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)を参照してください。

例: コンテキスト

GET /documents/6213/parameters/0

応答:

```
<parameter optional="false" type="context" dpId="DP1">
  <id>0</id>
  <technicalName>0</technicalName>
  <name>Select a context</name>
  <answer constrained="true" type="Text">
    <info cardinality="Multiple" keepLastValues="true">
      <lov partial="false" searchable="true" mandatorySearch="false">
        <values>
          <value id="2">Reservations</value>
          <value id="1">Sales</value>
        </values>
      </lov>
      <previous>
        <value id="1">Sales</value>
      </previous>
    </info>
    <values>
      <value id="1">Sales</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
```

例: 前の値の概要を取得する

GET /documents/26647/parameters?Summary=true

応答:

```
<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Year (with default)</technicalName>
    <name>Year (with default)</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="false">
        <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DObc</id>
        </lov>
        <values>
          <value>2004</value>
        </values>
      </info>
      <values>
        <value>2004</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>1</id>
    <technicalName>Quarter (with previous)</technicalName>
    <name>Quarter (with previous)</name>
    <answer constrained="true" type="Text">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
        <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DOba</id>
        </lov>
        <previous>
          <value>Q3</value>
        </previous>
      </info>
      <values>
        <value>Q3</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>2</id>
    <technicalName>Month (with previous + default)</technicalName>
    <name>Month (with previous + default)</name>
    <answer constrained="true" type="Numeric">
      <info cardinality="Single" keepLastValues="true">
        <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
          <id>UNIVERSELOV_DS0.DOb9</id>
        </lov>
        <values>
          <value>7</value>
        </values>
        <previous>
          <value>10</value>
        </previous>
      </info>
      <values>
        <value>10</value>
      </values>
    </answer>
```

```

</parameter>
<parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
  <id>3</id>
  <technicalName>Week</technicalName>
  <name>Week</name>
  <answer constrained="false" type="Numeric">
    <info cardinality="Single" keepLastValues="false">
      <lov hierarchical="false" refreshable="true"
searchScopes="Values" searchTargets="Server">
        <id>UNIVERSELOV_DS0.DO104</id>
      </lov>
    </info>
  </answer>
</parameter>
</parameters>

```

① 注記

- オプションの URL パラメータ lovInfo が自動的に false に設定されます。
- プロンプトが返されないため、sapVariables は設定されません。

別のパラメータに依存するパラメータの詳細の取得

用途

値が別のパラメータの回答に依存するパラメータの詳細を返します。

要求

PUT/documents/<documentID>/parameters/<parameterID>?
formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

要求本体: 検索するパラメータが依存するパラメータの詳細と、パラメータの値の一覧を返すクエリ。コンテンツの構造と要素の詳細については、[応答要求本文スキーマ \[140 ページ\]](#)を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答により、予期された回答、該当する場合は前回の値、該当しない場合はデフォルト値を含むパラメータが提供されます。コンテンツの構造と要素の詳細については、[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)を参照してください。

例

パラメータ "1" の詳細は、パラメータ "3" の回答に依存します。

PUT /documents/6713/parameters/1

要求:

```
<parameters>
...
<parameter>
  <id>3</id>
  <answer>
    <values>
      <value id='2'>Reservations</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
<parameter>
  <id>1</id>
  <answer>
    <info>
      <lov>
        <query intervalSize='Unlimited' />
      </lov>
    </info>
  </answer>
</parameter>
</parameters>
```

応答:

```
<parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
  <id>1</id>
  <technicalName>Enter values for CustomLOV_withcontext:</technicalName>
  <name>Enter values for CustomLOV_withcontext:</name>
  <answer constrained="false" type="Text">
    <info cardinality="Multiple" keepLastValues="true">
      <lov hierarchical="false" partial="false" refreshable="true"
searchable="true" mandatorySearch="false">
        <id>UNIVERSELOV_DS0.Doda</id>
        <updated>2015-09-08T10:23:04.000+02:00</updated>
        <cvalues>
          <cvalue>
            <column id="0">Abby</column>
            <column id="1">US</column>
          </cvalue>
          <cvalue>
            <column id="0">Andre</column>
            <column id="1">Nepal</column>
          </cvalue>
          ...
          <cvalue>
            <column id="0">Joos</column>
            <column id="1">Nepal</column>
          </cvalue>
        </cvalues>
        <columns mappingId="0">
          <column id="0" type="String">CustomLOV_withcontext</column>
          <column id="1" type="String">Country</column>
        </columns>
      </lov>
    </previous>
    <value>Abby</value>
    <value>Andre</value>
```

```
        <value>Annie</value>
        <value>Bridget</value>
    </previous>
</info>
<values>
    <value>Abby</value>
    <value>Andre</value>
    <value>Annie</value>
    <value>Bridget</value>
</values>
</answer>
</parameter>
```

例: 書式設定された値

8.10.5 バリエーションの使用

バリエーションは、Web Intelligence ドキュメントでタイプ prompt の一部のパラメータへの応答として使用される一連の値で構成されます。パラメータへの応答とドキュメントの最新表示にバリエーションを使用できます。

バリエーションは CMS リポジトリに保存されます。バリエーションはドキュメントとユーザーに関連します。詳細については、*Web Intelligence ユーザーガイド*を参照してください。

[バリエーションの一覧の取得 \[654 ページ\]](#)

[バリエーションの詳細の取得 \[656 ページ\]](#)

[バリエーションの作成 \[660 ページ\]](#)

[バリエーションの編集 \[663 ページ\]](#)

[バリエーションの削除 \[664 ページ\]](#)

関連情報

[ドキュメントの最新表示 \[627 ページ\]](#)

8.10.5.1 バリエーションの一覧の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付されたプロンプトバリエーションの一覧を返します。

要求

GET /documents/<documentID>/variants

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: <id>、<cuid>、および <name> によって特定された <variant> の一覧。

例: XML

GET /documents/18920/variants

応答:

```
<variants>
  <variant>
    <id>18923</id>
    <cuid>AdDOEHufkQZBiims4l6IbW8</cuid>
    <name>my first variant</name>
  </variant>
  <variant>
    <id>18925</id>
    <cuid>Ac55DvETzPlGtMQkmHCFUYw</cuid>
    <name>my second variant</name>
  </variant>
</variants>
```

例: JSON

応答:

```
{
  "variants": {
    "variant": [
      {
        "id": "18923",
        "cuid": "AdDOEHufkQZBiims4l6IbW8",
        "name": "my first variant"
      },
      {
        "id": "18925",
        "cuid": "Ac55DvETzPlGtMQkmHCFUYw",
        "name": "my second variant"
      }
    ]
  }
}
```

8.10.5.2 バリエーションの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントに作成されたバリエーションについての詳細情報を返します。

要求

GET/documents/<documentID>/variants/<variantID>?formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文には以下の情報が含まれます。

- バリエーションの <id>、<cuid>、および <name>
- バリエーションを使用する prompt 型パラメータの一覧
- 各パラメータに対してバリエーションが取得できる値

例: XML

GET /documents/18943/variants/18946

この例では、返されたバリエーションは prompt 型の 6 つのパラメータで構成されています。

応答:

```
<variant>
  <id>18946</id>
  <cuid>AXAUy5cbRbZNjfJ0AV4NPCs</cuid>
  <name>my variant</name>
  <parameters>
    <parameter type="prompt" dpId="DP13">
      <technicalName>Select Max Age</technicalName>
      <answer type="Numeric">
        <info cardinality="Single"/>
        <values>
          <value>29</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</variant>
```

```

</parameter>
<parameter type="prompt" dpId="DP15">
  <technicalName>Select Your Country</technicalName>
  <answer type="Text">
    <info cardinality="Multiple"/>
    <values>
      <value>UK</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
<parameter type="prompt" dpId="DP16">
  <technicalName>Select Your Country</technicalName>
  <answer type="Text">
    <info cardinality="Single"/>
    <values>
      <value>US</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
<parameter type="prompt" dpId="DP18">
  <technicalName>Choose Region</technicalName>
  <answer type="Text">
    <info cardinality="Single"/>
    <values>
      <value>Northern Europe</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
<parameter type="prompt" dpId="DP19">
  <technicalName>Select a Customer Date Reservation</technicalName>
  <answer type="DateTime">
    <info cardinality="Single"/>
    <values>
      <value>2016-01-15T01:00:00.000+01:00</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
<parameter type="prompt" dpId="DP1c">
  <technicalName>Select a Customer Date Reservation</technicalName>
  <answer type="DateTime">
    <info cardinality="Multiple"/>
    <values>
      <value>2016-01-19T01:00:00.000+01:00</value>
      <value>2016-01-25T01:00:00.000+01:00</value>
      <value>2016-02-08T19:29:00.000+01:00</value>
      <value>2016-02-09T01:00:00.000+01:00</value>
      <value>2016-02-18T01:00:00.000+01:00</value>
      <value>2016-02-19T05:55:00.000+01:00</value>
      <value>2016-02-22T01:00:00.000+01:00</value>
      <value>2016-02-23T01:00:00.000+01:00</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
<parameter type="prompt" dpId="DP1f">
  <technicalName>Select a Customer Age</technicalName>
  <answer type="Numeric">
    <info cardinality="Single"/>
    <values>
      <value>34</value>
    </values>
  </answer>
</parameter>
</parameters>
</variant>

```

例: JSON

応答:

```
{
  "variant": {
    "id": "18946",
    "cuid": "AXAUy5cbRbZNjfJ0AV4NPCs",
    "name": "my variant",
    "parameters": {
      "parameter": [
        {
          "@type": "prompt",
          "@dpId": "DP13",
          "technicalName": "Select Max Age",
          "answer": {
            "@type": "Numeric",
            "info": { "@cardinality": "Single" },
            "values": { "value":["29"]}
          }
        },
        {
          "@type": "prompt",
          "@dpId": "DP15",
          "technicalName": "Select Your Country",
          "answer": {
            "@type": "Text",
            "info": { "@cardinality": "Multiple" },
            "values": { "value":["UK"]}
          }
        },
        {
          "@type": "prompt",
          "@dpId": "DP16",
          "technicalName": "Select Your Country",
          "answer": {
            "@type": "Text",
            "info": { "@cardinality": "Single" },
            "values": { "value":["US"]}
          }
        },
        {
          "@type": "prompt",
          "@dpId": "DP18",
          "technicalName": "Choose Region",
          "answer": {
            "@type": "Text",
            "info": { "@cardinality": "Single" },
            "values": { "value":["Northern Europe"]}
          }
        },
        {
          "@type": "prompt",
          "@dpId": "DP19",
          "technicalName": "Select a Customer Date Reservation",
          "answer": {
            "@type": "DateTime",
            "info": { "@cardinality": "Single" },
            "values": { "value":["2016-01-15T01:00:00.000+01:00"]}
          }
        },
        {
          "@type": "prompt",
          "@dpId": "DP1c",
          "technicalName": "Select a Customer Date Reservation",
          "answer": {
```

```

        "@type": "DateTime",
        "info": { "@cardinality": "Multiple" },
        "values": {
          "value": [
            "2016-01-19T01:00:00.000+01:00",
            "2016-01-25T01:00:00.000+01:00",
            "2016-02-08T19:29:00.000+01:00",
            "2016-02-09T01:00:00.000+01:00",
            "2016-02-18T01:00:00.000+01:00",
            "2016-02-19T05:55:00.000+01:00",
            "2016-02-22T01:00:00.000+01:00",
            "2016-02-23T01:00:00.000+01:00"
          ]
        }
      },
    },
    {
      "@type": "prompt",
      "@dpId": "DP1f",
      "technicalName": "Select a Customer Age",
      "answer": {
        "@type": "Numeric",
        "info": { "@cardinality": "Single" },
        "values": { "value": ["34"] }
      }
    }
  ]
}

```

例: XML (書式設定値)

GET /documents/6915/variants/10789?formattedValues=true

X-SAP-PVL:fr_FR

応答:

```

<variant>
  <id>10789</id>
  <cuid>AUEVb7TLRdNJmUKx2xUe6.g</cuid>
  <name>myVariant</name>
  <parameters>
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
      <technicalName>Enter Reservation Date:</technicalName>
      <answer type="DateTime">
        <info cardinality="Single"/>
        <values>
          <value>27/12/1983 08:58:12</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</variant>

```

例: JSON (書式設定値)

GET /documents/6915/variants/10812?formattedValues=true

X-SAP-PVL:en_US

応答:

```
{
  "variant": {
    "id": 10812,
    "cuid": "ASwjtgltUTBFjqj7STcQsF0",
    "name": "myVariant",
    "parameters": {
      "parameter": [{
        "@type": "prompt",
        "@dpId": "DP0",
        "technicalName": "Enter Reservation Date:",
        "answer": {
          "@type": "DateTime",
          "info": { "@cardinality": "Single" },
          "values": { "value": ["1¥/13¥/2016 3:11:37 PM"]}
        }
      }]
    }
  }
}
```

関連情報

[バリエントの一覧の取得 \[654 ページ\]](#)

8.10.5.3 バリエントの作成

用途

バリエントを作成して Web Intelligence ドキュメントに添付します。

要求

POST/documents/<documentID>/variants?formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL ヘッダで設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文には、少なくとも以下のパラメータ情報が必要です。

- <parameter> の type および dpId 属性
- type の値は prompt である必要があります。
- パラメータの <technicalName>
- <answer> の type 属性
- <info> の cardinality 属性
- 件数がカーディナリティに依存する応答値

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST /documents/18954/variants

要求本文:

```
<variant>
  <name>this is a new variant</name>
  <parameters>
    <parameter type="prompt" dpId="DP13">
      <technicalName>Select Max Age</technicalName>
      <answer type="Numeric">
        <info cardinality="Single"/>
        <values>
          <value>29</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
    <parameter type="prompt" dpId="DP15">
      <technicalName>Select Your Country</technicalName>
      <answer type="Text">
        <info cardinality="Multiple"/>
        <values>
          <value>UK</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
    <parameter type="prompt" dpId="DP1c">
      <technicalName>Select a Customer Date Reservation</technicalName>
      <answer type="DateTime">
        <info cardinality="Multiple"/>
        <values>
          <value>2016-01-19T01:00:00.000+01:00</value>
          <value>2016-01-25T01:00:00.000+01:00</value>
          <value>2016-02-08T19:29:00.000+01:00</value>
          <value>2016-02-09T01:00:00.000+01:00</value>
          <value>2016-02-18T01:00:00.000+01:00</value>
          <value>2016-02-19T05:55:00.000+01:00</value>
          <value>2016-02-22T01:00:00.000+01:00</value>
          <value>2016-02-23T01:00:00.000+01:00</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</variant>
```

```

        </values>
      </answer>
    </parameter>
    <parameter type="prompt" dpId="DP1f">
      <technicalName>Select a customer Age</technicalName>
      <answer type="Numeric">
        <info cardinality="Single"/>
        <values>
          <value>34</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</variant>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Variant" with identifier "18957" has been
  successfully created.</message>
  <id>18957</id>
</success>

```

例: 書式設定された値

POST /documents/6915/variants?formattedValues=true

X-SAP-PVL:en_US

要求本文:

```

<variant>
  <name>myVariant</name>
  <parameters>
    <parameter type="prompt" dpId="DP0">
      <technicalName>Enter Reservation Date:</technicalName>
      <answer type="DateTime">
        <info cardinality="Single"/>
        <values>
          <value>1/13/2016 3:11:37 PM</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</variant>

```

応答:

```

<success>
  <message>The resource of type "Variant" with identifier "10812" has been
  successfully created.</message>
  <id>10812</id>
</success>

```

8.10.5.4 バリエントの編集

用途

Web Intelligence ドキュメントに添付されたバリエントの詳細を変更します。

要求

PUT/documents/<documentID>/variants/<variantID>?formattedValues=<formattedValues>

説明:

- <formattedValues> はオプションの論理値パラメータです。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。

要求タイプ: application/xml または application/json

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/18965/variants/18968

要求本文:

```
<variant>
  <name>Update Variant</name>
  <parameters>
    <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP13">
      <id>0</id>
      <technicalName>Select Max Age</technicalName>
      <name>Select Max Age</name>
      <answer constrained="false" type="Numeric">
        <info cardinality="Single" keepLastValues="true"/>
        <values>
          <value>29</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
    <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP15">
      <id>1</id>
      <technicalName>Select Your Country</technicalName>
      <name>Select Your Country</name>
      <answer constrained="true" type="Text">
```

```
<info cardinality="Multiple" keepLastValues="true"/>
<values>
  <value>UK</value>
</values>
</answer>
</parameter>
</parameters>
</variant>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Variant" with identifier "18968" has been
  successfully updated.</message>
  <id>18968</id>
</success>
```

関連情報

[バリエントの一覧の取得 \[654 ページ\]](#)

8.10.5.5 バリエントの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントからバリエントを切り出して削除します。

要求

DELETE/documents/<documentID>/variants/<variantID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /documents/18965/variants/18980

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Variant" with identifier "18980" has been
  successfully removed.</message>
  <id>18980</id>
</success>
```

関連情報

[バリエーションの一覧の取得 \[654 ページ\]](#)

8.11 データプロバイダの最新表示

Web Intelligence ドキュメントのデータプロバイダで実行できる最新表示操作は以下のとおりです。

- コンテキストおよびプロンプトがないデータプロバイダの最新表示
- データプロバイダのコンテキストおよびプロンプトの識別
- コンテキストおよびプロンプトへの値の入力

以下のプロンプトがサポートされています。

- 文字列、数値、または日付のいずれかの値を受け入れるプロンプト
- 1つの値または複数の値を受け入れるプロンプト
- オプションおよびオプションでないプロンプト

[データプロバイダの最新表示パラメータの取得 \[665 ページ\]](#)

[データプロバイダの最新表示 \[666 ページ\]](#)

8.11.1 データプロバイダの最新表示パラメータの取得

用途

データプロバイダ最新表示の実行前に、入力されるパラメータを返します。

要求

GET/documents/<documentID>/dataproviders/<dataproviderID>/parameters?
<optional_parameters>

この場合、

オプションパラメータ

パラメータ	説明
formattedValues	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。
lovInfo	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は true です。false に設定されている場合、値の一覧は計算されず、表示されません。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 予期された応答、該当する場合は前回の値、該当しない場合はデフォルト値を含むパラメータ。[パラメータ応答の本文スキーマ \[132 ページ\]](#)を参照してください。

例

[ドキュメントの最新表示パラメータの取得 \[620 ページ\]](#)を参照してください。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.11.2 データプロバイダの最新表示

用途

必要に応じて最新表示パラメータに入力し、クエリを実行して、Web Intelligence データプロバイダを最新表示します。

パラメータなし (要求本文なし) で最新表示を求めることができます。この場合、Web サービスは、入力が必要なコンテキストまたプロンプトを返します。パラメータの入力がない場合、データプロバイダは最新表示されます。

要求

PUT/documents/<documentID>/dataproviders/<dataproviderID>/parameters?
<optional_parameters>

この場合、

オプションパラメータ

パラメータ	説明
formattedValues	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は false です。このパラメータが true に設定されている場合には、要求の X-SAP-PVL で設定された優先表示ロケールに従って DateTime と Numeric の値の書式が設定されます。
lovInfo	オプションの論理値パラメータ。デフォルト値は true です。false に設定されている場合、値の一覧は計算されず、表示されません。

要求本文: GET .../parameters 呼び出しを使用して取得されるパラメータへの回答。XML コンテンツの構造と要素の詳細については、[回答 XML の文法 \[140 ページ\]](#)を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

すべてのパラメータに回答が行われると、最後の PUT 呼び出しにより、要求の成功を示すメッセージが返されます。

```
<success>
  <message>The resource of type "Data provider" with identifier "XX" has been
  successfully
    updated.</message>
  <id>XX</id>
</success>
```

例

[ドキュメントの最新表示 \[627 ページ\]](#)を参照してください。

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[データプロバイダの一覧の取得 \[556 ページ\]](#)

8.12 ドキュメントのスケジュール

スケジュールを実行すると、ドキュメントは、特定の時刻に指定された形式で出力先に送信されます。スケジュールの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* ラUNCHパッドユーザガイドを参照してください。

[スケジュールの一覧の取得 \[668 ページ\]](#)

[スケジュールの詳細の取得 \[669 ページ\]](#)

[スケジュールの追加 \[671 ページ\]](#)

[スケジュールの削除 \[677 ページ\]](#)

8.12.1 スケジュールの一覧の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントの既存のスケジュールの一覧を取得します。

① 注記

ドキュメントの詳細でスケジュール情報を確認することができます。応答本文で返される `<schedules>` 要素は、ドキュメントがスケジュールされている場合は `true`、それ以外の場合は `false` になります。

要求

GET/documents/<documentID>/schedules

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の情報が含まれるドキュメントのスケジュールの一覧。

- `<id>`
- `<name>`
- `<format>` タイプ (webi、pdf、xls、csv、csvArchive、txt、またはhtmlArchive)
- `<status>` (Pending、Running、Paused、Completed、Warning、Expired、またはFailed)

例

```
<schedules>
  <schedule>
    <id>28600</id>
    <name>instanceWebi2Inbox</name>
    <format type="webi" />
    <status id="1">Completed</status>
  </schedule>
  <schedule>
    <id>28609</id>
    <name>instancePDF</name>
    <format type="pdf" />
    <status id="1">Completed</status>
  </schedule>
  <schedule>
    <id>28651</id>
    <name>instanceWebi2Inbox</name>
    <format type="webi" />
    <status id="1">Completed</status>
  </schedule>
  <schedule>
    <id>28810</id>
    <name>instanceWebI</name>
    <format type="webi" />
    <status id="1">Completed</status>
  </schedule>
  <schedule>
    <id>28930</id>
    <name>instanceTXT</name>
    <format type="txt" />
    <status id="1">Completed</status>
  </schedule>
</schedules>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

8.12.2 スケジュールの詳細の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントのスケジュールの詳細を取得します。

要求

GET/documents/<documentID>/schedules/<scheduleID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文:

```
<schedule>
  <id>
  <name>
  <format type="webi|pdf|xls|csv|csvArchive|txt|htmlArchive">
  <deliveryRules>
  <status id="0|1|3|8|9|13|14">
  <updated>
  <destination>
  <error>
  recurrence_expression
  <serverGroup id="integer" required="Boolean"/>
  <parameters>
</schedule>
```

応答本文の説明については、[スケジュール \[150 ページ\]](#)を参照してください。

例

GET /documents/8023/schedules/9439

```
<schedule>
  <id>9439</id>
  <name>now-schedule</name>
  <format type="webi"/>
  <status id="1">Completed</status>
  <updated>2015-09-07T08:51:53.214+02:00</updated>
  <destination>
    <ftp>
      <host>vs0202</host>
      <port>21</port>
      <username>admin</username>
      <account/>
      <directory>./</directory>
    </ftp>
  </destination>
  <once retriesAllowed="0" retryIntervalInSeconds="1800">
    <startdate>2014-06-18T14:19:00.000+02:00</startdate>
    <enddate>2014-06-18T14:20:00.000+02:00</enddate>
  </once>
  <serverGroup id="0" required="false"/>
  <parameters>
    <parameter dpId="DP0">
      <id>1</id>
      <technicalName>Enter value(s) for Year</technicalName>
      <name>Enter value(s) for Year</name>
      <answer>
        <values>
          <value>2005</value>
        </values>
      </answer>
    </parameter>
  </parameters>
</schedule>
```

失敗の場合、応答にエラーメッセージが含まれます。次のようになります。

```
<schedule>
  <id>9439</id>
  <name>now-schedule</name>
  <format type="webi"/>
  <deliveryRules>
    <deliveryRule>
      <id>ContainsData</id>
      <status>Failed</status>
    </deliveryRule>
  </deliveryRules>
  <status id="3">Failed</status>
  <error>
    <error_code>FWB 00031</error_code>
    <message>Destination disabled. []: [CrystalEnterprise.Ftp]. Please note
the name      of the job server used for your request and contact your system
administrator
      to make sure the specified destination is enabled. (FWB 00031)</
message>
    </error>
    <destination>
      <ftp>
        ...
      </ftp>
    </destination>
    ...
  </schedule>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[スケジュールの一覧の取得 \[668 ページ\]](#)

8.12.3 スケジュールの追加

用途

Web Intelligence ドキュメントに新しいスケジュールを追加します。

スケジュールは、今すぐ、1回限り、毎日、毎時、または毎月実行できます。スケジュールはプロンプトによってトリガすることができます。また、スケジュールの実行に使用するサーバグループを選択できます。

① 注記

スケジュール情報は、呼び出し `GET /documents/<documentID>` によって取得されたドキュメント詳細で確認することができます。応答本文で返される `<scheduled>` 要素は、ドキュメントがスケジュールされている場合は `true`、それ以外の場合は `false` になります。

要求

POST/documents/<documentID>/schedules

要求本文: 要求本文の説明については、[スケジュール \[150 ページ\]](#) を参照してください。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例 - 今すぐのスケジュールのファイルシステム出力先 [672 ページ]

例 - 1 回限りのスケジュールの FTP 出力先 [673 ページ]

例 - 毎時スケジュールの SFTP 出力先 [673 ページ]

例 - 毎時スケジュールのメール送信先 [674 ページ]

例 - プロンプトを含む日次スケジュールの受信ボックス出力先 [675 ページ]

例 - 特定ユーザに対する毎月のスケジュールの受信ボックス出力先 [676 ページ]

例 - サーバグループのスケジュール [676 ページ]

8.12.3.1 例 - 今すぐのスケジュールのファイルシステム出力先

この例では、ファイルシステム出力先を使用して Web Intelligence ドキュメントを PDF 形式で "今すぐ" スケジュールする方法を示します。ドキュメントは、C:\¥tmp ディレクトリに保存されます。デフォルトのフォルダは使用されません。

例

POST /documents/8002/schedules

要求本文:

```
<schedule>
  <name>nameOfSchedule</name>
  <format type="pdf"/>
  <destination>
    <filesystem>
      <username>user name</username>
      <password>user password</password>
      <directory>C:/tmp</directory>
    </filesystem>
  </destination>
</schedule>
```

8.12.3.2 例 - 1 回限りのスケジュールの FTP 出力先

この例では、FTP を経由して Web Intelligence ドキュメントを Microsoft Excel 形式でスケジュールの実行を一回限り行う方法を示します。

例

POST /documents/8002/schedules

要求本文:

```
<schedule>
  <name>nameOfSchedule</name>
  <format type="xls"/>
  <destination>
    <ftp>
      <host>server name</host>
      <port>21</port>
      <username>admin</username>
      <password>admin</password>
      <directory>¥server_name¥FTP</directory>
    </ftp>
  </destination>
  <once retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60">
    <startdate>2012-08-26T15:58:51.000+02:00</startdate>
    <enddate>2013-08-27T15:58:51.000+02:00</enddate>
  </once>
</schedule>
```

8.12.3.3 例 - 毎時スケジュールの SFTP 出力先

この例では、SFTP を使用して Web Intelligence ドキュメントの毎時スケジュールを実行する方法について説明します。

例: デフォルト値の使用

POST /documents/7037/schedules

デフォルト値は CMC から取得されます。

要求本文:

```
<schedule>
  <name>sftp</name>
  <format type="webi"/>
  <destination>
    <sftp>
      <directory>/tmp</directory>
    </sftp>
  </destination>
```

```
</schedule>
```

例: 特定値の使用

POST /documents/7037/schedules

出力先の詳細によってデフォルト値が上書きされます。

要求本文:

```
<schedule>
  <name>my SFTP schedule</name>
  <format type="webi"/>
  <destination>
    <sftp>
      <host>server name</host>
      <port>22</port>
      <username>user name</username>
      <directory>/tmp/</directory>

    <fingerprint>c3:52:c6:de:5f:f9:98:fd:05:c8:53:ea:af:64:6b:fb:ad:36:00:47</fingerprint>
    </sftp>
    <hourly retriesAllowed="4" retryIntervalInSeconds="30">
      <startdate>2015-01-01T14:00:00+02:00</startdate>
      <enddate>2015-12-31T14:00:00+02:00</enddate>
      <hour>12</hour>
      <minute>0</minute>
    </hourly>
  </destination>
</schedule>
```

8.12.3.4 例 - 毎時スケジュールのメール送信先

この例では、電子メールアドレスに Web Intelligence ドキュメントのデフォルト形式での毎時スケジュールを実行する方法 (2012 年 8 月 26 日から 2012 年 9 月 14 までの毎時) を示します。スケジュールが失敗した場合、60 秒間隔で 2 回の再試行が行われます。

SSL を使用した電子メールアドレスへのドキュメントの送信をスケジュールするには、要求本文に以下の行を追加します。

```
<mail>
  ...
  <enableSSL>true</enableSSL>
</mail>
```

→ 注意

SSL を使用した電子メールアドレスへのドキュメントの送信をスケジュールするには、BI プラットフォームを適切に設定しておきます。KBA n° 2263613 「SSL を使用した SMTP の設定方法」を参照してください。

例

POST /documents/8002/schedules

要求本文:

```
<schedule>
  <name>nameOfSchedule</name>
  <format type="webi"/>
  <destination>
    <mail>
      <from>somebody@company.com</from>
      <to>person1@company.com;person2@company.com</to>
      <cc>somebody_in_copy@company.com</cc>
      <bcc>list_of_people_in_blind_copy.company.com</bcc>
      <subject>Web Intelligence Restful WS</subject>
      <message>Text to send</message>
      <addAttachment>true</addAttachment>
    </mail>
  </destination>
  <hourly retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="30">
    <startdate>2012-08-26T14:00:00+02:00</startdate>
    <enddate>2012-09-14T16:00:00+02:00</enddate>
    <hour>1</hour>
    <minute>0</minute>
  </hourly>
</schedule>
```

8.12.3.5 例 - プロンプトを含む日次スケジュールの受信ボックス出力先

この例では、Web Intelligence ドキュメントの日次スケジュールをデフォルト形式で受信ボックスに対して実行する方法を示します。デフォルトでは、スケジュールされたドキュメントは常に送信者に送信されます。

ドキュメントにプロンプトが含まれるため、要求本文はプロンプトへの応答も提供します。プロンプトテキスト名は "Enter State:" であり、データプロバイダで値 "Texas"、識別子として "DPO" が含まれます。

例

POST /documents/8002/schedules

要求本文:

```
<schedule>
  <name>nameOfSchedule</name>
  <format type="webi"/>
  <destination>
    <inbox/>
  </destination>
  <daily retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60">
    <startdate>2012-08-26T15:58:51.000+02:00</startdate>
    <enddate>2012-09-14T15:58:51.000+02:00</enddate>
    <dayinterval>1</dayinterval>
  </daily>
```

```

<parameters>
  <parameter optional="false" type="prompt" dpId="DP0">
    <id>0</id>
    <technicalName>Enter State:</technicalName>
    <answer constrained="false" type="text">
      <values>
        <value>Texas</value>
      </values>
    </answer>
  </parameter>
</parameters>
</schedule>

```

8.12.3.6 例 - 特定ユーザに対する毎月のスケジュールの受信ボックス出力先

この例では、Web Intelligence ドキュメントを毎月デフォルト形式で、4 つのユーザ ID を指定する受信ボックスに対してスケジュールする方法を示します。値 `shortcut` で `sendAs` タグを指定することにより、スケジュールされたドキュメントがショートカットとして送信されます。

例

POST /documents/8002/schedules

要求本文:

```

<schedule>
  <name>nameOfSchedule</name>
  <format type="webi"/>
  <destination>
    <inbox>
      <to>11,12,1,2</to>
      <sendAs type="shortcut"/>
    </inbox>
  </destination>
  <monthly retriesAllowed="2" retryIntervalInSeconds="60">
    <startdate>2012-08-26T15:58:51.000+02:00</startdate>
    <enddate>2013-09-14T15:58:51.000+02:00</enddate>
    <month>1</month>
  </monthly>
</schedule>

```

8.12.3.7 例 - サーバグループのスケジュール

この例では、特定のサーバグループのサーバで Web Intelligence ドキュメントのスケジュールを実行する方法を示します。

例

```
<schedule>
  <name>nameOfSchedule</name>
  <format type="webi"/>
  <serverGroup id="6839" required="true"/>
</schedule>
```

8.12.4 スケジュールの削除

用途

Web Intelligence ドキュメントのスケジュールを削除します。

Request

DELETE/documents/<documentID>/schedules/<scheduleID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

```
<success>
  <message>The resource of type "schedule" with identifier "9372" has been
  successfully removed.
  <id>9372</id>
</success>
```

関連情報

[ドキュメントの一覧の取得 \[225 ページ\]](#)

[スケジュールの一覧の取得 \[668 ページ\]](#)

8.13 パブリケーションの管理

パブリケーションは、不特定多数の受信者に送信するドキュメントのコレクションです。

ドキュメントを配信する前に、公開者はメタデータのコレクションを使用してパブリケーションを定義します。このメタデータには、パブリケーションのソース、受信者、および適用されるパーソナライゼーションが含まれます。

8.13.1 パブリケーションの詳細の取得

用法

既存のパブリケーションに関する詳細を取得します。

要求

GET /publications/<publicationId>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

例 (XML)

GET /publications/7412

応答:

```
<publication>
  <id>7412</id>
  <cuid>ARHGyoJe1.hEkn1XlHI9sj8</cuid>
  <name>pub_multi_docs</name>
  <folderId>6532</folderId>
  <updated>2019-04-05T12:45:42.570Z</updated>
  <createdBy>raylight_user</createdBy>
  <documents>
    <document>
      <id>7001</id>
      <parameters>
```

```

        <parameter>
          <id>1</id>
          <technicalName>Enter State:</technicalName>
          <name>Enter State:</name>
          <answer>
            <values>
              <value>New York</value>
            </values>
          </answer>
        </parameter>
      </parameters>
    </document>
  <document>
    <id>7145</id>
    <parameters>
      <parameter>
        <id>1</id>
        <technicalName>psEnter Res Date:</technicalName>
        <name>psEnter Res Date:</name>
        <answer>
          <values>
            <value>2010-10-22 00:00:00</value>
          </values>
        </answer>
      </parameter>
    </parameters>
  </document>
  <document>
    <id>7239</id>
    <parameters>
      <parameter>
        <id>1</id>
        <technicalName>Enter values for Country:</technicalName>
        <name>Enter values for Country:</name>
        <answer>
          <values>
            <value>Holland</value>
          </values>
        </answer>
      </parameter>
    </parameters>
  </document>
  <document>
    <id>7245</id>
  </document>
</documents>
</publication>

```

8.14 共有要素の管理

共有要素は、CMS リポジトリに格納されているレポートパーツであり、複数のドキュメントで複数のユーザーが使用できます。

以下の視点から共有要素を考慮する API が提供されています。

- CMS リポジトリ
共有要素オブジェクトの参照、詳細取得、編集、および CMS リポジトリからの削除を実行できます。
- Web Intelligence ドキュメント
ドキュメントに挿入されているすべての共有要素を取得して、それらの共有要素を1つのみ更新するか、またはすべて更新できます。ドキュメントからレポート要素を作成して、共有要素をドキュメントに挿入します。

- Web Intelligence ドキュメントのレポート要素
ドキュメントのレポート要素から共有要素を作成できます。レポート要素にリンクされている共有要素を参照して、レポート要素と共有要素のリンクを削除することもできます。

共有要素の詳細については、SAP BusinessObjects Web Intelligence ユーザガイドを参照してください。

関連情報

[共有要素 API \[358 ページ\]](#)

8.14.1 共有要素の一覧の取得

用途

CMS リポジトリに保存されているすべての共有要素の一覧を取得します。

InfoObject と同様に、以下の項目は共有要素と認識されます。

- ID
- CUID
- 名前
- 説明
- フォルダ ID

要求

GET/sharedelements?<optional_parameters>

この場合、

オプションパラメータ

パラメータ	説明
<limit>	オプションの整数パラメータ。返される共有要素の最大数。範囲は 1 ～ 50 です。デフォルト値は 10 です。
<offset>	オプションの整数パラメータ。一覧の先頭からのオフセット。デフォルトは 0 です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本体: 共有要素の一覧。

例: XML

GET /sharedelements?limit=50&offset=0

応答:

```
<sharedelements>
  <sharedelement>
    <id>7691</id>
    <cuid>AT_AVOLuUnBDs.REtpUs6P8</cuid>
    <name>My shared element Cell</name>
    <description>... my description ...</description>
    <folderId>6426</folderId>
  </sharedelement>
  <sharedelement>
    <id>7699</id>
    <cuid>AdcViLuUORtHku0tboAIFW8</cuid>
    <name>My shared element form</name>
    <folderId>6426</folderId>
  </sharedelement>
  <sharedelement>
    <id>7478</id>
    <cuid>AQ8XPJDluEtAnaabTdyERLo</cuid>
    <name>My shared element VTable</name>
    <folderId>6426</folderId>
  </sharedelement>
  <sharedelement>
    <id>7672</id>
    <cuid>AZpwLbwzJS1Pp78fAU2xkP0</cuid>
    <name>My shared element HTable</name>
    <folderId>6426</folderId>
  </sharedelement>
</sharedelements>
```

例: JSON

応答:

```
{
  "sharedelements": {
    "sharedelement": [
      {
        "id": 7691,
        "cuid": "AT_AVOLuUnBDs.REtpUs6P8",
        "name": "My shared element Cell",
        "description": "... my description ...",
        "folderId": 6426
      },
      {
        "id": 7699,
        "cuid": "AdcViLuUORtHku0tboAIFW8",
        "name": "My shared element VTable",
        "folderId": 6426
      },
      {
        "id": 7478,
        "cuid": "AQ8XPJDluEtAnaabTdyERLo",
        "name": "My shared element VTable",
        "folderId": 6426
      },
      {
        "id": 7672,
        "cuid": "AZpwLbwzJS1Pp78fAU2xkP0",
        "name": "My shared element HTable",
        "folderId": 6426
      }
    ]
  }
}
```

```

    "id": 7478,
    "cuid": "AQ8XPJDluEtAnaabTdyERLo",
    "name": "My shared element HTable",
    "folderId": 6426
  },
  {
    "id": 7672,
    "cuid": "AZpwLbwzJS1Pp78fAU2xkP0",
    "name": "My shared element Visualization",
    "folderId": 6426
  }
]
}
}

```

8.14.2 共有要素の詳細の取得

用途

CMC リポジトリで、特定の共有要素を ID で参照してその詳細を取得します。

要求

GET/sharedelements/<sharedelementID>

応答:

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の情報が含まれる共有要素の定義。

- <id>
- <cuid>
- <name>
- <description>
- <folderId>
- <path>
- <updated>
- <createdBy>
- <revision>
- <keywords>

例

GET /sharedelements/12446

応答 (XML):

```
<sharedelement>
  <id>12446</id>
  <cuid>ASBdV0lpZa9ItqHScOGNgDE</cuid>
  <name>my Form SE</name>
  <description>... my description ...</description>
  <folderId>6369</folderId>
  <path>Public Folders/MyDocuments</path>
  <updated>2016-01-11T18:53:12.000+01:00</updated>
  <createdBy>user</createdBy>
  <revision>1</revision>
  <keywords>... my keywords ...</keywords>
</sharedelement>
```

応答 (JSON):

```
{
  "sharedelement": {
    "id": "12446",
    "cuid": "ASBdV0lpZa9ItqHScOGNgDE",
    "name": "my Form SE",
    "description": "... my description ...",
    "folderId": "6369",
    "path": "Public Folders/MyDocuments",
    "updated": "2016-01-11T18:53:12.000+01:00",
    "createdBy": "user",
    "revision": "1",
    "keywords": "... my keywords ..."
  }
}
```

関連情報

[共有要素の一覧の取得 \[680 ページ\]](#)

8.14.3 共有要素の編集

用途

- 以下の情報を更新できます。
 - 名前
 - 説明
 - キーワード

改訂番号は共有要素の内容のみに関連することから、更新後に改訂番号は変わりません。

要求

PUT /sharedelements /<sharedelementID>

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文: 更新する要素の関連情報。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /sharedelements/7691

要求本文:

```
<sharedelement>
  <name>A new name</name>
  <description>A new description</description>
  <keywords>SE1 SE2 (new keywords)</keywords>
</sharedelement>
```

応答本文:

```
<success>
  <message>The resource of type "SharedElement" with identifier "7691" has
been successfully updated.</message>
  <id>7691</id>
</success>
```

関連情報

[共有要素の一覧の取得 \[680 ページ\]](#)

8.14.4 共有要素の削除

用途

CMS リポジトリの共有要素を検索することができます。

要求

DELETE /sharedelements/<sharedelementID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE /sharedelements/7691

```
<success>
  <message>The resource of type "SharedElement" with identifier "7691" has
  been successfully removed.</message>
  <id>7691</id>
</success>
```

8.14.5 ドキュメントの共有要素の使用

Web Intelligence ドキュメントに挿入された共有要素のタスクを実行するための API が提供されています。

① 注記

共有要素をドキュメントに挿入するには、ドキュメントからレポート要素を作成します。[レポート要素の作成 \[391 ページ\]](#)を参照してください。

8.14.5.1 ドキュメントの共有要素一覧の取得

用途

Web Intelligence ドキュメントに挿入されたすべての共有要素を取得します。

要求

GET /documents/<documentID>/sharedelements

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 共有要素と以下の詳細の一覧

- ID
- CUID
- 名前
- フォルダ ID
- 改訂番号

ドキュメント内の共有要素が更新されていない場合は、ここに表示される改訂番号が CMS リポジトリに存在する共有要素の現在の改訂番号と異なる可能性があります。

例

GET /documents/10897/sharedelements

応答 (XML):

```
<sharedelements>
  <shardelement>
    <id>10920</id>
    <cuid>Adn7PGNeqWNCohzW8jy0a7w</cuid>
    <name>my SE VTable</name>
    <folderId>6369</folderId>
    <revision>1</revision>
  </shardelement>
  <shardelement>
    <id>12530</id>
    <cuid>AXI5fos7edBPm3xVdTw6nfs</cuid>
    <name>my SE XTable</name>
    <folderId>6350</folderId>
    <revision>3</revision>
  </shardelement>
</sharedelements>
```

応答 (JSON):

```
{
  "sharedelements": {
    "shardelement": [
      {
        "id": "10920",
        "cuid": "Adn7PGNeqWNCohzW8jy0a7w",
        "name": "my SE VTable",
        "folderId": "6369",
        "revision": "1"
      },
      {
        "id": "12530",
        "cuid": "AXI5fos7edBPm3xVdTw6nfs",
        "name": "my SE XTable",
        "folderId": "6350",
        "revision": "3"
      }
    ]
  }
}
```

```
]
}
```

8.14.5.2 ドキュメントの共有要素の更新

用途

CMS リポジトリに格納されている共有要素の最新の改訂を使用して、現在のドキュメントで使用されているすべての共有要素を更新します。

要求

PUT /documents/<documentID>/shardelements/<shardelementID>

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/10988/shardelements/10986

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "10988" has been
successfully updated.</message>
  <id>10988</id>
</success>
```

8.14.5.3 ドキュメントのすべての共有要素の更新

用途

CMS リポジトリに格納されている共有要素の最新の改訂を使用して、現在のドキュメントで使用されているすべての共有要素が更新されます。

要求

PUT /documents<documentID>/shardelements

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

PUT /documents/10968/shardelements

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Document" with identifier "10968" has been
successfully updated.</message>
  <id>10968</id>
</success>
```

8.14.6 リンクされたレポート要素の使用

8.14.6.1 共有要素としてのレポート要素の保存

用途

ドキュメントのレポート要素から共有要素を作成できます。作成された共有要素は CMS リポジトリに格納されて、レポート要素にリンクされますが、ドキュメントには挿入されません。

① 注記

共有要素をドキュメントに挿入するには、ドキュメントからレポート要素を作成します。[レポート要素の作成 \[391 ページ\]](#)を参照してください。

CMS リポジトリにすでに存在している共有要素を更新することもできます。それには、要求本文で共有要素の名前とフォルダを指定します。レポート要素と共有要素はリンクしていることから、レポート要素コンテンツは共有要素にロードされて、改訂番号が大きくなります。

要求

POST/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/shardelement

要求タイプ:application/xml または application/json

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

POST documents/6987/reports/1/elements/15/shardelement

要求:

```
<shardelement>
  <name>My shared element VTable</name>
  <description>... my description ...</description>
  <keywords>... my keywords ...</keywords>
  <folderId>6426</folderId>
</shardelement>
```

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "SharedElement" with identifier "7691" has
  been successfully created.</message>
  <id>7691</id>
</success>
```

8.14.6.2 レポート要素にリンクされた共有要素の詳細の取得

用途

ドキュメントのレポート要素から作成されてレポート要素にリンクされている共有要素の詳細を取得します。

共有要素はそのドキュメントに挿入されています。共有要素には独自の改訂番号があります。

要求

GET/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/shardelement

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本体: 共有要素の詳細。

例

GET documents/12593/reports/2/elements/4/sharedelement

応答 (XML):

```
<sharedelement>
  <id>12591</id>
  <cuid>AYWBcqcvs5KmmGbR6sZeG4</cuid>
  <name>my shared element XTable</name>
  <folderId>6369</folderId>
  <path>Public Folders/MyDocuments</path>
  <updated>2016-01-11T19:05:42.000+01:00</updated>
  <createdBy>user</createdBy>
  <revision>1</revision>
</sharedelement>
```

応答 (JSON):

```
{
  "sharedelement": {
    "id": "12591",
    "cuid": "AYWBcqcvs5KmmGbR6sZeG4",
    "name": "my shared element XTable",
    "folderId": "6369",
    "path": "Public Folders/MyDocuments",
    "updated": "2016-01-11T19:05:42.000+01:00",
    "createdBy": "user",
    "revision": "1"
  }
}
```

8.14.6.3 共有要素とレポート要素のリンク解除

用途

共有要素を作成する際に基となったドキュメントのレポート要素と共有要素の間のリンクを解除します。

レポート要素のコンテンツはドキュメント内に残ります。CMS リポジトリで共有要素が更新された場合は、ドキュメント内の共有要素は最新でなくなります。

要求

DELETE/documents/<documentID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/sharedelement

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答は、要求の成功または失敗を示すメッセージです。

例

DELETE documents/6987/reports/1/elements/15/sharedelement

応答:

```
<success>
  <message>The resource of type "Report element" with identifier "15" has been
successfully updated.</message>
  <id>6987</id>
</success>
```

8.15 リソースの検索

CMS リポジトリに存在する関心のあるリソースを取得するための API が提供されています。

このリリースでは、タイプがフォルダ、ユニバース、接続、Web Intelligence ドキュメント、Microsoft Excel ファイル、および CSV ファイルであるリソースを検索することができます。

[リソースの取得 \[691 ページ\]](#)

8.15.1 リソースの取得

用途

検索パターンに応じて CMS リポジトリに保存されているリソースの一覧を返します。

次のリソースを検索することができます。

- フォルダ
- ユニバース

- 接続
- Web Intelligence ドキュメント
- Microsoft Excel ファイル
- CSV ファイル

検索の対象は意味のあるビジネスインテリジェンスリソースになるため、フォルダのみを検索することはできません。

フォルダ、スプレッドシート、ドキュメント、および CSV ファイルは、識別子で検索することができます。ユニバースと接続は、リソースタイプとフォルダ ID で検索することができます。フォルダ ID が指定されないと、CMS リポジトリのルートフォルダで検索が実行されます。

要求

POST/searches?<optional_parameters>

オプションパラメータ

パラメータ	説明
limit	オプションの整数パラメータ。リソースタイプごとに返されるリソースの最大数を指定します。範囲は [0, 1000] です。デフォルト値は 1000 です。
offset	オプションの整数パラメータ。一覧の先頭からのオフセットを指定します。範囲は [0, *] です。デフォルト値は 0 です。

要求タイプ: application/xml または application/json

要求本文:

```
<search>
  <folder>
    <folderId>
  <connection>
    <type>
    <folderId>
  <universe>
    <type>
    <folderId>
  <spreadsheet>
    <folderId>
  <document>
    <folderId>
  <csvfile>
    <folderId>
```

この場合、

- <folderId> はフォルダ ID です。省略可能です。
- <type> は、ユニバースタイプ (unx または unv)、または接続タイプ (Relational、Olap、FlattenedOlap、または DataFederation) です。省略可能です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 次の情報を使用して要求されたリソースの一覧:

- フォルダ ID、CUID、名前、および親フォルダ ID
- ユニバース ID、CUID、名前、型、およびフォルダ ID
- 接続タイプとフォルダ ID
- ドキュメント ID、CUID、名前、およびフォルダ ID
- Microsoft Excel ファイル ID、CUID、名前、およびフォルダ ID
- CSV ファイル ID、CUID、名前、およびフォルダ ID

例: ルートフォルダからのユニバースの検索 (XML)

要求タイプと応答タイプは application/xml です。

要求本文:

```
<search>
  <universe/>
</search>
```

応答:

```
<search>
  <universe>
    <id>6912</id>
    <cuid>AViz5oUgKhRLrfeDYOPufRk</cuid>
    <name>Refbeach</name>
    <type>unv</type>
    <folderId>532</folderId>
  </universe>
</search>
```

例: ルートフォルダからのユニバースとフォルダの検索 (XML)

要求タイプと応答タイプは application/xml です。

要求本文:

```
<search>
  <folder/>
  <universe/>
</search>
```

応答:

```
<search>
  <folder>
```

```

        <id>6011</id>
        <cuid>AVHaHy88GNRHmJCGmL6wBQo</cuid>
        <name>CMSREF_UNIVERSES</name>
        <folderId>532</folderId>
    </folder>
    <folder>
        <id>7619</id>
        <cuid>AZzzdaim0c9IoT9ZFnaimeu</cuid>
        <name>MyUniverses</name>
        <folderId>532</folderId>
    </folder>
    <universe>
        <id>6912</id>
        <cuid>AViz5oUgKhRLrfeDYOPufRk</cuid>
        <name>Refbeach</name>
        <type>unv</type>
        <folderId>532</folderId>
    </universe>
</search>

```

例: 特定フォルダでのフォルダとユニバースの検索 (JSON)

ID 7619 のフォルダで検索が実行されます。

要求タイプと応答タイプは application/json です。

要求本文:

```

{
  "search": {
    "folder": {
      "folderId": "7619"
    },
    "universe": {
      "type": "unx", "folderId": "7619"
    }
  }
}

```

応答:

```

{
  "search": {
    "folder": {
      "id": "7619", "cuid": "AZzzdaim0c9IoT9ZFnaimeu", "name": "MyUniverses",
      "folderId": "532"
    },
    "universe": [
      {
        "id": "7777", "cuid": "AbP4G5D9C6BMnOL6k0NzLpk", "name": "ADW.unx",
        "type": "unx", "folderId": "7619"
      },
      {
        "id": "7784", "cuid": "AdlMl0EJrmNCmQP0UUttgog", "name": "Beach For
        Calculations.unx", "type": "unx", "folderId": "7619"
      }
    ]
  }
}

```

例: 特定のフォルダでのフォルダおよび Microsoft Excel ファイルの検索 (XML)

ID 6335 のフォルダで検索が実行されます。

要求タイプと応答タイプは application/xml です。

要求本文:

```
<search>
  <folder>
    <folderId>6335</folderId>
  </folder>
  <spreadsheet>
    <folderId>6335</folderId>
  </spreadsheet>
</search>
```

応答:

```
<search>
  <folder type="Standard">
    <id>6343</id>
    <cuid>Ad87hZEPBJZBg1oLHNBPeVM</cuid>
    <name>Defects</name>
    <folderId>6335</folderId>
  </folder>
  <folder type="Standard">
    <id>6337</id>
    <cuid>Ado_TI0ofMlMoFAuwCgUpqE</cuid>
    <name>Folder1</name>
    <folderId>6335</folderId>
  </folder>
  <spreadsheet>
    <id>6565</id>
    <cuid>AcadmBdXmRFHuVl.EiHMj5M</cuid>
    <name>CORPDEMO_refreshDP.xlsx</name>
    <folderId>6335</folderId>
  </spreadsheet>
  <spreadsheet>
    <id>6567</id>
    <cuid>AeZCd6SF6LRMp0MV2B5DaS8</cuid>
    <name>Excel_002</name>
    <folderId>6335</folderId>
  </spreadsheet>
</search>
```

8.16 Web Intelligence RESTful Web サービス SDK を使用したユニバースの管理

SAP BusinessObjects Web Intelligence RESTful Web サービス SDK を使用してユニバースでタスクを実行するために API は用意されています。

[ユニバースの一覧の取得 \(Web Intelligence\) \[696 ページ\]](#)

[ユニバースの詳細の取得 \(Web Intelligence\) \[697 ページ\]](#)

[ユニバースのクエリ機能の取得 \(Web Intelligence\) \[701 ページ\]](#)

8.16.1 ユニバースの一覧の取得 (Web Intelligence)

用途

ユーザがユーザアクセス権に応じてアクセスできるユニバースの一覧を取得します。

Request

GET/universes?type=<type>&offset=<offset>&limit=<limit>

要求タイプ: application/xml または application/json

クエリパラメータ:

- <type> はユニバースの種類を示します。可能な値は、unv、unx および all です。デフォルト値は all です。このパラメータは省略できます。
- <offset> は、ユニバースが返される一覧での位置を示します。これは 0 以上にする必要があります。デフォルト値は 0 です。このパラメータは省略できます。
- <limit> は、1 ページに表示できるユニバースの数を示します。この範囲は 1 ～ 50 です。デフォルト値は 10 です。このパラメータは省略できます。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: 以下の情報が含まれる、ユーザのユニバース一覧。

- <id>
- <cuid>
- <name>
- <type>
- <folderId>

例

GET /universes?type=unx&limit=2

```
<universes>
  <universe>
    <id>6773</id>
    <cuid>AXyRzvmRrJxLqUm6_Jbf7lE</cuid>
    <name>efashion.unx</name>
    <type>unx</type>
    <folderId>6771</folderId>
  </universe>
```

```

<universe>
  <id>5612</id>
  <cuid>AYCKrid6ngFGvrKlwVfZKj4</cuid>
  <name>Salary.unv</name>
  <type>unv</type>
  <folderId>509</folderId>
</universe>
...
</universes>

```

8.16.2 ユニバースの詳細の取得 (Web Intelligence)

用途

ユニバースの ID を参照して、ユニバースの詳細を取得します。

要求

GET/universes/<universeID>?aggregated=<aggregated>

この場合、

- <aggregated> は、ユニバースが UNX のみの場合にサポートされるオプションの論理値パラメータです。これは、ユニバースが UNV の場合は無視されます。

返されるユニバースの詳細は <aggregated> 値によって異なります。

- true の場合、呼び出しによりすべてのフォルダを含むアウトラインおよびユーザに付与されたオブジェクトが返されます。アウトラインには、付与されたビジネスビューからすべての付与されたオブジェクトが結合され、すべてのオブジェクトのプロパティ (ID、パス、名前など) が含まれます。
- false の場合、呼び出しにより付与された場合はマスタビューが返され、マスタビューが拒否された場合はデフォルトビューが返されます。<businessViewName> 要素を使用して、アウトラインにデフォルトビューの名前が返されます。この動作は SDK の 4.1 SP5 より前のバージョンに実装されます。

マスタビューが付与されている場合、呼び出し .../<universeID>?aggregated=false および .../<universeID>?aggregated=true によって返されるアウトラインは、aggregated アウトライン属性値を除いて同一です。

応答

応答タイプ: application/xml または application/json

応答本文: ユニバースの詳細については、[ユニバース \[156 ページ\]](#)を参照してください。

例: マスタビューが付与されている場合

GET /universes/9100?aggregated=false

または

GET /universes/9100

```
<universe>
  <id>9100</id>
  <cuid>AftJgs7FPGNBmkdNDnoG8Aw</cuid>
  <name>unx2</name>
  <type>unx</type>
  <folderId>9089</folderId>
  <path>Application Folder/Root Folder/Universes/</path>
  <connected>true</connected>
  <outline aggregated="false">
    <folder>
      <name>City</name>
      <item type="BODimension" dataType="Numeric">
        <name>City Id</name>
        <id>D01</id>
        <path>City|folder¥City Id|dimension</path>
      </item>
      <item type="BODimension" dataType="String">
        <name>City</name>
        <id>D02</id>
        <path>City|folder¥City|dimension</path>
      </item>
      <item type="BODimension" dataType="Numeric">
        <name>Region Id</name>
        <id>D03</id>
        <path>City|folder¥Region Id|dimension</path>
      </item>
    </folder>
    <folder>
      <name>Country</name>
      <item type="BODimension" dataType="Numeric">
        <name>Country Id</name>
        <id>D04</id>
        <path>Country|folder¥Country Id|dimension</path>
      </item>
      <item type="BODimension" dataType="String">
        <name>Country</name>
        <id>D05</id>
        <path>Country|folder¥Country|dimension</path>
      </item>
    </folder>
    <folder>
      <name>Customer</name>
      <item type="BODimension" dataType="Numeric">
        <name>Cust Id</name>
        <id>D06</id>
        <path>Customer|folder¥Cust Id|dimension</path>
      </item>
      <item type="BODimension" dataType="String">
        <name>First Name</name>
        <id>D07</id>
        <path>Customer|folder¥First Name|dimension</path>
      </item>
      ...
      <item type="BODimension" dataType="Numeric">
        <name>City Id</name>
        <id>D0c</id>
        <path>Customer|folder¥City Id|dimension</path>
      </item>
      ...
    </folder>
  </outline>
</universe>
```

```

</folder>
...
<folder>
  <name>Reject</name>
  <item type="BODimension" dataType="Numeric">
    <name>Item Id</name>
    <id>D01e</id>
    <path>Reject|folder¥Item Id|dimension</path>
  </item>
  <item type="BODimension" dataType="dateTime">
    <name>Inspection Time</name>
    <id>D01f</id>
    <path>Reject|folder¥Inspection Time|dimension</path>
  </item>
  <item type="BODimension" dataType="String">
    <name>Defect Type</name>
    <id>D020</id>
    <path>Reject|folder¥Defect Type|dimension</path>
  </item>
  <item type="BODimension" dataType="String">
    <name>Nb Rejected</name>
    <id>D021</id>
    <path>Reject|folder¥Nb Rejected|dimension</path>
  </item>
</folder>
<folder>
  <name>Inspection</name>
  <item type="BODimension" dataType="Numeric">
    <name>Item Id</name>
    <id>D022</id>
    <path>Inspection|folder¥Item Id|dimension</path>
  </item>
  <item type="BODimension" dataType="dateTime">
    <name>Inspection Time</name>
    <id>D023</id>
    <path>Inspection|folder¥Inspection Time|dimension</path>
  </item>
  <item type="BODimension" dataType="String">
    <name>Nb Inspected</name>
    <id>D024</id>
    <path>Inspection|folder¥Nb Inspected|dimension</path>
  </item>
</folder>
...
<folder>
  <name>unv2 Measures</name>
  <item type="Measure" dataType="Numeric">
    <name>Number of Measurement Value</name>
    <id>D035</id>
    <path>unv2 Measures|folder¥Number of Measurement Value|measure</
path>
  </item>
  <item type="Measure" dataType="Numeric">
    <name>Min of Measurement Value</name>
    <id>DD036</id>
    <path>unv2 Measures|folder¥Min of Measurement Value|measure</
path>
  </item>
  ...
  <item type="Measure" dataType="Numeric">
    <name>Number of Nb Rejected</name>
    <id>D039</id>
    <path>unv2 Measures|folder¥Number of Nb Rejected|measure</path>
  </item>
</folder>
</outline>
</universe>

```

例: マスタビューが拒否されている場合

GET /universes/9100?aggregated=false

または

GET /universes/9100

応答:

```
<universe>
  <id>9100</id>
  <cuid>AftJgs7FPGNBmkdNDnoG8Aw</cuid>
  <name>unx2</name>
  <type>unx</type>
  <folderId>9089</folderId>
  <path>Application Folder/Root Folder/Universes/</path>
  <connected>true</connected>
  <outline aggregated="false">
    <businessViewName>MyView</businessViewName>
    <folder>
      ...
    </folder>
  </outline>
</universe>
```

例: 呼び出しで集計アウトラインが要求される場合

GET /universes/9100?aggregated=true

応答:

```
<universe>
  <id>9100</id>
  <cuid>AftJgs7FPGNBmkdNDnoG8Aw</cuid>
  <name>unx2</name>
  <type>unx</type>
  <folderId>9089</folderId>
  <path>Application Folder/Root Folder/Universes/</path>
  <connected>true</connected>
  <outline aggregated="true">
    <folder>
      ...
    </folder>
  </outline>
</universe>
```

関連情報

[ユニバースの一覧の取得 \(Web Intelligence\) \[696 ページ\]](#)

8.16.3 ユニバースのクエリ機能の取得 (Web Intelligence)

用途

ユニバースのクエリ機能を取得します。

Request

GET/universes/<universeID>/capabilities

応答

応答タイプ: text/xml

応答本文: ユーザ権限に応じた以下のユニバースの機能。

- 一般的なクエリ機能
- データ処理機能
- フィルタ機能: サポートされるサブクエリ、フィルタの結果階層、オブジェクト比較、定数比較、クエリオンクエリ、および以下の一覧。
 - サポートされる比較演算子の一覧
 - サポートされる論理演算子の一覧
 - サポートされるオブジェクトタイプの一覧
 - クエリオンクエリのサポートされる比較演算子の一覧
- 結果オブジェクト機能

例

GET /universes/2234/capabilities

```
<datasource:QueryCapability xmlns:datasource="http://com.sap.sl.datasource">
  <generalCapability combinedQueriesSupported="true"
viewQueryScriptAvailable="true" maxValuesForInList="999"/>
  <dataProcessingCapability removeDuplicateRowsAvailable="true"/>
  <filterCapability subQueriesSupported="true"
resultHierarchyInFilterSupported="false" objectComparisonSupported="true"
  constantComparisonSupported="true" queryOnQuerySupported="true">
    <supportedComparisonOperators>equal</supportedComparisonOperators>
    <supportedComparisonOperators>notEqual</supportedComparisonOperators>
    ...
    <supportedLogicalOperators>or</supportedLogicalOperators>
    ...
    <supportedObjects>attribute</supportedObjects>
    <supportedObjects>dimension</supportedObjects>
    <supportedObjects>measure</supportedObjects>
```

```

...
<queryOnQueryCapability>
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
    <value>Any</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="notEqual">
    <value>All</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="greater">
    <value>Any</value>
    <value>All</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  ...
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="between" />
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator
key="notBetween" />
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="inList">
    <value>None</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  ...
  <supportedComparisonOperatorsByCorrelationType>
    <value>inList</value>
    <value>notInList</value>
  </supportedComparisonOperatorsByCorrelationType>
  <supportedComparisonOperatorsByCorrelationType key="All">
    <value>greater</value>
    <value>greaterOrEqual</value>
    <value>less</value>
    <value>lessOrEqual</value>
    <value>notEqual</value>
  </supportedComparisonOperatorsByCorrelationType>
  ...
</queryOnQueryCapability>
<subQueryCapability>
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
    <value>Any</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="notEqual">
    <value>Any</value>
    <value>All</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="greater">
    <value>Any</value>
    <value>All</value>
  </supportedCorrelationTypesByComparisonOperator>
  ...
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="isNull" />
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="notIsNull" />
  <supportedCorrelationTypesByComparisonOperator key="like" />
  ...
  <supportedComparisonOperatorsByCorrelationType key="All">
    <value>greater</value>
    <value>greaterOrEqual</value>
    <value>less</value>
    <value>lessOrEqual</value>
    <value>equal</value>
  </supportedComparisonOperatorsByCorrelationType>
  ...
</subQueryCapability>
</filterCapability>
<resultObjectCapability useAttributeSeparatelyAvailable="true"
sortObjectsAvailable="true"
sortNonResultObjectsAvailable="true" />
</datasource:QueryCapability>

```

関連情報

[ユニバースの一覧の取得 \(Web Intelligence\) \[696 ページ\]](#)

8.17 OData によるドキュメントの内容の取得

OData API を使用すると、Web Intelligence ドキュメントのコンテンツを探索し、そのデータセットを取得できます。

最新のデータセットを取得するには、以下を実行します。

- sap_refreshdata=true パラメータを使用して、ドキュメントを最新表示します。
- ドキュメントをスケジュールし、OData を使用して最後のインスタンスからコンテンツを取得します。

8.17.1 ドキュメントのキューブおよびレポート要素の取得

用法

OData を介して Web Intelligence ドキュメントのキューブおよびレポート要素を取得します。

要求

```
GET documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc
```

応答

応答タイプ: application/json

応答により、ドキュメントのキューブおよびレポート要素の一覧が返されます。

8.17.2 ドキュメントのメタデータの取得

用法

OData を介して Web Intelligence ドキュメントのメタデータを取得します。

要求

GET documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc/\$metadata

応答

応答タイプ: application/xml

応答により、ドキュメントのキューブおよびレポート要素とそのメタデータの一覧が返されます。キューブおよびレポート要素は EntityType として公開され、そのオブジェクトは EntityType の Property として公開されます。

8.17.3 ドキュメントのキューブデータセットの取得

用法

OData を介して Web Intelligence ドキュメントのキューブデータセットを取得します。

要求

GET documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc/cube_<dataProviderID>-<flowID>

この URL は、Web Intelligence インタフェースで生成できます。データモードの [オブジェクト] タブで、キューブのコンテキストメニューを開き、[OData Web サービスリンクのコピー] を選択します。URL はクリップボードにコピーされ、他のアプリケーションで再利用することができます。

この要求では、クエリのコンテキストを変更するために使用できる [クエリパラメータ \[709 ページ\]](#) がサポートされています。

応答

応答タイプ: application/json

応答は、キューブの行を含むメッセージです。

8.17.4 ドキュメントのレポート要素データセットの取得

用法

OData を介して Web Intelligence ドキュメントのレポート要素データセットを取得します。

要求

```
GET documents/cuid_<documentCUID>/datamodel/data.svc/re_<reportID>-<elementID>
```

この URL は、Web Intelligence インタフェースで生成できます。[デザイン] モードで、レポート要素を右クリックします。コンテキストメニューで、**リンクのコピー** > **OData Web サービス** を選択します。URL はクリップボードにコピーされ、他のアプリケーションで再利用することができます。

この要求では、クエリのコンテキストを変更するために使用できる **クエリパラメータ [709 ページ]** がサポートされています。

応答

応答タイプ: application/json

応答は、レポート要素の行を含むメッセージです。

8.17.5 スケジュールの最終インスタンスのキューブとレポート要素の取得

用法

Web Intelligence ドキュメントの反復インスタンスの最終インスタンスのキューブおよびレポート要素の一覧を OData を介して取得します。

要求

```
GET documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc
```

この URL は、SAP BI ラウンチパッドのインタフェースで生成できます。これは、反復インスタンスの **[詳細]** ダイアログで生成することができます。

応答

応答タイプ: application/json

応答により、反復インスタンスの最終インスタンスのキューブおよびレポート要素の一覧が返されます。

8.17.6 スケジュールの最終インスタンスメタデータの取得

用法

Web Intelligence ドキュメントの反復インスタンスの最終インスタンスのメタデータを OData を介して取得します。

要求

```
GET documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc/$metadata
```

応答

応答タイプ: application/xml

応答により、反復インスタンスの最終インスタンスのキューブおよびレポート要素とそのメタデータの一覧が返されます。キューブおよびレポート要素は EntityType として公開され、そのオブジェクトは EntityType の Property として公開されます。

8.17.7 スケジュールの最終インスタンスのキューブデータセットの取得

用法

Web Intelligence ドキュメントの反復インスタンスの最終インスタンスから OData を介してキューブデータセットを取得します。

要求

```
GET documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/data.svc/  
cube_<dataProviderID>-<flowID>
```

この要求では、クエリのコンテキストを変更するために使用できる[クエリパラメータ \[709 ページ\]](#)がサポートされています。

応答

応答タイプ: application/json

応答は、反復インスタンスの最終インスタンスにあるキューブの行を含むメッセージです。

8.17.8 スケジュールの最終インスタンスのレポート要素データセットの取得

用法

Web Intelligence ドキュメントの反復インスタンスの最終インスタンスから OData を介してレポート要素データセットを取得します。

要求

```
GET documents/cuid_<documentCUID>/schedules/cuid_<scheduleCUID>/datamodel/  
data.svc/re_<reportID>-<elementID>
```

この要求では、クエリのコンテキストを変更するために使用できる[クエリパラメータ \[709 ページ\]](#)がサポートされています。

応答

応答タイプ: application/json

応答は、反復インスタンスの最終インスタンスにあるレポート要素の行を含むメッセージです。

8.17.9 レポート要素のデータフロー名の取得 (非推奨)

用法

OData を介して Web Intelligence レポート要素のフロー名を取得します。

この呼び出しは、SAP BI 4.3 SP3 以降非推奨になりました。

要求

```
GET documents/<documentCUID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/data.svc/  
$metadata
```

応答

応答タイプ: application/json

応答は、レポート要素によって公開される唯一のフローを含むメッセージです。このフローの名前は Flow0 です。

8.17.10 レポート要素メタデータの取得 (非推奨)

用法

OData を介して Web Intelligence レポート要素メタデータを取得します。

この呼び出しは、SAP BI 4.3 SP3 以降非推奨になりました。

要求

```
GET documents/<documentCUID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/data.svc/  
$metadata
```

応答

応答タイプ: application/xml

応答は、レポート要素のオブジェクトの一覧について説明するメッセージであり、EntityTypeのプロパティとして表示されます。

8.17.11 レポート要素データの取得 (非推奨)

用法

OData を介して Web Intelligence レポート要素データを取得します。この URL は、Web Intelligence インタフェースで生成できます。

この呼び出しは、SAP BI 4.3 SP3 以降非推奨になりました。

要求

GET documents/<documentCUID>/reports/<reportID>/elements/<elementID>/data.svc/Flow0

応答

応答タイプ: application/json

応答は、レポート要素の行を一覧表示するメッセージです。

8.17.12 要求の指定

複数のパラメータを要求に追加して要求を変更し、特定の結果を取得できます。以下の表では、これらの使用可能なパラメータを説明しています。このパラメータは省略できます。

パラメータ	応答の説明
sap_refreshdata=true	クエリフローを返す前に、ドキュメントを最新表示します。

パラメータ	応答の説明
<code>sap_user_prompt=(answeredPrompt,...)</code>	<p>ドキュメントを最新表示するときに、<code>sap_refreshdata=true</code> とともに使用してプロンプトに回答します</p> <p>回答されたプロンプトの構文は<code><promptID in (value1, value2, ...)></code>です。それぞれの意味は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字列値は二重引用符で囲む必要があります。エスケープコードは %27 です。 スペース文字は %20 でエスケープする必要があります。 <code><promptID></code>はプロンプト ID です。ドキュメントのメタデータを取得すると、EntityType "prompts" の下にプロンプト ID が一覧表示されます。 <p>例:</p> <pre>sap_user_prompt=(p_x005F_Sales%20in%20(2000), p_x005F_Lines%20in%20(%27Dresses%27,%27Leather%27))</pre> <p>では、2つのプロンプトが回答されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> "Sales"では1つの値: 2000 "Lines"では2つの値: "Dresses" および "Leather"
<code>\$count=true</code>	指定したクエリのレコードの件数。
<code>\$skip=<offset></code>	<code><offset></code> 位置によって指定されたレコード番号で始まる、チャンク内のクエリ結果。
<code>\$top=<limit></code>	クエリフローのチャンク内の最初の <code><limit></code> レコード。
<code>\$skip=<offset>&\$top=<limit></code>	クエリフロー内で、 <code><offset></code> によって指定されたレコード番号で始まる、チャンク内の最初の <code><limit></code> レコード。
<code>\$select=<object1>,<object2>,...</code>	<code>\$select</code> パラメータで指定されたオブジェクトのデータセットのみを返します。
<code>\$orderby=<object> asc</code> <code>\$orderby=<object> desc</code>	オブジェクト <code><object></code> の値で並べ替えられたデータセットを返します。並べ替えは昇順 (asc) または降順 (desc) にすることができます。
<code>\$filter=<filter></code>	<p>返されたデータセットを、<code><filter></code> で指定されたフィルタを使用してフィルタします。フィルタでは以下の演算子を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 等しい: eq 等しくない: ne より大きい: gt より小さい: lt リスト内: in Null: null And: and Or: or Not: not <p>例: <code>\$filter=State ne 'DC' and Month eq 4</code></p>

関連情報

[ドキュメントのメタデータの取得 \[703 ページ\]](#)

9 REST API ワークフロー

API ワークフローは REST API の一般的な使用を示します。

[クエリの実行 \[712 ページ\]](#)

[Web Intelligence ドキュメントの作成 \[715 ページ\]](#)

[ドキュメントの一覧表示 \[716 ページ\]](#)

[パラメータの設定および PDF へのエクスポート \[717 ページ\]](#)

[パラメータの設定と今すぐスケジュール \[717 ページ\]](#)

[レポートのドリル \[718 ページ\]](#)

9.1 クエリの実行

この節では、クエリを作成して実行するために、ユニバースに対してパラメータを使用して、または使用せずに REST API を呼び出す方法を説明します。使用されるベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws/sl/v1` です。

ログオン

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	CMS リポジトリにログオンして、認証情報を取得します。	GET	/Logon/Long	BI プラットフォームにログオンする [51 ページ]
2	次の要求に使用されるログオントークンを取得します。	POST	/Logon/Long	

簡単なクエリワークフロー

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	クエリを作成してサーバに送信します。	POST	/queries	クエリの作成 [179 ページ]

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
2	クエリを実行します。	GET	/queries/<queryID>/data.svc	OData サービスへのアクセス [204 ページ]
3	クエリ結果を取得します。	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>	OData フローコンテンツの取得 [208 ページ]

GET .../data.svc 要求が、実際にクエリエンジンでクエリを実行し、データソースにアクセスし、結果セットをメモリに保持します。この結果、以降の GET 呼び出しでは、キャッシュされたデータがクエリを再実行せずに取得されます。

コンテキストまたはプロンプトを含んだクエリのワークフロー

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	クエリを作成してサーバに送信します。	POST	/queries	クエリの作成 [179 ページ]
2	応答する必要があるクエリパラメータを取得します。	GET	/queries/<queryID>/parameters	パラメータの一覧の取得 [183 ページ]
3	パラメータに応答します。	PUT	/queries/<queryID>/parameters	パラメータへの応答 [186 ページ]
4	回答されたパラメータを使用してクエリを実行します。	GET	/queries/<queryID>/data.svc	OData サービスへのアクセス [204 ページ]
5	クエリ結果を取得します。	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>	OData フローコンテンツの取得 [208 ページ]

① 注記

ステップ 3:

- すべてのパラメータに対して応答が行われ、クエリが実行可能な場合は、成功を示すメッセージが返されます。
- そうでない場合は、未回答のパラメータが呼び出しによって返されます。その後、すべてのパラメータが回答されて成功のステータスが返されるまで、呼び出しを繰り返します。

→ 注意

一部のパラメータに対して応答が行われなかった場合は、クエリの実行でエラーメッセージが返されます。

異なるパラメータ値を使用したクエリのワークフロー

コンテキストまたはパラメータに異なる値を使用し、同じクエリを複数回実行すると、異なる結果セットを取得できます。

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	クエリを作成してサーバに送信します。	POST	/queries	クエリの作成 [179 ページ]
2	応答する必要があるクエリパラメータを取得します。	GET	/queries/<queryID>/parameters	パラメータの一覧の取得 [183 ページ]
3	すべてのパラメータが回答されるまで、すべてのパラメータに回答します。必要に応じて呼び出しを繰り返します。	PUT	/queries/<queryID>/parameters	パラメータへの応答 [186 ページ]
4	回答されたパラメータを使用してクエリを実行します。結果セットがメモリに保存されます。	GET	/queries/<queryID>/data.svc	OData サービスへのアクセス [204 ページ]
5	クエリ結果をキャッシュから取得します。	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>	OData フローコンテンツの取得 [208 ページ]
6	応答する必要があるクエリパラメータを取得します。	GET	/queries/<queryID>/parameters	パラメータの一覧の取得 [183 ページ]
7	新しい値を含むすべてのパラメータが回答されるまで、すべてのパラメータに回答します。キャッシュがリセットされます。必要に応じて呼び出しを繰り返します。	PUT	/queries/<queryID>/parameters	パラメータへの応答 [186 ページ]
8	前のステップで回答されたパラメータを使用してクエリを実行します。新しいデータセットがキャッシュに保存されます。	GET	/queries/<queryID>/data.svc	OData サービスへのアクセス [204 ページ]
9	クエリ結果を取得します。	GET	/queries/<queryID>/data.svc/<flowName>	OData フローコンテンツの取得 [208 ページ]

① 注記

パラメータがメモリに保持されている場合は、ステップ 6 をスキップします。

ログオフ

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	ログオフします。	POST	/logout	<i>Business Intelligence</i> プラットフォーム <i>RESTful Web</i> サービス開発者ガイドを参照してください。

9.2 Web Intelligence ドキュメントの作成

このセクションでは、レポートが含まれる Web Intelligence ドキュメントを作成して特定のフォルダに保存するための一連の呼び出しについて説明します。ここでは、クエリ仕様を構築するためのユニバース識別子、ディメンション、および属性を把握しており、レポート仕様の取得方法を理解していることを前提としています。ステップ 1、2、3 および 12 のベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws` です。ステップ 4 から 11 までのベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1` です。

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	CMS リポジトリにログオンして、認証情報を取得します。	GET	/Logon/Long	BI プラットフォームにログオンする [51 ページ]
2	次の要求に使用されるログオントークンを取得します。	POST	/Logon/Long	
3	ドキュメントフォルダ ID を取得します。	GET	/infostore/cuid_<cuid>	<i>Business Intelligence</i> プラットフォーム <i>RESTful Web</i> サービス開発者ガイドを参照してください。
4	特定のフォルダに Web Intelligence ドキュメントを作成します。	POST	/documents	ドキュメントの作成 [224 ページ]
5	ドキュメントのレポートを作成します。	POST	/documents/<documentID>/reports	レポートの作成 [338 ページ]
6	データプロバイダをドキュメントに追加して、ユニバースを選択します。	POST	/documents/<documentID>/dataproviders	データプロバイダの追加 [561 ページ]
7	クエリを作成するには、ドキュメントのデータプロバイダに基づいてクエリ仕様を追加します。	POST	/documents/<documentID>/dataproviders/<dataProviderID>/specification	クエリ仕様の更新 [595 ページ]
8	クエリを実行してドキュメントデータを取得します。	PUT	/documents/<documentID>/parameters	ドキュメントの最新表示 [627 ページ]

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
9	レポートの書式を設定するには、レポート構造を追加します。	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/specification	レポートの構造の更新 [359 ページ]
10	ドキュメントを最新表示します。	PUT	/documents/<documentID>/parameters	ドキュメントの最新表示 [627 ページ]
11	ドキュメントを保存します。	PUT	/documents/<documentID>	ドキュメントの状態の更新 [246 ページ]
12	ログオフします。	POST	/logout	Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイドを参照してください。

9.3 ドキュメントの一覧表示

ステップ1、2、および5のベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws` です。ステップ3と4のベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1` です。

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	CMS リポジトリにログオンして、認証情報を取得します。	GET	/Logon/Long	BI プラットフォームにログオンする [51 ページ]
2	次の要求に使用されるログオントークンを取得します。	POST	/Logon/Long	
3	アルファベット順に並べ替えられているドキュメントのうちの最初の10個を取得します。	GET	/documents	ドキュメントの一覧の取得 [225 ページ]
4	あるいは、ドキュメントの数が10を超えている場合には、ドキュメントを一覧表示します。 1. アルファベット順に並べ替えられているドキュメントのうちの最初の25個を取得します。 2. 次の25個のドキュメントを取得します。	GET	1. /documents?offset=0&limit=25 2. /documents?offset=1&limit=25	
5	ログオフします。	POST	/logout	Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイドを参照してください。

9.4 パラメータの設定および PDF へのエクスポート

ステップ1、2、および9のベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws` です。ステップ3から8までのベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1` です。

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	CMS リポジトリにログオンして、認証情報を取得します。	GET	/Logon/Long	BI プラットフォームにログオンする [51 ページ]
2	次の要求に使用されるログオントークンを取得します。	POST	/Logon/Long	
3	ドキュメントを一覧表示して、ドキュメントの ID を取得します。	GET	/documents	ドキュメントの一覧の取得 [225 ページ]
4	ドキュメントの詳細を取得します。	GET	/documents/<documentID>	ドキュメントの詳細の取得 [227 ページ]
5	入力用テンプレートとしてドキュメントパラメータを取得します。	GET	/documents/<documentID>/parameters	ドキュメントの最新表示パラメータの取得 [620 ページ]
6	新しい値でドキュメントを最新表示するように、ドキュメントパラメータを設定します。	PUT	/documents/<documentID>/parameters	ドキュメントの最新表示 [627 ページ]
7	ドキュメントの各レポートを1枚の PDF ページとしてエクスポートします。	GET	/documents/<documentID> および accept:application/pdf	一覧モードでのドキュメントのエクスポート [242 ページ]
8	ページのヘッダとフッタを含む一連のページとして PDF をエクスポートします。	GET	/documents/<documentID>/pages および accept:application/pdf	一連のページとしてのドキュメントのエクスポート [244 ページ]
9	ログオフします。	POST	/logout	Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイドを参照してください。

9.5 パラメータの設定と今すぐスケジュール

ステップ1、2、および9のベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws` です。ステップ3から8までのベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1` です。

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	CMS リポジトリにログオンして、認証情報を取得します。	GET	/Logon/Long	BI プラットフォームにログオンする [51 ページ]

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
2	次の要求に使用されるログオントークンを取得します。	POST	/Logon/Long	
3	ドキュメントを一覧表示して、ドキュメントの ID を取得します。	GET	/documents	ドキュメントの一覧の取得 [225 ページ]
4	ドキュメントの詳細を取得します。	GET	/documents/<documentID>	ドキュメントの詳細の取得 [227 ページ]
5	入力用テンプレートとしてドキュメントパラメータを取得します。	GET	/documents/<documentID>/parameters	ドキュメントの最新表示パラメータの取得 [620 ページ]
6	スケジュールの一覧を取得します。	GET	/documents/<documentID>/schedules	スケジュールの一覧の取得 [668 ページ]
7	パラメータ値を使用して、ドキュメントを今すぐスケジュールします。応答には新しいスケジュール ID が含まれます。	POST	/documents/<documentID>/schedules	スケジュールの追加 [671 ページ]
8	スケジュールのインスタンス詳細を表示します。	GET	/documents/<documentID>/schedules/<scheduleID>	スケジュールの詳細の取得 [669 ページ]
9	ログオフします。	POST	/logout	Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイドを参照してください。

9.6 レポートのドリル

このセクションでは、Web Intelligence ドキュメントを開いてレポートデータをドリルスルーするための呼び出しの順序について説明します。

ステップ 1、2、および 17 のベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws` です。ステップ 3 から 16 までのベース URL は `http://<server_name>:6405/biprws/raylight/v1` です。



ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
1	CMS リポジトリにログオンして、認証情報を取得します。	GET	/Logon/Long	BI プラットフォームにログオンする [51 ページ]
2	次の要求に使用されるログオントークンを取得します。	POST	/Logon/Long	
3	利用可能なドキュメントを一覧表示します。	GET	/documents	ドキュメントの一覧の取得 [225 ページ]
4	ドキュメントの詳細を取得します。	GET	/documents/<documentID>	ドキュメントの詳細の取得 [227 ページ]

ステップ	アクション	メソッド	URI	関連情報
5	このドキュメントのレポートの一覧を取得します。	GET	/documents/<documentID>/reports	レポートの一覧の取得 [340 ページ]
6	レポートの詳細を取得します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>	レポートの詳細の取得 [341 ページ]
7	ドリルを有効にします。	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller	クエリドリルの有効化 [378 ページ]
8	ドリルが有効になっていることを確認します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller	ドリルモードの取得 [376 ページ]
9	ドリル要素を表示して、それらの要素が範囲内であるかどうかを示します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/hierarchies	ドリル階層での情報の取得 [380 ページ]
10	ドリルフィルタを取得して、何も存在しないことを確認します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters	レポートのドリルフィルタの取得 [383 ページ]
11	フィルタを追加します。	POST	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters	ドリルフィルタの作成 [382 ページ]
12	ドリルフィルタの詳細を取得して、利用可能な値を確認します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>	ドリルフィルタの詳細の取得 [384 ページ]
13	値をドリルします。	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>	ドリルフィルタの更新 [386 ページ]
14	HTML コンテンツを表示して、特定のフィルタ値をドリルしたことを確認します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID> および accept:text/html	一覧モードでのレポートのエクスポート [349 ページ]
15	ドリルフィルタを更新して、別の値をドリルします	PUT	/documents/<documentID>/reports/<reportID>/driller/filters/<filterID>	ドリルフィルタの更新 [386 ページ]
16	HTML コンテンツを表示して、特定のフィルタ値をドリルしたことを確認します。	GET	/documents/<documentID>/reports/<reportID> および accept:text/html	一覧モードでのレポートのエクスポート [349 ページ]
17	ログオフします。	POST	/logout	<i>Business Intelligence</i> プラットフォーム <i>RESTful Web</i> サービス開発者ガイドを参照してください。

重要免責事項および法的情報

ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
 - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
 - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できると保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。